

平成 24 年度
保土ヶ谷満足度調査

平成 24 年 11 月

横浜市保土ヶ谷区役所

はじめに

保土ヶ谷区は、市域のほぼ中央に位置し、帷子川と今井川が流れ鉄道や幹線道路が発達した低地と、それを取り囲む丘陵地からなる起伏に富んだ地形です。水や緑といった自然環境に恵まれ、旧東海道として栄えた歴史も残すという個性豊かな側面もあり、区内でも、地域ごとに多彩な特色を持っています。

お住まいの方に目を移すと、古くから宅地が開かれたことにより、長きにわたり居住されている方が多いのが特徴です。これは、地域への愛着形成に寄与する反面、少子高齢化や一人暮らし世帯が増え、孤立化などが進む中、地域のつながりが希薄になることが懸念され、幅広い世代がつながり支え合える地域の実現に向けた対応が必要となっています。

このように同じ区内でも、地域によって、世代や暮らし方によって、区民を取り巻く環境は様々であり、区民の皆さんの区政に対する要望も年々多様なものとなっています。

そのような中で、より多くの区民の皆さんにとって住みやすく、そして満足していただけるまちづくりを区民の視点に立って進めていくためにはどうすればよいか。それにはまず、皆さんが日々の生活の中で感じている課題やニーズを的確に把握する必要があります。そこで保土ヶ谷区では、3年毎に、区民の日常生活についての基礎調査である「保土ヶ谷満足度調査」を実施しています。

この報告書は、平成24年6月に実施した調査の結果をまとめたものです。

保土ヶ谷区役所では、この調査から得られた結果を貴重な資料として活用しながら区民の視点に立った施策をきめ細かく展開し、今後とも、多くの皆さんのニーズを満ち、かつ、それぞれの地域の状況に即した、安全・安心・快適で個性豊かなまちづくりを推進してまいります。

終わりに、この調査に御協力いただきました多くの区民の皆様には厚く御礼申し上げます。

平成 24 年 11 月
保土ヶ谷区役所

目 次

調査の概要	3
調査回答者の属性	6
調査結果の要約	8
調査結果	11
1 交通について	11
1 - 1 通勤・通学している場所	11
1 - 2 最寄り駅	14
1 - 3 最寄り駅までの交通手段	17
1 - 4 最寄り駅までの所要時間	20
1 - 5 近場に外出するときに困っていること	25
2 日常の買い物について	30
2 - 1 日常の買い物をしている場所	30
2 - 2 買い物をする店を決める際に重視すること	34
2 - 3 近所の商店街に対する希望	38
3 防犯について	42
3 - 1 実施(参加)している防犯対策	42
3 - 2 防犯対策を実施(参加)したことがない理由	46
3 - 3 地域で実施(参加)している防犯対策	49
3 - 4 地域で防犯対策を実施(参加)したことがない理由	52
4 防災・減災について	55
4 - 1 災害に対する備え	55
4 - 2 防災事業の認知度	59
4 - 3 災害時の避難場所の認知度	62
4 - 4 震災時の避難場所について感じている問題	65
4 - 5 災害時要援護者の有無	68
4 - 6 家族以外の災害時要援護者への協力意向	71
4 - 7 建物の耐震改修や減災の補助制度の認知度	74
4 - 8 住宅用火災報知器の設置状況	77
4 - 9 住宅用火災報知器を設置していない理由	80
5 福祉・保健について	83
5 - 1 普通の食生活で気をつけていること	83
5 - 2 日常的に運動する習慣の有無	86
5 - 3 運動をしない理由	89
5 - 4 喫煙状況	93
5 - 5 今後の禁煙の意向	96
5 - 6 かかりつけの歯科医院の有無	99
5 - 7 歯についての意識	102
5 - 8 1年以内の健康診断の受診の有無	106
5 - 9 健康診断を受けていない理由	109
5 - 10 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の認知度	113
5 - 11 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」をどのような方法で知ったか	116
5 - 12 福祉保健活動拠点の認知度・利用状況	119
5 - 13 地域ケアプラザの認知度・利用状況	122
5 - 14 地域ケアプラザで行っている業務の認知度	125
5 - 15 保土ヶ谷区の子どもにとって安心・安全度	128
5 - 16 子育てをしていく中で、特に必要なこと	131

6	地域でのつながり・地域活動について	135
6 - 1	あいさつなどで近所の人に声をかける頻度	135
6 - 2	近所づきあいの程度	139
6 - 3	近所づきあいを始めたきっかけ	142
6 - 4	地域に期待することや役割	145
6 - 5	地域に対してできそうなこと	151
6 - 6	地域団体・委員の認知度	157
6 - 7	参加したことがある地域活動	160
6 - 8	地域活動に参加したことがない理由	165
6 - 9	今後参加したい地域活動	169
6 - 10	興味のある活動分野	173
7	地球温暖化対策について	177
7 - 1	日常生活での地球温暖化防止対策	177
7 - 2	地球温暖化防止対策を行っていない理由	180
7 - 3	今後行えそうな地球温暖化防止対策	183
8	行政サービスについて	186
8 - 1	区役所へ出かける頻度	186
8 - 2	市政・区政情報の入手方法	189
8 - 3	行政や地域の知りたい情報	193
8 - 4	「保土ヶ谷区区政運営方針」の認知度	197
8 - 5	望ましい区の発展方向	201
8 - 6	「保土ヶ谷ホームページ」を見る時	205
8 - 7	「広報ほどがや区版」で注目するもの	209
9	生活環境全般に対する重要度・満足度	213
9 - 1	重要度	213
9 - 2	満足度	219
9 - 3	ニーズ度	225
9 - 4	満足度と重要度の分析(地域別)	227
9 - 5	以前との比較	230
9 - 6	定住意向	231
	資料:保土ヶ谷満足度調査 調査票	236

調査の概要

調査の概要

1 調査目的

区民の日常生活に関わる様々な事項について調査することで、区民のニーズや課題を的確に把握し、今後の区政運営の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査項目

平成24年度保土ヶ谷満足度調査は、次の9つのテーマについて調査した。

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 交通について	(問1～問5)
(2) 日常の買い物について	(問6～問8)
(3) 防犯について	(問9～問10-1)
(4) 防災・減災について	(問11～問18-1)
(5) 福祉・保健について	(問19～問23)
(6) 地域でのつながり・地域活動について	(問24～問31)
(7) 地球温暖化対策について	(問32～問32-2)
(8) 行政サービスについて	(問33～問39)
(9) 生活環境全般に対する重要度・満足度	(問40～問42)

3 調査設計

- | | |
|----------|--------------------------|
| (1) 調査地域 | 保土ヶ谷区全域 |
| (2) 調査対象 | 保土ヶ谷区に居住する18歳以上の男女3,000人 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳及び外国人登録原票からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送法（郵送配布・郵送回収・はがき催促を1回） |
| (5) 調査時期 | 平成24年6月 |

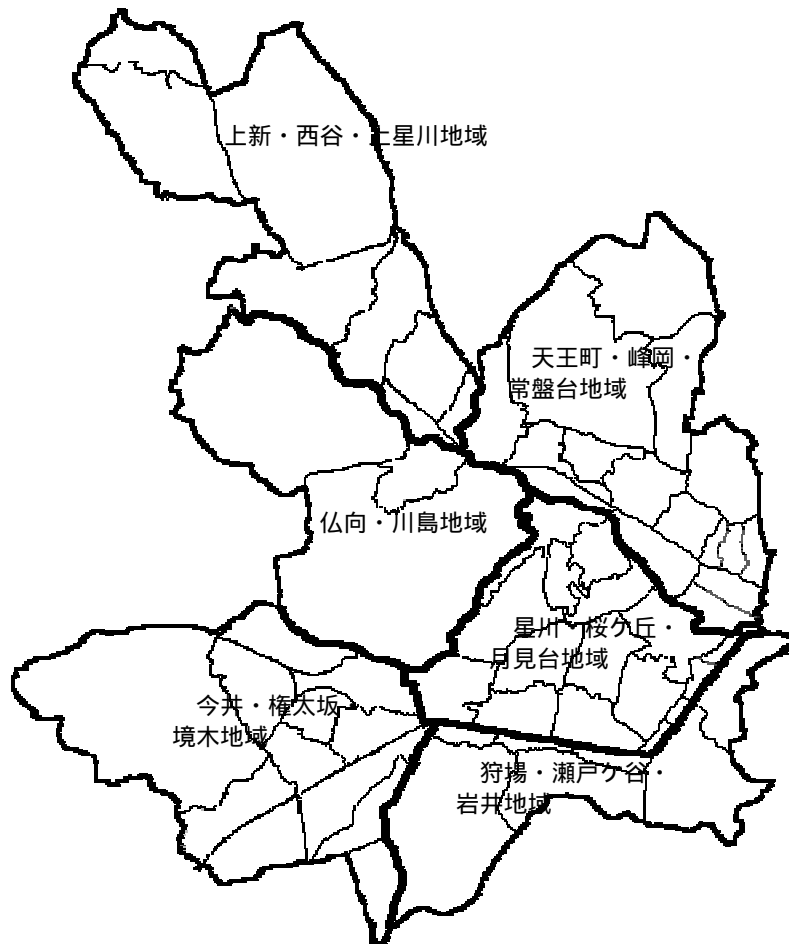
4 回収結果

<標本数>	<回収率>
3,000標本	56.4%（有効回答1,693件）

5 居住地域区分

居住地域の考え方は、地域的特性を把握するために、保土ヶ谷の地勢的な特徴である丘及び河川、並びに幹線道路、鉄道、駅などの配置、面積などを考慮して以下の6つの地域を日常生活圏として設定・分類した。

居住地域区分図



居住地域該当町丁目表

<地域名>	<地域該当町丁目名>
1. 天王町・峰岡・常盤台地域	岡沢町、釜台町、鎌谷町、川辺町、天王町1丁目、天王町2丁目、常盤台、峰岡町1丁目、峰岡町2丁目、峰岡町3丁目、峰沢町、宮田町1丁目、宮田町2丁目、宮田町3丁目、和田一丁目、和田二丁目
2. 星川・桜ヶ丘・月見台地域	岩崎町、岩間町1丁目、岩間町2丁目、霞台、帷子町1丁目、帷子町2丁目、神戸町、桜ヶ丘一丁目、桜ヶ丘二丁目、月見台、初音ヶ丘、花見台、星川一丁目、星川二丁目、星川三丁目、明神台
3. 今井・権太坂・境木地域	今井町、権太坂一丁目、権太坂二丁目、権太坂三丁目、境木町、境木本町、新桜ヶ丘一丁目、新桜ヶ丘二丁目、藤塚町、法泉一丁目、法泉二丁目、法泉三丁目
4. 狩場・瀬戸ヶ谷・岩井地域	岩井町、狩場町、瀬戸ヶ谷町、西久保町、保土ヶ谷町1丁目、保土ヶ谷町2丁目、保土ヶ谷町3丁目
5. 上新・西谷・上星川地域	新井町、上菅田町、上星川一丁目、上星川二丁目、上星川三丁目、西谷町、東川島町
6. 仏向・川島地域	川島町、坂本町、仏向町、仏向西

6 報告書の見方

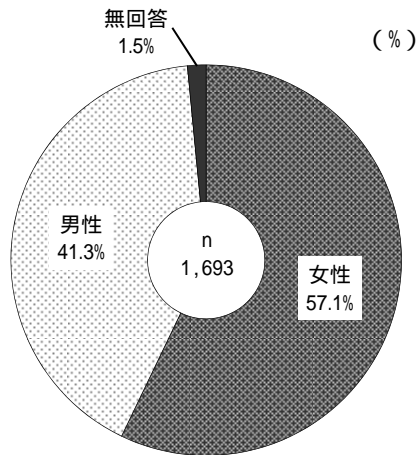
- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入とした。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
「全体」は無回答を含む。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

調査回答者の属性

調査回答者の属性

1 性別

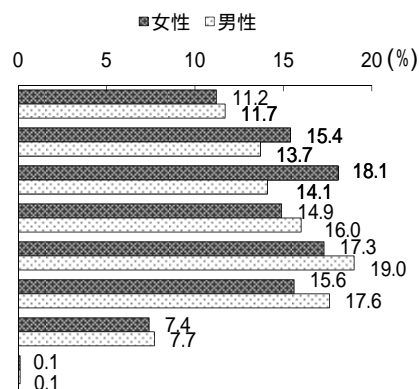
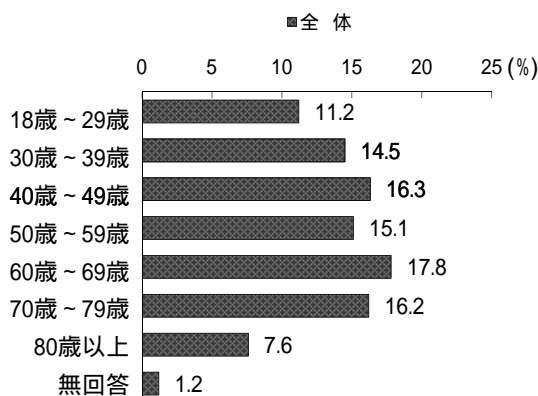
	基数	構成比(%)
1 女性	967	57.1
2 男性	700	41.3
(無回答)	26	1.5
合計	1,693	100.0



2 年齢別・性 / 年齢別

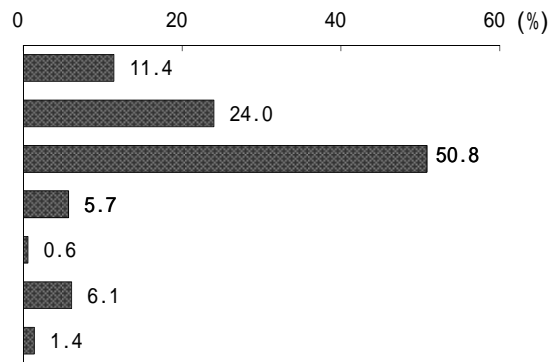
	全体		女性		男性	
	基数	構成比(%)	基数	構成比(%)	基数	構成比(%)
1 18歳～29歳	190	11.2	108	11.2	82	11.7
2 30歳～39歳	245	14.5	149	15.4	96	13.7
3 40歳～49歳	276	16.3	175	18.1	99	14.1
4 50歳～59歳	256	15.1	144	14.9	112	16.0
5 60歳～69歳	302	17.8	167	17.3	133	19.0
6 70歳～79歳	275	16.2	151	15.6	123	17.6
7 80歳以上	128	7.6	72	7.4	54	7.7
(無回答)	21	1.2	1	0.1	1	0.1
合計	1693	100.0	967	100.0	700	100.0

性別で無回答が26人いるため、男女を足し合わせても全体の人数にはならない。



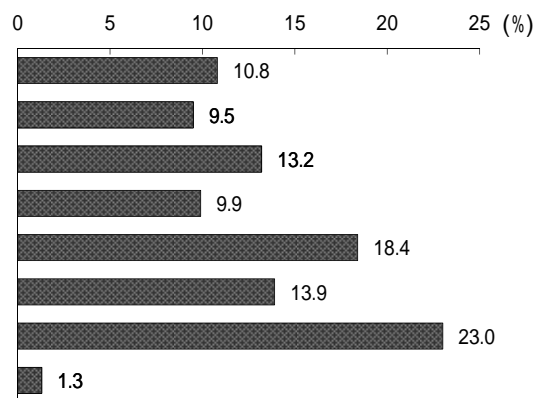
3 家族構成別

	基数	構成比(%)
1 ひとり暮らし	193	11.4
2 夫婦のみ	406	24.0
3 親と子(2世代世帯)	860	50.8
4 親と子と孫(3世代世帯)	97	5.7
5 兄弟・姉妹	11	0.6
6 その他	103	6.1
(無回答)	23	1.4
合計	1,693	100.0



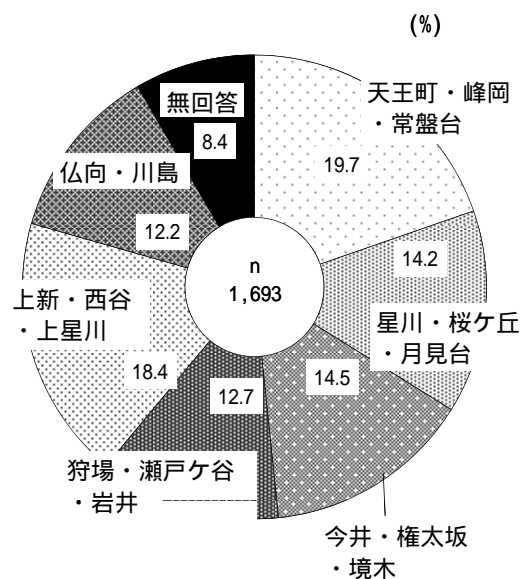
4 居住年数別

	基数	構成比(%)
1 5年未満	183	10.8
2 5年～10年未満	160	9.5
3 10年～15年未満	223	13.2
4 15年～20年未満	168	9.9
5 20年～30年未満	312	18.4
6 30年～40年未満	235	13.9
7 40年以上	390	23.0
(無回答)	22	1.3
合計	1,693	100.0



5 居住地域別

	基数	構成比(%)
1 天王町・峰岡・常盤台	333	19.7
2 星川・桜ヶ丘・月見台	241	14.2
3 今井・権太坂・境木	245	14.5
4 狩場・瀬戸ヶ谷・岩井	215	12.7
5 上新・西谷・上星川	311	18.4
6 仏向・川島	206	12.2
(無回答)	142	8.4
合計	1,693	100.0



調査結果の要約

調査結果の要約

1 交通について

- 1 - 1 通勤・通学している場所は、「保土ヶ谷区以外の横浜市」が2割前半で最も高く、2番目に「東京都」、3番目に「保土ヶ谷区内」となっている。
- 1 - 2 最寄り駅は、「保土ヶ谷駅」が2割半ばで最も高い。
- 1 - 3 最寄り駅までの交通手段は、「徒歩」と「路線バス」が主で、この2つで8割後半を占めている。
- 1 - 4 最寄り駅までの所要時間は、「5分～10分未満」が2割後半で最も高く、15分未満である人の割合は、6割前半となっている。
- 1 - 5 近場に外出するときに困っていることは、「道路が狭く、通行しづらい」と「特にない」2割半ばで最も高く、次いで「路線バスの運行本数が少ない」と「歩道が整備されていないため、歩きづらい」が約2割で並んでいる。

2 日常の買い物について

- 2 - 1 日常の買い物をしている場所は、「スーパーマーケット」が9割前半で圧倒的に高い。次いで「コンビニエンスストア」が4割強となっている。
- 2 - 2 買い物をする店を決める際に重視することは、「店舗の場所」を重視する人が5割後半で最も高い。
- 2 - 3 近所の商店街に対する希望は、「値段の安さ」が4割半ばで最も高く、次いで「豊富な品揃え」が4割前半となっている。また、「商品の品質の向上」と「店舗の種類の充実」への要望も高い。

3 防犯について

- 3 - 1 実施(参加)している防犯対策は、「普段から近所の人と顔見知りになっておく」が3割後半で最も高い。一方で、「実施(参加)したことがない」は1割半ばとなっている。
- 3 - 2 防犯対策を実施(参加)したことがない理由は、「関心がなく、実施(参加)する必要性を感じない」が約2割で、「特にない」が4割後半で特に高い。
- 3 - 3 地域で実施(参加)している防犯対策は、「実施(参加)したことがない」が6割後半で極端に高い。
- 3 - 4 地域で防犯対策を実施(参加)したことがない理由は、「時間がない」と「特にない」が3割半ばとなっている。

4 防災・減災について

- 4 - 1 災害に対する備えは、「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄」が7割前半で最も高い。
- 4 - 2 防災事業の認知度は、「「171」(災害用伝言ダイヤル)など各種電話会社の災害用サービス」が4割強で最も高い。一方で、「知っているものがない」が4割半ばとなっている。
- 4 - 3 災害時の避難場所の認知度は、「広域避難場所」が5割半ばで最も高い。
- 4 - 4 震災時の避難場所について感じている問題は、「特に問題を感じていない」が4割弱である。あげられている問題点としては、「坂が多いなど、地形的に地域防災拠点まで行くことが困難である」が最も高い。
- 4 - 5 災害時要援護者の有無は、「高齢者(歩行困難や認知症などで介護が必要な人)」が4割弱で最も高い。一方で、「特にない」が4割前半となっている。
- 4 - 6 家族以外の災害時要援護者への協力意向は、「大丈夫ですか」などの声かけ」が7割後半で最も高い。
- 4 - 7 建物の耐震改修や減災の補助制度の認知度は、「木造住宅の無料耐震診断・耐震改修の補助」が3割前半で最も高い。一方で、「知っているものがない」が5割前半となっている。
- 4 - 8 住宅用火災報知器の設置状況は、「設置している」が6割半ばを占める。「設置していない」は1割半ばとなっている。
- 4 - 9 住宅用火災報知器を設置していない理由は、「住宅のどこに設置すればよいかわからない」が3割強で最も高い。次いで「どのように警報器を購入すればよいかわからない」と「天井などに自分で設置することができない」が2割後半となっている。「設置しなければならないことを知らなかった」は2割半ばとなっている。

5 福祉・保健について

- 5 - 1 普段の食生活で気をつけていることは、「1日3食(朝、昼、夕(夜))食べる」と「主食、主菜副菜のバランスを考える」と「野菜をたくさん食べる」の3項目で6割前後で並んでいる。
- 5 - 2 日常的に運動する習慣の有無は、「ない」が5割後半、「ある」が3割後半となっている。
- 5 - 3 運動をしない理由は、「忙しくて運動をする時間がない」が4割前半で最も高い。
- 5 - 4 喫煙状況は、「喫煙しない」が5割後半で、「喫煙する」1割後半となっている。「喫煙しない」と「以前は喫煙していたが、現在はやめている」をあわせた『現在喫煙していない人』の割合が7割後半となっている。
- 5 - 5 今後の禁煙の意向は、「やめたいと思うが、6カ月以内にやめるつもりはない」が4割後半、次いで「やめるつもりはない」が4割前半となっている。
- 5 - 6 かかりつけの歯科医院の有無は、「ある」が約7割、「ない」が2割半ばとなっている。
- 5 - 7 歯についての意識は、「8020運動を知っている」「歯ブラシ以外にデンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している」「定期的に歯科医院を受診している(年1回以上)」が並んで4割前後。
- 5 - 8 1年以内の健康診断の受診の有無は、「受診した」が6割後半、「受診していない」が2割半ばとなっている。
- 5 - 9 健康診断を受けていない理由は、「受診する機会がない」が2割半ばで最も高い。
- 5 - 10 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の認知度は、「名前も内容も知らない」が約7割を占めている。
- 5 - 11 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」をどのような方法で知ったかは、「広報よこはまほどがや区版」が約7割を占めている。
- 5 - 12 福祉保健活動拠点の認知度・利用状況は、「知らない」が6割半ばを占めている。
- 5 - 13 地域ケアプラザの認知度・利用状況は、「知っているが利用したことはない」が4割前半と高く、次いで「知らない」が3割半ばとなっている。
- 5 - 14 地域ケアプラザで行っている業務の認知度は、「地域活動交流(地域の福祉・保健活動の場の提供、各種イベント・講座等の開催など)」が6割前半で最も高い。
- 5 - 15 保土ヶ谷区の子どもにとって安心・安全度は、「どちらかといえばそう思う」が5割半ばで最も高い。
- 5 - 16 子育てをしていく中で、特に必要なことは、「夫婦(子どもの父母)の協力」が7割半ばで特に高く、次いで「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」が4割前半となっている。

6 地域でのつながり・地域活動について

- 6 - 1 あいさつなどで近所の人に声をかける頻度は、「よくある」が6割半ば、日常的にあいさつをしていない人(「ときどきある」、「あまりない」、「まったくない」の合計)が3割半ばとなっている。
- 6 - 2 近所づきあいの程度は、「顔を合わせたらあいさつをする」が4割半ばで最も高い。
- 6 - 3 近所づきあいを始めたきっかけは、「日頃のあいさつ」が約7割半ばで極端に高い。
- 6 - 4 地域に期待することや役割は、「災害時の援助・助け合い」が6割前半で最も高く、次いで「声かけや安否の確認」が5割前半、「防犯に関する協力・気配り」が4割半ばとなっている。
- 6 - 5 地域に対してできそうなことは、「声かけや安否の確認」が6割半ばで最も高く、次いで「災害時の援助・助け合い」が約5割となっている。
- 6 - 6 地域団体・委員の認知度は、「自治会・町内会」が9割前半とほとんどの方が認知している。次いで「民生委員・児童委員」が5割前半、「消防団員」が4割前半となっている。
- 6 - 7 参加したことがある地域活動は、「お祭りなどの行事や催し物」と「自治会・町内会活動」が5割半ばで並んでいる。
- 6 - 8 地域活動に参加したことがない理由は、「時間がとれない」が3割後半、「活動の内容がわからない、情報がない」が3割半ばと高い。一方で、「特に理由はない」が2割後半となっている。
- 6 - 9 今後参加したい地域活動は、「特にない」が2割後半で最も高い。次いで、「地域に貢献できる活動」も2割後半となっている。
- 6 - 10 興味のある活動分野は、「文化・芸術・音楽」と「スポーツ」が2割を超え、並んで高い。

7 地球温暖化対策について

- 7 - 1 日常生活での地球温暖化防止対策は、「電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る」が約8割で最も高い。
- 7 - 2 地球温暖化防止対策を行っていない理由は、「面倒である」が2割半ば最も高く、次いで「難しくてよくわからない」と「何を行ったらよいかわからない」となっている。
- 7 - 3 今後行えそうな地球温暖化防止対策は、「電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る」が5割前半で最も高い。

8 行政サービスについて

- 8 - 1 区役所へ出かける頻度は、「年に数回程度」が4割半ばを占め、次いで「数年に1回程度」が3割前半となっている。
- 8 - 2 市政・区政情報の入手方法は、「広報よこはま市版・区版」が7割半ばで特に高く、次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が5割半ばとなっている。
- 8 - 3 行政や地域の知りたい情報は、「保険・年金」が3割前半で最も高く、2番目に「税金」、3番目に「福祉（高齢、障害、生活保護など）」となっている。
- 8 - 4 「保土ヶ谷区区政運営方針」の認知度は、「名前も内容も知らない」が7割前半で最も高く、認知度は低い。
- 8 - 5 望ましい区の発展方向は、「医療や福祉が充実している」と「治安が良い」が並んで5割を超えている。次いで「商店などが充実し、日常の買い物で近所で事足りる」が4割半ばとなっている。
- 8 - 6 「保土ヶ谷区ホームページ」を見る時は、「日常生活で分からないことがあった時（福祉・保健・子育て・ごみ・リサイクルなど）」が3割半ばで最も高い。一方で、「区ホームページは見ない」は4割半ばと高くなっている。
- 8 - 7 「広報ほどがや区版」で注目するものは、「イベントや区役所の案内記事」が5割半ばで特に最も高い。

9 生活環境全般に対する重要度・満足度

- 9 - 1 重要度は、総合的にみると高い順に「防犯対策」、「病院や救急医療などの地域医療」、「災害対策」、「バス・電車の便」となっている。
- 9 - 2 満足度は、総合的にみると高い順に「バス・電車の便」、「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」、「緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備」、「身近な行政窓口・相談サービス」となっている。
- 9 - 3 ニーズ度は、総合的にみると高い順に「災害対策」、「防犯対策」、「病院や救急医療などの地域医療」、「違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策」、「道路環境の整備」となっている。
- 9 - 4 満足度と重要度の分析(地域別)は、平均的にみると、【満足度】は天王町・峰岡・常盤台と上新・西谷・上星川で高い。【重要度】は大きな差はみられない。
- 9 - 5 以前との比較は、「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」と「駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり」で2割後半で改善への評価が高い。また「商店街や企業の振興」は1割後半と評価が低い。
- 9 - 6 定住意向は、「現在住んでいるところに住み続けたい」と「区内の他のところへ移りたい」をあわせた区内への定住意向は約8割となっている。また、「横浜市内の保土ヶ谷区以外のところへ移りたい」と「横浜市外へ移りたい」をあわせた区外への転出意向は1割半ばである。

調查結果

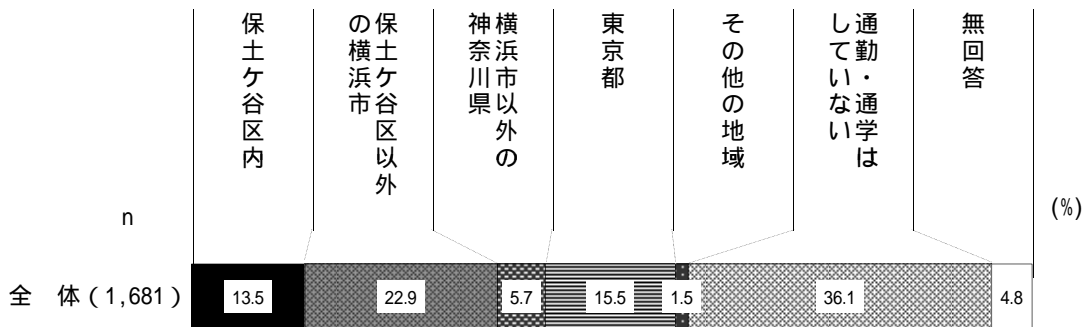
1 交通について

1-1 通勤・通学している場所

「保土ヶ谷区以外の横浜市」が2割前半で、最も高い。「保土ヶ谷区内」は1割台半ば

問1 あなたが通勤・通学しているところはどこですか。(は1つ)

図表1-1 通勤・通学している場所



(全体) 上位3項目は以下となる。(図表1-1)

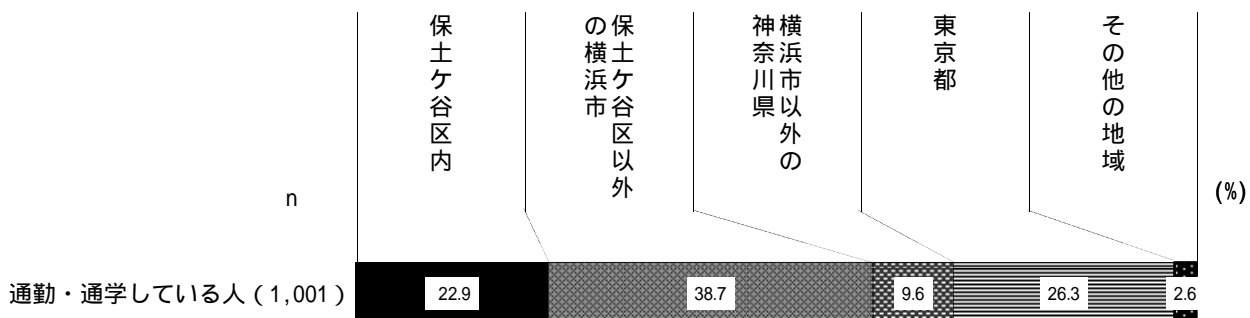
- ・「保土ヶ谷区以外の横浜市」(22.9%)
- ・「東京都」(15.5%)
- ・「保土ヶ谷区内」(13.5%)

また、「通勤・通学はしていない」は、36.1%となっている。

(通勤・通学している人) 通勤・通学している人の中でみると上位3項目は以下となる。(図表1-2)

- ・「保土ヶ谷区以外の横浜市」(38.7%)
- ・「東京都」(26.3%)
- ・「保土ヶ谷区内」(22.9%)

図表1-2 通勤・通学している場所(通勤・通学している人)



(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表1-3)

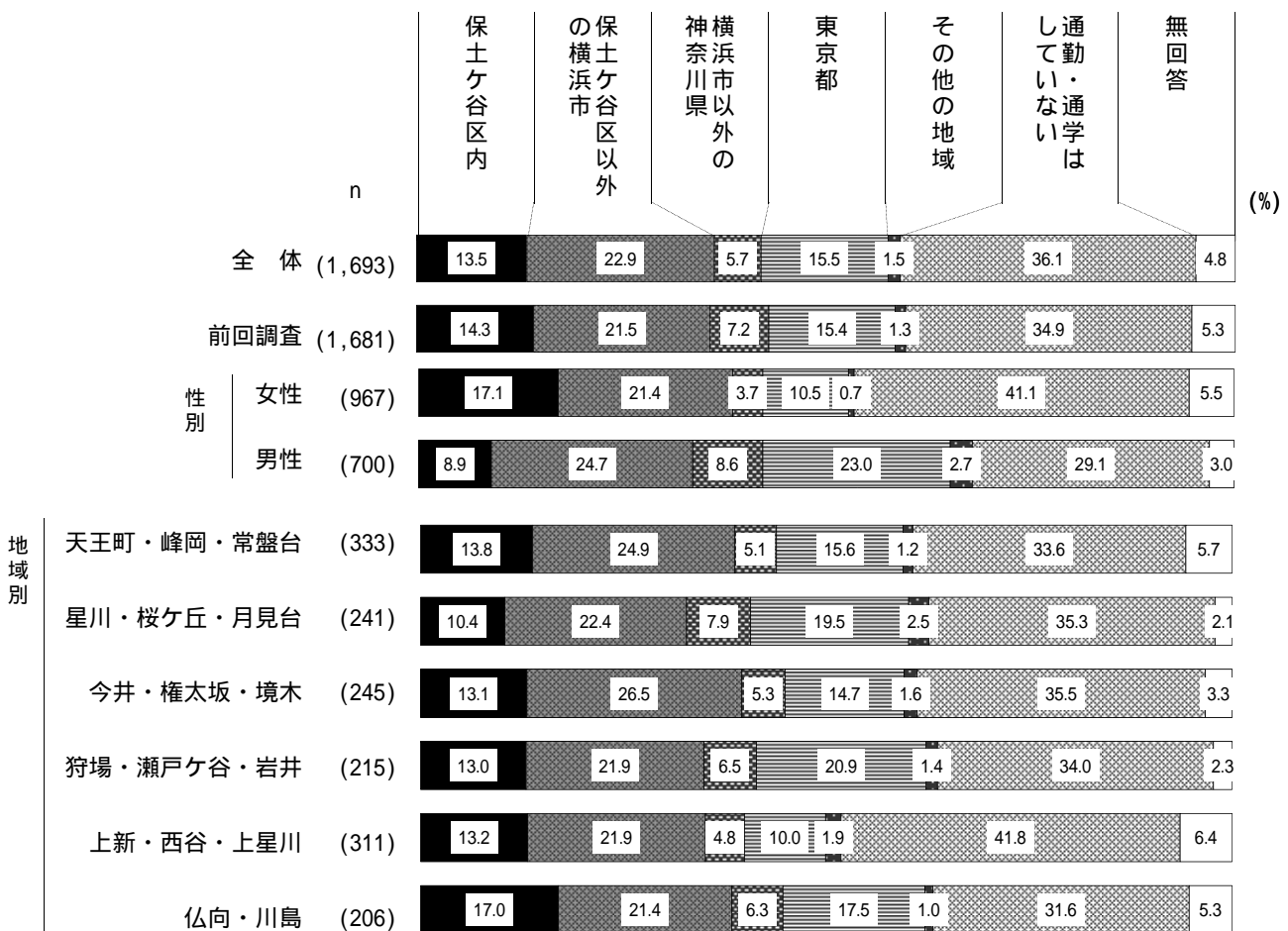
(性別) 女性と男性で差があるのは以下の箇所となる。(図表1-3)

- ・女性は「保土ヶ谷区内」で8.2ポイント、「通勤・通学していない」で12.0ポイント男性より高い。
- ・男性は「東京都」で12.5ポイント、「横浜市以外の神奈川県」で4.9ポイント女性より高い。

(地域別) 地域別で差があるのは以下の箇所となる。(図表1-3)

- ・「保土ヶ谷区内」は、仏向・川島(17.0%)で高く、星川・桜ヶ丘・月見台(10.4%)で低い。
- ・「東京都」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(20.9%)と星川・桜ヶ丘・月見台(19.5%)で高く、上新・西谷・上星川(10.0%)で低い。
- ・「通勤・通学はしていない」は、上新・西谷・上星川(41.8%)で高い。

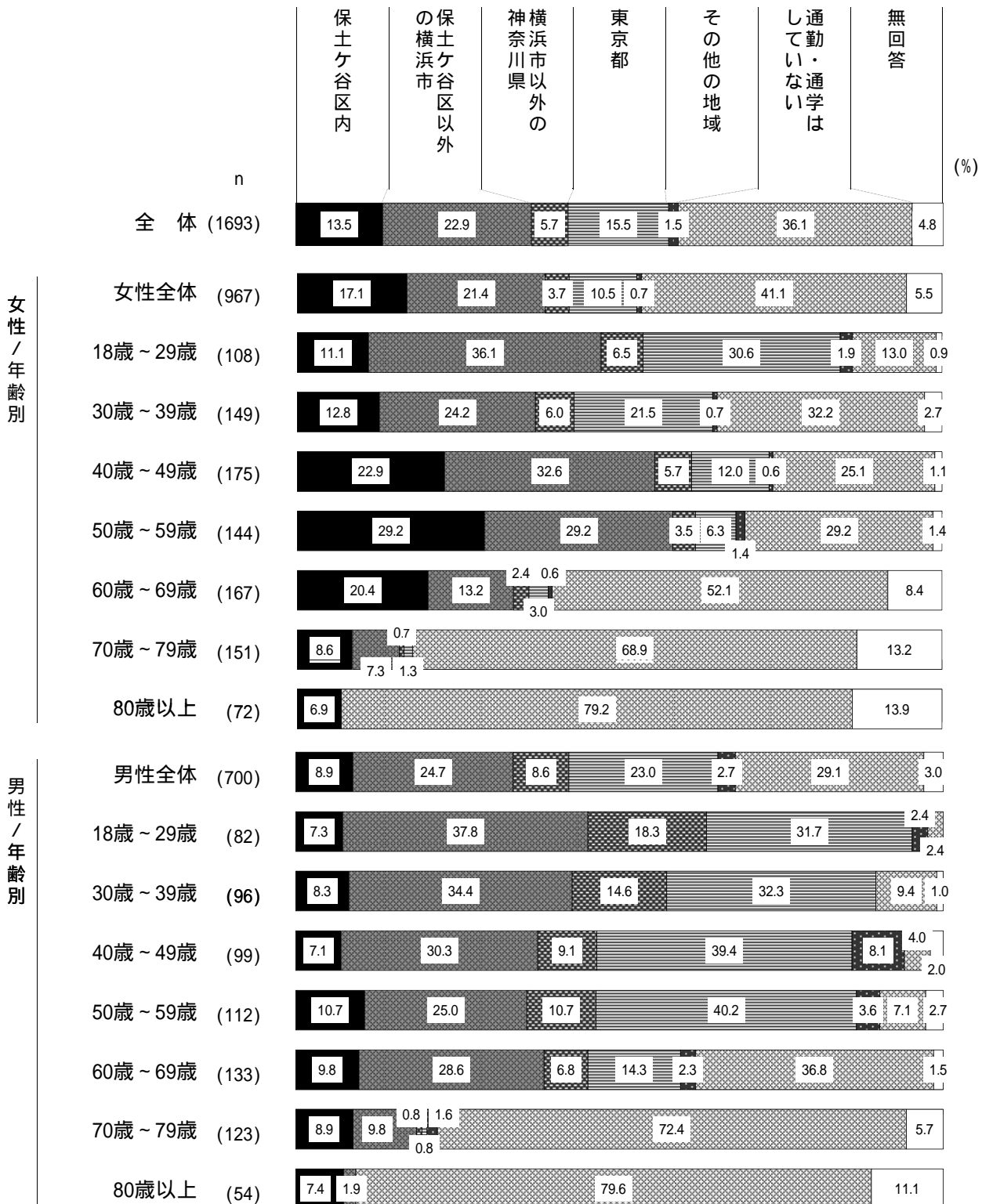
図表1-3 通勤・通学している場所(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、特に高い箇所は以下となる。(図表1-4)

- ・「保土ヶ谷区内」は、女性50歳～59歳(29.2%)で高い。
- ・「保土ヶ谷区以外の横浜市」は、男女とも18歳～29歳で高い。
- ・「横浜市以外の神奈川県」は、男性の18歳～29歳(18.3%)で高い。
- ・「東京都」は、女性の18歳～29歳と、男性の18歳～59歳で高い。

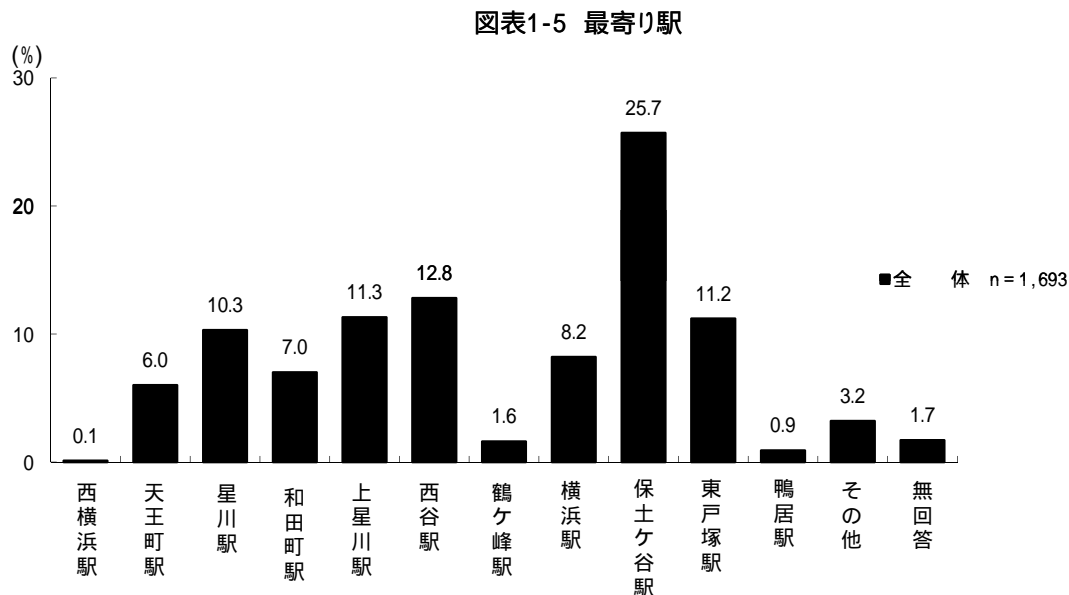
図表1-4 通勤・通学している場所(性×年齢別)



1 - 2 最寄り駅

「保土ヶ谷駅」が2割半ばで最も高い

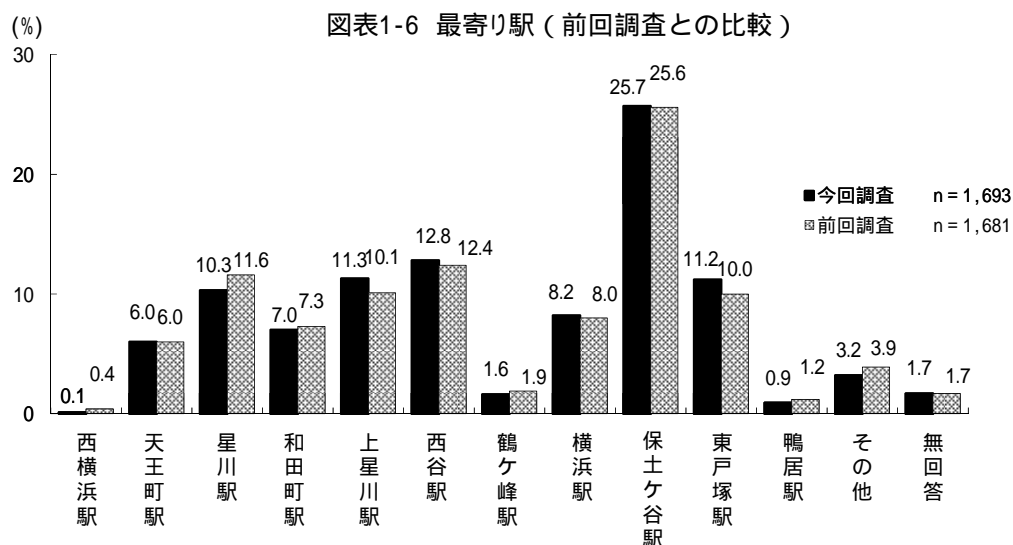
問2 あなたの最寄り駅(最もよく利用する駅)はどれですか。(は1つ)



(全体) 上位3項目は以下となる。(図表1-5)

- ・「保土ヶ谷駅」(25.7%)
- ・「西谷駅」(12.8%)
- ・「上星川駅」(11.3%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 全体的な傾向は同様だが「星川駅」と「上星川駅」の順位が変動した。(図表1-6)



(性別) 性別による大きな差はみられない。(図表1-7)

(地域別) 地域別に見て、全体より10ポイント以上高い箇所は以下となる。(図表1-7)

天王町・峰岡・常盤台 : 「星川駅」(26.7%)と「横浜駅」(25.8%)が高い。

星川・桜ヶ丘・月見台 : 「保土ヶ谷駅」(54.8%)が特に高く、「星川駅」(25.7%)も高い。

今井・権太坂・境木 : 「東戸塚駅」(63.3%)が特に高い。

狩場・瀬戸ヶ谷・岩井 : 「保土ヶ谷駅」(85.6%)が圧倒的に高い。

上新・西谷・上星川 : 「西谷駅」(59.2%)が特に高く、「上星川駅」(24.1%)も高い。

仏向・川島 : 「上星川駅」(42.2%)と「和田町駅」(23.8%)が特に高い。

図表 1-7 最寄り駅(性別・地域別)

		()内は件数													
		基数 (n)	西横 浜駅	天 王 町 駅	星 川 駅	和 田 町 駅	上 星 川 駅	西 谷 駅	鶴 ヶ 峰 駅	横 浜 駅	保 土 ヶ 谷 駅	東 戸 塚 駅	鴨 居 駅	そ の 他	無 回 答
全 体		1,693	0.1 (2)	6.0 (102)	10.3 (174)	7.0 (118)	11.3 (192)	12.8 (217)	1.6 (27)	8.2 (138)	25.7 (435)	11.2 (189)	0.9 (16)	3.2 (54)	1.7 (29)
性 別	女 性	967	0.1 (1)	6.2 (60)	9.8 (95)	6.8 (66)	11.0 (106)	13.0 (126)	1.9 (18)	9.1 (88)	24.6 (238)	11.7 (113)	1.0 (10)	3.2 (31)	1.6 (15)
	男 性	700	0.1 (1)	5.4 (38)	11.1 (78)	7.3 (51)	11.9 (83)	12.6 (88)	1.3 (9)	6.7 (47)	27.3 (191)	10.9 (76)	0.9 (6)	3.1 (22)	1.4 (10)
地 域 別	天王町・峰岡・ 常盤台	333	0.3 (1)	15.3 (51)	26.7 (89)	14.4 (48)	5.4 (18)	- (-)	0.3 (1)	25.8 (86)	1.2 (4)	0.3 (1)	- (-)	9.6 (32)	0.6 (2)
	星川・桜ヶ丘・ 月見台	241	- (-)	10.8 (26)	25.7 (62)	2.9 (7)	- (-)	0.4 (1)	- (-)	1.2 (3)	54.8 (132)	3.3 (8)	- (-)	0.4 (1)	0.4 (1)
	今井・権太坂・ 境木	245	0.4 (1)	1.2 (3)	2.9 (7)	0.4 (1)	0.8 (2)	0.4 (1)	- (-)	1.2 (3)	24.5 (60)	63.3 (155)	- (-)	3.3 (8)	1.6 (4)
	狩場・瀬戸ヶ 谷・岩井	215	- (-)	8.4 (18)	- (-)	- (-)	- (-)	0.5 (1)	- (-)	0.5 (1)	85.6 (184)	1.4 (3)	- (-)	2.8 (6)	0.9 (2)
	上新・西谷・ 上星川	311	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	24.1 (75)	59.2 (184)	- (-)	8.0 (25)	- (-)	- (-)	4.8 (15)	1.0 (3)	2.9 (9)
	仏向・川島	206	- (-)	- (-)	4.9 (10)	23.8 (49)	42.2 (87)	8.3 (17)	10.7 (22)	2.9 (6)	4.9 (10)	1.5 (3)	- (-)	- (-)	1.0 (2)

■ : 全体より10ポイント以上高いもの



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、全体より5ポイント以上高い箇所は以下となる。(図表1-8)

- ・「星川駅」は、男性18歳～39歳(18%内外)
- ・「和田町駅」は、男性18歳～29歳(12.2%)
- ・「上星川駅」は、男性80歳以上(16.7%)
- ・「西谷駅」は、女性30歳～39歳(18.8%)と男性70歳～79歳(22.8%)
- ・「保土ヶ谷駅」は、男性50歳～59歳(33.9%)
- ・「東戸塚駅」は、女性50歳～59歳(19.4%)と男性70歳～79歳(17.1%)

図表 1-8 最寄り駅(性×年齢別)

		基数 (n)	西 横 浜 駅	天 王 町 駅	星 川 駅	和 田 町 駅	上 星 川 駅	西 谷 駅	鶴 ヶ 峰 駅	横 浜 駅	保 土 ヶ 谷 駅	東 戸 塚 駅	鴨 居 駅	そ の 他	無 回 答
全 体		1,693	0.1 (2)	6.0 (102)	10.3 (174)	7.0 (118)	11.3 (192)	12.8 (217)	1.6 (27)	8.2 (138)	25.7 (435)	11.2 (189)	0.9 (16)	3.2 (54)	1.7 (29)
性 / 年 齢 別	女性全体	967	0.1 (1)	6.2 (60)	9.8 (95)	6.8 (66)	11.0 (106)	13.0 (126)	1.9 (18)	9.1 (88)	24.6 (238)	11.7 (113)	1.0 (10)	3.2 (31)	1.6 (15)
	18歳～29歳	108	- (-)	4.6 (5)	13.0 (14)	9.3 (10)	13.0 (14)	6.5 (7)	2.8 (3)	6.5 (7)	26.9 (29)	8.3 (9)	0.9 (1)	8.3 (9)	- (-)
	30歳～39歳	149	0.7 (1)	6.7 (10)	8.7 (13)	6.0 (9)	10.7 (16)	18.8 (28)	1.3 (2)	5.4 (8)	24.8 (37)	10.7 (16)	0.7 (1)	3.4 (5)	2.0 (3)
	40歳～49歳	175	- (-)	6.9 (12)	11.4 (20)	5.7 (10)	14.9 (26)	12.6 (22)	- (-)	9.1 (16)	21.7 (38)	12.6 (22)	1.7 (3)	2.9 (5)	0.6 (1)
	50歳～59歳	144	- (-)	7.6 (11)	6.9 (10)	4.2 (6)	9.0 (13)	15.3 (22)	2.1 (3)	9.0 (13)	23.6 (34)	19.4 (28)	0.7 (1)	2.1 (3)	- (-)
	60歳～69歳	167	- (-)	5.4 (9)	12.6 (21)	6.0 (10)	10.2 (17)	13.2 (22)	1.2 (2)	10.2 (17)	24.0 (40)	12.0 (20)	1.2 (2)	0.6 (1)	3.6 (6)
	70歳～79歳	151	- (-)	5.3 (8)	6.6 (10)	9.9 (15)	7.3 (11)	11.9 (18)	3.3 (5)	12.6 (19)	26.5 (40)	8.6 (13)	1.3 (2)	4.0 (6)	2.6 (4)
	80歳以上	72	- (-)	6.9 (5)	9.7 (7)	8.3 (6)	12.5 (9)	9.7 (7)	4.2 (3)	11.1 (8)	27.8 (20)	5.6 (4)	- (-)	2.8 (2)	1.4 (1)
	男性全体	700	0.1 (1)	5.4 (38)	11.1 (78)	7.3 (51)	11.9 (83)	12.6 (88)	1.3 (9)	6.7 (47)	27.3 (191)	10.9 (76)	0.9 (6)	3.1 (22)	1.4 (10)
	18歳～29歳	82	- (-)	4.9 (4)	18.3 (15)	12.2 (10)	6.1 (5)	13.4 (11)	- (-)	7.3 (6)	26.8 (22)	7.3 (6)	- (-)	3.7 (3)	- (-)
	30歳～39歳	96	- (-)	7.3 (7)	17.7 (17)	7.3 (7)	11.5 (11)	7.3 (7)	1.0 (1)	6.3 (6)	26.0 (25)	9.4 (9)	1.0 (1)	3.1 (3)	2.1 (2)
	40歳～49歳	99	- (-)	8.1 (8)	11.1 (11)	4.0 (4)	13.1 (13)	12.1 (12)	2.0 (2)	4.0 (4)	30.3 (30)	6.1 (6)	1.0 (1)	6.1 (6)	2.0 (2)
	50歳～59歳	112	- (-)	7.1 (8)	8.0 (9)	7.1 (8)	13.4 (15)	6.3 (7)	1.8 (2)	4.5 (5)	33.9 (38)	11.6 (13)	0.9 (1)	2.7 (3)	2.7 (3)
	60歳～69歳	133	0.8 (1)	7.5 (10)	10.5 (14)	9.0 (12)	10.5 (14)	12.0 (16)	1.5 (2)	7.5 (10)	26.3 (35)	9.8 (13)	1.5 (2)	3.0 (4)	- (-)
	70歳～79歳	123	- (-)	0.8 (1)	6.5 (8)	4.1 (5)	13.0 (16)	22.8 (28)	1.6 (2)	8.1 (10)	23.6 (29)	17.1 (21)	0.8 (1)	1.6 (2)	- (-)
80歳以上	54	- (-)	- (-)	7.4 (4)	9.3 (5)	16.7 (9)	11.1 (6)	- (-)	11.1 (6)	22.2 (12)	14.8 (8)	- (-)	1.9 (1)	5.6 (3)	

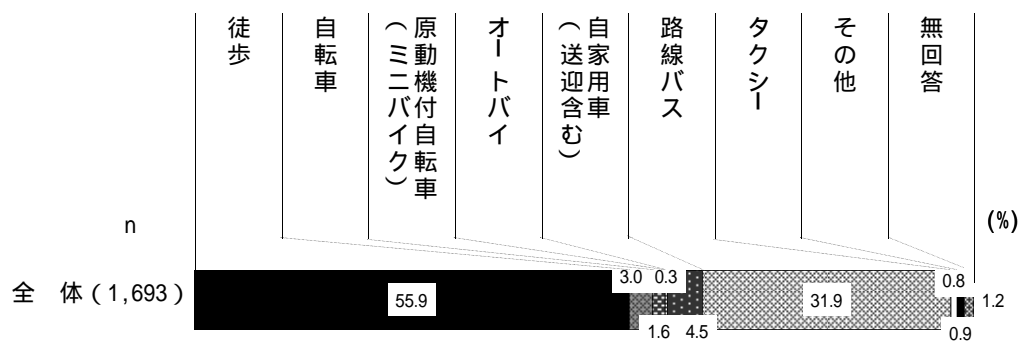
：全体より5ポイント以上高いもの

1-3 最寄り駅までの交通手段

「徒歩」と「路線バス」が主な交通手段

問3 あなたが最寄り駅に行くときの主な交通手段はどれですか。(は1つ)

図表1-9 最寄り駅までの交通手段



(全体) 「徒歩」(55.9%)が5割を超え、最も高い。次に「路線バス」(31.9%)が続いており、この2つが最寄り駅までの区民の主な交通手段になっている。(図表1-9)

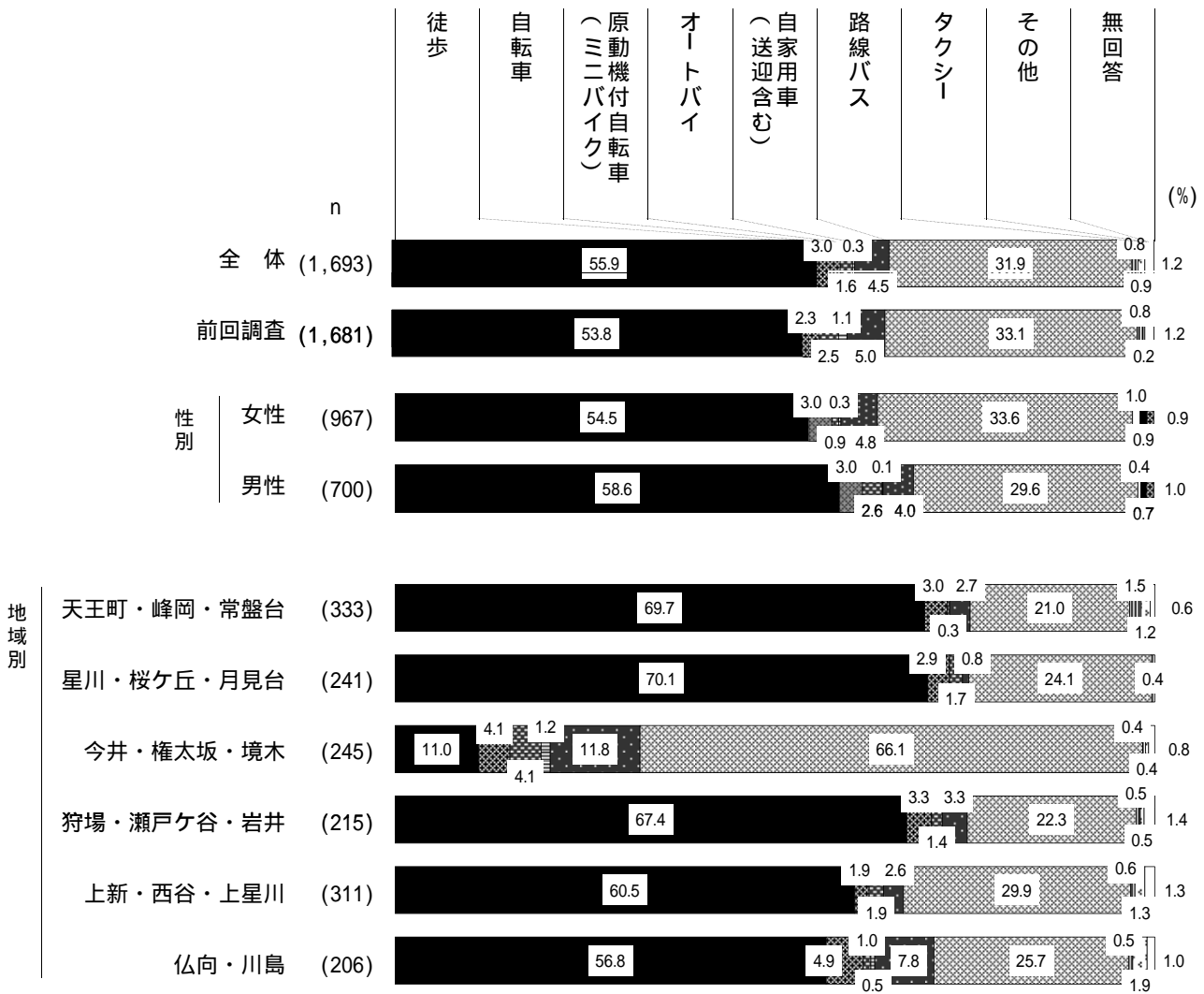
(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表1-10)

(性別) 性別による大きな差はみられない。(図表1-10)

(地域別) 地域別にみて差があるのは以下の箇所となる。(図表1-10)

- ・今井・権太坂・境木以外の地域の傾向は同様である。
- ・今井・権太坂・境木は、「徒歩」(11.0%)が極端に低く、「路線バス」(66.1%)が特に高い。

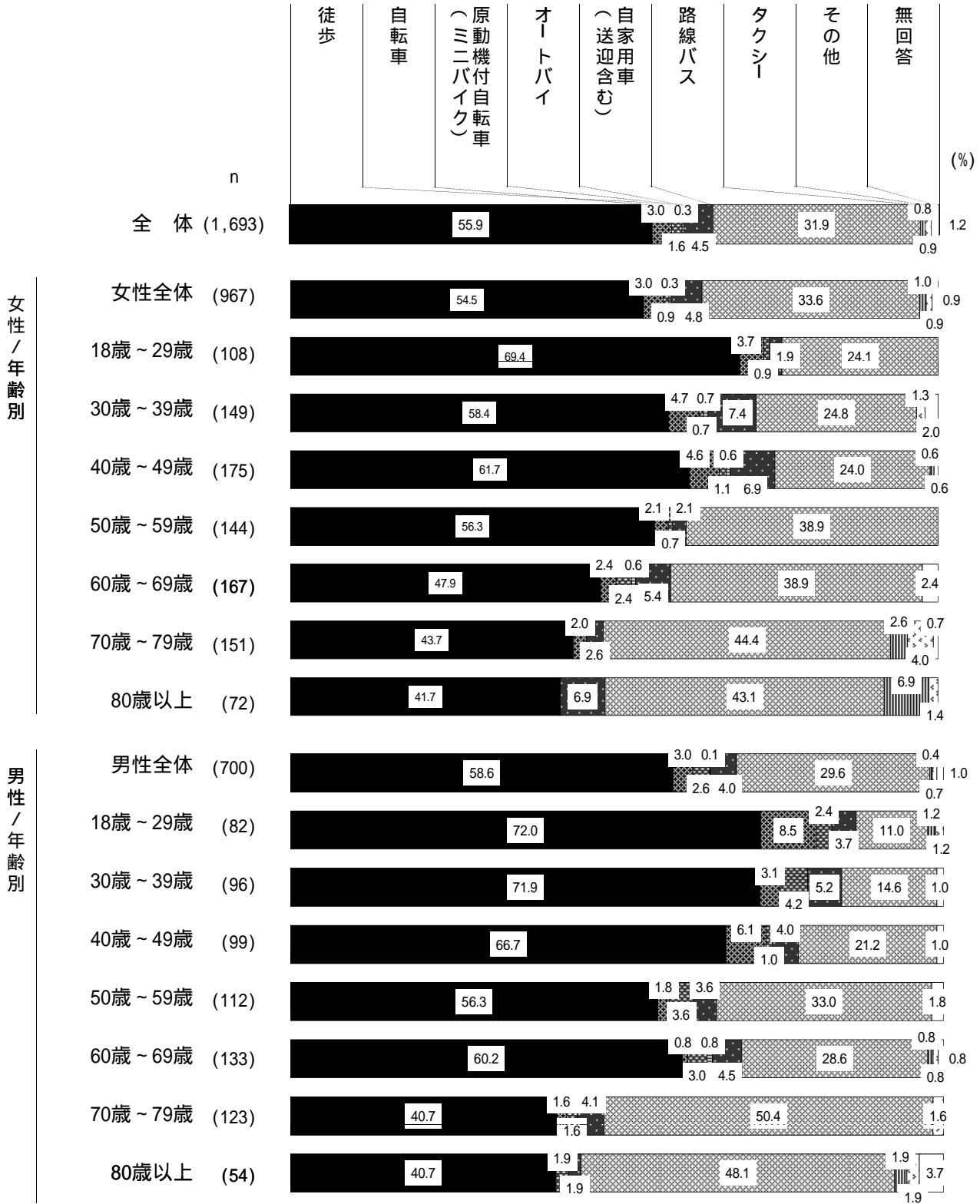
図表1-10 最寄り駅までの交通手段(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表1-11)

- ・「徒歩」は女性の18歳～29歳(69.4%)と40歳～49歳(61.7%)、男性の18歳～49歳が高い。
- ・「路線バス」は、男女ともに年代が上がるにつれて利用率が高くなる傾向がある。

図表 1-11 最寄り駅までの交通手段(性×年齢別)

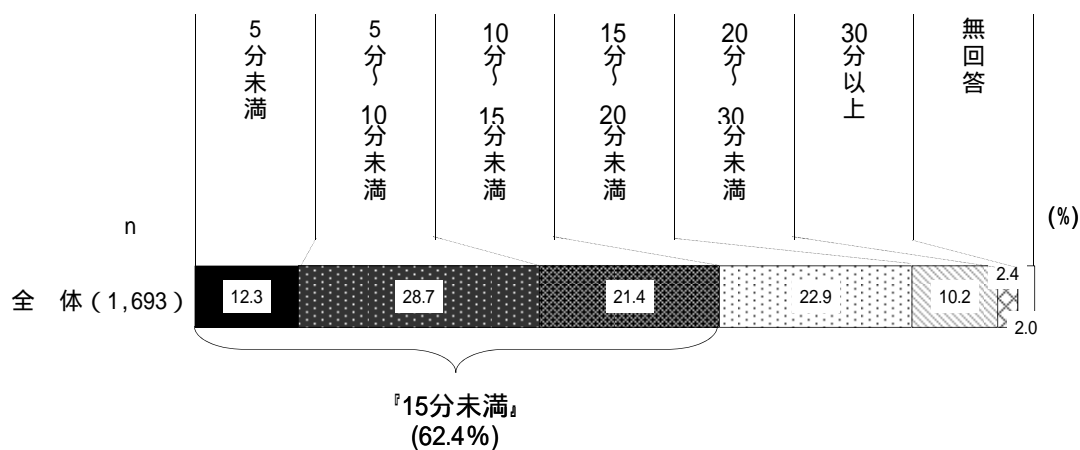


1 - 4 最寄り駅までの所要時間

15分未満が6割前半

問4 あなたが、問3で答えた手段を使って最寄り駅まで行くには、どのくらい時間がかかりますか。
(は1つ)

図表1-12 最寄り駅までの所要時間



(全体) 上位3項目は以下となる。(図表1-12)

- ・「5分～10分未満」(28.7%)
- ・「15分～20分未満」(22.9%)
- ・「10分～15分未満」(21.4%)

また、寄り駅までの時間が15分未満である人の割合は、62.4%となっている。

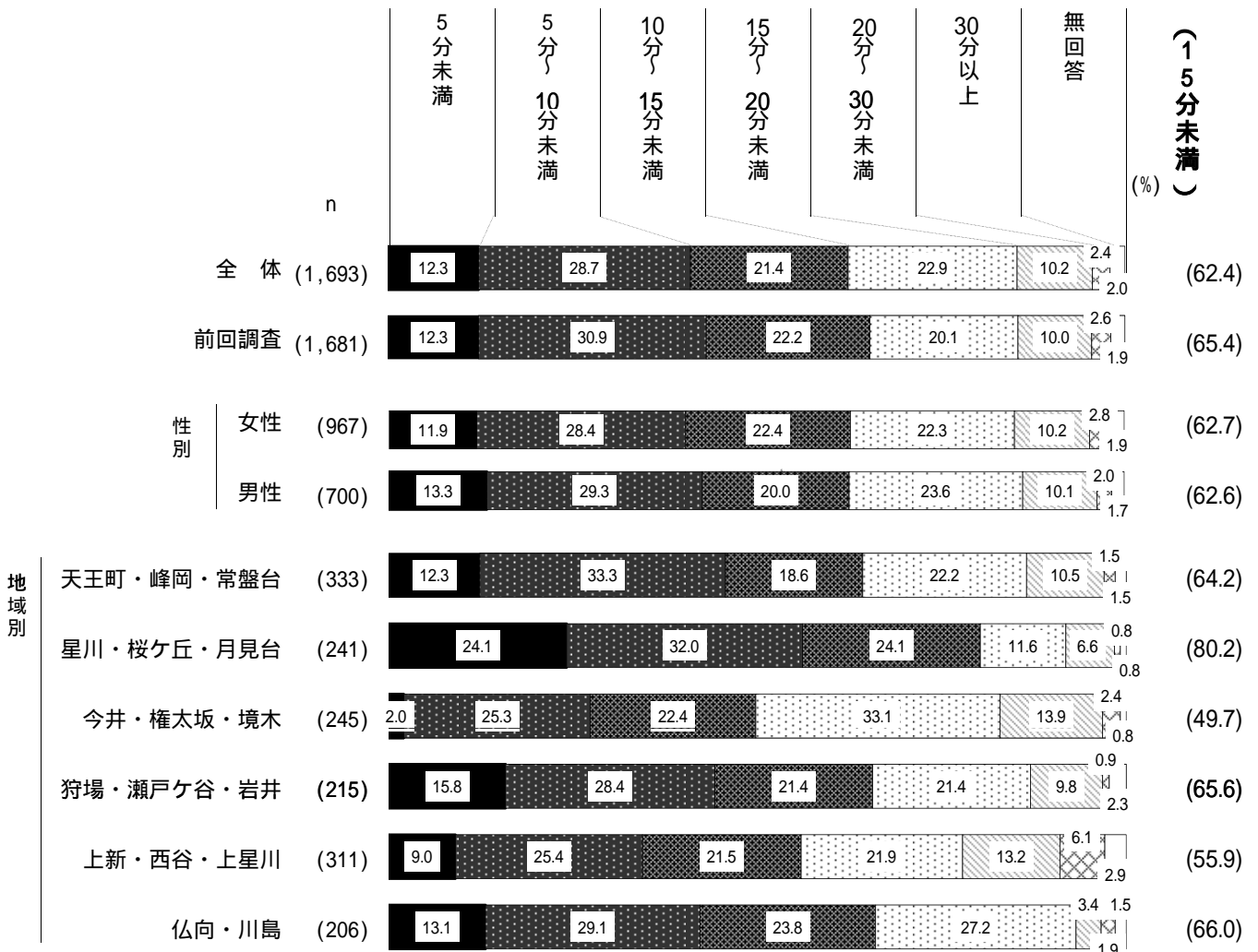
(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表1-13)

(性別) 性別による大きな差はみられない。(図表1-13)

(地域別) 地域別で差があるのは以下の箇所となる。(図表1-13)

- ・「5分未満」は、星川・桜ヶ丘・月見台(24.1%)で高く、今井・権太坂・境木(2.0%)で低い。
 - ・「15分～20分未満」は、今井・権太坂・境木(33.1%)で高く、星川・桜ヶ丘・月見台(11.6%)で低い。
- 15分未満である人の割合は、星川・桜ヶ丘・月見台(80.2%)で高く、今井・権太坂・境木(49.7%)と上新・西谷・上星川(55.9%)で低い。

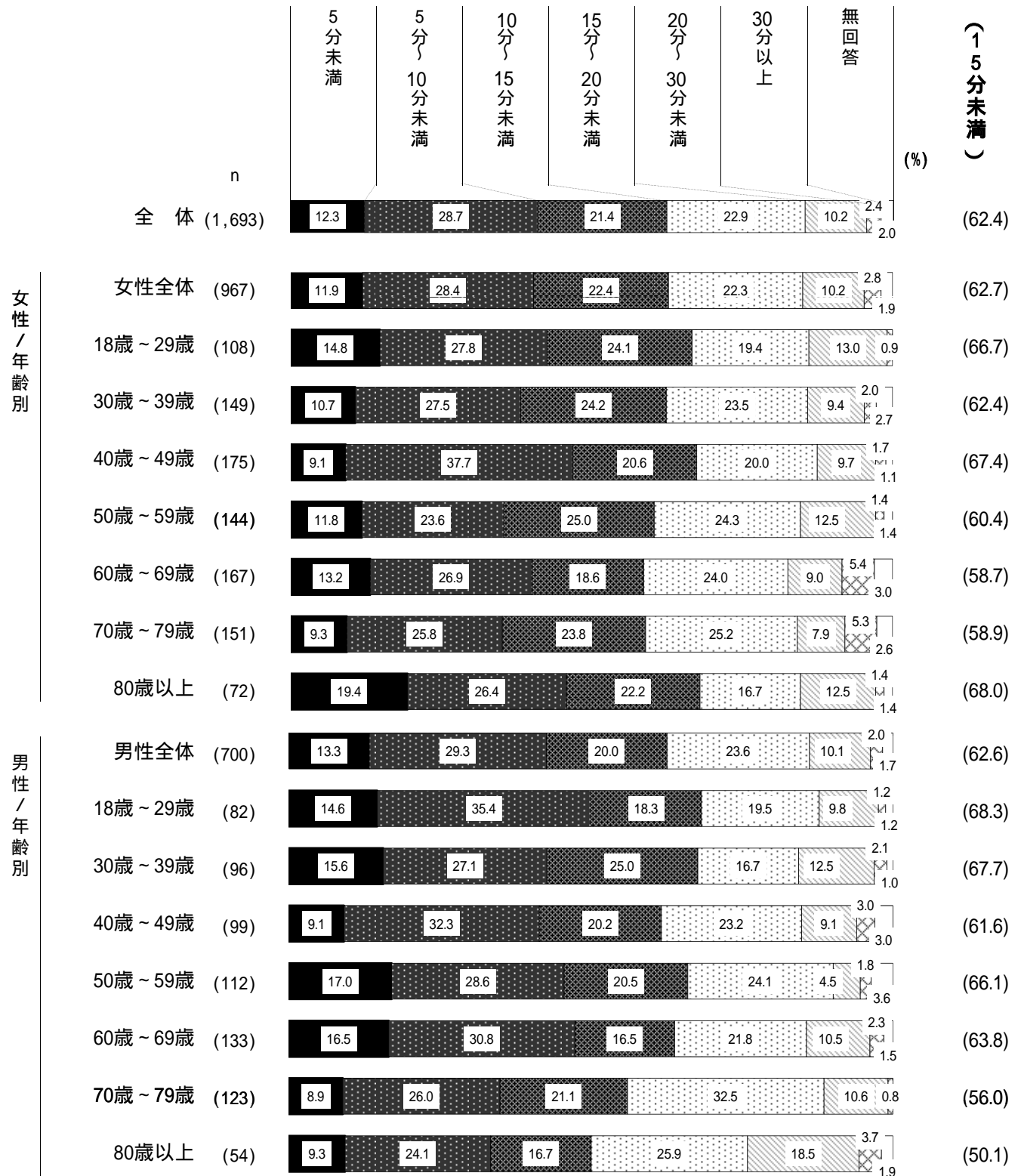
図表1-13 最寄り駅までの所要時間(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、全体と比べて差があるのは以下の箇所となる。(図表1-14)

- ・「5分未満」は、女性の80歳以上(19.4%)が高い。
 - ・「15分～20分未満」は、男性の70歳～79歳(32.5%)が高い。
 - ・「20分～30分未満」は、男性の80歳以上(18.5%)が高い。
- 15分未満である人の割合は、男性の80歳以上(50.1%)が低い。

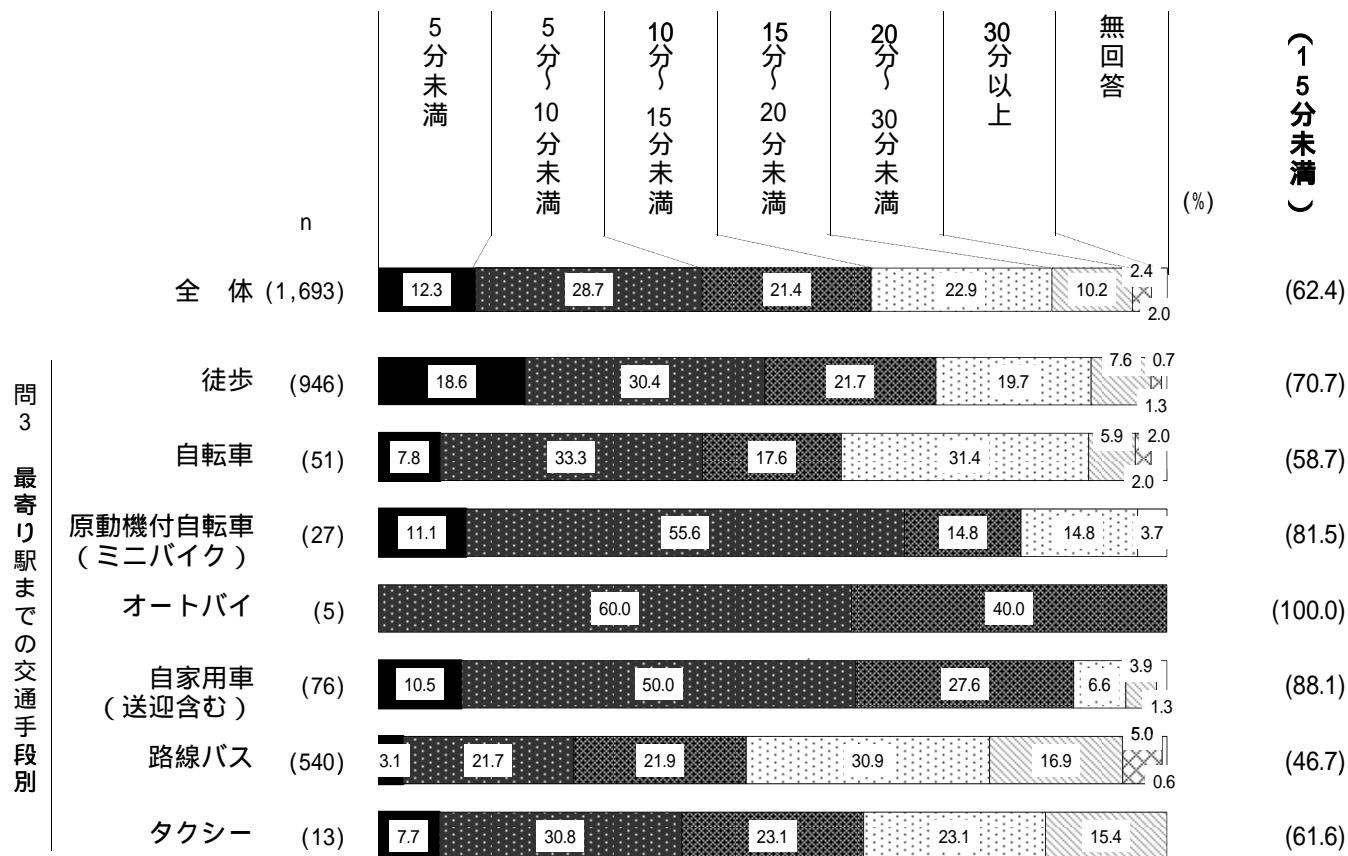
図表1-14 最寄り駅までの所要時間(性×年齢別)



【最寄り駅までの交通手段別】最寄り駅までの交通手段別にて、15分未満の人の割合で差があるのは以下の箇所となる。(図表1-15)

- ・原動機付自転車(81.5%)、オートバイ(100.0%)、自家用車(88.1%)で8割を超え多い。
- ・路線バスで(46.7%)は4割台半ばと非常に少ない。

図表1-15 最寄り駅までの所要時間（問3最寄り駅までの交通手段別）



利用者の多い「徒歩」と「路線バス」について

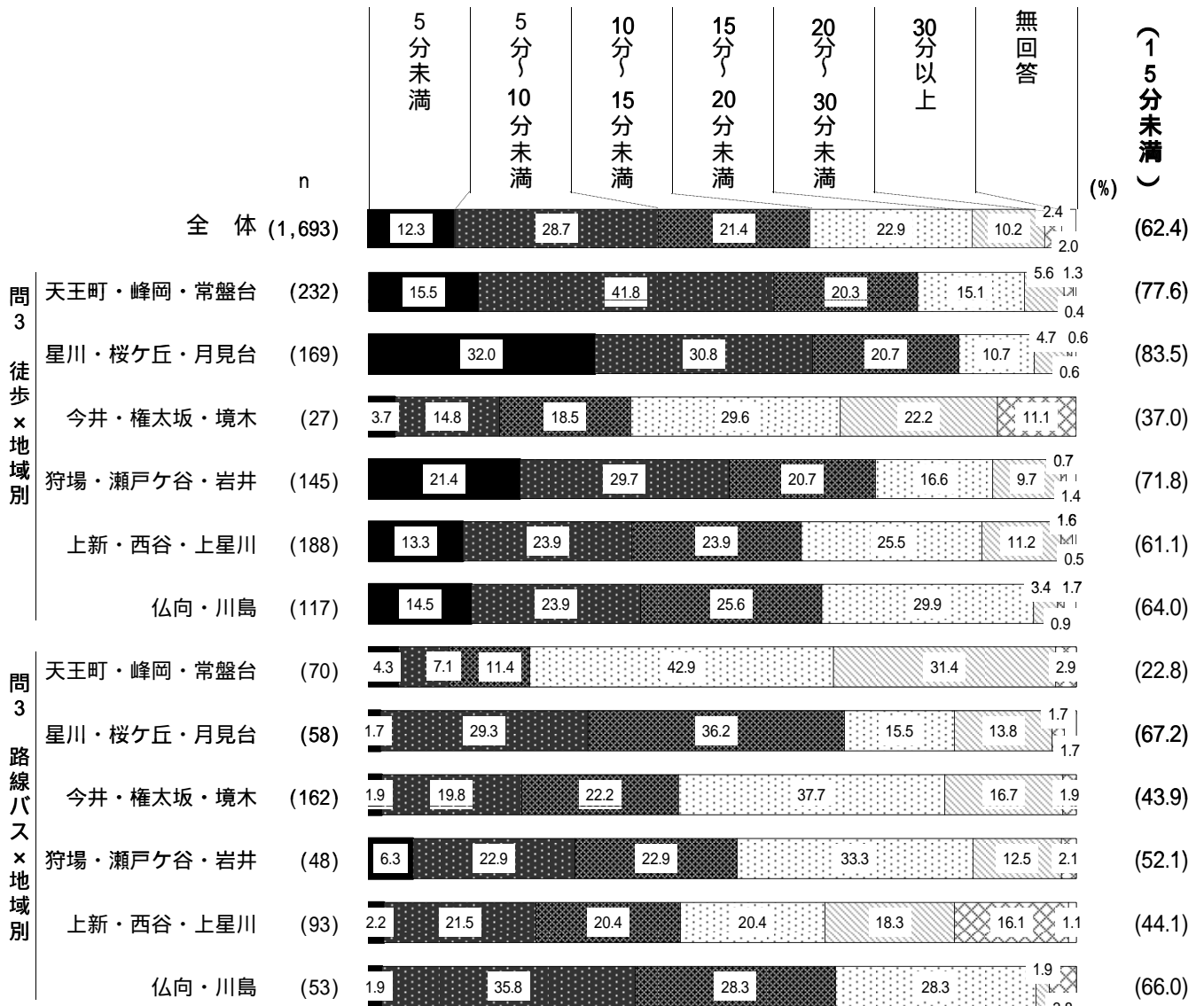
(徒歩×地域別) 徒歩及び地域別にみて、全体と比べて差があるのは以下の箇所となる。(図表1-16)

- ・「5分未満」は、星川・桜ヶ丘・月見台(32.0%)で特に高い。
 - ・「5分～10分未満」は、天王町・峰岡・常盤台(41.8%)で高く、今井・権太坂・境木(14.8%)で低い。
- 15分未満である人の割合は、天王町・峰岡・常盤台(77.6%)と星川・桜ヶ丘・月見台(83.5%)で多く、今井・権太坂・境木(37.0%)で極端に少ない。

(路線バス×地域別) 路線バス及び地域別にみて、全体と比べて差があるのは以下の箇所となる。(図表1-16)

- ・「5分～10分未満」は、天王町・峰岡・常盤台(7.1%)で特に低い。
 - ・「10分～15分未満」は、星川・桜ヶ丘・月見台(36.2%)で高い。
 - ・「15分～20分未満」は、天王町・峰岡・常盤台(42.9%)と今井・権太坂・境木(37.7%)で高い。
- 15分未満である人の割合は、天王町・峰岡・常盤台(22.8%)で極端に少ない。

図表1-16 最寄り駅までの所要時間(問3交通手段 徒歩・路線バス ×地域別)

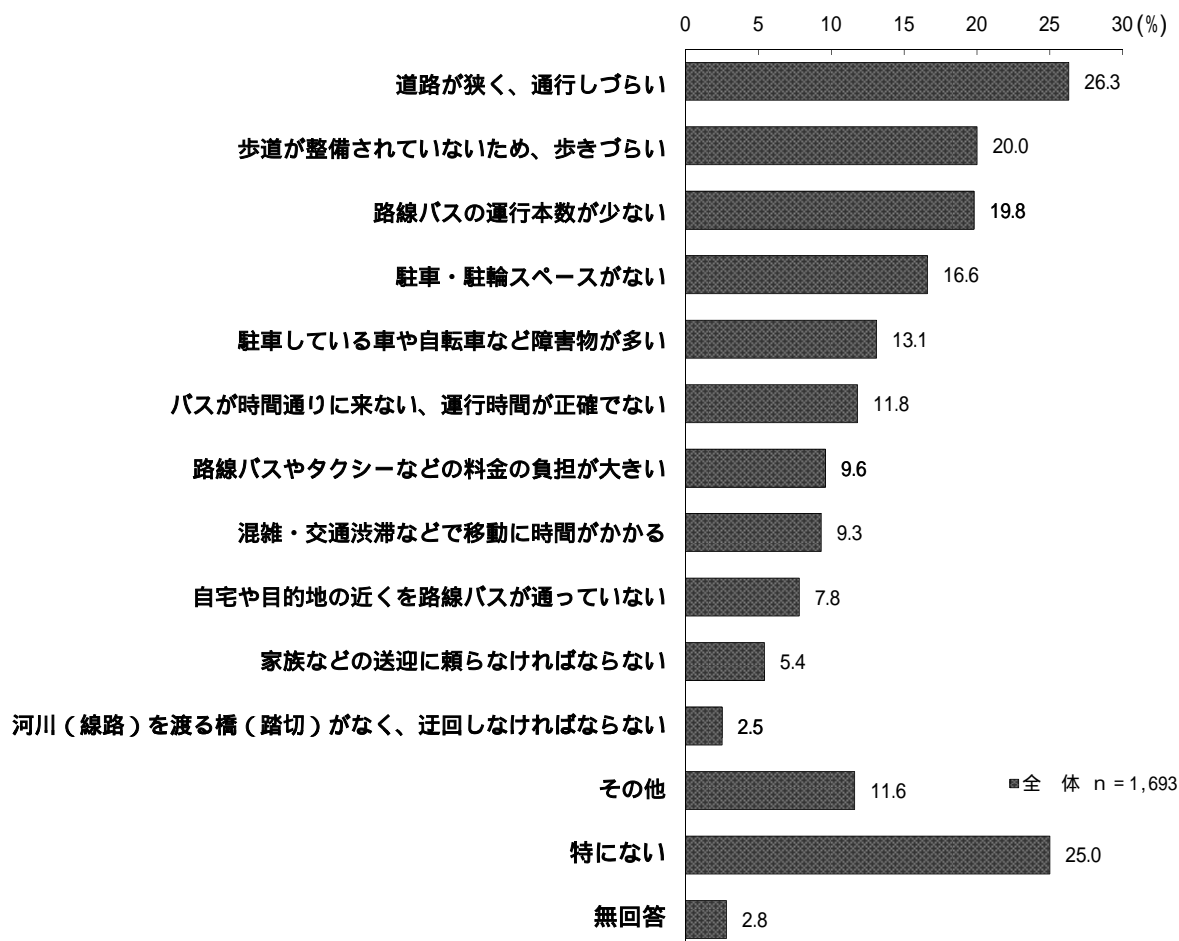


1-5 近場に外出するときに困っていること

「道路が狭く、通行しづらい」と「特にない」が並んで2割半ば

問5 あなたは、近場(電車を利用せずに移動できる程度の範囲)に外出するときに、困っていることはありますか。(はいいくつでも)

図表1-17 近場に外出するときに困っていること



(全体) 上位5項目は以下となる。(図表1-17)

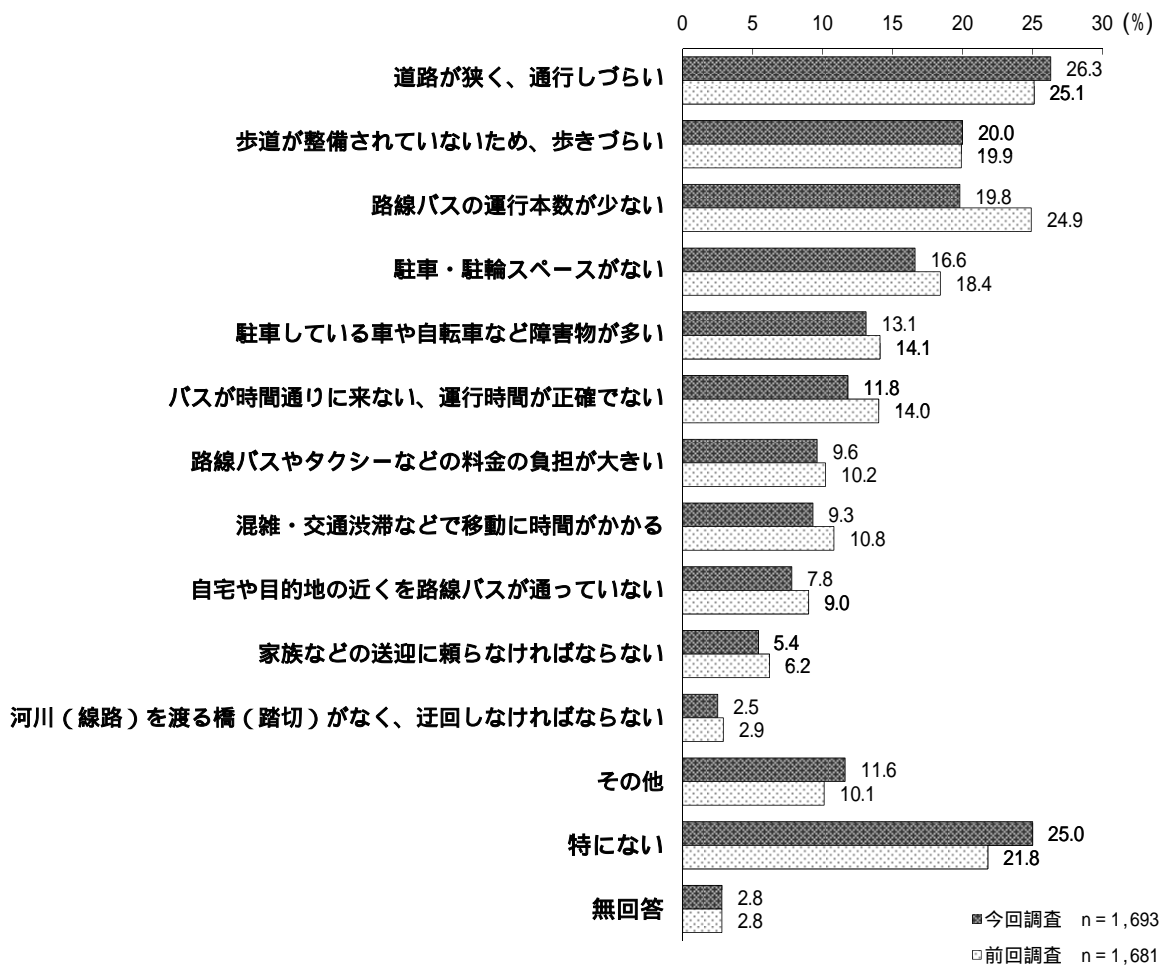
- ・「道路が狭く、通行しづらい」(26.3%)
- ・「歩道が整備されていないため、歩きづらい」(20.0%)
- ・「路線バスの運行本数が少ない」(19.8%)
- ・「駐車・駐輪スペースがない」(16.6%)
- ・「駐車している車や自転車など障害物が多い」(13.1%)

また、「特にない」は、25.0%である。

(前回調査(平成21年度)との比較) 傾向の変化は以下の箇所となる。(図表1-19)

- ・「道路が狭く通行しづらい」と「歩道が整備されていないため、歩きづらい」以外の項目については、困っていると回答したポイントが減少している。
- ・「歩道が整備されていないため、歩きづらい」と「路線バスの運行本数が少ない」の順位が入れ替わった。
- ・「路線バスやタクシーなどの料金の負担が大きい」と「混雑・交通渋滞などで移動に時間がかかる」の順位が入れ替わった。
- ・「路線バスやタクシーなどの料金の負担が大きい」は、5.1ポイント減少し、「特にない」は、3.2ポイント増加している。

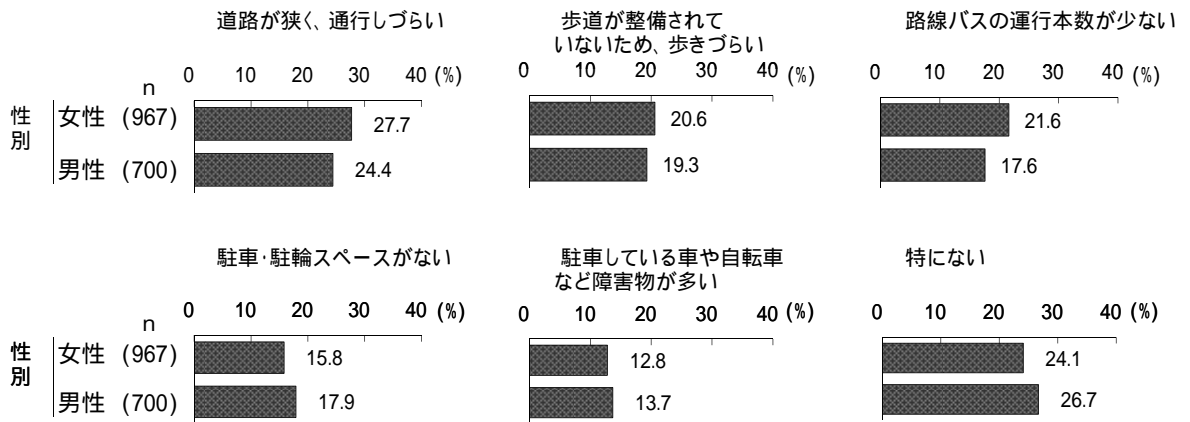
図表1-18 近場に外出するときに困っていること(前回調査との比較)



上位5項目と「特にない」について

(性別) 上位5項目と「特にない」を性別にみて大きな差はない。(図表1-19)

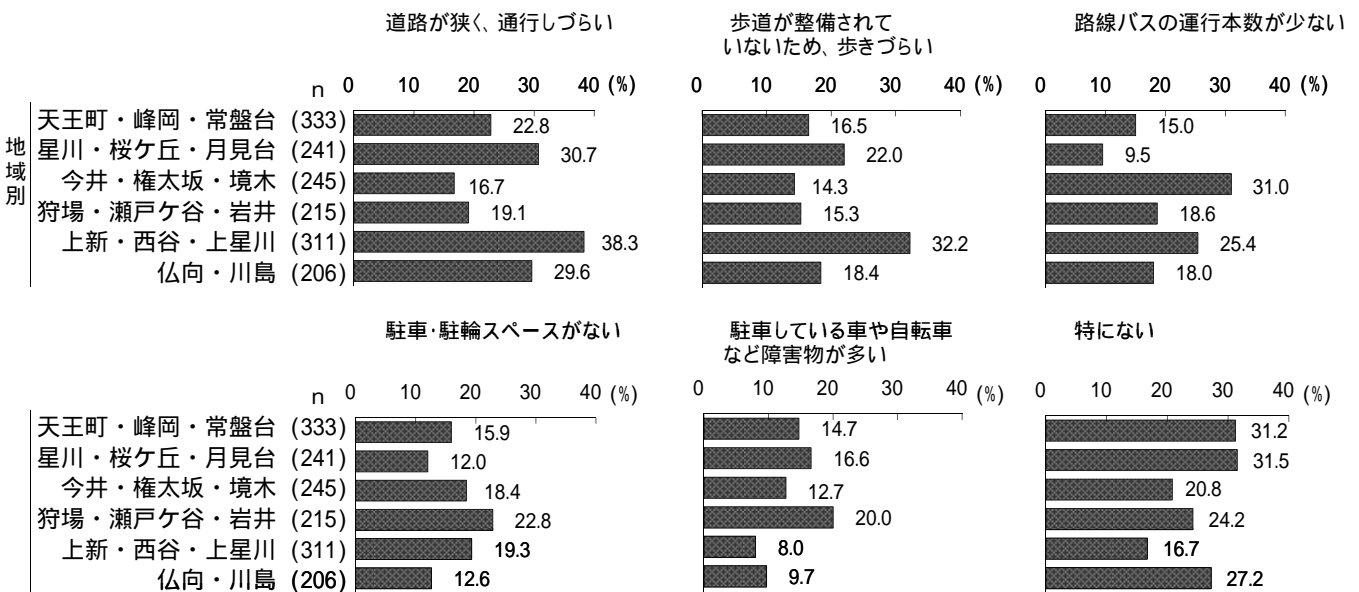
図表1-19 近場に外出するときに困っていること(性別、上位5項目、「特にない」)



(地域別) 上位5項目と「特にない」を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表1-20)

- ・「道路が狭く、通行しづらい」と「歩道が整備されていないため、歩きづらい」は、上新・西谷・上星川(38.3%)で高く、今井・権太坂・境木(16.7%)と狩場・瀬戸ケ谷・岩井(19.1%)で低い。
- ・「路線バスの運行本数が少ない」は、今井・権太坂・境木(31.0%)で高く、星川・桜ヶ丘・月見台(9.5%)で低い。

図表1-20 近場に外出するときに困っていること(地域別、上位5項目、「特にない」)

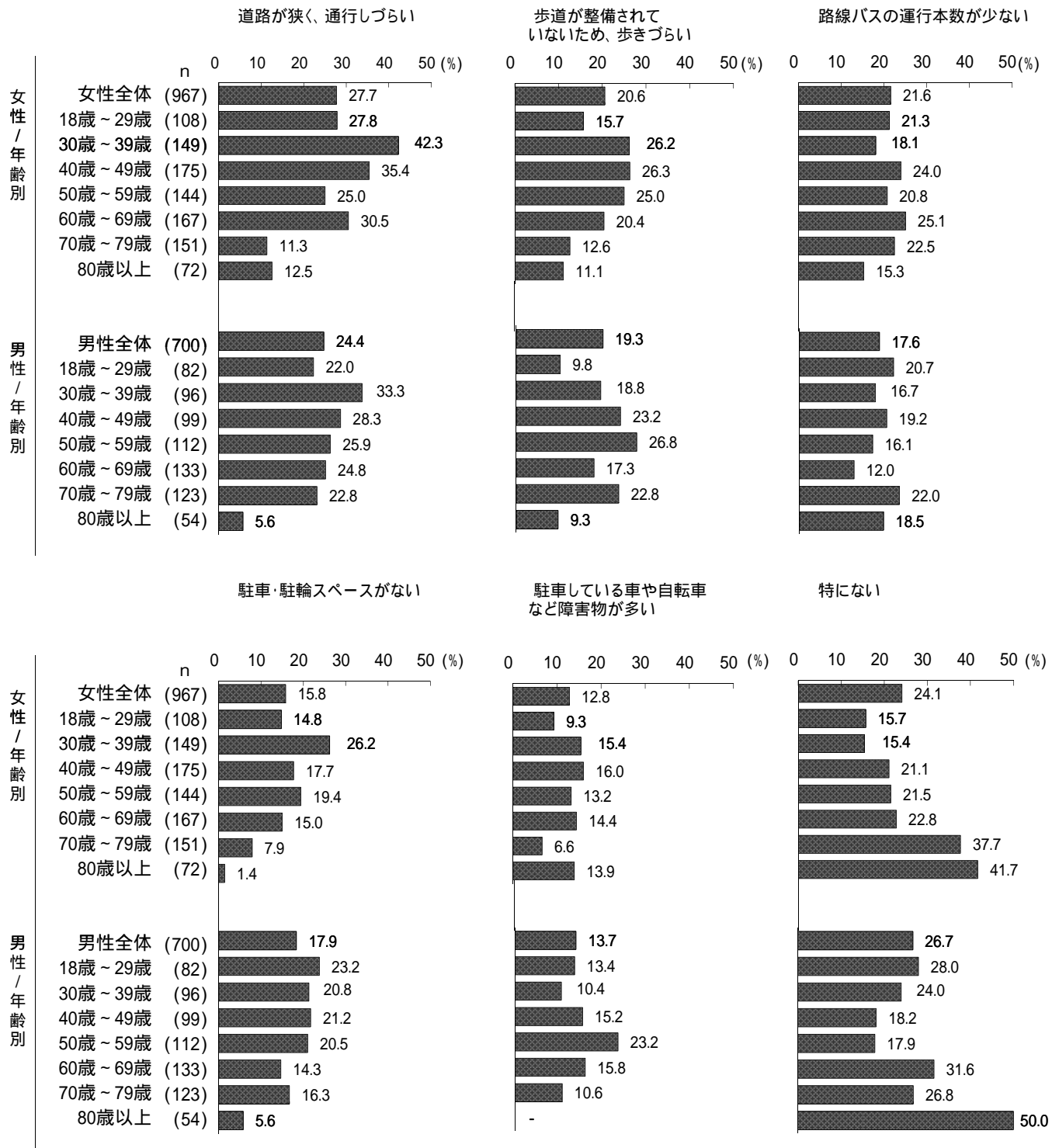


(性×年齢別) 上位5項目と「特にない」を性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表1-21)

- ・「道路が狭く、通行しづらい」は、女性30歳～39歳(42.3%)で特に高く、男性80歳以上(5.6%)で特に低い。
- ・「歩道が整備されていないため、歩きづらい」は、男女18歳～29歳と女性70歳～80歳以上と男性80歳以上で低い。
- ・「駐車・駐輪スペースがない」は、男女80歳以上で特に低い。

全体的に男女とも、高年齢層よりも中年年齢層の方が外出時に何らかで困っている傾向がある。

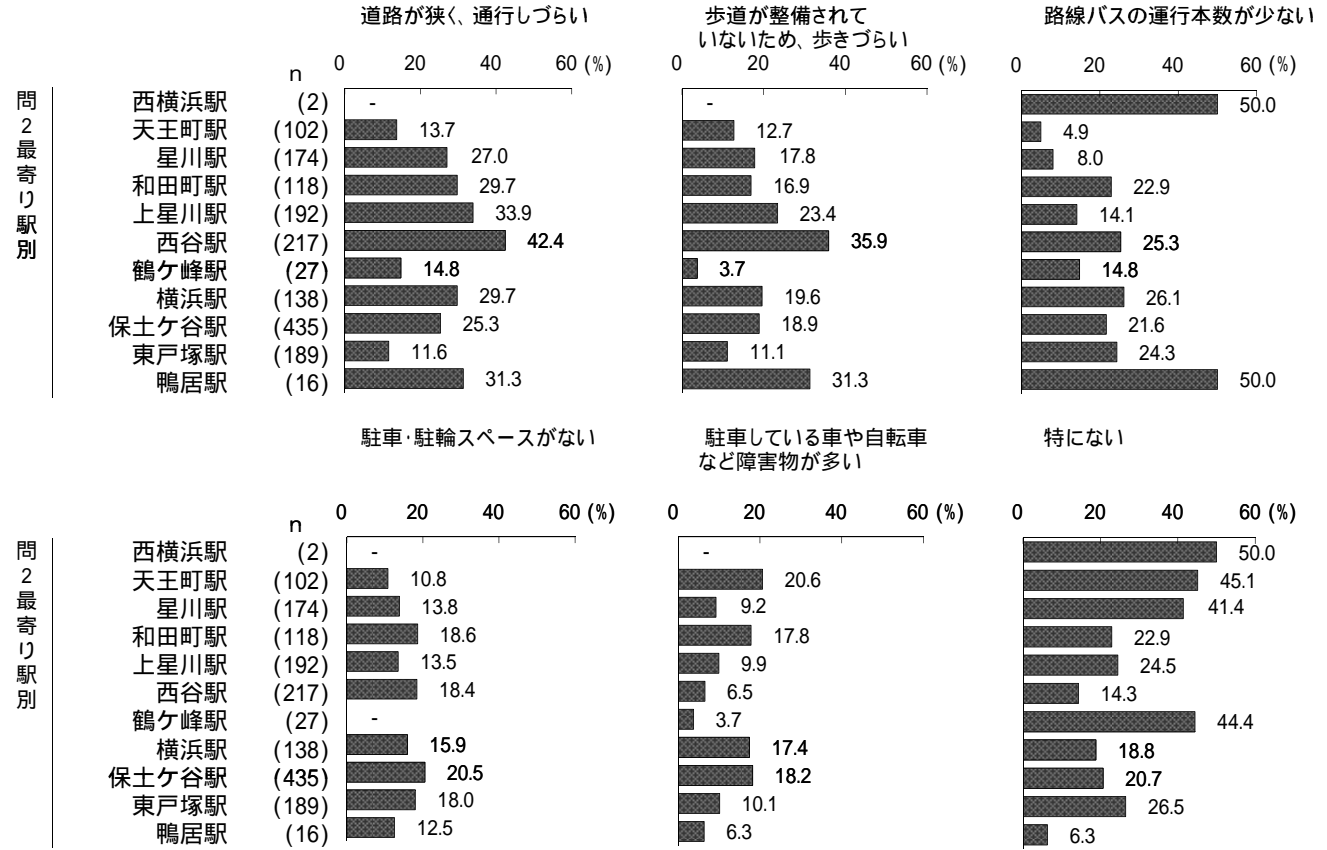
図表1-21 近場に外出するときに困っていること(性×年齢別、上位5項目、「特にない」)



〔最寄り駅別〕 上位5項目と「特にない」を最寄り駅別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表1-22)

- ・「道路が狭く、通行しづらい」と「歩道が整備されていないため、歩きづらい」は、上星川駅と西谷駅と鴨居駅で高く、鶴ヶ峰駅と東戸塚駅で低い。
- ・「路線バスの運行本数が少ない」は、西横浜駅と鴨居駅で特に高く、天王町駅と星川駅で低い。
- ・「特にない」は、西横浜駅と天王町駅と星川駅と鶴ヶ峰駅で特に高く、鴨居駅で特に低い。

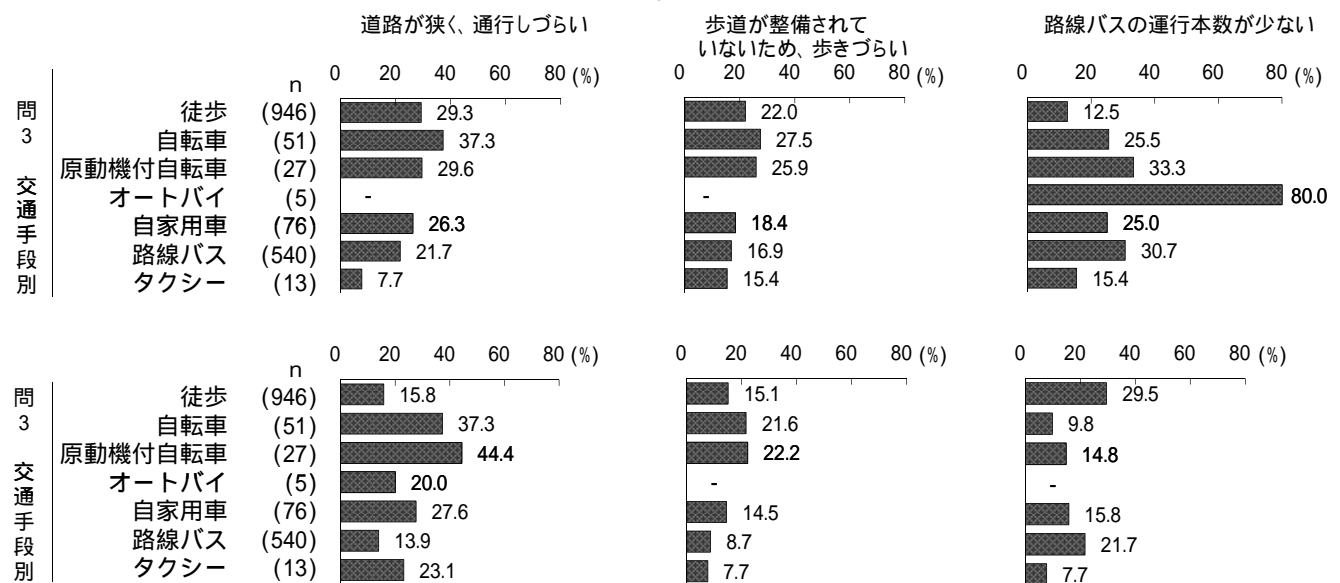
図表1-22 近場に外出するときに困っていること(問2最寄り駅別、上位5項目、「特にない」)



〔最寄り駅までの交通手段別〕 上位5項目と「特にない」を交通手段別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表1-23)

- ・「道路が狭く、通行しづらい」は、自転車(37.3%)で高く、タクシー(7.7%)で特に低い。
- ・「路線バスの運行本数が少ない」は、オートバイ(80.0%)で極端に高い。
- ・「駐車・駐輪スペースがない」は、自転車と原動機付自転車と自家用車で高い。

図表1-23 近場に外出するときに困っていること(問3最寄り駅までの交通手段別、上位5項目、「特にない」)



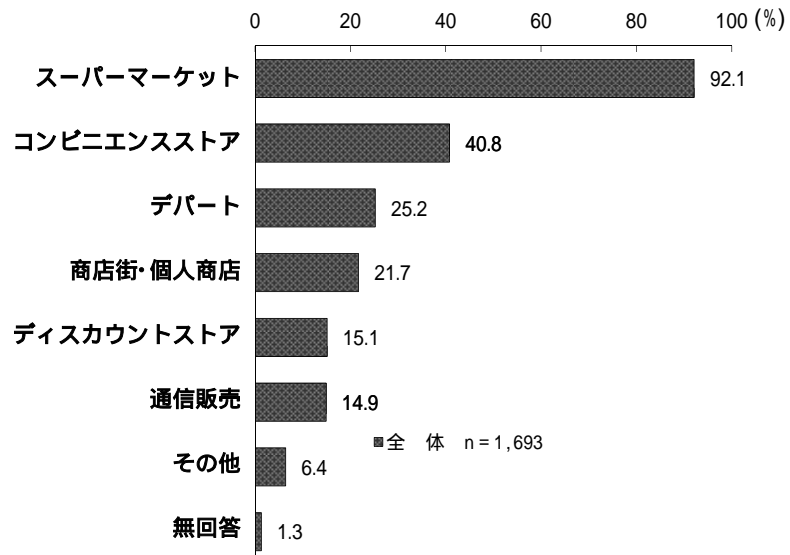
2 日常の買い物について

2-1 日常の買い物をしている場所

「スーパーマーケット」が9割前半、「コンビニエンスストア」が4割強

問6 あなたが日常の買い物(食料品、日用雑貨、普段着など)をしている場所は、どこですか。
(は3つまで)

図表2-1 日常の買い物をしている場所(複数回答)



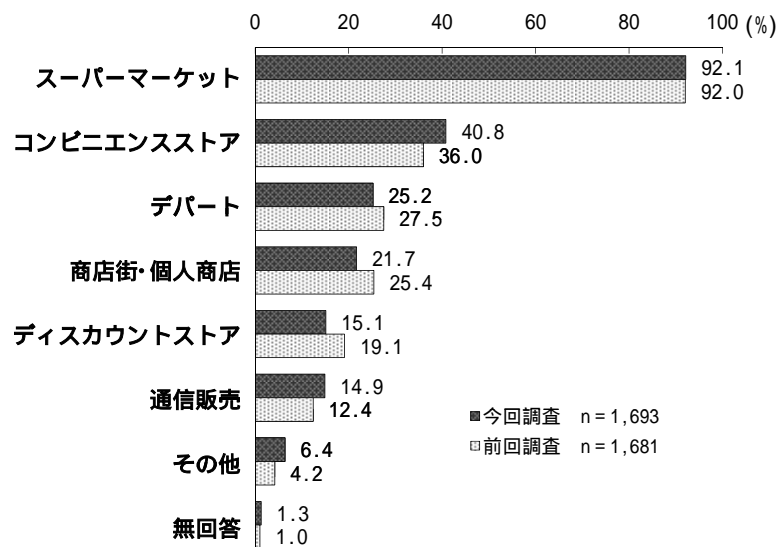
(全体) 上位3項目は以下となる。(図表2-1)

- ・「スーパーマーケット」(92.1%)
- ・「コンビニエンスストア」(40.8%)
- ・「デパート」(25.2%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 傾向に大きな変化はないが、目立った増減は以下の箇所となる。(図表2-2)

- ・「コンビニエンスストア」は4.8ポイント増加している。
- ・「商店街、個人商店」は3.7ポイント、「ディスカウントストア」は4.0ポイント、減少している。

図表2-2 日常の買い物をしている場所(前回調査との比較)

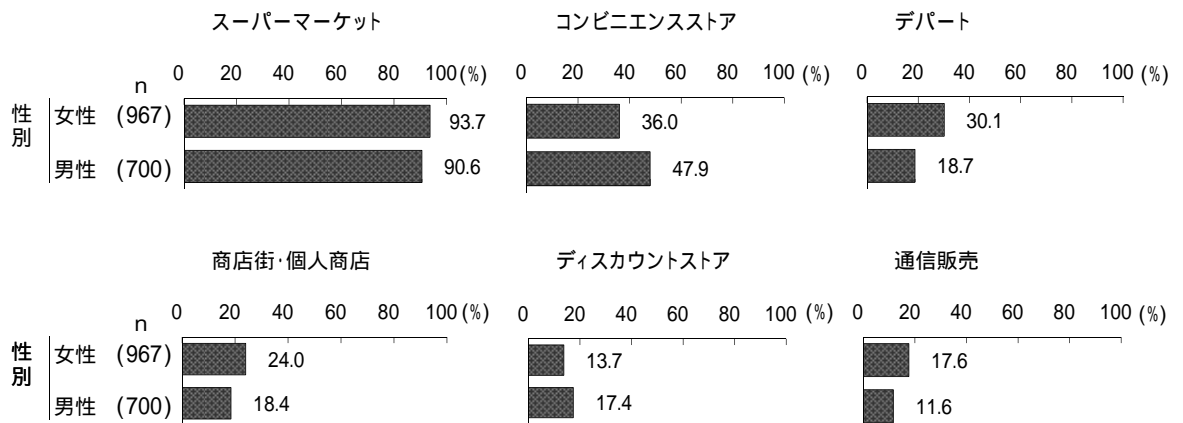


上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-3)

- ・「デパート」11.4ポイント、「店街・個人商店」で5.6ポイント女性の方が高い。
- ・「コンビニエンスストア」で11.9ポイント、「ディスカウントストア」で3.7ポイント男性の方が高い。
- 「コンビニエンスストア」と「デパート」において性別差が10ポイント以上と大きい。

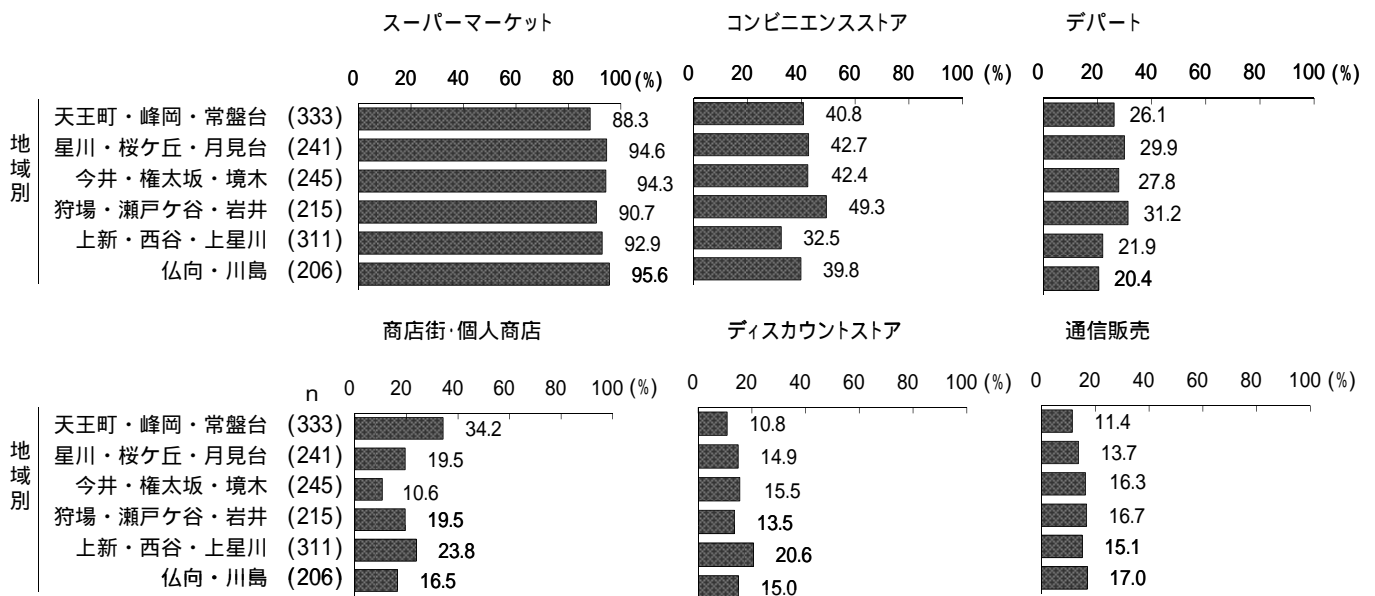
図表2-3 日常の買い物をしている場所（性別、上位6項目）



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-4)

- ・「コンビニエンスストア」は、上新・西谷・上星川(32.5%)で低い。
- ・「商店街・個人商店」は、天王町・峰岡・常盤台(34.2%)で高く、今井・権太坂・境木(10.6%)で低い。

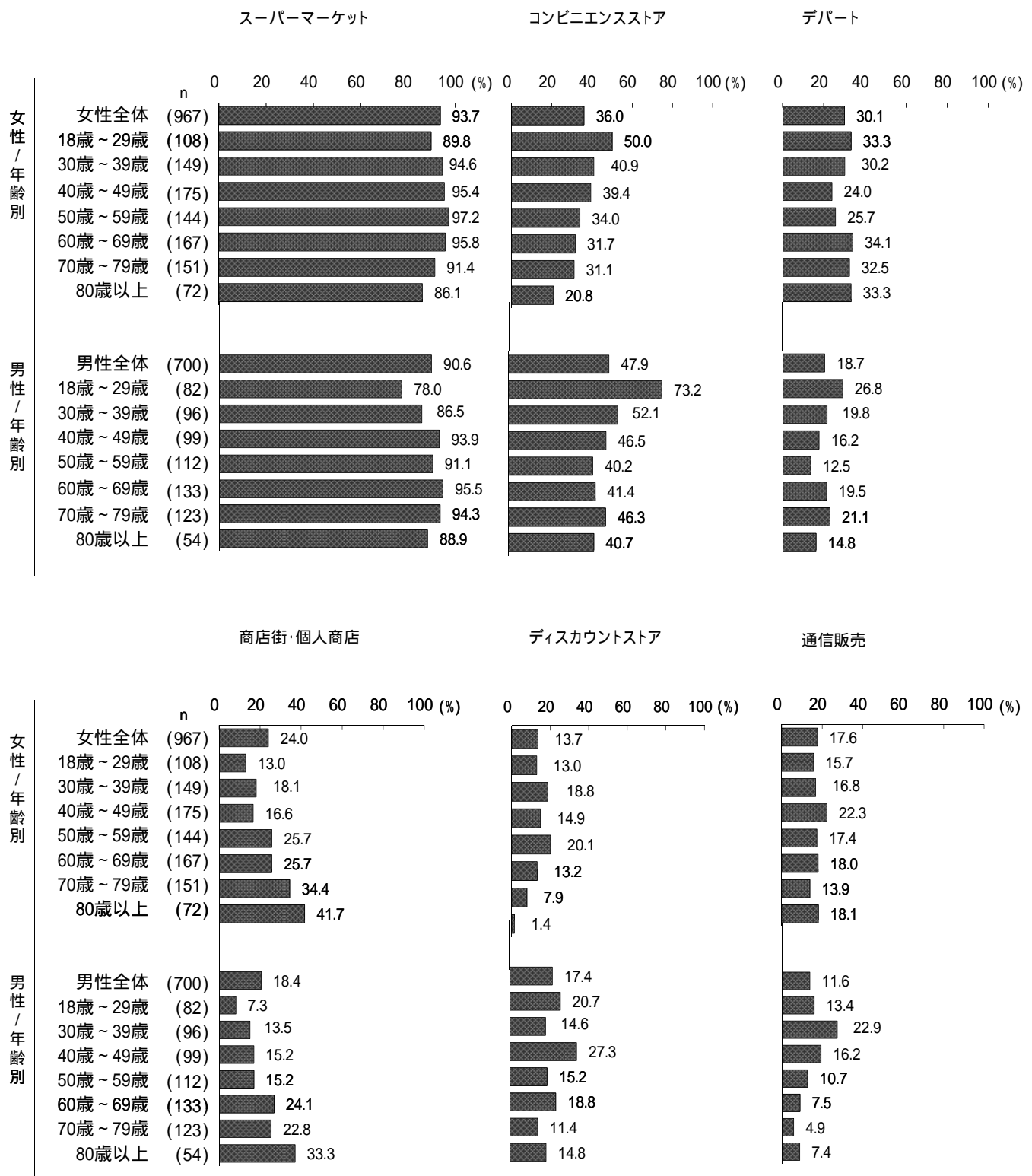
図表2-4 日常の買い物をしている場所（地域別、上位6項目）



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-5)

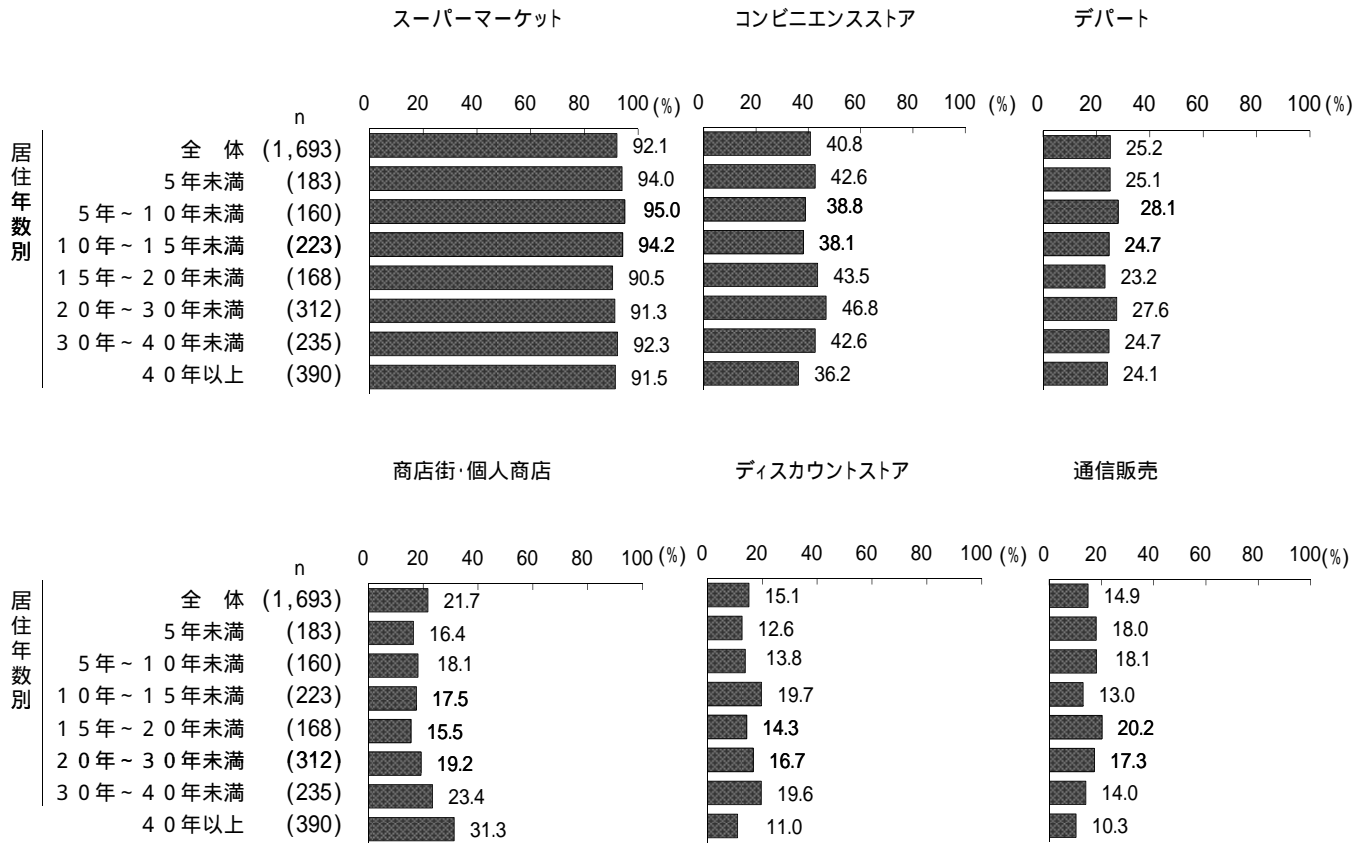
- ・「コンビニエンスストア」は、男性18歳～29歳(73.2%)で特に高い。
- ・「デパート」は、男性のうち、18歳～29歳(26.8%)以外で低い。
- ・「商店街・個人商店」は、男女ともに年代が上がるにつれて利用率がやや高くなる傾向がある。

図表2-5 日常の買い物をしている場所(性×年齢別、上位6項目)



(居住年数別) 上位6項目を居住年数別にみると、「商店街・個人商店」は、居住年数が30年以上の層では居住年数が長くなるにつれて利用率が高くなっている。(図表2-6)

図表2-6 日常の買い物をしている場所（居住年数別、上位6項目）

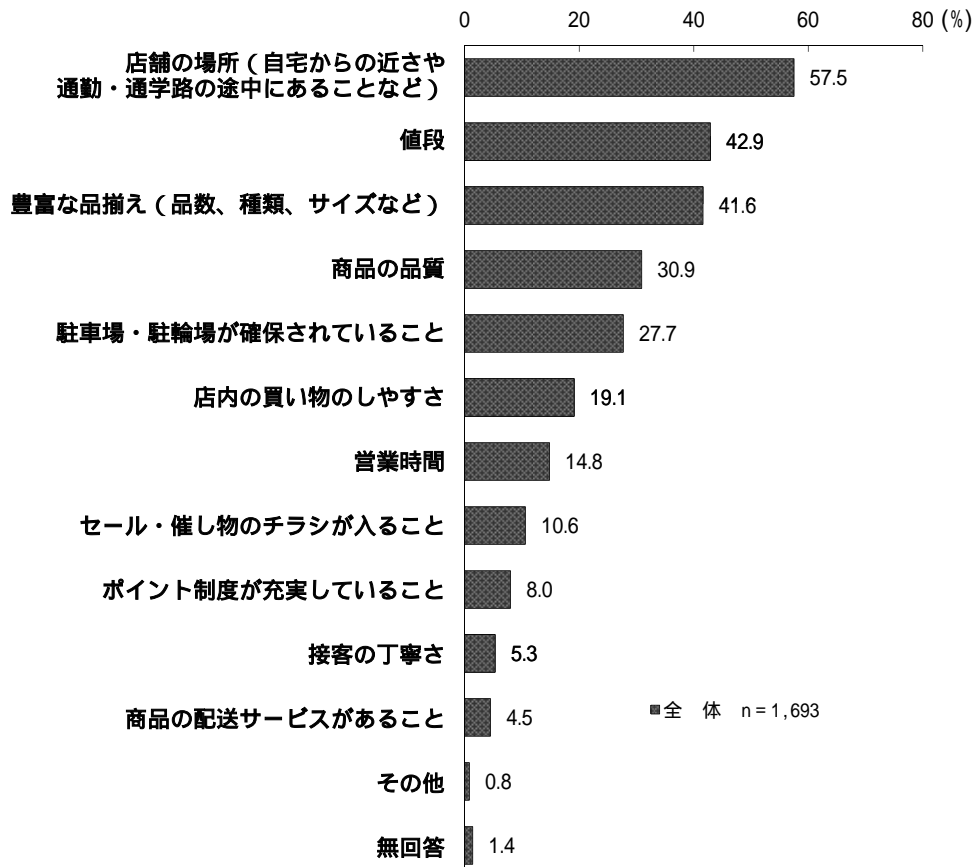


2 - 2 買い物をする店を決める際に重視すること

「店舗の場所」を重視する人が5割後半

問7 あなたが日常の買い物をする店を決める際に、重視することは何ですか。
(は3つまで)

図表2-7 日常の買い物をする店を決める際に重視すること(複数回答)

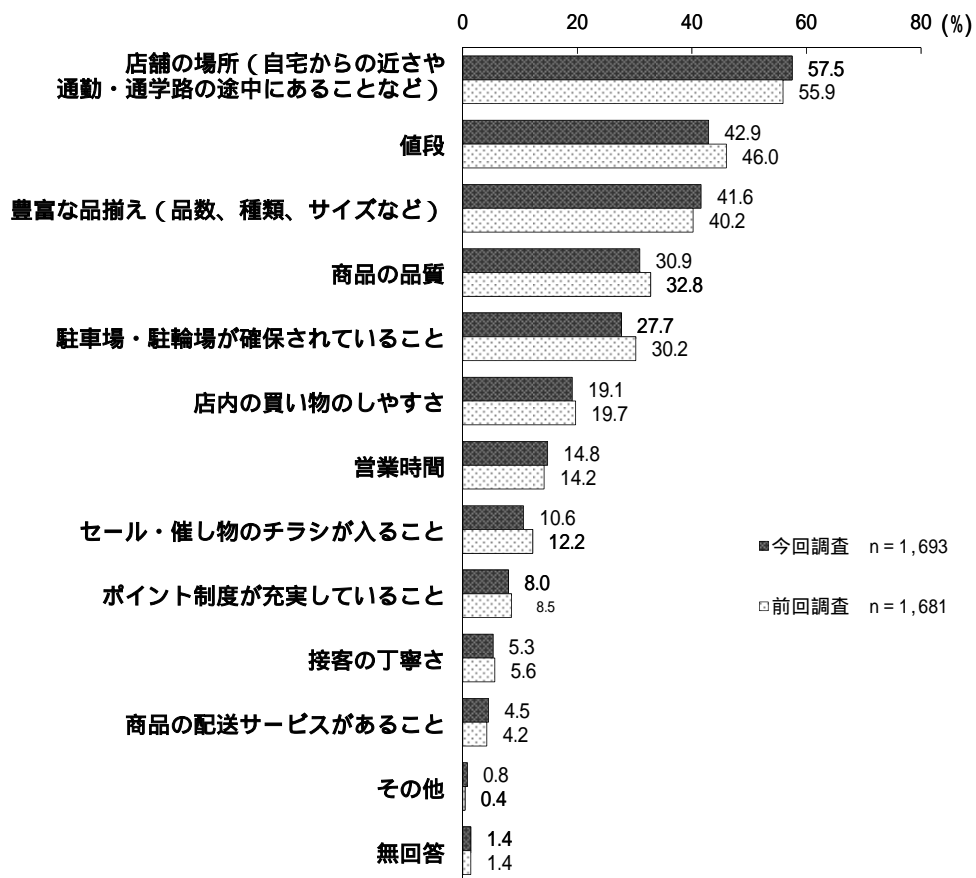


(全体) 上位6項目は以下となる。(図表2-7)

- ・「店舗の場所」(57.5%)
- ・「値段」(42.9%)
- ・「豊富な品揃え」(41.6%)
- ・「商品の品質」(30.9%)
- ・「駐車場・駐輪場が確保されていること」(27.7%)
- ・「店内の買い物のしやすさ」(19.1%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな変化はみられない。(図表2-8)

図表2-8 日常の買い物をする店を決める際に重視すること(前回調査との比較)

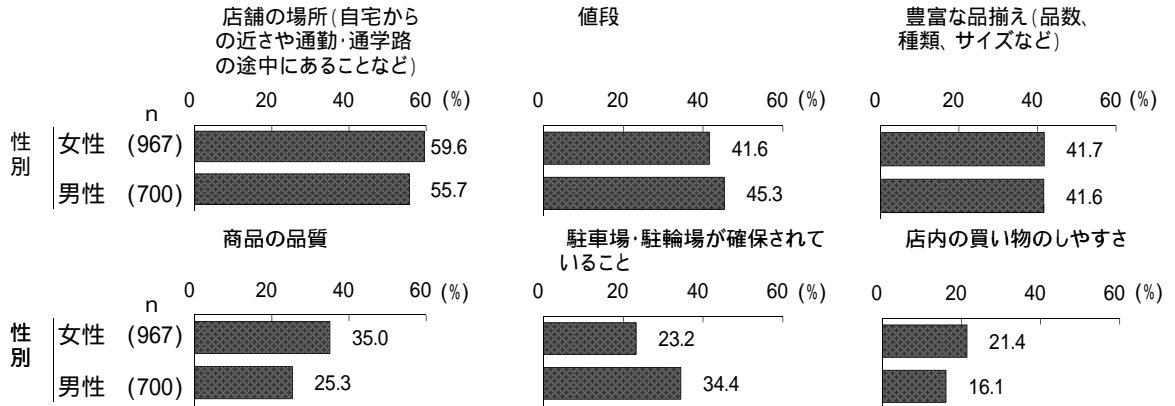


上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-9)

- ・「商品の品質」は9.7ポイント、「店内の買い物のしやすさ」は5.3ポイント女性の方が高く、重視されている。
- ・「駐車場・駐輪場が確保されていること」は11.2ポイント男性の方が高く、男性に重視されている。

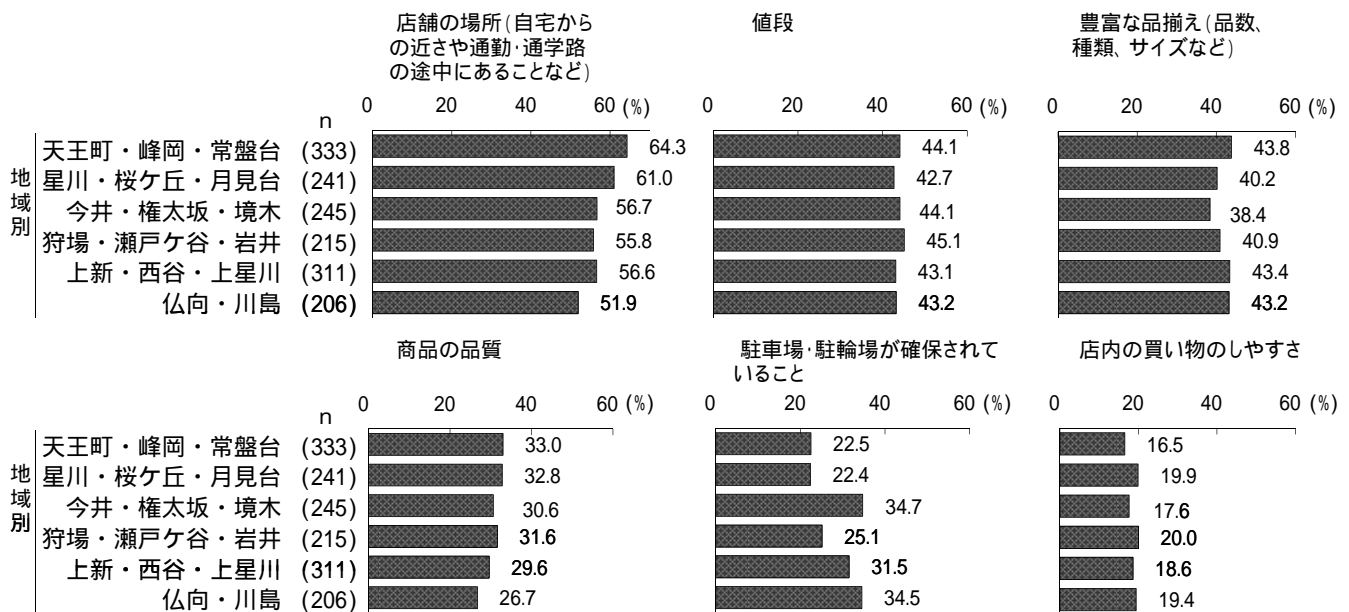
図表2-9 日常の買い物をする店を決める際に重視すること(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-10)

- ・「店舗の場所」は、天王町・峰岡・常盤台(64.3%)で高く、仏向・川島(51.9%)で低い。
- ・「駐車場・駐輪場が確保されていること」は、今井・権太坂・境木(34.7%)と、仏向・川島(34.5%)で高い。

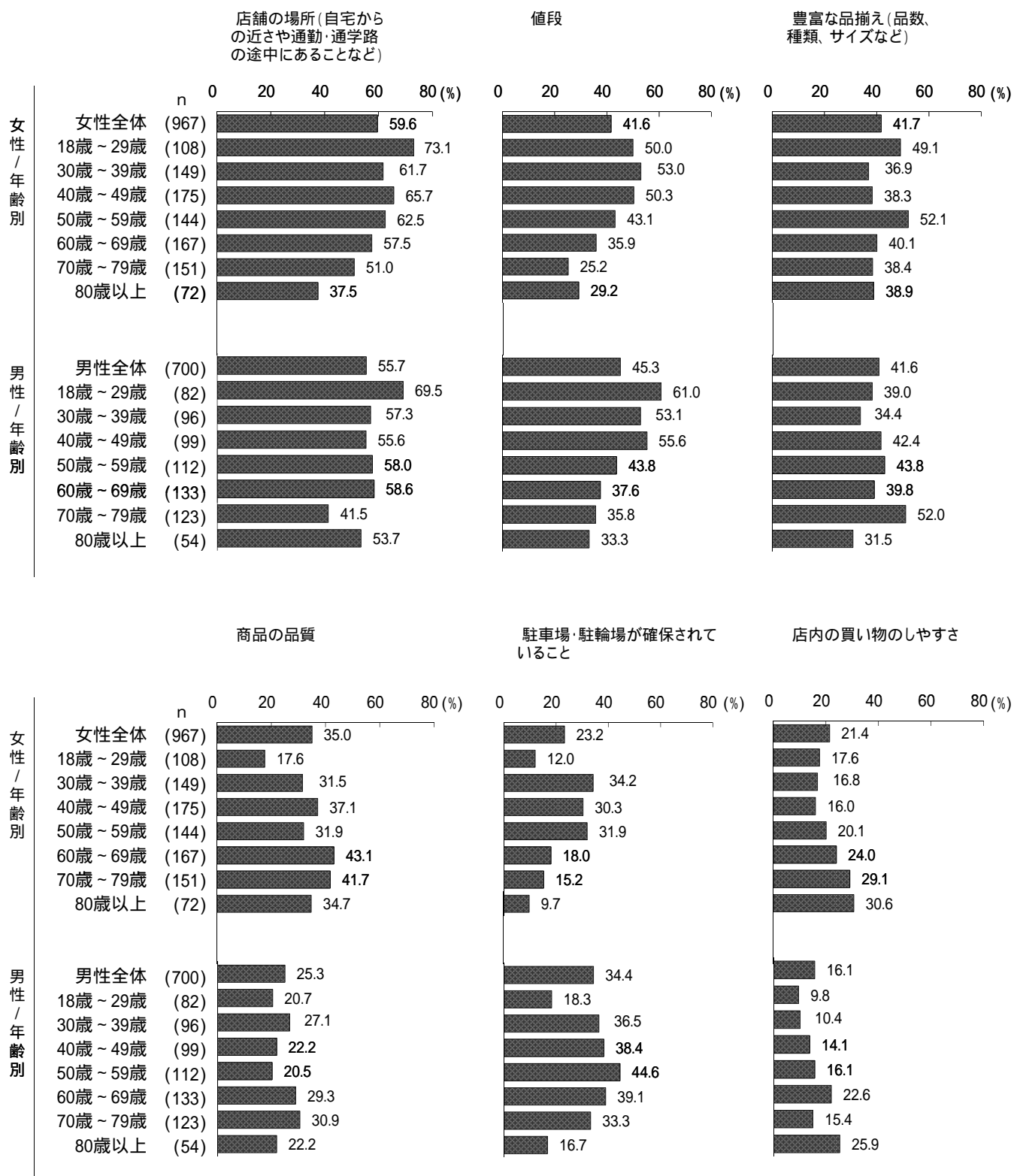
図表2-10 日常の買い物をする店を決める際に重視すること(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-11)

- ・「店舗の場所」は、男女ともに18歳～29歳で高く、女性では80歳以上、男性では70歳～79歳で低い。
- ・「値段」は、男女ともに18歳～59歳で高く、60歳以上で低い。
- ・「豊富な品揃え」は、女性は50歳～59歳、男性では70歳～79歳で高い。
- ・「商品の品質」は、男女とも18歳～29歳の若年層で低く、あまり重視されていない。
- ・「駐車場・駐輪場が確保されていること」は、男女ともに18歳～20歳と80歳以上で特に低い。
- ・「店内の買い物のしやすさ」は、男女ともにおおむね50歳以上で重視している。

図表2-11 日常の買い物をする店を決める際に重視すること(性×年齢別、上位6項目)

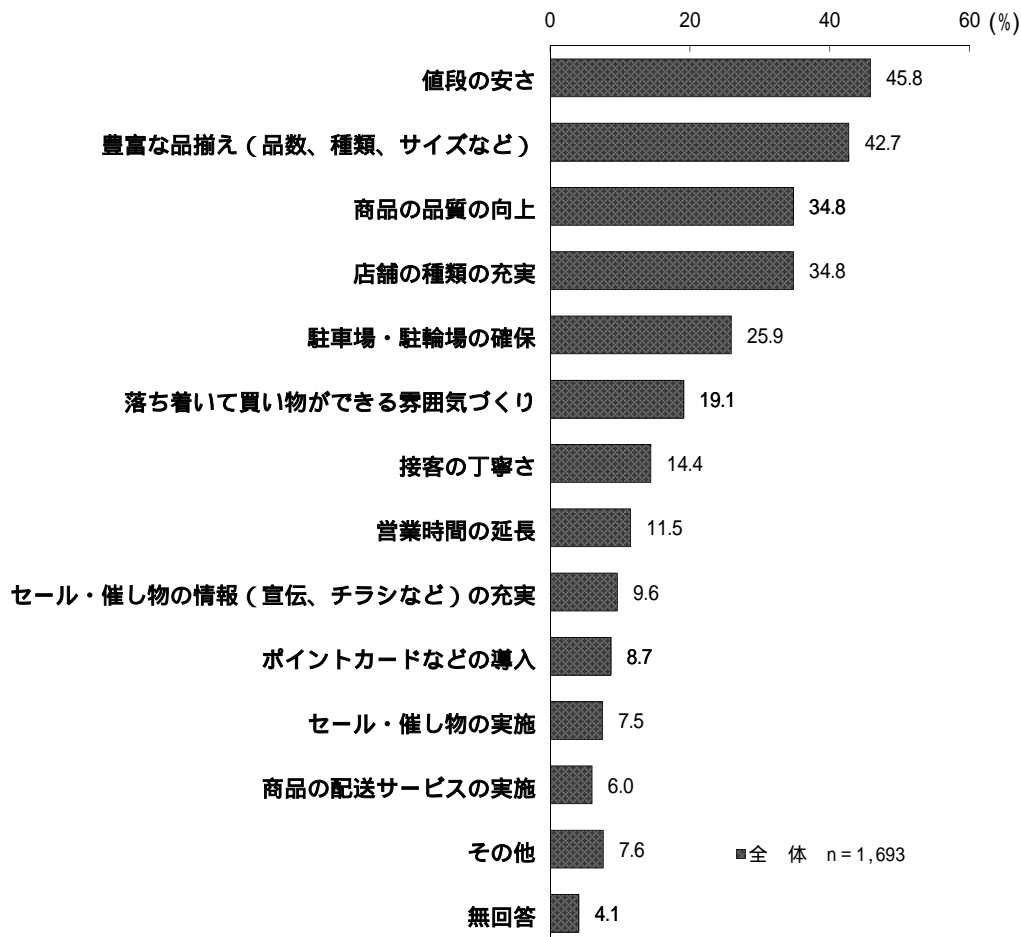


2 - 3 近所の商店街に対する希望

「値段の安さ」が4割半ば、次いで「豊富な品揃え」が4割前半

問 8 あなたが近所にある商店街に対して希望することは、どのようなことですか。(はいいくつでも)

図表2-12 近所の商店街に対する希望（複数回答）



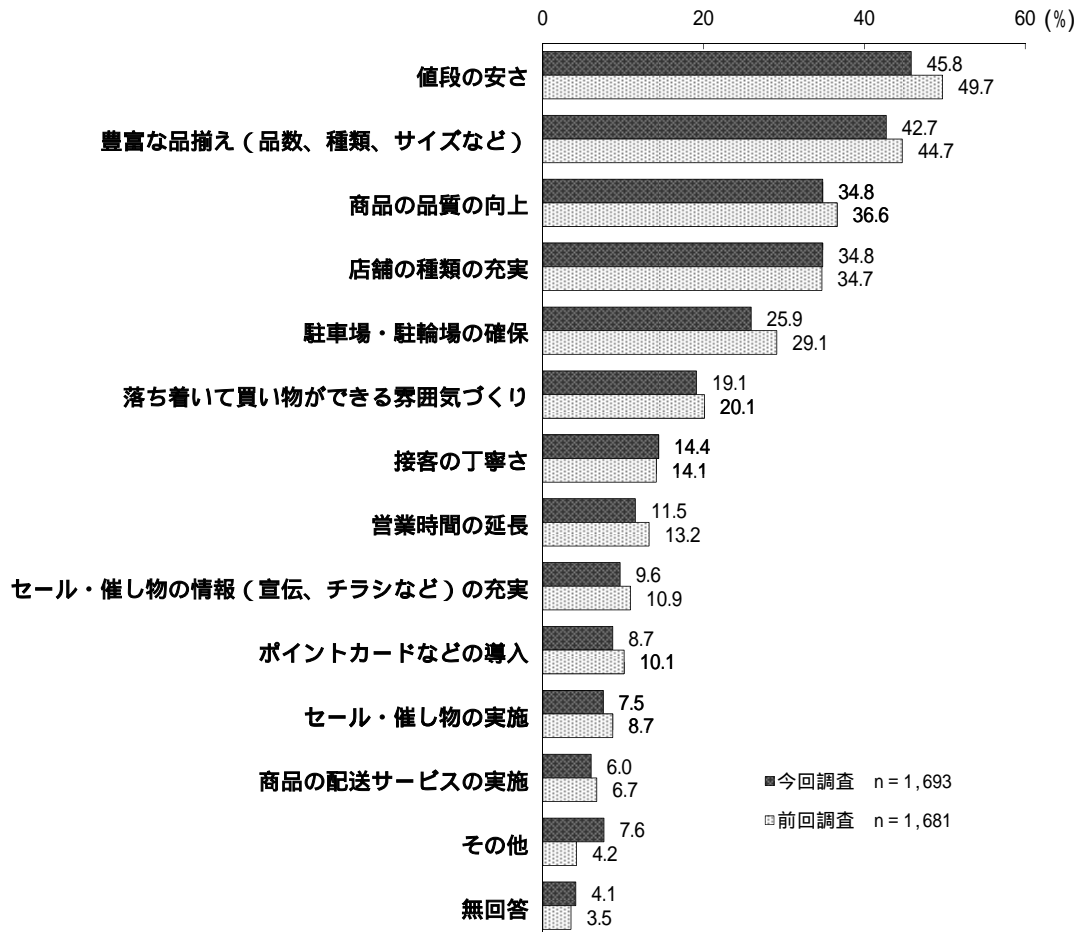
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表2-12)

- ・「値段の安さ」(45.8%)
- ・「豊富な品揃え（品数、種類、サイズなど）」(42.7%)
- ・「商品の品質の向上」(34.8%)
- ・「店舗の種類の充実」(34.8%)
- ・「駐車場・駐輪場の確保」(25.9%)
- ・「落ち着いて買い物ができる雰囲気づくり」(19.1%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 傾向に大きな変化はないが、目立った増減は以下の箇所となる。(図表2-13)

- ・「値段の安さ」は3.9ポイント減少している。
- ・「駐車場・駐輪場の確保」は3.2ポイント減少している。

図表2-13 近所の商店街に対する希望（前回調査との比較）

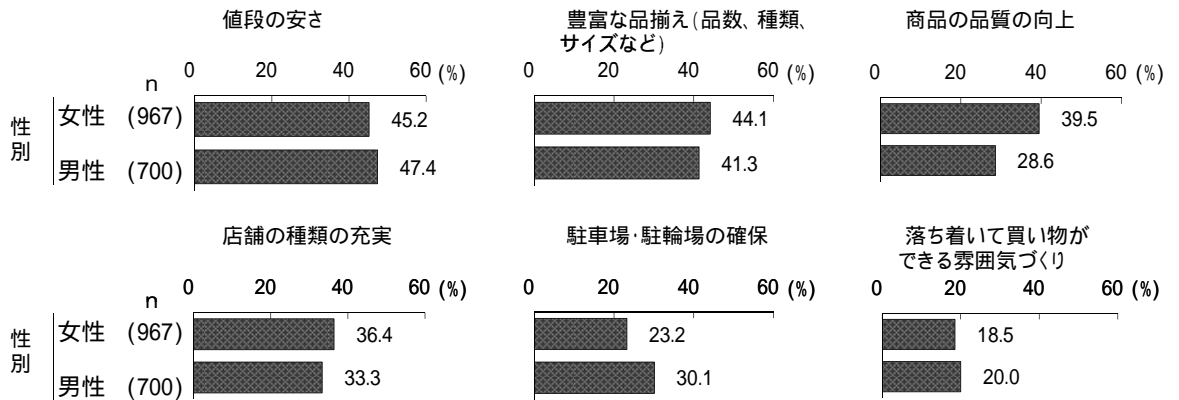


上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-14)

- ・「商品の質の向上」は、10.9ポイント女性の方が高い。
- ・「駐車場・駐輪場の確保」は、6.9ポイント男性の方が高い。

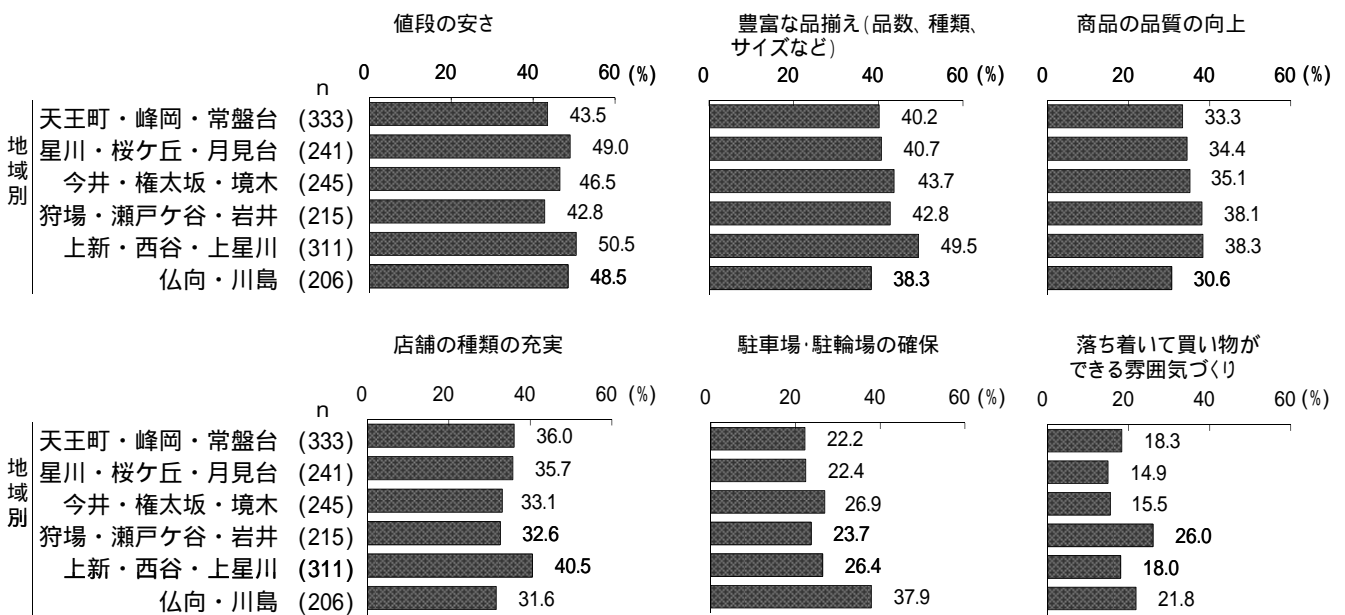
図表2-14 近所の商店街に対する希望(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-15)

- ・「豊富な品揃え」は、上新・西谷・上星川(49.5%)で高い。
- ・「店舗の種類の充実」は、上新・西谷・上星川(40.5%)で高い。
- ・「駐車場・駐輪場の確保」は、仏向・川島(37.9%)で高い。
- ・「落ち着いて買い物ができる雰囲気づくり」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(26.0%)で高い。

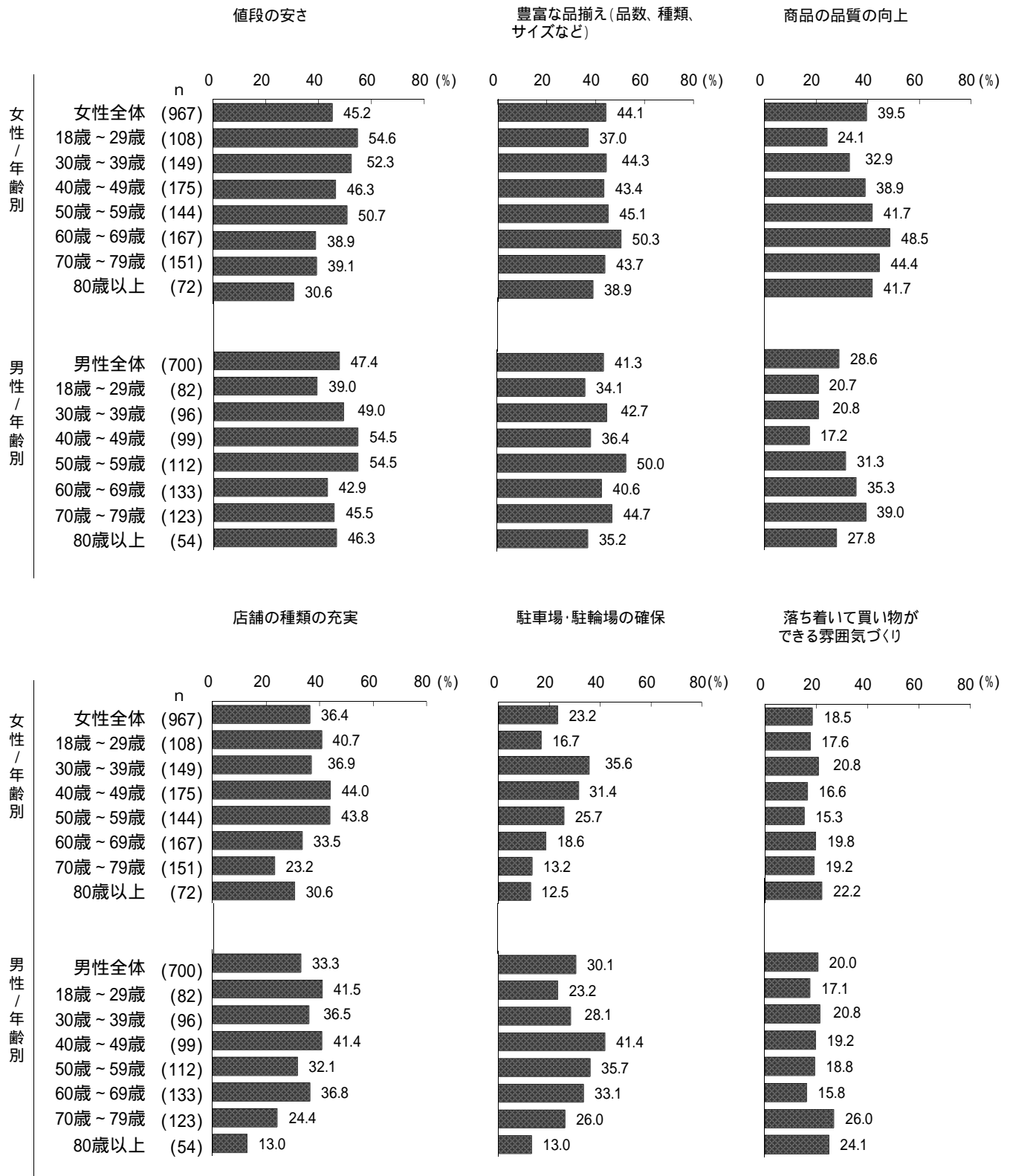
図表2-15 近所の商店街に対する希望(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表2-16)

- ・「値段の安さ」は、女性80歳以上(30.6%)で特に低い。
- ・「商品の品質の向上」は、男性の18歳～49歳(17.2%)で特に低い。
- ・「店舗の種類の実充実」は、女性70歳～79歳、男性70歳以上で特に低い。男女とも男性70歳以上で低い傾向がある。
- ・「駐車場・駐輪場の確保」は、男女ともに40歳以上では年代が上がるにつれて低くなる傾向がある。

図表2-16 近所の商店街に対する希望(性×年齢別、上位6項目)



3 防犯について

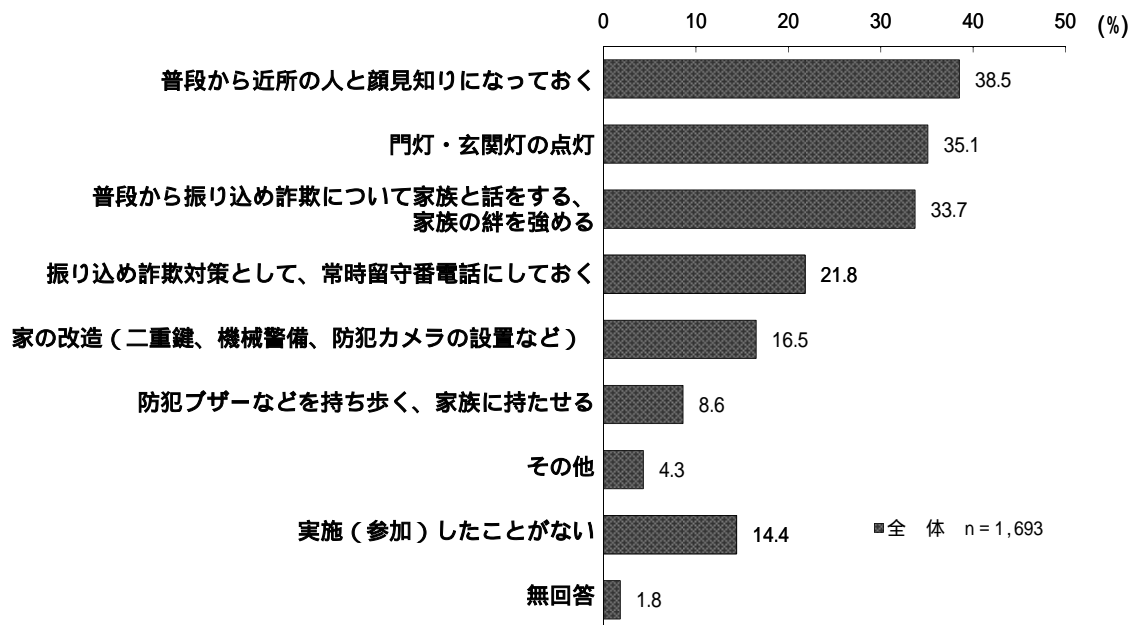
3-1 実施(参加)している防犯対策

「普段から近所の人と顔見知りになっておく」が3割後半

「実施(参加)したことがない」は1割半ば

問9 あなたが防犯対策として、ご自身で実施(参加)していることは、どれですか。(はいくつでも)

図表3-1 実施(参加)している防犯対策(複数回答)



(全体) 上位3項目は以下となる。(図表3-1)

- ・「普段から近所の人と顔見知りになっておく」(38.5%)
- ・「門灯・玄関灯の点灯」(35.1%)
- ・「普段から振り込め詐欺について家族と話をする、家族の絆を強める」(33.7%)

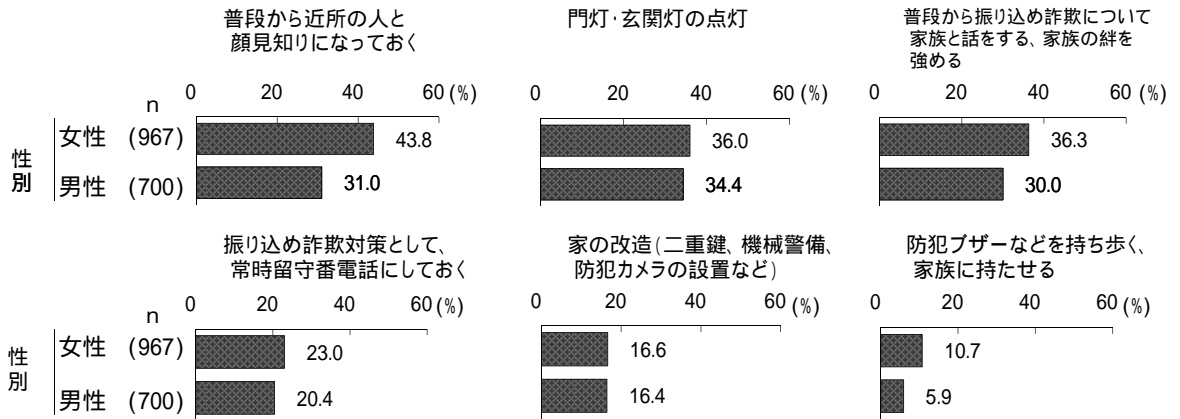
また、「実施(参加)したことがない」は、14.4%となっている。

上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみると、女性の方が男性より高くなっている。特に差があるのは以下の箇所となる。(図表3-2)

- ・「普段から近所の人と顔見知りになっておく」は、12.8ポイント。
- ・「普段から振り込み詐欺について家族と話をする」は、6.3ポイント。
- ・「防犯ブザーなどを持ち歩く、家族に持たせる」は、4.8ポイント。

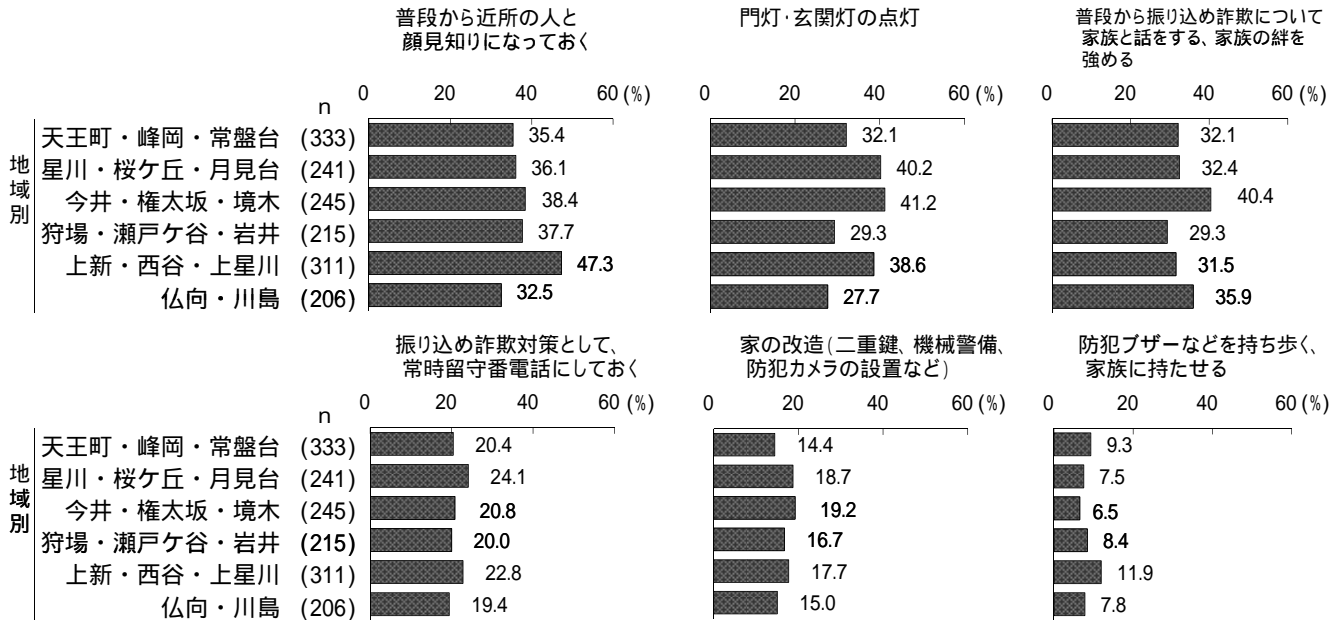
図表3-2 実施(参加)している防犯対策(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-3)

- ・「普段から近所の人と顔見知りになっておく」は、上新・西谷・上星川(47.3%)で高い。
- ・「門灯・玄関灯の点灯」は、星川・桜ヶ丘・月見台(40.2%)と今井・権太坂・境木(41.2%)で高く、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(29.3%)と仏向・川島(27.7%)で低い。
- ・「普段から振り込み詐欺について家族と話をする」は、今井・権太坂・境木(40.4%)で高い。

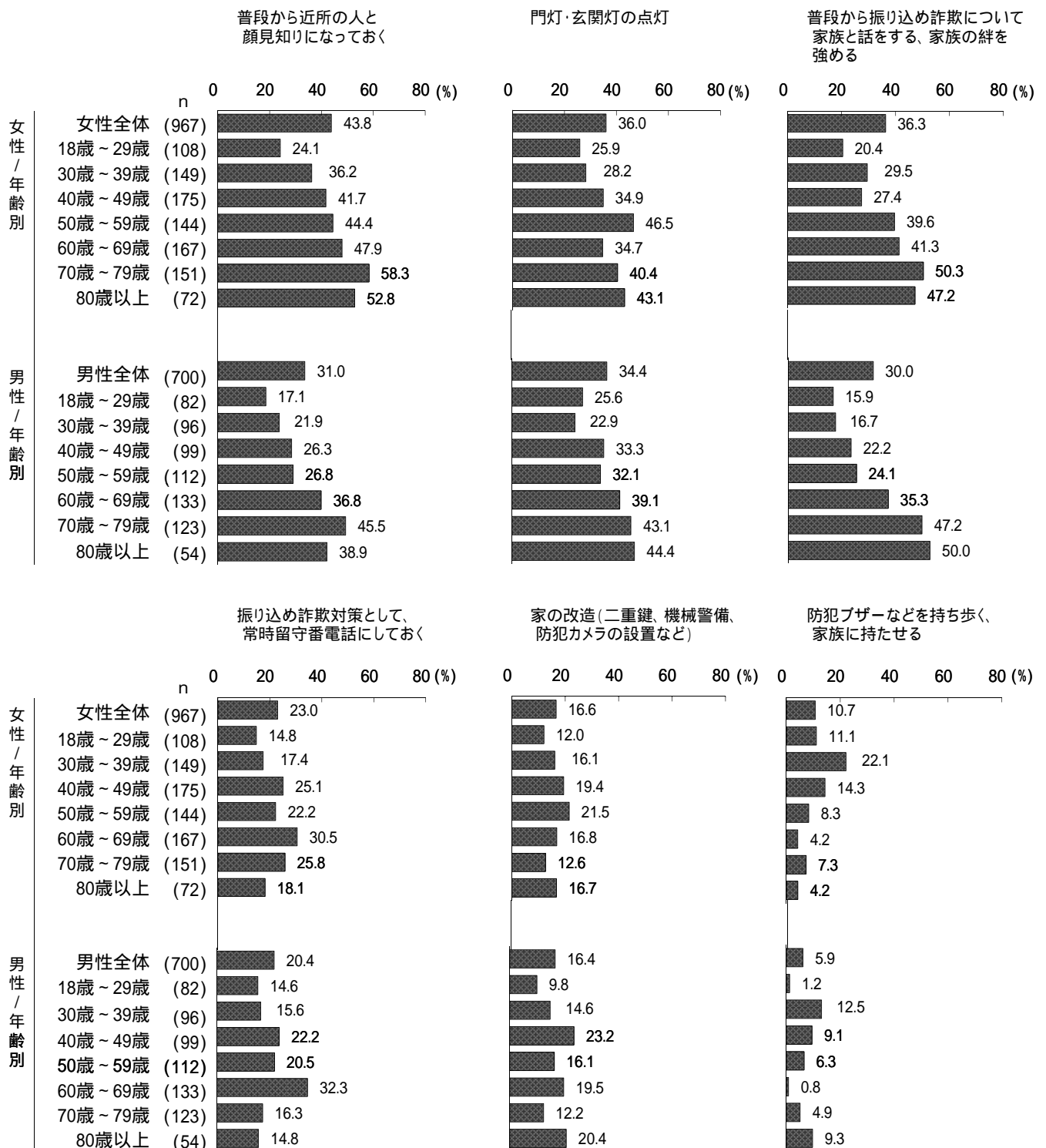
図表3-3 実施(参加)している防犯対策(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表3-4)

- ・いずれの項目も男女ともに18歳～29歳で、実施(参加)率が低い。
- ・「普段から近所の人と顔見知りになっておく」と、「門灯・玄関灯の点灯」と、「普段から振り込め詐欺について家族と話をする」は、男女ともに年代が上がるにつれて高くなる傾向がある。
- ・「振り込め詐欺対策として、常時留守番電話にしておく」は、男女ともに60歳～69歳で高い。
- ・「防犯ブザーなどを持ち歩く、家族に持たせる」は、男女ともに30歳～39歳で高い。

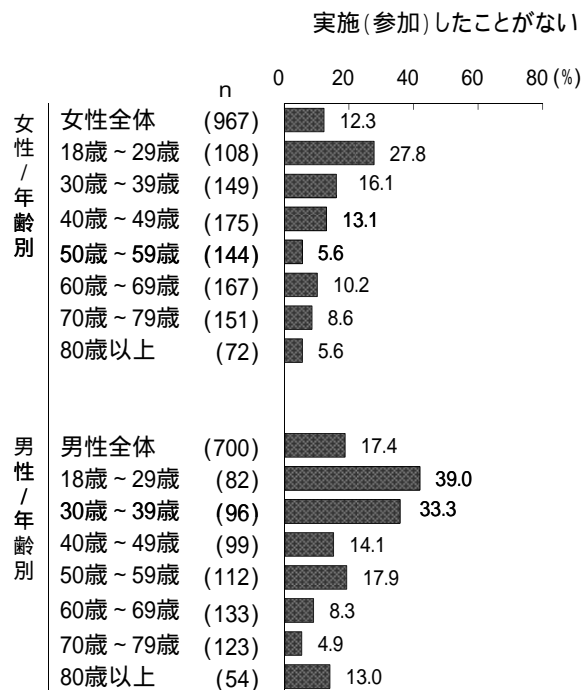
図表3-4 実施(参加)している防犯対策(性×年齢別、上位6項目)



「実施(参加)したことがない」について

(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、女性18歳～29歳と男性18歳～39歳で特に高い。(図表3-5)

図表3-5 実施(参加)している防犯対策(性×年齢別、「実施(参加)したことがない」)



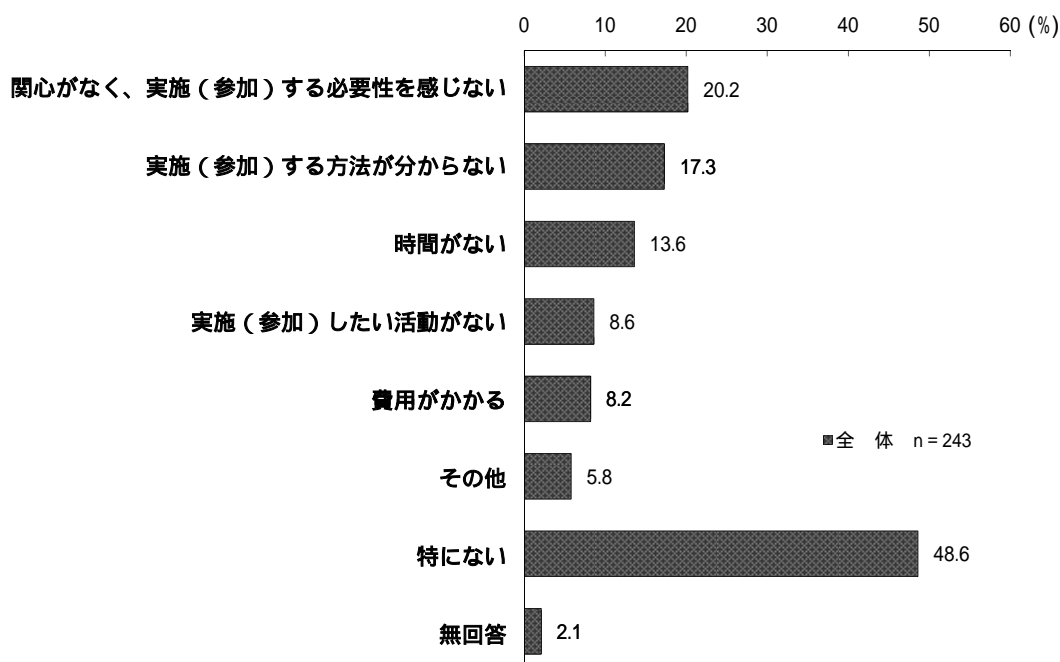
3 - 2 防犯対策を実施（参加）したことがない理由

「関心がなく、実施（参加）する必要性を感じない」が約2割

「特にない」が4割後半で特に高い

問 9-1 問9で「8. 実施（参加）したことがない」と答えた方にうかがいます。
実施（参加）したことがない理由はどれですか。（ はいくつでも）

図表3-6 防犯対策を実施（参加）したことがない理由（複数回答）



（全体） 上位3項目は以下となる。（図表3-6）

- ・「関心がなく、実施（参加）する必要性を感じない」（20.2%）
- ・「実施（参加）する方法が分からない」（17.3%）
- ・「時間がない」（13.6%）

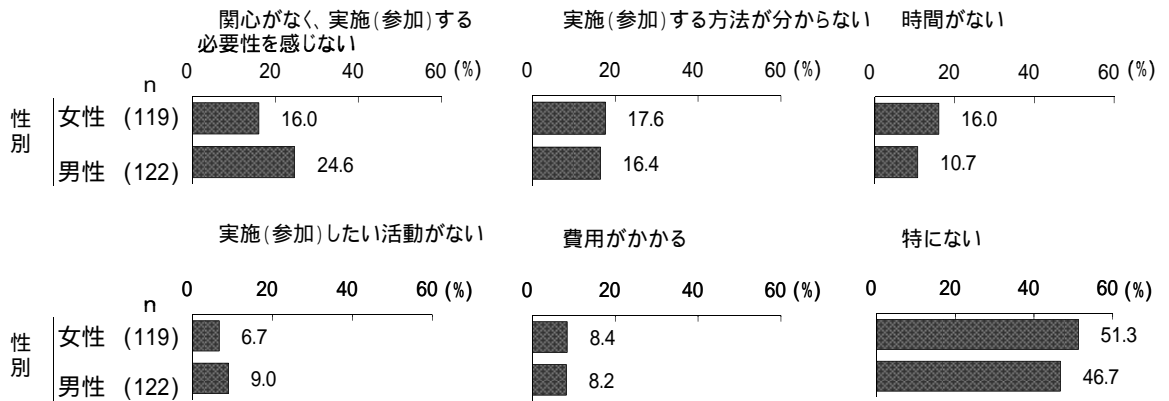
また、「特にない」は、48.6%となっている。

上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-7)

- ・「関心がなく、必要性を感じない」は、男性(24.6%)で女性より8.6ポイント高い。

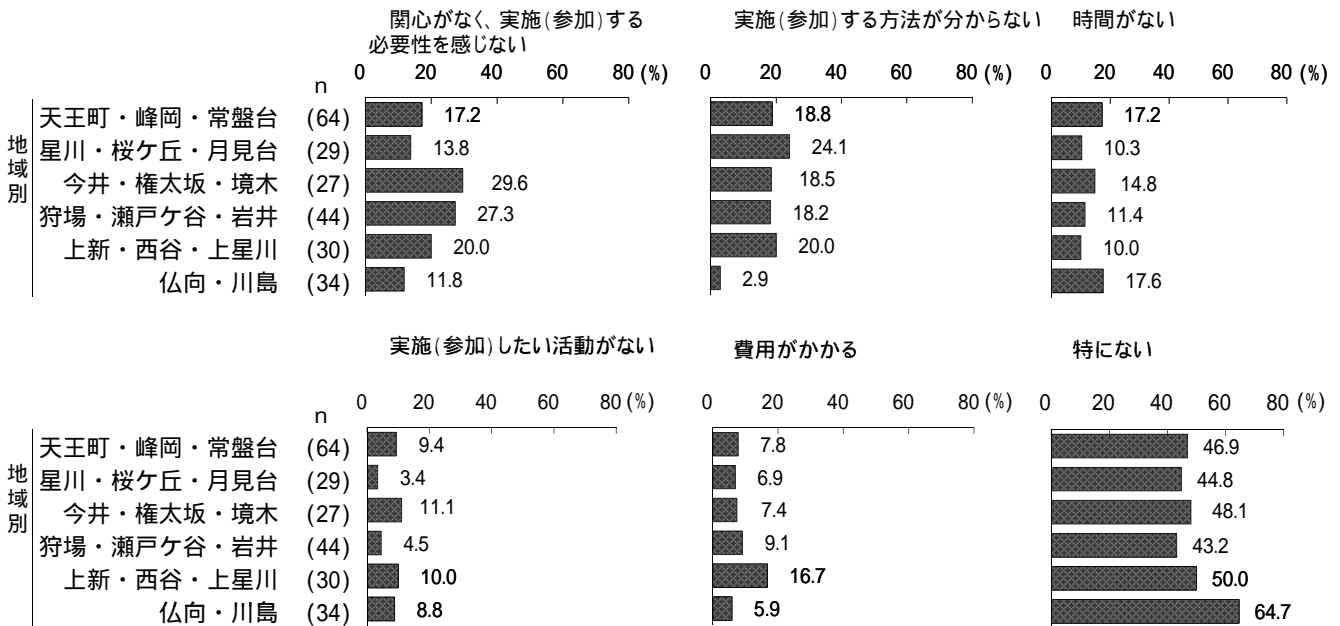
図表3-7 防犯対策を実施(参加)したことがない理由(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-8)

- ・「関心がなく、必要性を感じない」は、今井・権太坂・境木(29.6%)で高く、仏向・川島(11.8%)で低い。
- ・「方法が分からない」は、仏向・川島(2.9%)で特に低い。
- ・「費用がかかる」は、上新・西谷・上星川(16.7%)で高い。
- ・「特にない」は、仏向・川島(64.7%)で特に高い。

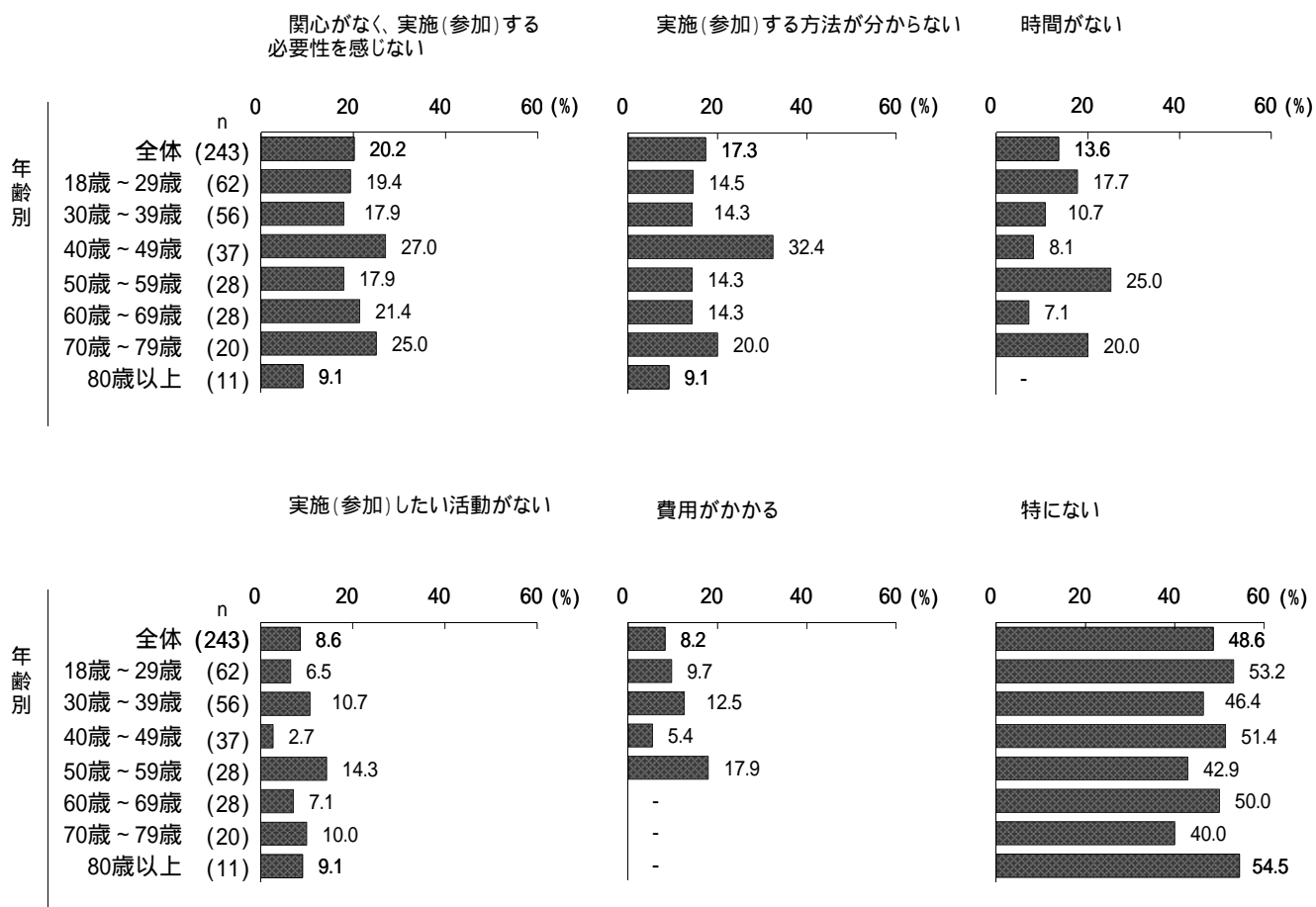
図表3-8 防犯対策を実施(参加)したことがない理由(地域別、上位6項目)



(年齢別) 上位6項目を年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-9)

- ・「関心がなく、必要性を感じない」は、80歳以上(9.1%)で低い。
- ・「方法が分からない」は、40歳～49歳(32.4%)で特に高く、80歳以上(9.1%)で低い。
- ・「時間がない」は、50歳～59歳(25.0%)で高い。
- ・「活動がない」は、40歳～49歳(2.7%)で低い。
- ・「費用がかかる」は、50歳～59歳(17.9%)で高い。

図表3-9 防犯対策を実施(参加)したことがない理由(年齢別、上位6項目)



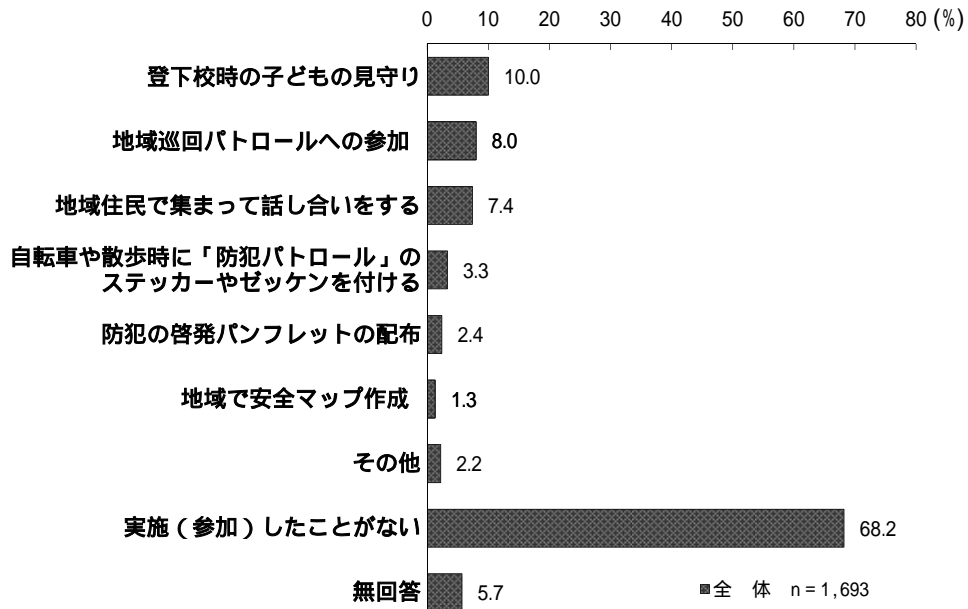
対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

3-3 地域で実施(参加)している防犯対策

「登下校時の子どもの見守り」が1割、「実施(参加)したことがない」が6割後半で極端に高い

問 10 あなたが防犯対策として、地域などで実施(参加)していることは、どれですか。(はいくつでも)

図表3-10 地域などで実施(参加)している防犯対策(複数回答)



(全体) 上位3項目は以下となる。(図表3-10)

- ・「登下校時の子どもの見守り」(10.0%)
- ・「地域巡回パトロールへの参加」(8.0%)
- ・「地域住民で集まって話し合いをする」(7.4%)

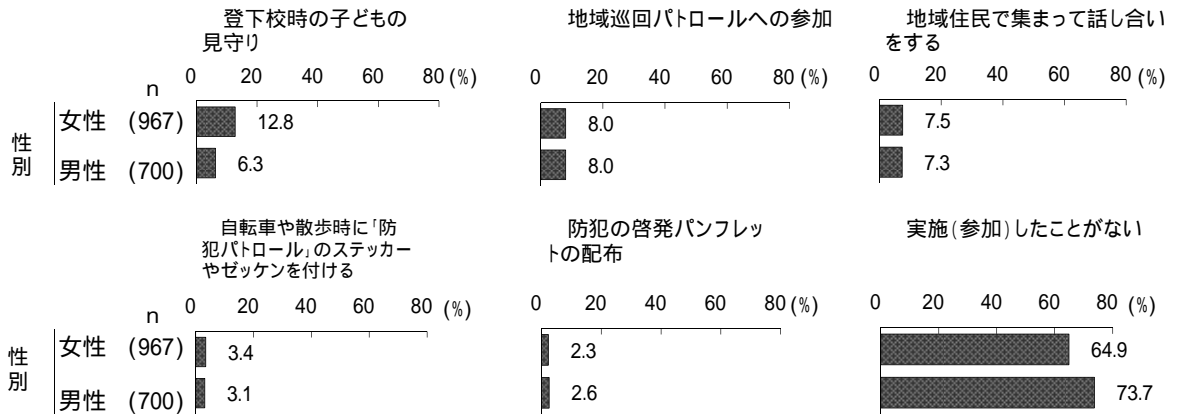
また、「実施(参加)したことがない」は、68.2%となっている。

上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-11)

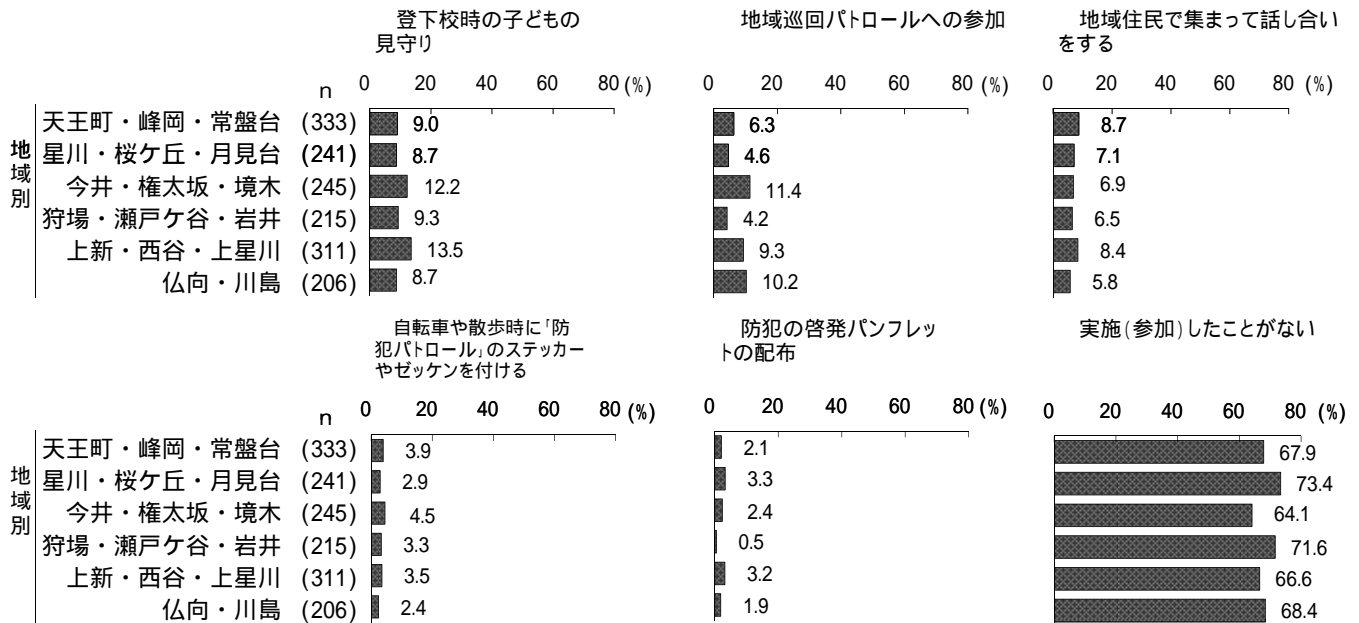
- ・「登下校時の子どもの見守り」は、女性(12.8%)で男性より6.5ポイント高い。
- ・「実施(参加)したことがない」は、男性(73.7%)で女性より8.8ポイント高い。

図表3-11 実地域などで実施(参加)している防犯対策(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、大きな差はない。(図表3-12)

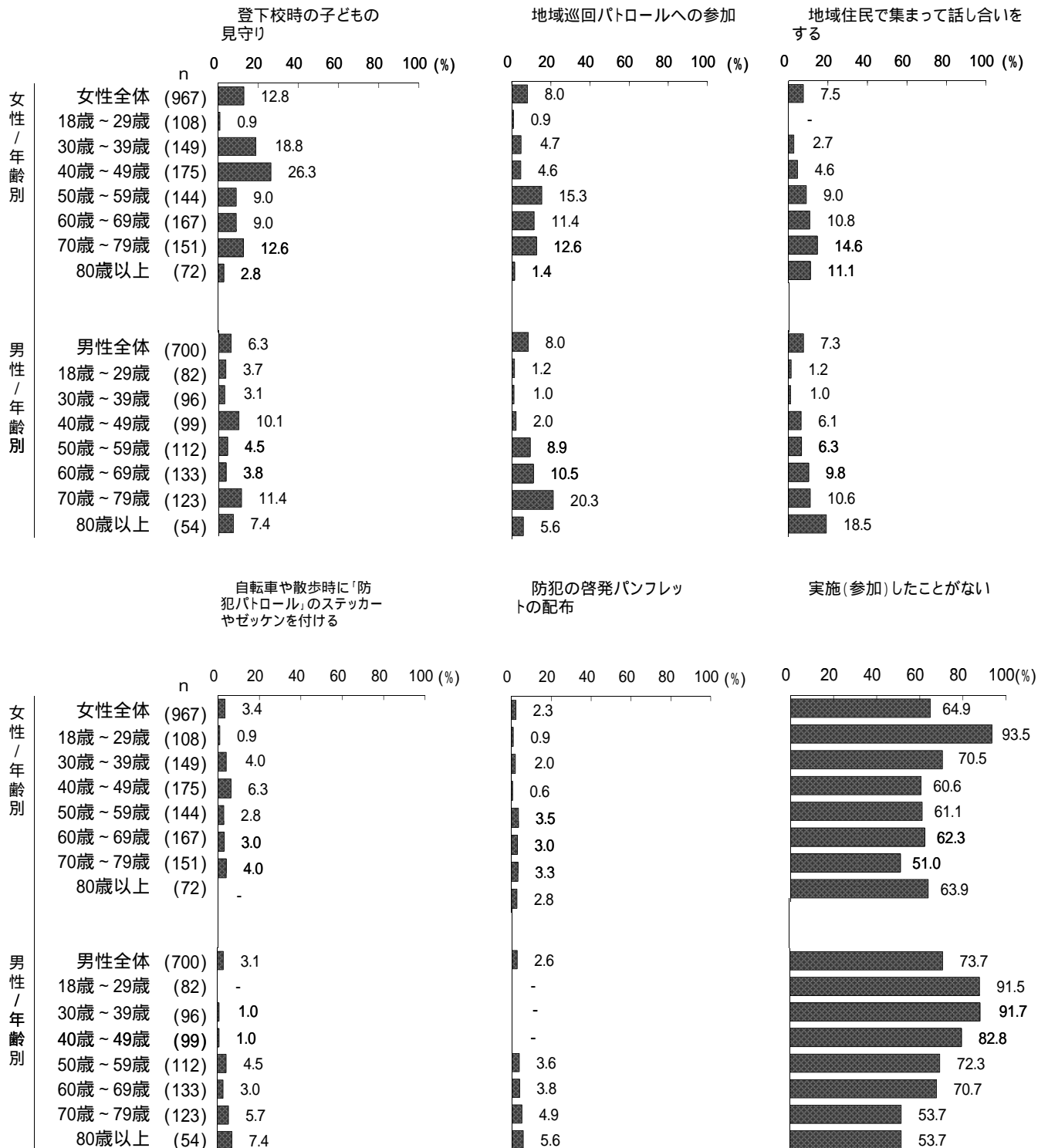
図表3-12 地域などで実施(参加)している防犯対策(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表3-13)

- ・いずれの項目も男女ともに18歳～29歳で、実施(参加)率が低い。
- ・「登下校時の子どもの見守り」は、女性40歳～49歳(26.3%)で特に高い。
- ・「地域巡回パトロールへの参加」は、男女ともに50歳～79歳で高い。
- ・「地域住民で集まって話し合いをする」は、男女ともに年齢が上がるにつれ、高くなる傾向がある。
- ・「実施(参加)したことがない」は、女性18歳～39歳と男性18歳～49歳で高い。

図表3-13 地域などで実施(参加)している防犯対策(性×年齢別、上位6項目)

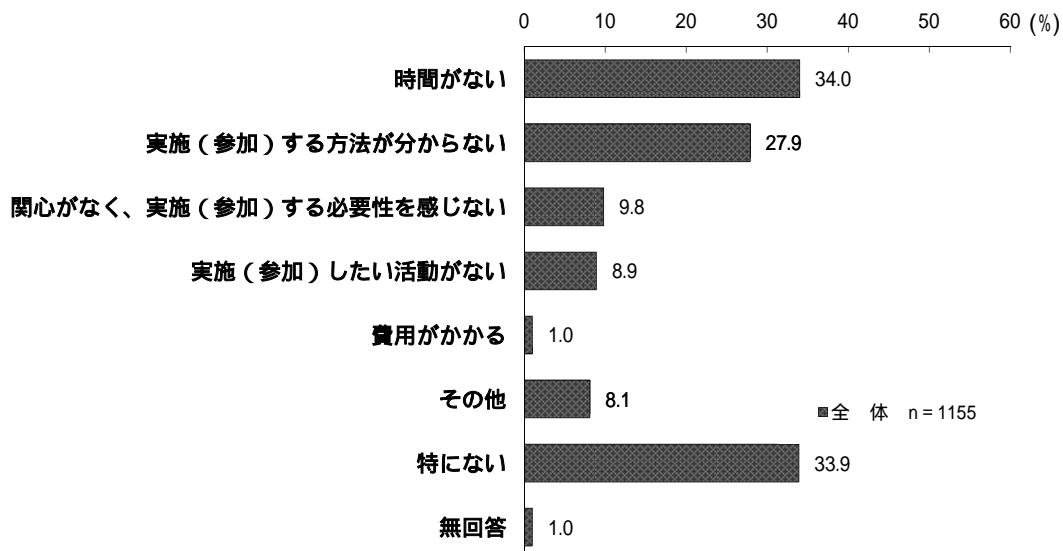


3 - 4 地域で防犯対策を実施（参加）したことがない理由

「時間がない」と「特にない」が3割半ば

問 10-1 問10で「8. 実施（参加）したことがない」と答えた方にうかがいます。
実施（参加）したことがない理由はどれですか。（ はいくつでも）

図表3-14 地域で防犯対策を実施（参加）したことがない理由（複数回答）



（全体） 上位3項目は以下となる。（図表3-14）

- ・「時間がない」（34.0%）
- ・「実施（参加）する方法が分からない」（27.9%）
- ・「関心がなく、実施（参加）する必要性を感じない」（9.8%）

また、「特にない」は、33.9%となっている。

個人及び地域での防犯対策の質問において

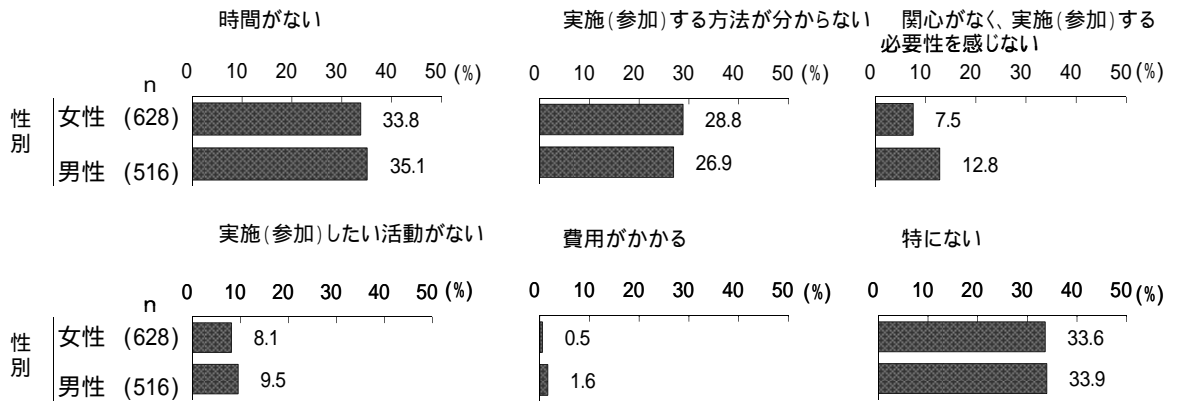
- ・「実施（参加）したことがない」と答えた回答数は個人（問9-1）より地域（問10-1）の方が多い。
- ・「時間がない」は個人では3番目（13.6%）で地域では、1番目（34.0%）、
- 「関心がなく、実施（参加）する必要性を感じない」は個人では1番目（20.2%）で地域では3番目（9.8%）となっており、順位が入れ替わっている。

上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-15)

- ・「関心がなく、必要性を感じない」は、男性(12.8%)で女性より5.3ポイント高い。

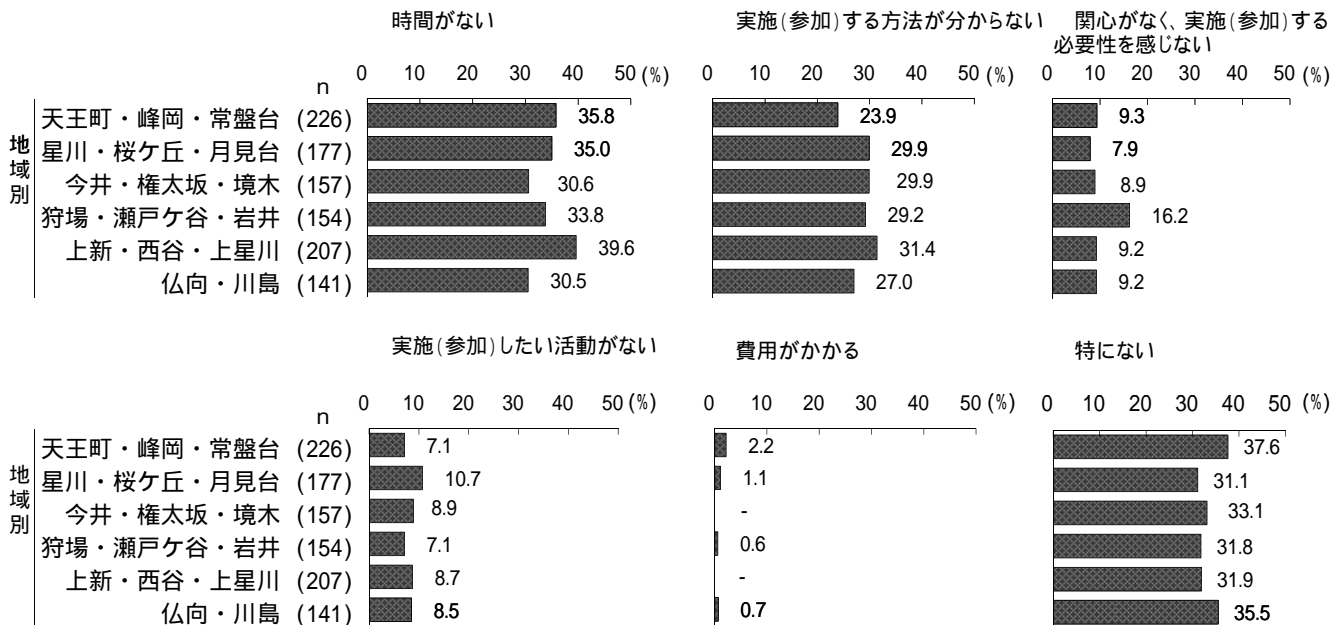
図表3-15 地域で防犯対策を実施(参加)したことがない理由(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-16)

- ・「関心がなく、必要性を感じない」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(16.2%)で高い。

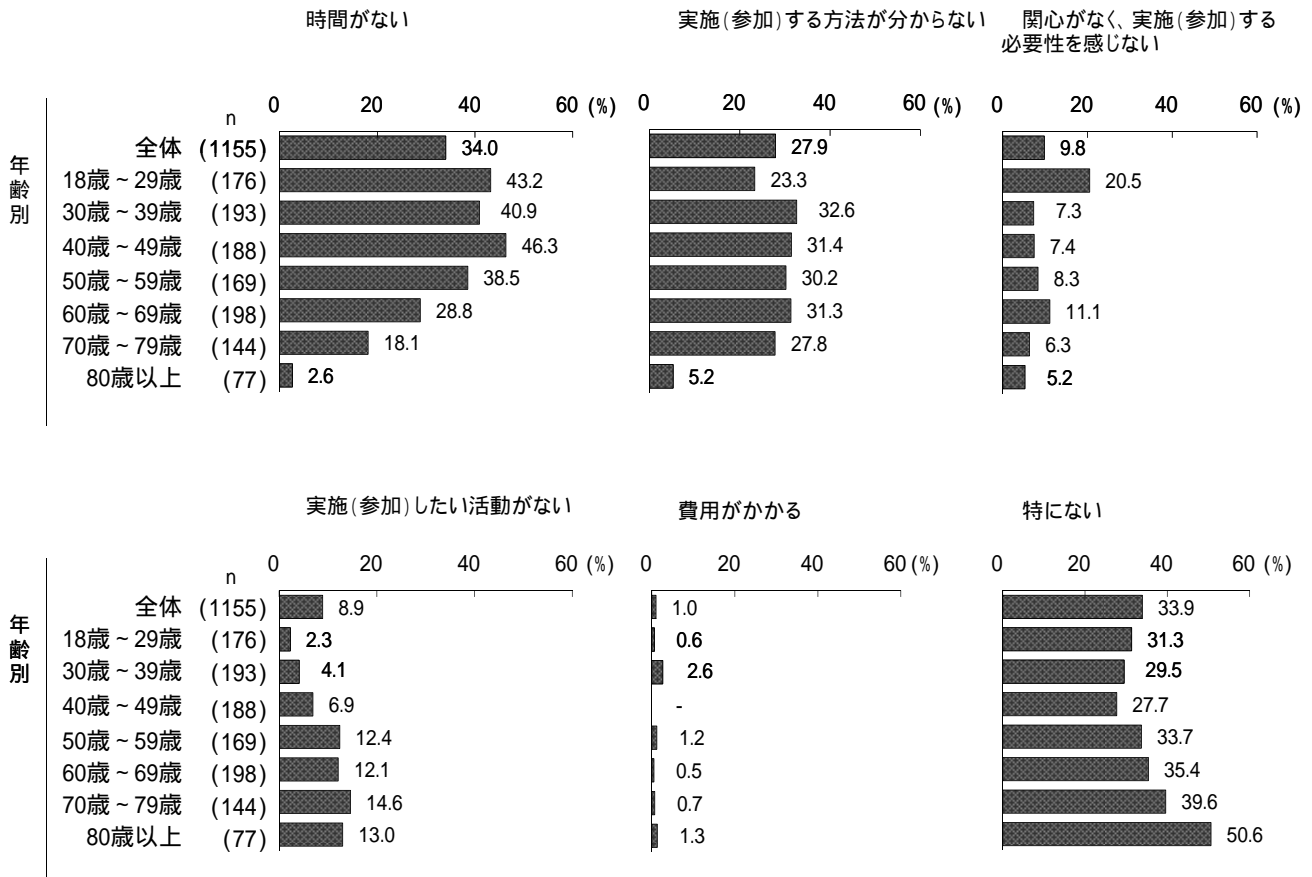
図表3-16 地域で防犯対策を実施(参加)したことがない理由(地域別、上位6項目)



(年齢別) 上位6項目を年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表3-17)

- ・「時間がない」は、80歳以上(2.6%)で特に低く、50歳以上で年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。
- ・「方法が分からない」は、80歳以上(5.2%)で特に低い。
- ・「関心がなく、必要性を感じない」は、18歳～29歳(20.5%)で高い。
- ・「特にない」は、40歳～49(27.7%)で低く、80歳以上(50.6%)で特に高い。

図表3-17 地域で防犯対策を実施(参加)したことがない理由(年齢別、上位6項目)



対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

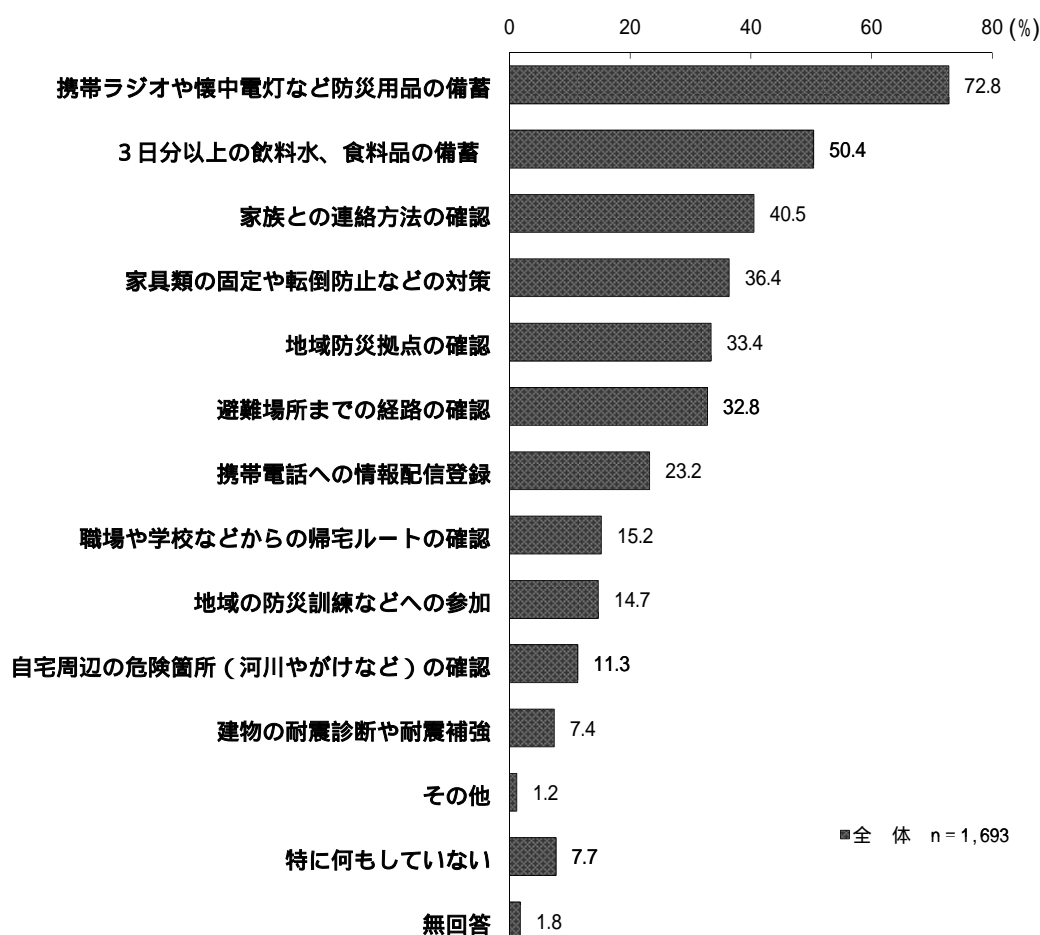
4 防災・減災について

4-1 災害に対する備え

「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄」が7割前半で最も高い

問 11 あなたは、災害に備えてどのようなことを準備していますか。(はいいくつでも)

図表4-1 災害に対する備え(複数回答)



(全体) 上位6項目は以下となる。(図表4-1)

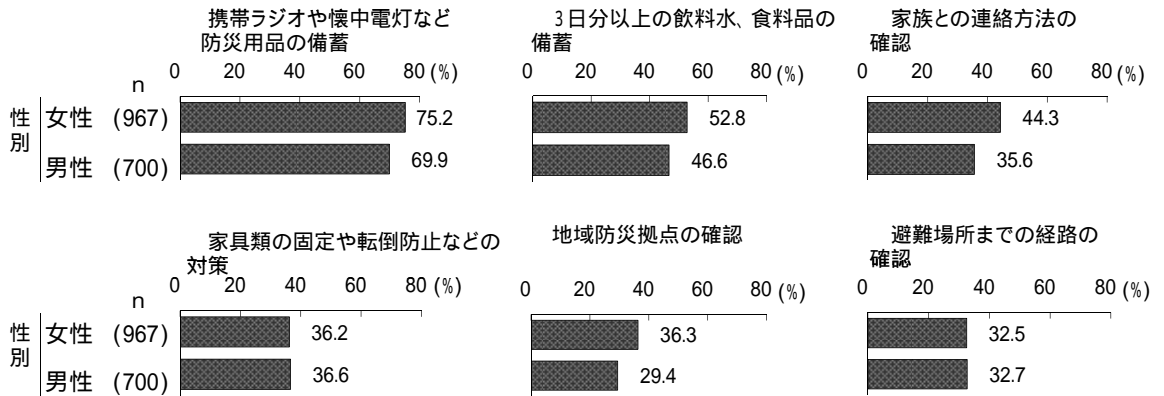
- ・「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄」(72.8%)
- ・「3日以上の飲料水、食料品の備蓄」(50.4%)
- ・「家族との連絡方法の確認」(40.5%)
- ・「家具類の固定や転倒防止などの対策」(36.4%)
- ・「地域防災拠点の確認」(33.4%)
- ・「避難場所までの経路の確認」(32.8%)

また、「特に何もしていない」は、7.7%である。

上位6項目について

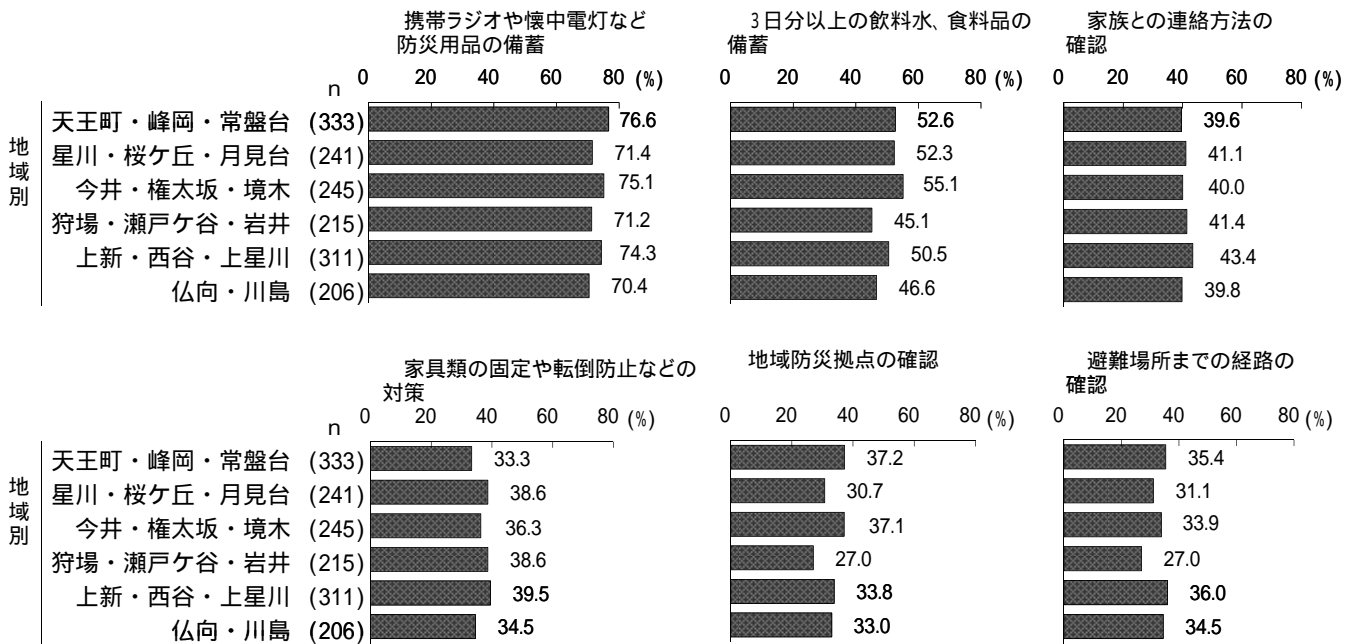
(性別) 上位6項目を性別にみると、「具類の固定や転倒防止などの対策」と「避難場所までの経路の確認」で差がみられない以外は、女性の方がポイント高くなっている。(図表4-2)

図表4-2 災害に対する備え(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみると、いずれも仏向・川島で他の地域よりやや低めとなっている。他には大きな差はみられない。(図表4-3)

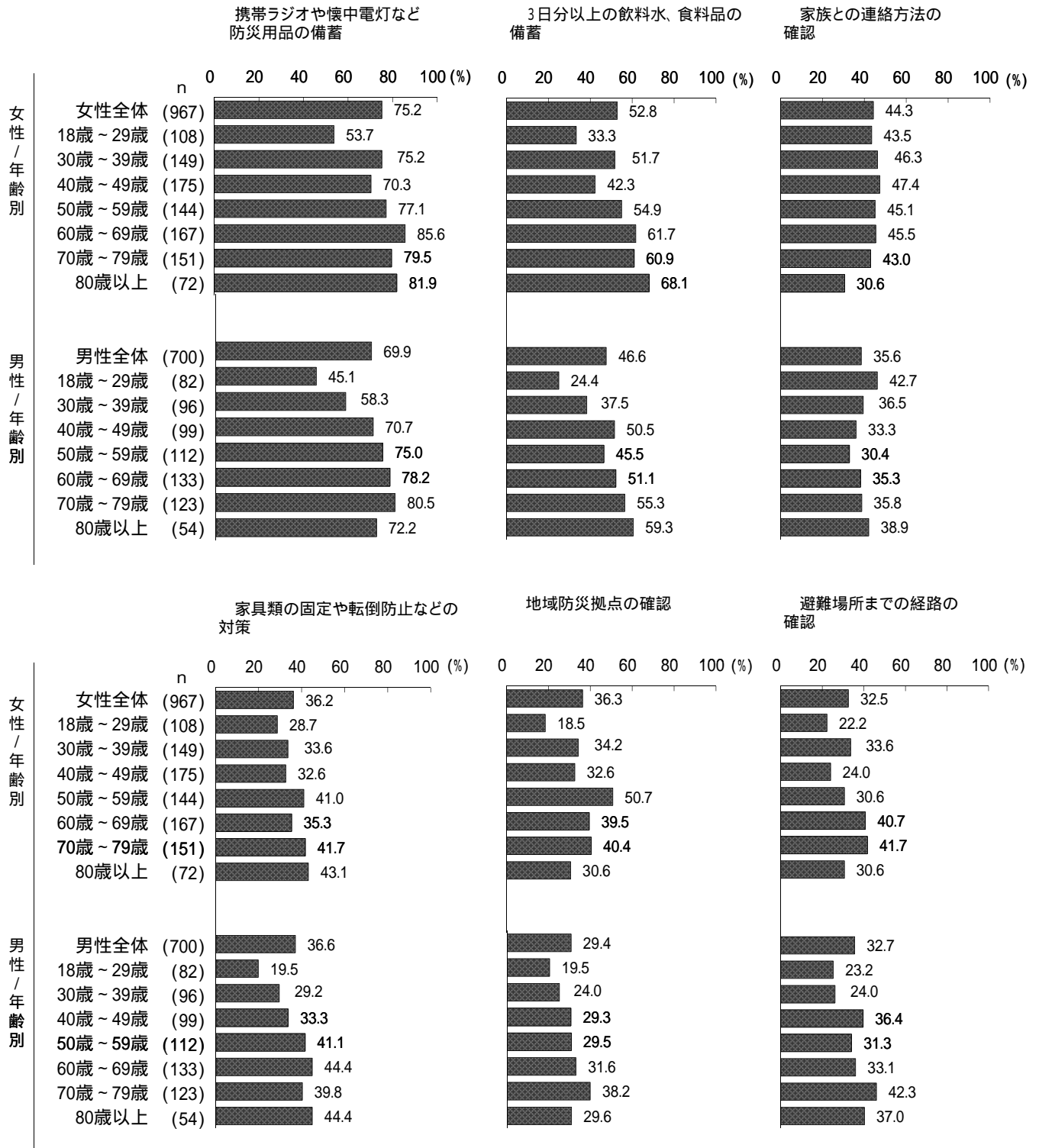
図表4-3 災害に対する備え(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-4)

- ・「家族との連絡方法の確認」以外で、男女ともに18歳～29歳で特に低い。
- ・「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄」は、男性30歳～39歳(58.3%)で低い。
- ・「3日以上の飲料水、食料品の備蓄」は、男女ともに60歳以上で高くなる傾向がみられる。
- ・「家族との連絡方法の確認」は、女性80歳以上(30.6%)で低い。
- ・「地域防災拠点の確認」は、男性30歳～39歳(24.0%)で低い。

図表4-4 災害に対する備え(性×年齢別、上位6項目)

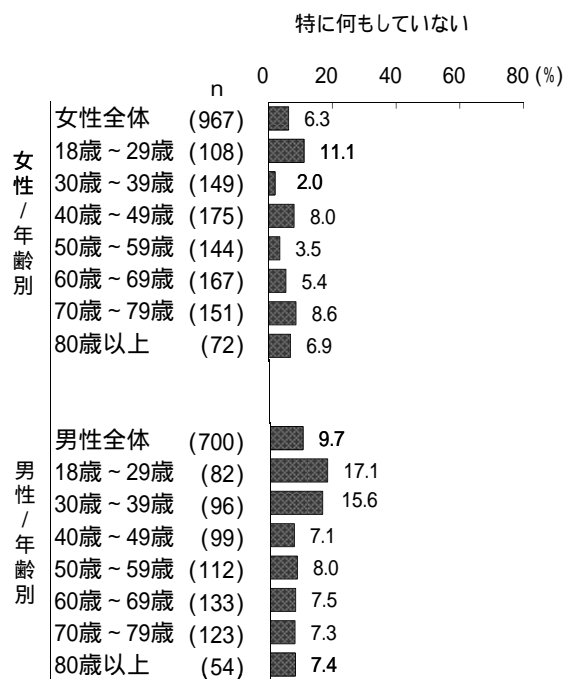


「特に何もしていない」について

(性別) 性別にみると、女性の方が若干低い。(図表4-5)

(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、女性18歳～29歳(11.1%)と、男性18歳～39歳で高く、女性30歳～39歳(2.0%)で低い。若い年代ほど高い傾向がみられる。(図表4-5)

図表4-5 災害に対する備え(性×年齢別、「特に何もしていない」)

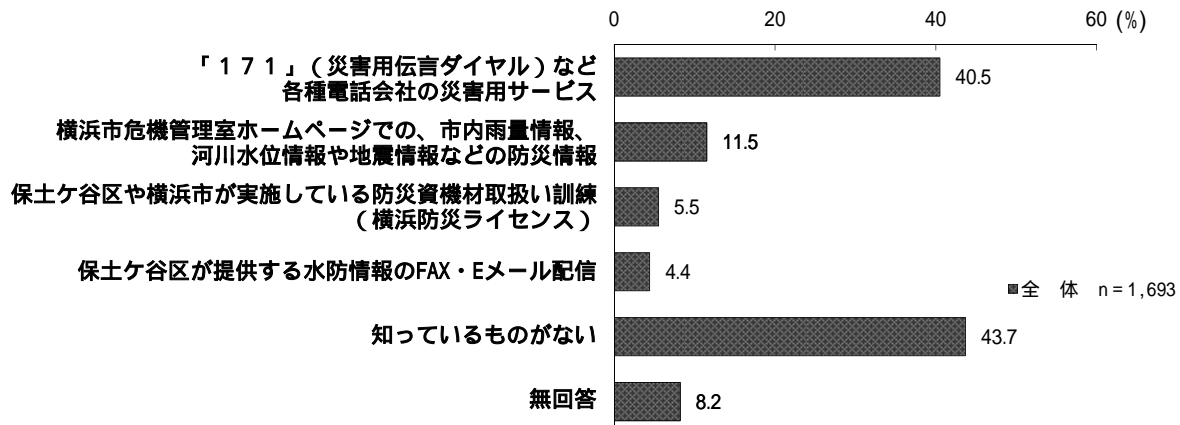


4 - 2 防災事業の認知度

「171」(災害用伝言ダイヤル)など各種電話会社の災害用サービス」が4割強
「知っているものがない」が4割半ば

問 12 あなたは、保土ヶ谷区や横浜市などが実施する、以下の防災事業について知っていますか。
(はいくつでも)

図表4-6 防災事業の認知度(複数回答)



(全体) 上位4項目は以下となる。(図表4-6)

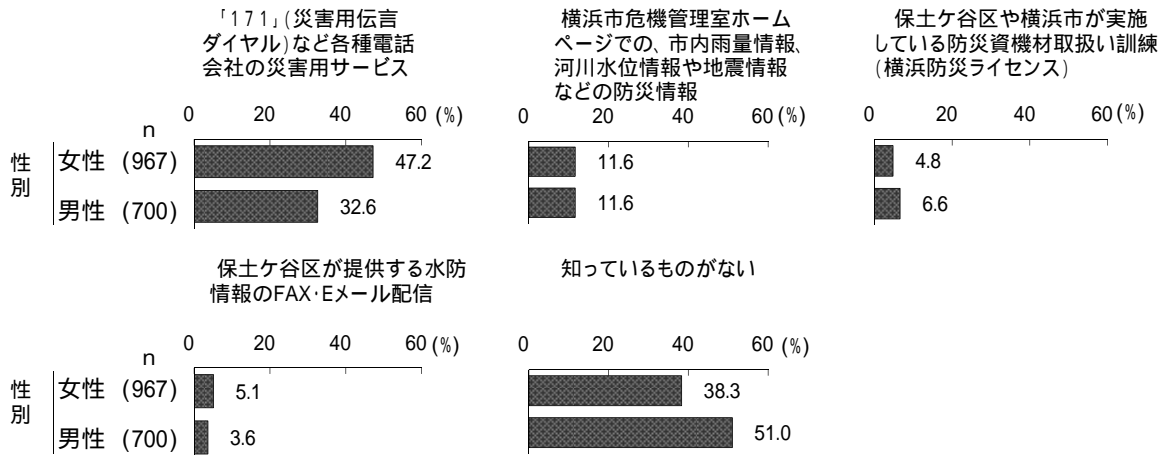
- ・「「171」(災害用伝言ダイヤル)など各種電話会社の災害用サービス」(40.5%)
- ・「横浜市危機管理室ホームページでの、市内雨量情報、河川水位情報や地震情報などの防災情報」(11.5%)
- ・「保土ヶ谷区や横浜市が実施している防災資機材取扱い訓練(横浜防災ライセンス)」(5.5%)
- ・「保土ヶ谷区が提供する水防情報のFAX・Eメール配信」(4.4%)

また、「知っているものがない」は、43.7%である。

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-7)

- ・「災害用伝言ダイヤルなど各種電話会社の災害用サービス」は、女性の方が14.6ポイント高い。
- ・「知っているものがない」は、男性の方が12.7ポイント高い。

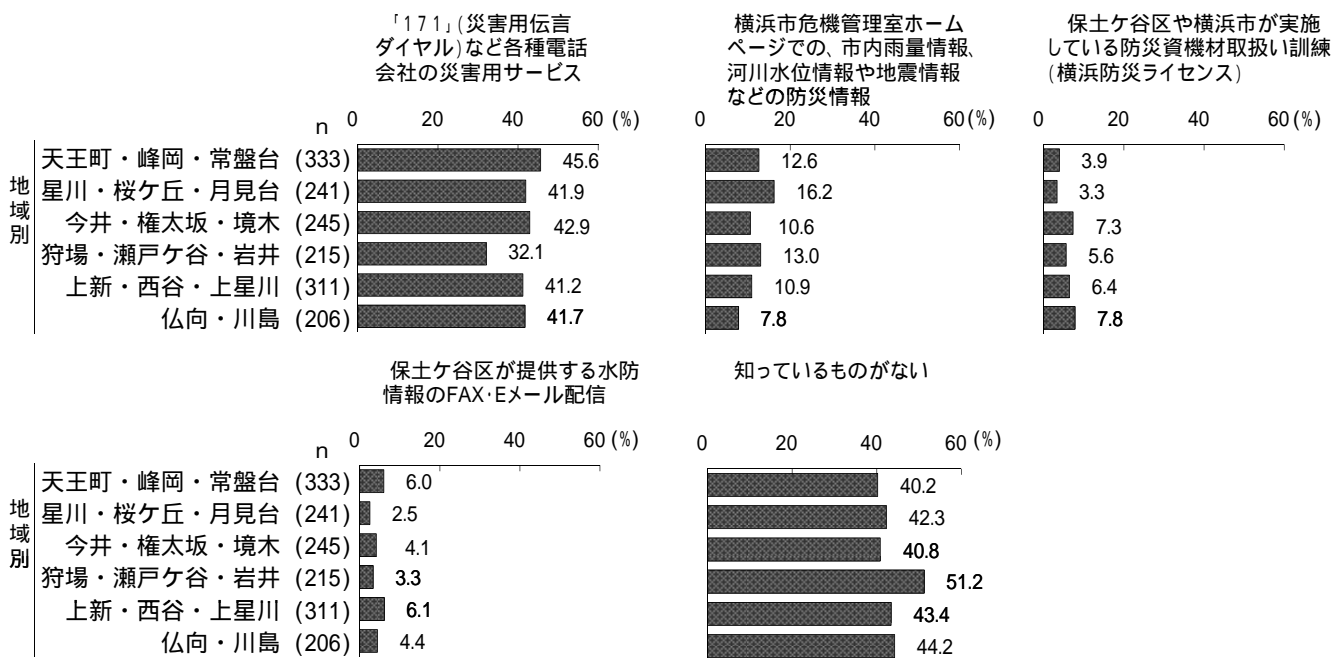
図表4-7 防災事業の認知度(性別)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-8)

- ・「災害用伝言ダイヤルなど各種電話会社の災害用サービス」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(32.1%)で低い。
- ・「知っているものがない」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(51.2%)で高い。

図表4-8 防災事業の認知度(地域別)

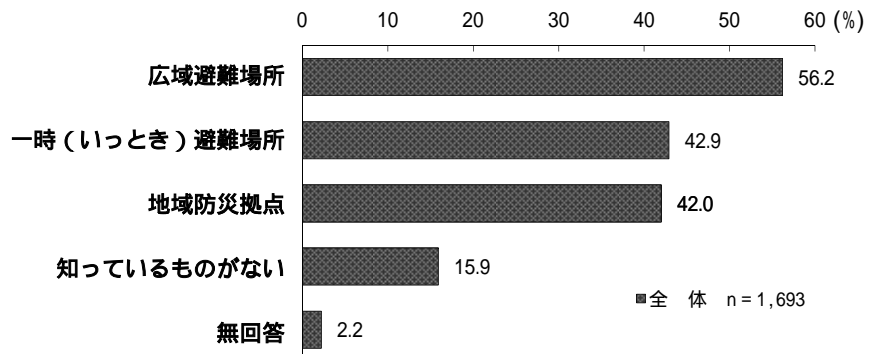


4 - 3 災害時の避難場所の認知度

「広域避難場所」が5割半ば

問 13 あなたは、以下の震災時の避難場所を知っていますか。(はい/いつでも)

図表4-10 災害時の避難場所の認知度(複数回答)



- * 一時(いつとき)避難場所...自治会・町内会が指定する近くの公園、空き地など。
- * 地域防災拠点...自宅の倒壊、倒壊の危険がある場合にのみ、保土ヶ谷区が26区域に分けて指定している小学校または中学校に避難する。倒壊の危険がない場合は、あえて避難する必要はない。
- * 広域避難場所...自宅などが火災などで危険な場合に、火災の炎や煙、熱風などから身を守るために避難する。地区ブロックごとに指定している。

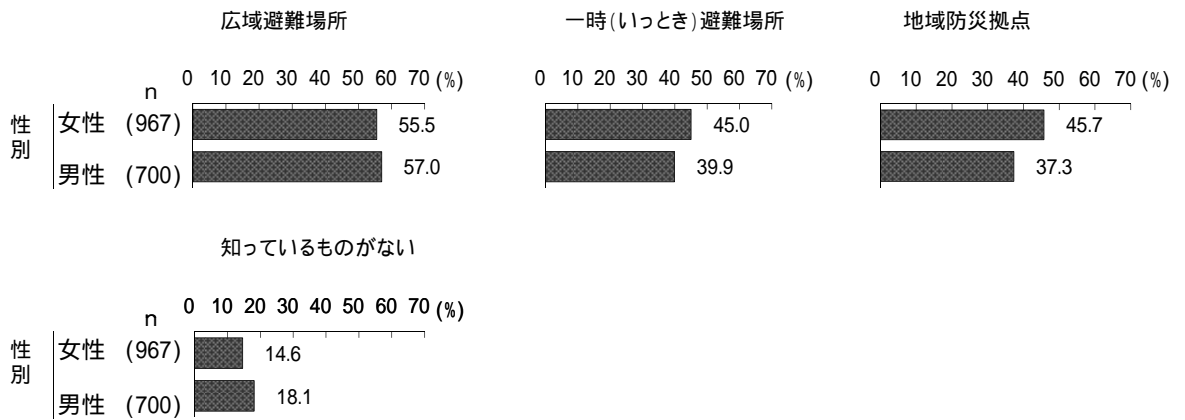
(全体) 上位4項目は以下となる。(図表4-10)

- ・「広域避難場所」(56.2%)
- ・「一時(いつとき)避難場所」(42.9%)
- ・「地域防災拠点」(42.0%)
- ・「知っているものがない」(15.9%)

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-11)

- ・「一時(いつとき)避難場所」は、女性の方が5.1ポイント高い。
- ・「地域防災拠点」は、女性の方が8.4ポイント高い。

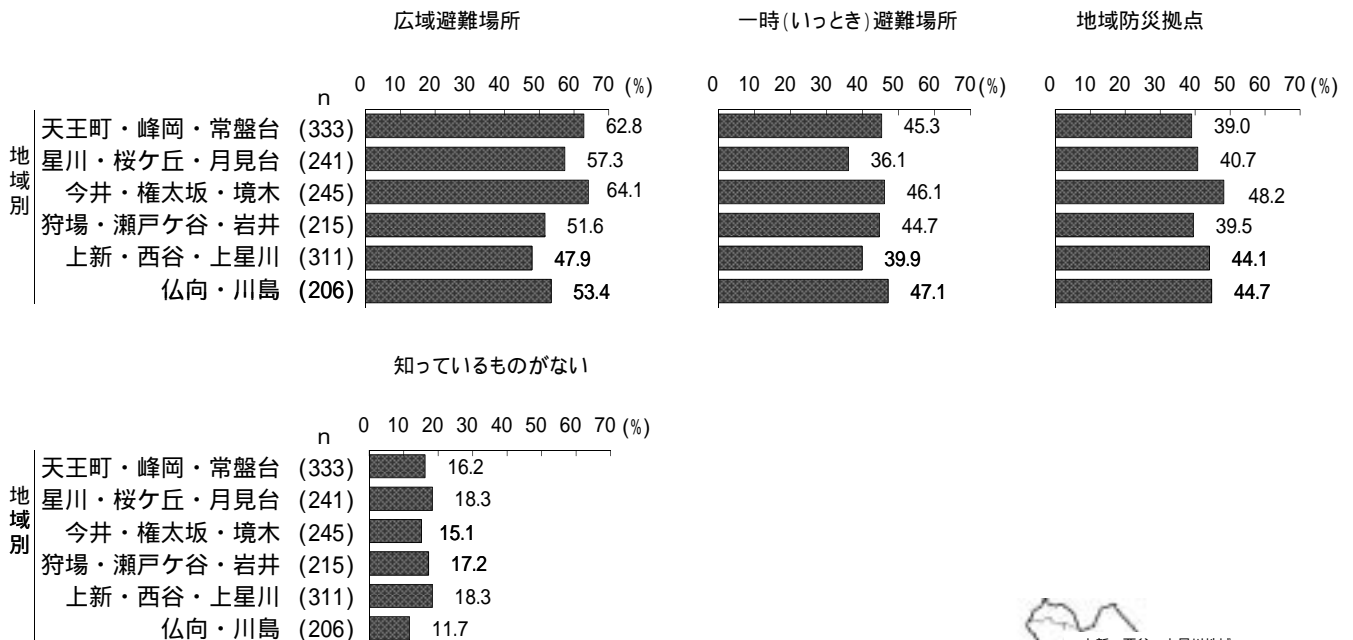
図表4-11 災害時の避難場所の認知度(性別)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-12)

- ・「広域避難場所」は、今井・権太坂・境木(64.1%)で高く、上新・西谷・上星川(47.9%)で低い。
- ・「一時(いつとき)避難場所」は、星川・桜ヶ丘・月見台(36.1%)で低い。
- ・「地域防災拠点」は、今井・権太坂・境木(48.2%)で高い。
- ・「知っているものがない」は、仏向・川島(11.7%)で低い。

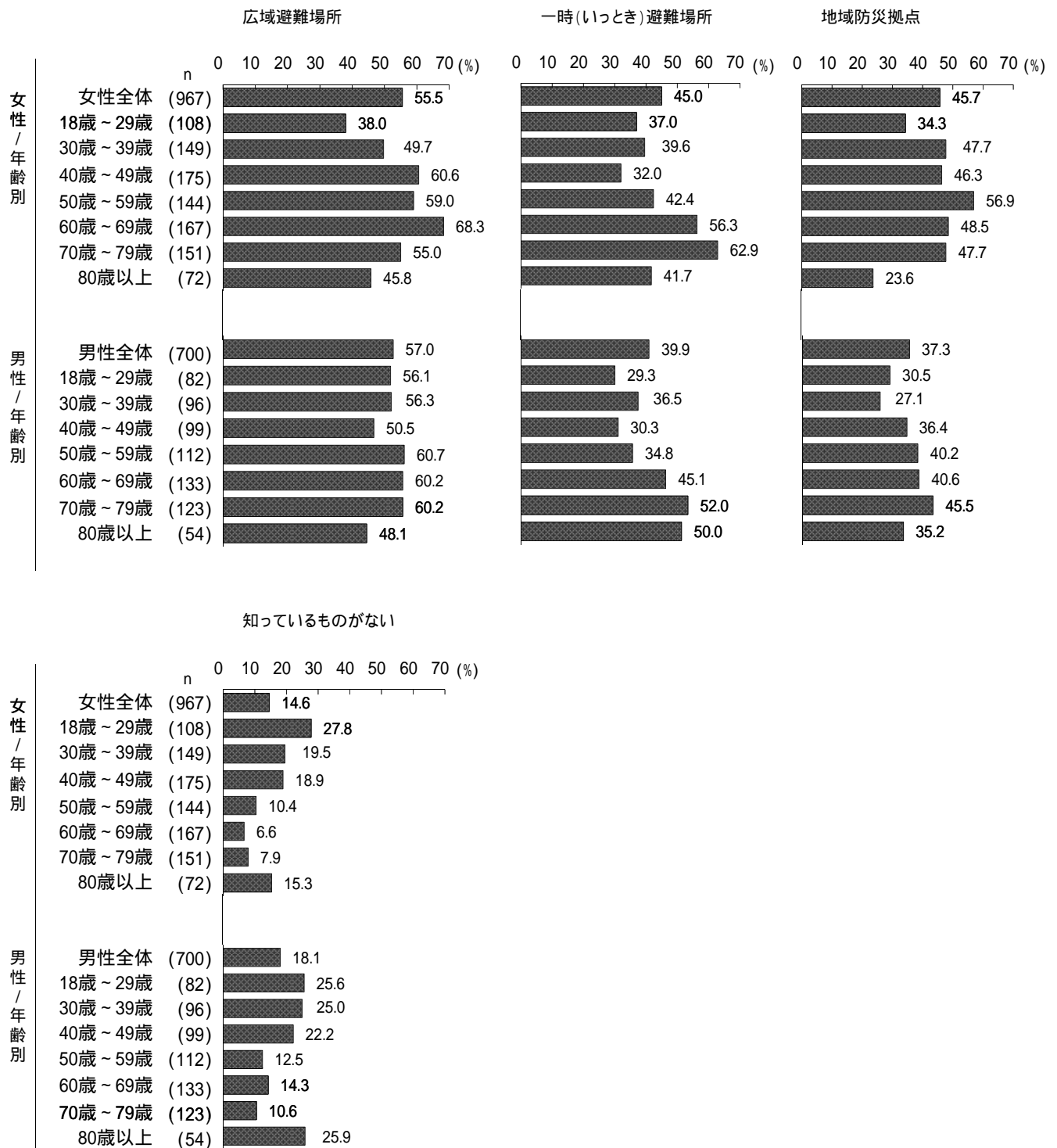
図表4-12 災害時の避難場所の認知度(地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-13)

- ・「広域避難場所」は、女性60歳～69歳(68.3%)で高く、女性18歳～29歳(38.0%)で低い。
- ・「一時(いつとき)避難場所」は、女性70歳～79歳(62.9%)で高く、女性40歳～49歳(32.0%)で低い。
- ・「地域防災拠点」は、女性80歳以上(23.6%)で特に低く、男性30歳～39歳(27.1%)で低い。
- ・「知っているものがない」は、女性18歳～29歳(27.8%)で高い。

図表4-13 災害時の避難場所の認知度(性×年齢別)

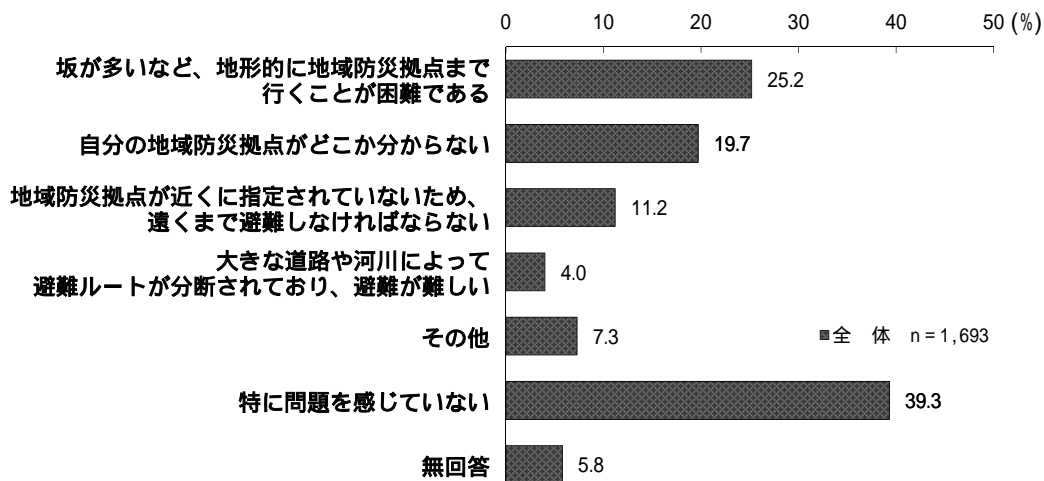


4 - 4 震災時の避難場所について感じている問題

「坂が多いなど、地形的に地域防災拠点まで行くことが困難である」が2割半ば
「特に問題を感じていない」が4割弱

問 14 あなたは、震災時の避難場所についてどのような問題を感じていますか。(はいくつでも)

図表4-14 防震災時の避難場所について感じている問題(複数回答)



(全体) 上位4項目は以下となる。(図表4-14)

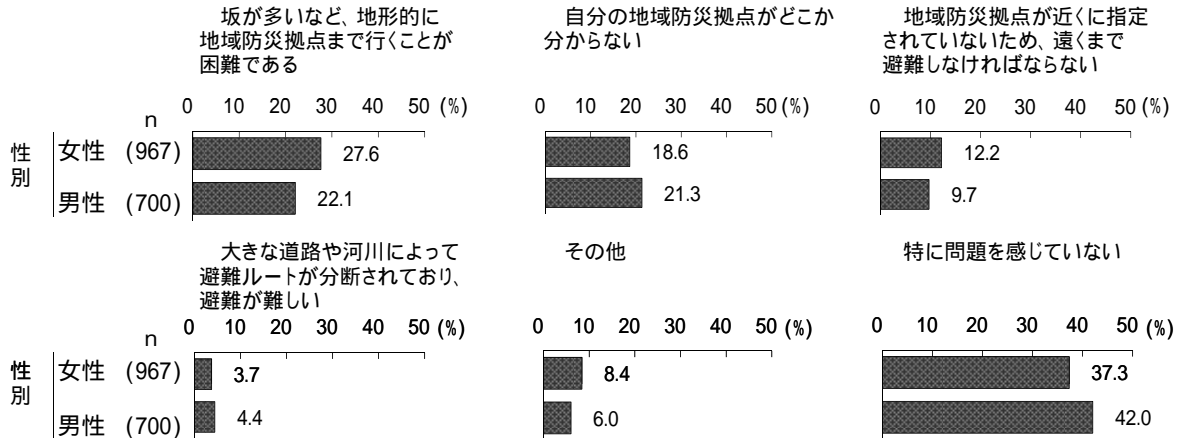
- ・「坂が多いなど、地形的に地域防災拠点まで行くことが困難である」(25.2%)
- ・「自分の地域防災拠点がどこか分からない」(19.7%)
- ・「地域防災拠点が近くに指定されていないため、遠くまで避難しなければならない」(11.2%)
- ・「大きな道路や河川によって避難ルートが分断されており、避難が難しい」(4.0%)

また、「特に問題を感じていない」は、39.3%である。

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-15)

- ・「地域防災拠点まで行くことが困難である」は、女性の方が5.5ポイント高い。
- ・「特に問題を感じていない」は、男性の方が4.7ポイント高い。

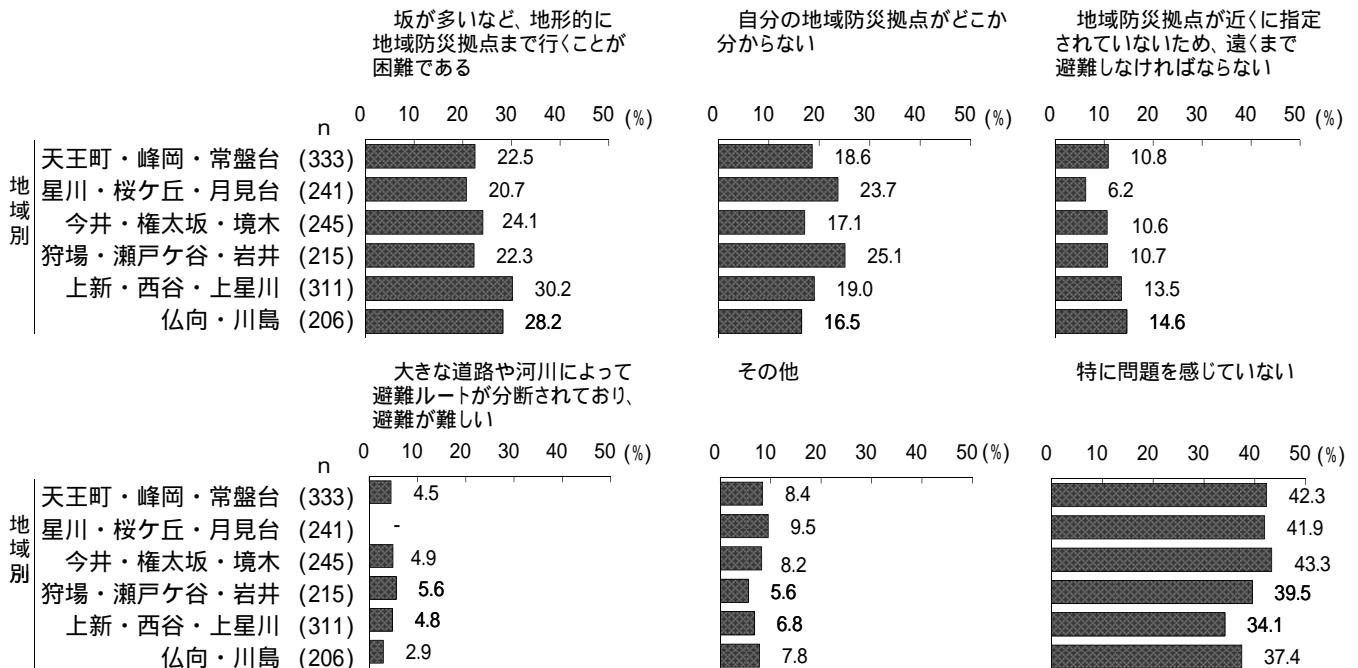
図表4-15 震災時の避難場所について感じている問題(性別)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-16)

- ・「地域防災拠点まで行くことが困難である」は、上新・西谷・上星川(30.2%)で高い。
- ・「地域防災拠点がどこか分からない」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(25.1%)で高い。
- ・「地域防災拠点が近くに指定されていない」は、星川・桜ヶ丘・月見台(6.2%)で低い。
- ・「特に問題を感じていない」は、上新・西谷・上星川(34.1%)で低い。

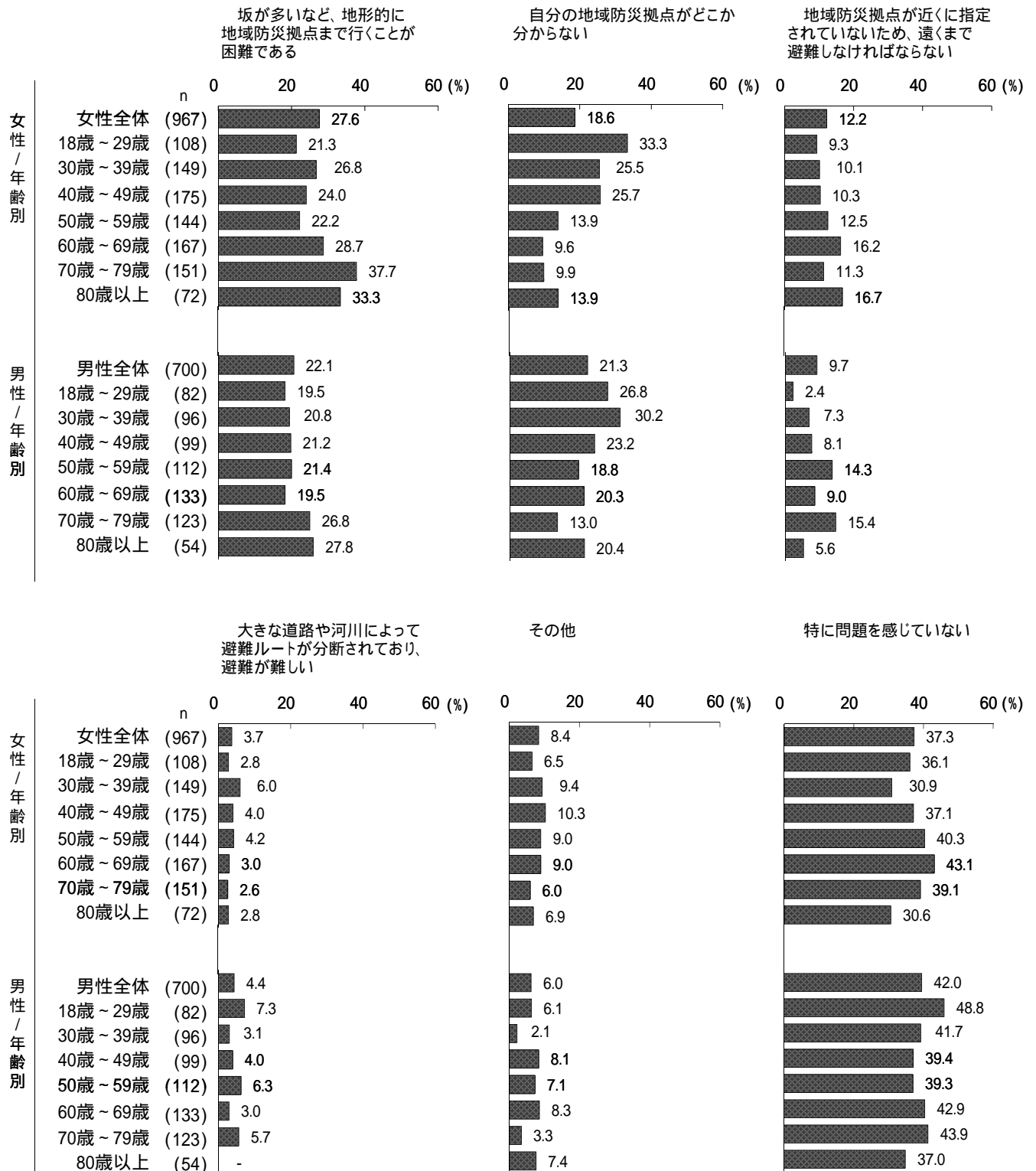
図表4-16 震災時の避難場所について感じている問題(地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-17)

- ・「地域防災拠点まで行くことが困難である」は、男女ともに70歳以上で高い。
- ・「地域防災拠点がどこか分からない」は、男女ともに18歳～49歳で高い。
- ・「地域防災拠点が近くに指定されていない」は、男女ともに18歳～29歳で低い。
- ・「特に問題を感じていない」は、男女ともに80歳以上で低い。

図表4-17 震災時の避難場所について感じている問題(性×年齢別)



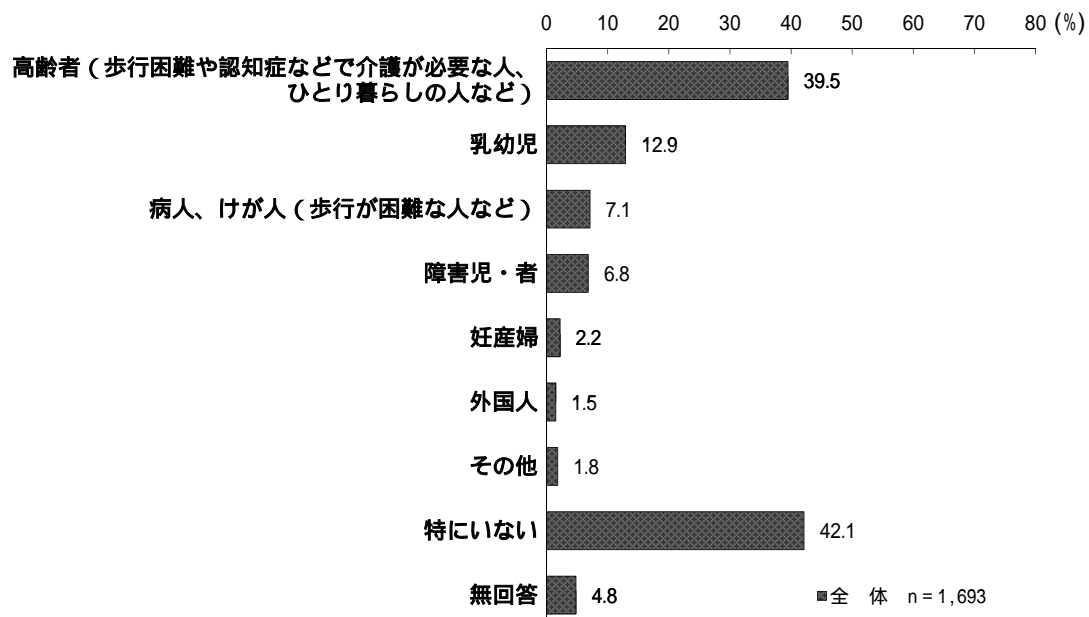
4 - 5 災害時要援護者の有無

「高齢者(歩行困難や認知症などで介護が必要な人)」が4割弱

「特にいない」が4割前半

問 15 あなたの家やご近所には、大震災などの災害が起きた際に、以下の災害時要援護者(避難に手助けが必要になりそうな人)はいますか。(はいくつでも)

図表4-18 災害時要援護者の有無(複数回答)



(全体) 上位5項目は以下となる。(図表4-18)

- ・「高齢者(歩行困難や認知症などで介護が必要な人、ひとり暮らしの人など)」(39.5%)
- ・「乳幼児」(12.9%)
- ・「病人、けが人(歩行が困難な人など)」(7.1%)
- ・「障害児・者」(6.8%)
- ・「妊産婦」(2.2%)

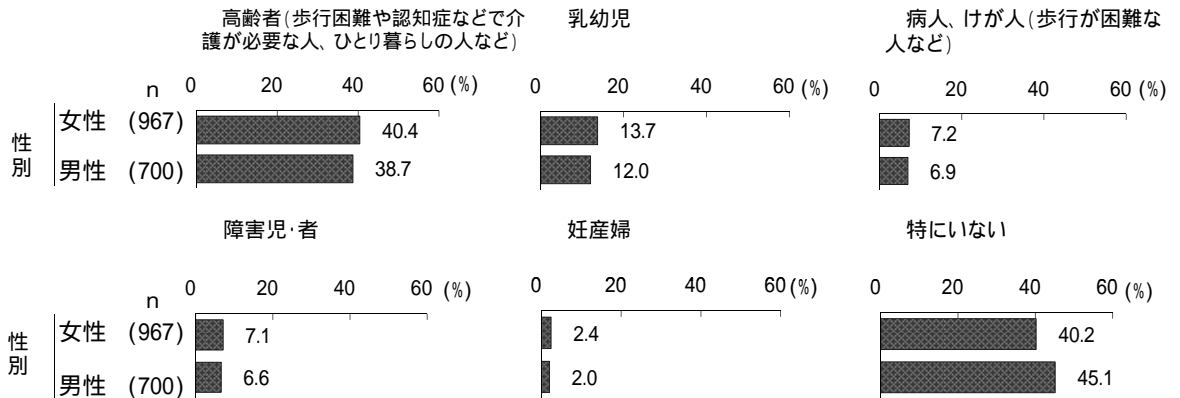
また、「特にいない」は、42.1%となっている。

上位6項目について

(性別) 上位5項目と「特にいない」を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-19)

- ・「特にいない」は、男性(45.1%)で女性より4.9ポイント高い。

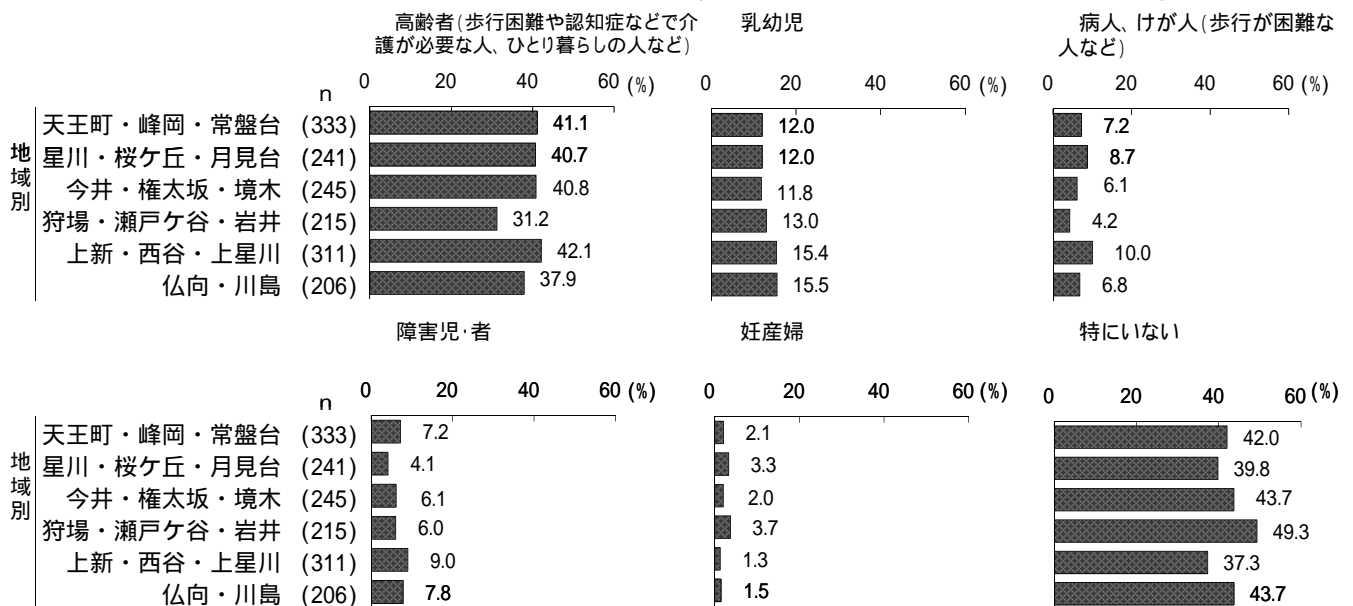
図表4-19 災害時要援護者の有無(性別、上位5項目、「特にいない」)



(地域別) 上位5項目と「特にいない」を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-20)

- ・「高年齢者」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(31.2%)で低い。

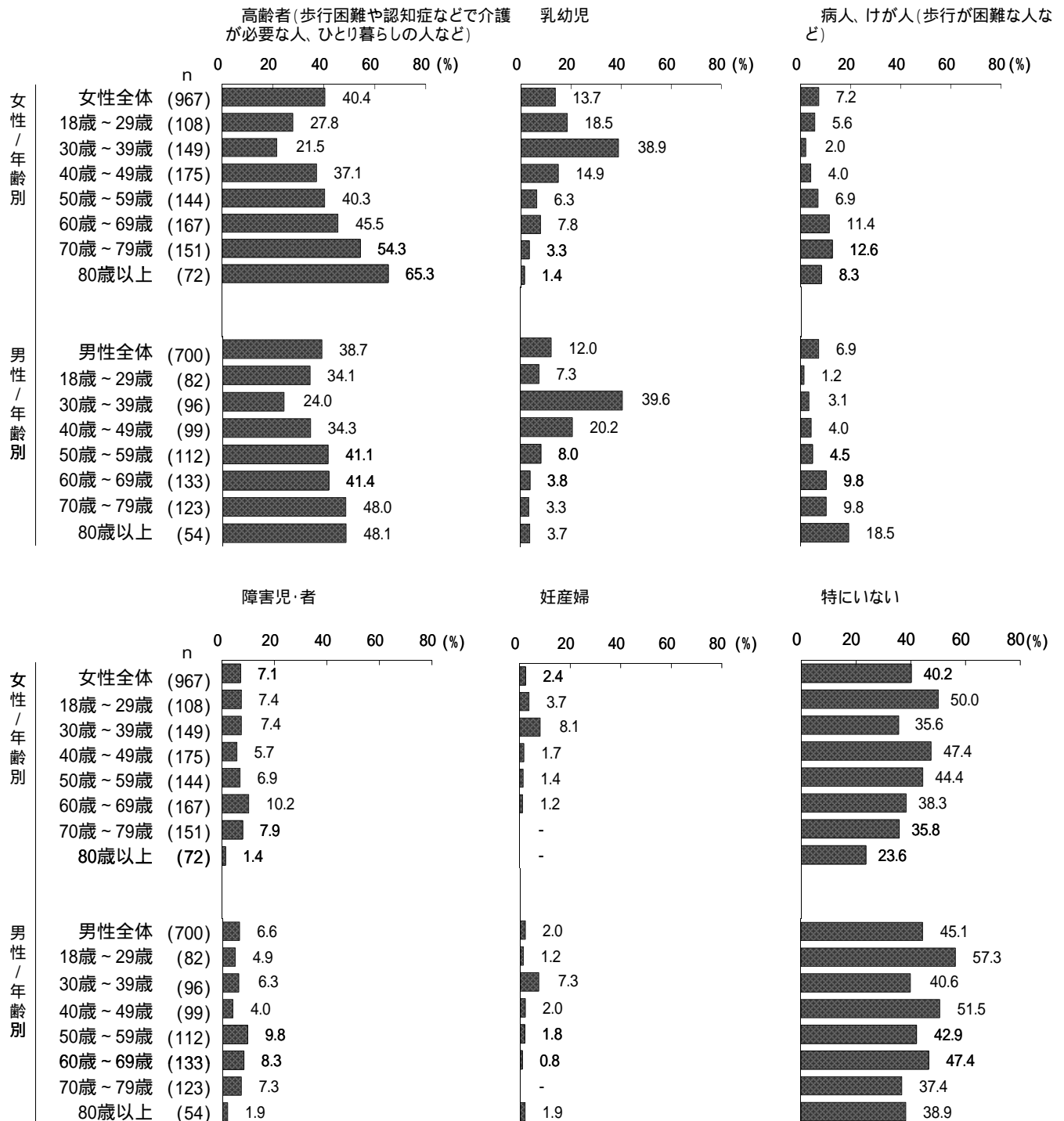
図表4-20 災害時要援護者の有無(地域別、上位5項目、「特にいない」)



(性×年齢別) 上位5項目と「特にいない」を性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表4-21)

- ・「高齢者」は、男女ともに30歳～39歳で特に低く、40歳以上から年齢が上がるにつれ、高くなる傾向がある。
- ・「乳幼児」は、男女ともに30歳～39歳で特に高く、50歳～80歳以上で低い。
- ・「病人、けが人」は、男性80歳以上(18.5%)で高い。
- ・「特にいない」は、女性80歳以上(23.6%)で特に低い。

図表4-21 災害時要援護者の有無(性×年齢別、上位5項目、「特にいない」)

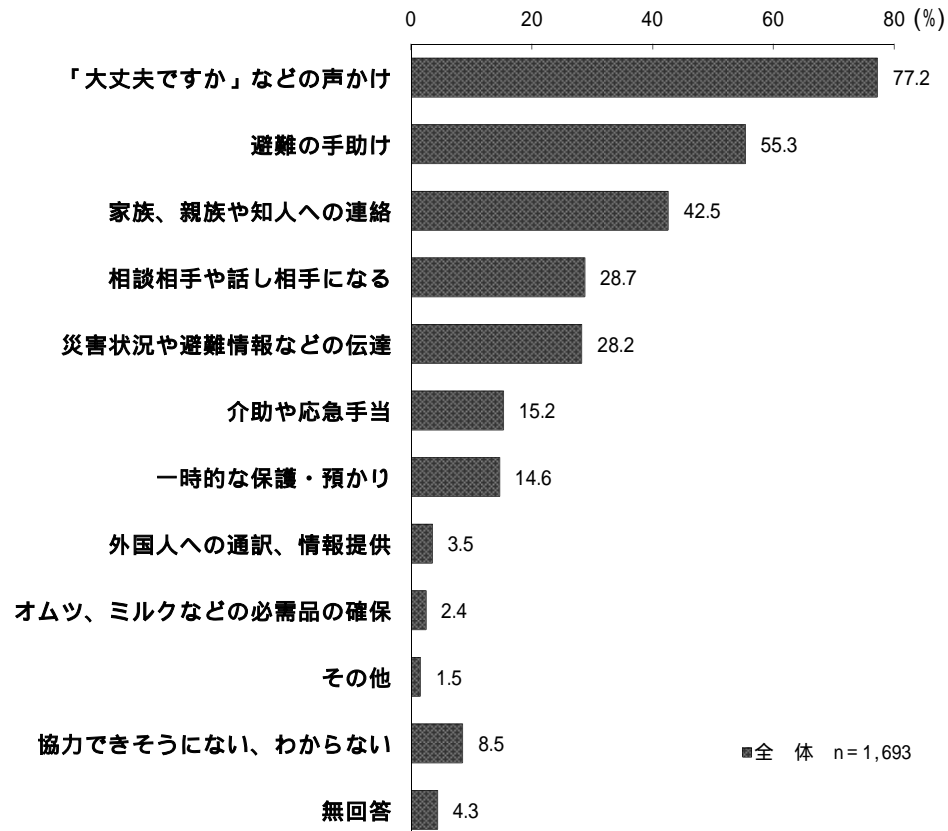


4 - 6 家族以外の災害時要援護者への協力意向

「大丈夫ですか」などの声かけ」が7割後半で最も高い

問 16 災害時要援護者のうち、あなたの家族以外の人に対して、どんな協力ができそうですか。あなた自身や家族の安全はおおむね確保されていると仮定して、お答えください。(はいいくつでも)

図表4-22 家族以外の災害時要援護者への協力意向(複数回答)



(全体) 上位6項目は以下となる。(図表4-22)

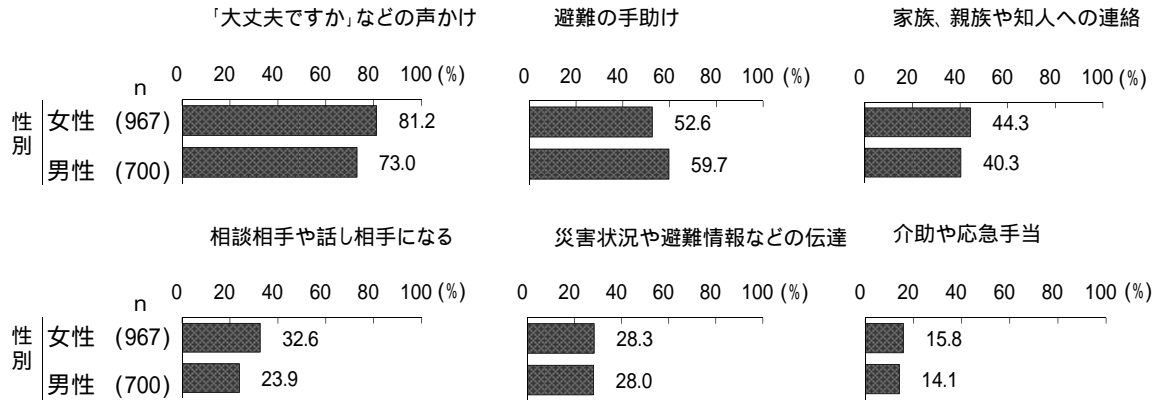
- ・ 「「大丈夫ですか」などの声かけ」(77.2%)
- ・ 「避難の手助け」(55.3%)
- ・ 「家族、親族や知人への連絡」(42.5%)
- ・ 「相談相手や話し相手になる」(28.7%)
- ・ 「災害状況や避難情報などの伝達」(28.2%)
- ・ 「介助や応急手当」(15.2%)

上位6項目について

(性別) 上位6項目を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-23)

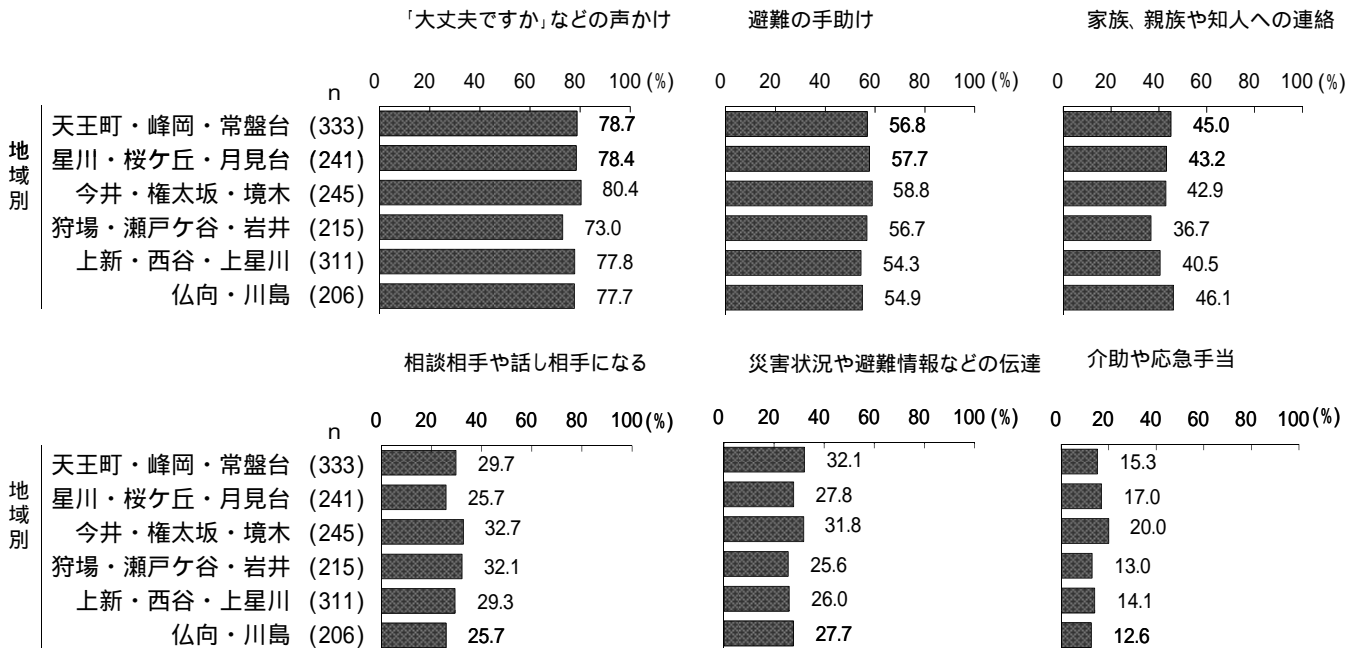
- ・「大丈夫ですか」などの声かけは、女性(81.2%)で男性より8.2ポイント高い。
- ・「避難の手助け」は、男性(59.7%)で女性より7.1ポイント高い。
- ・「相談相手や話し相手になる」は、女性(32.6%)で男性より8.7ポイント高い。

図表4-23 家族以外の災害時要援護者への協力意向(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて大きな差はみられない。(図表4-24)

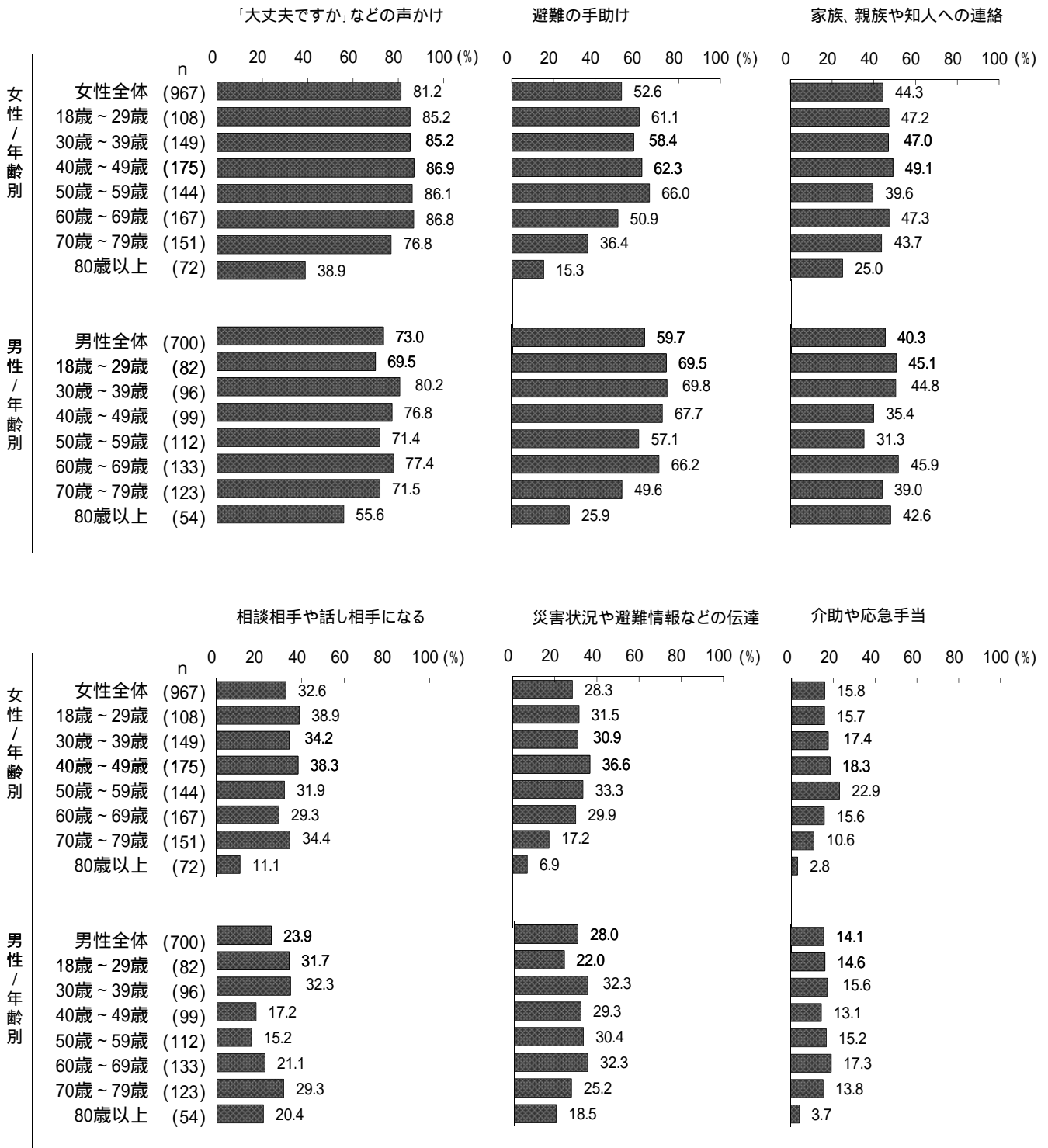
図表4-24 家族以外の災害時要援護者への協力意向(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-25)

- ・いずれの項目も男女ともに80歳以上で、「家族、親族や知人への連絡」、「相談相手や話し相手になる」と答えた男性を除き特に低い。
- ・「避難の手助け」は、女性70歳～79歳(36.4%)で特に低く、男性18歳～49歳で高い。

図表4-25 家族以外の災害時要援護者への協力意向(性×年齢別、上位6項目)



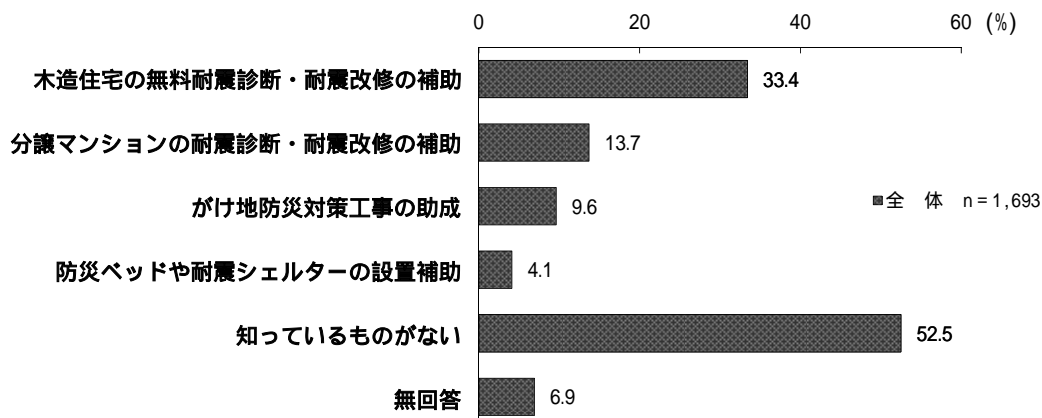
4 - 7 建物の耐震改修や減災の補助制度の認知度

「木造住宅の無料耐震診断・耐震改修の補助」が3割前半

「知っているものがない」が5割前半

問 17 あなたは、横浜市が行っている建物の耐震改修や減災（災害による被害をできるだけ小さくすること）のための以下の内容について知っていますか。（ はい/いつでも）

図表4-26 建物の耐震改修や減災の補助制度の認知度（複数回答）



昭和56年5月以前の古い耐震基準で建てられた木造住宅や分譲マンションを対象にした、無料耐震診断や耐震改修費用の補助制度などがあります。
（問い合わせ先：建築局建築企画課 045-671-2943）
防災目的でがけ所有者等ががけ地の予防・復旧工事をする場合、資金の一部について助成を受けることができます。（問い合わせ先：建築局宅地企画課 045-671-2948）

(全体) 上位3項目は以下となる。(図表4-26)

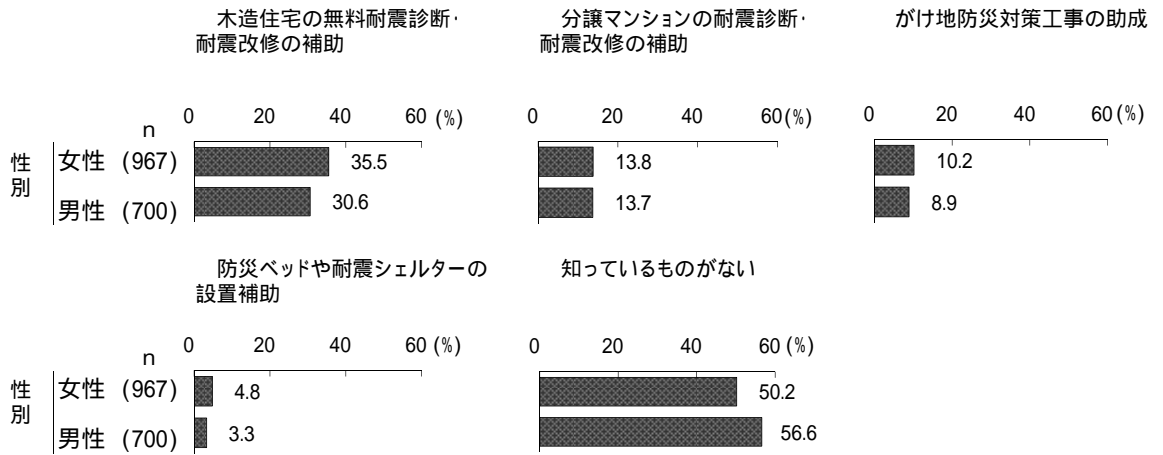
- ・「木造住宅の無料耐震診断・耐震改修の補助」(33.4%)
- ・「分譲マンションの耐震診断・耐震改修の補助」(13.7%)
- ・「がけ地防災対策工事の助成」(9.6%)

また、「知っているものがない」は、52.5%である。

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-27)

- ・「木造住宅の無料耐震診断・耐震改修の補助」は、女性(35.5%)で男性より4.9ポイント高い。
- ・「知っているものがない」は、男性(56.6%)で女性より6.4ポイント高い。

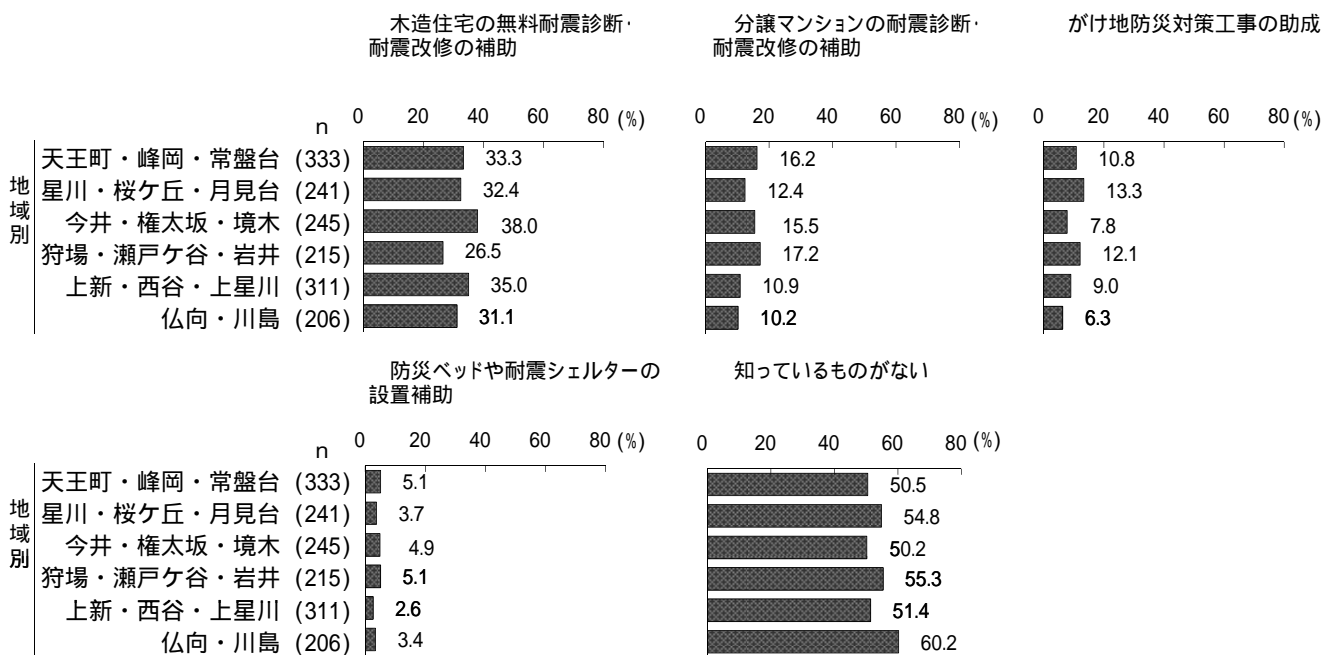
図表4-27 建物の耐震改修や減災の補助制度の認知度(性別)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-28)

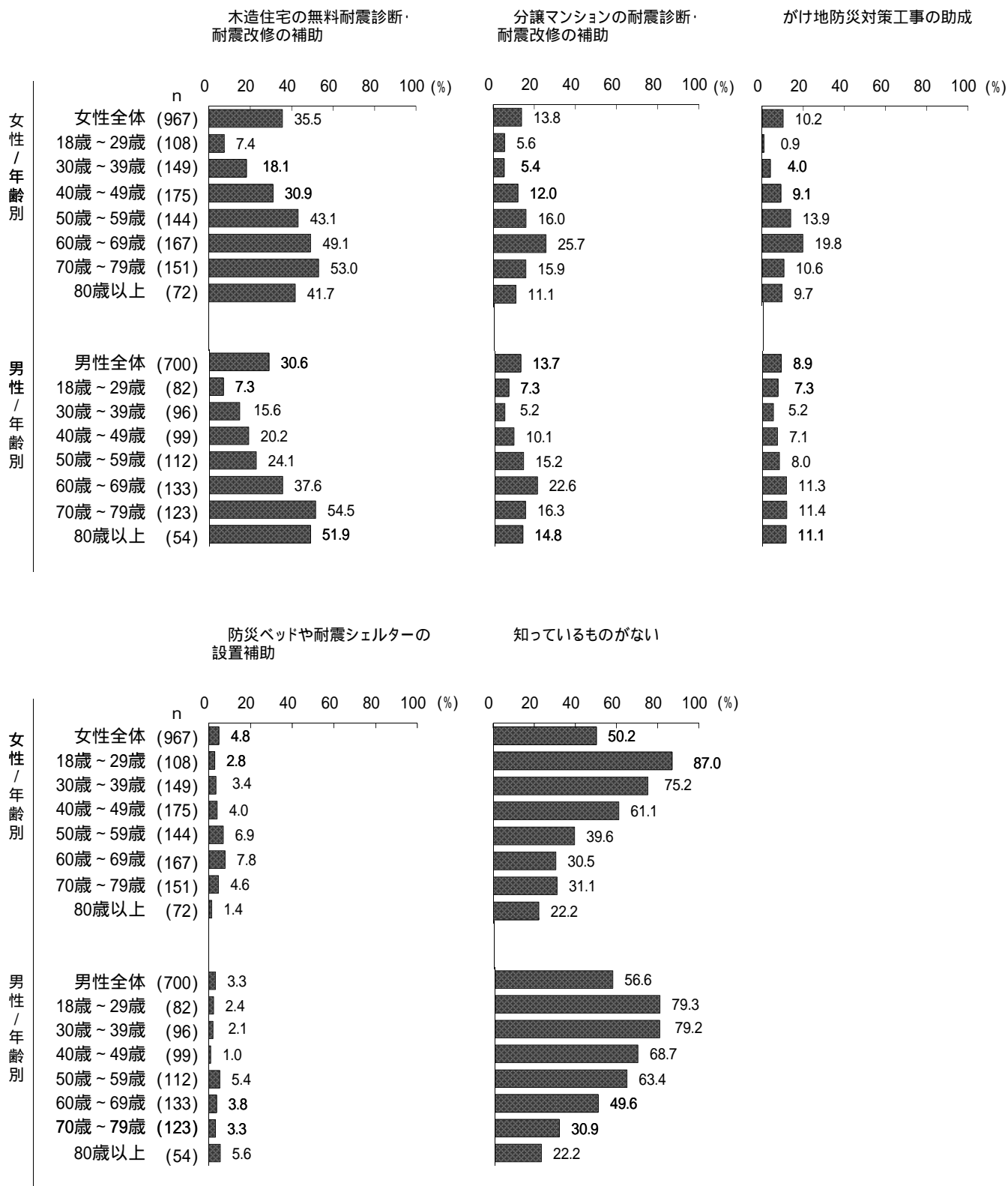
- ・「木造住宅の無料耐震診断・耐震改修の補助」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(26.5%)で低い。
- ・「知っているものがない」は、仏向・川島(60.2%)で高い。

図表4-28 建物の耐震改修や減災の補助制度の認知度(地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、男女ともに18歳～49歳の年代で全体より認知度が低く、50歳以上で高い傾向がある。(図表4-29)

図表4-29 建物の耐震改修や減災の補助制度の認知度(性×年齢別)

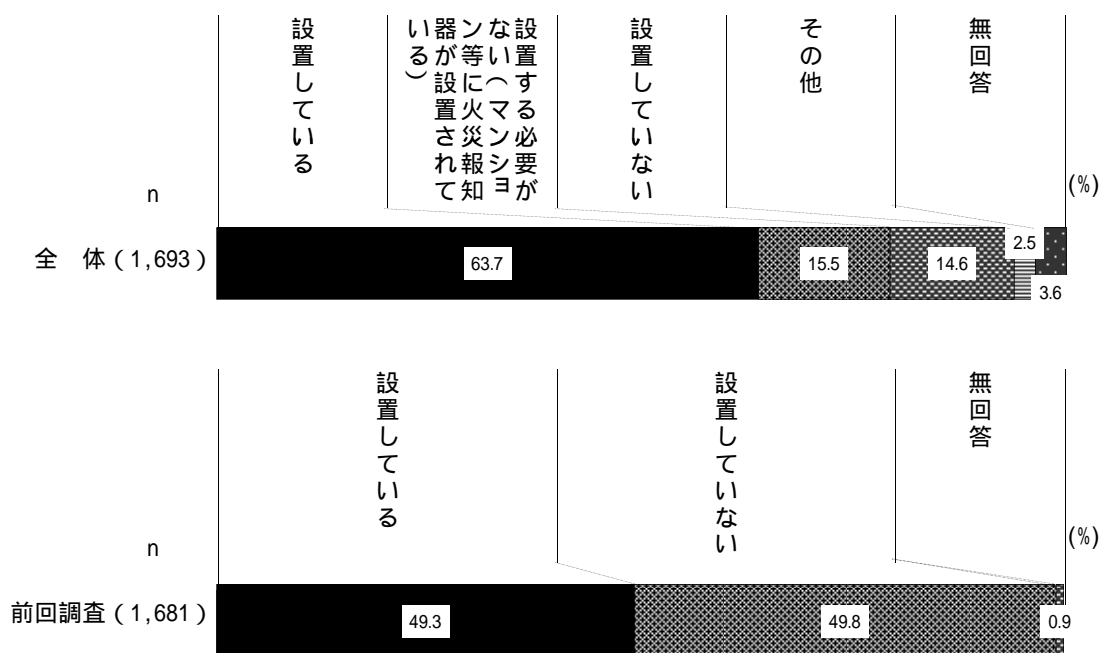


4 - 8 住宅用火災報知器の設置状況

「設置している」が6割半ば、「設置していない」が1割半ば

問 18 あなたの住宅の、住宅用火災警報器の設置状況はどれですか。
(平成23年6月から、住宅用火災警報器の設置が義務化されました。)(は1つ)

図表4-30 住宅用火災報知器の設置状況



(全体) 「設置している」と回答した人の割合(63.7%)が6割半ばで次いで、「設置する必要がある(マンション等に火災報知器が設置されている)」(15.5%)、「設置していない」(14.6%)となっている。(図表4-30)

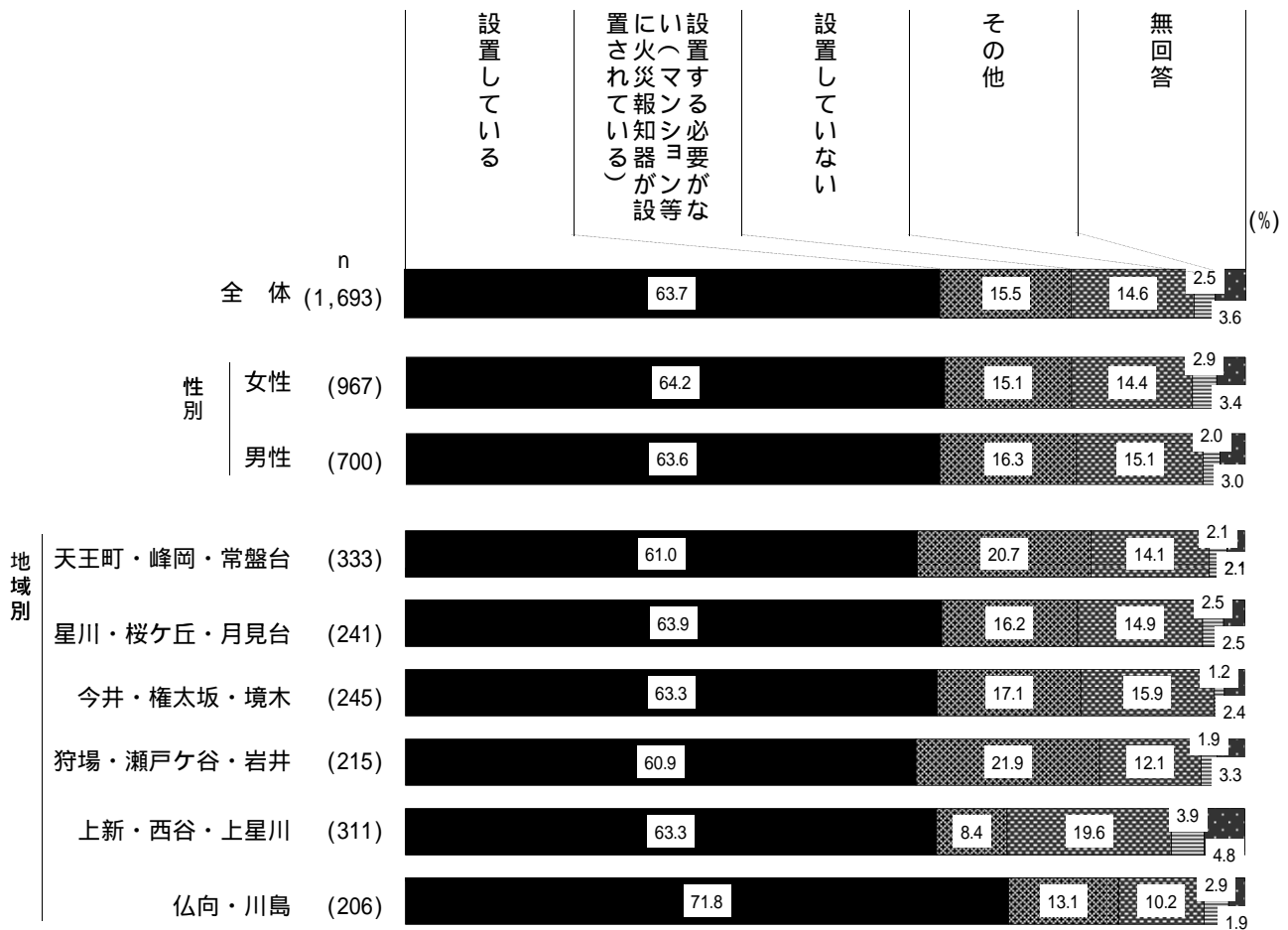
(前回調査(平成21年度)との比較) 「設置する必要がある(マンション等に火災報知器が設置されている)」と、「その他」の項目が追加されたため、正確な比較はできないが、「設置している」は14.4ポイント高くなり、「設置していない」が35.2ポイント低くなり、設置状況が上がっている。(図表4-30)

(性別) 性別による大きな差はみられない。(図表4-31)

(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-31)

- ・「設置している」は、仏向・川島(71.8%)で高い。
- ・「設置する必要がない」は、上新・西谷・上星川(8.4%)で低い。

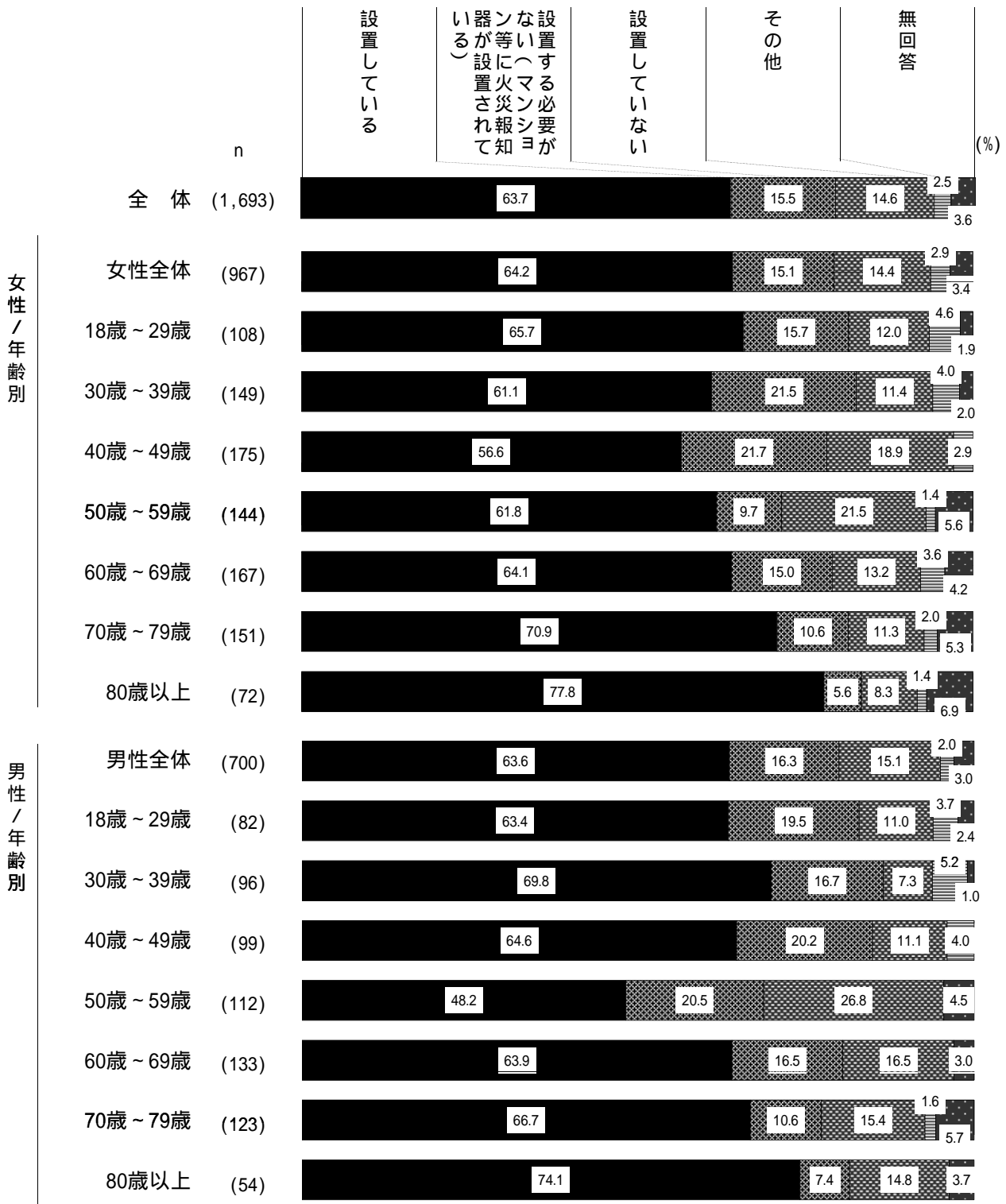
図表4-31 住宅用火災報知器の設置状況(性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-32)

- ・「設置している」は、男女とも80歳以上で高く、男性50歳～59歳(48.2%)で低い。
- ・「設置する必要がある(設置しなくてもよい)」は、男女とも70歳以上で低い。
- ・「設置していない」は、男女とも50歳～59歳で高い。

図表4-32 住宅用火災報知器の設置状況(性×年齢別)

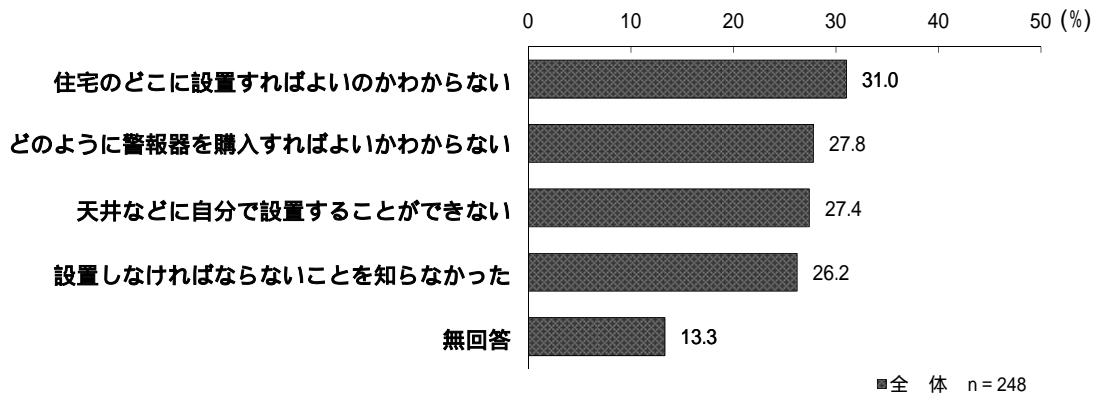


4 - 9 住宅用火災報知器を設置していない理由

「住宅のどこに設置すればよいのかわからない」が3割強
「設置しなければならないことを知らなかった」が2割半ば

問 18-1 問18で「3. 設置していない」と答えた方にうかがいます。設置していない理由はどれですか。
(はいくつでも)

図表4-33 住宅用火災報知器を設置していない理由(複数回答)



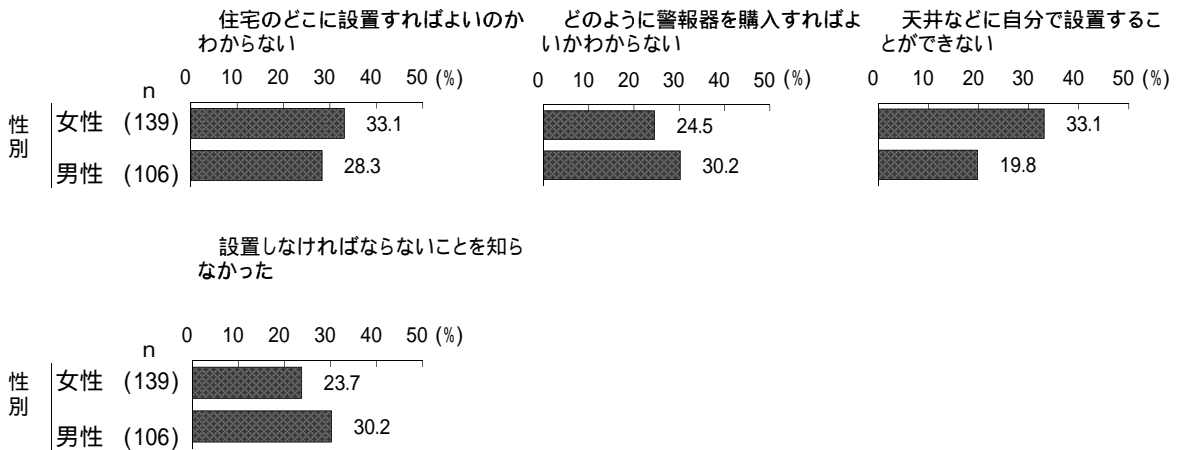
(全体) 上位4項目は以下となる。(図表4-33)

- ・「住宅のどこに設置すればよいのかわからない」(31.0%)
- ・「どのように警報器を購入すればよいかわからない」(27.8%)
- ・「天井などに自分で設置することができない」(27.4%)
- ・「設置しなければならないことを知らなかった」(26.2%)

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-34)

- ・「天井などに自分で設置することができない」は、女性(33.1%)で男性より13.3ポイント高い。
- ・「設置しなければならないことを知らなかった」は、男性(30.2%)で女性より6.5ポイント高い。

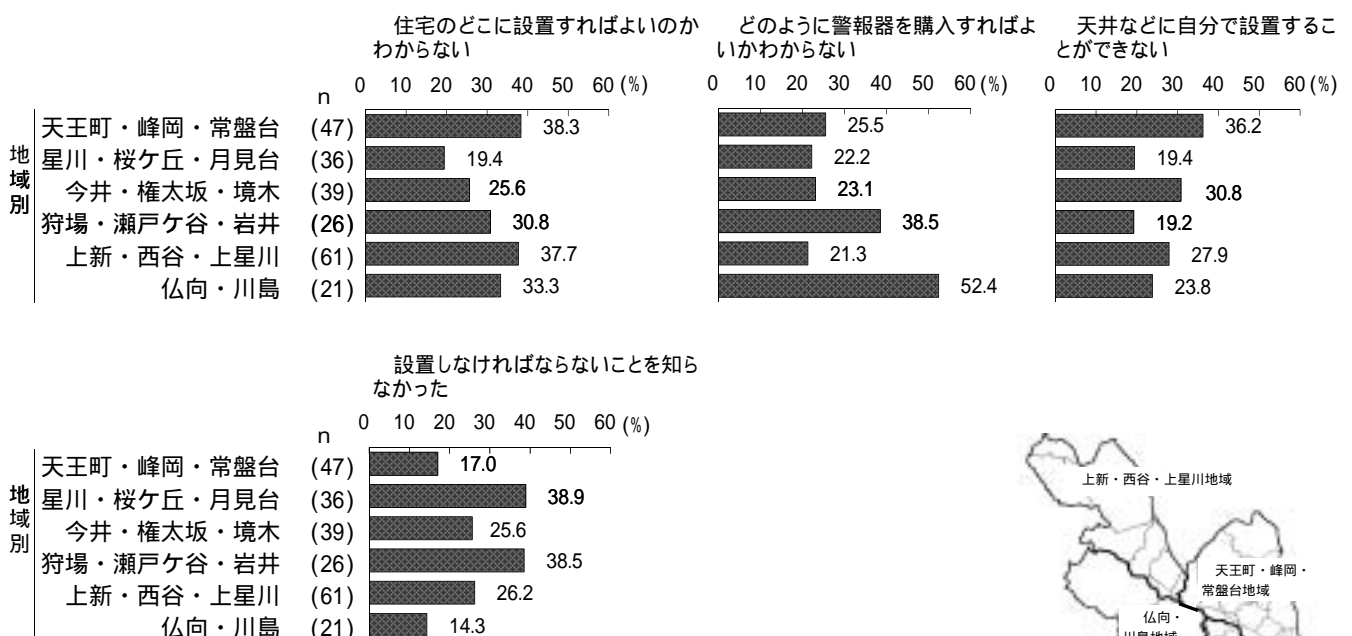
図表4-34 住宅用火災報知器を設置していない理由(性別)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-35)

- ・「住宅のどこに設置すればよいかわからない」は、星川・桜ヶ丘・月見台(19.4%)で低い。
- ・「どのように警報器を購入すればよいかかわからない」は、仏向・川島(52.4%)で特に高い。
- ・「天井などに自分で設置することができない」は、天王町・峰岡・常盤台(36.2%)で高い。
- ・「設置しなければならないことを知らなかった」は、星川・桜ヶ丘・月見台(38.9%)と狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(38.5%)で高く、仏向・川島(14.3%)で低い。

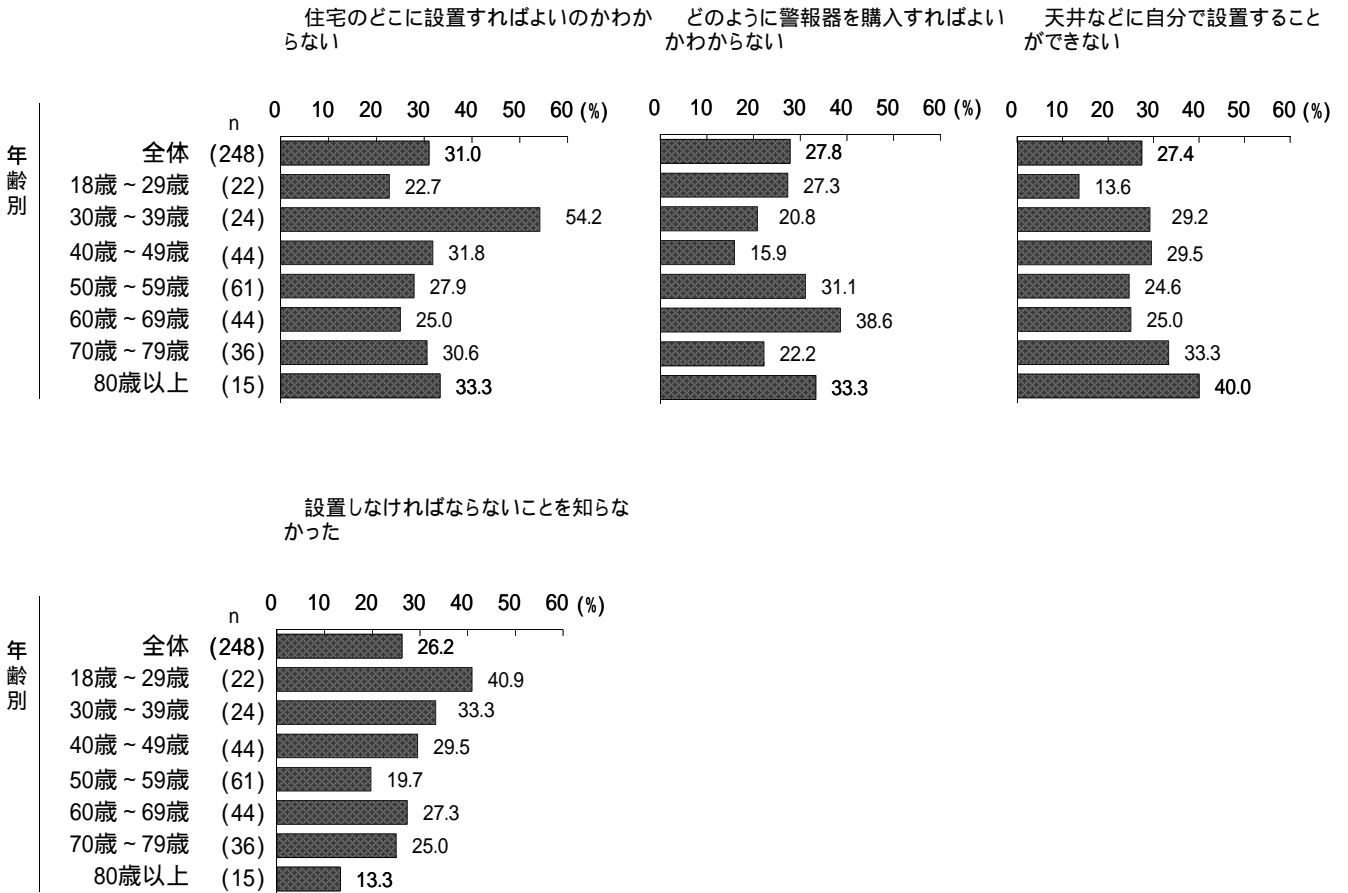
図表4-35 住宅用火災報知器を設置していない理由(地域別)



(年齢別) 年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表4-36)

- ・「住宅のどこに設置すればよいかわからない」は、30歳～39歳(54.2%)で特に高い。
- ・「どのように警報器を購入すればよいかわからない」は、60歳～69歳(38.6%)で高い。
- ・「天井などに自分で設置することができない」は、80歳以上(40.0%)で高く、18歳～29歳(13.6%)で低い。
- ・「設置しなければならないことを知らなかった」は、18歳～29歳(40.9%)で高く、80歳以上(13.3%)で低い。

図表4-36 住宅用火災報知器を設置していない理由(年齢別)



対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

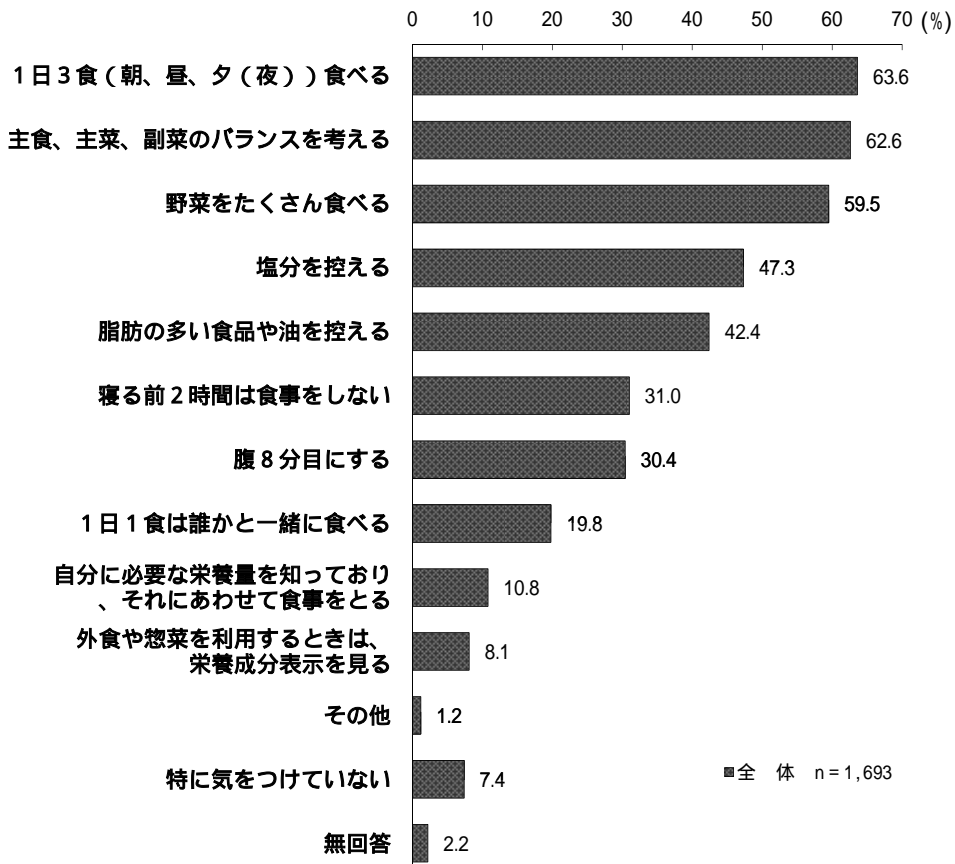
5 福祉・保健について

5-1 普段の食生活で気をつけていること

「1日3食(朝、昼、夕(夜))食べる」「主食、主菜、副菜のバランスを考える」
「野菜をたくさん食べる」の3項目で6割前後

問 19-1 (食生活)あなたが普段の食生活で気をつけていることは、どれですか。(はいいくつでも)

図表5-1 普段の食生活で気をつけていること(複数回答)



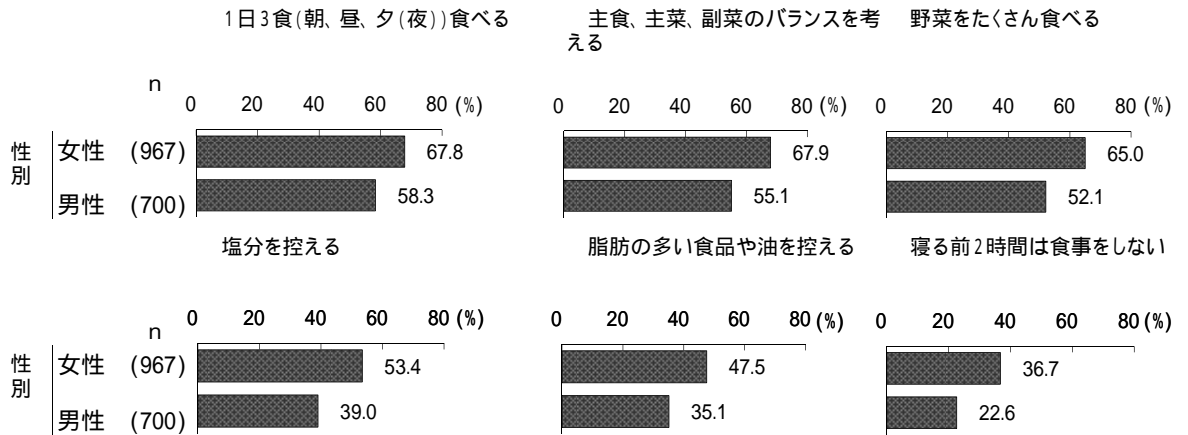
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表5-1)

- ・「1日3食(朝、昼、夕(夜))食べる」(63.6%)
- ・「主食、主菜、副菜のバランスを考える」(62.6%)
- ・「野菜をたくさん食べる」(59.5%)
- ・「塩分を控える」(47.3%)
- ・「脂肪の多い食品や油を控える」(42.4%)
- ・「寝る前2時間は食事をしない」(31.0%)

上位6項目について

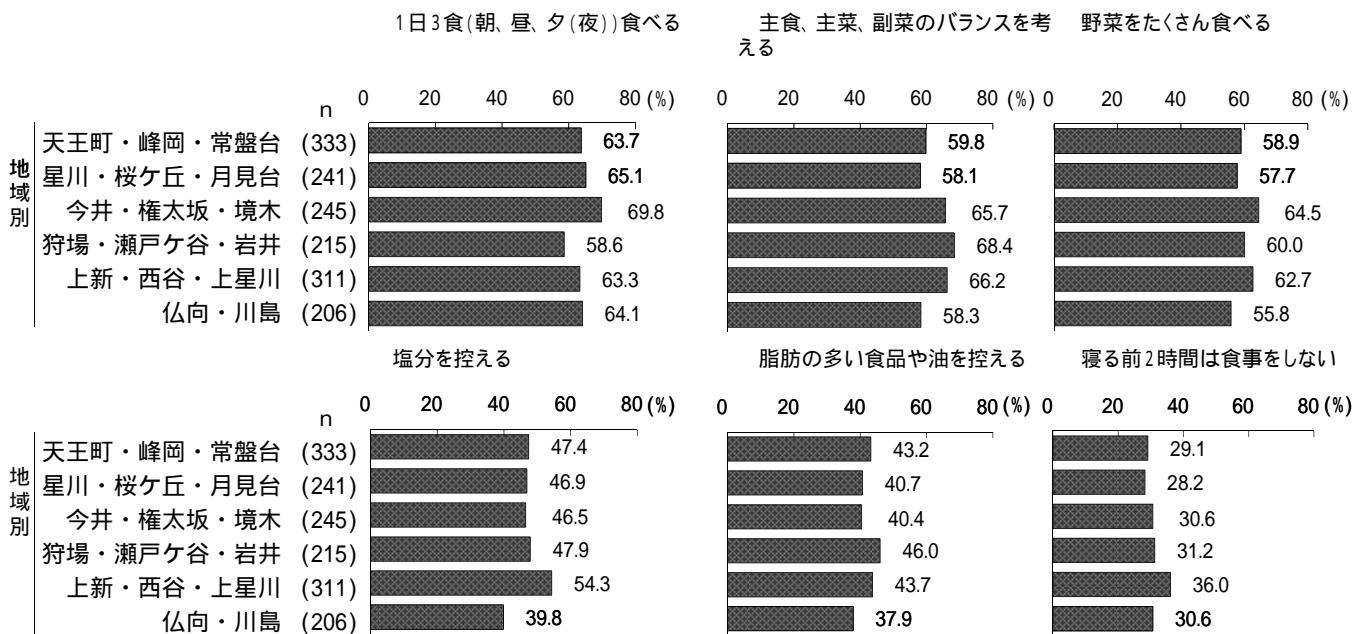
(性別) 上位6項目を性別みると、女性が気をつけていて、全ての項目で10ポイント程度高い。(図表5-2)

図表5-2 普段の食生活で気をつけていること(性別、上位6項目)



(地域別) 上位6項目を地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-3)

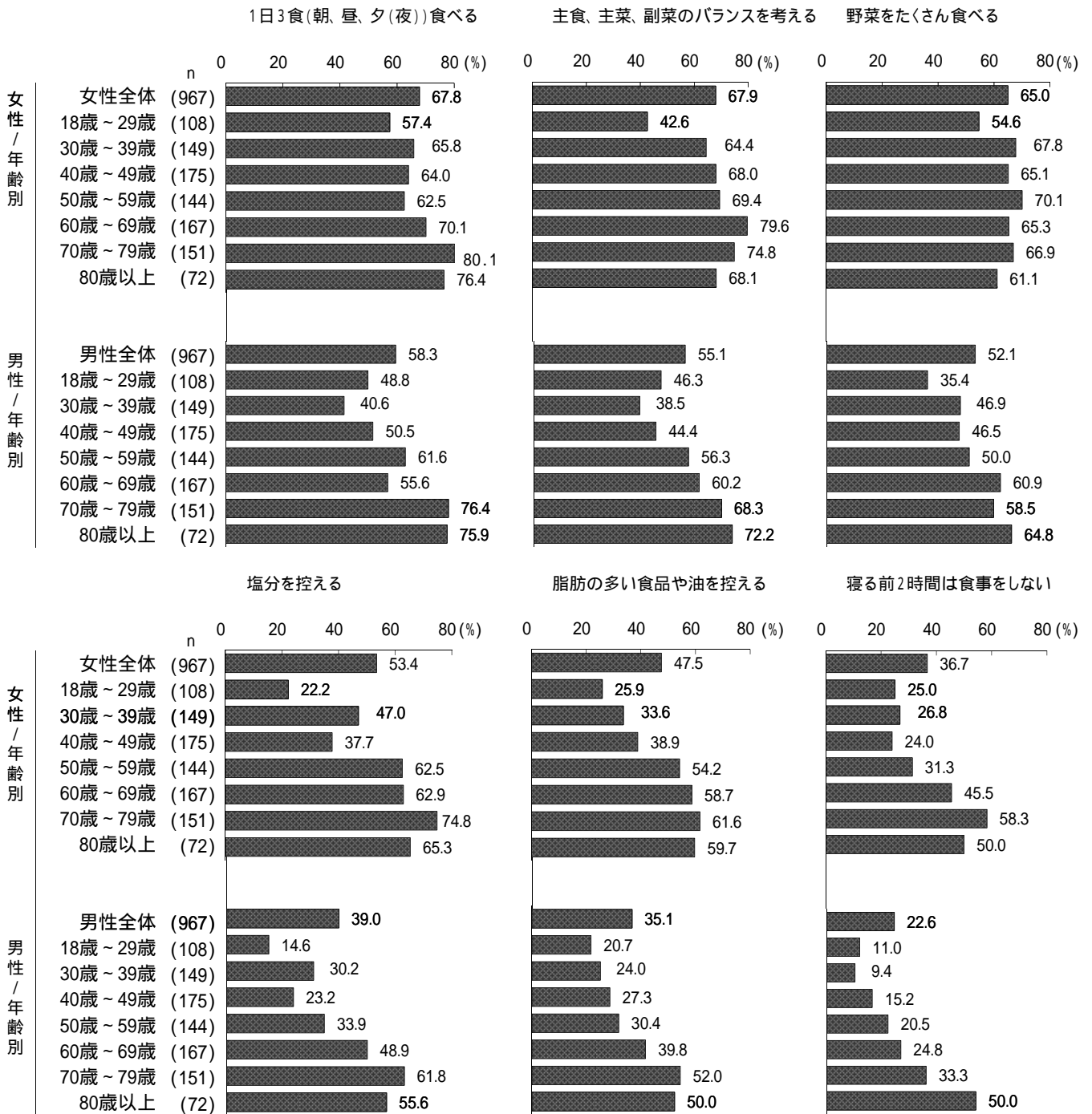
図表5-3 普段の食生活で気をつけていること(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 上位6項目を性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-4)

- ・「野菜をたくさん食べる」は、男性の18歳～29歳(35.4%)で特に低く、年齢が上がるにつれ高くなる傾向がみられる。
- ・「塩分を控える」は、女性18歳～29歳(22.2%)と男性18歳～29歳(14.6%)で特に低い。
- ・「脂肪の多い食品や油を控える」は、女性18歳～29歳(25.9%)で特に低い。
- ・「寝る前2時間は食事をしない」は、女性70歳～79歳(58.3%)と男性80歳以上(50.0%)で特に高い。

図表5-4 普段の食生活で気をつけていること(性×年齢別、上位6項目)

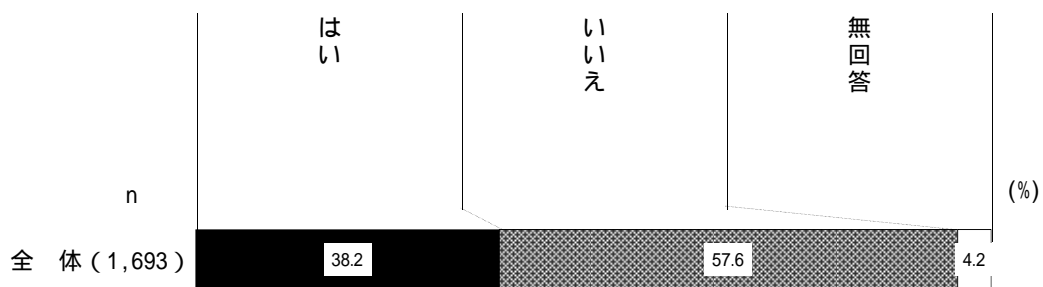


5 - 2 日常的に運動する習慣の有無

日常的に運動する習慣がないと回答した人が5割後半を占める

問 19-2 (運動)あなたは、日常的に運動する習慣がありますか。
(週2回以上かつ1日30分以上運動する習慣が1年以上続いていますか。)(は1つ)

図表5-5 日常的に運動する習慣の有無



(全体) 「いいえ」(日常的に運動する習慣がない)の割合(57.6%)が5割後半を占め、「はい」(日常的に運動する習慣がある)の割合(38.2%)は3割後半を占める。(図表5-5)

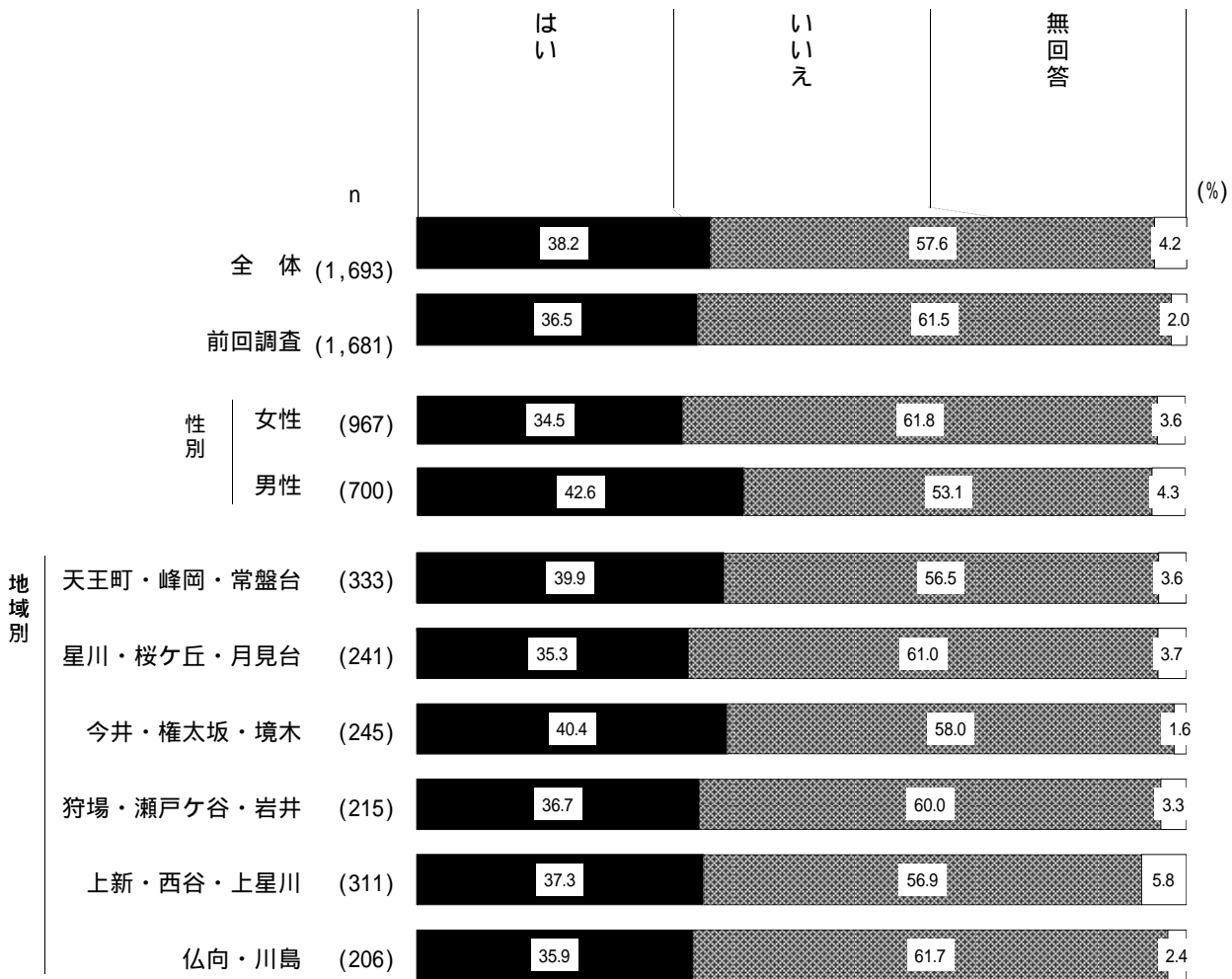
(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表5-6)

(性別) 性別にみて、男性が日常的に運動する習慣がある傾向である。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-6)

- ・「はい」は、男性(42.6%)で女性より8.1ポイント高い。
- ・「いいえ」は、女性(61.8%)で男性より8.7ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-6)

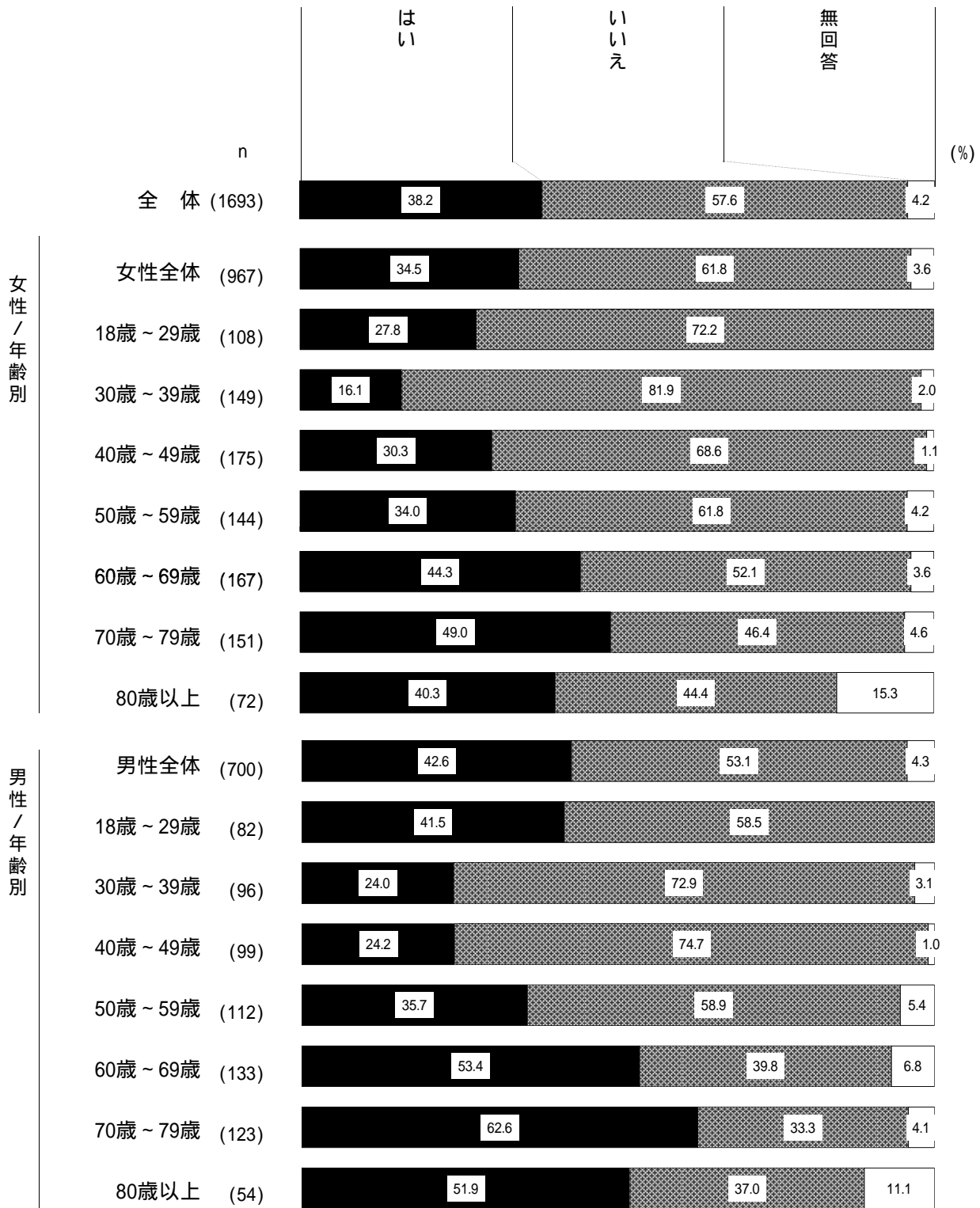
図表5-6 日常的に運動する習慣の有無(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-7)

- ・「はい」(日常的に運動する習慣がある)と回答した割合は、男女とも60歳以上で高くなる傾向がみられる。
- ・「いいえ」(日常的に運動する習慣がない)と回答した割合は、女性18歳～49歳と男性30歳～39歳で高い。

図表5-7 日常的に運動する習慣の有無(性×年齢別)

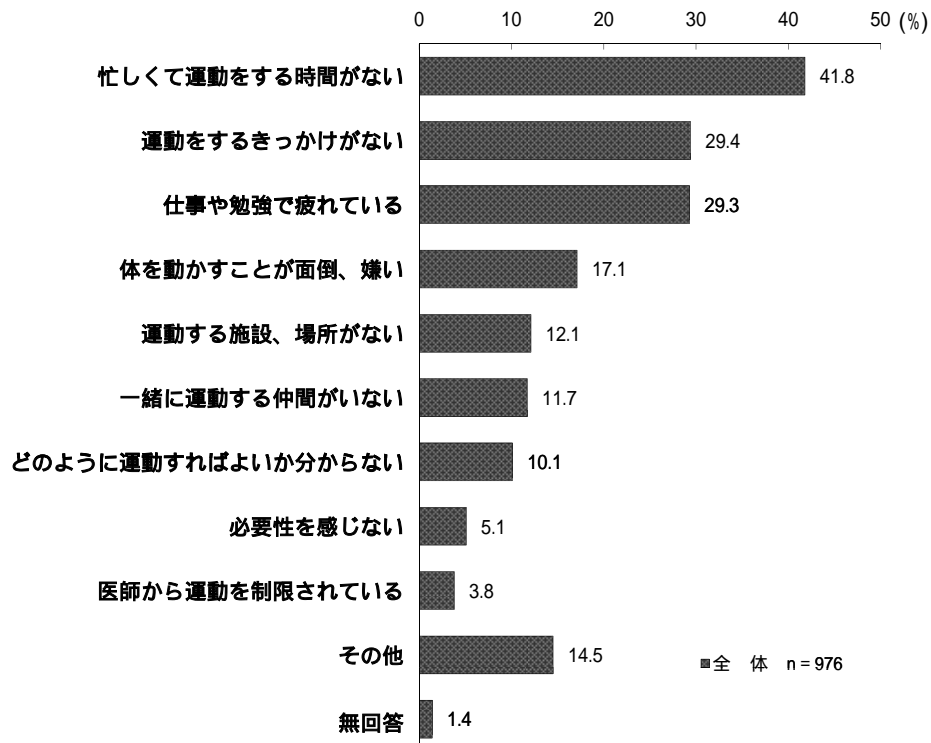


5-3 運動をしない理由

「忙しくて運動をする時間がない」が4割前半で最も高い

問 19-2-1 問19-2で、「2.いいえ」と答えた方にうかがいます。
運動をしない理由は何ですか。(はいくつでも)

図表5-8 運動をしない理由(複数回答)



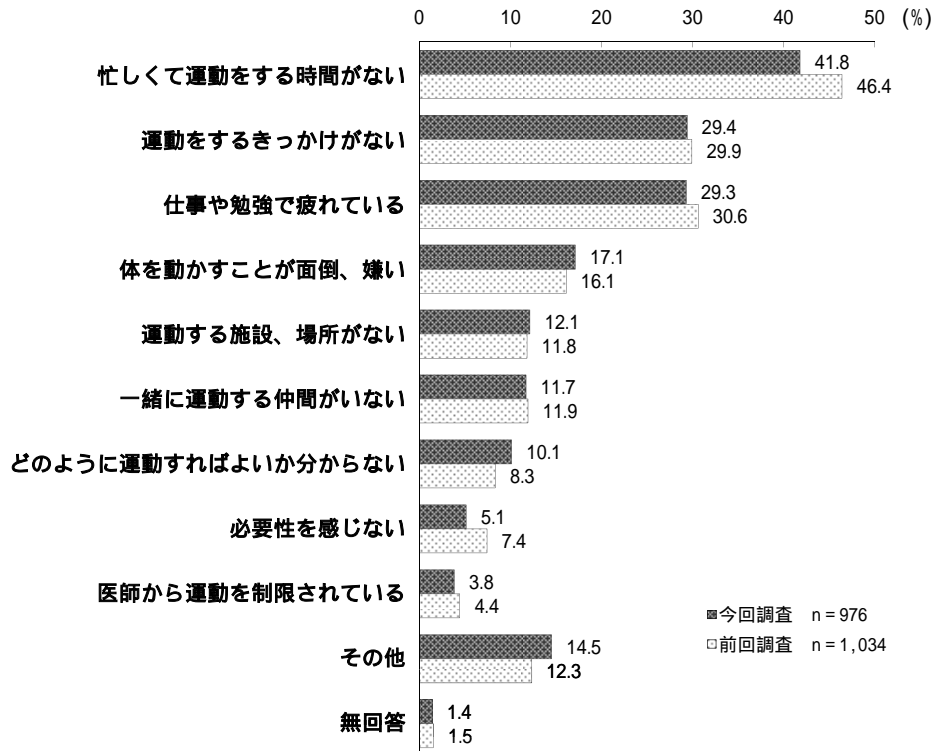
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表5-8)

- ・「忙しくて運動をする時間がない」(41.8%)
- ・「運動をするきっかけがない」(29.4%)
- ・「仕事や勉強で疲れている」(29.3%)
- ・「体を動かすことが面倒、嫌い」(17.1%)
- ・「運動する施設、場所がない」(12.1%)
- ・「一緒に運動する仲間がない」(11.7%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 傾向に大きな変化はないが、目立った増減は以下の箇所となる。(図表5-9)

- ・「運動をするきっかけがない」と「仕事や勉強で疲れている」の順位が入れ替わった。
- ・「運動する施設、場所がない」と「一緒に運動する仲間がいない」の順位が入れ替わった。
- ・「忙しくて運動をする時間がない」は、4.6ポイント減少している。

図表5-9 運動をしない理由(前回調査との比較)

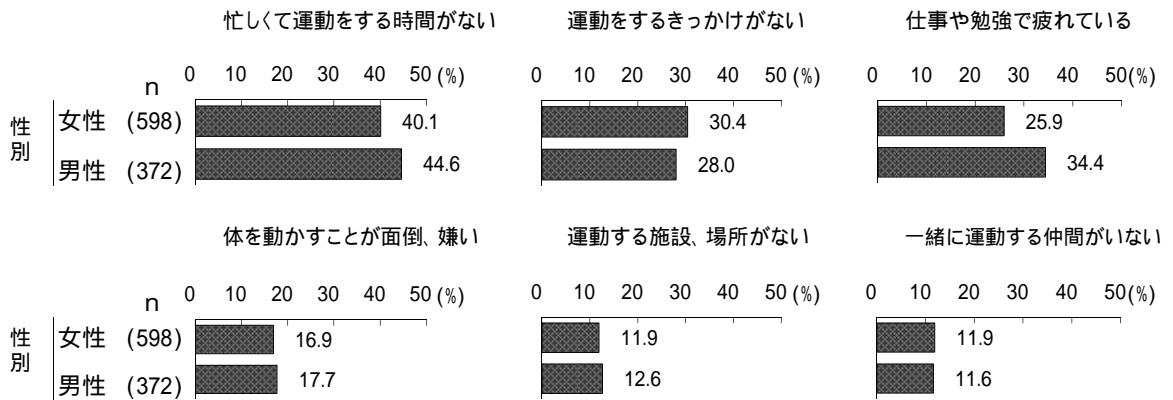


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-10)

- ・「忙しくて運動をする時間がない」は、男性(44.6%)で女性より4.5ポイント高い
- ・「仕事や勉強で疲れている」は、男性(34.4%)で女性より8.5ポイント高い。

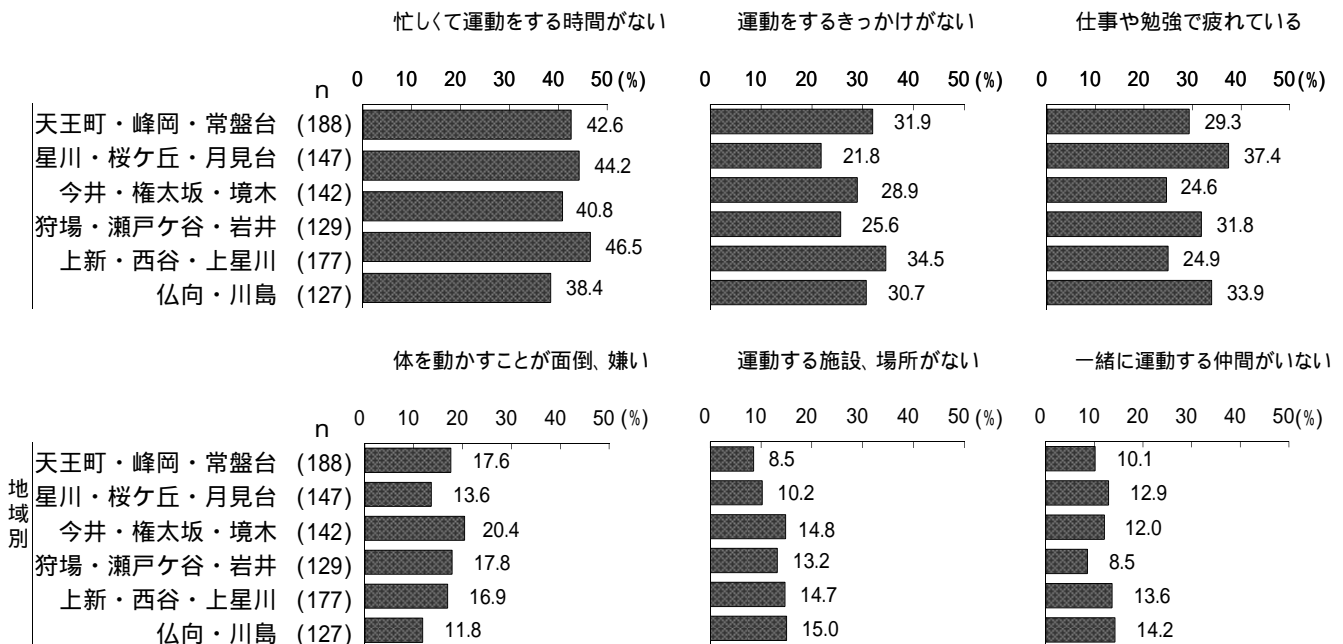
図表5-10 運動をしない理由(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-11)

- ・「運動をするきっかけがない」は、星川・桜ヶ丘・月見台(21.8%)で低い。
- ・「仕事や勉強で疲れている」は、星川・桜ヶ丘・月見台(37.4%)で高い。
- ・「体を動かすことが面倒、嫌い」は、仏向・川島(11.8%)で低い。

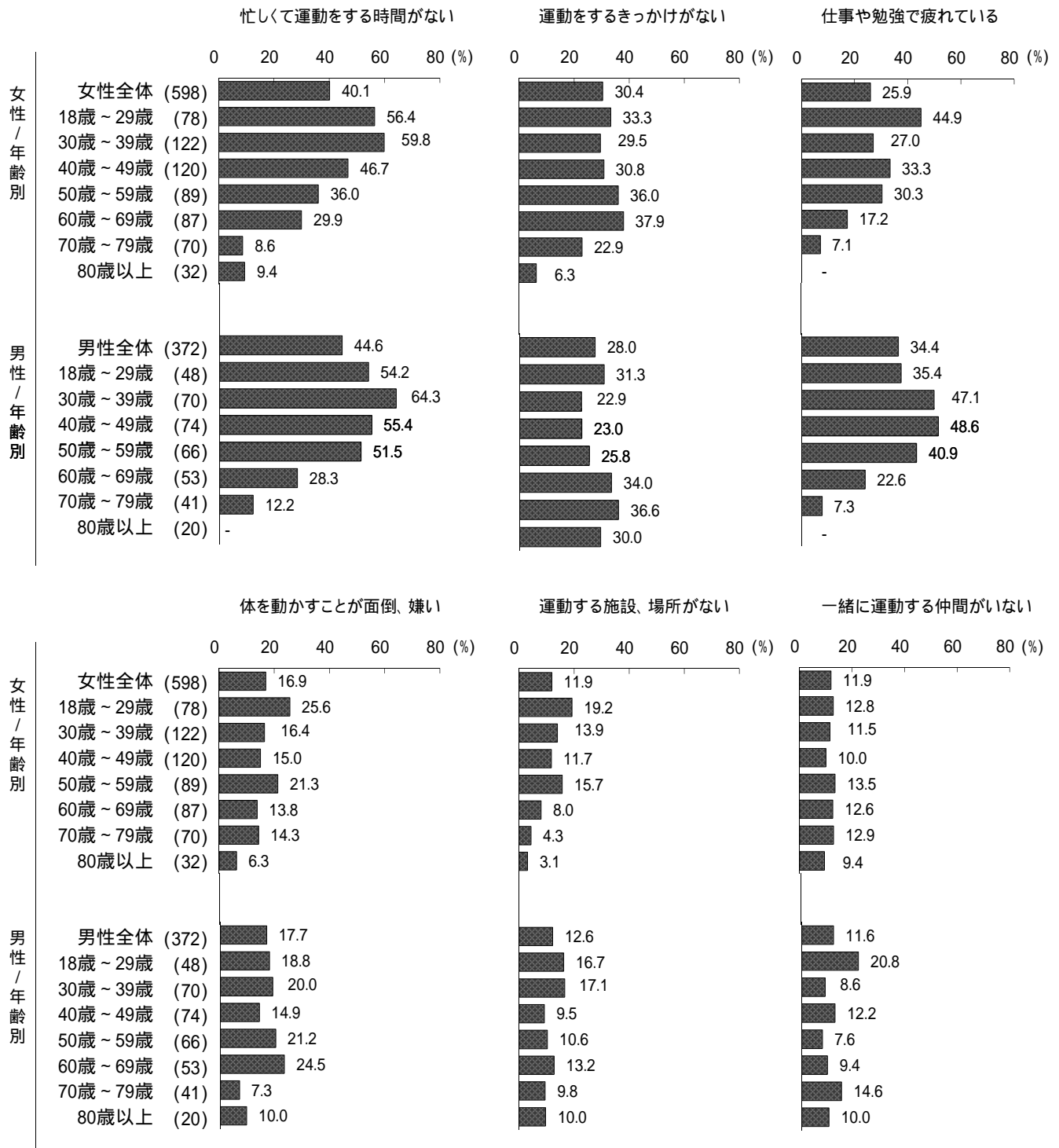
図表5-11 運動をしない理由(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-12)

- ・「忙しくて運動をする時間がない」は、女性18歳～49歳と男性18歳～59歳で高く、年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。
- ・「運動をするきっかけがない」は、女性80歳以上(6.3%)で特に低い。
- ・「仕事や勉強で疲れている」は、女性18歳～29歳と男性30歳～49歳で特に高く、年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。
- ・「体を動かすことが面倒、嫌い」は、女性18歳～29歳(25.6%)と男性60歳～69歳(24.5%)で高く、女性80歳以上(6.3%)と男性70歳以上で低い。

図表5-12 運動をしない理由(性×年齢別、上位6項目)

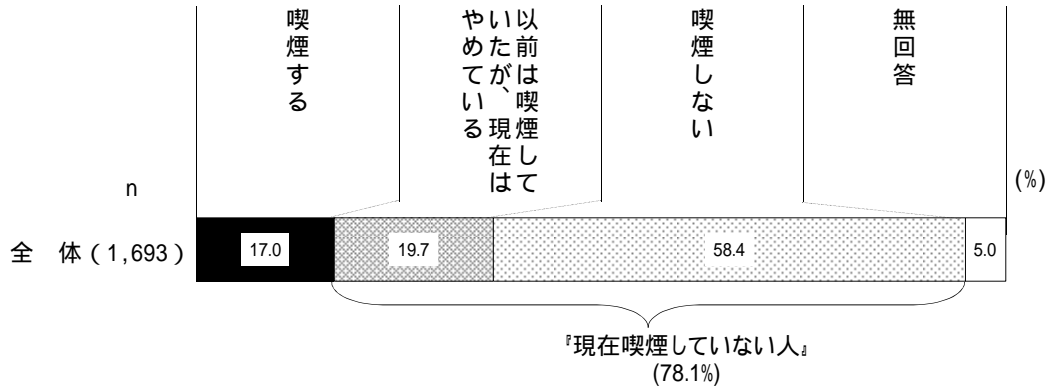


5 - 4 喫煙状況

『現在喫煙していない人』の割合が7割後半

問 19-3 全員の方へうかがいます。
(たばこの)喫煙状況についてお答えください。(は1つ)
20歳以上の方にうかがいます。

図表5-13 喫煙状況



20歳未満の人数は特定できないため18歳、19歳も含めた全体で集計をおこなった。

(全体) 3項目を上位から並べると以下となる。(図表5-13)

- ・「喫煙しない」(58.4%)
- ・「以前は喫煙していたが、現在はやめている」(19.7%)
- ・「喫煙する」(17.0%)

また、「喫煙しない」と「以前は喫煙していたが、現在はやめている」をあわせた『現在喫煙していない人』の割合は、78.1%にのぼる。

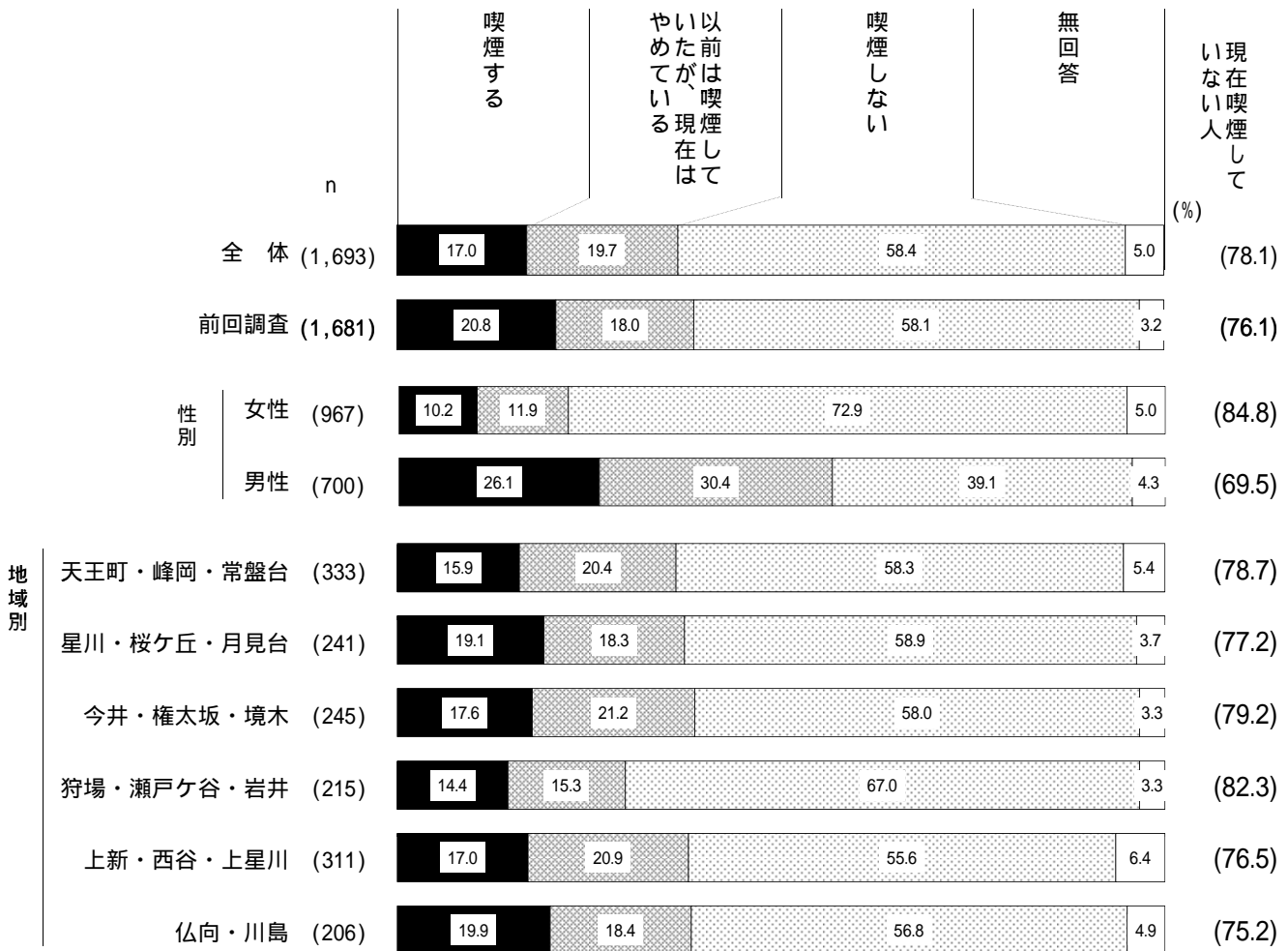
(前回調査(平成21年度)との比較) 「喫煙する」が3.8ポイント減った。(図表5-14)

(性別) 性別にみて、男性が喫煙率が高い。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-14)

- ・「喫煙する」は、男性(26.1%)で女性より15.9ポイント高い。
- ・「以前は喫煙していたが、現在はやめている」は、男性(30.4%)で女性より18.5ポイント高い。
- ・「喫煙しない」は、女性(72.9%)で男性より33.8ポイント高い。
- ・『現在喫煙していない人』の割合は、女性(84.8%)で男性より15.3ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-14)

図表5-14 喫煙状況(前回調査・性別・地域別)



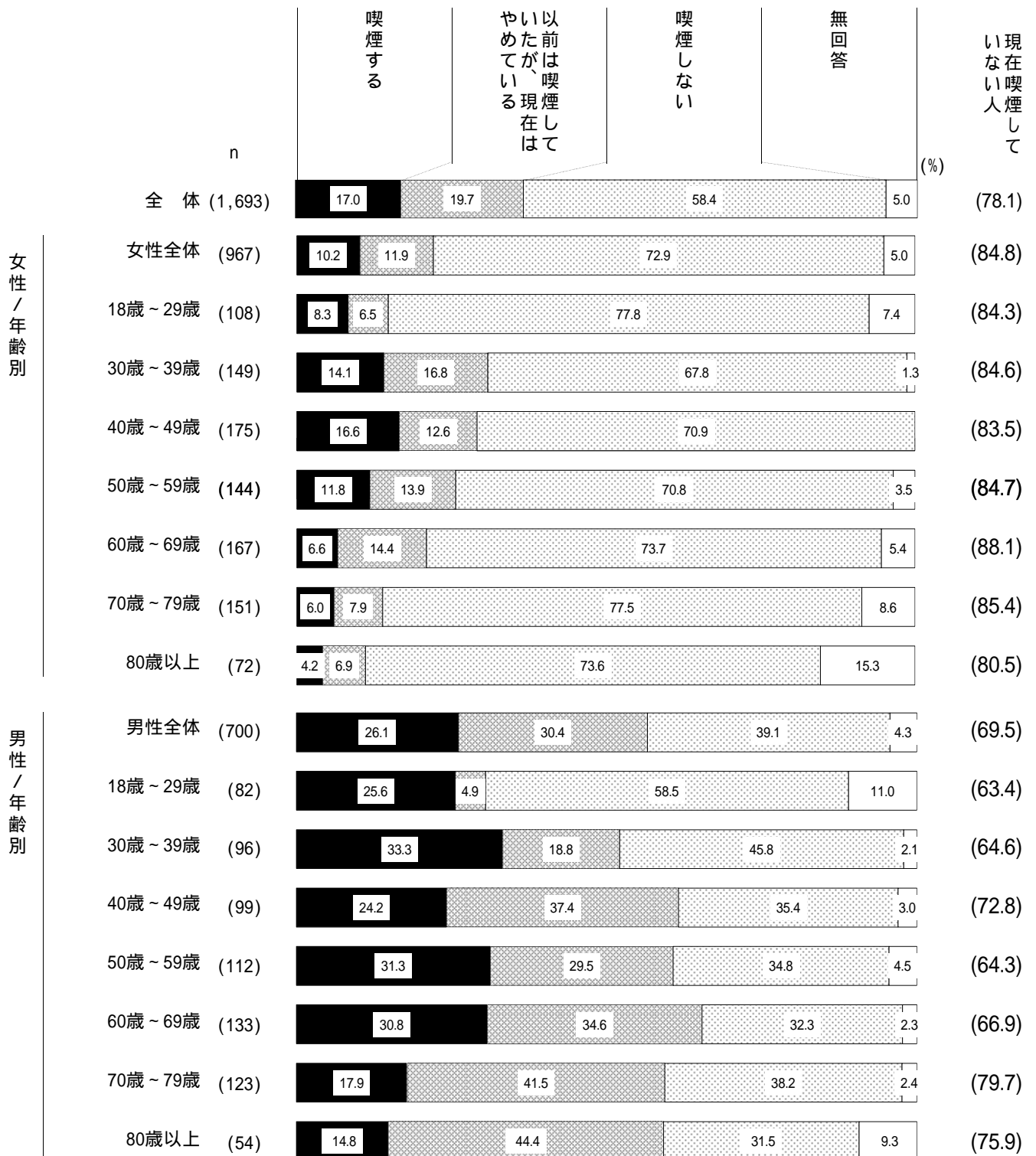
20歳未満の人数は特定できないため18歳、19歳も含めた全体で集計をおこなった。



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-15)

- ・「喫煙する」は、男性30歳～39歳(33.3%)と男性50歳～69歳で特に高い。
- ・「以前は喫煙していたが、現在はやめている」は、男性40歳以上で高く、中でも男性70歳以上で特に高い。
- ・「喫煙しない」は、女性30歳～39歳以外の全年齢と、男性18歳～29歳(58.5%)で高い。
- ・『現在喫煙していない人』の割合は、男性18歳～39歳と男性50歳～69歳以外の男女全年齢で高い。

図表5-15 喫煙状況(性×年齢別)



20歳未満の人数は特定できないため18歳、19歳も含めた全体で集計をおこなった。

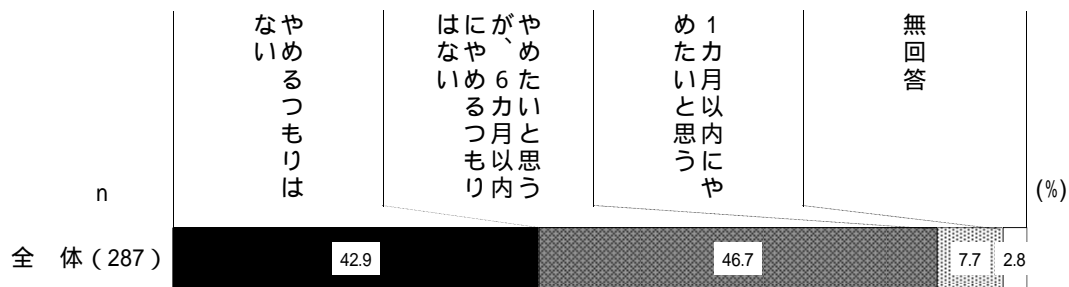
5 - 5 今後の禁煙の意向

「やめたいと思うが、6カ月以内にやめるつもりはない」が4割後半、
「やめるつもりはない」が4割前半

問 19-3-1

問19-3で、「1.喫煙する」と答えた方にうかがいます。
今後喫煙をやめたいと思いますか。(は1つ)

図表5-16 今後の禁煙の意向



(全体) 3項目を上位から並べると以下となる。(図表5-16)

- ・「やめたいと思うが、6カ月以内にやめるつもりはない」(46.7%)
- ・「やめるつもりはない」(42.9%)
- ・「1カ月以内にやめたいと思う」(7.7%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 「やめるつもりはない」が7.1ポイント減り、「やめたいと思うが、6カ月以内にやめるつもりはない」が4.4ポイント増えた。(図表5-17)

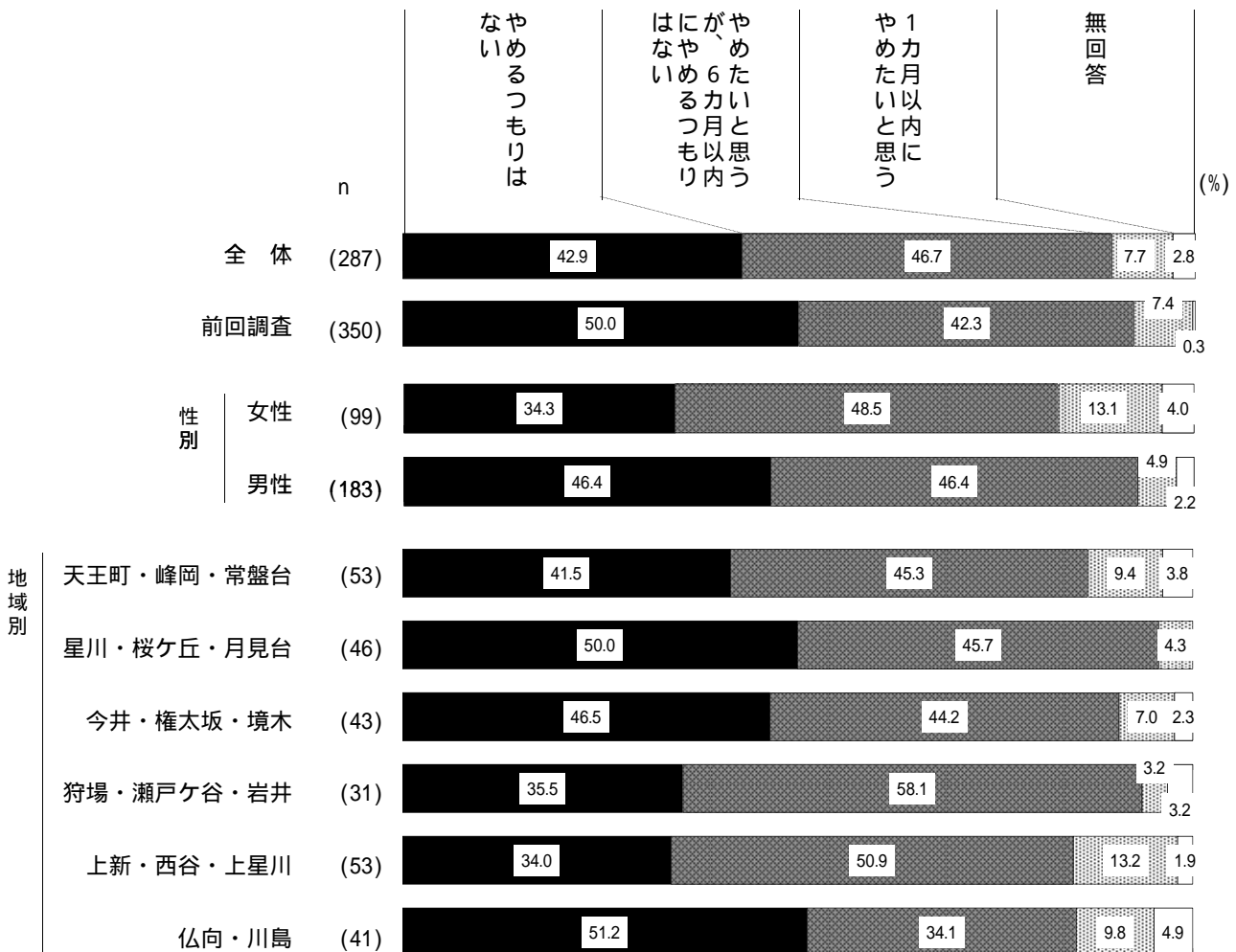
(性別) 性別にみて、男性は今後の禁煙の意向が低い。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-17)

- ・「やめるつもりはない」は、男性(46.4%)で女性より12.1ポイント高い。
- ・「1カ月以内にやめたいと思う」は、女性(13.1%)で男性より8.2ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-17)

- ・「やめるつもりはない」は、星川・桜ヶ丘・月見台(50.0%)と仏向・川島(51.2%)で高く、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(35.5%)と上新・西谷・上星川(34.0%)で低い。
- ・「やめたいと思うが、6カ月以内にやめるつもりはない」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(58.1%)で高く、仏向・川島(34.1%)で低い。

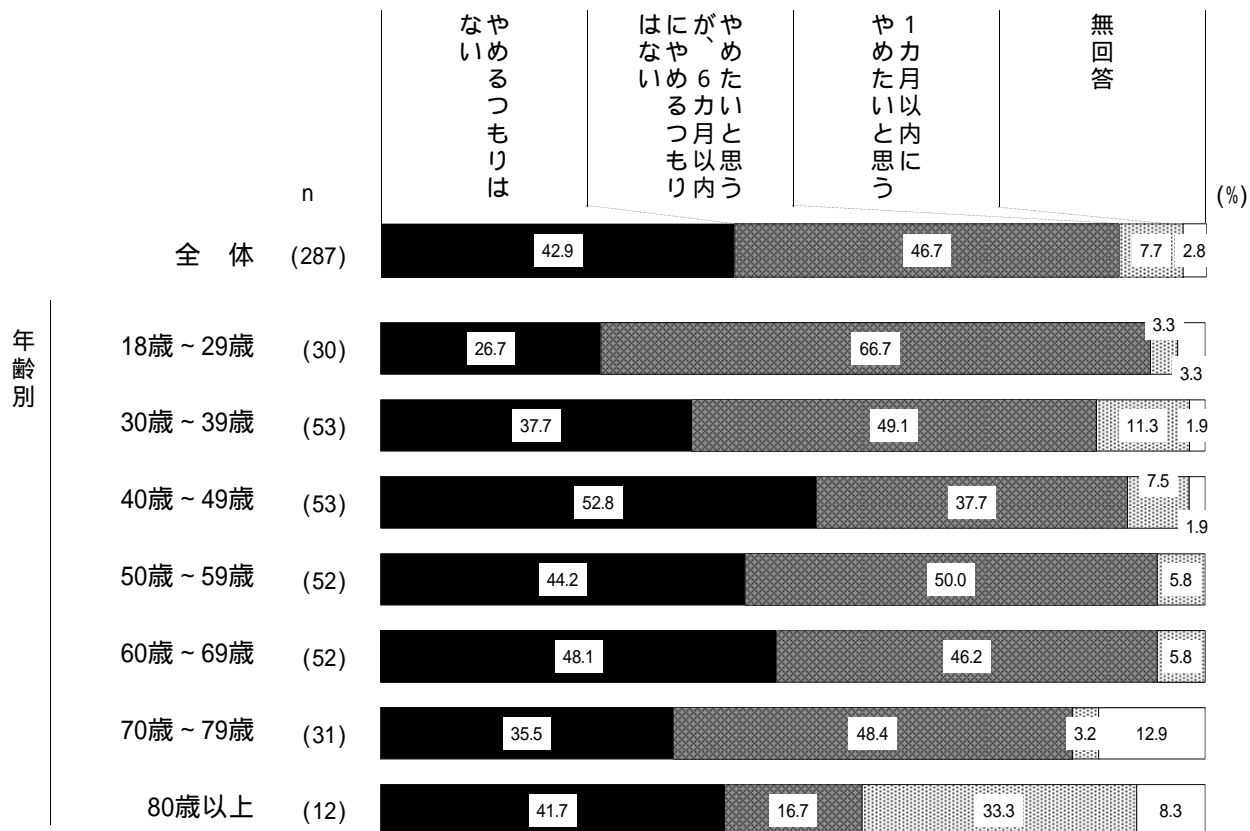
図表5-17 今後の禁煙の意向(前回調査・性別・地域別)



(年齢別) 年齢別にみて差があるのは以下の箇所となる。(図表5-18)

- ・「やめるつもりはない」は、40歳～49歳(52.8%)で高く、18～29歳(26.7%)で特に低い。
- ・「やめたいと思うが、6カ月以内にやめるつもりはない」は、18～29歳(66.7%)で特に高く、80歳以上(16.7%)で特に低い。
- ・「1カ月以内にやめたいと思う」は、80歳以上(33.3%)で特に高い。

図表5-18 今後の禁煙の意向（年齢別）



対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

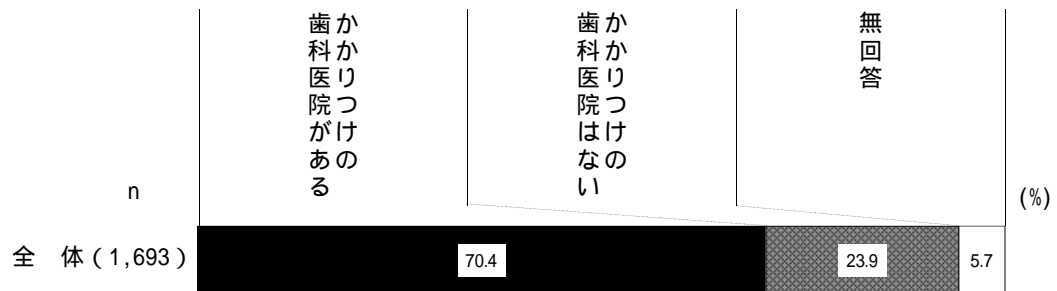
5 - 6 かかりつけの歯科医院の有無

「かかりつけの歯科医院がある」が約7割

問 19-4 (歯周病) 歯科医院についてお答えください。

(は1つ)

図表5-19 かかりつけの歯科医院の有無



(全体) 「かかりつけの歯科医院がある」(70.4%)が約7割、「かかりつけの歯科医院はない」(23.9%)が2割前半となっている。(図表5-19)

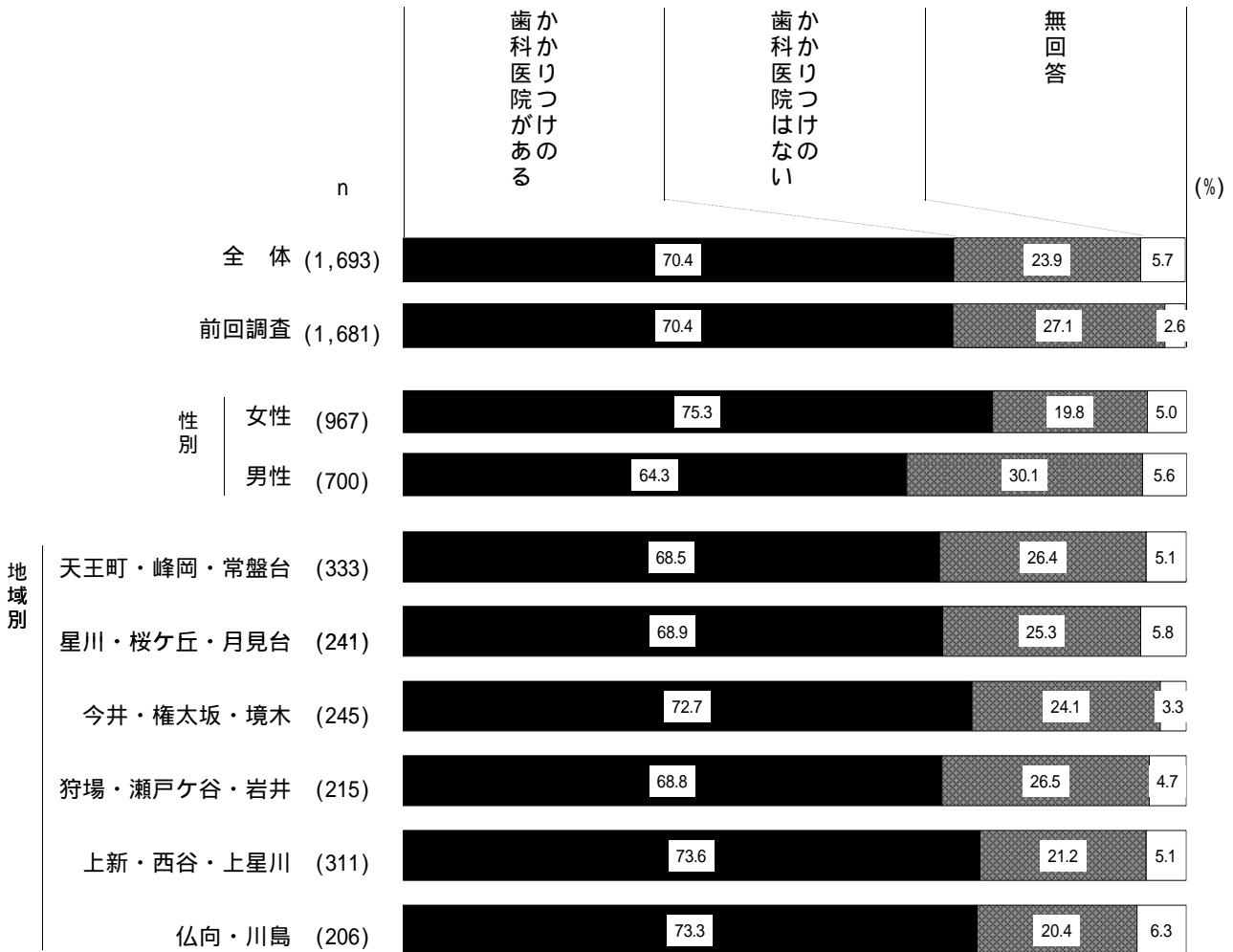
(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表5-20)

(性別) 性別にみて、女性はかかりつけの歯科医院がある方が多い。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-20)

- ・「かかりつけの歯科医院がある」は、女性(75.3%)で男性より11.0ポイント高い。
- ・「かかりつけの歯科医院はない」は、男性(30.1%)で女性より10.3ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-20)

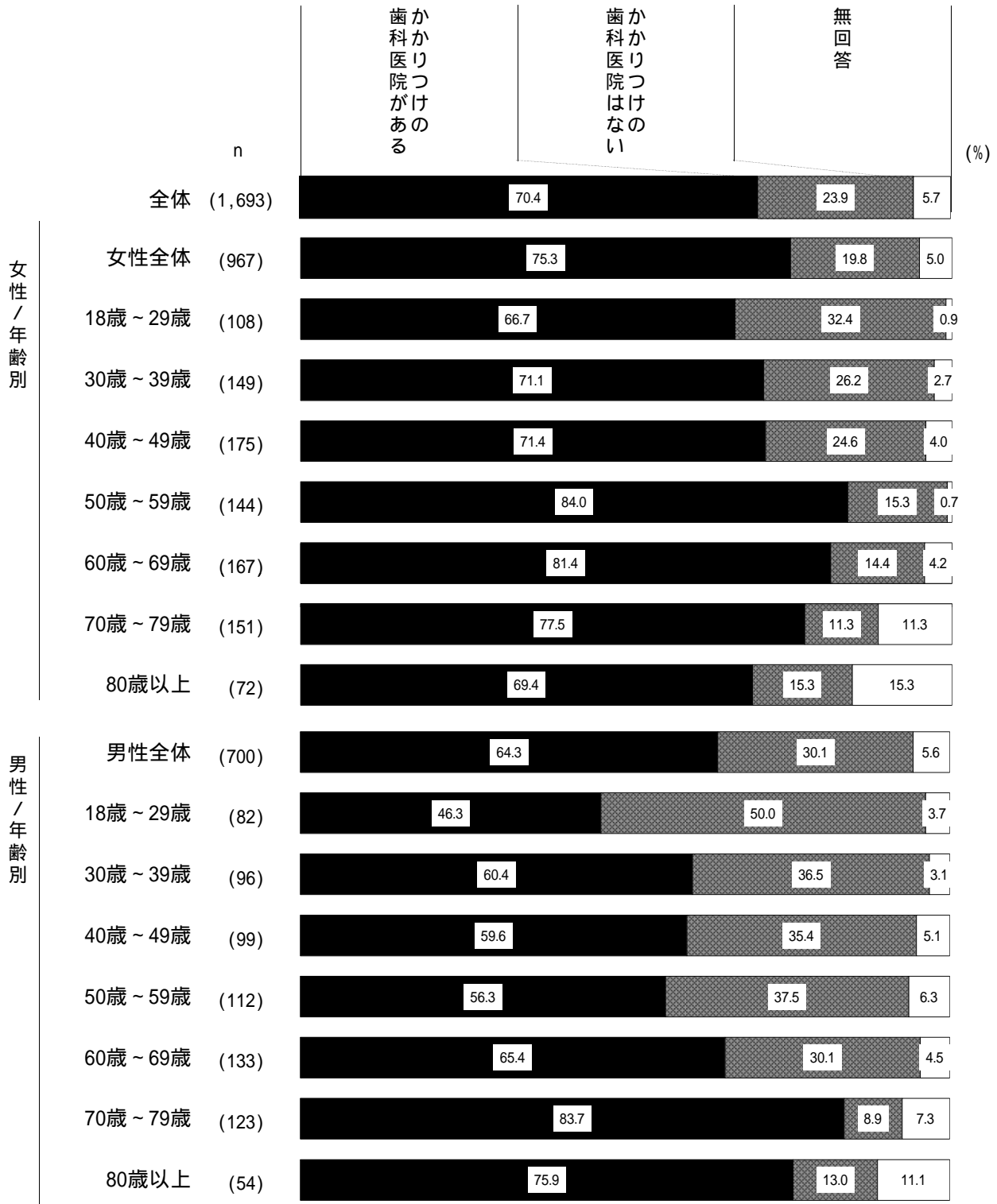
図表5-20 かかりつけの歯科医院の有無(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-21)

- ・「かかりつけの歯科医院がある」は、女性50歳～69歳(81.4%)と男性70歳～79歳(83.7%)で高く、男性18歳～29歳で特に低い。
- ・「かかりつけの歯科医院はない」は、女性18歳～29歳(32.4%)で高く、男性18歳～29歳(50.0%)で特に高い。男性70歳以上で特に低い。

図表5-21 かかりつけの歯科医院の有無(性×年齢別)

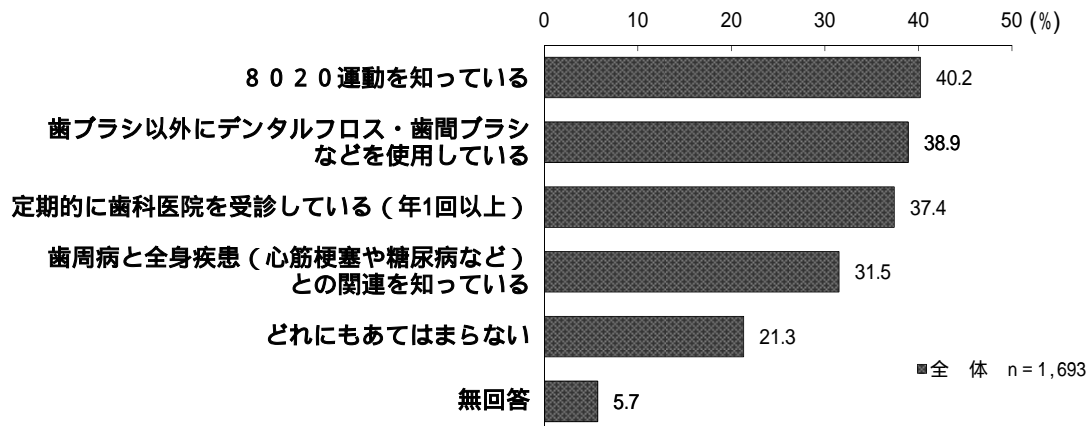


5-7 歯についての意識

「8020運動を知っている」、「歯ブラシ以外にデンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している」、「定期的に歯科医院を受診している(年1回以上)」が並んで4割前後

問 19-5 (歯科) 歯科について、あてはまることをお答えください。(はいいくつでも)

図表5-22 歯についての意識(複数回答)

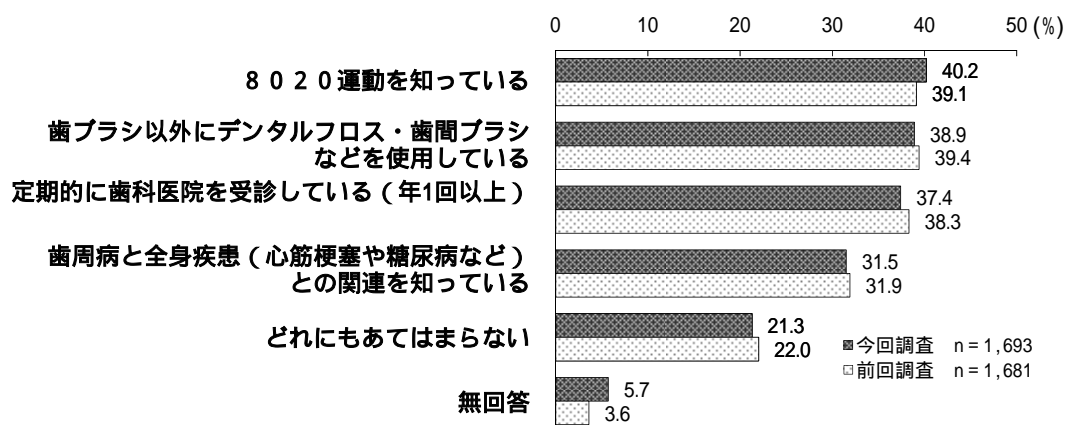


(全体) 上位5項目は以下となる。(図表5-22)

- ・「8020運動を知っている」(40.2%)
- ・「歯ブラシ以外にデンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している」(38.9%)
- ・「定期的に歯科医院を受診している(年1回以上)」(37.4%)
- ・「歯周病と全身疾患(心筋梗塞や糖尿病など)との関連を知っている」(31.5%)
- ・「どれにもあてはまらない」(21.3%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 傾向に大きな変化はないが、「8020運動を知っている」と「歯ブラシ以外にデンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している」の順位が入れ替わった。(図表5-23)

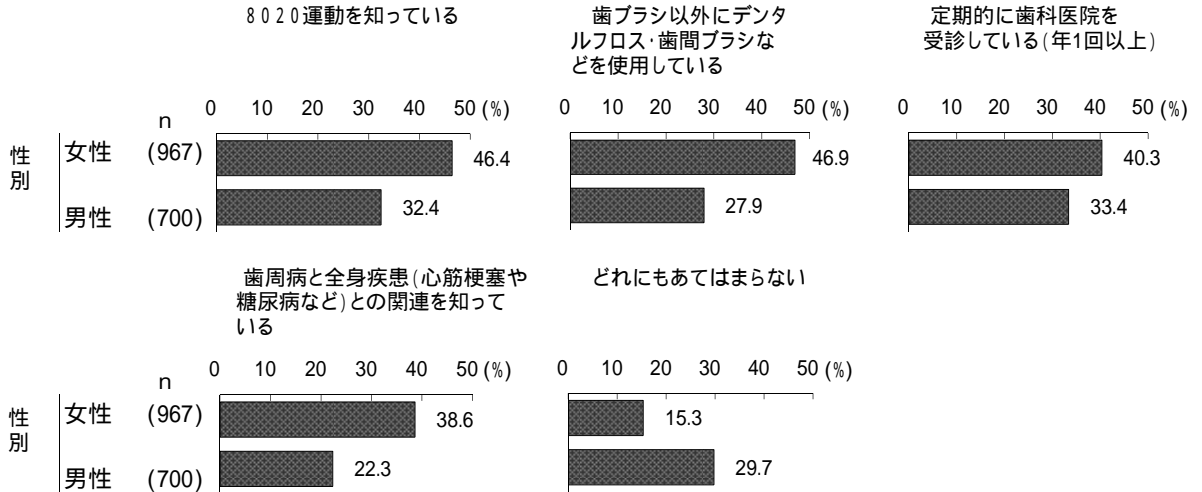
図表5-23 歯についての意識(前回調査との比較)



(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-24)

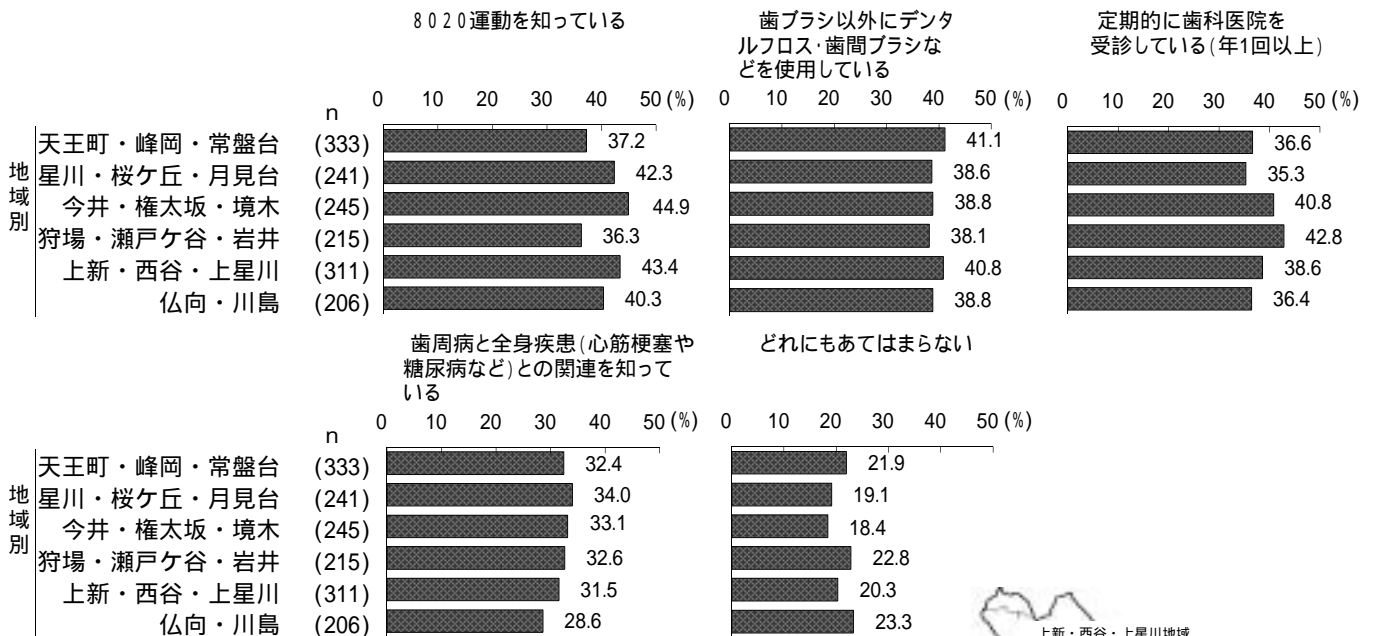
- ・女性の方が歯についての意識は高い。
- ・「8020運動を知っている」は、女性(46.4%)で男性より14.0ポイント高い。
- ・「デンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している」は、女性(46.9%)で男性より19.0ポイント高い。
- ・「定期的に歯科医院を受診している」は、女性(40.3%)で男性より6.9ポイント高い。
- ・「歯周病と全身疾患との関連を知っている」は、女性(38.6%)で男性より16.3ポイント高い。
- ・「どれにもあてはまらない」は、男性(29.7%)で女性より14.4ポイント高い。

図表5-24 歯についての意識(性別)



(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-25)

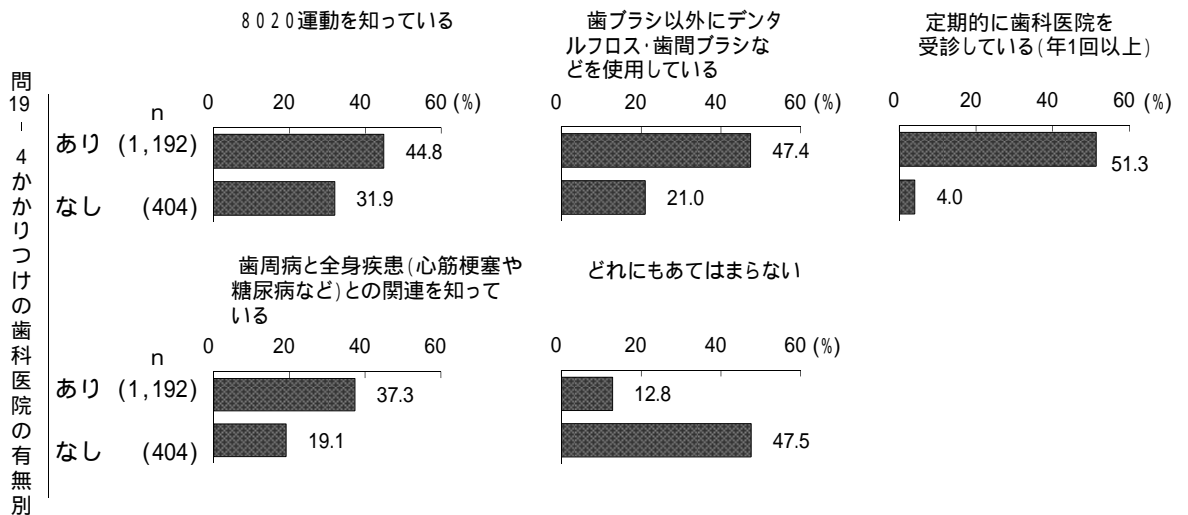
図表5-25 歯についての意識(地域別)



(かかりつけの歯科医院の有無別) かかりつけの歯科医院の有無別にみて、かかりつけの歯科医院のあると回答した方が特に多い。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-26)

- ・「8020運動を知っている」は、ありと回答した方(44.8%)で12.9ポイント高い。
- ・「デンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している」は、ありと回答した方(47.4%)で26.4ポイント高い。
- ・「定期的に歯科医院を受診している」は、ありと回答した方(51.3%)で47.3ポイント高い。
- ・「歯周病と全身疾患との関連を知っている」は、ありと回答した方(37.3%)で18.2ポイント高い。
- ・「どれにもあてはまらない」は、なしと回答した方(47.5%)で34.7ポイント高い。

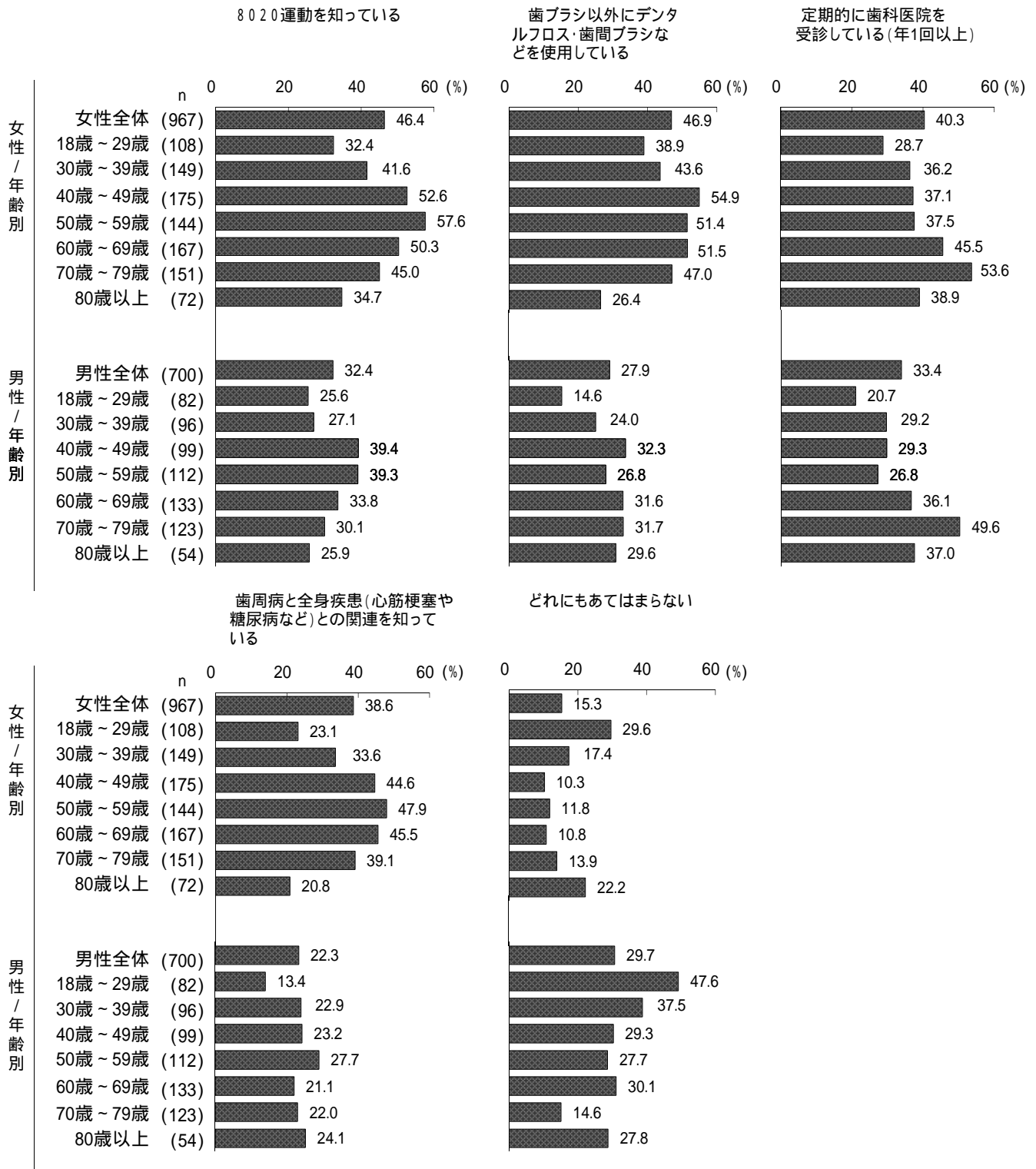
図表5-26 歯についての意識 (問19-4かかりつけの歯科医院の有無別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-27)

- ・「8020運動を知っている」は、男女とも40歳～59歳がピークで高く、18歳～29歳と80歳以上で低い。
- ・「デンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している」は、女性40歳～49歳(54.9%)で高く、女性80歳以上(26.4%)と男性18歳～29歳(14.6%)で低い。
- ・「定期的に歯科医院を受診している」は、男女とも70歳～79歳で高く、18歳～29歳で低い。
- ・「歯周病と全身疾患との関連を知っている」は、男女とも18歳～29歳と女性80歳以上で低い。
- ・「どれにもあてはまらない」は、男女とも18歳～29歳で高く、女性70歳～79歳で低い。

図表5-27 歯についての意識(性×年齢別)

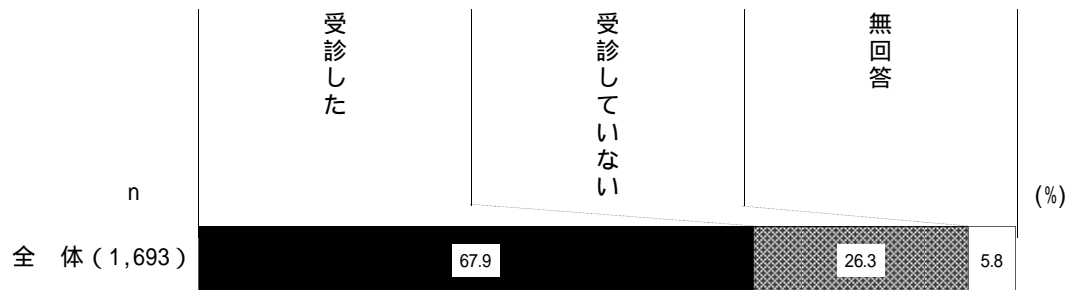


5 - 8 1年以内の健康診断の受診の有無

「受診した」と回答した人の割合が6割後半

問 19-6 (健康診断) 1年以内の健康診断の受診についてお答えください。(は1つ)

図表5-28 1年以内の健康診断の受診の有無



(全体) 「受診した」と回答した人の割合 (67.9%) が6割後半、「受診していない」と回答した人の割合 (26.3%) は2割後半となっている。(図表5-28)

(前回調査(平成21年度)との比較) 「受診した」が3.7ポイント減った。(図表5-29)

(性別) 性別にみて、男性の方が受診している率が高い。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-29)

- ・「受診した」は、男性(74.7%)で女性より11.2ポイント高い。
- ・「受診していない」は、女性(31.1%)で男性より11.2ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-29)

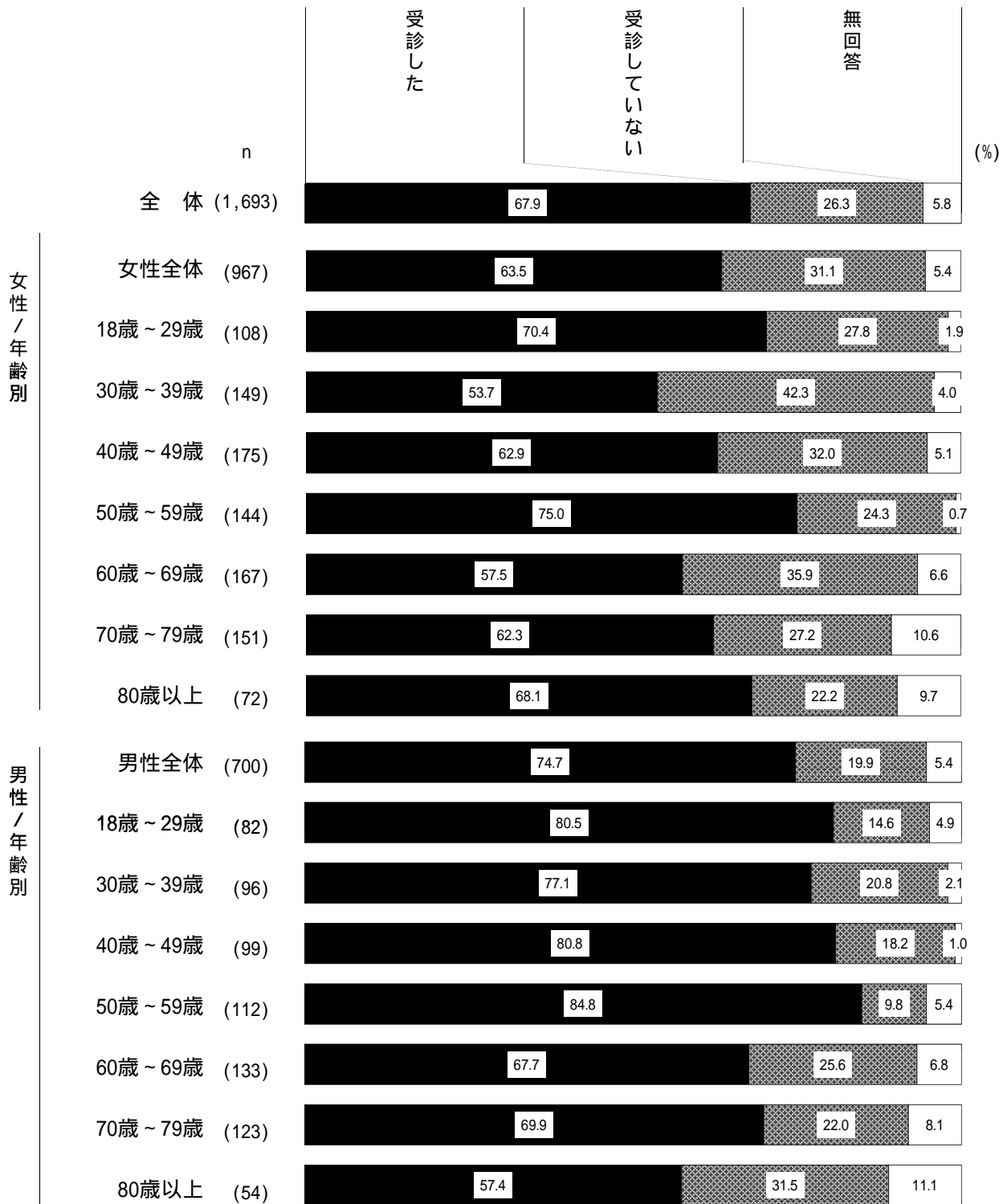
図表5-29 1年以内の健康診断の受診の有無(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-30)

- ・「受診した」は、男性60歳以上で低くなる傾向がある。
- ・「受診していない」は、女性30歳～39歳(42.3%)と男性80歳以上(31.5%)で高い。

図表5-30 1年以内の健康診断の受診の有無(性×年齢別)



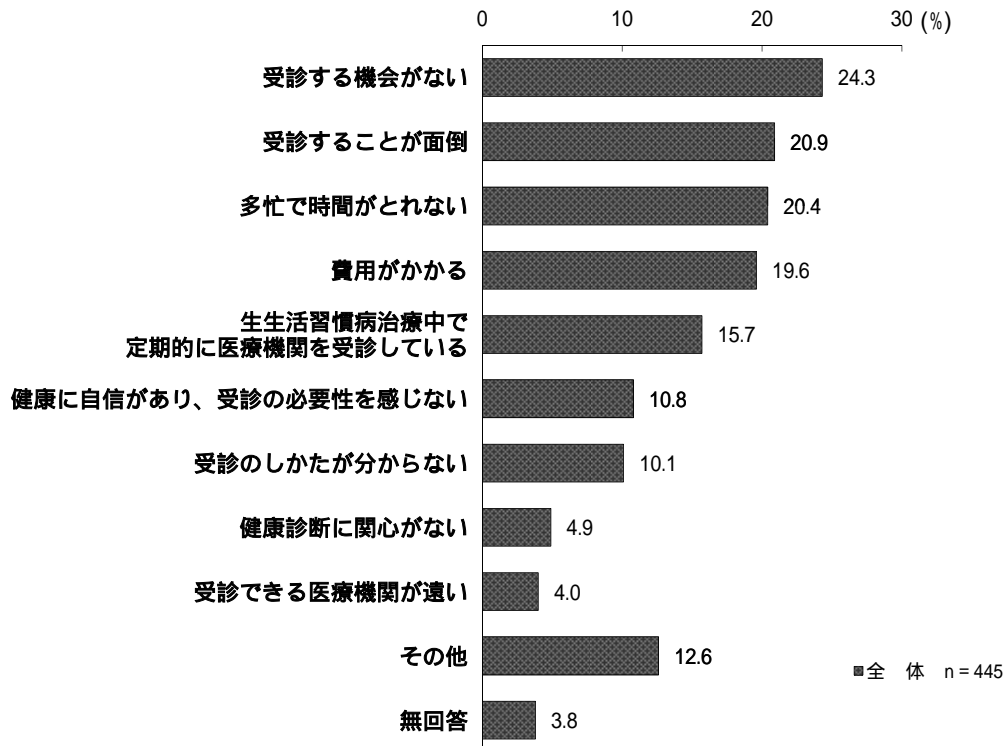
5 - 9 健康診断を受けていない理由

「受診する機会がない」が2割半ばで最も高い

問19-6-1

問19-6で「2. 受診していない」と答えた方にうかがいます。
健康診断を受けていない理由はどれですか。(はいくつでも)

図表5-31 健康診断を受けていない理由(複数回答)



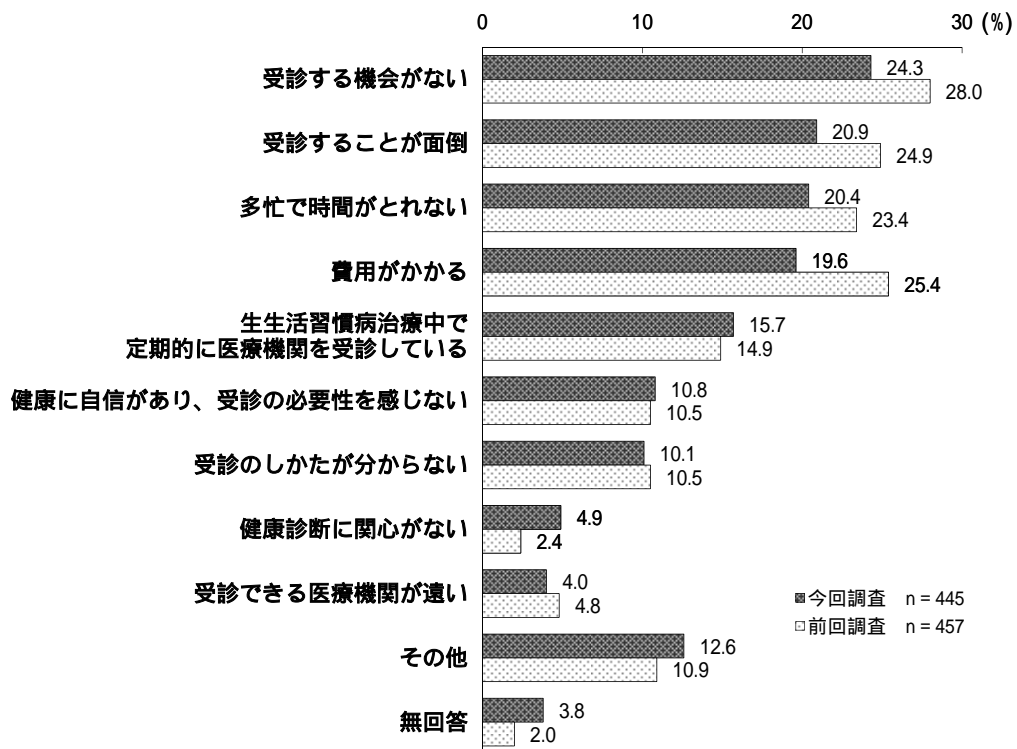
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表5-31)

- ・「受診する機会がない」(24.3%)
- ・「受診することが面倒」(20.9%)
- ・「多忙で時間がとれない」(20.4%)
- ・「費用がかかる」(19.6%)
- ・「生活習慣病治療中で定期的に医療機関を受診している」(15.7%)
- ・「健康に自信があり、受診の必要性を感じない」(10.8%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 傾向に大きな変化はないが、目立った増減は以下の箇所となる。(図表5-32)

- ・「費用がかかる」は、2番目(25.4%)から4番目(19.6%)に下がった。
- ・「健康診断に関心がない」と「受診できる医療機関が遠い」の順位が入れ替わった。
- ・「受診する機会がない」は、3.7ポイント減少している。
- ・「受診することが面倒」は、4.0ポイント減少している。
- ・「多忙で時間がとれない」は、3.0ポイント減少している。
- ・「費用がかかるい」は、5.8ポイント減少している。

図表5-32 健康診断を受けていない理由(前回調査との比較)

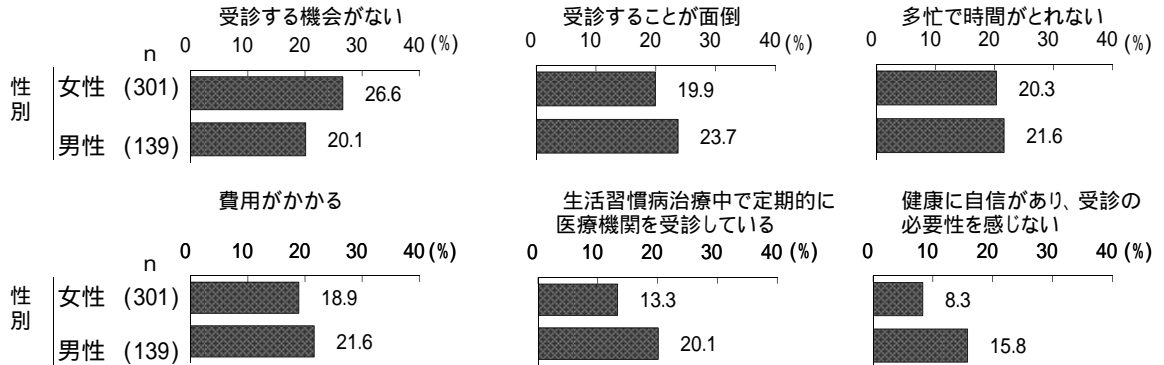


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-33)

- ・「受診する機会がない」は、女性(26.6%)で男性より6.5ポイント高い。
- ・「生活習慣病治療中で定期的受診している」は、男性(20.1%)で女性より6.8ポイント高い。
- ・「自信があり、必要性を感じない」は、男性(15.8%)で女性より7.5ポイント高い。

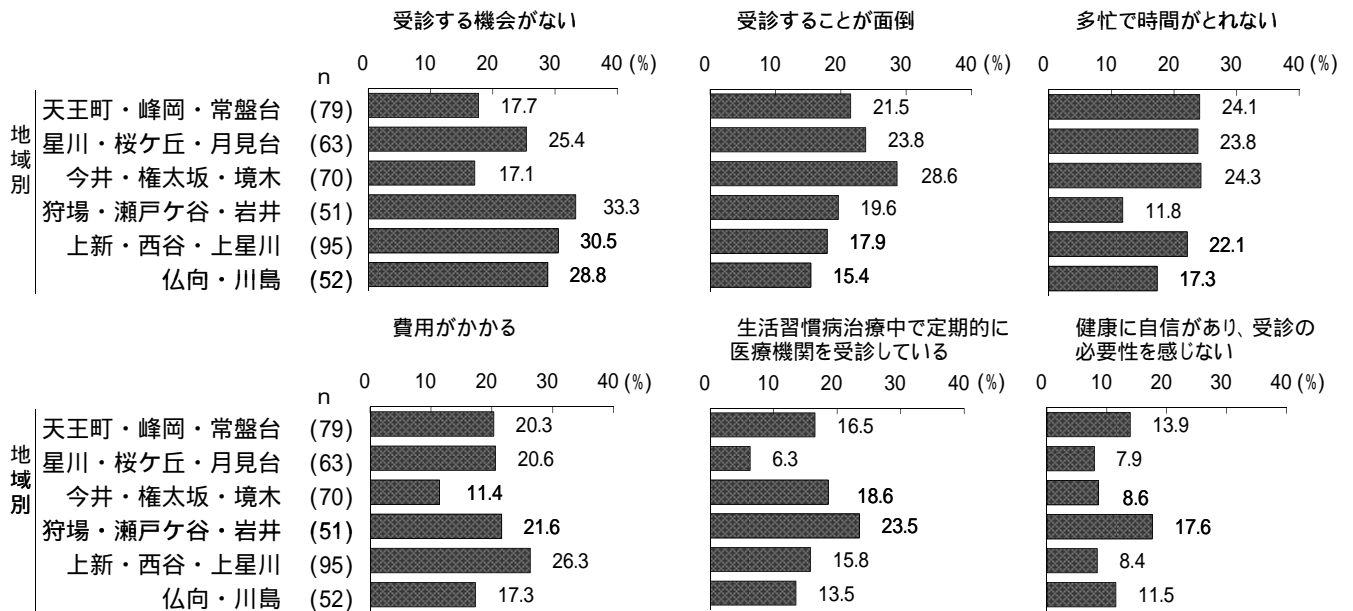
図表5-33 健康診断を受けていない理由(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-34)

- ・「受診する機会がない」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(33.3%)で高い。
- ・「受診することが面倒」は、今井・権太坂・境木(28.6%)で高い。
- ・「多忙で時間がとれない」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(11.8%)で低い。
- ・「費用がかかる」は、今井・権太坂・境木(11.4%)で低い。
- ・「生活習慣病治療中で定期的に受診している」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(23.5%)で高く、星川・桜ヶ丘・月見台(6.3%)で低い。

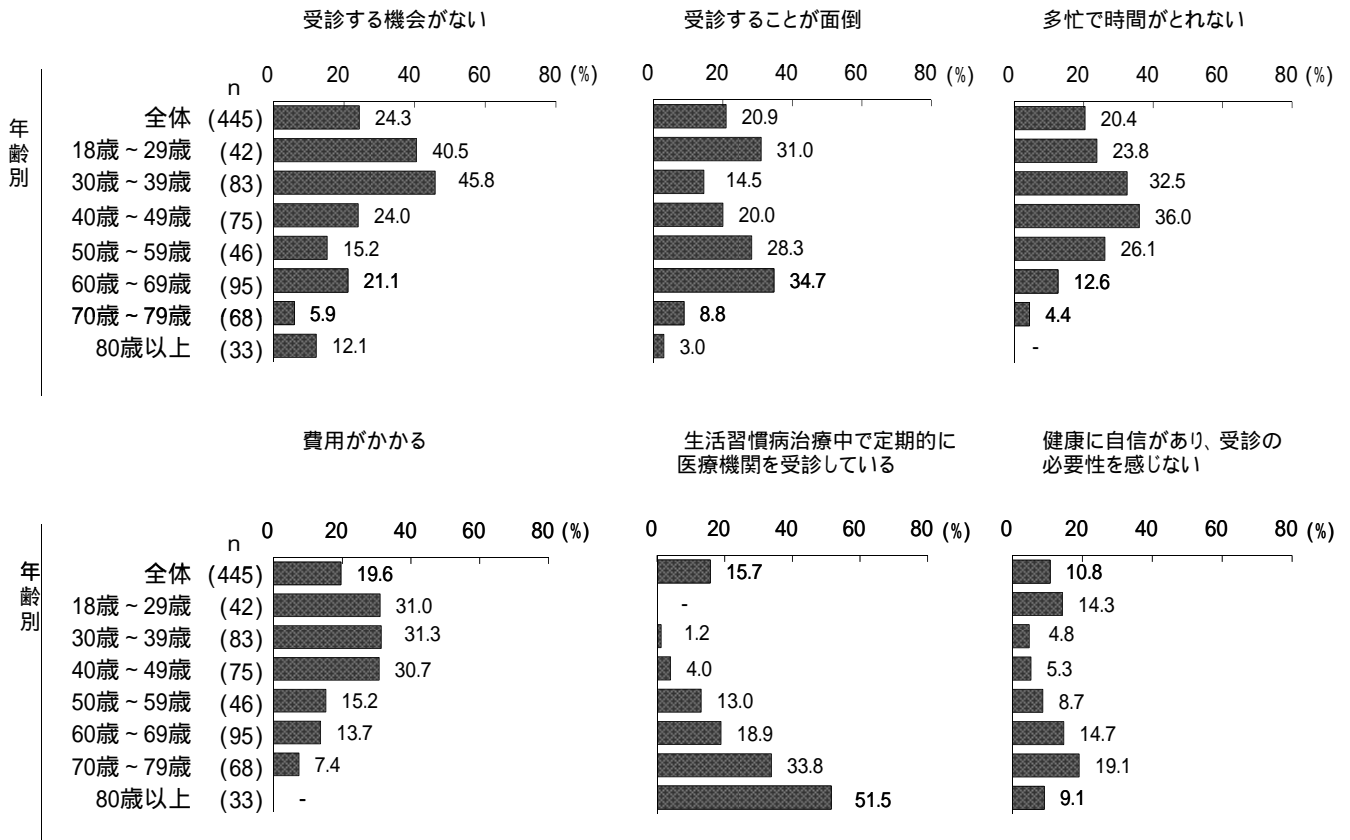
図表5-34 健康診断を受けていない理由(地域別、上位6項目)



(年齢別) 年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-35)

- ・「受診する機会がない」は、18歳～39歳で特に高く、70歳以上で特に低い。
- ・「受診することが面倒」は、18～29歳(31.0%)と60～69歳(34.7%)で高く、70歳以上で特に低い。
- ・「多忙で時間がとれない」は、30～49歳で高く、60歳以上で年齢が上がるにつれ低くなる。
- ・「費用がかかる」は、18歳～49歳で高く、50歳以上で年齢が上がるにつれ低くなる。
- ・「生活習慣病治療中で定期的に受診している」は、年齢が上がるにつれ高くなる。
- ・「自信があり、必要性を感じない」は、70～79歳(19.1%)で高い。

図表5-35 健康診断を受けていない理由(年齢別、上位6項目)



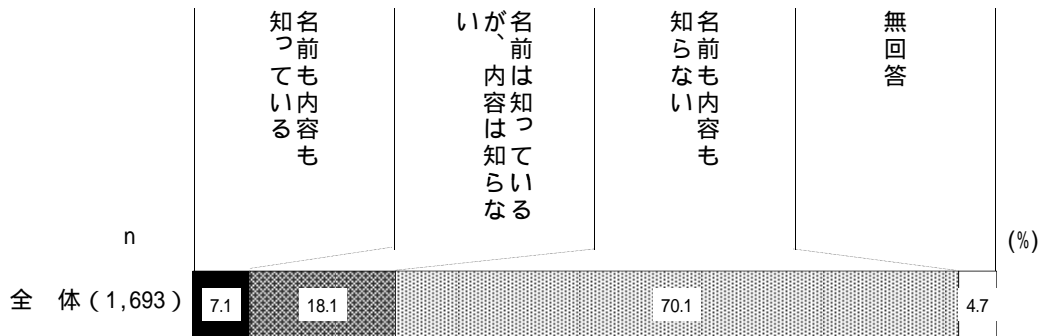
対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

5 - 1 0 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の認知度

「名前も内容も知らない」が約7割

問 20 あなたは、「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画 保土ヶ谷ほっとなまちづくり*」を知っていますか。
(は1つ)

図表5-36 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の認知度



* 「保土ヶ谷区地域福祉保健計画 保土ヶ谷ほっとなまちづくり」とは、地域に住む全ての人々が、安心していきいきと暮らし続けることができるよう、地域の様々な人や団体がつながり、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所などが連携して、地域のつながり・支えあいのあるまちづくりを目指した計画です。

具体的な内容については、同封の「保土ヶ谷ほっとなまちづくり（概要版）」や区ホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/bunyabetu/fukusi/hotnamati/>

(全体) 3項目を上位から並べると以下となる。(図表5-36)

- ・ 「名前も内容も知らない」(70.1%)
- ・ 「名前は知っているが、内容は知らない」(18.1%)
- ・ 「名前も内容も知っている」(7.1%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 傾向に大きな変化はないが、目立った増減は以下の箇所となる。(図表5-37)

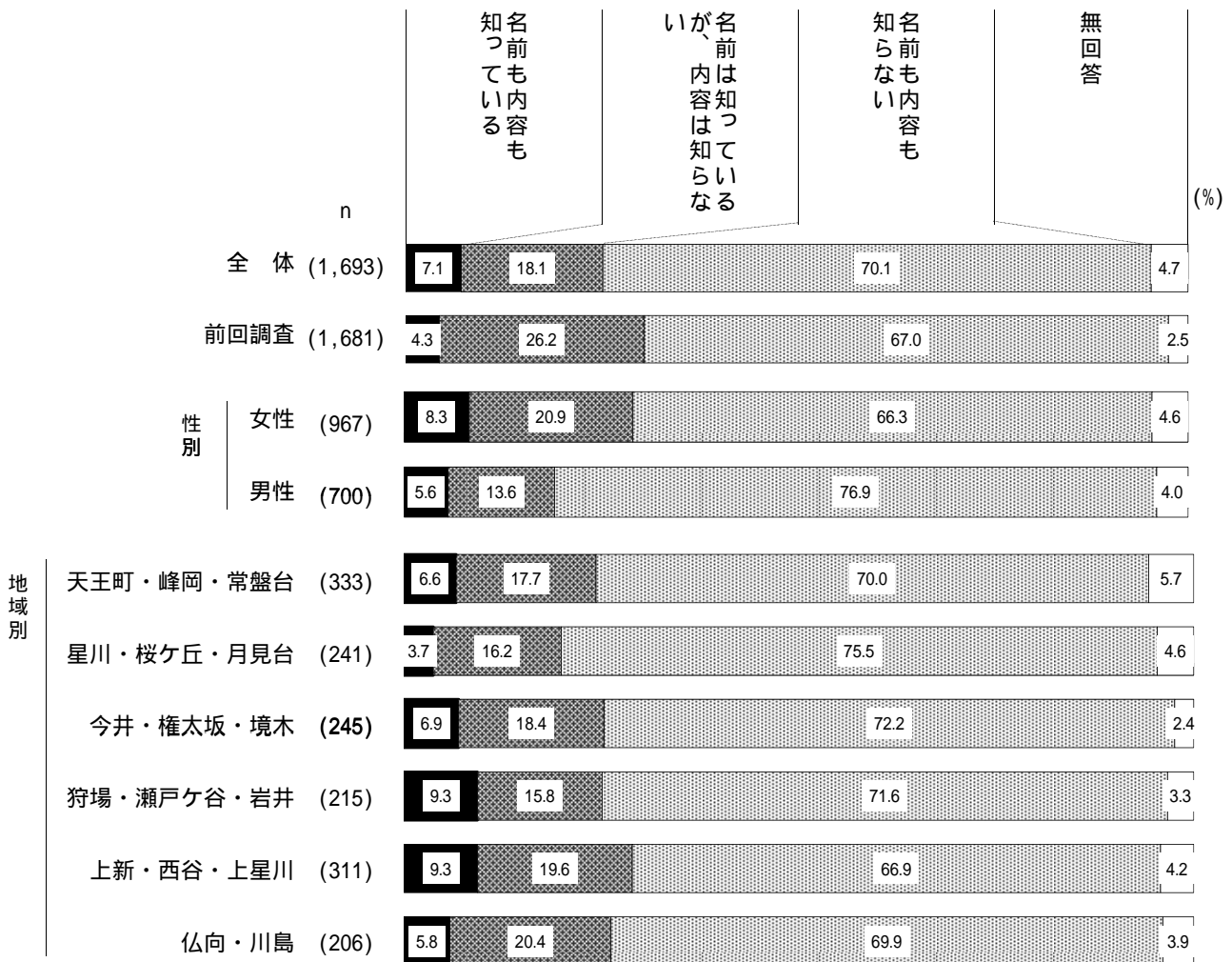
- ・「名前も内容も知っている」(7.1%)は、2.8ポイント高い。
- ・「名前は知っているが、内容は知らない」(18.1%)は、8.1ポイント低い。
- ・「名前も内容も知らない」(70.1%)は、3.1ポイント高い。

(性別) 性別にみて、女性の方が認知度が高い傾向である。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-37)

- ・「名前も内容も知っている」は、女性(8.3%)で男性より2.7ポイント高い。
- ・「名前は知っているが、内容は知らない」は、女性(20.9%)で男性より7.3ポイント高い。
- ・「名前も内容も知らない」は、男性(76.9%)で女性より10.6ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-37)

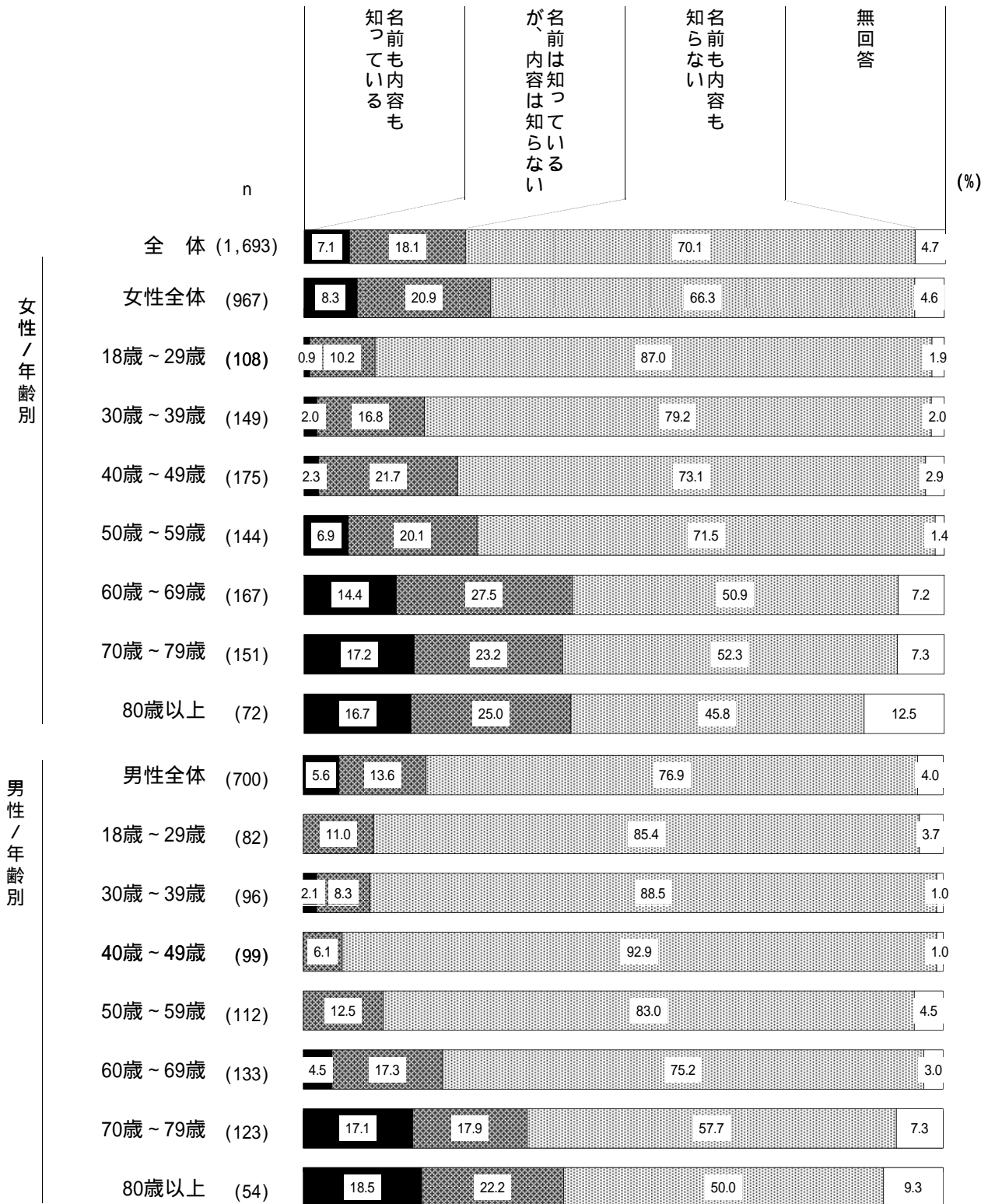
図表5-37 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の認知度(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-38)

- ・女性は年齢があがるにつれ認知度が高くなる傾向である。
- ・「名前も内容も知っている」は、女性60歳以上と男性70歳以上で高い。
- ・「名前は知っているが、内容は知らない」は、男女ともに60歳以上で高い。
- ・「名前も内容も知らない」は、女性18歳～39歳と男性18歳～59歳で特に高い。

図表5-38 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」の認知度(性×年齢別)

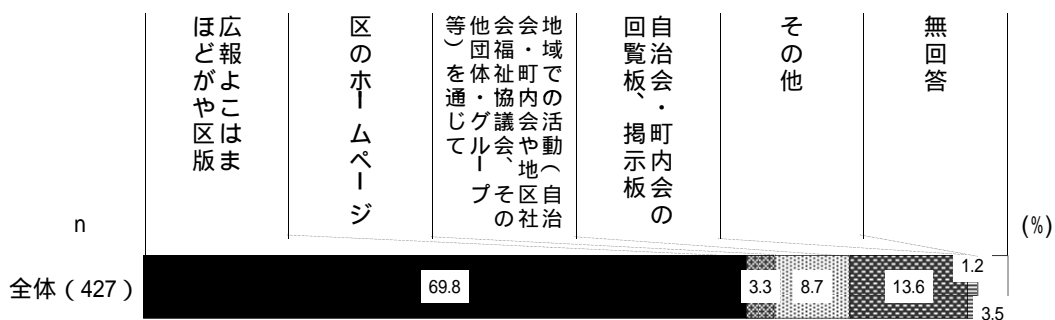


5-1-1 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」を どのような方法で知ったか

「広報よこはま ほ도가や区版」が約7割

問 20-1 問20で「1. 名前も内容も知っている」「2. 名前は知っているが、内容は知らない」と答えた方にか
がいます。どのような方法で「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」を知りましたか。(は1つ)

図表5-39 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」をどのような方法で知ったか



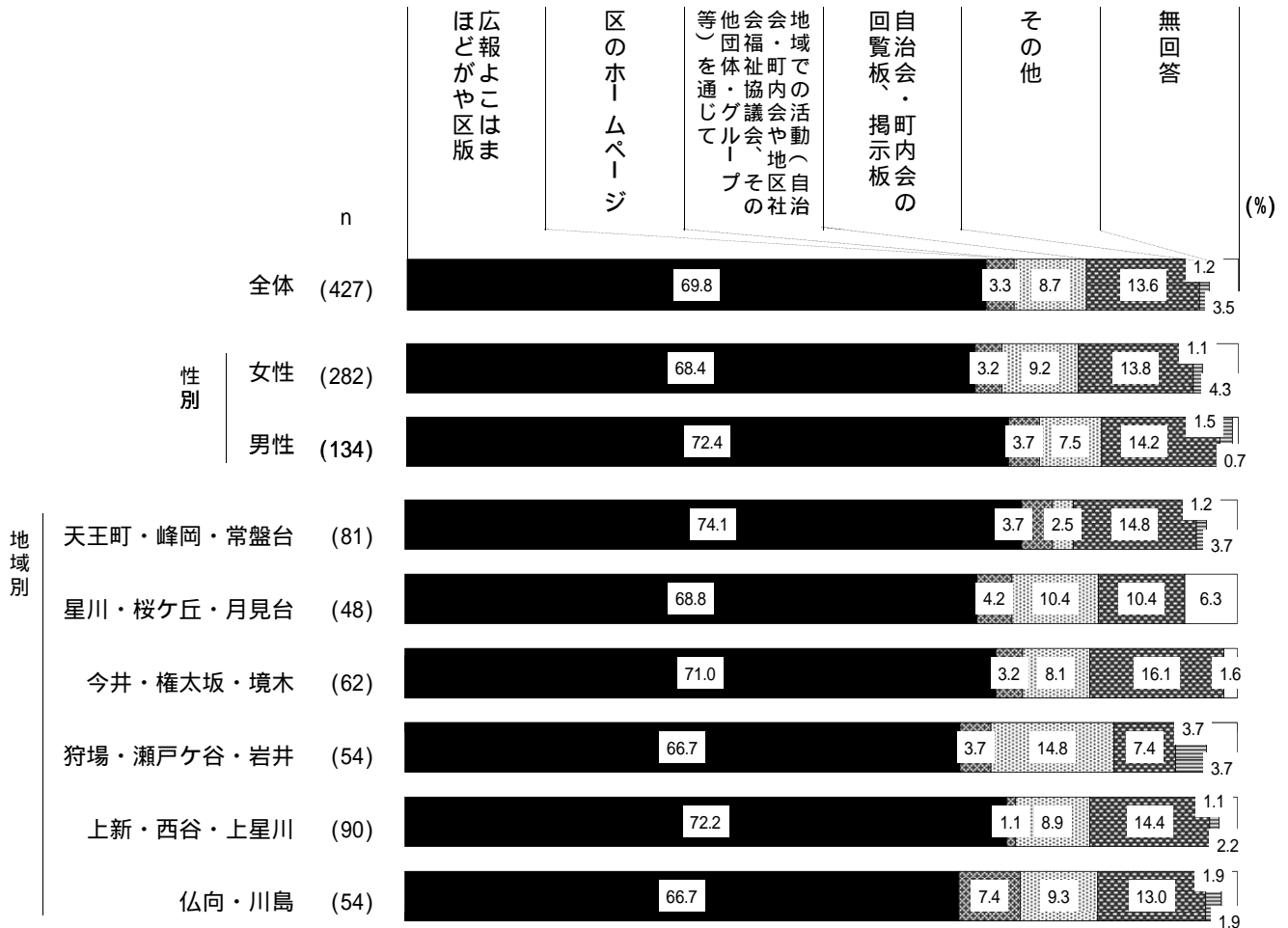
(全体) 4項目を上位から並べると以下となる。(図表5-39)

- ・「広報よこはま ほ도가や区版」(69.8%)
- ・「自治会・町内会の回覧板、掲示板的」(13.6%)
- ・「地域での活動を通じて」(8.7%)
- ・「区のホームページ」(3.3%)

(性別) 性別にみて、大きな差はみられない。(図表5-40)

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表5-40)

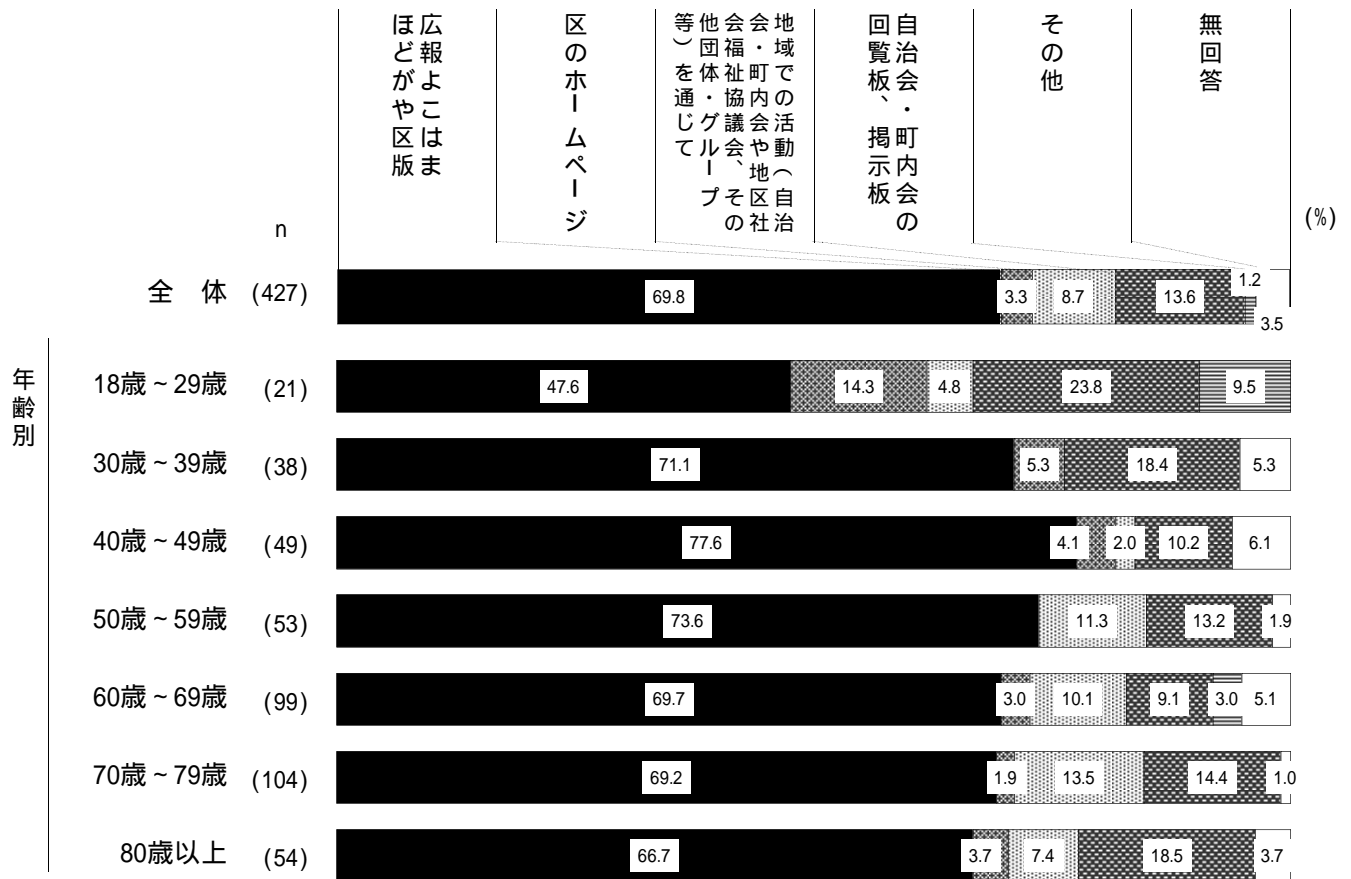
図表5-40 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」をどのような方法で知ったか (性別・地域別)



(年齢別) 年齢別にみると、以下のような差がある。(図表5-41)

- ・「広報よこはま ほどがや区版」は、40歳～49歳(77.6%)で高く、18歳～29歳(47.6%)で特に低い。
- ・「区のホームページ」は、18歳～29歳(14.3%)で特に高く、50歳～59歳で回答が無かった。
- ・「地域での活動を通じて」は、50歳以上で高い。
- ・「自治会・町内会の回覧板、掲示板」は、18歳～29歳(23.8%)と80歳以上(18.5%)で高く、60歳～69歳(9.1%)で低い。

図表5-41 「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」をどのような方法で知ったか(年齢別)



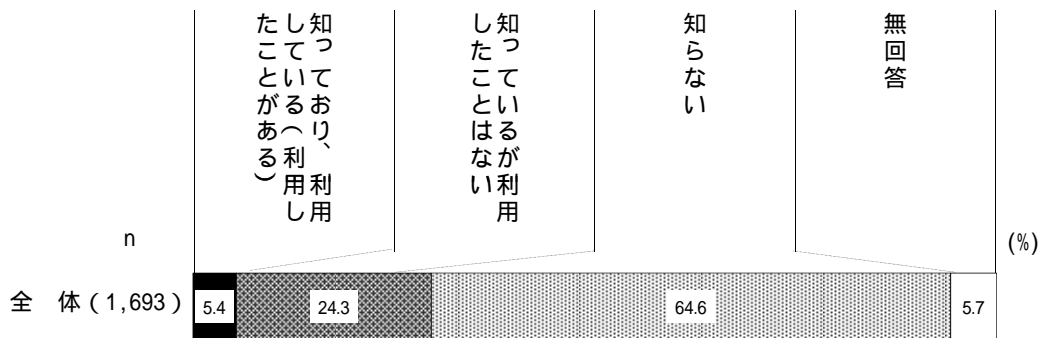
対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

5 - 1 2 福祉保健活動拠点の認知度・利用状況

「知らない」が6割半ば

問 21 あなたは、次の施設を知っていますか。また利用したことはありますか。(は1つ)
1. 福祉保健活動拠点*

図表5-42 福祉保健活動拠点の認知度・利用状況



* 「福祉保健活動拠点」とは、区内で自主的に福祉・保健の活動を行っている団体などに、交流・打合せ・研修などの場としてご利用いただける施設です。「かるがも」(川辺町)の3階にあります。

(全体) 3項目を上位から並べると以下となる。(図表5-42)

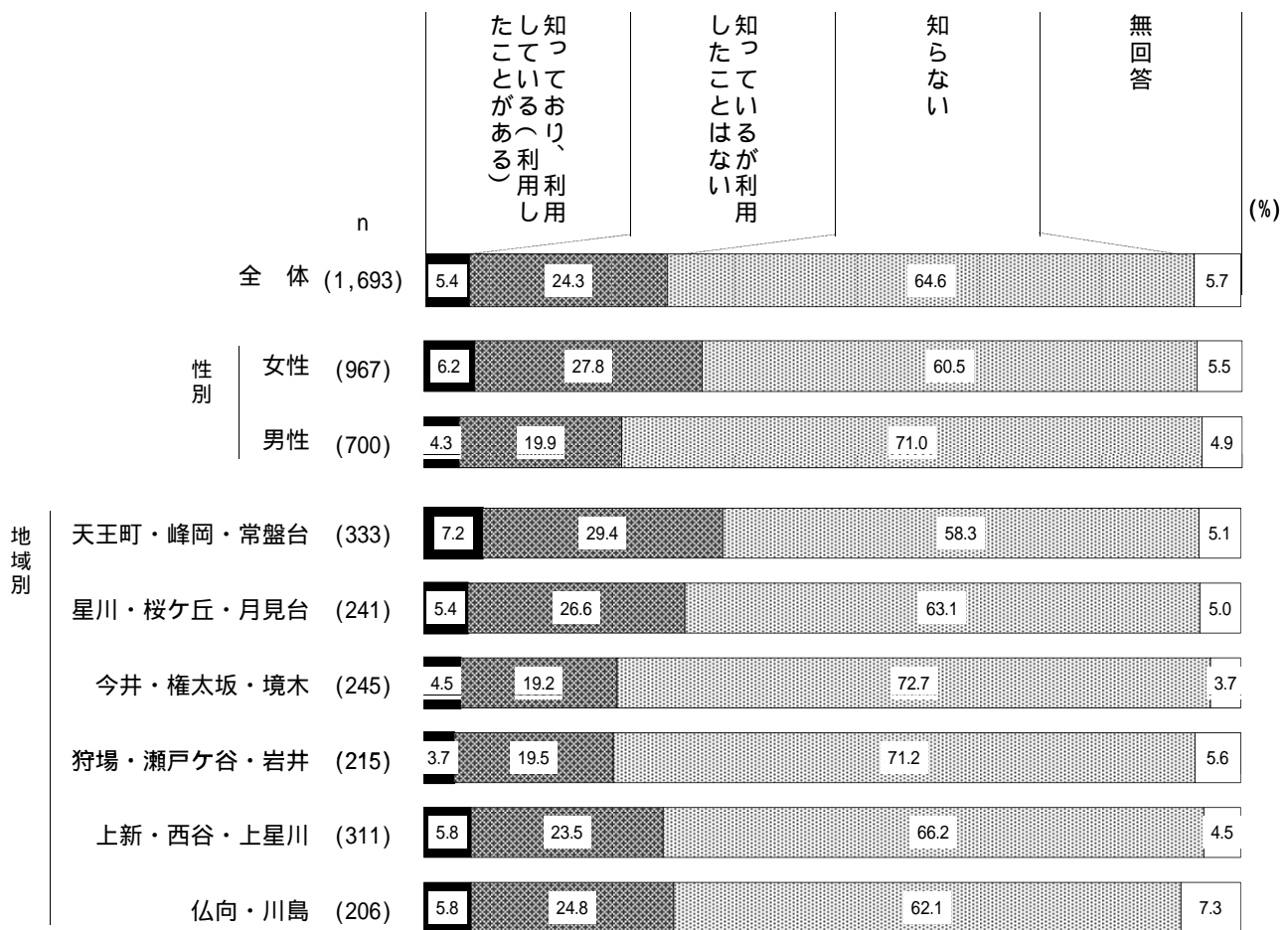
- ・ 「知らない」(64.6%)
- ・ 「知っているが利用したことはない」(24.3%)
- ・ 「知っている、利用している(利用したことがある)」(5.4%)

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-43)

- ・女性の方が認知度(「知っており、利用している(利用したことがある)」「知っているが利用したことはない」)が高い。
- ・「知っており、利用している(利用したことがある)」は、女性(6.2%)で男性より1.9ポイント高い。
- ・「知っているが利用したことはない」は、女性(27.8%)で男性より7.9ポイント高い。
- ・「知らない」は、男性(71.0%)で女性より10.5ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、今井・権太坂・境木と狩場・瀬戸ヶ谷・岩井で、認知度が低い。(図表5-43)

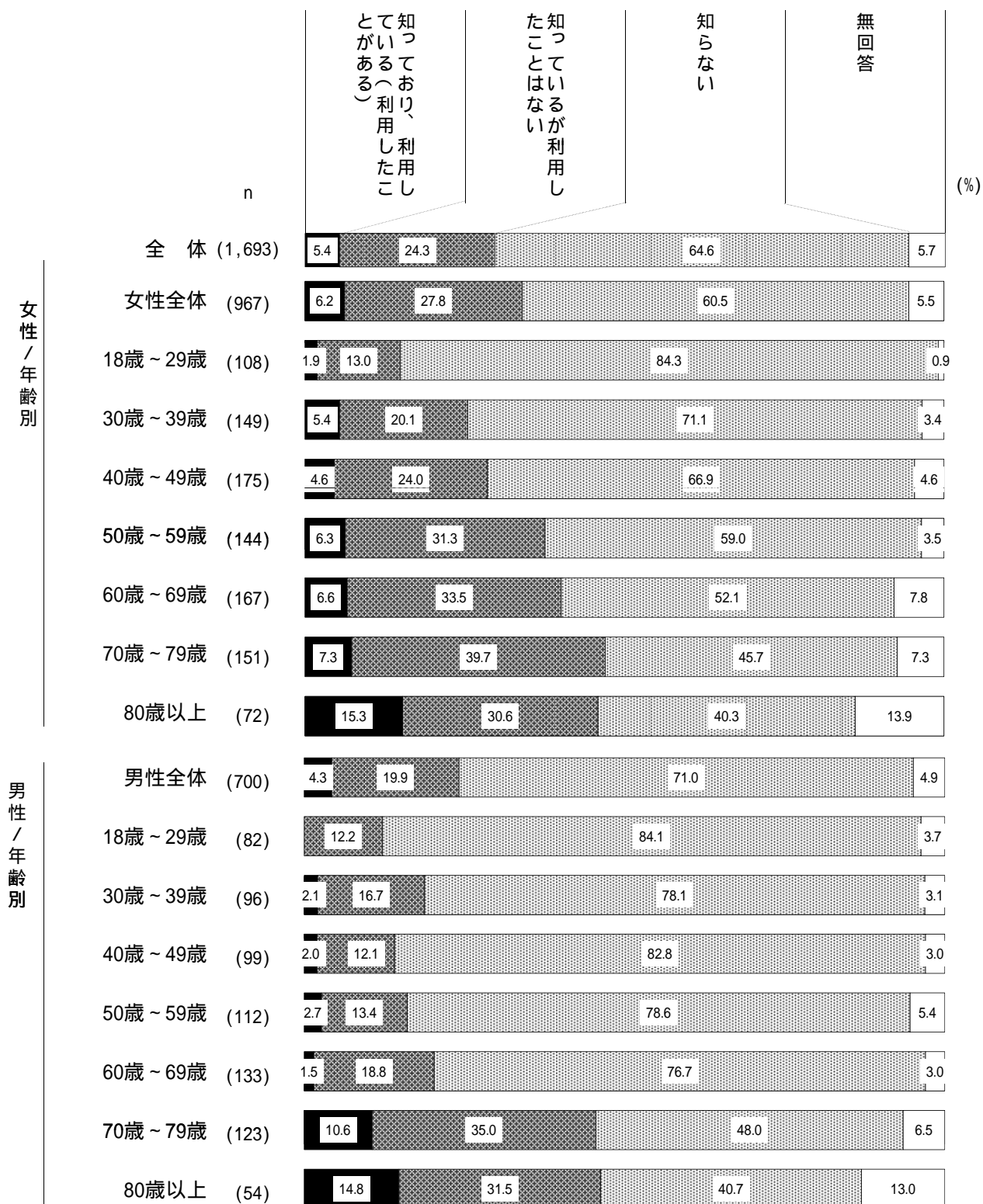
図表5-43 福祉保健活動拠点の認知度・利用状況(性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-44)

- ・女性の方が認知度(「知っており、利用している(利用したことがある)」「知っているが利用したことはない」)が高い。
- ・男性は18歳～69歳で認知度が低い。

図表5-44 福祉保健活動拠点の認知度・利用状況(性×年齢別)

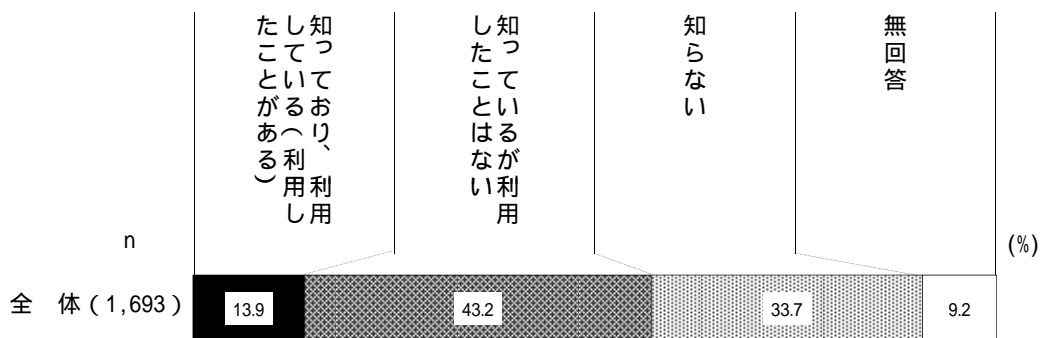


5 - 1 3 地域ケアプラザの認知度・利用状況

「知っているが利用したことはない」が4割前半

問 21 あなたは、次の施設を知っていますか。また利用したことはありますか。(1 は1つ)
2. 地域ケアプラザ(今井、岩崎、上菅田、川島、常盤台、仏向、星川)

図表5-45 地域ケアプラザの認知度・利用状況



(全体) 3項目を上位から並べると以下となる。(図表5-45)

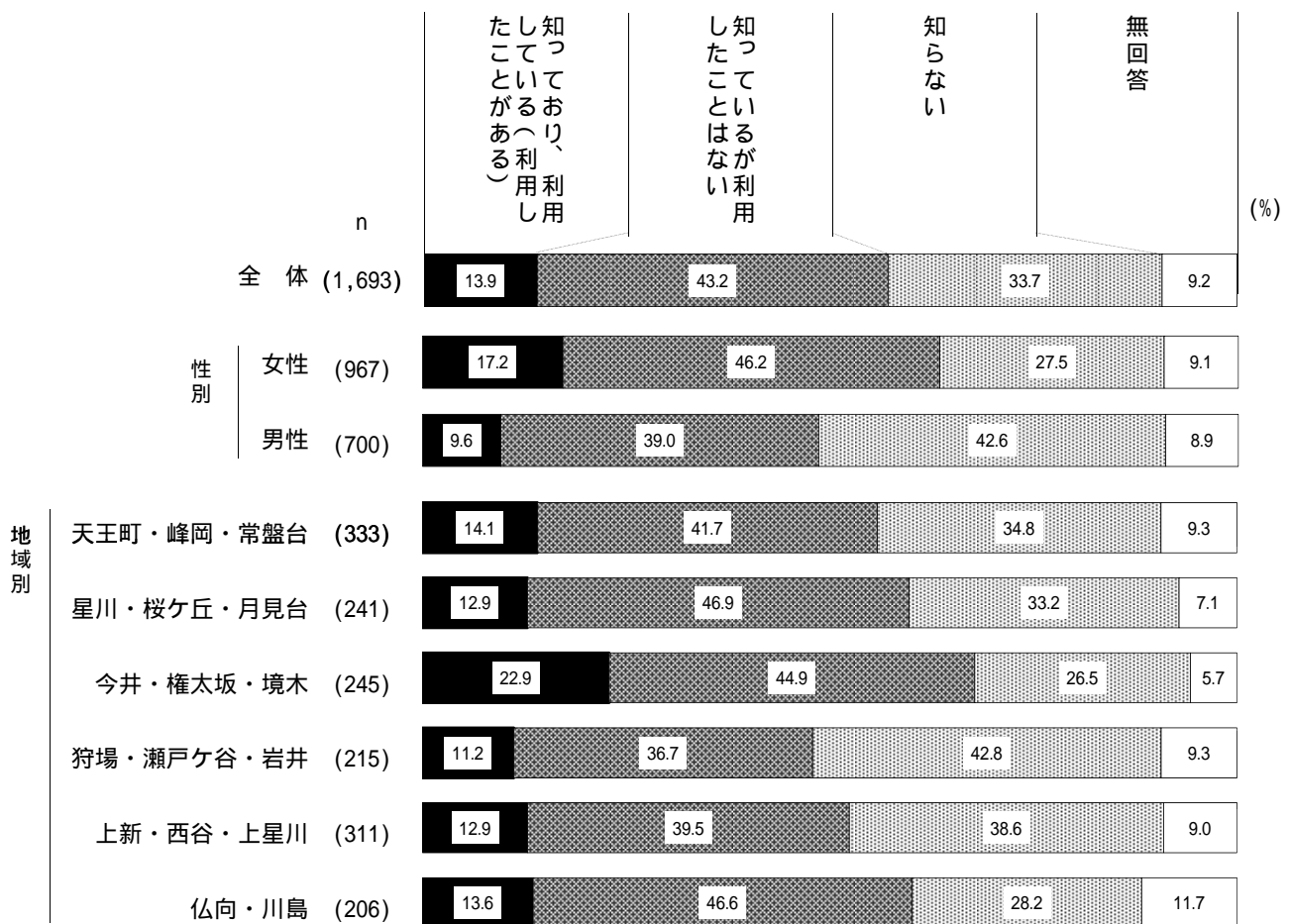
- ・「知っているが利用したことはない」(43.2%)
- ・「知らない」(33.7%)
- ・「知っているが、利用している(利用したことがある)」(13.9%)

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-46)

- ・女性の方が認知度が高い。
- ・「知っており、利用している(利用したことがある)」は、女性(17.2%)で男性より7.6ポイント高い。
- ・「知っているが利用したことはない」は、女性(46.2%)で男性より7.2ポイント高い。
- ・「知らない」は、男性(42.6%)で女性より15.1ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、認知度・利用状況が今井・権太坂・境木で高く、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井で若干低い。他の地域は概ね平均的な傾向である。(図表5-46)

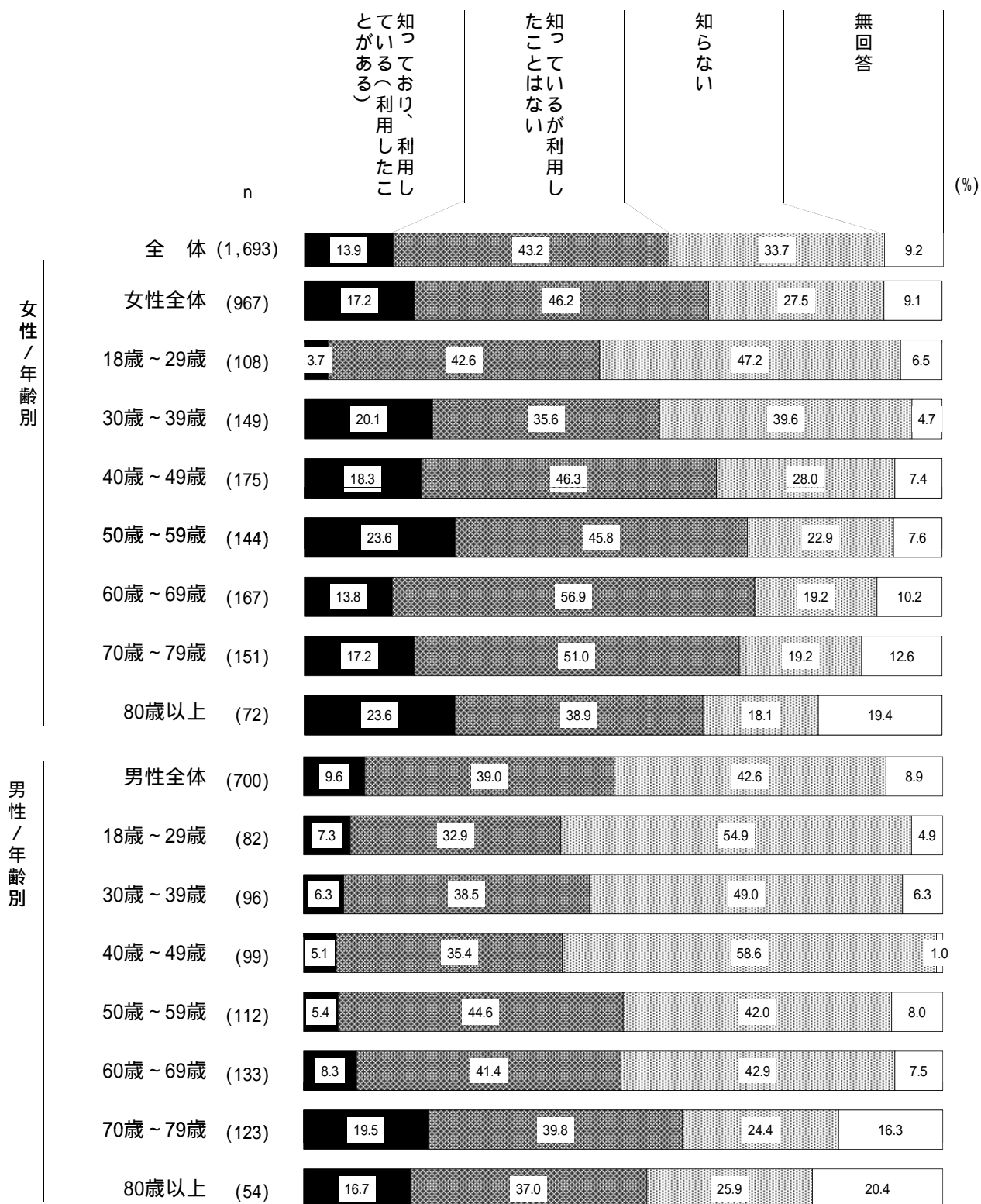
図表5-46 地域ケアプラザの認知度・利用状況(性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表5-47)

- ・「知っており、利用している(利用したことがある)」は、男性70歳以上で高く、女性18歳～29歳(3.7%)で特に低い。
- ・「知っているが利用したことはない」は、女性60歳～69歳(56.9%)で高い。
- ・「知らない」は、男女18歳～29歳と男性40歳～49歳(58.6%)で高い。

図表5-47 地域ケアプラザの認知度・利用状況(性×年齢別)

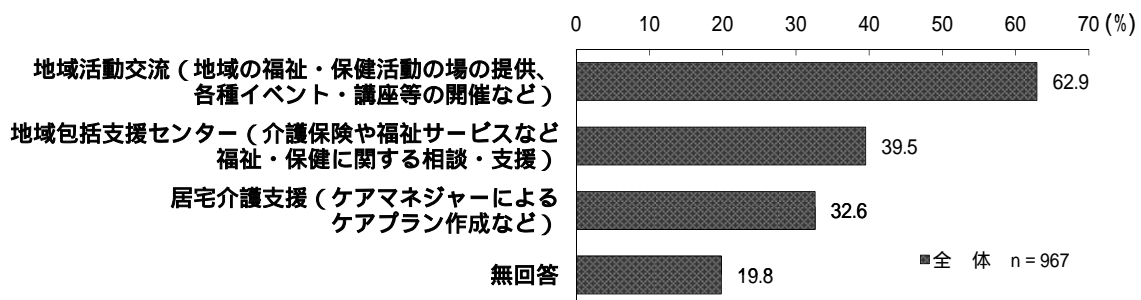


5-14 地域ケアプラザで行っている業務の認知度

「地域活動交流(地域の福祉・保健活動の場の提供、各種イベント・講座等の開催など)」が6割前半

問 21-1 問21で「1. 知っており、利用している(利用したことがある)」「2. 知っているが利用したことはない」と答えた方にうかがいます。地域ケアプラザで行っている次の業務について知っていますか。
(はい/いいえ/どちらともいえない/わからない/その他)

図表5-48 地域ケアプラザで行っている業務の認知度(複数回答)



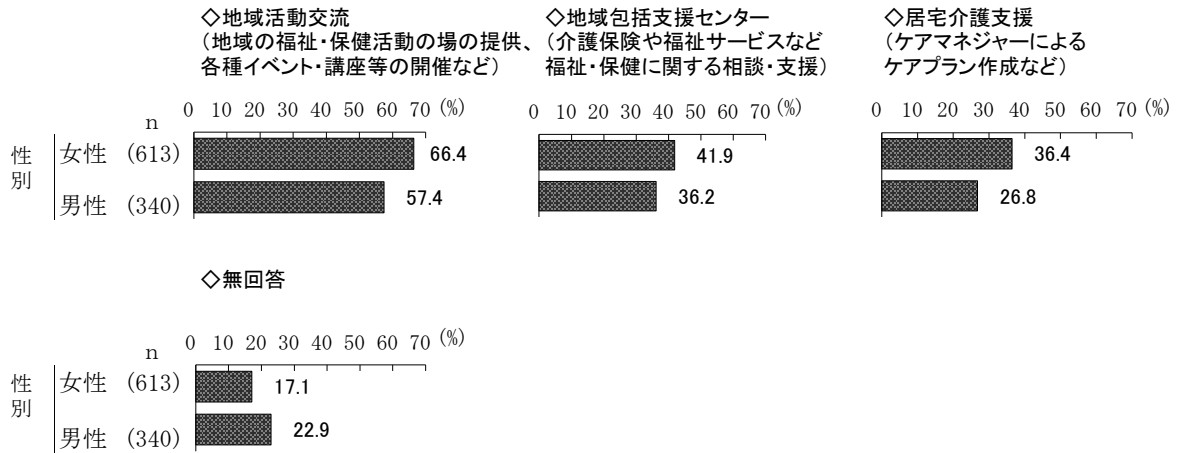
(全体) 上位3項目は以下となる。(図表5-48)

- ・「地域活動交流(地域の福祉・保健活動の場の提供、各種イベント・講座等の開催など)」(62.9%)
- ・「地域包括支援センター(介護保険や福祉サービスなど福祉・保健に関する相談・支援)」(39.5%)
- ・「居宅介護支援(ケアマネジャーによるケアプラン作成など)」(32.6%)

《性別》性別にみて、女性の方が認知度が高い傾向である。差があるのは以下の箇所となる。(図表5-49)

- ・「地域活動交流」は、女性(66.4%)で男性より9.0ポイント高い。
- ・「地域包括支援センター」は、女性(41.9%)で男性より5.7ポイント高い。
- ・「居宅介護支援」は、女性(36.4%)で男性より9.6ポイント高い。

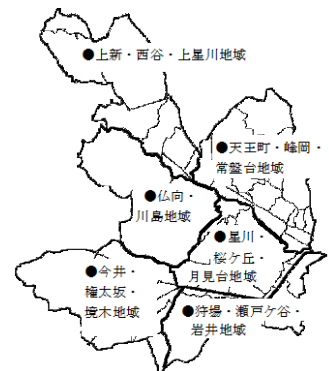
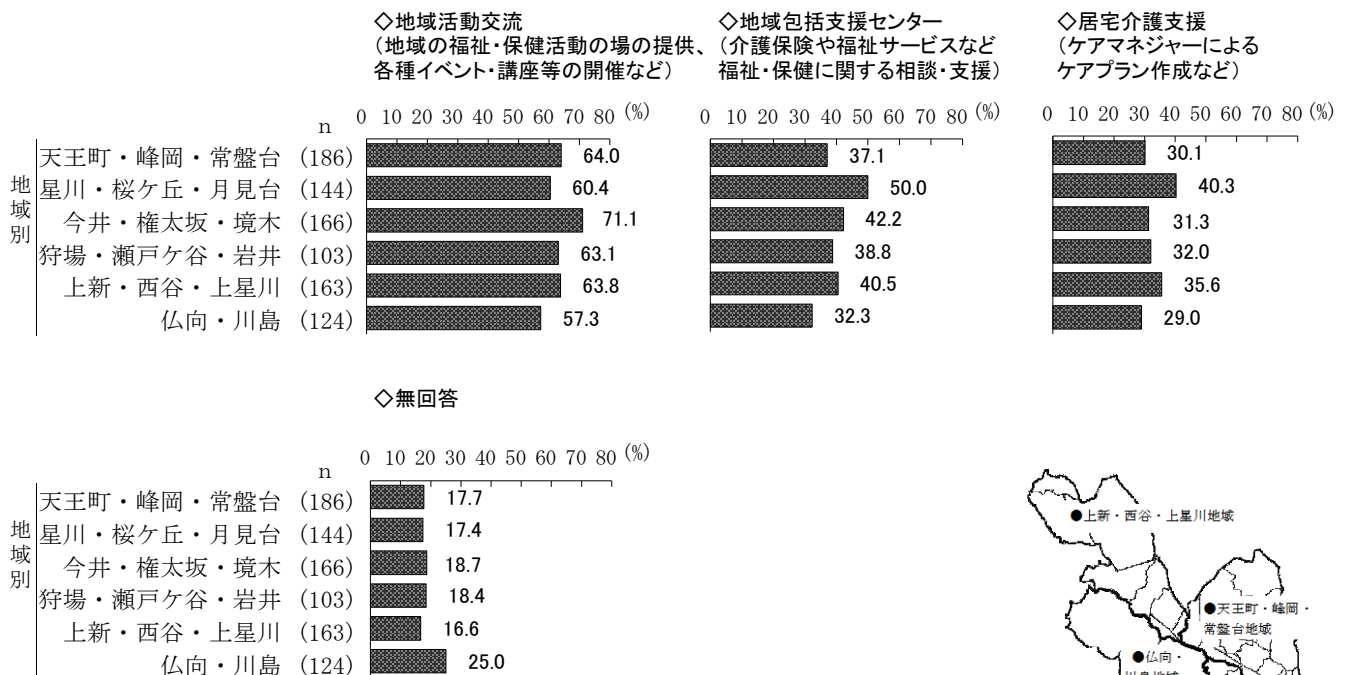
図表5-49 地域ケアプラザで行っている業務の認知度(性別)



《地域別》地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-50)

- ・「地域活動交流」は、今井・権太坂・境木(71.1%)で高く、仏向・川島(57.3%)で低い。
- ・「地域包括支援センター」は、星川・桜ヶ丘・月見台(50.0%)で高く、仏向・川島(32.3%)で低い。
- ・「居宅介護支援」は、星川・桜ヶ丘・月見台(40.3%)で高く、仏向・川島(29.0%)で低い。

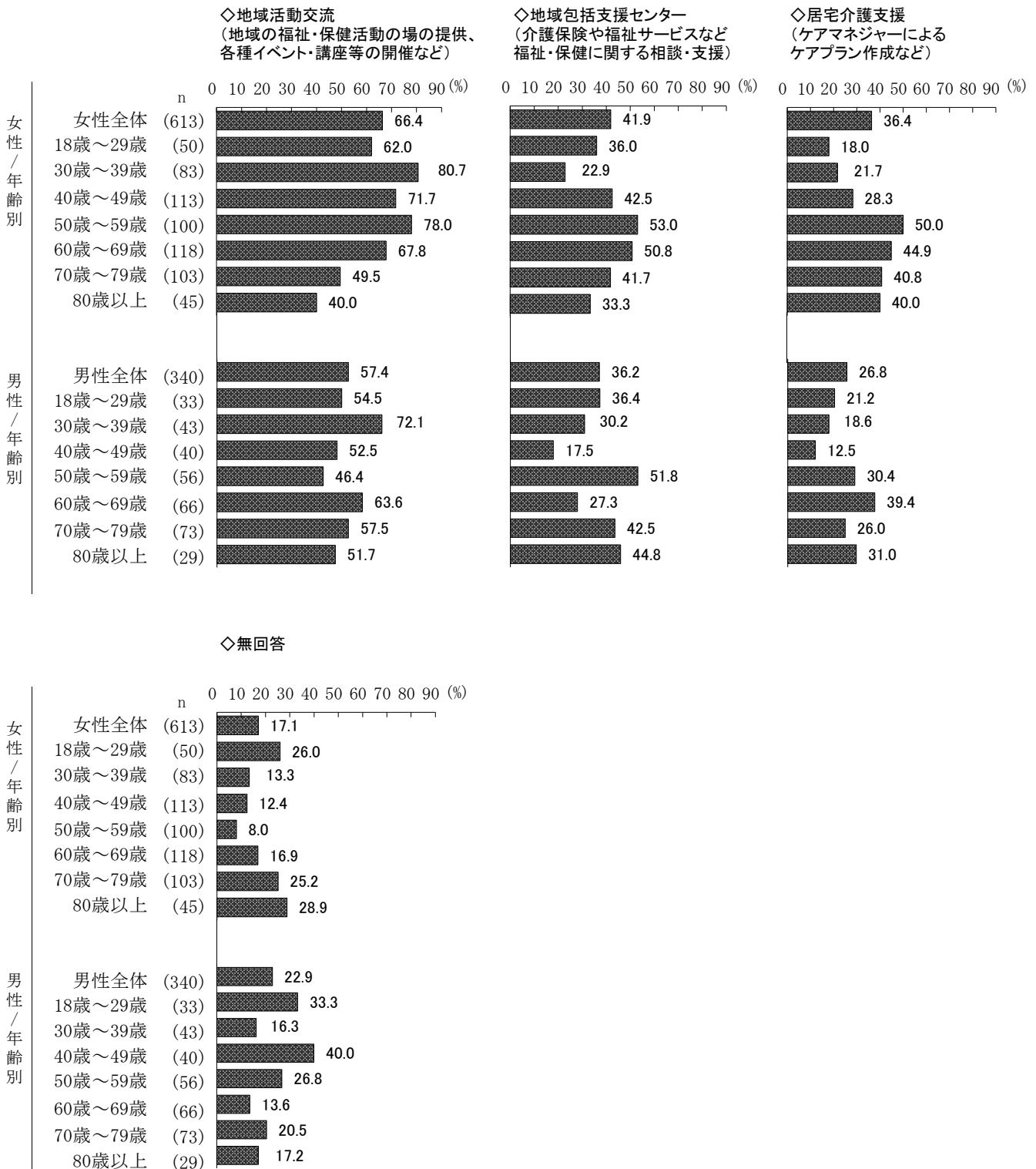
図表5-50 地域ケアプラザで行っている業務の認知度(地域別)



《性×年齢別》性別及び年齢別にみて、以下のような傾向がある。(図表5-51)

- ・「地域活動交流」は、女性30歳～59歳と男性30歳～39歳(72.1%)で特に高く、女性70歳以上と男性50歳～59歳(46.4%)で低い。
- ・「地域包括支援センター」は、女性50歳～69歳と男性50歳～59歳(51.8%)で特に高く、女性30歳～39歳(22.9%)と男性40歳～49歳(17.5%)で特に低い。
- ・「居宅介護支援」は、女性50歳以上と男性60歳～69歳(39.4%)で高く、女性18歳～49歳と男性30歳～49歳で低い。

図表5-51 地域ケアプラザで行っている業務の認知度(性×年齢別)

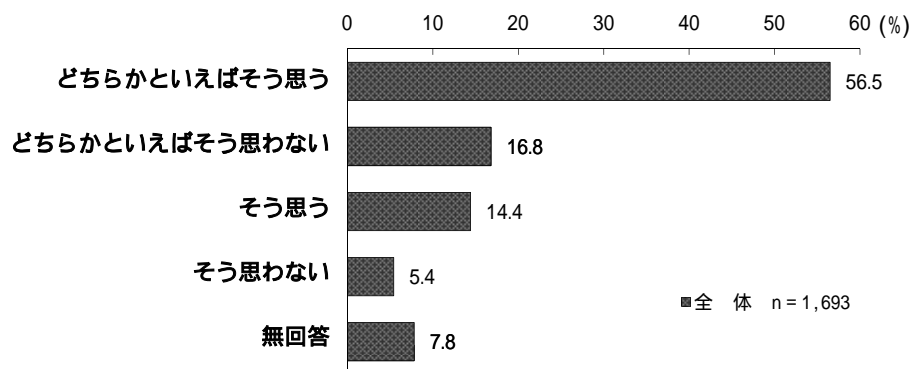


5 - 1 5 保土ヶ谷区の子どもにとって安心・安全度

「どちらかといえばそう思う」が5割半ば

問 22 あなたは、保土ヶ谷区が子どもにとって安心・安全で暮らしやすいまちだと思いますか。
(はい/いいえ/どちらか/どちらでもない/無回答)

図表5-52 保土ヶ谷区の子供にとって安心・安全度(複数回答)

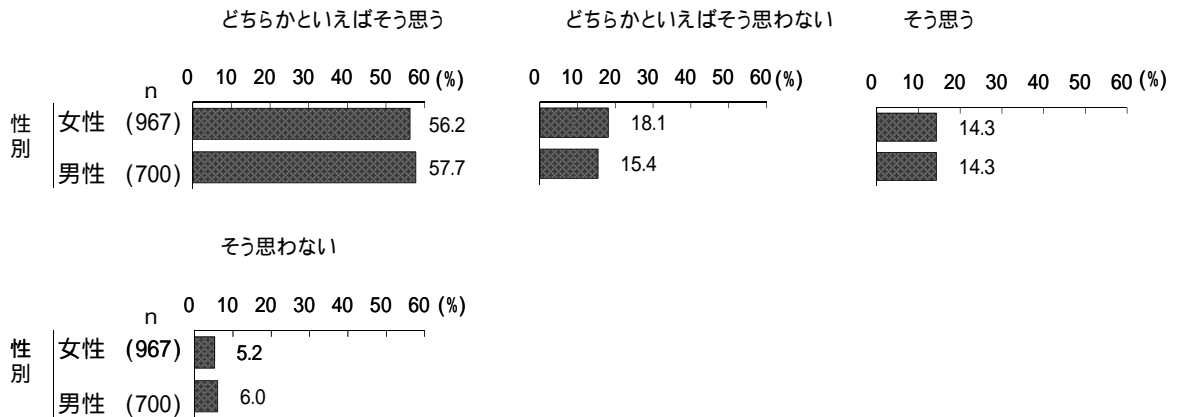


(全体) 上位4項目は以下となる。(図表5-52)

- ・「どちらかといえばそう思う」(56.5%)
- ・「どちらかといえばそう思わない」(16.8%)
- ・「そう思う」(14.4%)
- ・「そう思わない」(5.4%)

(性別) 性別にみて、大きな差はみられない。(図表5-53)

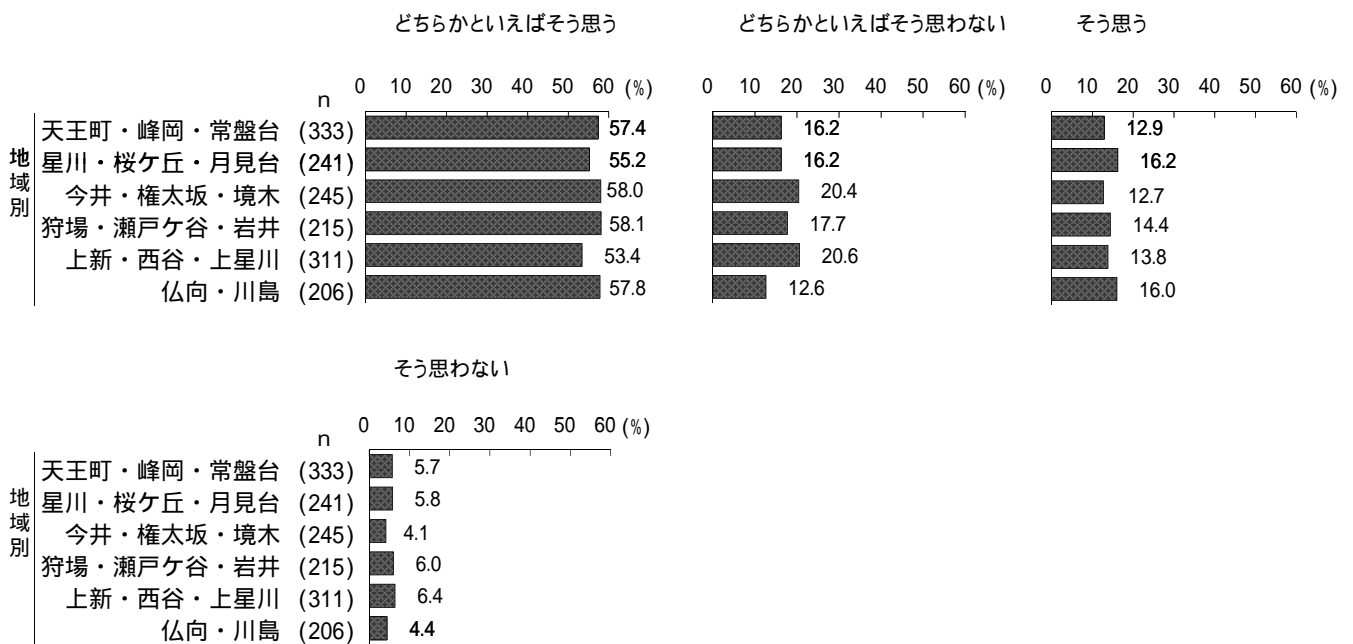
図表5-53 保土ヶ谷区の子供にとって安心・安全度(性別)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-54)

- ・「どちらかといえばそう思わない」は、今井・権太坂・境木(20.4%)と上新・西谷・上星川(20.6%)で高い。

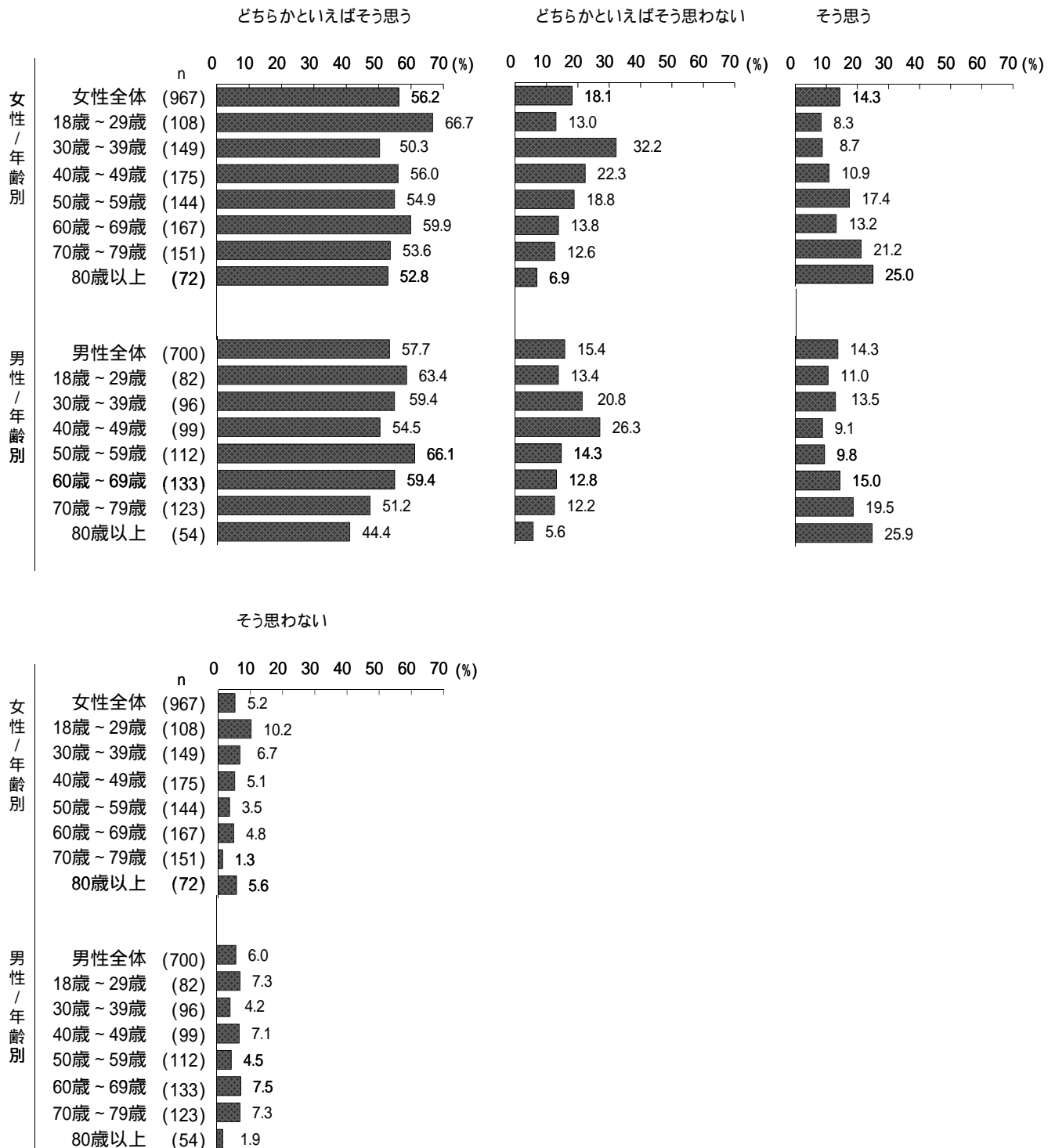
図表5-54 保土ヶ谷区の子供にとって安心・安全度(地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、以下のような傾向がある。(図表5-55)

- ・「どちらかといえばそう思う」は、女性18歳～29歳(66.7%)と男性50歳～59歳(66.1%)で高く、男性80歳以上(44.4%)で低い。
- ・「どちらかといえばそう思わない」は、女性30歳～39歳(32.2%)と男性40歳～49歳(26.3%)で高く、男女とも80歳以上で低い。
- ・「そう思う」は、女性70歳以上と男性60歳以上で高い。
- ・「そう思わない」は、女性70歳～79歳(1.3%)と男性80歳以上(1.9%)で低い。

図表5-55 保土ヶ谷区の子供にとって安心・安全度(性×年齢別)

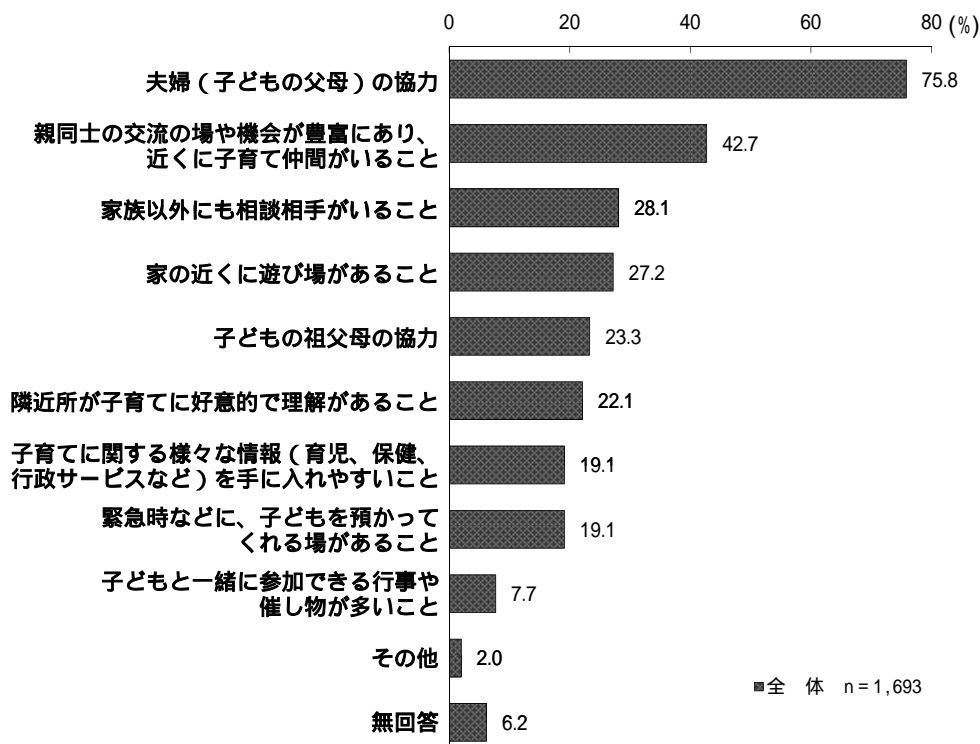


5-16 子育てをしていく中で、特に必要なこと

「夫婦(子どもの父母)の協力」が7割半ばで特に高い

問23 あなたは、子育てをしていく中で、特に必要なことは何だと思いますか。
(子育て中でない方は、一般的な考え方としてお答えください。) (は3つまで)

図表5-56 子育てをしていく中で、特に必要なこと(複数回答)



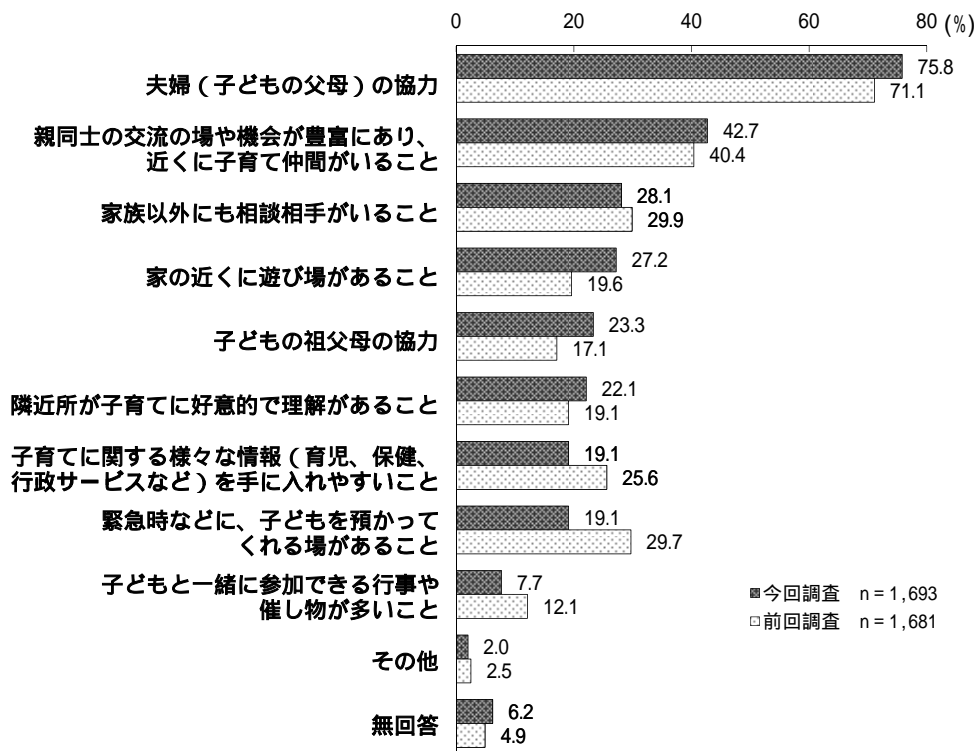
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表5-56)

- ・「夫婦(子どもの父母)の協力」(75.8%)
- ・「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」(42.7%)
- ・「家族以外にも相談相手がいること」(28.1%)
- ・「家の近くに遊び場があること」(27.2%)
- ・「子どもの祖父母の協力」(23.3%)
- ・「隣近所が子育てに好意的で理解があること」(22.1%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表5-57)

- ・「夫婦(子どもの父母)の協力」は、4.7ポイント増加している。
- ・「家の近くに遊び場があること」は、7.6ポイント増加し、6番目(19.6%)から4番目(27.2%)に上がった。
- ・「子どもの祖父母の協力」は、6.2ポイント増加し、8番目(17.1%)から5番目(23.3%)に上がった。
- ・「隣近所が子育てに好意的で理解があること」は、3.0ポイント増加し、7番目(19.1%)から6番目(22.1%)に上がった。
- ・「子育てに関する様々な情報を手に入れやすいこと」は、10.6ポイント減少し、5番目(25.6%)から7番目(19.1%)に下がった。
- ・「緊急時などに、子どもを預かってくれる場があること」は、6.5ポイント減少し、4番目(29.7%)から8番目(19.2%)に下がった。
- ・「子どもと一緒に参加できる行事や催し物が多いこと」は、4.4ポイント減少している。

図表5-57 子育てをしていく中で、特に必要なこと(前回調査との比較)

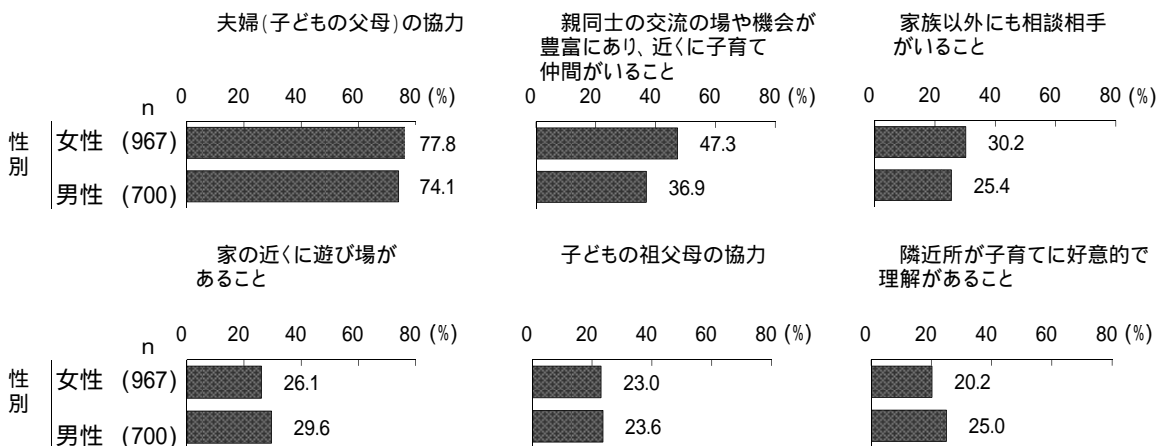


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-58)

- ・「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」は、女性(47.3%)で男性より10.4ポイント高い。

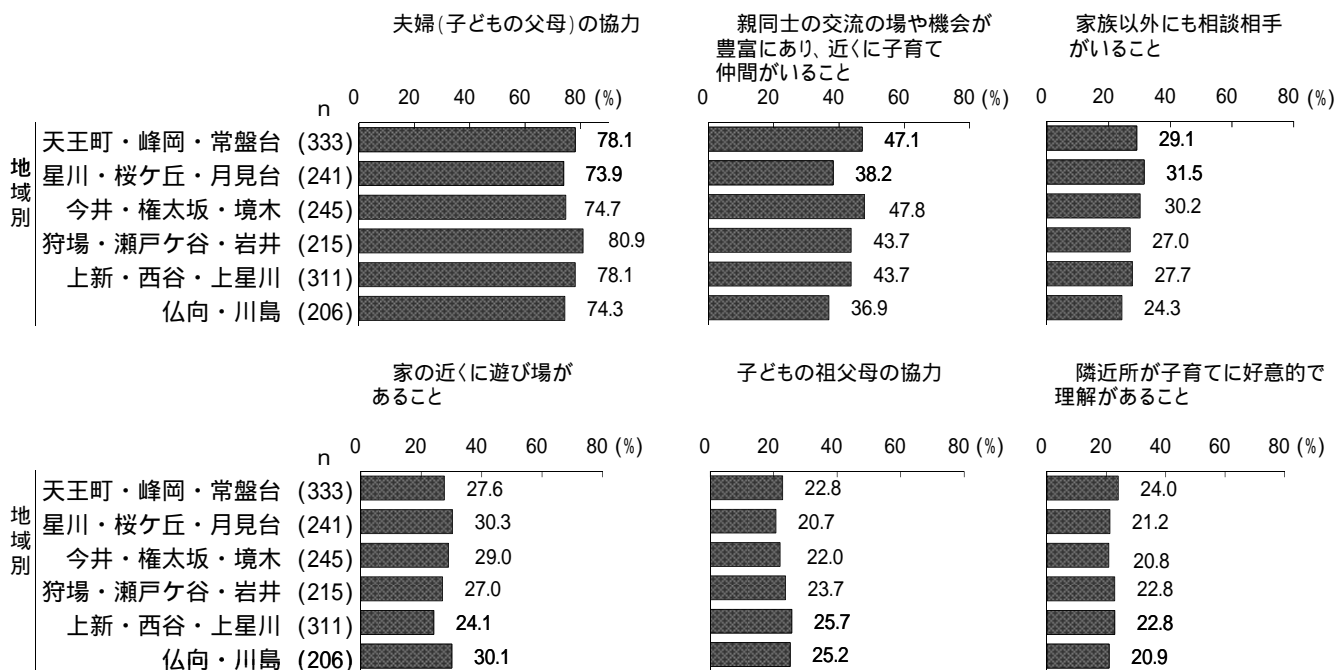
図表5-58 子育てをしていく中で、特に必要なこと(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表5-59)

- ・「夫婦(子どもの父母)の協力」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(80.9%)で高い。
- ・「親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること」は、仏向・川島(36.9%)で低い。

図表5-59 子育てをしていく中で、特に必要なこと(地域別、上位6項目)



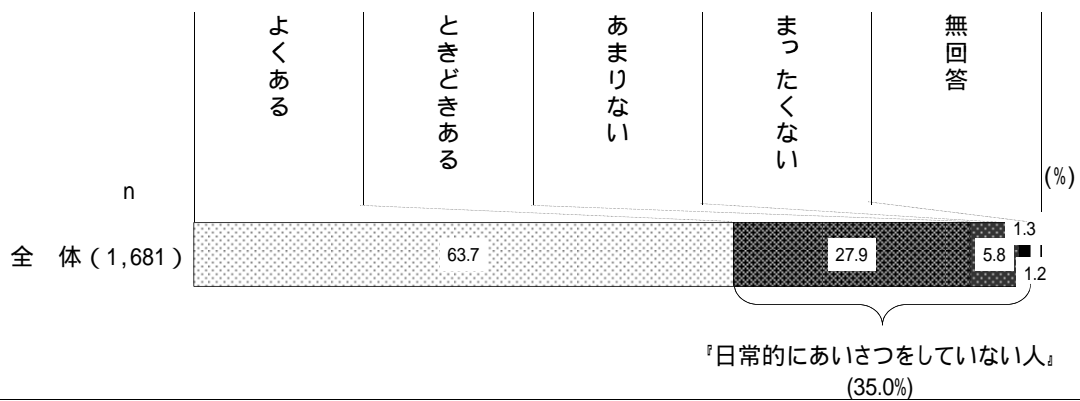
6 地域でのつながり・地域活動について

6-1 あいさつなどで近所の人に声をかける頻度

「よくある」が6割半ば、「日常的にあいさつをしていない人」が3割半ば

問 24 あなたは近所の人に対して、あいさつなどで声をかけることはありますか。(1は1つ)

図表6-1 あいさつなどで近所の人に声をかける頻度



(全体) 4項目を上位から並べると以下となる。(図表6-1)

- ・「よくある」(63.7%)
- ・「ときどきある」(27.9%)
- ・「あまりない」(5.8%)
- ・「まったくない」(1.3%)

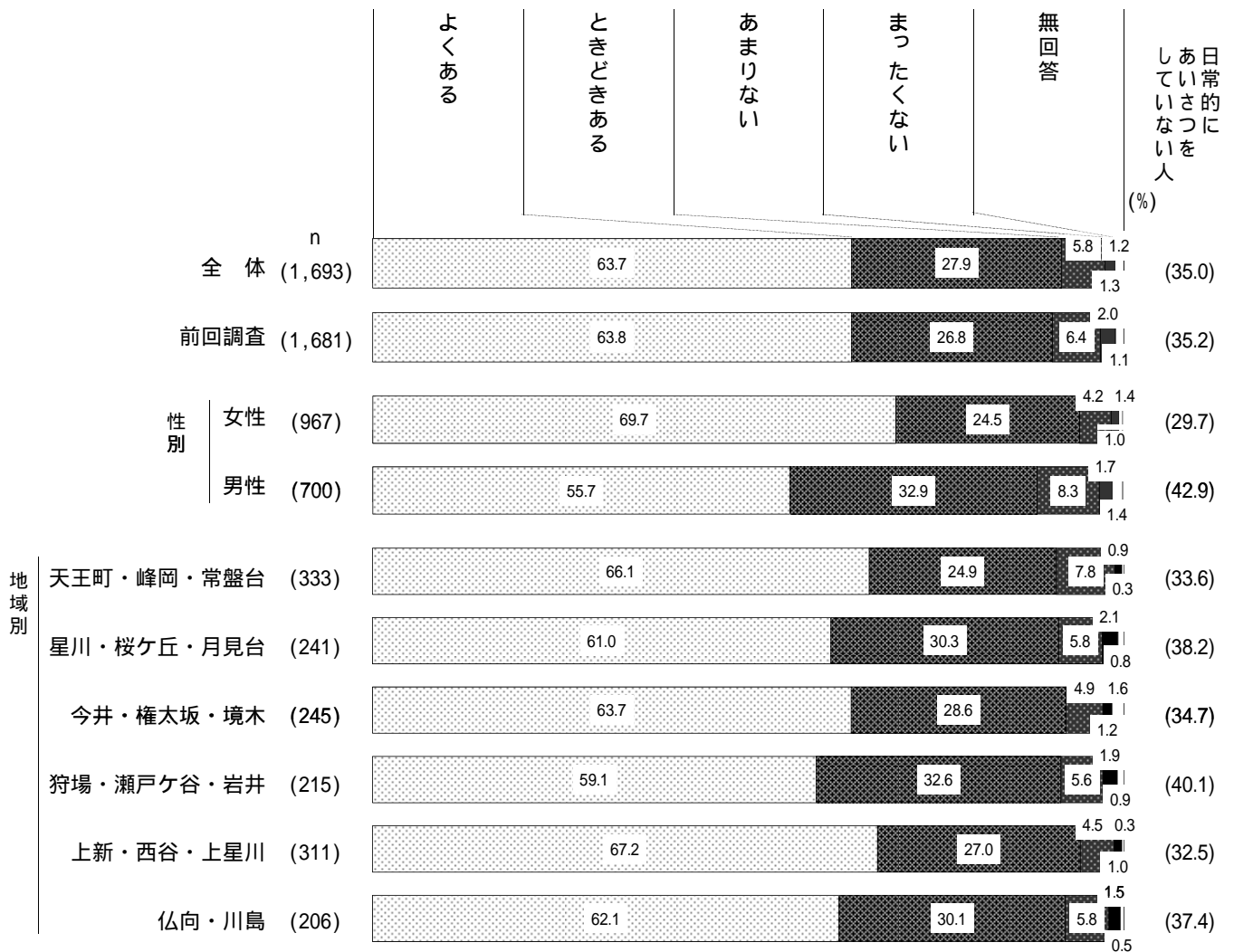
(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表6-2)

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-2)

- ・「よくある」は、女性(69.7%)で男性より14.0ポイント高い。
- ・「ときどきある」は、男性(32.9%)で女性より8.4ポイント高い。
- ・『日常的にあいさつをしていない人』は、男性(42.9%)で女性より13.2ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表6-2)

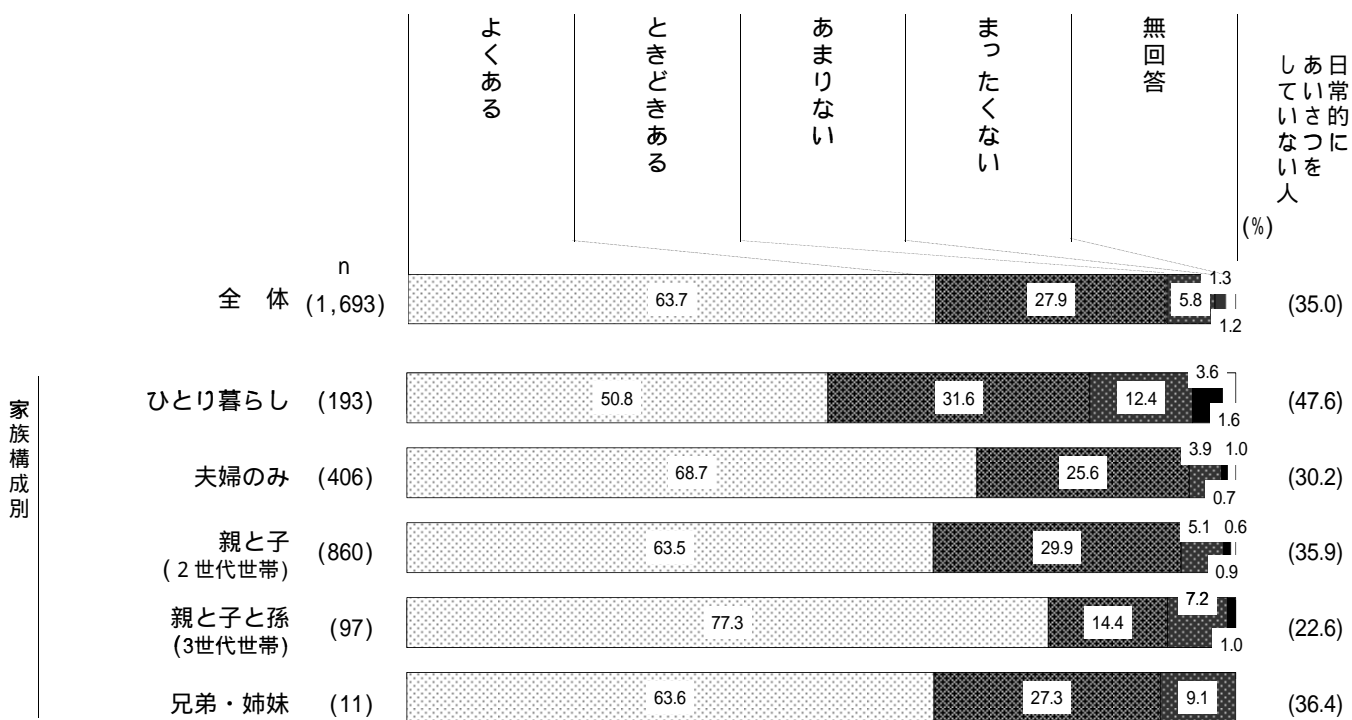
図表6-2 あいさつなどで近所の人に声をかける頻度(性別・地域別・家族構成別)



(家族構成別) 家族構成別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-3)

- ・「よくある」は、親と子と孫(3世代世帯)(77.3%)で高く、一人暮らし(50.8%)で低い。
- ・「ときどきある」は、親と子と孫(3世代世帯)(14.4%)で低い。
- ・『日常的にあいさつをしていない人』は、一人暮らし(47.6%)で高く、親と子と孫(3世代世帯)(22.6%)で低い。

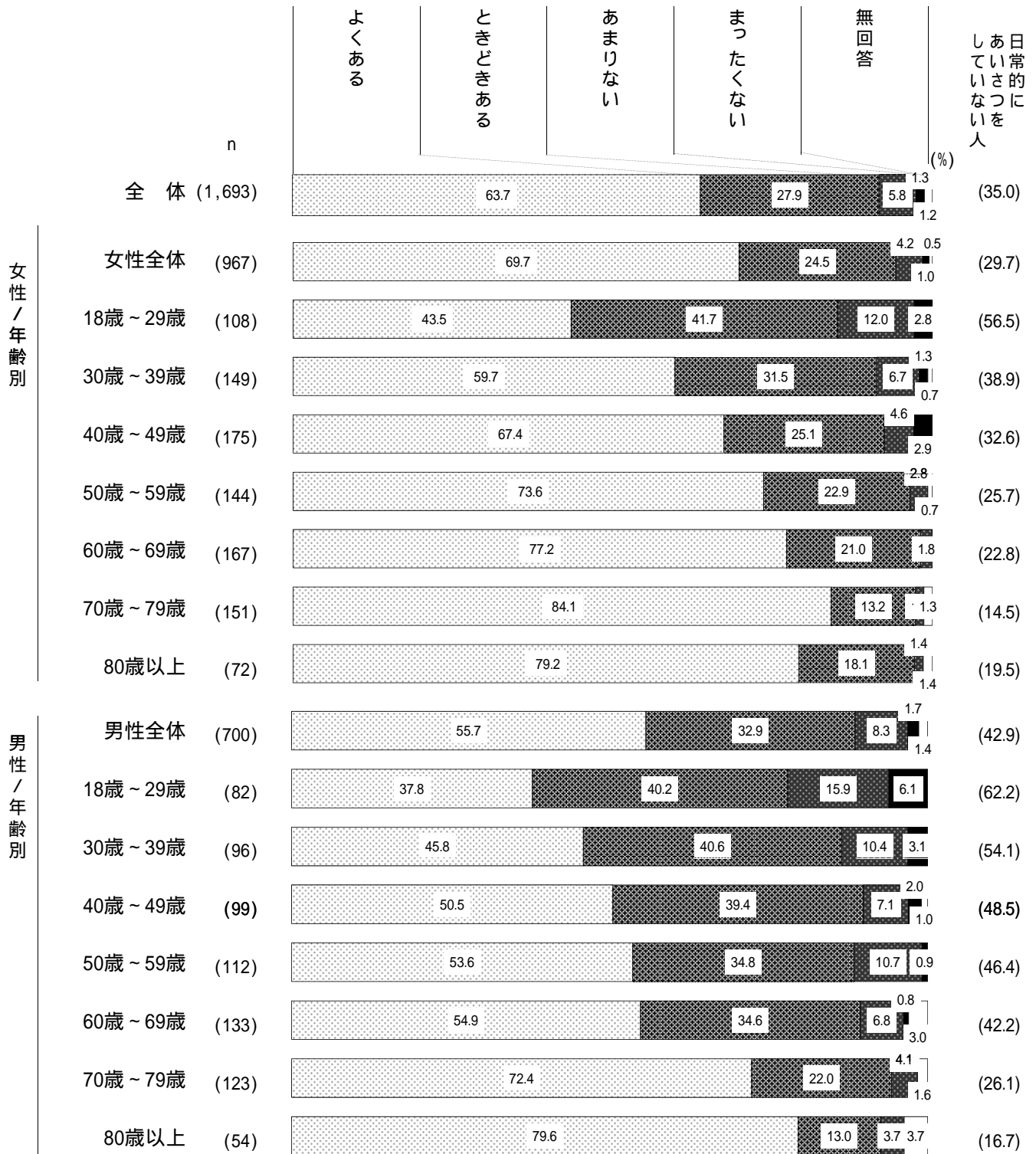
図表6-3 あいさつなどで近所の人に声をかける頻度(性別・地域別・家族構成別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-4)

- ・男女とも「よくある」で18歳～29歳で特に低く、70歳以上で特に高い。
- ・男女とも「ときどきある」と『あいさつを日常的にしていな人』で18歳～29歳で高く、70歳以上で低い。

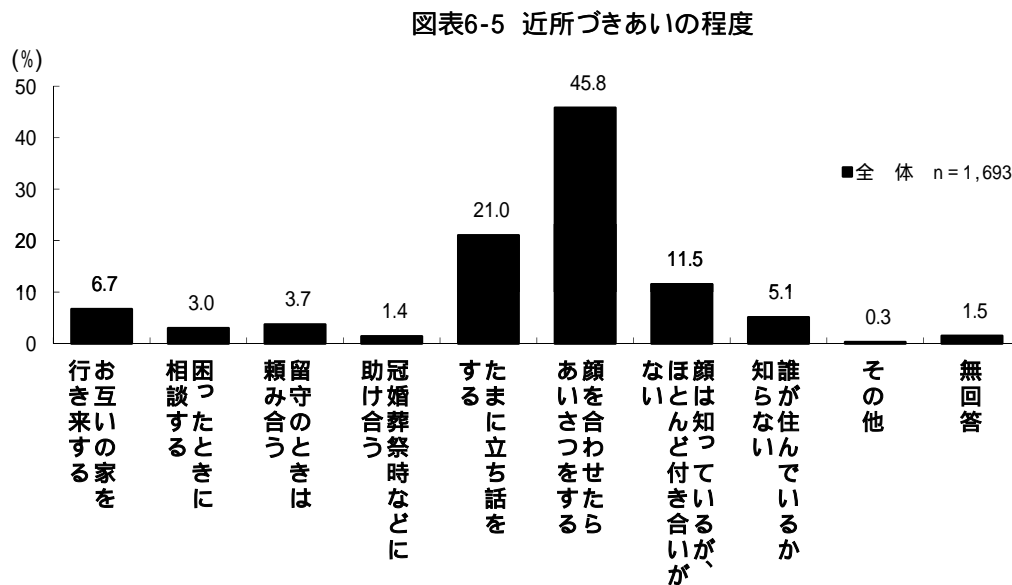
図表6-4 あいさつなどで近所の人に声をかける頻度(性×年齢別)



6-2 近所づきあいの程度

「顔を合わせたらあいさつをする」が4割半ばで特に高い

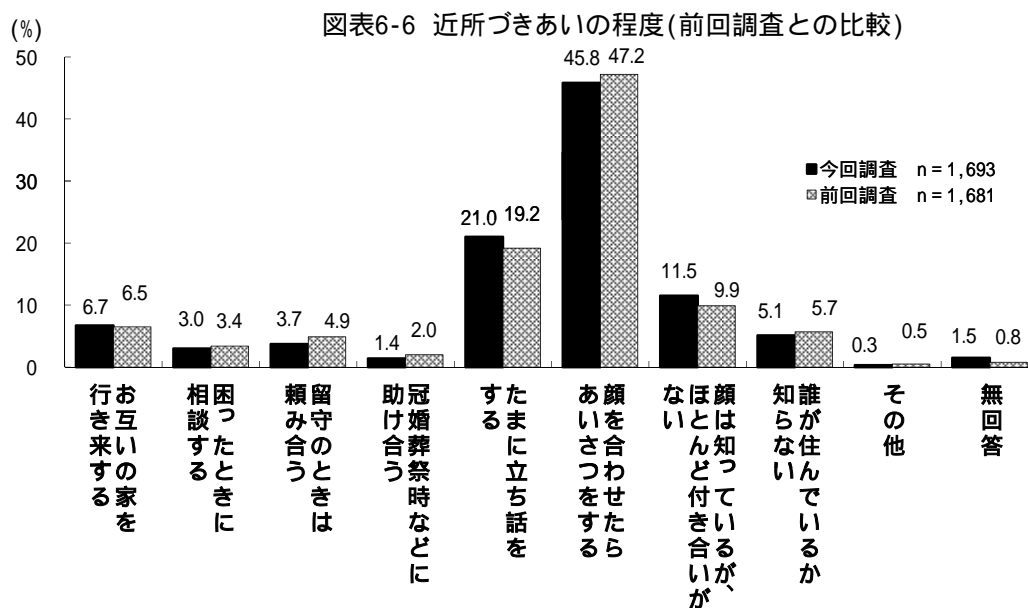
問 25 あなたと近所の人との付き合いは、次のうち、どれに最も近いですか。(1 は1つ)



(全体) 上位5項目は以下となる。(図表6-5)

- ・「顔を合わせたらあいさつをする」(45.8%)
- ・「たまに立ち話をする」(21.0%)
- ・「顔は知っているが、ほとんど付き合いがない」(11.5%)
- ・「お互いの家を行き来する」(6.7%)
- ・「顔は知っているが、ほとんど付き合いがない」(5.1%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表6-6)



(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-7)

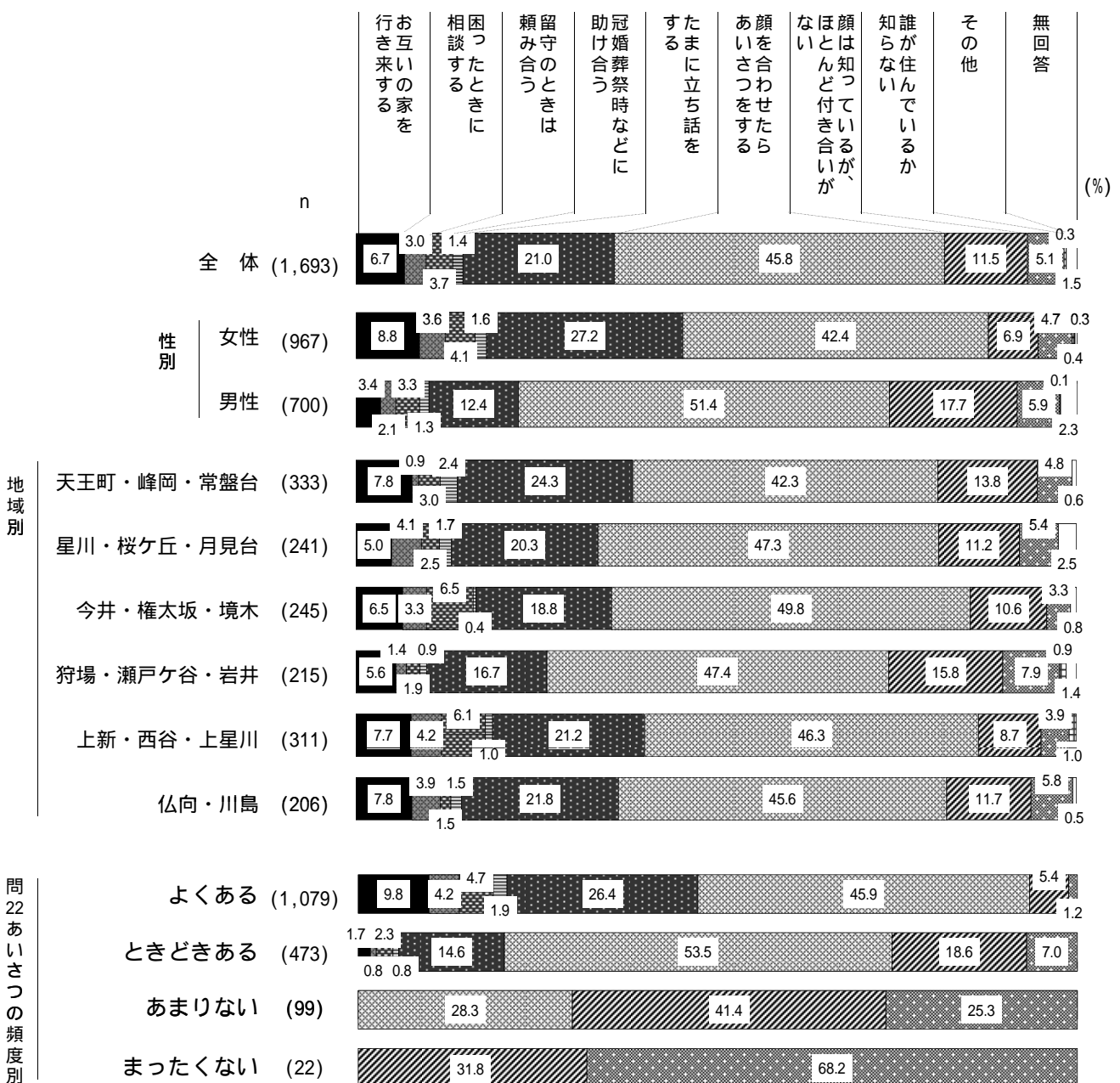
- ・「たまに立ち話をする」は、女性(27.2%)で男性より14.8ポイント高い。
- ・「顔を合わせたらあいさつをする」は、男性(51.4%)で女性より9.0ポイント高い。
- ・「顔は知っているが、ほとんど付き合いがない」は、男性(17.7%)で女性より10.8ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表6-7)

(あいさつの頻度別) あいさつの頻度別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-7)

- ・あいさつをすることがよくある人は、「お互いの家を行き来する」や「たまに立ち話をする」が高い。
- ・あいさつがあまりない人は、「顔は知っているが、ほとんど付き合いがない」が特に高い。
- ・あいさつがまったくない人は、「誰が住んでいるか知らない」が特に高い。
- ・あいさつの頻度が高いほど付き合いの程度が深く、あいさつの頻度が低いほど付き合いの程度が浅い傾向がある。

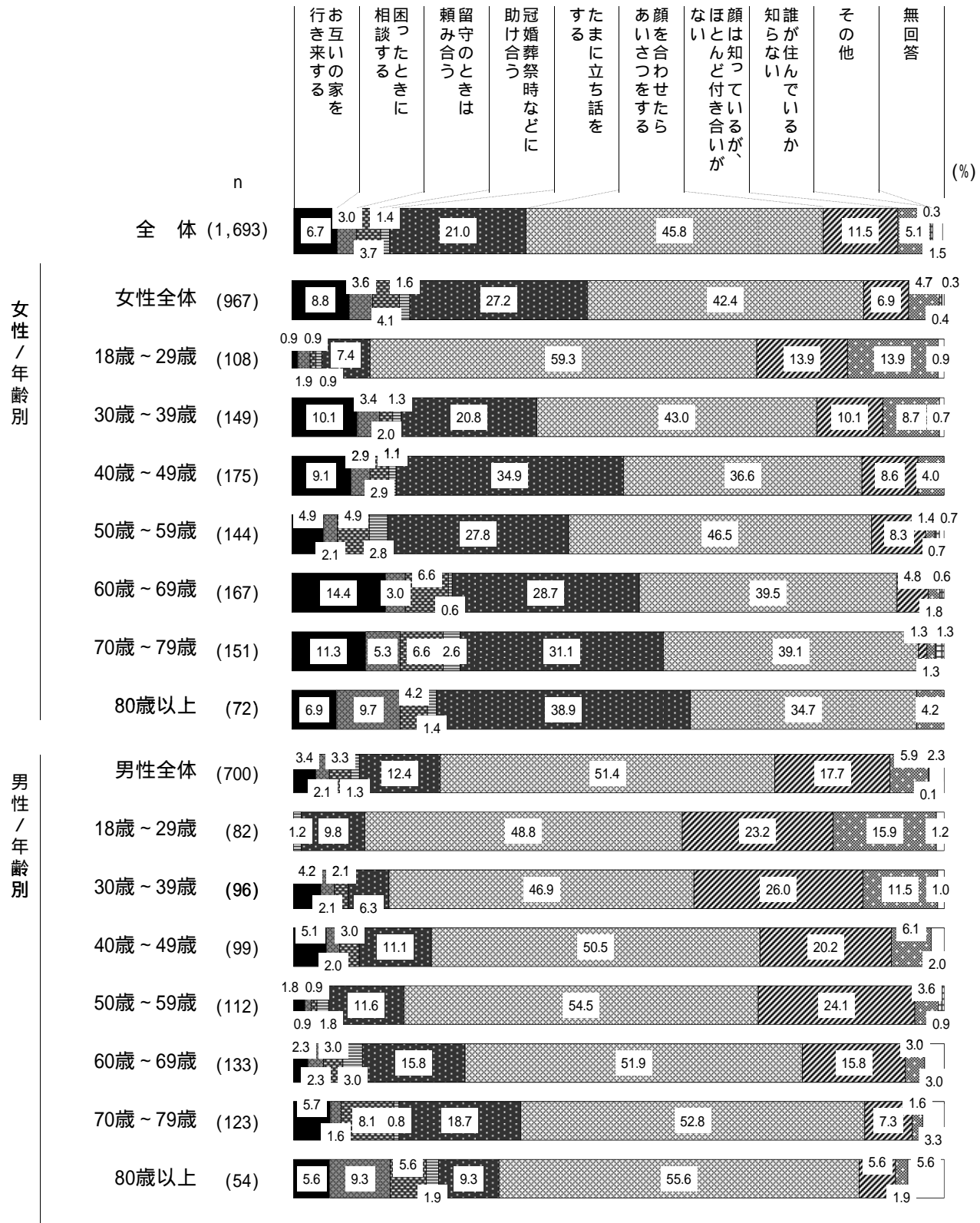
図表6-7 近所づきあいの程度(性別・地域別・問22あいさつの頻度別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-8)

- ・「お互いの家を行き来する」は、女性60歳～69歳(14.4%)で高く、男女とも18歳～29歳で特に低い。
- ・「たまに立ち話をする」は、女性40歳以上で高い。
- ・「顔を合わせたらあいさつをする」は、女性18歳～29歳(59.3%)と、男性50歳以上で高い。
- ・「顔は知っているが、ほとんど付き合いがない」は、女性18歳～39歳と、男性18歳～59歳で高い。
- ・「誰が住んでいるか知らない」は、男女とも18歳～29歳で特に高い。
- ・近所づきあいの程度は女性の40歳以上で深く、男女の18歳～29歳以上で浅い傾向である。

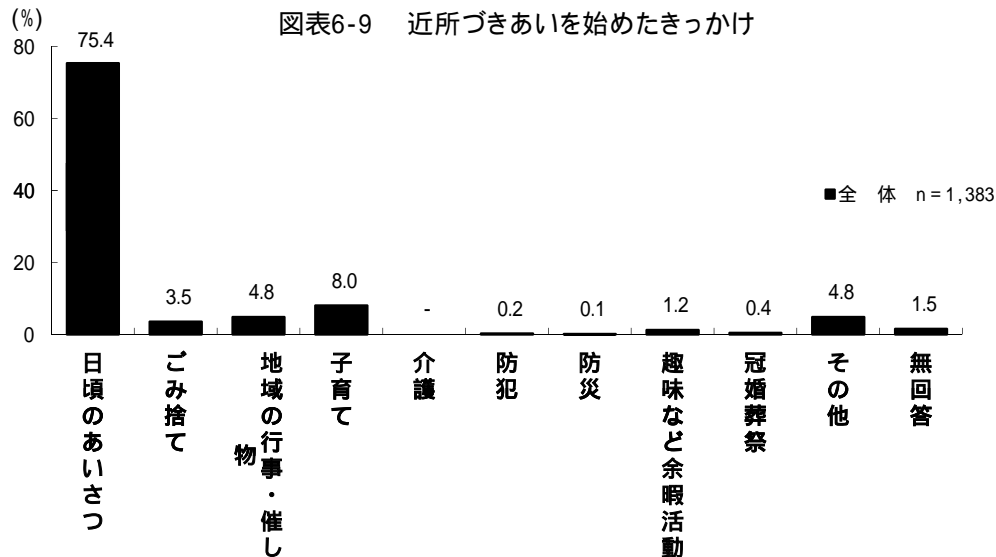
図表6-8 近所づきあいの程度(性×年齢別)



6-3 近所づきあいを始めたきっかけ

「日頃のあいさつ」が約7割半ばで極端に高い

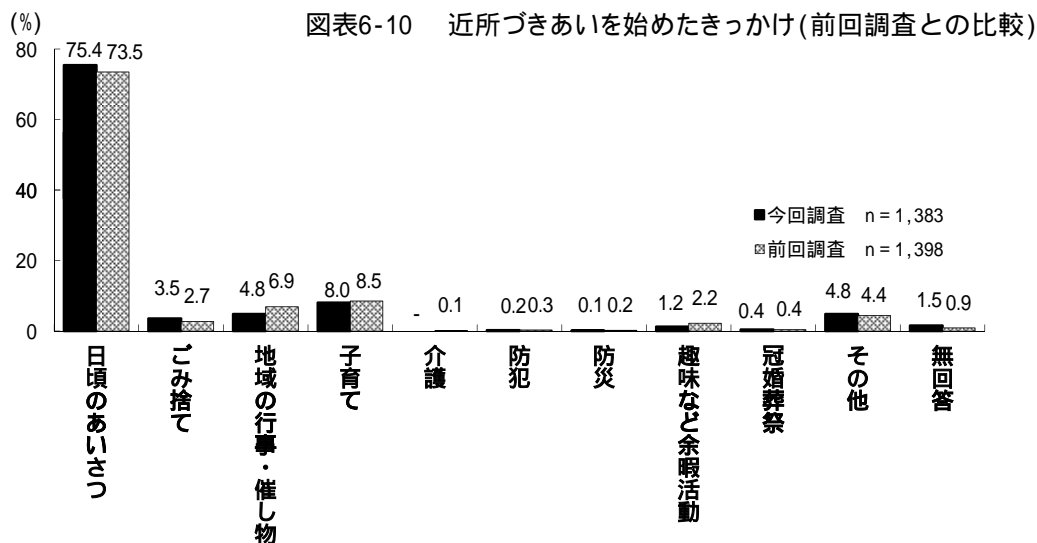
問 25-1 問25で「1～6」のいずれかに答えた方にうかがいます。
あなたが、近所の人との付き合いを始めたきっかけは何ですか。（ は1つ）



(全体) 上位3項目は以下となる。(図表6-9)

- ・「日頃のあいさつ」(75.4%)
- ・「子育て」(8.0%)
- ・「地域の行事・催し物」(4.8%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表6-10)



(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-11)

- ・「日頃のあいさつ」は、男性(78.2%)で女性より4.4ポイント高い。
- ・「子育て」は、女性(10.8%)で男性より7.5ポイント高い。

(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-11)

- ・「ごみ捨て」は、星川・桜ヶ丘・月見台(6.2%)で高い。
- ・「地域の行事・催し物」は、仏向・川島(7.7%)で高い。

図表6-11 近所づきあいを始めたきっかけ(性別・地域別)

()内は件数

		基数 (n)	日頃のあいさつ	ごみ捨て	地域の行事・催し物	子育て	介護	防犯	防災	趣味など余暇活動	冠婚葬祭	その他	無回答
全体		1,383	75.4 (1,043)	3.5 (48)	4.8 (67)	8.0 (111)	- (-)	0.2 (3)	0.1 (2)	1.2 (16)	0.4 (5)	4.8 (67)	1.5 (21)
性別	女性	848	73.8 (626)	3.4 (29)	4.2 (36)	10.8 (92)	- (-)	0.1 (1)	- (-)	1.1 (9)	0.5 (4)	4.6 (39)	1.4 (12)
	男性	518	78.2 (405)	3.7 (19)	5.8 (30)	3.3 (17)	- (-)	0.4 (2)	0.4 (2)	1.4 (7)	0.2 (1)	5.2 (27)	1.5 (8)
地域別	天王町・峰岡・常盤台	269	75.8 (204)	2.6 (7)	4.8 (13)	8.2 (22)	- (-)	0.4 (1)	- (-)	0.4 (1)	0.4 (1)	5.6 (15)	1.9 (5)
	星川・桜ヶ丘・月見台	195	73.8 (144)	6.2 (12)	5.1 (10)	7.2 (14)	- (-)	- (-)	- (-)	0.5 (1)	- (-)	5.1 (10)	2.1 (4)
	今井・権太坂・境木	209	73.7 (154)	3.3 (7)	4.3 (9)	9.6 (20)	- (-)	0.5 (1)	- (-)	1.9 (4)	- (-)	6.2 (13)	0.5 (1)
	狩場・瀬戸ヶ谷・岩井	159	75.5 (120)	4.4 (7)	5.0 (8)	7.5 (12)	- (-)	0.6 (1)	1.3 (2)	1.9 (3)	- (-)	3.8 (6)	- (-)
	上新・西谷・上星川	269	76.2 (205)	2.6 (7)	3.0 (8)	9.3 (25)	- (-)	- (-)	- (-)	1.9 (5)	0.7 (2)	5.2 (14)	1.1 (3)
	仏向・川島	169	75.7 (128)	3.0 (5)	7.7 (13)	6.5 (11)	- (-)	- (-)	- (-)	0.6 (1)	0.6 (1)	3.0 (5)	3.0 (5)

■ : 全体より2.5ポイント以上高いもの



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-12)

- ・「日頃のあいさつ」は、男性18歳～29歳(85.7%)と男性50歳～59歳(86.3%)で高く、女性30歳～49歳で低い。
- ・「子育て」は、男女とも30歳～49歳で高い。

図表6-12 近所づきあいを始めたきっかけ(性×年齢別)

()内は件数

		基数 (n)	日頃のあいさつ	ごみ捨て	地域の行事・催し物	子育て	介護	防犯	防災	趣味など余暇活動	冠婚葬祭	その他	無回答	
全体		1,383	75.4 (1,043)	3.5 (48)	4.8 (67)	8.0 (111)	- (-)	0.2 (3)	0.1 (2)	1.2 (16)	0.4 (5)	4.8 (67)	1.5 (21)	
性/年齢別	女性	女性全体	848	73.8 (626)	3.4 (29)	4.2 (36)	10.8 (92)	- (-)	0.1 (1)	- (-)	1.1 (9)	0.5 (4)	4.6 (39)	1.4 (12)
		18歳～29歳	77	77.9 (60)	1.3 (1)	1.3 (1)	5.2 (4)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	14.3 (11)	- (-)
		30歳～39歳	120	65.0 (78)	1.7 (2)	4.2 (5)	22.5 (27)	- (-)	0.8 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	4.2 (5)	1.7 (2)
		40歳～49歳	153	66.7 (102)	3.3 (5)	1.3 (2)	20.9 (32)	- (-)	- (-)	- (-)	0.7 (1)	- (-)	4.6 (7)	2.6 (4)
		50歳～59歳	128	75.8 (97)	3.1 (4)	7.8 (10)	7.8 (10)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	0.8 (1)	3.1 (4)	1.6 (2)
		60歳～69歳	155	74.8 (116)	5.2 (8)	3.9 (6)	7.7 (12)	- (-)	- (-)	- (-)	2.6 (4)	0.6 (1)	4.5 (7)	0.6 (1)
		70歳～79歳	145	80.0 (116)	4.8 (7)	6.2 (9)	3.4 (5)	- (-)	- (-)	- (-)	1.4 (2)	0.7 (1)	2.1 (3)	1.4 (2)
		80歳以上	69	81.2 (56)	2.9 (2)	4.3 (3)	2.9 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	2.9 (2)	1.4 (1)	2.9 (2)	1.4 (1)
	男性	男性全体	518	78.2 (405)	3.7 (19)	5.8 (30)	3.3 (17)	- (-)	0.4 (2)	0.4 (2)	1.4 (7)	0.2 (1)	5.2 (27)	1.5 (8)
		18歳～29歳	49	85.7 (42)	- (-)	- (-)	2.0 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	8.2 (4)	4.1 (2)
		30歳～39歳	59	74.6 (44)	5.1 (3)	3.4 (2)	11.9 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	5.1 (3)	- (-)
		40歳～49歳	71	73.2 (52)	1.4 (1)	5.6 (4)	11.3 (8)	- (-)	- (-)	- (-)	1.4 (1)	1.4 (1)	5.6 (4)	- (-)
		50歳～59歳	80	86.3 (69)	5.0 (4)	5.0 (4)	1.3 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1.3 (1)	1.3 (1)
		60歳～69歳	104	77.9 (81)	2.9 (3)	6.7 (7)	- (-)	- (-)	1.0 (1)	1.0 (1)	1.0 (1)	- (-)	8.7 (9)	1.0 (1)
		70歳～79歳	108	76.9 (83)	3.7 (4)	9.3 (10)	- (-)	- (-)	- (-)	0.9 (1)	3.7 (4)	- (-)	2.8 (3)	2.8 (3)
		80歳以上	47	72.3 (34)	8.5 (4)	6.4 (3)	- (-)	- (-)	2.1 (1)	- (-)	2.1 (1)	- (-)	6.4 (3)	2.1 (1)

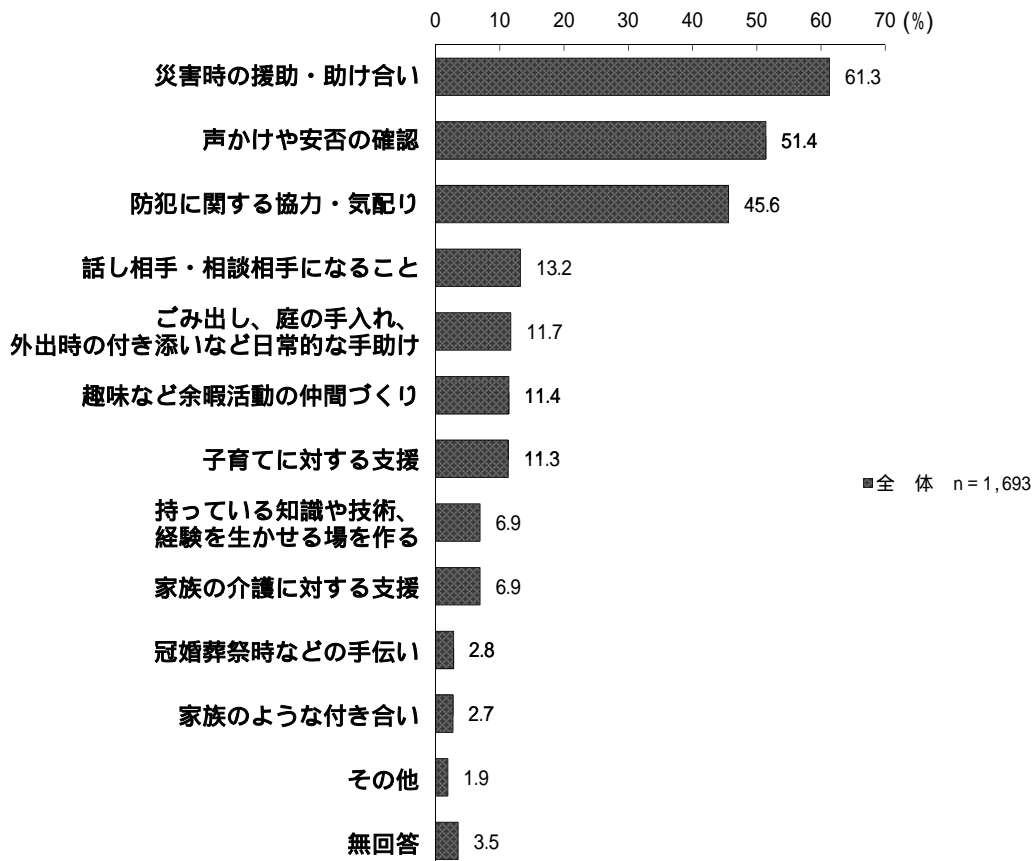
：全体より3ポイント以上高いもの

6 - 4 地域に期待することや役割

「災害時の援助・助け合い」が6割前半

問 26 全員の方へうかがいます。
あなたが地域に期待することや役割はどれですか。(は3つまで)

図表6-13 地域に期待することや役割（複数回答）



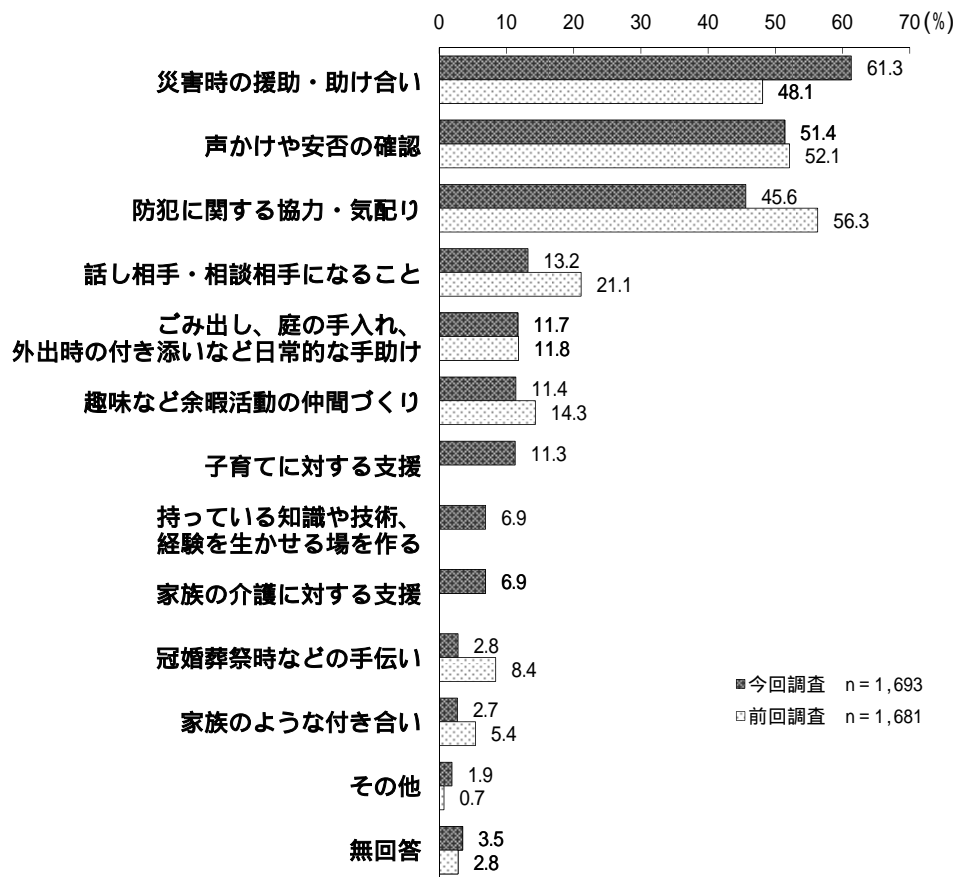
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表6-13)

- ・「災害時の援助・助け合い」(61.3%)
- ・「声かけや安否の確認」(51.4%)
- ・「防犯に関する協力・気配り」(45.6%)
- ・「話し相手・相談相手になること」(13.2%)
- ・「ごみ出し、庭の手入れ、外出時の付き添いなど日常的な手助け」(11.7%)
- ・「趣味など余暇活動の仲間づくり」(11.4%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表6-14)

- ・「災害時の援助・助け合い」は、13.2ポイント増加し、3番目(48.1%)から1番目(61.3%)に上がった。
 - ・「防犯に関する協力・気配り」は、10.7ポイント減少し、1番目(56.3%)から3番目(45.6%)に下がった。
 - ・「話し相手・相談相手になること」は、7.9ポイント減少している。
 - ・「日常的な手助け」は、順位が7番目(11.8%)から5番目(11.7%)に上がった。
 - ・「趣味など余暇活動の仲間づくり」は、2.9ポイント減少し、5番目(14.3%)から6番目(11.4%)に下がった。
 - ・「冠婚葬祭時などの手伝い」は、5.6ポイント減少し、8番目(8.4%)から10番目(2.8%)に下がった。
 - ・「家族のような付き合い」は、2.7ポイント減少し、9番目(5.4%)から11番目(2.7%)に下がった。
- 「子育てに対する支援」と「家族の介護に対する支援」は、前回調査の「家族の介護・子育ての支援」が2つの項目に分かれたため比較の出来ない。
- 「持っている知識や技術、経験を生かせる場を作る」は、今回調査で新たに追加された項目のため、比較出来ない。

図表6-14 地域に期待することや役割(前回調査との比較)

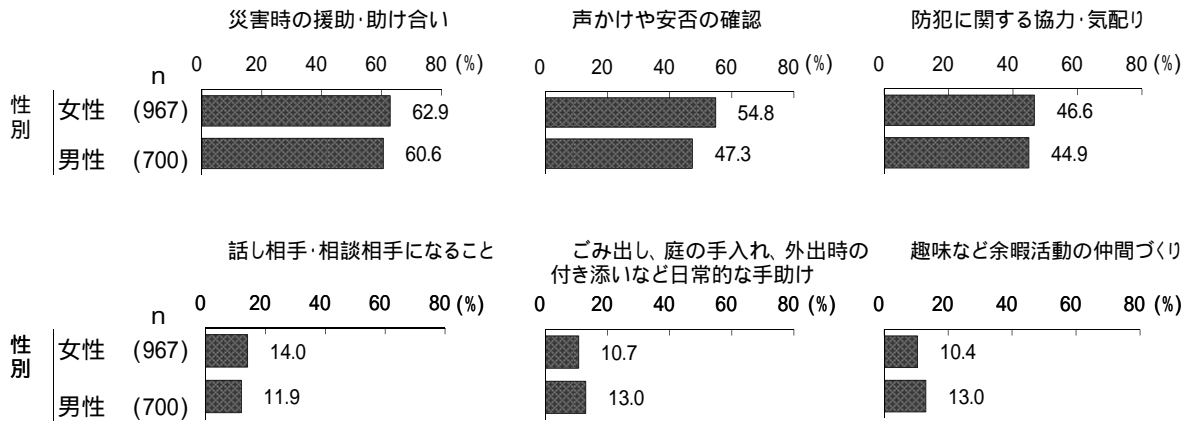


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-15)

- ・「声かけや安否の確認」は、女性(54.8%)で男性より7.5ポイント高い。

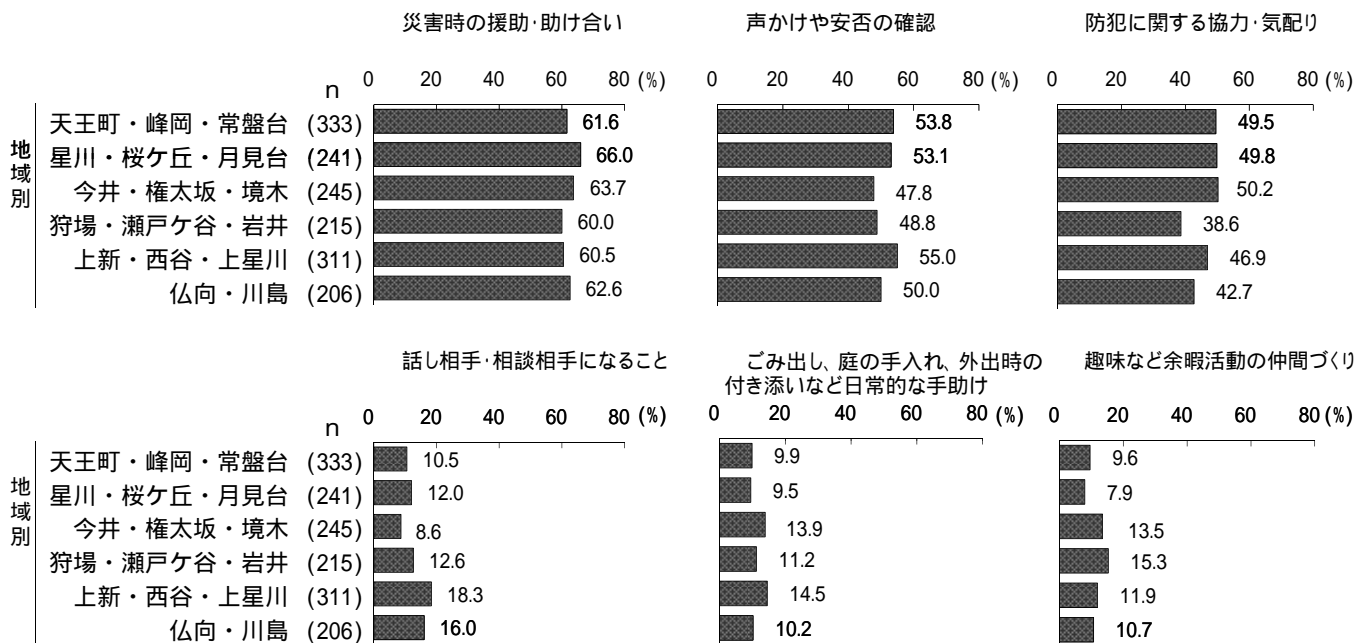
図表6-15 地域に期待することや役割(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-16)

- ・「防犯に関する協力・気配り」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(38.6%)で低い。

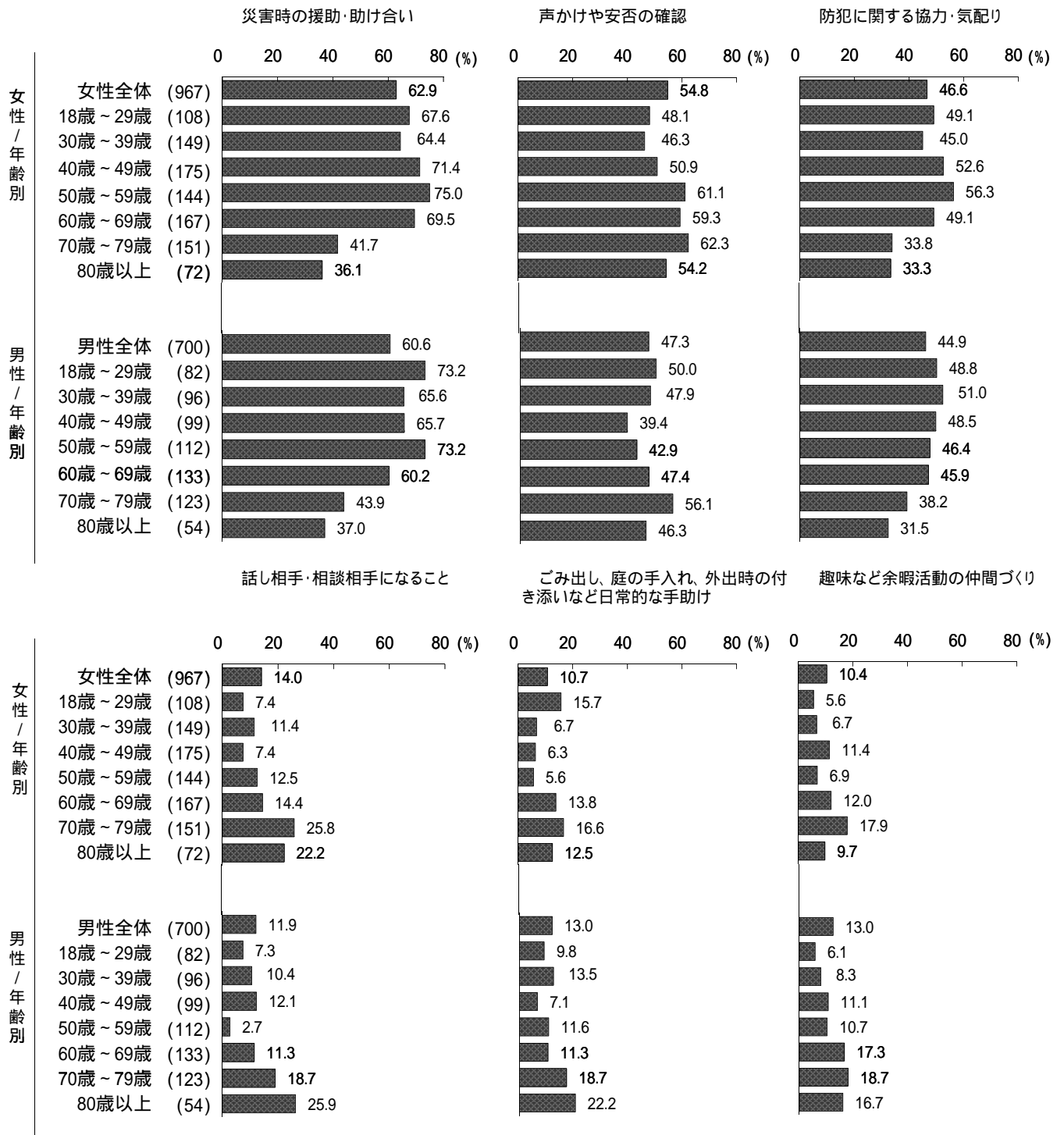
図表6-16 地域に期待することや役割(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-17)

- ・「災害時の援助・助け合い」は、男女とも70歳以上で特に低い。
- ・「声かけや安否の確認」は、男女とも70歳～79歳で高く、女性18歳～39歳と男性40歳～49歳(39.4%)で低い。
- ・「防犯に関する協力・気配り」は、男女とも70歳以上で低い。
- ・「話し相手・相談相手になること」は、男女とも70歳以上で高い。
- ・「趣味など余暇活動の仲間づくり」は、男女とも18歳～29歳で低い。
- ・男女とも70歳以上で自ら援助や協力は難しく、地域から期待する傾向である。

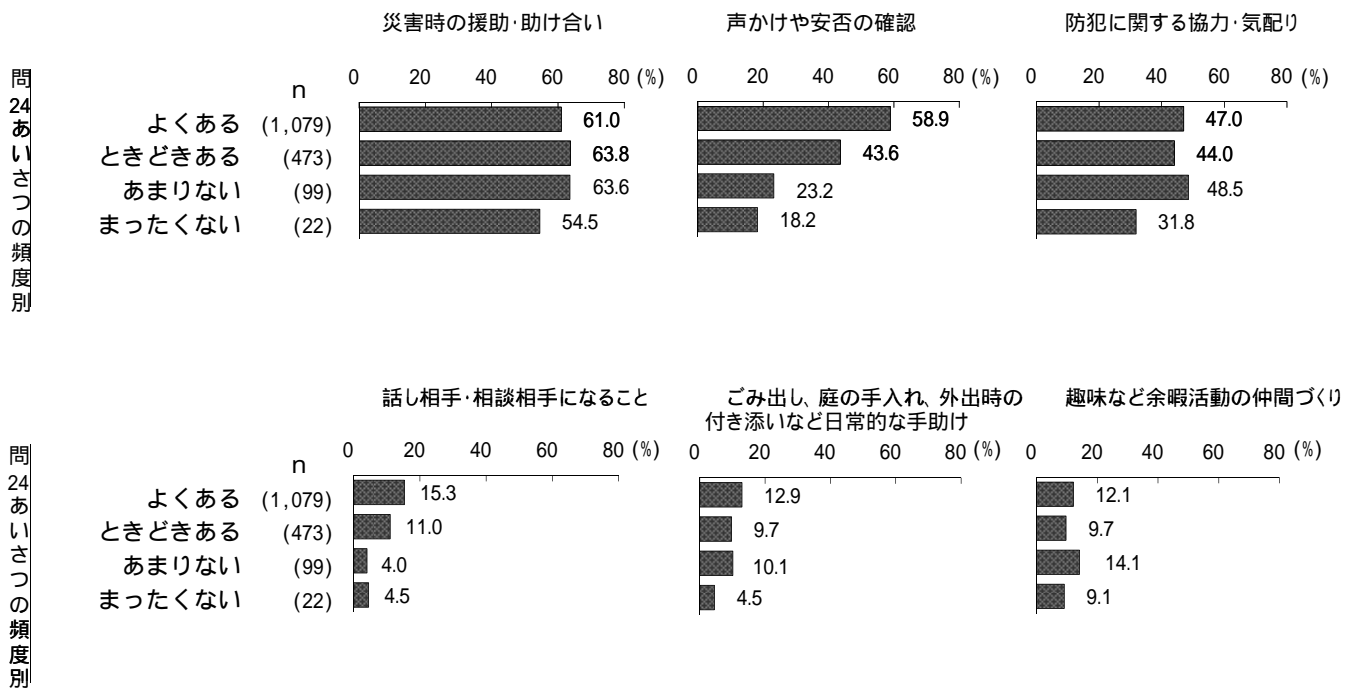
図表6-17 地域に期待することや役割(性×年齢別、上位6項目)



(あいさつの頻度別) あいさつの頻度別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-18)

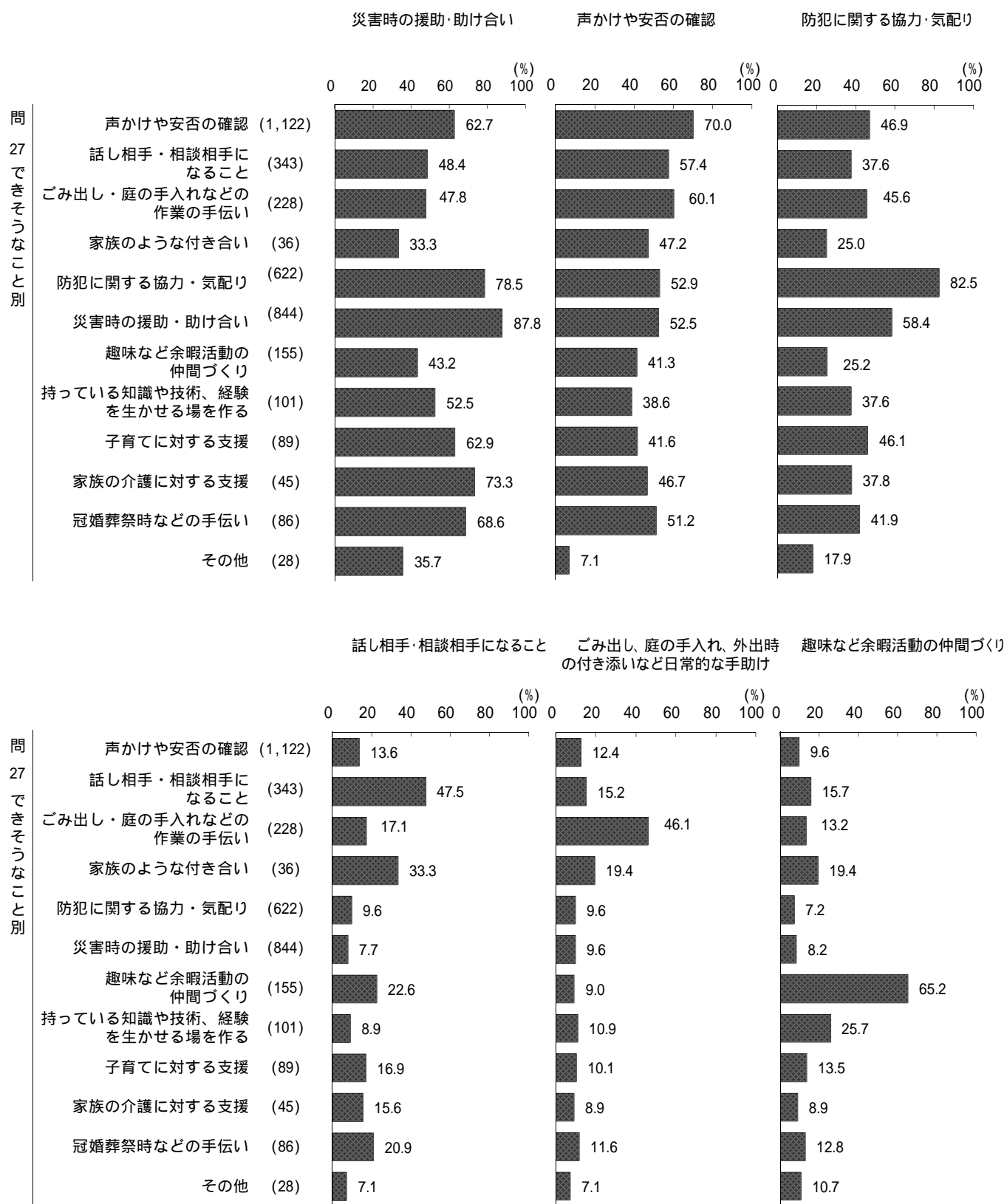
- ・「災害時の援助・助け合い」は、あいさつの頻度が「まったくない」(54.5%)で期待度が低い。
- ・「声かけや安否の確認」は、あいさつの頻度が低いほど期待度も低くなる傾向がある。
- ・「防犯に関する協力・気配り」は、あいさつの頻度が「まったくない」(31.8%)で期待度が低い。
- ・「日常的な手助け」は、あいさつの頻度が「まったくない」(4.5%)で期待度が低い。

図表6-18 地域に期待することや役割(問24あいさつの頻度別、上位6項目)



(地域に対してできそうなこと別) 地域に対してできそうなこと別にみると、それぞれ自分ができそうなことが一致する傾向がある。(図表6-19)

図表6-19 地域に期待することや役割 (問27地域に対してできそうなこと別、上位6項目)

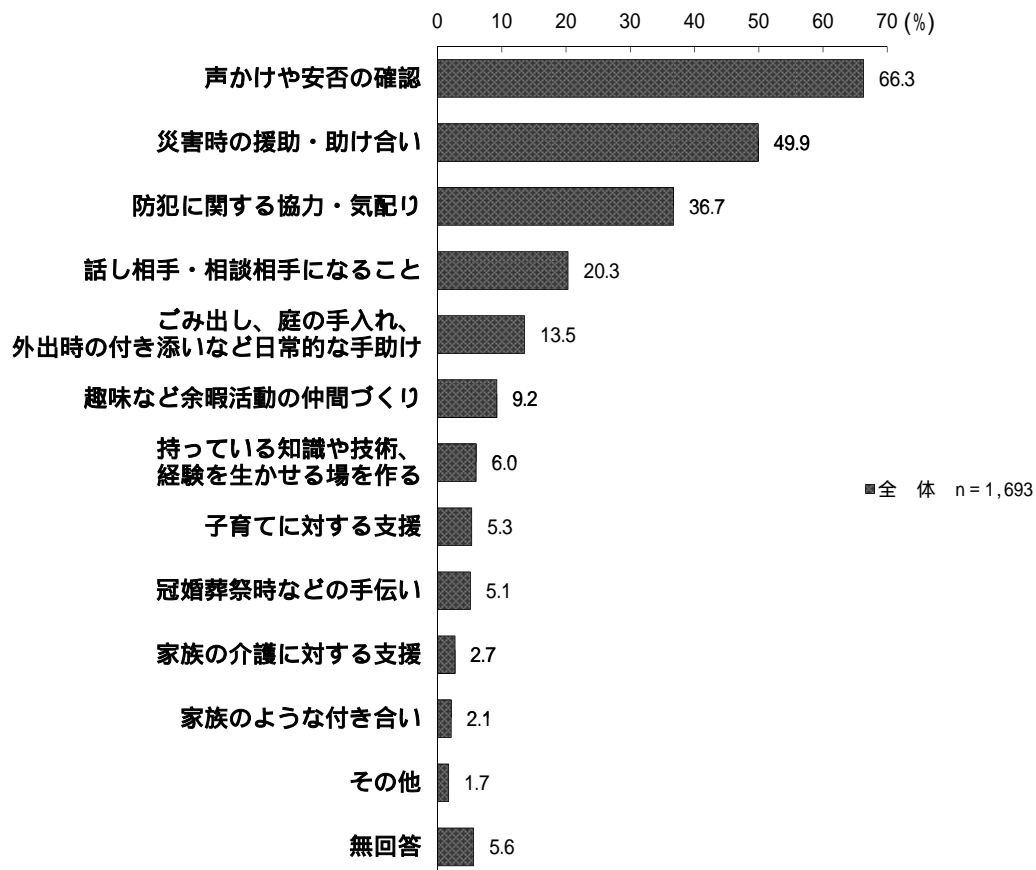


6-5 地域に対してできそうなこと

「声かけや安否の確認」が6割半ば

問 27 あなたが地域に対してできそうなことはどれですか。(は3つまで)

図表6-20 地域に対してできそうなこと(複数回答)



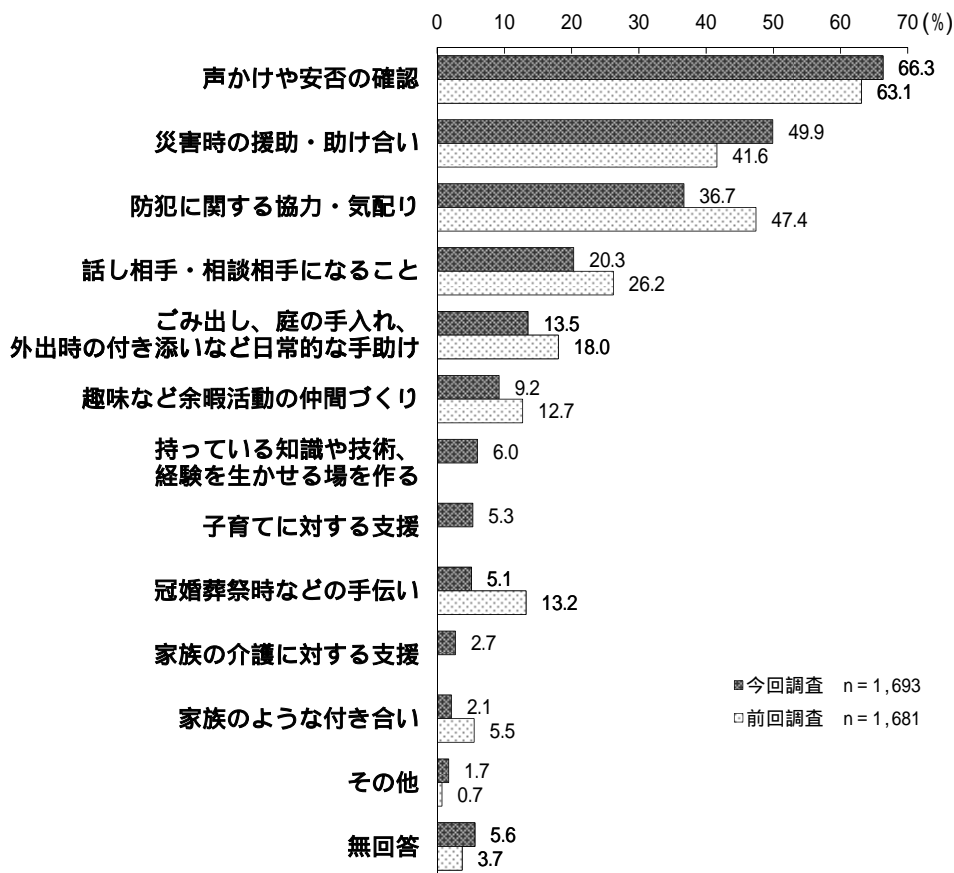
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表6-20)

- ・「声かけや安否の確認」(66.3%)
- ・「災害時の援助・助け合い」(49.9%)
- ・「防犯に関する協力・気配り」(36.7%)
- ・「話し相手・相談相手になること」(20.3%)
- ・「ごみ出し、庭の手入れ、外出時の付き添いなど日常的な手助け」(13.5%)
- ・「趣味など余暇活動の仲間づくり」(9.2%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表6-21)

- ・「災害時の援助・助け合い」は、8.3ポイント増加し、3番目(41.6%)から2番目(49.9%)に上がった。
- ・「防犯に関する協力・気配り」は、10.7ポイント減少し、2番目(47.4%)から3番目(36.7%)に下がった。
- ・「話し相手・相談相手になること」は、5.9ポイント減少している。
- ・「日常的な手助け」は、4.5ポイント減少している。
- ・「趣味など余暇活動の仲間づくり」は、3.5ポイント減少し、7番目(12.7%)から6番目(9.2%)に下がった。
- ・「冠婚葬祭時などの手伝い」は、8.1ポイント減少し、6番目(13.2%)から9番目(5.1%)に下がった。
- ・「家族のような付き合い」は、3.4ポイント減少し、9番目(5.5%)から11番目(2.1%)に下がった。
- 「子育てに対する支援」と「家族の介護に対する支援」は、前回調査の「家族の介護・子育ての支援」が2つの項目に分かれたため比較の出来ない。
- 「持っている知識や技術、経験を生かせる場を作る」は、今回調査で新たに追加された項目のため、比較出来ない。

図表6-21 地域に対してできそうなこと(前回調査との比較)

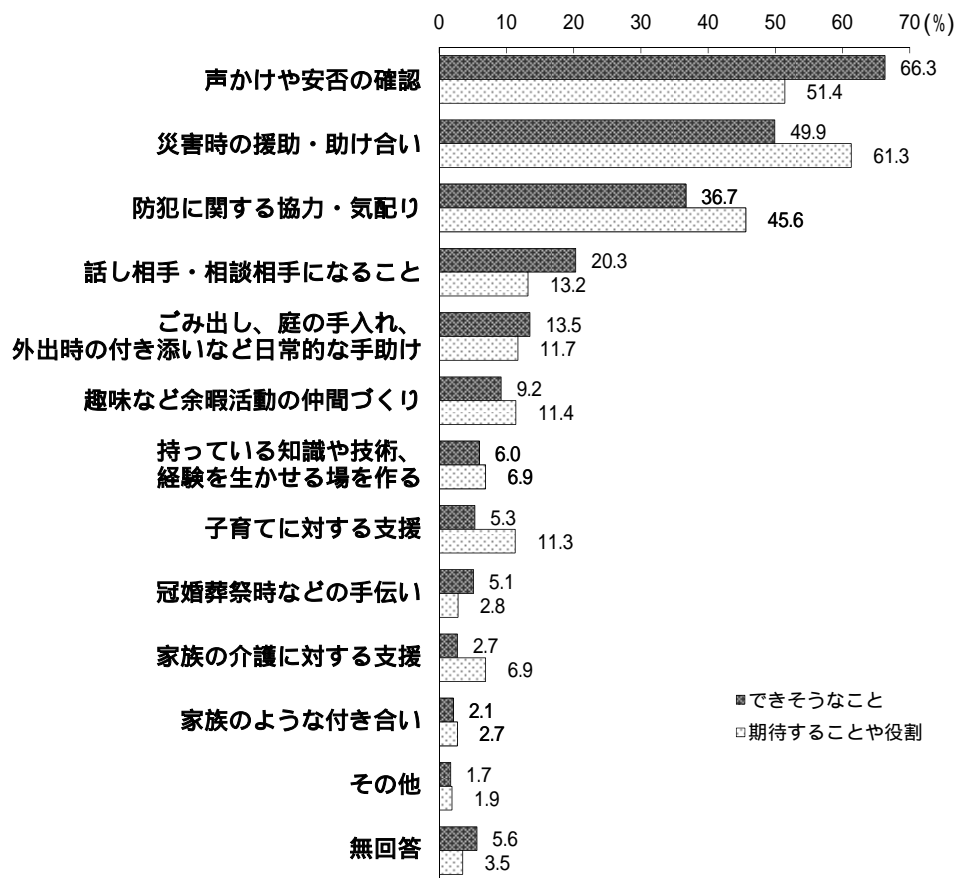


(地域に期待することや役割と、地域に対してできそうなこととの比較)

“できそうなこと”と、“期待することや役割”で、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-22)

- ・「声かけや安否の確認」は、“できそうなこと”が14.9ポイント高い。
- ・「災害時の援助・助け合い」は、“期待することや役割”が14.4ポイント高い。
- ・「防犯に関する協力・気配り」は、“期待することや役割”が8.9ポイント高い。
- ・「話し相手・相談相手になること」は、“できそうなこと”が7.1ポイント高い。
- ・「子育てに対する支援」は、“期待することや役割”が6.0ポイント高い。
- ・「家族の介護に対する支援」は、“期待することや役割”が4.2ポイント高い。

図表6-22 地域に期待することや役割と、地域に対してできそうなこととの比較
(問26と問27の比較)

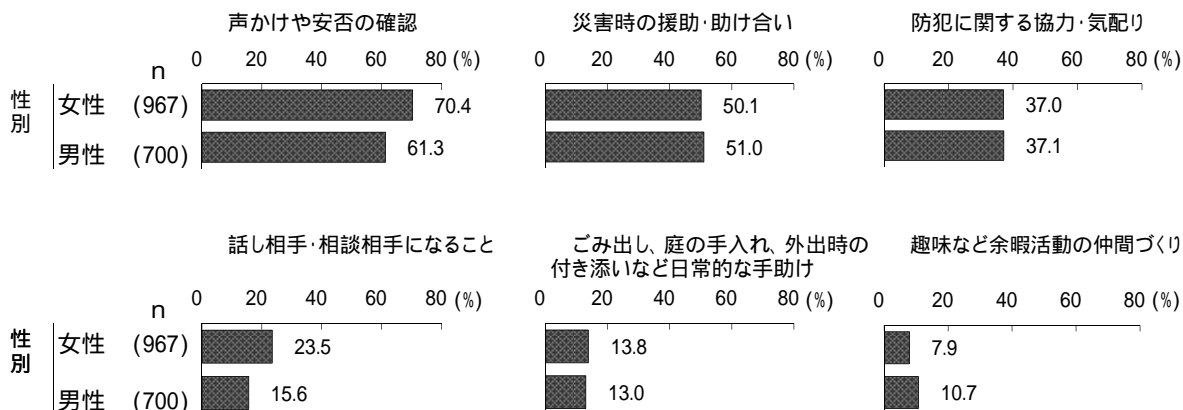


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-23)

- ・「声かけや安否の確認」は、女性(70.4%)で男性より9.1ポイント高い。
- ・「話し相手・相談相手になること」は、女性(23.5%)で男性より7.9ポイント高い。

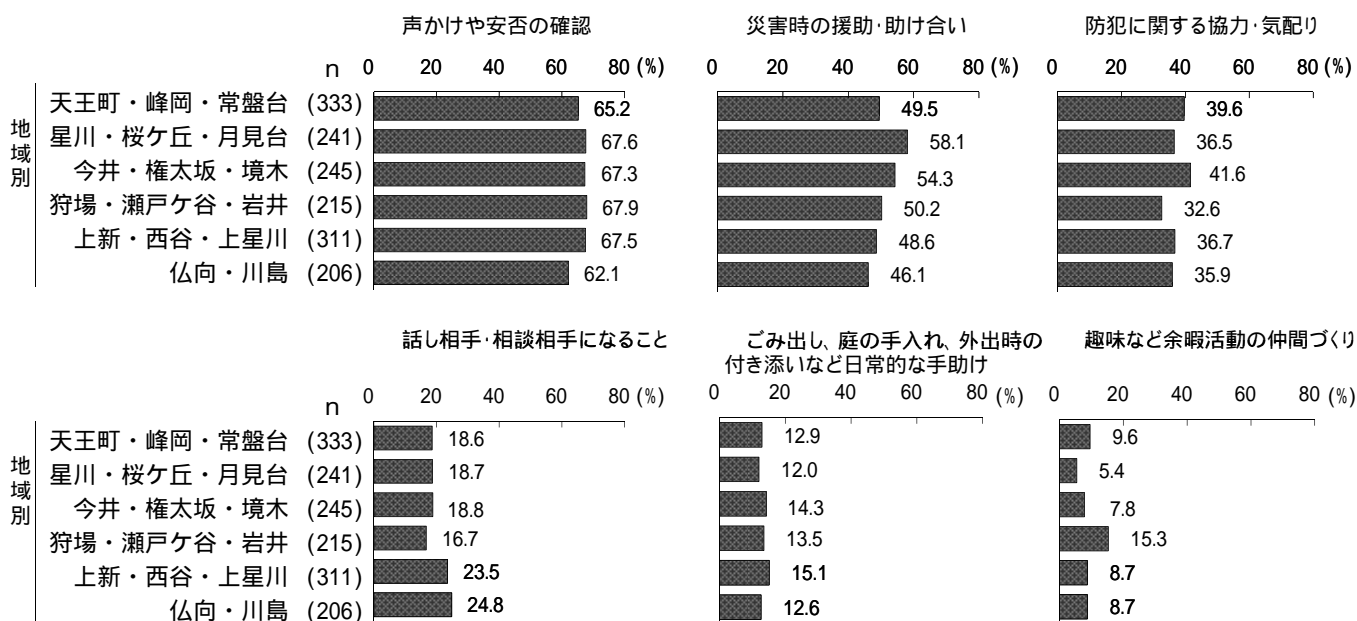
図表6-23 地域に対してできそうなこと(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-24)

- ・「災害時の援助・助け合い」は、星川・桜ヶ丘・月見台(58.1%)で高い。
- ・「趣味など余暇活動の仲間づくり」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(15.3%)で高い。

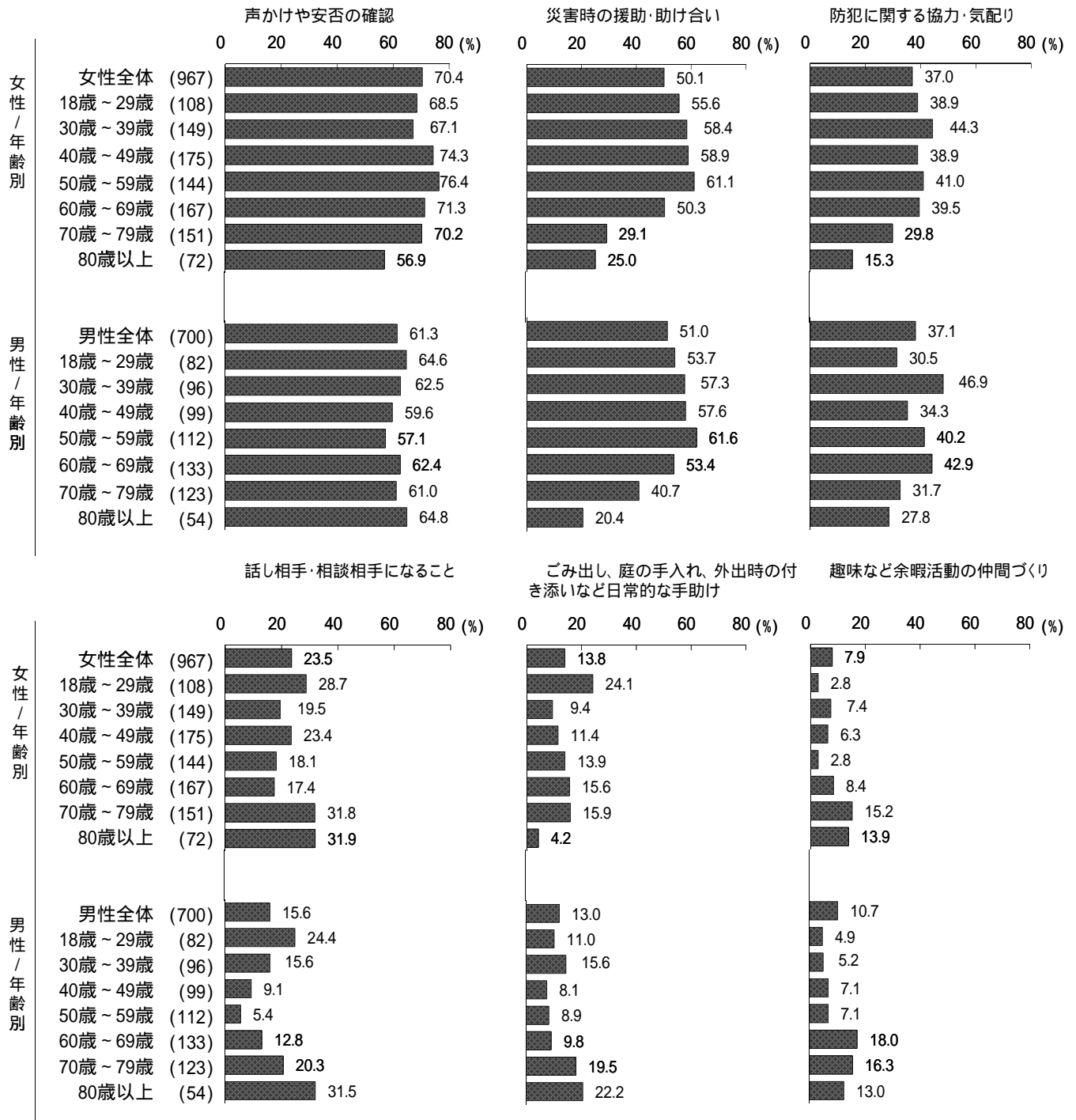
図表6-24 地域に対してできそうなこと(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-25)

- ・「声かけや安否の確認」は、女性80歳以上(56.9%)で低い。
- ・「災害時の援助・助け合い」は、男女とも50歳～59歳がピークで、70歳以上が特に低い。
- ・「防犯に関する協力・気配り」は、男女とも80歳以上で特に低い。
- ・「話し相手・相談相手になること」は、男女とも18歳～29歳と70歳以上で高い。
- ・「日常的な手助け」は、女性18歳～29歳(24.1%)と男性70歳以上で高く、女性80歳以上(4.2%)で低い。
- ・「趣味など余暇活動の仲間づくり」は、男女とも60歳以上で高い。

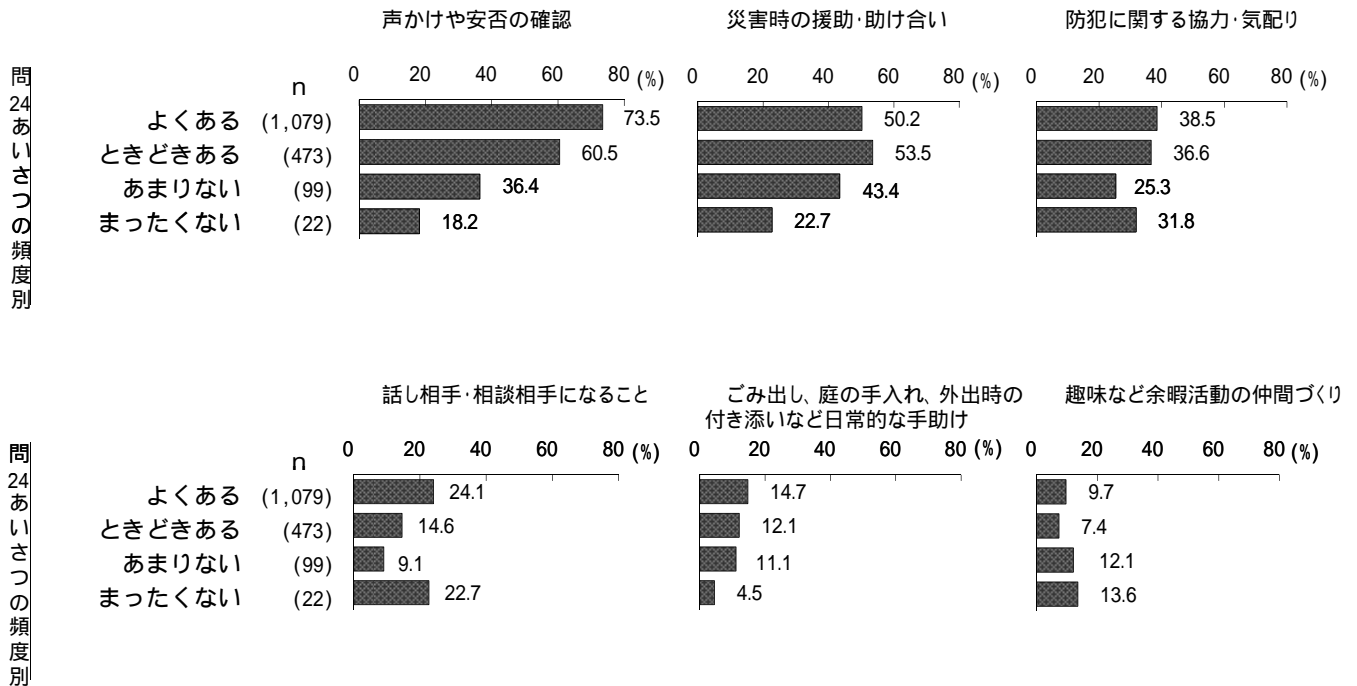
図表6-25 地域に対してできそうなこと(性×年齢別、上位6項目)



(あいさつの頻度別) あいさつの頻度別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-26)

- ・「声かけや安否の確認」は、あいさつの頻度が高いほど、できそうだと答える傾向がある。
- ・「災害時の援助・助け合い」は、あいさつの頻度が高いほど、できそうだと答える傾向がある。
- ・「日常的な手助け」は、あいさつの頻度が高いほど、できそうだと答える傾向がある。

図表6-26 地域に対してできそうなこと(問24あいさつの頻度別、上位6項目)



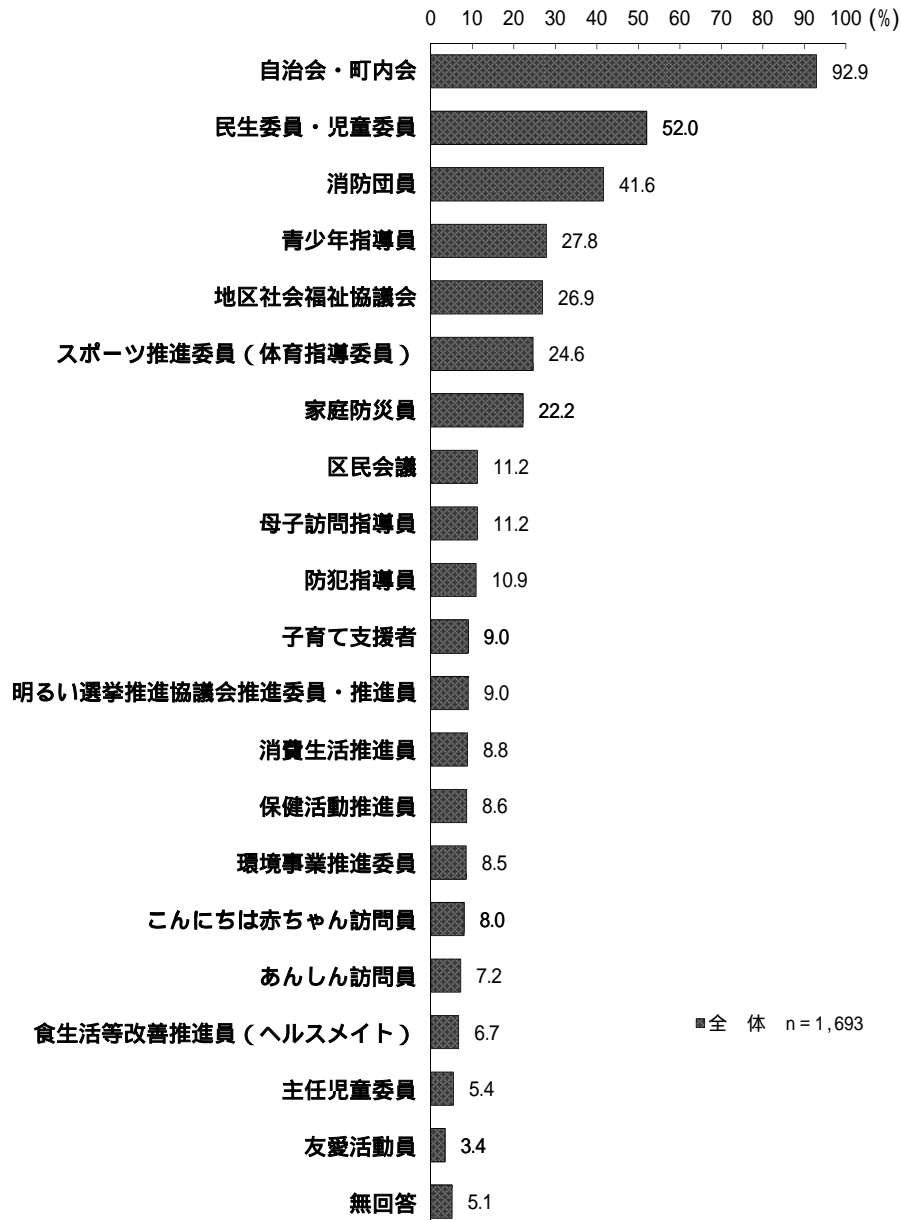
6-6 地域団体・委員の認知度

「自治会・町内会」が9割前半とほとんどの方が認知している。

次いで「民生委員・児童委員」が5割前半、「消防団員」が4割前半と認知度が高い

問 28 あなたが、地域の団体・委員のうち知っているものは、次のうちどれですか。(はいいくつでも)

図表6-27 地域団体・委員の認知度（複数回答）



(全体) 上位6項目は以下となる。(図表6-27)

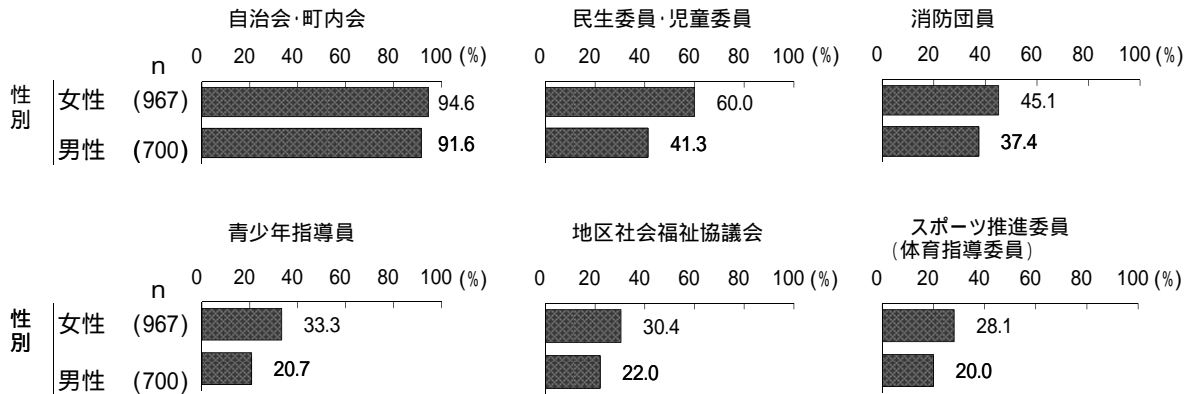
- ・「自治会・町内会」(92.9%)
- ・「民生委員・児童委員」(52.0%)
- ・「消防団員」(41.6%)
- ・「青少年指導員」(27.8%)
- ・「地区社会福祉協議会」(26.9%)
- ・「スポーツ推進委員（体育指導委員）」(24.6%)

上位6項目について

(性別) 性別にみて、女性の方が認知度が高い。差があるのは以下の箇所となる。(図表6-28)

- ・「民生委員・児童委員」は、女性(60.0%)で男性より18.7ポイント高い。
- ・「消防団員」は、女性(45.1%)で男性より7.7ポイント高い。
- ・「青少年指導員」は、女性(33.3%)で男性より12.6ポイント高い。
- ・「地区社会福祉協議会」は、女性(30.4%)で男性より8.4ポイント高い。
- ・「スポーツ推進委員(体育指導委員)」は、女性(28.1%)で男性より8.1ポイント高い。

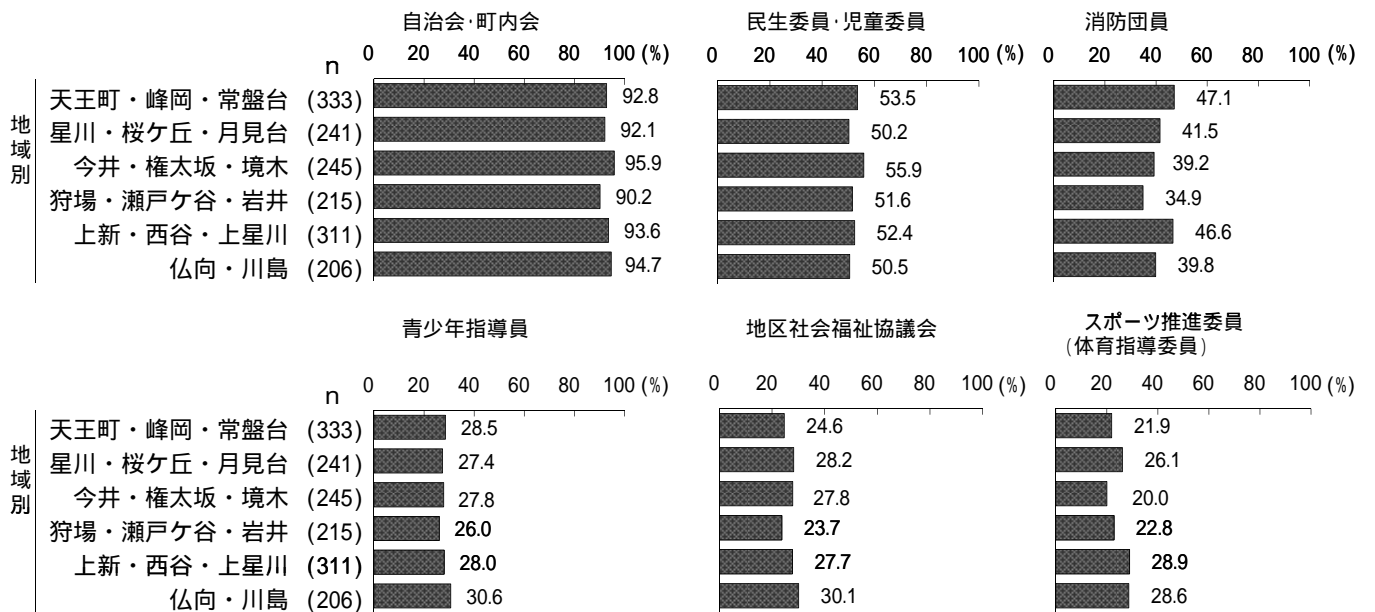
図表6-28 地域団体・委員の認知度(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-29)

- ・「消防団員」は、天王町・峰岡・常盤台(47.1%)で高く、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(34.9%)で低い。

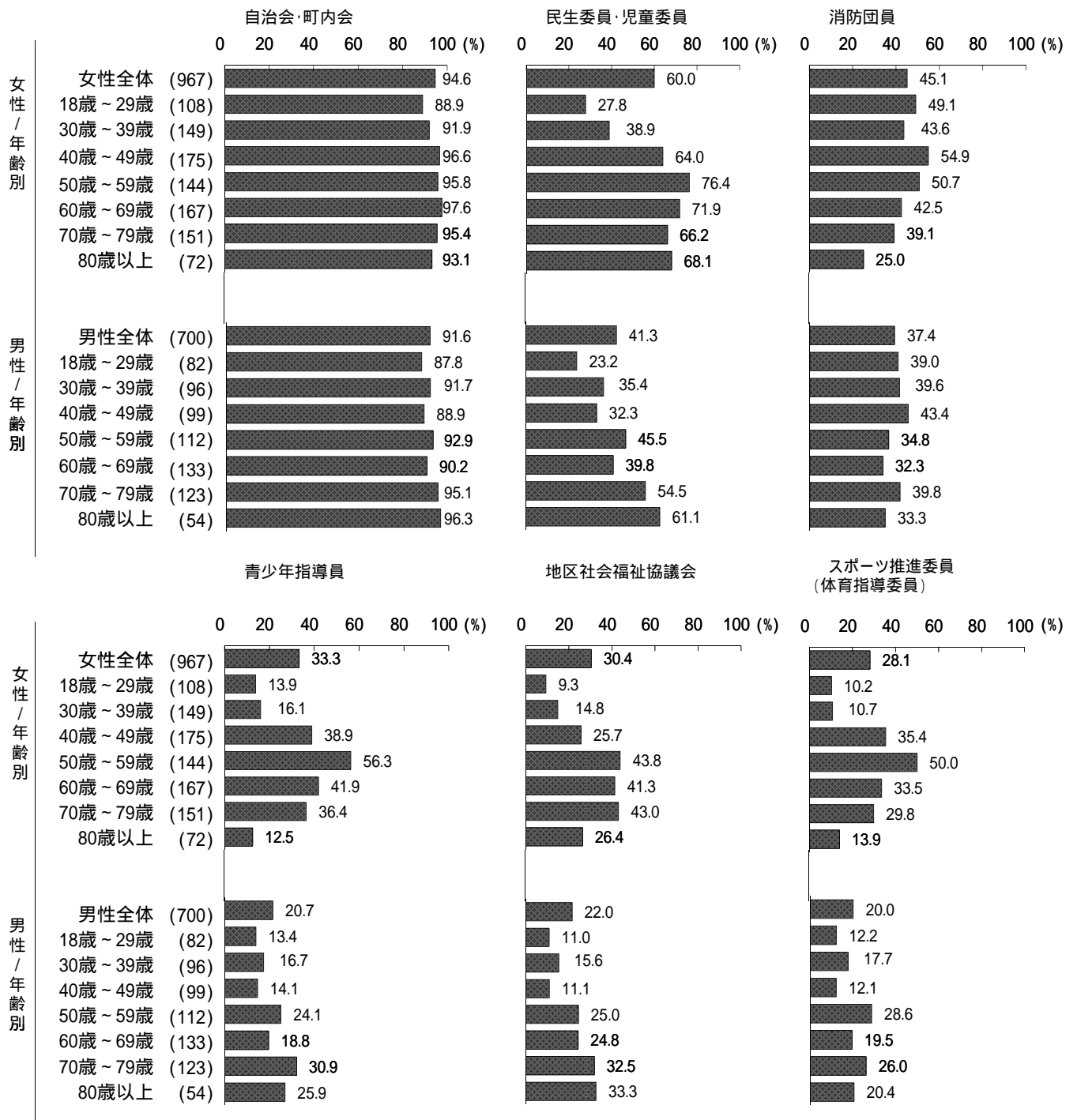
図表6-29 地域団体・委員の認知度(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-30)

- ・「民生委員・児童委員」は、女性50歳～69歳と男性70歳以上で高く、男女とも18歳～29歳で特に低い。
- ・「消防団員」は、女性80歳以上(25.0%)で特に低い。
- ・「青少年指導員」は、女性50歳～59歳(56.3%)で特に高く、女性18歳～29歳(13.9%)と女性80歳以上(12.5%)で低い。
- ・「地区社会福祉協議会」は、男女とも18歳～29歳で低く、50歳以上で高い傾向がある。
- ・「スポーツ推進委員(体育指導委員)」は、女性50歳～69歳で特に高く、女性18歳～39歳と女性80歳以上で低い。

図表6-30 地域団体・委員の認知度(性×年齢別、上位6項目)

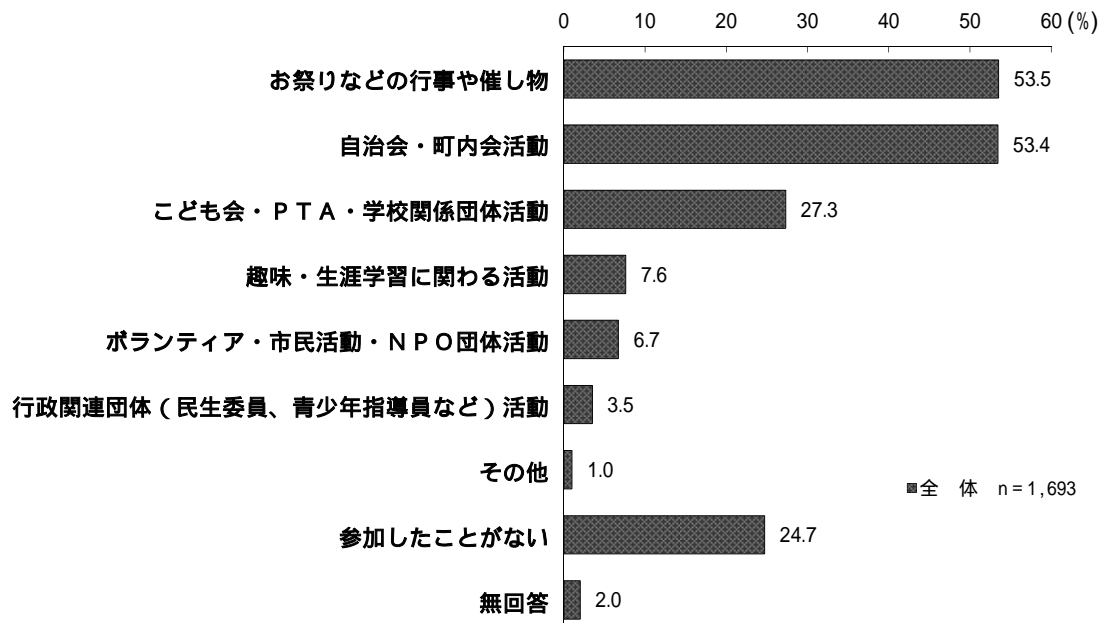


6-7 参加したことがある地域活動

「お祭りなどの行事や催し物」、「自治会・町内会活動」がそれぞれ5割半ば

問 29 地域で行われている活動のうち、あなたが参加したことがある活動はどれですか。(はいくつでも)

図表6-31 参加したことがある地域活動(複数回答)



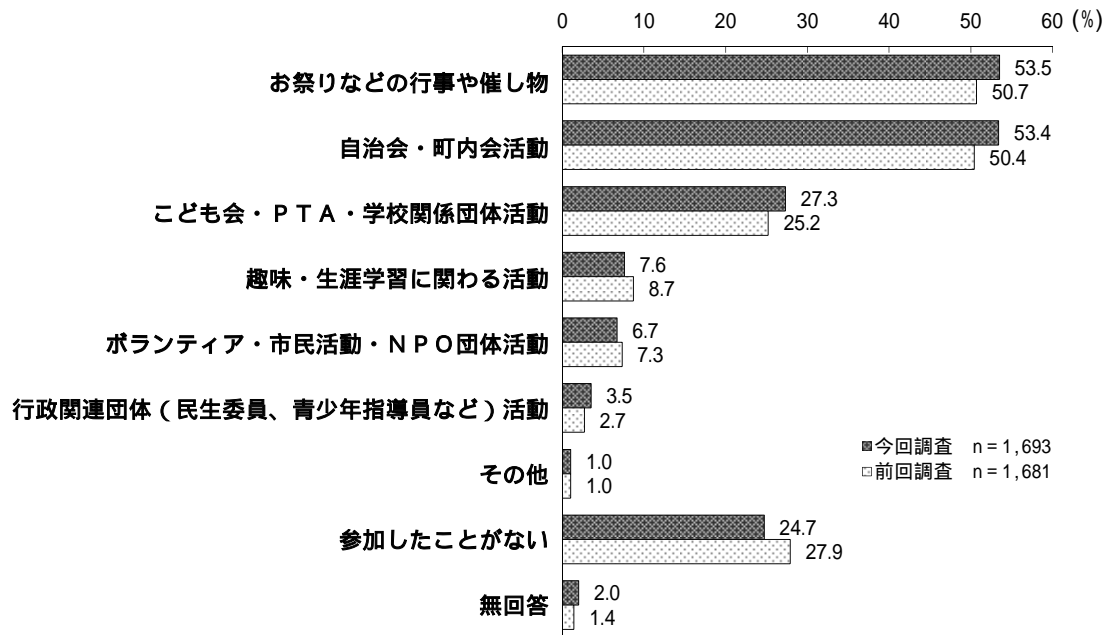
(全体) 上位5項目は以下となる。(図表6-31)

- ・「お祭りなどの行事や催し物」(53.5%)
- ・「自治会・町内会活動」(53.4%)
- ・「子ども会・PTA・学校関係団体活動」(27.3%)
- ・「趣味・生涯学習に関わる活動」(7.6%)
- ・「ボランティア・市民活動・NPO団体活動」(6.7%)

また、「参加したことがない」は、24.7%である。

(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表6-32)

図表6-32 参加したことがある地域活動(前回調査との比較)

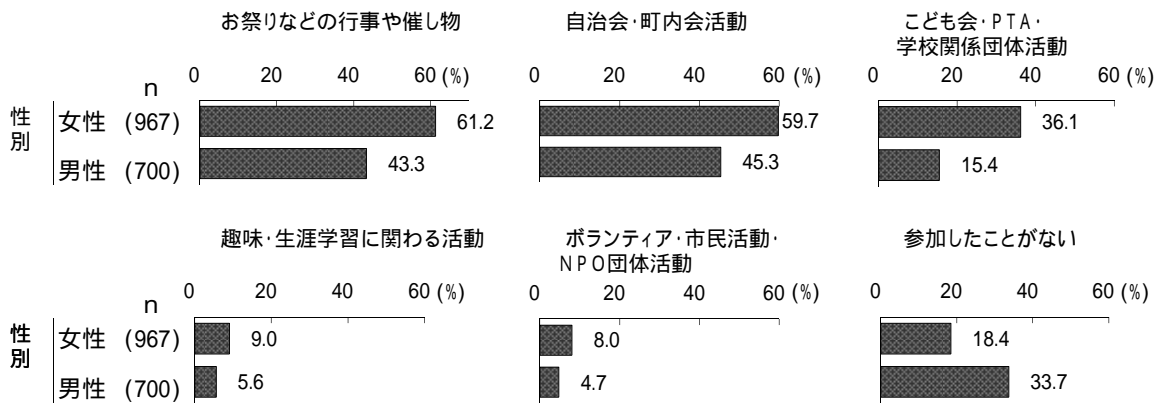


上位5項目と「参加したことがない」について

(性別) 上位5項目と「参加したことがない」を性別にみると、いずれの項目も女性の方が高く、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-33)

- ・「お祭りなどの行事や催し物」は、女性(61.2%)で男性より17.9ポイント高い。
- ・「自治会・町内会活動」は、女性(59.7%)で男性より14.4ポイント高い。
- ・「子ども会・PTA・学校関係団体活動」は、女性(36.1%)で男性より20.7ポイント高い。
- ・「参加したことがない」は、男性(33.7%)で女性より15.3ポイント高い。

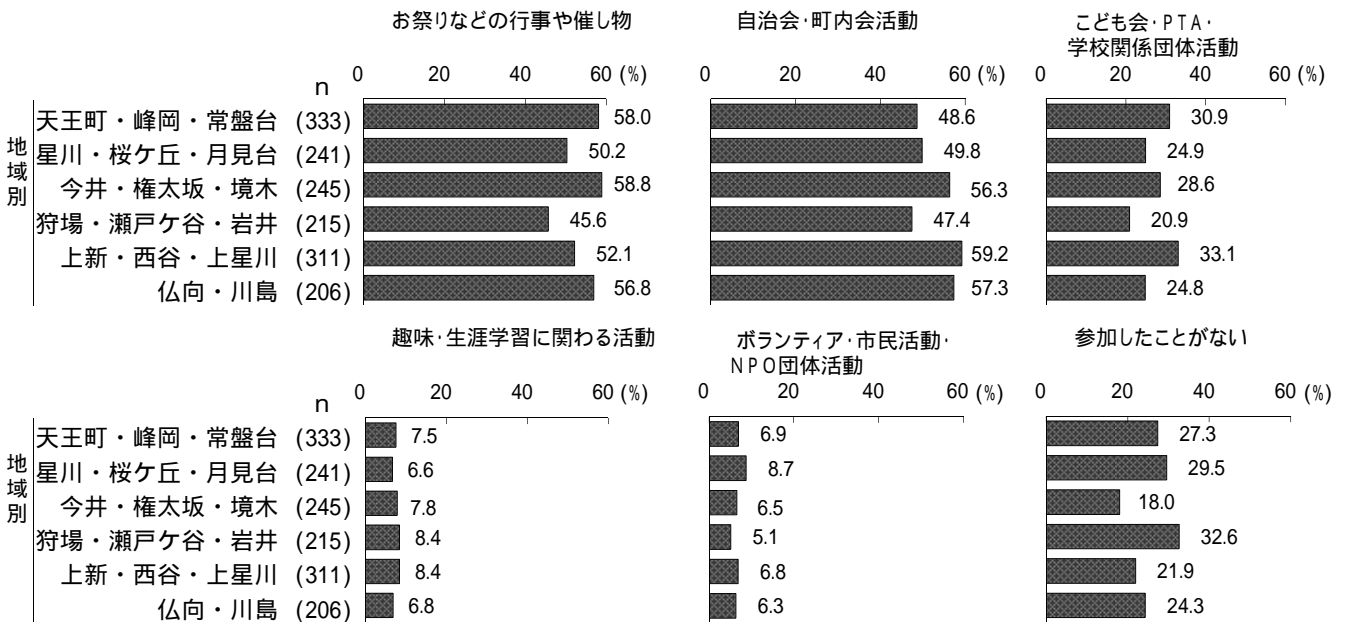
図表6-33 参加したことがある地域活動(性別、上位5項目、「参加したことがない」)



(地域別) 上位5項目と「参加したことがない」を地域別にみると、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-35)

- ・「お祭りなどの行事や催し物」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(45.6%)で低い。
- ・「参加したことがない」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(32.6%)で高い。

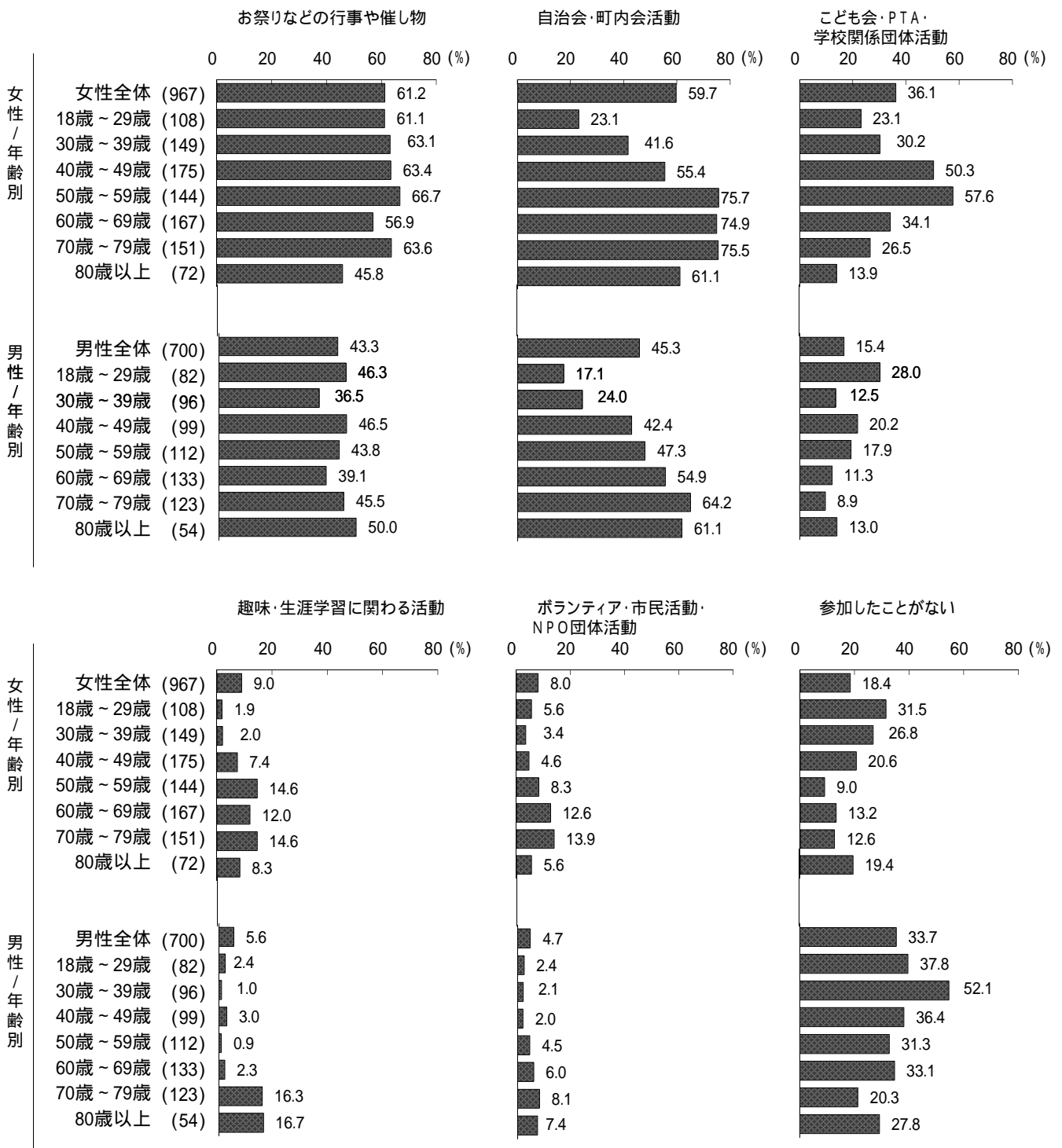
図表6-34 参加したことがある地域活動(地域別、上位5項目、「参加したことがない」)



(性×年齢別) 上位5項目と「参加したことがない」を性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-35)

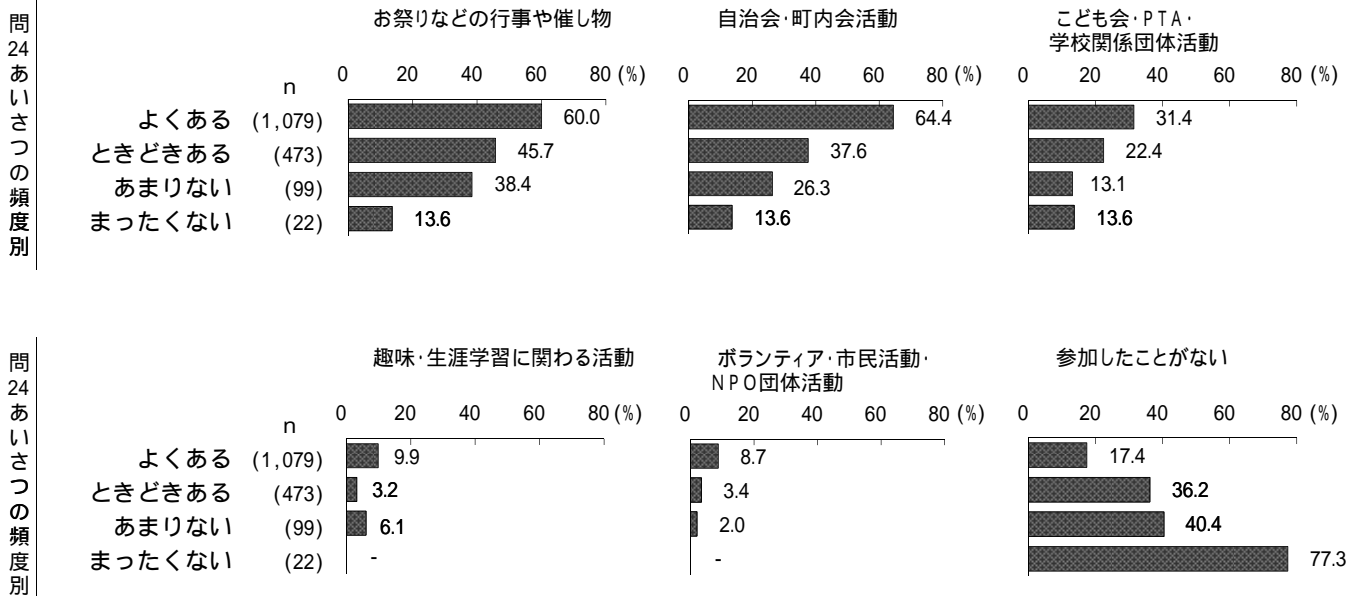
- ・「お祭りなどの行事や催し物」は、男性80歳以上(50.0%)で高く、女性80歳以上(45.8%)と男性30歳～39歳(36.5%)で低い。
- ・「自治会・町内会活動」は、男女とも18歳～29歳で特に低く、70歳～79歳がピークで年齢が上がるにつれ高くなる傾向がある。
- ・「子ども会・PTA・学校関係団体活動」は、女性は40歳～59歳で高く、18歳～39歳と60歳以上で低い。男性は18歳～29歳(28.0%)で高く、70歳～79歳(8.9%)で低い。
- ・「趣味・生涯学習に関わる活動」は、女性50歳～79歳と男性70歳以上で高く、それ以外は低い。
- ・「ボランティア・市民活動・NPO団体活動」は、女性60歳～79歳で高い。
- ・「参加したことがない」は、女性18歳～29歳(31.5%)と男性30歳～39歳(52.1%)で高く、女性50歳～59歳(9.0%)と男性70歳～79歳(20.3%)で低い。

図表6-35 参加したことがある地域活動(性×年齢別、上位5項目、「参加したことがない」)



(あいさつの頻度別) 上位5項目と「参加したことがない」をあいさつの頻度別にみると、あいさつの頻度が高いほど、地域活動の参加が高くなる傾向がある。(図表6-36)

図表6-36 参加したことがある地域活動(問24あいさつの頻度別、上位5項目、「参加したことがない」)

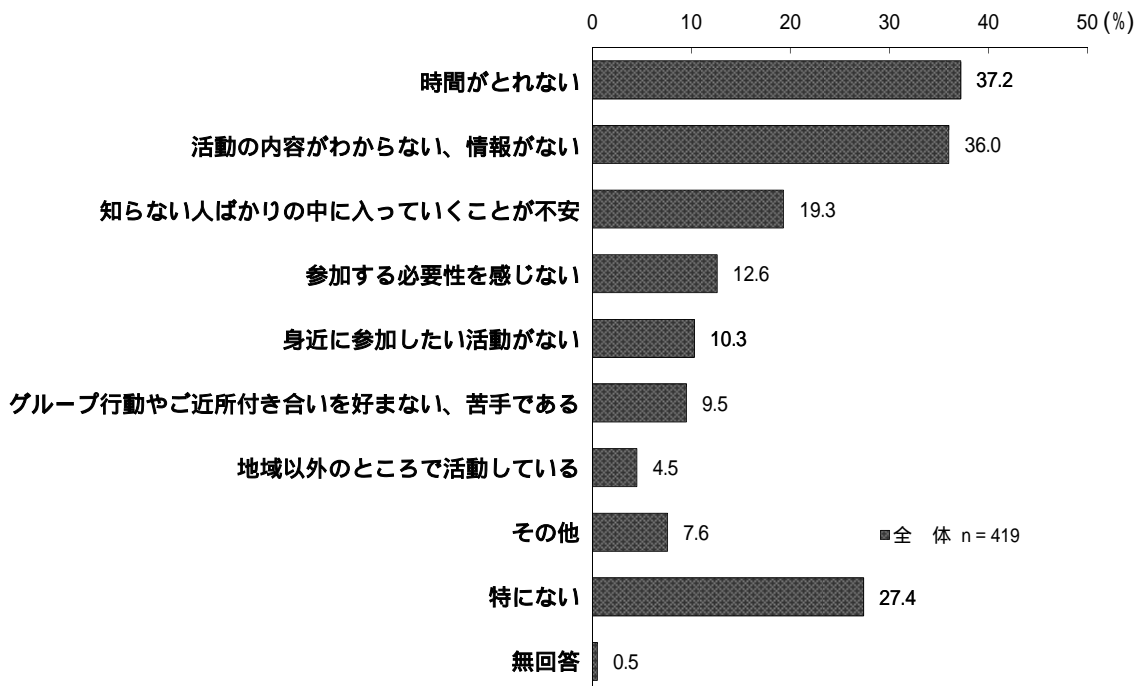


6 - 8 地域活動に参加したことがない理由

「時間がとれない」が3割後半、「活動の内容がわからない、情報がない」が3割半ばと高く、「特に理由はない」が2割後半

問 29-1 問29で、「8.参加したことがない」と答えた方にうかがいます。
活動に参加したことがない理由は何ですか。(は3つまで)

図表6-37 地域活動に参加したことがない理由(複数回答)



(全体) 上位5項目は以下となる。(図表6-37)

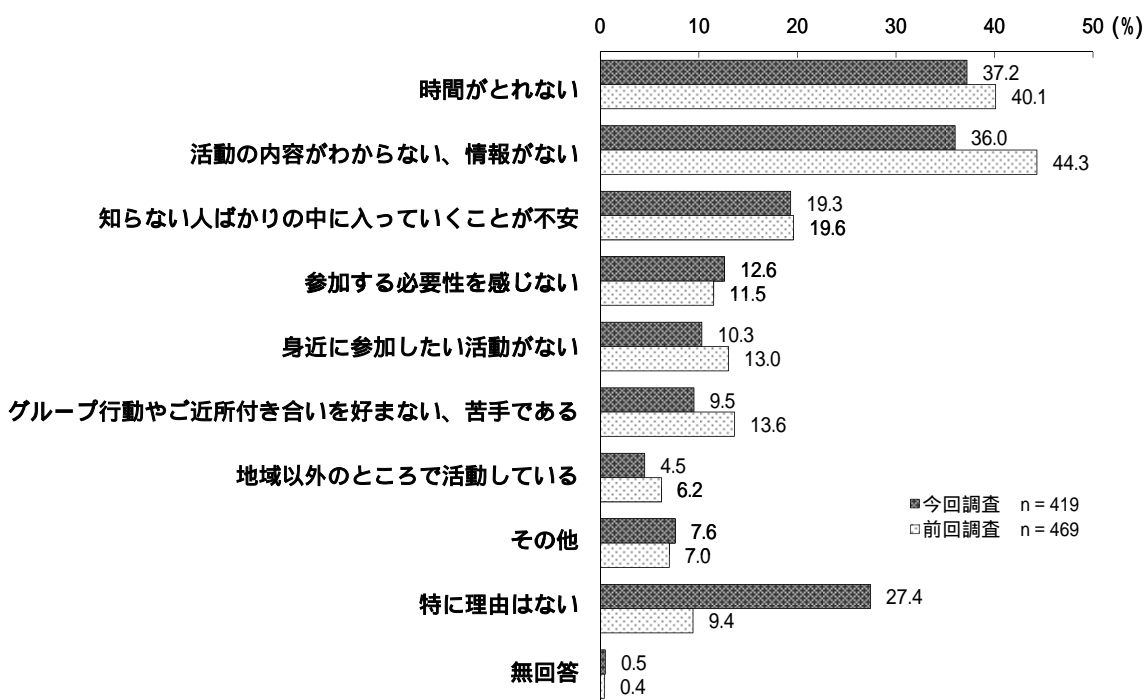
- ・「時間がとれない」(37.2%)
- ・「活動の内容がわからない、情報がない」(36.0%)
- ・「知らない人ばかりの中に入っていきることが不安」(19.3%)
- ・「参加する必要性を感じない」(12.6%)
- ・「身近に参加したい活動がない」(10.3%)

また、「特に理由はない」は、27.4%である。

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表6-38)

- ・「時間がとれない」は、2.9ポイント減少したが、2番目(40.1%)から1番目(37.2%)に上がった。
- ・「活動の内容がわからない、情報がない」は、8.3ポイント減少し、1番目(44.3%)から2番目(36.0%)に下がった。
- ・「参加する必要性を感じない」は、6番目(11.5%)から4番目(12.6%)に上がった。
- ・「グループ行動やご近所付き合いを好まない、苦手である」は、3.5ポイント減少し、4番目(13.6%)から6番目(9.5%)に下がった。
- ・「特に理由はない」は、18.0ポイント増加した。

図表6-38 地域活動に参加したことがない理由(前回調査との比較)

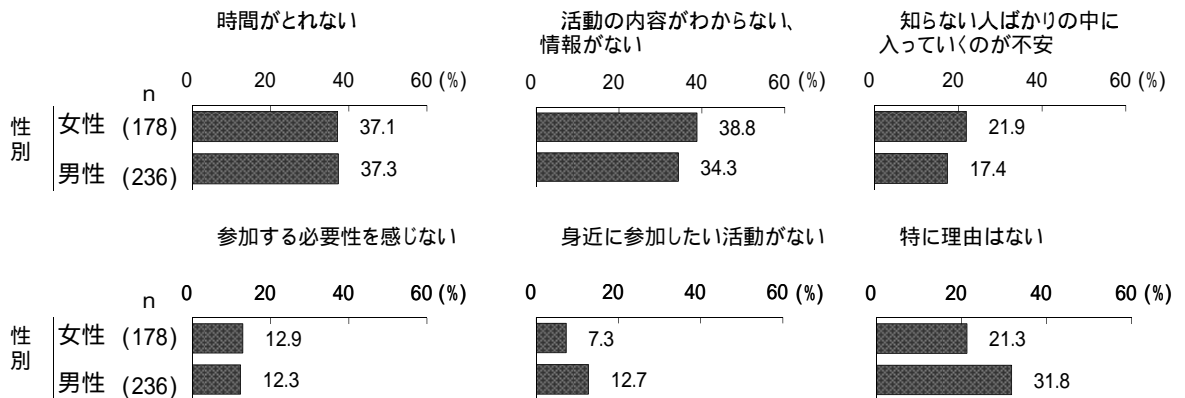


上位5項目と「特に理由はない」について

(性別) 上位5項目と「特に理由はない」を性別にみると、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-39)

- ・「身近に参加したい活動がない」は、男性(12.7%)で女性より5.4ポイント高い。
- ・「特に理由はない」は、男性(31.8%)で女性より10.5ポイント高い。

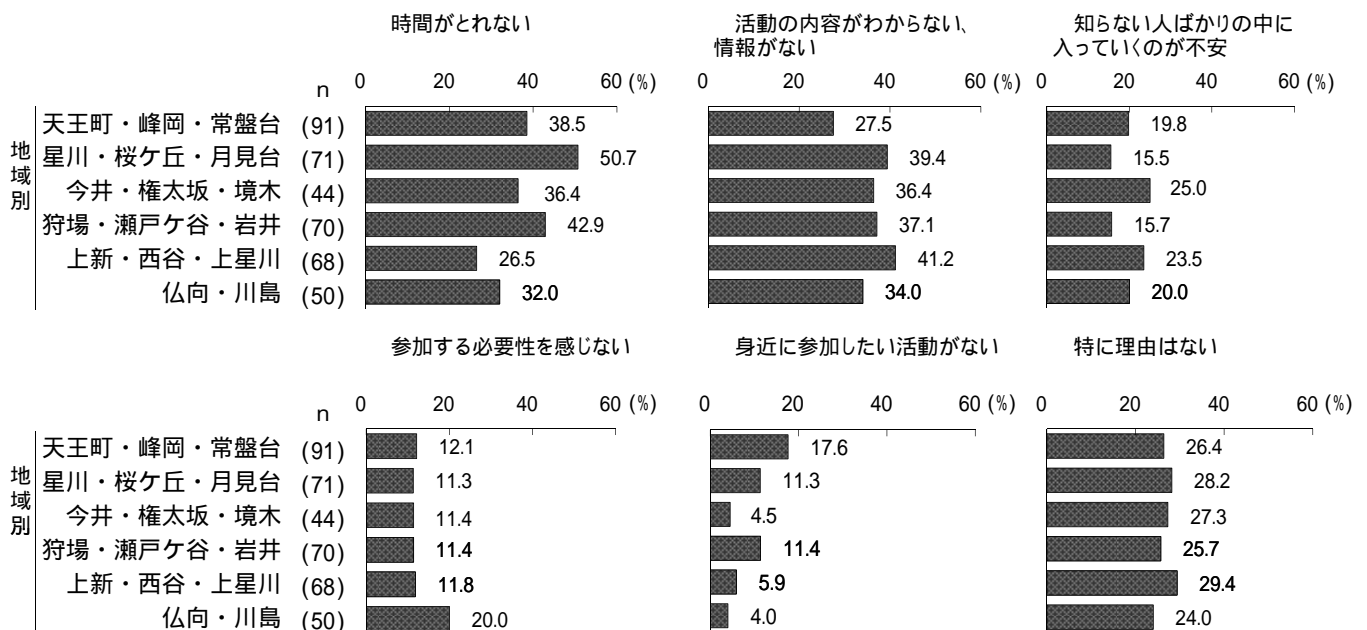
図表6-39 地域活動に参加したことがない理由(性別、上位5項目、「特に理由はない」)



(地域別) 上位5項目と「特に理由はない」を地域別にみると、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-40)

- ・「時間がとれない」は、星川・桜ヶ丘・月見台(50.7%)で高く、上新・西谷・上星川(26.5%)で低い。
- ・「活動の内容がわからない、情報がない」は、天王町・峰岡・常盤台(27.5%)で低い。
- ・「参加する必要性を感じない」は、仏向・川島(20.0%)で高い。
- ・「身近に参加したい活動がない」は、天王町・峰岡・常盤台(17.6%)で高く、仏向・川島(4.0%)で低い。

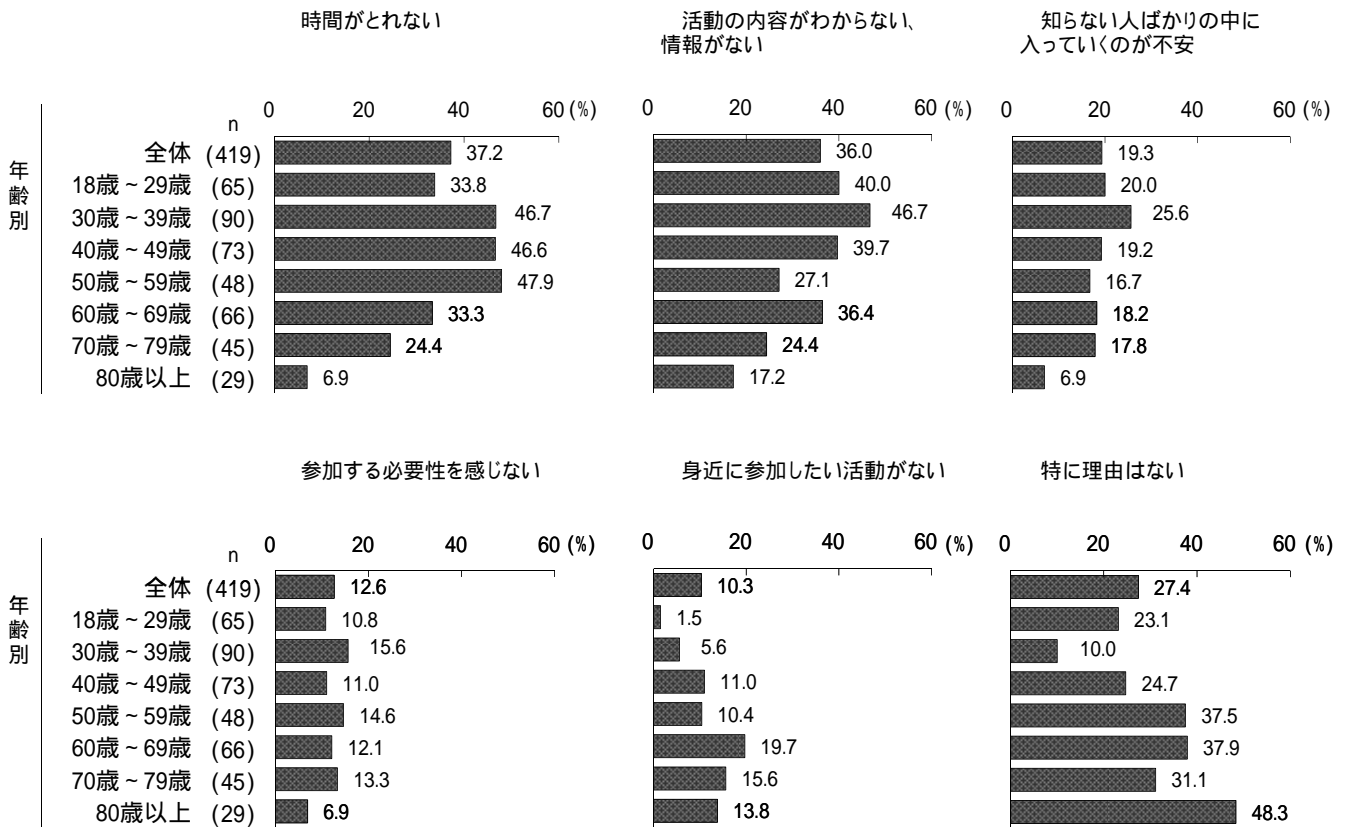
図表6-40 地域活動に参加したことがない理由(地域別、上位5項目、「特に理由はない」)



(年齢別) 上位5項目と「特に理由はない」を年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-41)

- ・「時間がとれない」は、30歳～59歳で高く、80歳以上(6.9%)で特に低い。
- ・「活動の内容がわからない、情報がない」は、30歳～39歳(46.7%)で高く、80歳以上(17.2%)で特に低い。
- ・「知らない人ばかりの中に入っていきのが不安」は、30歳～39歳(25.6%)で高く、80歳以上(6.9%)で低い。
- ・「参加する必要性を感じない」は、80歳以上(6.9%)で低い。
- ・「身近に参加したい活動がない」は、60歳～69歳(19.7%)で高く、18歳～29歳(1.5%)で低い。
- ・「特に理由はない」は、80歳以上(48.3%)で特に高く、30歳～39歳(10.0%)で特に低い。

図表6-41 地域活動に参加したことがない理由(年齢別、上位5項目、「特に理由はない」)



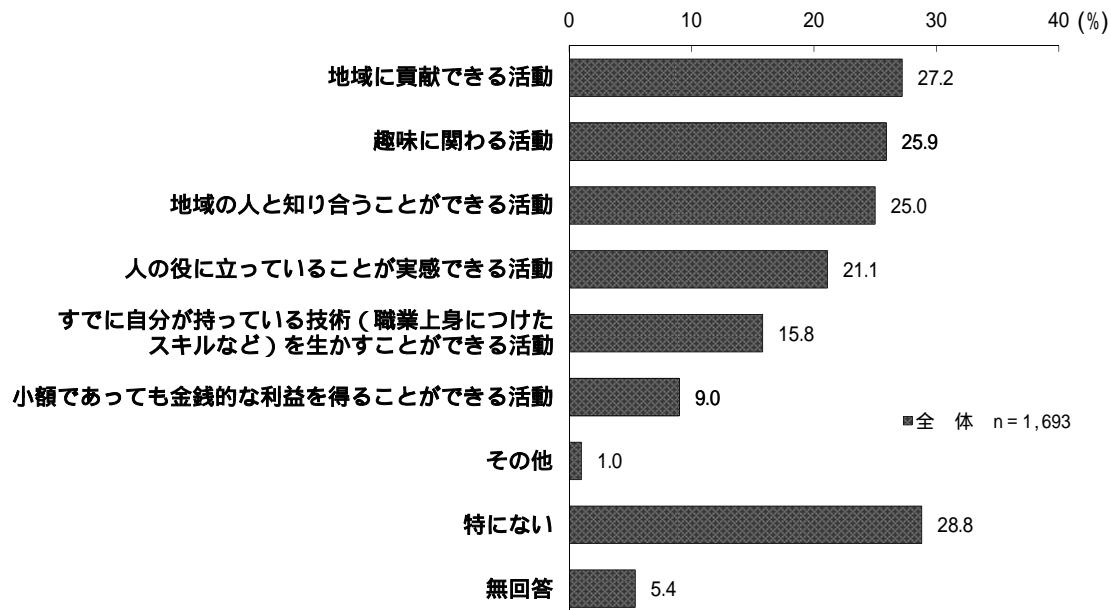
対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

6-9 今後参加したい地域活動

「地域に貢献できる活動」と「特にない」が2割後半

問 30 全員の方へうかがいます。
 地域で行われる活動のうち、あなたが今後、参加したい活動はどれですか。
 (すでに参加しているもので、今後も続けたいものも含まれます。) (はいくつでも)

図表6-42 今後参加したい地域活動(複数回答)



(全体) 上位5項目は以下となる。(図表6-42)

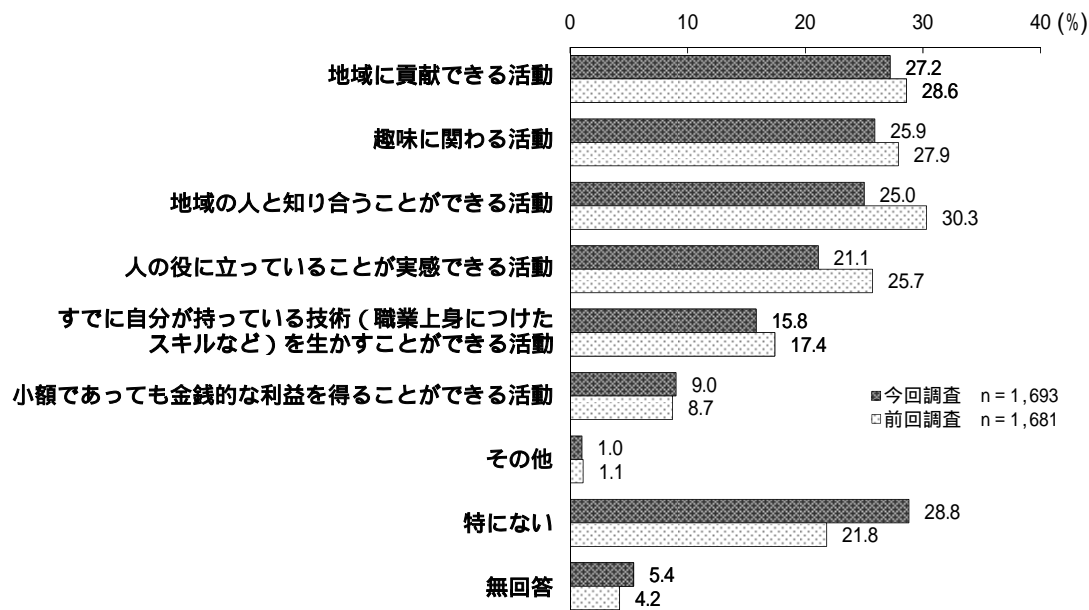
- ・「地域に貢献できる活動」(27.2%)
- ・「趣味に関わる活動」(25.9%)
- ・「地域の人と知り合うことができる活動」(25.0%)
- ・「人の役に立っていることが実感できる活動」(21.1%)
- ・「すでに自分が持っている技術(職業上身につけたスキルなど)を生かすことができる活動」(15.8%)

また、「特にない」は、28.8%である。

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表6-43)

- ・「地域に貢献できる活動」は、2番目(28.6%)から1番目(27.2%)に上がった。
- ・「趣味に関わる活動」は、3番目(27.9%)から2番目(25.9%)に上がった。
- ・「地域の人と知り合うことができる活動」は、5.3ポイント減少し、1番目(30.3%)から3番目(25.0%)に下がった。
- ・「人の役に立っていることが実感できる活動」は、4.6ポイント減少した。
- ・「特にない」は、7.0ポイント増加した。

図表6-43 今後参加したい地域活動(前回調査との比較)

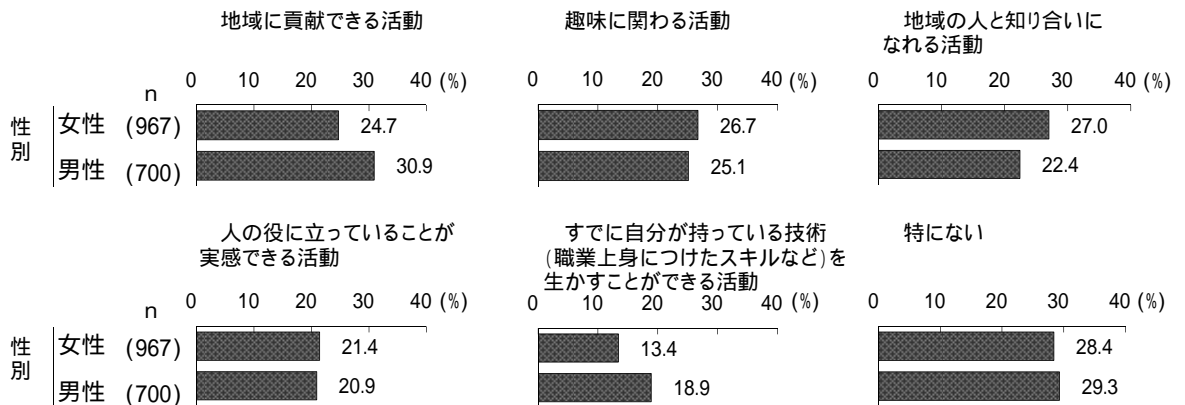


上位5項目と「特にない」について

(性別) 上位5項目と「特にない」を性別にみると、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-44)

- ・「地域に貢献できる活動」は、男性(30.9%)で女性より6.2ポイント高い。
- ・「地域の人と知り合いになれる活動」は、女性(27.0%)でより男性4.6ポイント高い。
- ・「持っている技術を生かすことができる活動」は、男性(18.9%)で女性より5.5ポイント高い。

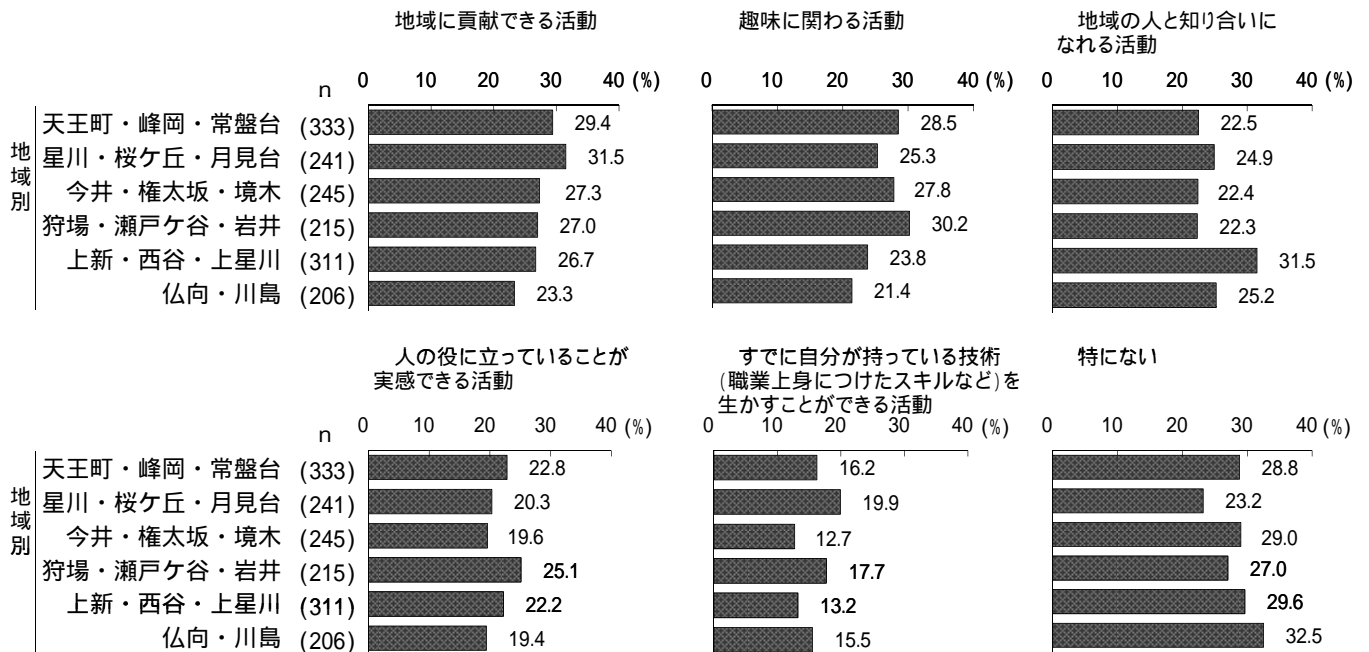
図表6-44 今後参加したい地域活動(性別、上位5項目、「特にない」)



(地域別) 上位5項目と「特にない」を地域別にみると、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-45)

- ・「地域の人と知り合いになれる活動」は、上新・西谷・上星川(31.5%)で高い。
- ・「持っている技術を生かすことができる活動」は、星川・桜ヶ丘・月見台(19.9%)で高い。
- ・「特にない」は、仏向・川島(32.5%)で高く、星川・桜ヶ丘・月見台(23.2%)で低い。

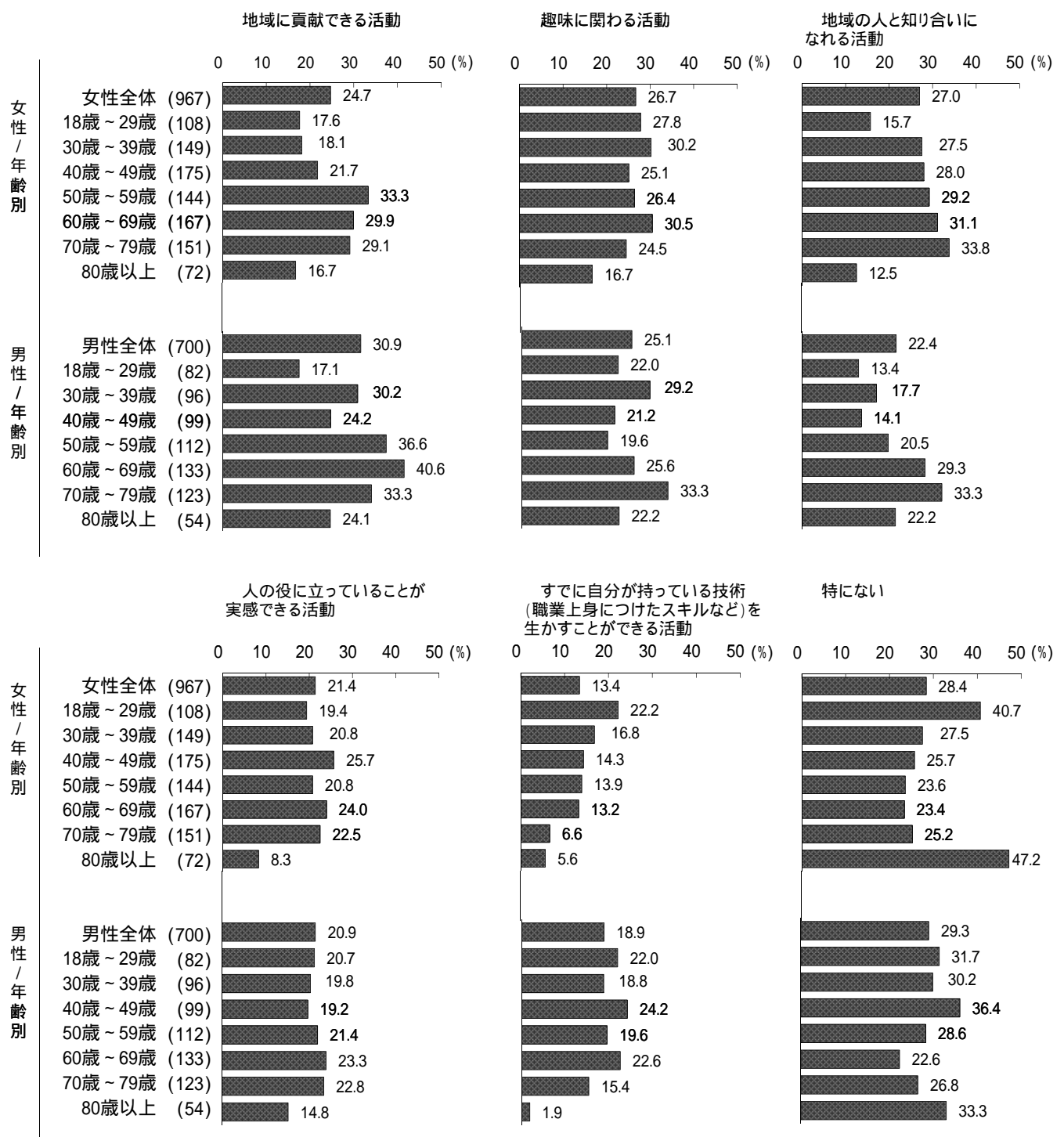
図表6-45 今後参加したい地域活動(地域別、上位5項目、「特にない」)



(性×年齢別) 上位5項目と「特にない」を性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-46)

- ・「地域に貢献できる活動」は、男女とも50歳～79歳で高く、女性18歳～39歳と男性18歳～29歳(17.1%)で低い。
- ・「趣味に関わる活動」は、男性70歳～79歳(33.3%)で高く、女性80歳以上(16.7%)で低い。
- ・「地域の人と知り合いになれる活動員」は、男女とも70歳～79歳で高く、女性18歳～29歳(15.7%)と女性80歳以上(12.5%)と男性18歳～49歳で低い。
- ・「人の役に立っていることが実感できる活動」は、男女とも80歳以上で低い。
- ・「持っている技術を生かすことができる活動」は、女性18歳～29歳(22.2%)と男性40歳～49歳(24.2%)で高く、女性70歳以上と男性80歳以上(1.9%)で特に低い。
- ・「特にない」は、女性18歳～29歳(40.7%)と男性40歳～49歳(36.4%)と男女とも80歳以上で高い。

図表6-46 今後参加したい地域活動(性×年齢別、上位5項目、「特にない」)

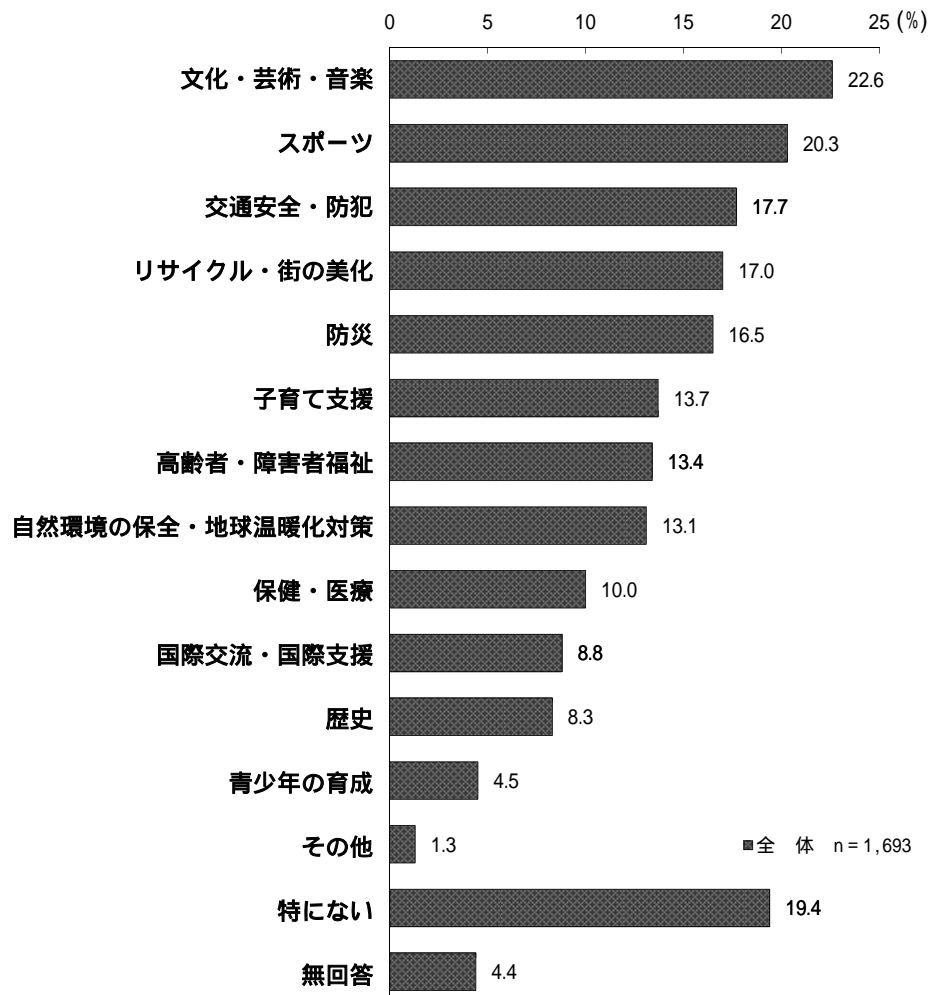


6-10 興味のある活動分野

「文化・芸術・音楽」、「スポーツ」が2割台で高い

問 31 あなたは、ご自身が参加するとしたら、どのような分野の活動に興味がありますか。
(はいくつでも)

図表6-47 興味のある活動分野(複数回答)



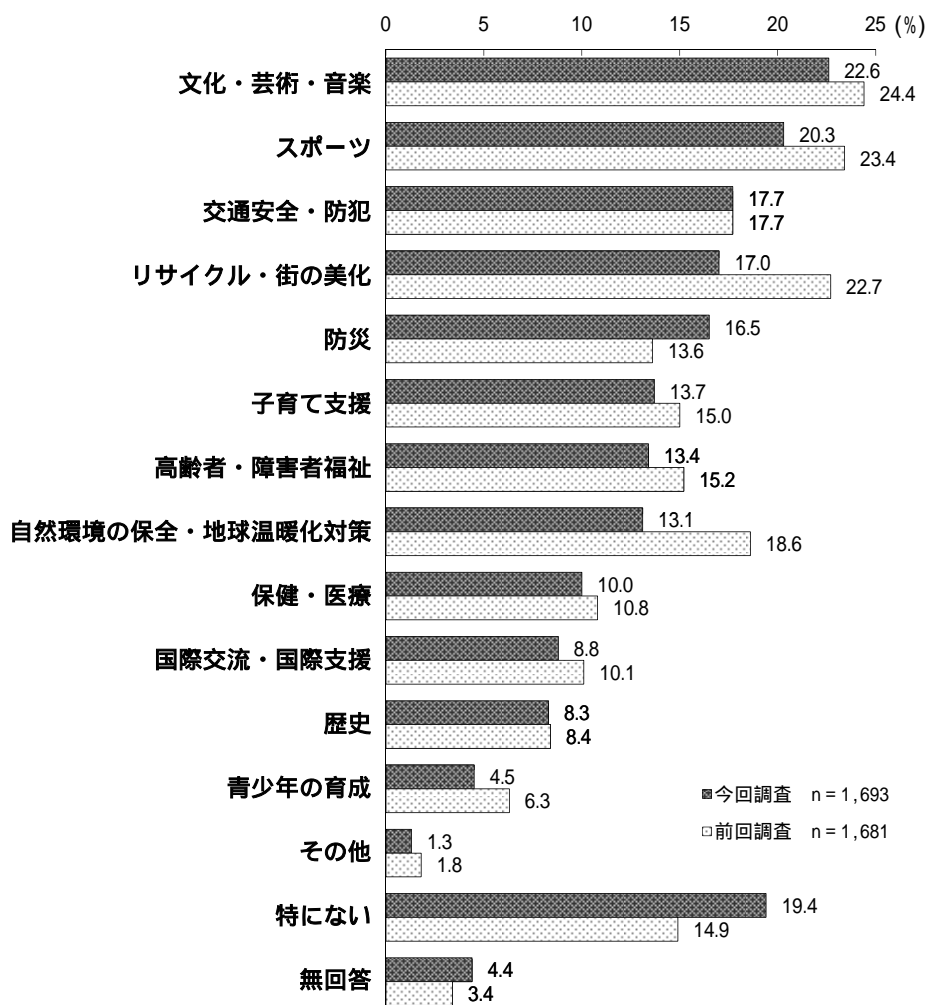
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表6-47)

- ・「文化・芸術・音楽」(22.6%)
- ・「スポーツ」(20.3%)
- ・「交通安全・防犯」(17.7%)
- ・「リサイクル・街の美化」(17.0%)
- ・「防災」(16.5%)
- ・「子育て支援」(13.7%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表6-48)

- ・「スポーツ」は、3.1ポイント減少した。
- ・「交通安全・防犯」は、5番目(17.7%)から3番目(17.7%)に上がった。
- ・「リサイクル・街の美化」は、5.7ポイント減少し、3番目(22.7%)から4番目(17.0%)に下がった。
- ・「防災」は、2.9ポイント増加し、8番目(13.6%)から5番目(16.5%)に上がった。
- ・「子育て支援」は、7番目(15.0%)から6番目(13.7%)に上がった。
- ・「高齢者・障害者福祉」は、6番目(15.2%)から7番目(13.4%)に下がった。
- ・「自然環境の保全・地球温暖化対策」は、5.5ポイント減少し、4番目(18.6%)から8番目(13.1%)に下がった。
- ・「特にない」は、4.5ポイント増加した。

図表6-48 興味のある活動分野(前回調査との比較)

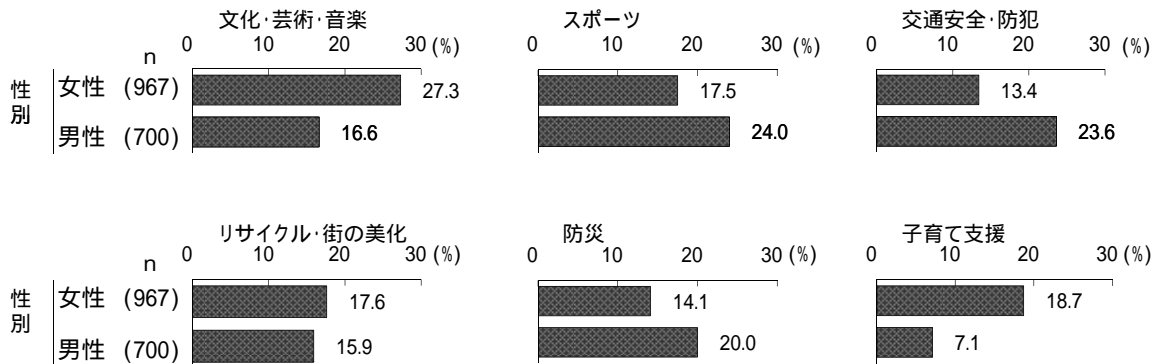


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表6-49)

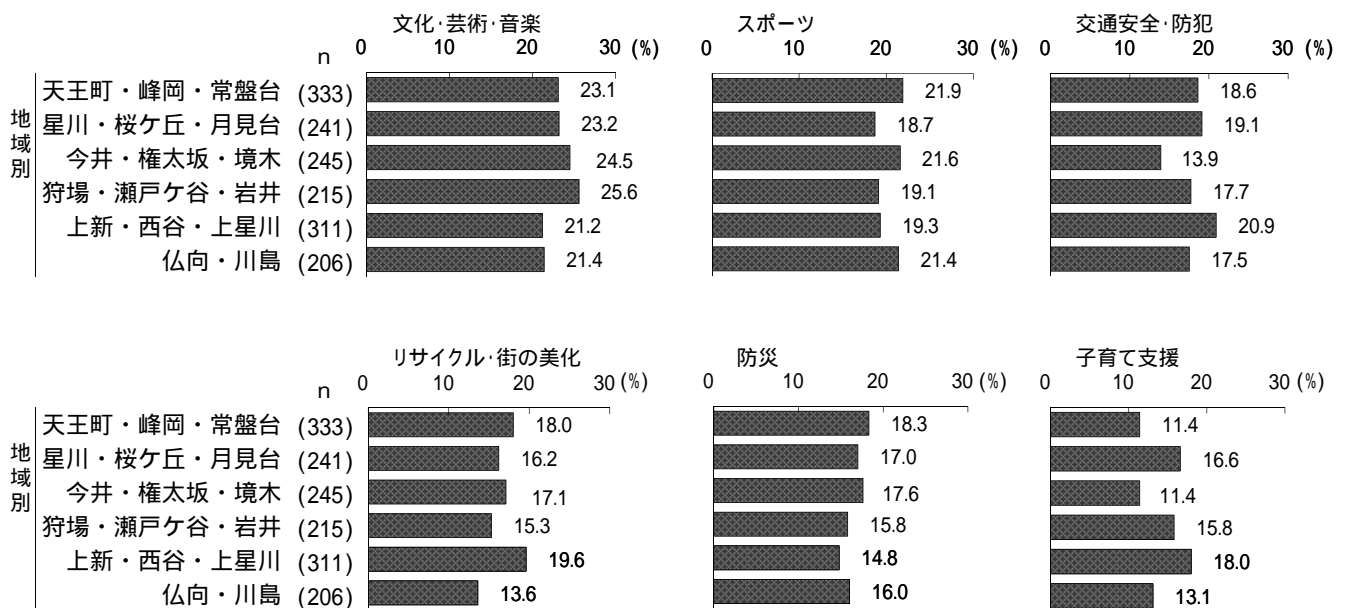
- ・「文化・芸術・音楽」は、女性(27.3%)で男性より10.7ポイント高い。
- ・「スポーツ」は、男性(24.0%)で女性より6.5ポイント高い。
- ・「交通安全・防犯」は、男性(23.6%)で女性より10.2ポイント高い。
- ・「防災」は、男性(20.0%)で女性より5.9ポイント高い。
- ・「子育て支援」は、女性(18.7%)で男性より11.6ポイント高い。

図表6-49 興味のある活動分野(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、大きな差はない。(図表6-50)

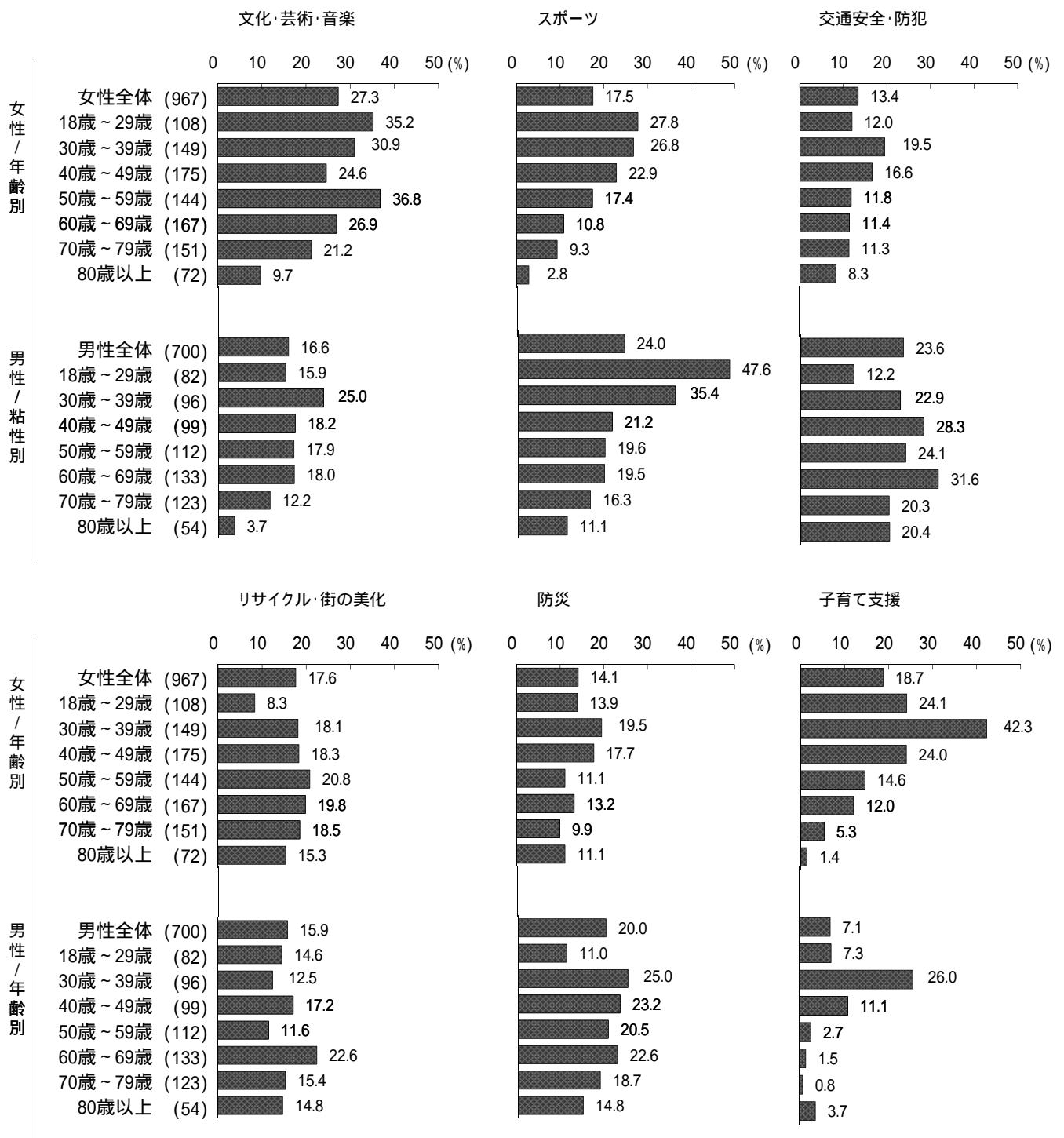
図表6-50 興味のある活動分野(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表6-51)

- ・「文化・芸術・音楽」は、女性の18歳～29歳(35.2%)と50歳～59歳(36.8%)と、男性30歳～39歳(25.0%)で高く、男女とも80歳以上で特に低い。
- ・「スポーツ」は、男女とも18歳～29歳が特に高く、年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。
- ・「交通安全・防犯」は、男性60歳～69歳(31.6%)で高く、女性80歳以上(8.3%)と男性18歳～29歳(12.2%)で低い。
- ・「リサイクル・街の美化」は、男性60歳～69歳(22.6%)で高く、女性18歳～29歳(8.3%)で低い。
- ・「防災」は、男性18歳～29歳(11.0%)で低く、男女とも30歳～39歳が高く年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。
- ・「子育て支援」は、男女とも30歳～39歳が特に高く、年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。

図表6-51 興味のある活動分野(性×年齢別、上位6項目)



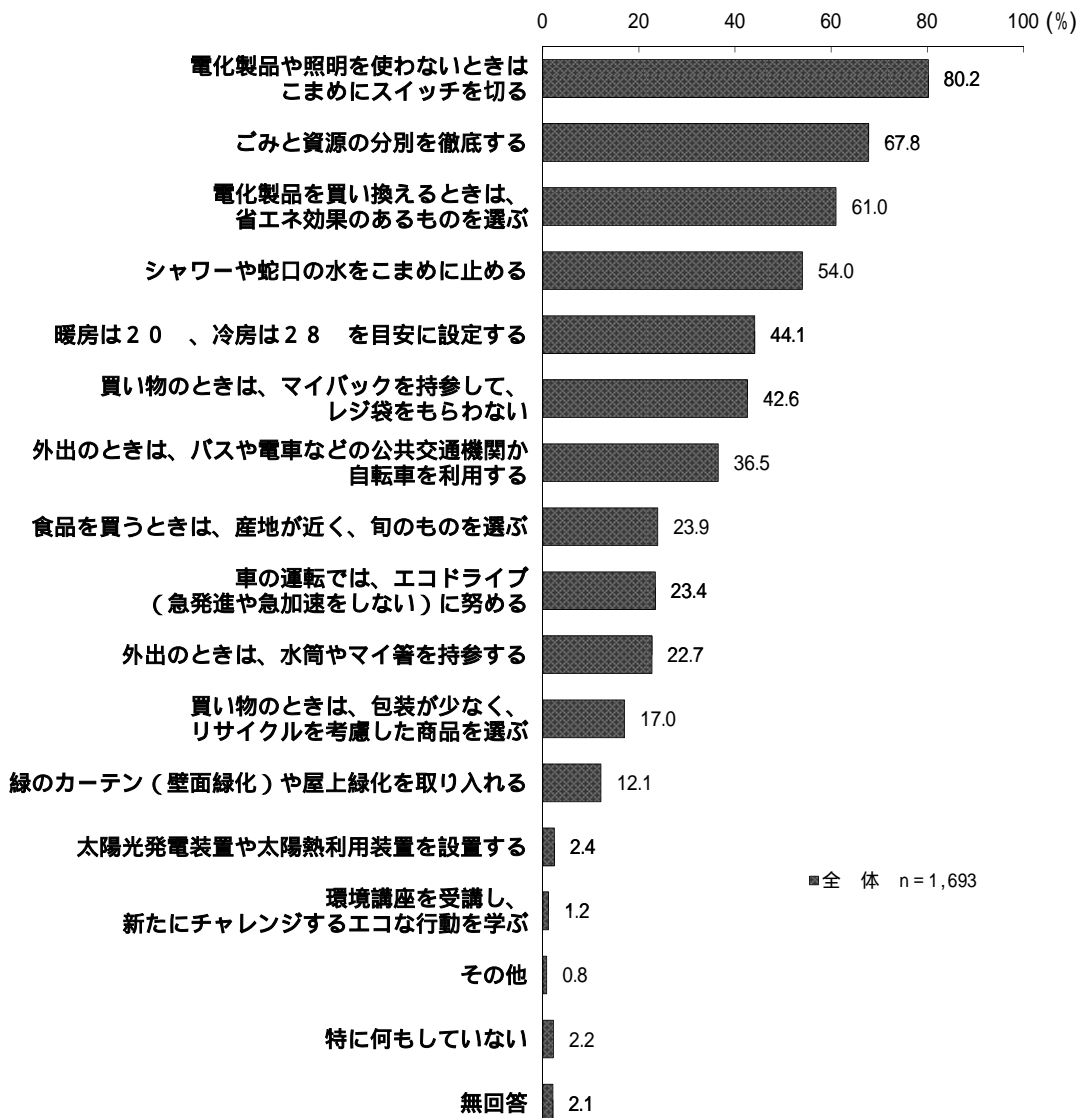
7 地球温暖化対策について

7-1 日常生活での地球温暖化防止対策

「電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る」が約8割で最も高い

問 32 あなたは、地球温暖化防止のためになることとして、日常生活の中でどんなことを行っていますか。
(はいいくつでも)

図表7-1 日常生活での地球温暖化防止対策(複数回答)



(全体) 上位6項目は以下となる。(図表7-1)

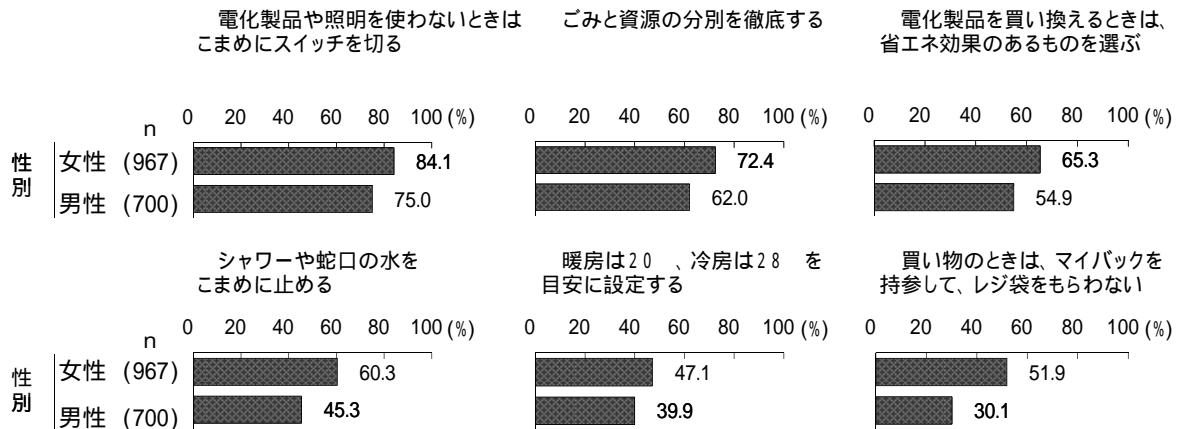
- ・「電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る」(80.2%)
- ・「ごみと資源の分別を徹底する」(67.8%)
- ・「電化製品を買い換えるときは、省エネ効果のあるものを選ぶ」(61.0%)
- ・「シャワーや蛇口の水をこまめに止める」(54.0%)
- ・「暖房は20、冷房は28を目安に設定する」(44.1%)
- ・「買い物のときは、マイバックを持参して、レジ袋をもらわない」(42.6%)

上位6項目について

(性別) 性別にみると、いずれの項目も女性の方が高く、差があるのは以下の箇所となる。(図表7-2)

- ・「ごみと資源の分別を徹底する」は、女性(72.4%)で男性より10.4ポイント高い。
- ・「電化製品買い換えの際、省エネ効果で選ぶ」は、女性(65.3%)で男性より10.4ポイント高い。
- ・「シャワーや蛇口の水をこまめに止める」は、女性(60.3%)で男性より15.0ポイント高い。
- ・「マイバックを持参して、レジ袋をもらわない」は、女性(51.9%)で男性より21.8ポイント高い。

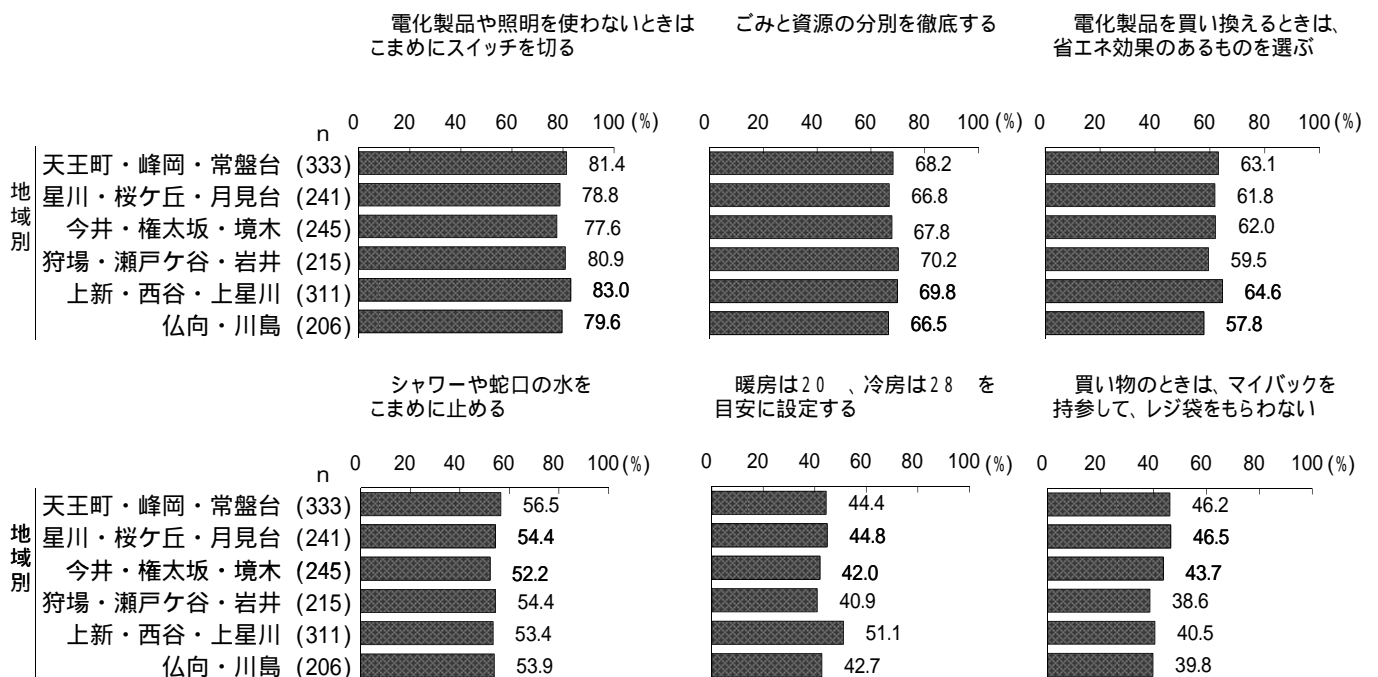
図表7-2 日常生活での地球温暖化防止対策(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表7-3)

- ・「暖房は20、冷房は28を目安に設定する」は、上新・西谷・上星川(51.1%)で高い。

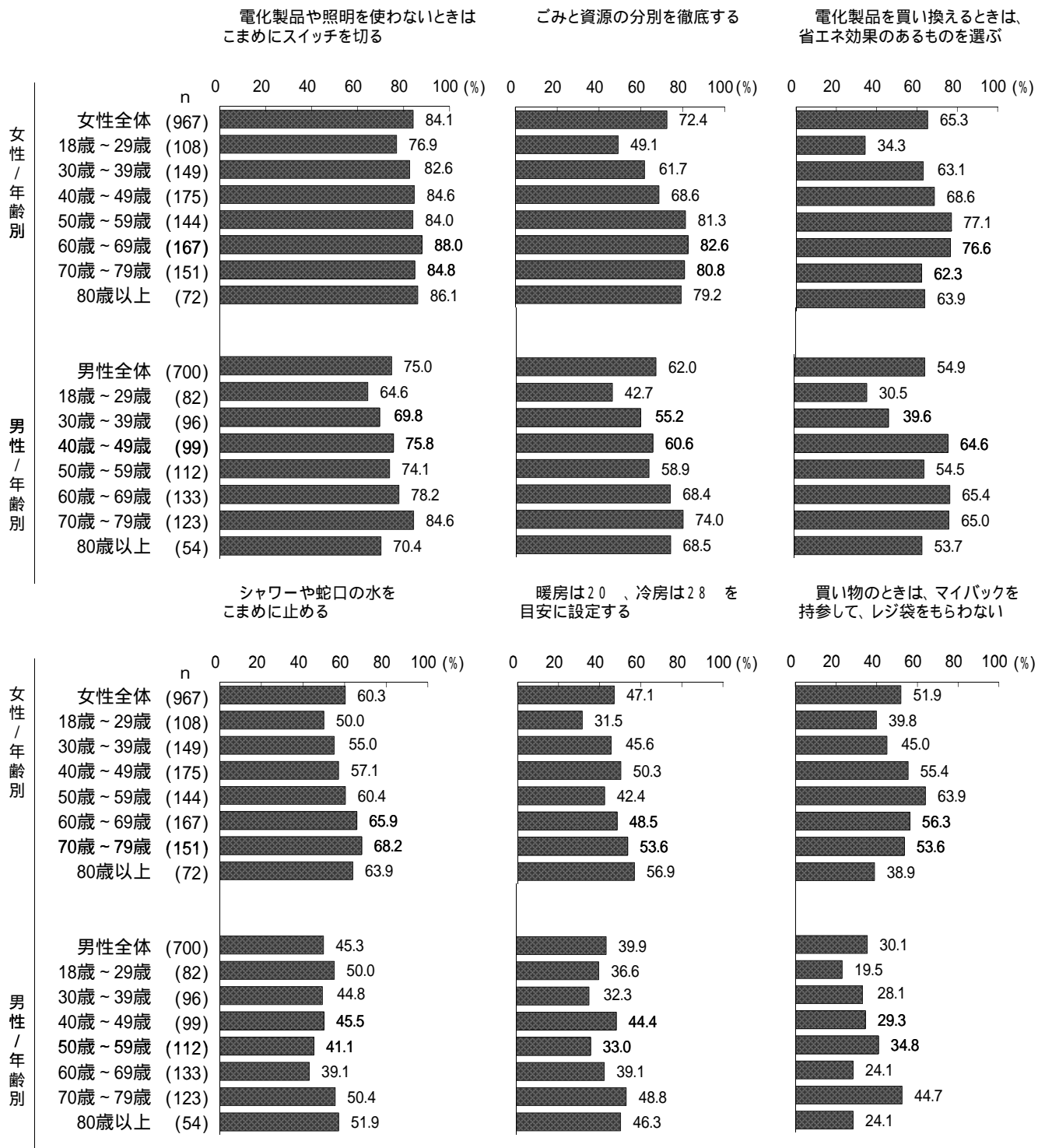
図表7-3 日常生活での地球温暖化防止対策(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表7-4)

- ・「こまめにスイッチを切る」は、男性70歳～79歳(84.6%)で高く、男女とも18歳～29歳で低い。
- ・「分別を徹底する」は、女性50歳以上と男性70歳～79歳(74.0%)で高く、男女とも18歳～29歳で特に低い。
- ・「電化製品買い換えの際、省エネ効果で選ぶ」は、男女とも18歳～29歳で特に低い。
- ・「シャワーや蛇口の水をこまめに止める」は、女性18歳～29歳(50.0%)で低い。
- ・「暖房は20℃、冷房は28℃を目安に設定する」は、女性18歳～29歳(31.5%)と男性30歳～39歳(32.3%)と男性50歳～59歳(33.0%)で低い。
- ・「マイバックを持参して、レジ袋をもらわない」は、女性50歳～59歳(63.9%)で高い。

図表7-4 日常生活での地球温暖化防止対策(性×年齢別、上位6項目)

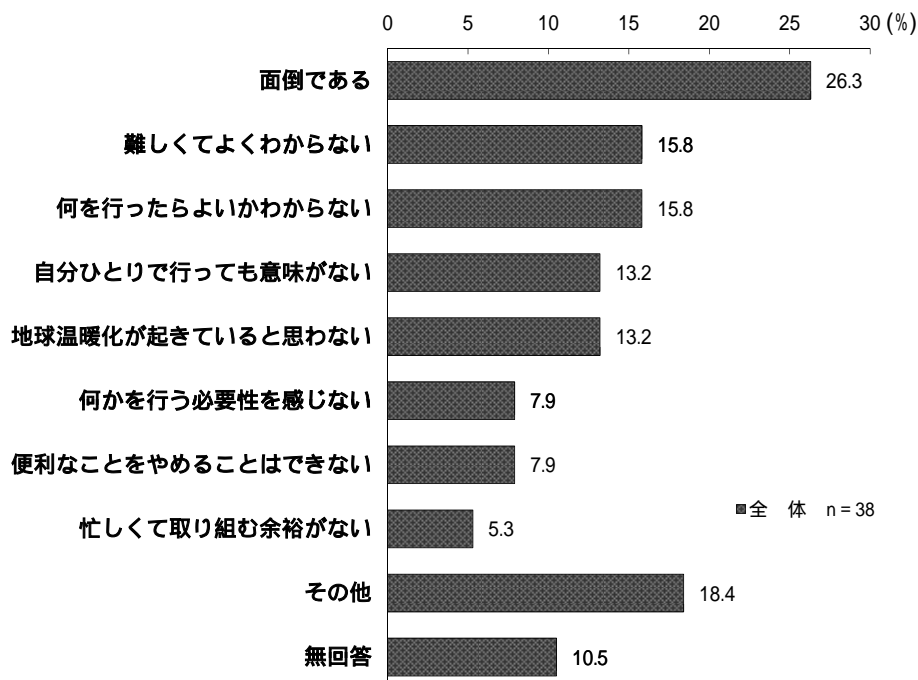


7-2 地球温暖化防止対策を行っていない理由

「面倒である」が2割半ば、次いで「難しくよくわからない」と「何を行ったらよいかわからない」が1割半ば

問32-1 問32で「16. 特に何も行っていない」と答えた方にうかがいます。
特に何も行っていない理由はどれですか。(はいくつでも)

図表7-5 地球温暖化防止対策を行っていない理由(複数回答)



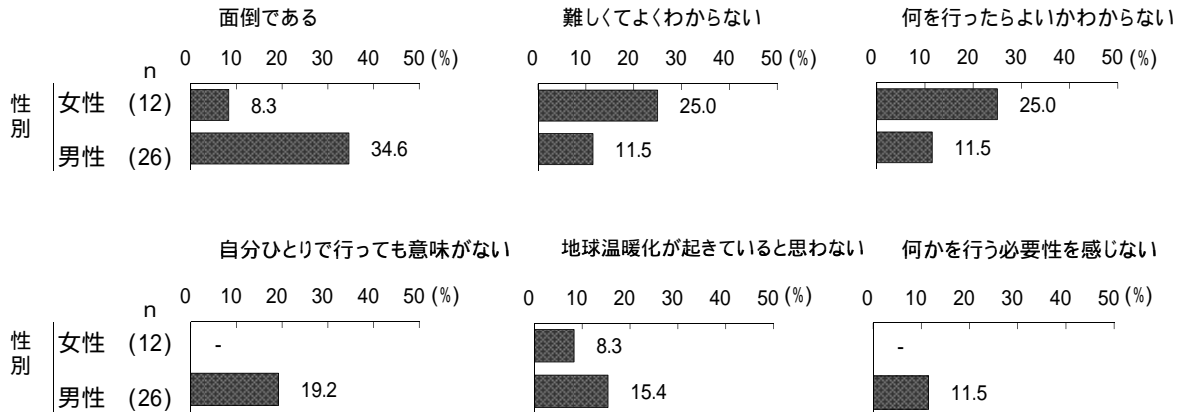
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表7-5)

- ・「面倒である」(26.3%)
- ・「難しくよくわからない」(15.8%)
- ・「何を行ったらよいかわからない」(15.8%)
- ・「自分ひとりで行っても意味がない」(13.2%)
- ・「地球温暖化が起きていると思わない」(13.2%)
- ・「何かを行う必要性を感じない」(7.9%)

上位6項目について

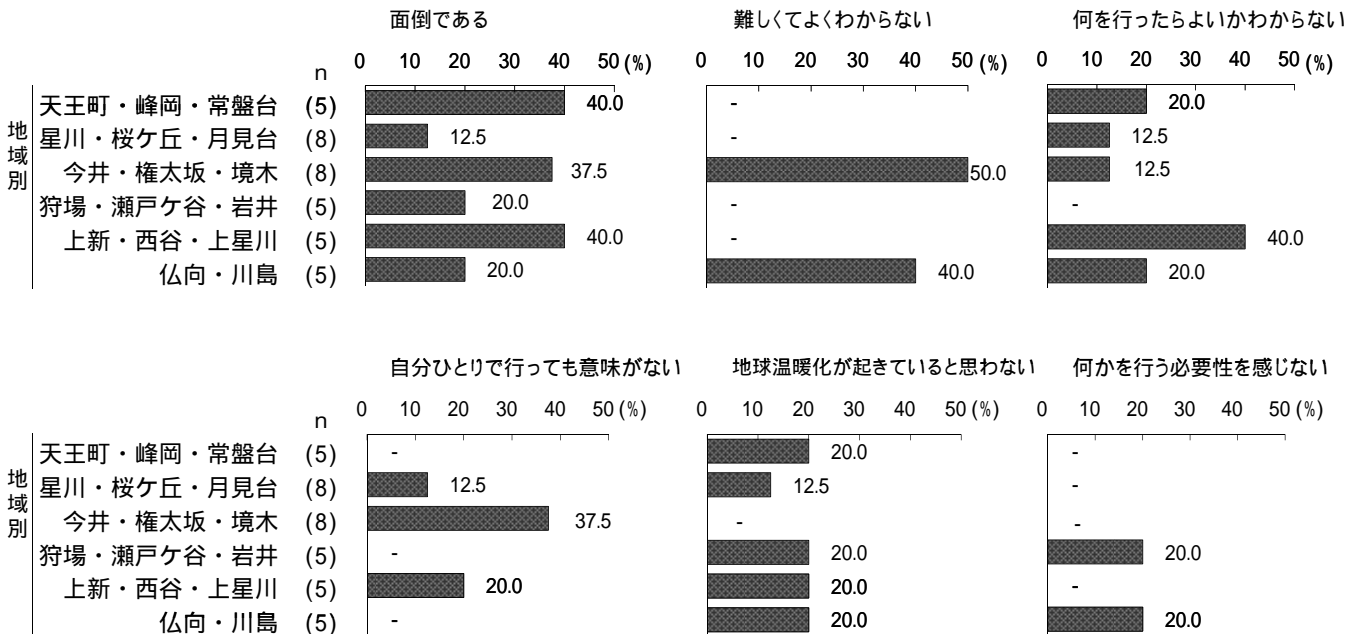
(性別) 性別にみて差は出ているが、回答基数が少なく、男女別の基数の差もありポイント差が正確には測れない。(図表7-6)

図表7-6 地球温暖化防止対策を行っていない理由(性別、上位6項目)



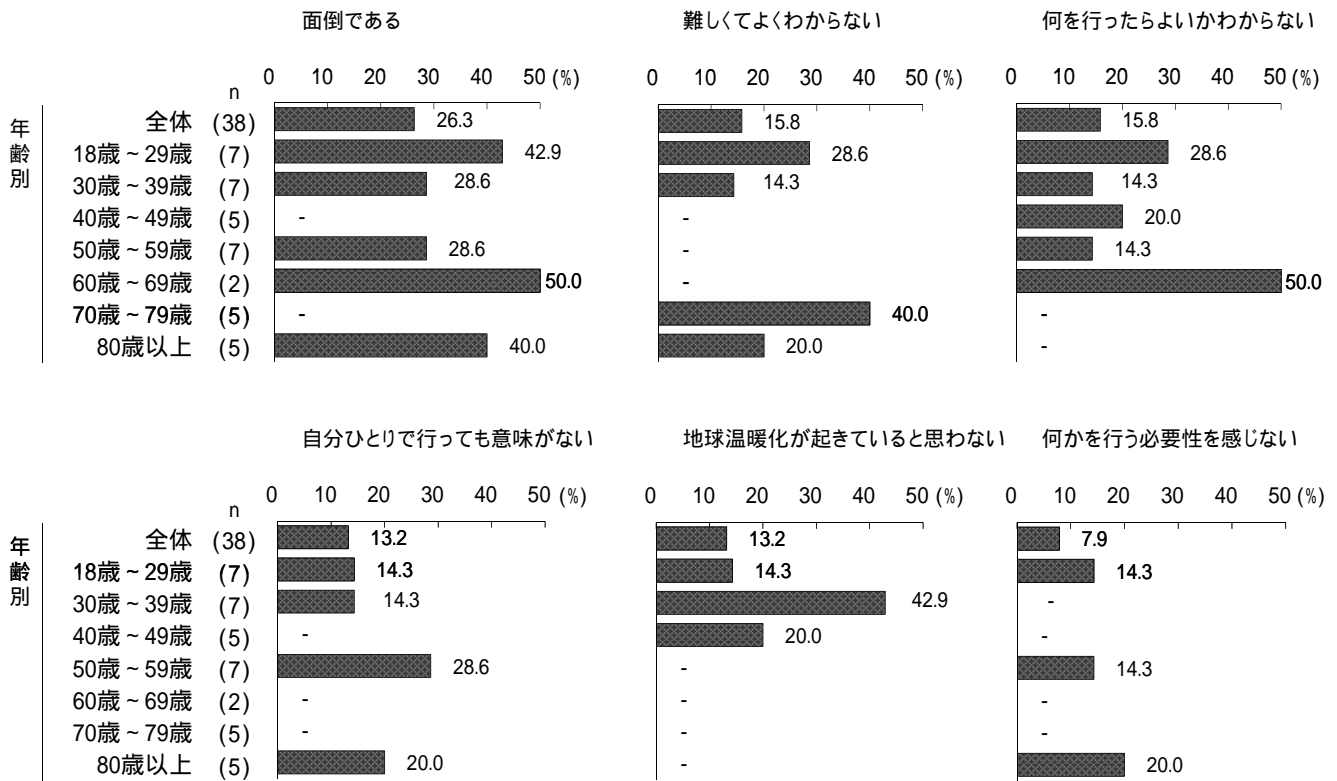
(地域別) 地域別にみて差は出ているが、回答基数が少ないため、一人当たりのポイントが高く、無回答の箇所も多いため、正確に差は測れない。(図表7-7)

図表7-7 地球温暖化防止対策を行っていない理由(地域別、上位6項目)



(年齢別) 年齢別にみて差は出ているが、回答基数が少ないため、一人当たりのポイントが高く、無回答の箇所も多いため、正確に差は測れない。(図表7-8)

図表7-8 地球温暖化防止対策を行っていない理由(年齢別、上位6項目)



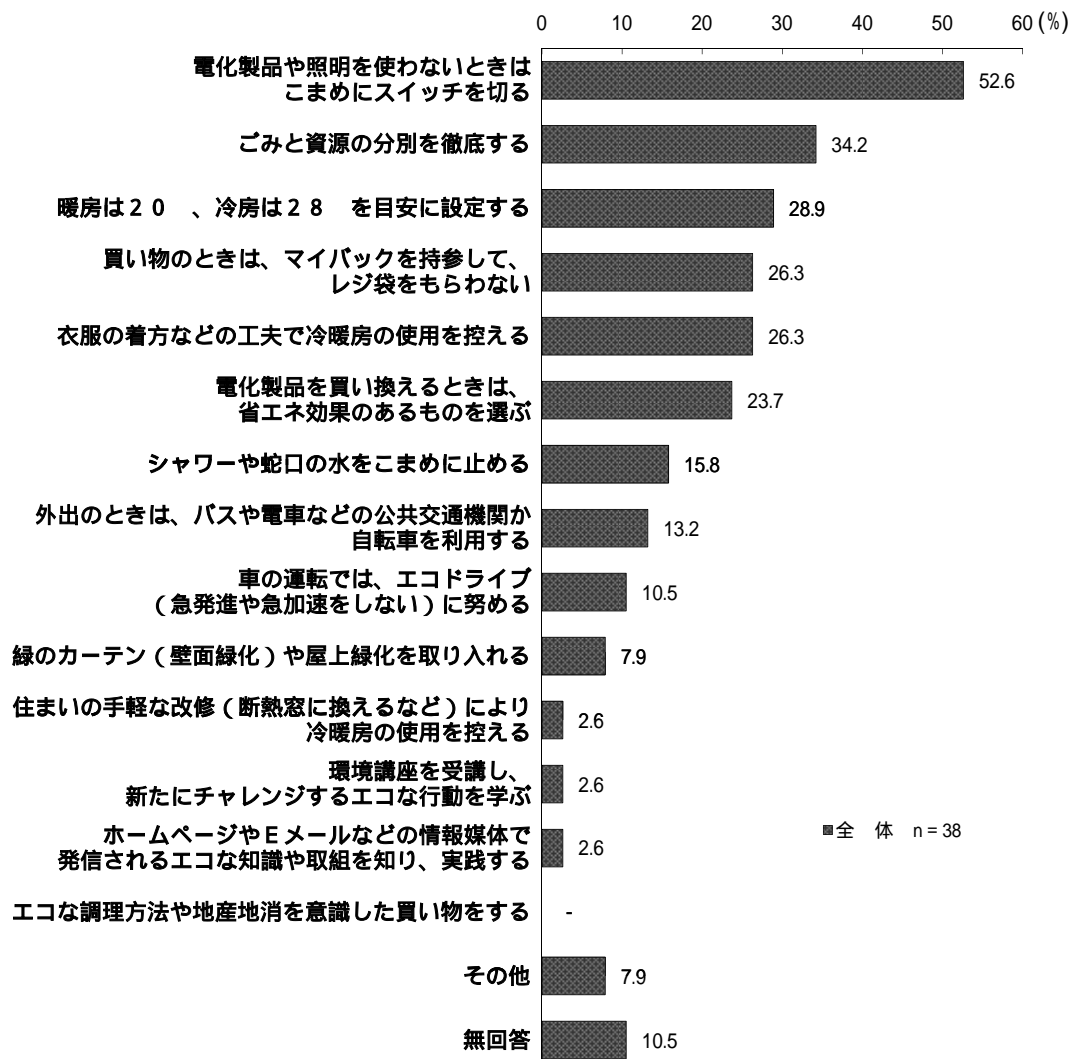
対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

7-3 今後行えそうな地球温暖化防止対策

「電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る」が5割前半で最も高い

問 32-2 問32で「16. 特に何も行っていない」と答えた方にうかがいます。
 どんな温暖化防止対策ならできそうですか。(はいいくつでも)

図表7-9 今後行えそうな地球温暖化防止対策(複数回答)



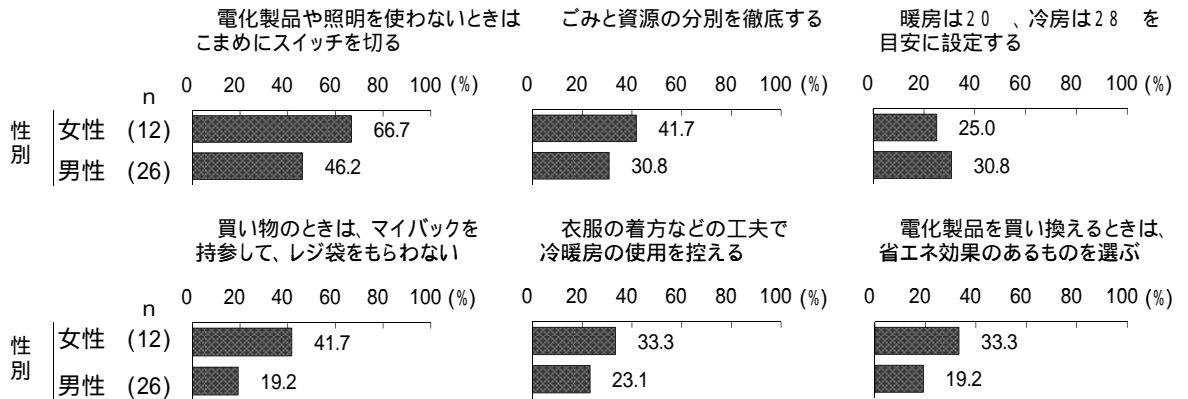
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表7-9)

- ・「電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る」(52.6%)
- ・「ごみと資源の分別を徹底する」(34.2%)
- ・「暖房は20、冷房は28を目安に設定する」(28.9%)
- ・「買い物のときは、マイバックを持参して、レジ袋をもらわない」(26.3%)
- ・「衣服の着方などの工夫で冷暖房の使用を控える」(26.3%)
- ・「電化製品を買い換えるときは、省エネ効果のあるものを選ぶ」(23.7%)

上位6項目について

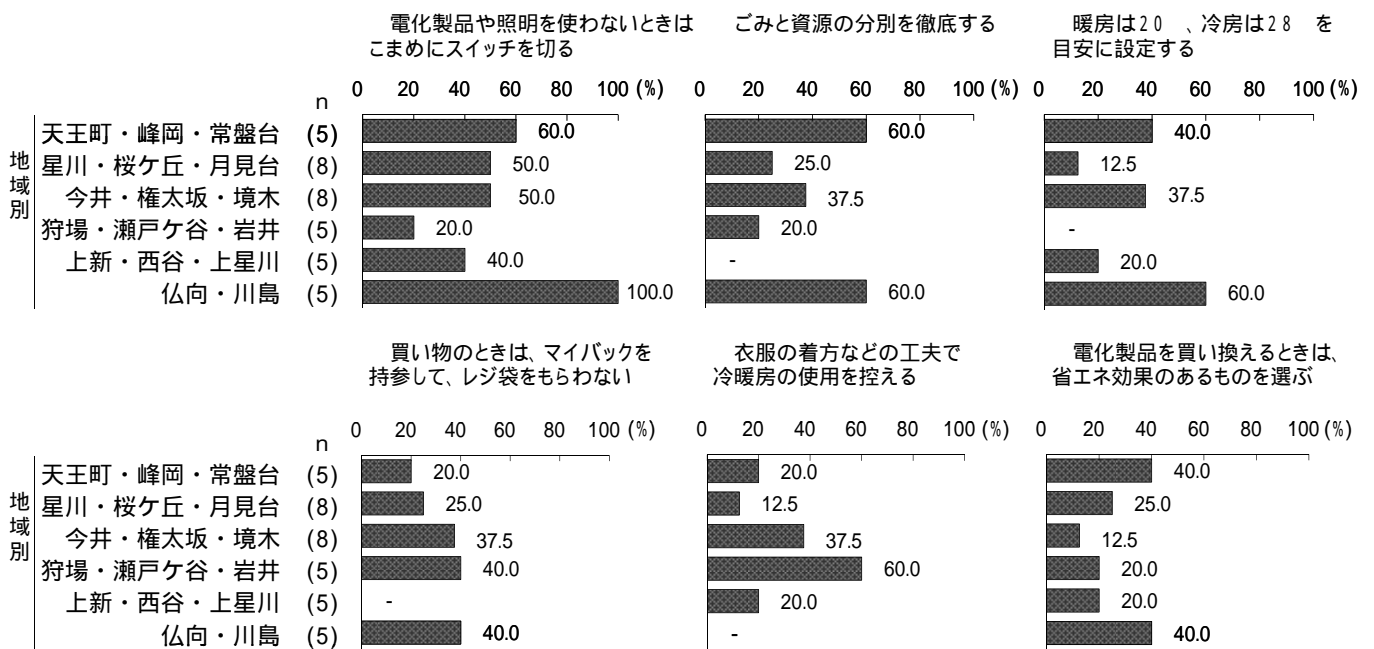
(性別) 性別にみて差は出ているが、回答基数が少なく、男女別の基数の差もありポイント差が正確には測れない。(図表7-10)

図表7-10 今後行えそうな地球温暖化防止対策(性別、上位6項目)



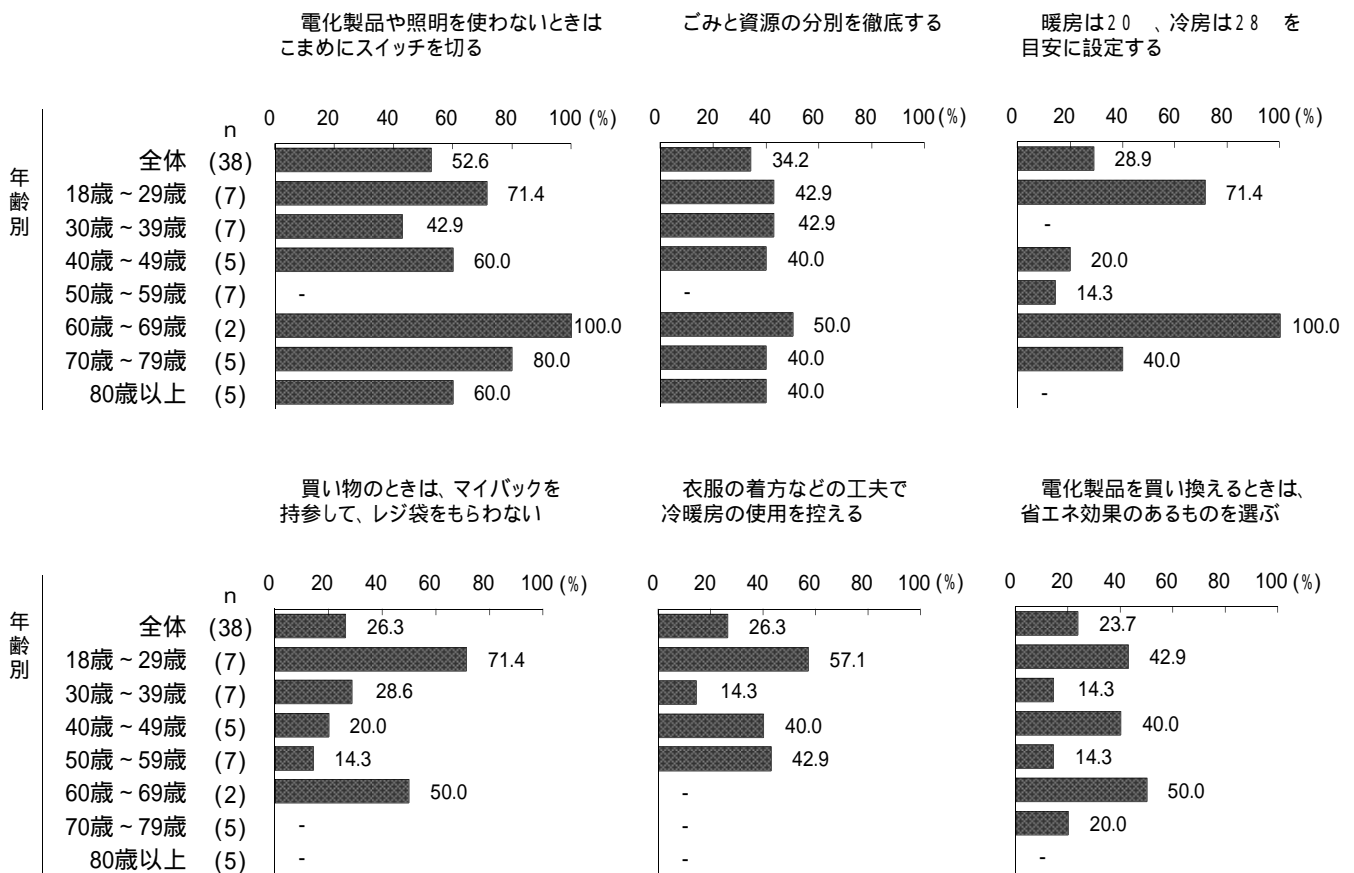
(地域別) 地域別にみて差は出ているが、回答基数が少ないため、一人当たりのポイントが高く、無回答の箇所も多いため、正確に差は測れない。(図表7-11)

図表7-11 今後行えそうな地球温暖化防止対策(地域別、上位6項目)



(年齢別) 年齢別にみて差は出ているが、回答基数が少ないため、一人当たりのポイントが高く、無回答の箇所も多いため、正確に差は測れない。(図表7-12)

図表7-12 今後行えそうな地球温暖化防止対策（年齢別、上位6項目）



対象者の基数が少ないため、分析を「性×年齢別」ではなく「年齢別」で行っている。

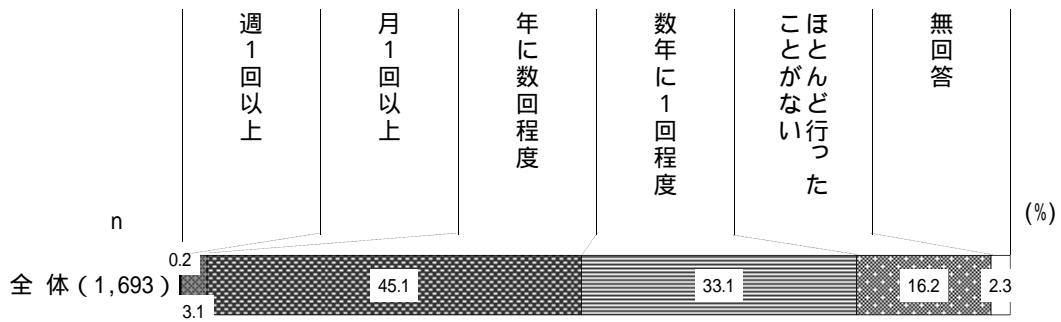
8 行政サービスについて

8-1 区役所へ出かける頻度

「年に数回程度」が4割半ばを占める

問 33 あなたは、どの位の頻度で区役所へいらっしゃいますか。(1 は1つ)

図表8-1 区役所へ出かける頻度



(全体) 5項目を上位から並べると以下となる。(図表8-1)

- ・「年に数回程度」(45.1%)
- ・「数年に1回程度」(33.1%)
- ・「ほとんど行ったことがない」(16.2%)
- ・「月1回以上」(3.1%)
- ・「週1回以上」(0.2%)

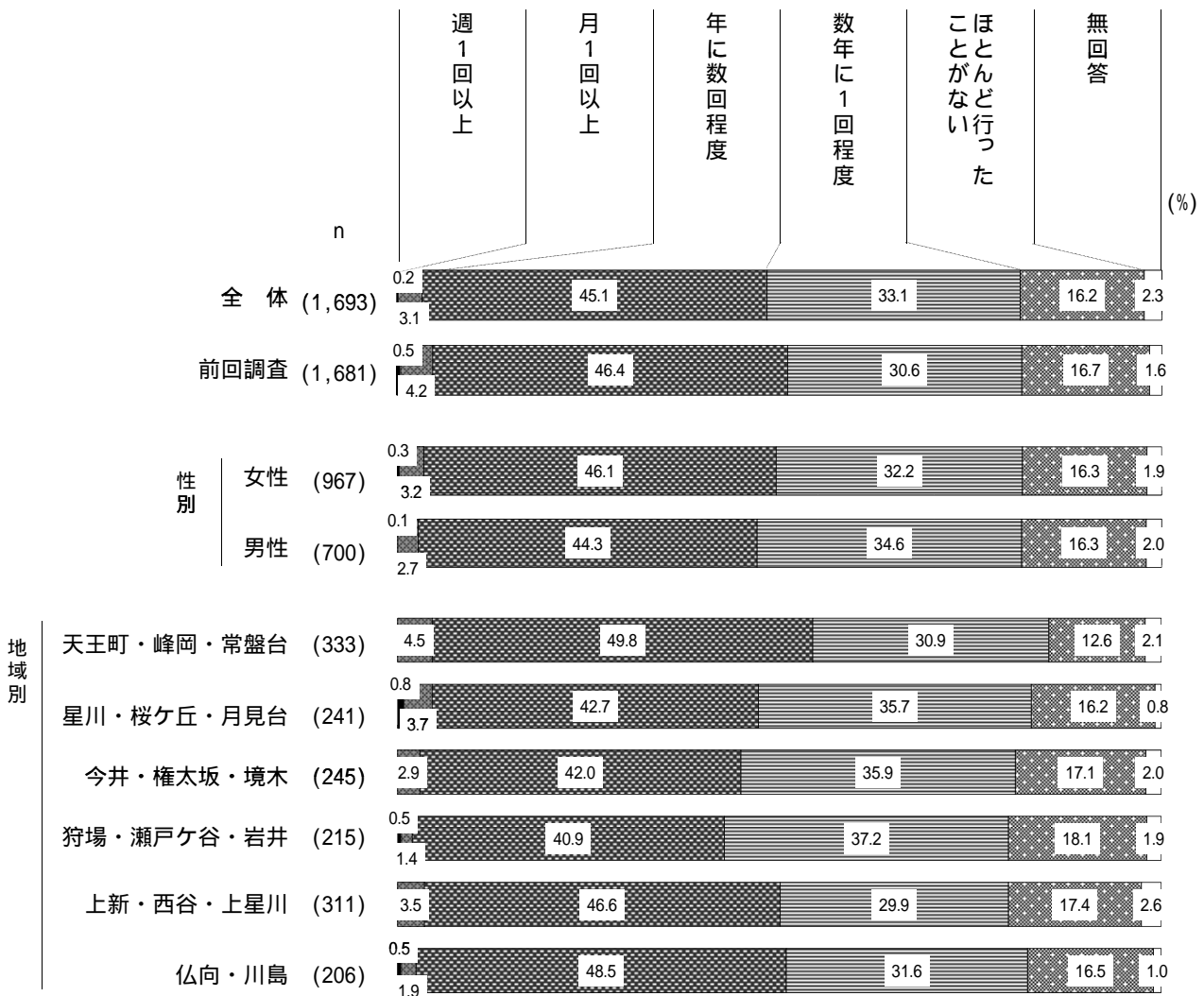
(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表8-2)

(性別) 性別にみて、大きな差はみられない。(図表8-2)

(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-2)

- ・「月1回以上」は、天王町・峰岡・常盤台(49.8%)で高い。
- ・「年に数回程度」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(37.2%)で高く、上新・西谷・上星川(29.9%)で低い。
- ・「ほとんど行ったことがない」は、天王町・峰岡・常盤台(12.6%)で低い。

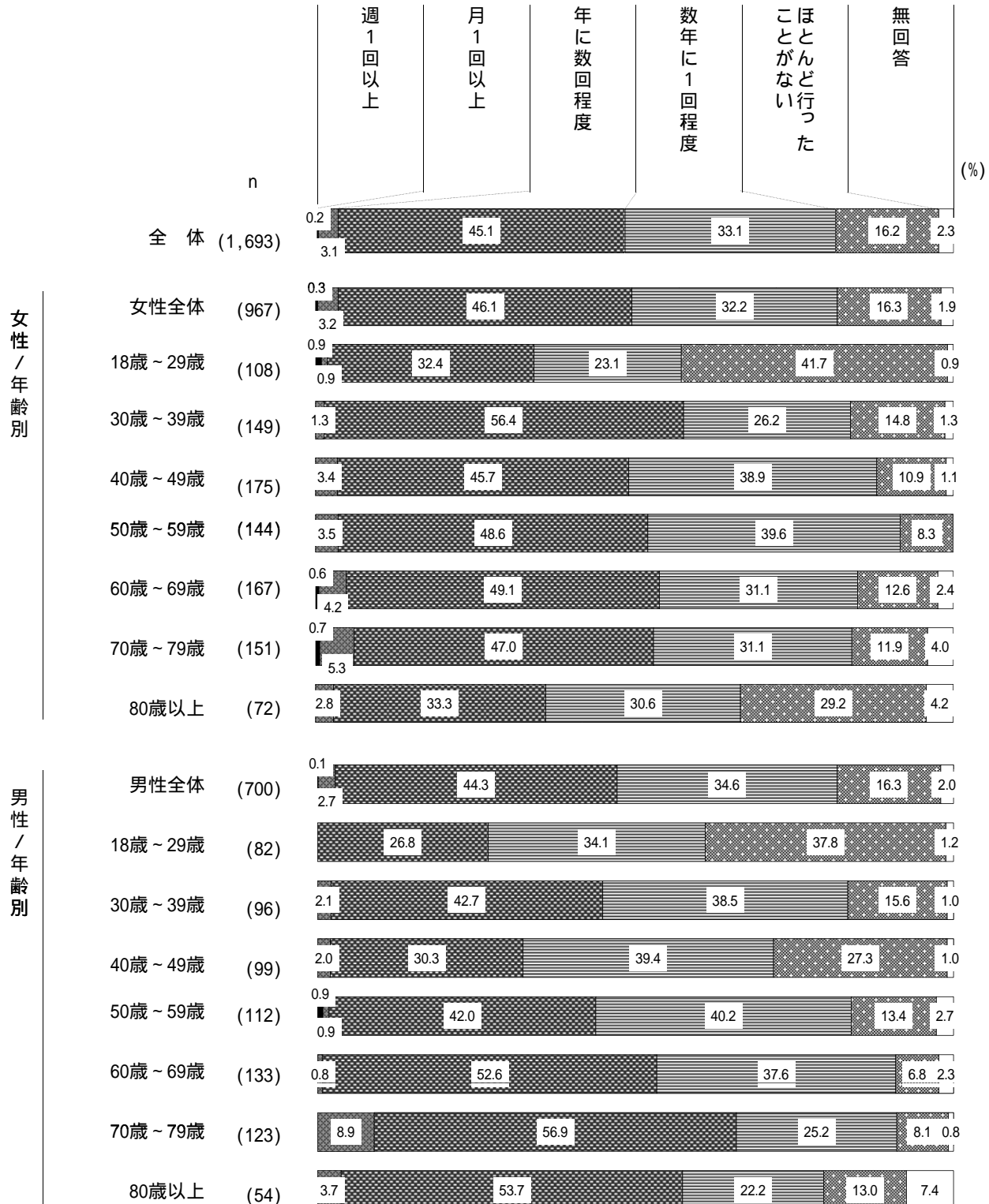
図表8-2 区役所へ出かける頻度(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表8-3)

- ・「月1回以上」は、男性70歳～79歳(8.9%)で高い。
- ・「年に数回程度」は、女性30歳～39歳(56.4%)と男性60歳以上で高く、男女とも18歳～29歳と女性80歳以上(33.3%)で低い。
- ・「数年に1回程度」は、女性18歳～39歳と男性70歳以上で低い。
- ・「ほとんど行ったことがない」は、男女とも18歳～29歳で高く、女性50歳～59歳(8.3%)と男性60歳～69歳(6.8%)で低い。
- ・男女とも18歳～29歳で、区役所へ出かける頻度が低い傾向である。

図表8-3 区役所へ出かける頻度(性×年齢別)

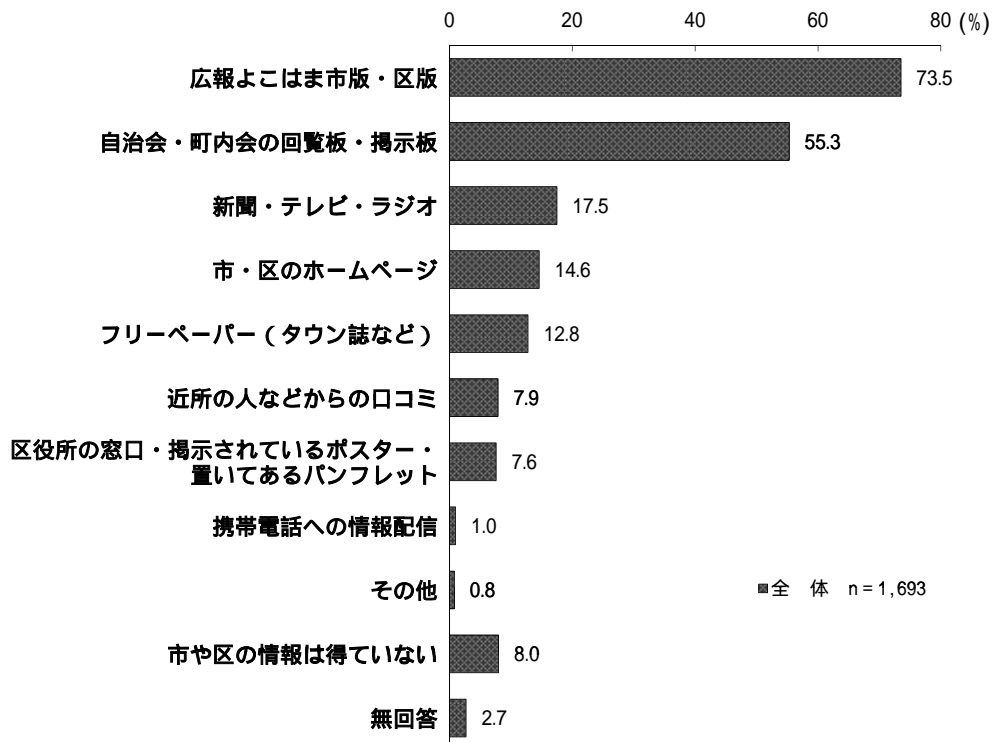


8 - 2 市政・区政情報の入手方法

「広報よこはま市版・区版」が7割半ばで特に高い

問 34 あなたは、保土ヶ谷区や横浜市が発信する行政や地域の情報を何から得ていますか。
(はいくつでも)

図表8-4 市政・区政情報の入手方法（複数回答）



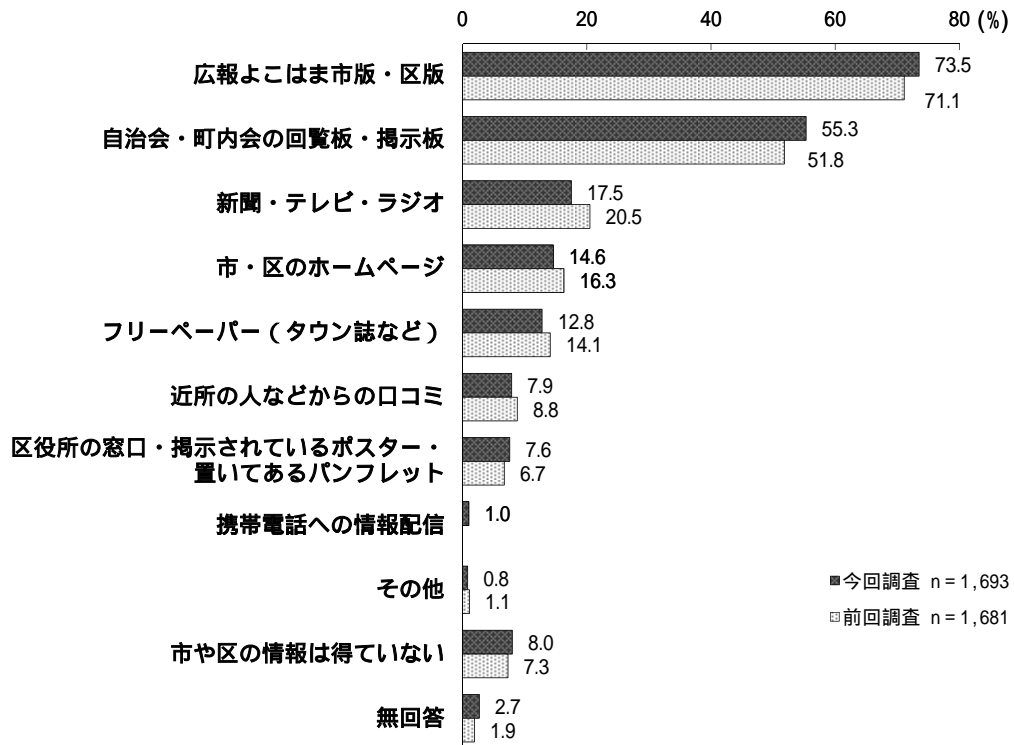
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表8-4)

- ・「広報よこはま市版・区版」(73.5%)
- ・「自治会・町内会の回覧板・掲示板」(55.3%)
- ・「新聞・テレビ・ラジオ」(17.5%)
- ・「市・区のホームページ」(14.6%)
- ・「フリーペーパー（タウン誌など）」(12.8%)
- ・「近所の人などからの口コミ」(7.9%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表8-5)

「携帯電話への情報配信」は、今回の調査で新たに追加された項目のため、比較出来ない。

図表8-5 市政・区政情報の入手方法（前回調査との比較）

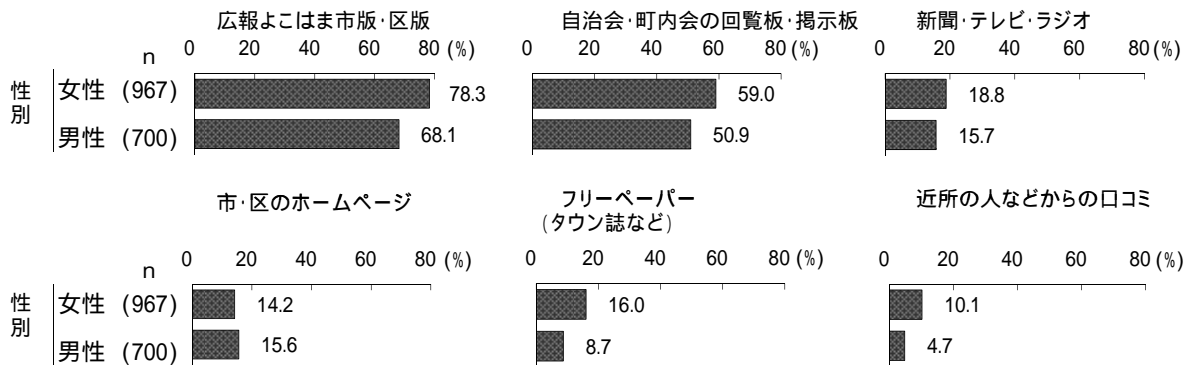


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-6)

- ・「広報よこはま市版・区版」は、女性(78.3%)で男性より10.2ポイント高い。
- ・「自治会・町内会の回覧板・掲示板」は、女性(59.0%)で男性より8.1ポイント高い。
- ・「フリーペーパー(タウン誌など)」は、女性(16.0%)で男性より7.3ポイント高い。
- ・「近所の人などからの口コミ」は、女性(10.1%)で男性より5.4ポイント高い。

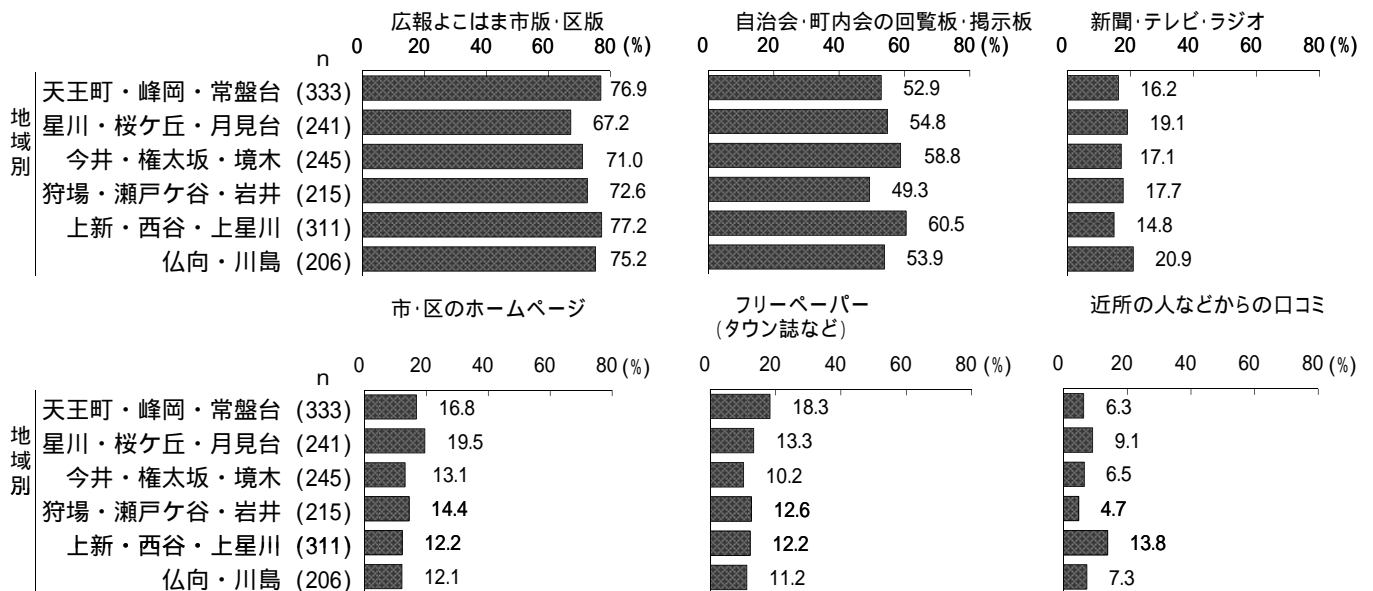
図表8-6 市政・区政情報の入手方法(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-7)

- ・「広報よこはま市版・区版」は、星川・桜ヶ丘・月見台(67.2%)で低い。
- ・「自治会・町内会の回覧板・掲示板」は、狩場・瀬戸ヶ谷・岩井(49.36%)で低い。
- ・「フリーペーパー(タウン誌など)」は、天王町・峰岡・常盤台(18.3%)で高い。
- ・「近所の人などからの口コミ」は、上新・西谷・上星川(13.8%)で高い。

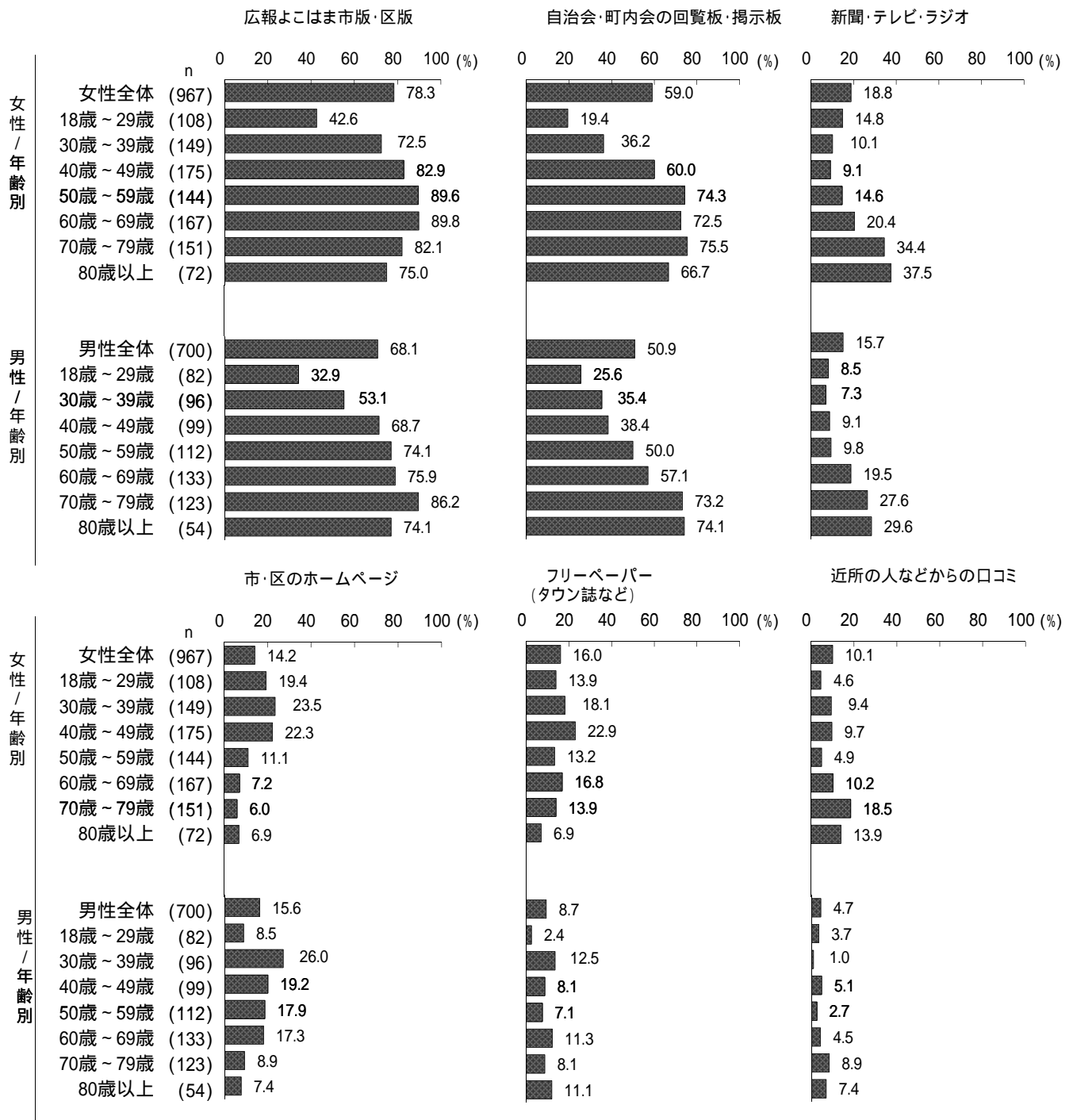
図表8-7 市政・区政情報の入手方法(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表8-9)

- ・「広報よこはま市版・区版」は、男女とも18歳～29歳が特に低く、女性は50歳～69歳、男性は70歳～79歳(86.2%)がピークで高く、80歳以上で若干低くなる傾向がある。
- ・「自治会・町内会の回覧板・掲示版」は、男女とも18歳～29歳が特に低く、女性は50歳～79歳がピークで高く、80歳以上で若干低くなり、男性は年代が上がるにつれ高くなる傾向がある。
- ・「新聞・テレビ・ラジオ」は、男女とも18歳～59歳で低く、60歳以上で年代が上がるにつれ高くなる傾向がある。
- ・「市・区のホームページ」は、女性18歳～49歳と男性30歳～69歳の年代で高い。
- ・「フリーペーパー(タウン誌など)」は、女性40歳～49歳(22.9%)で高く、男性18歳～29歳(2.4%)で低い。
- ・「近所の人などからの口コミ」は、女性60歳～79歳で高く、男性30歳～39歳(1.0%)で低い。

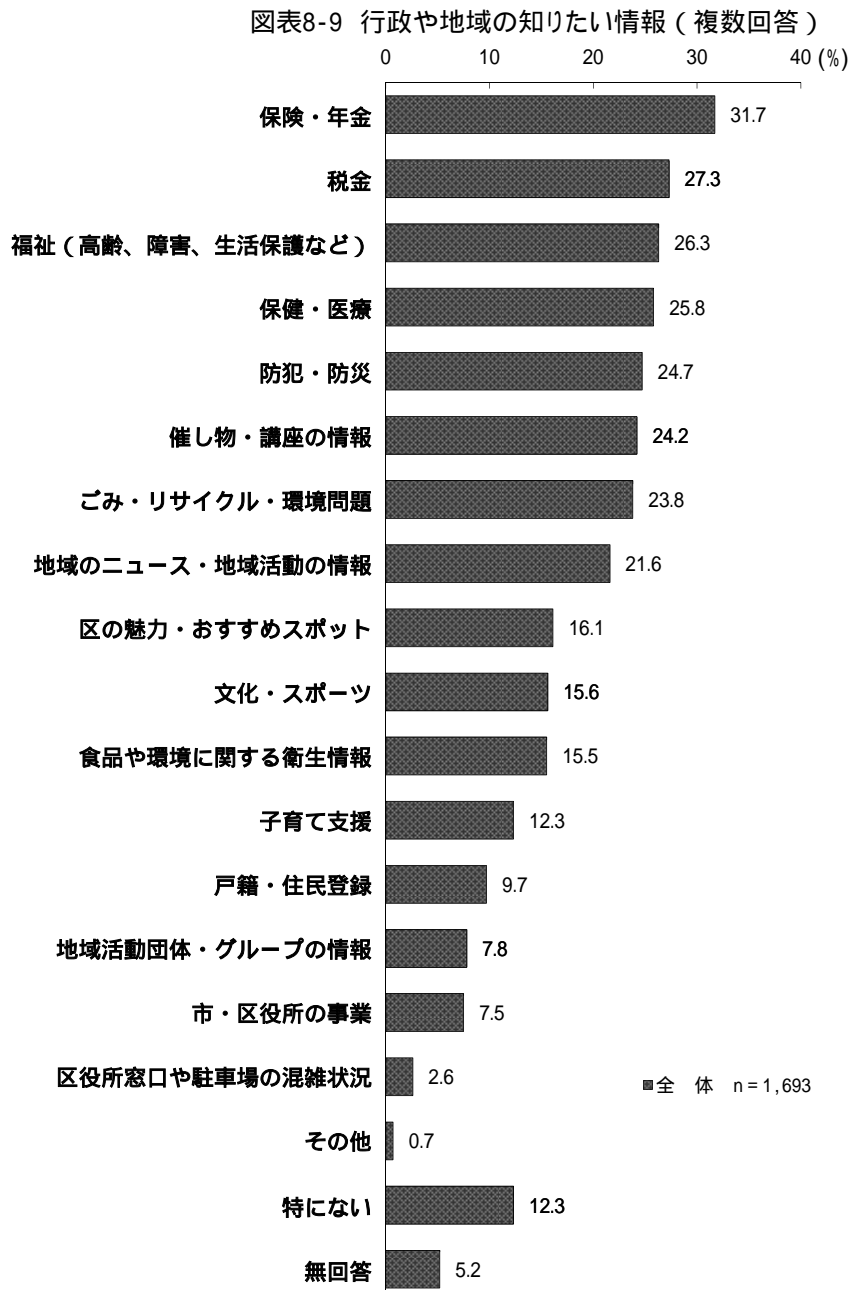
図表8-8 市政・区政情報の入手方法(性×年齢別、上位項目)



8 - 3 行政や地域の知りたい情報

「保険・年金」が3割前半で最も高く、次いで、「税金」、「福祉(高齢、障害、生活保護など)」が2割後半

問 35 あなたが、行政や地域の情報の中で知りたいものはどれですか。(はいくつでも)



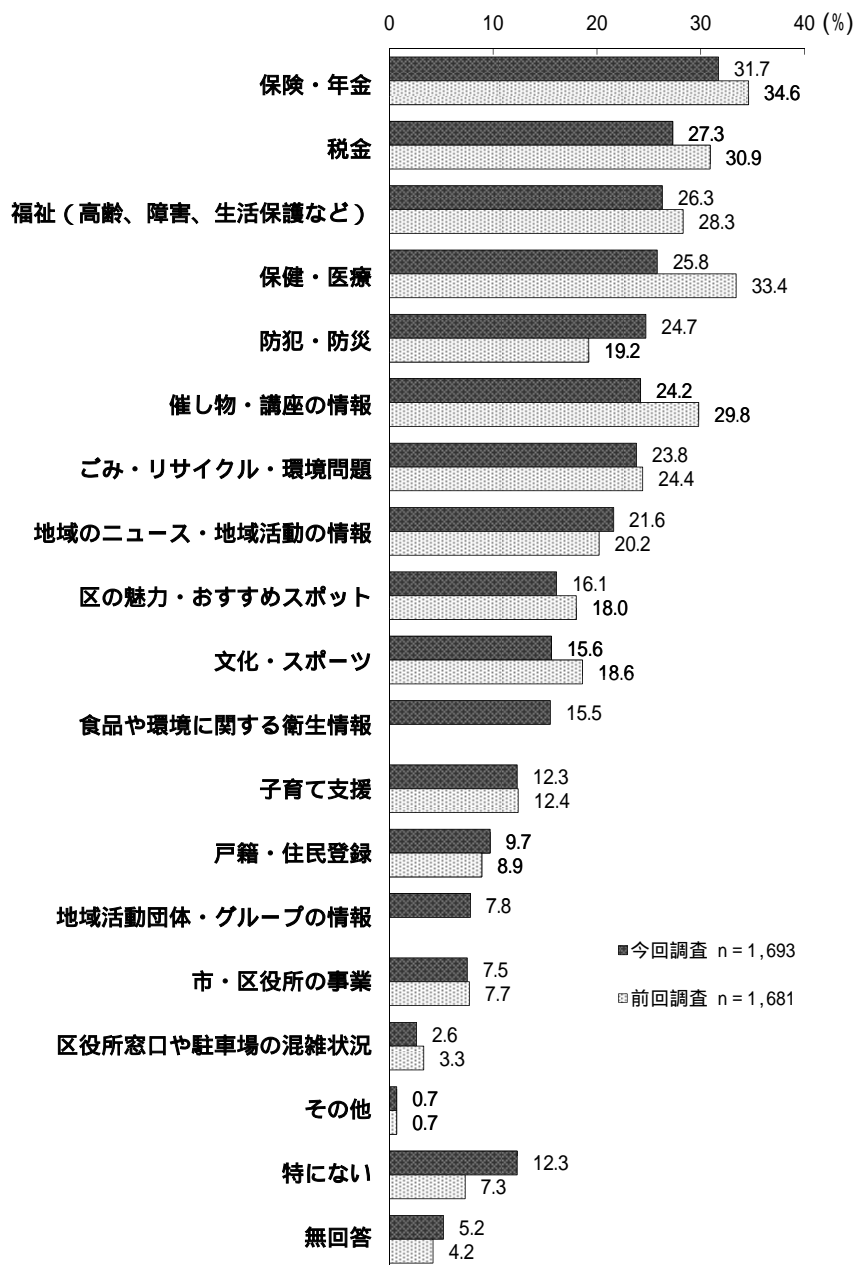
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表8-9)

- ・「保険・年金」(31.7%)
- ・「税金」(27.3%)
- ・「福祉(高齢、障害、生活保護など)」(26.3%)
- ・「保健・医療」(25.8%)
- ・「防犯・防災」(24.7%)
- ・「催し物・講座の情報」(24.2%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表8-10)

- ・「税金」は、3.6ポイント減少したが、3番目(30.9%)から2番目(27.3%)に上がった。
 - ・「福祉(高齢、障害、生活保護など)」は、2.1ポイント減少したが、5番目(28.3%)から3番目(26.3%)に上がった。
 - ・「保健・医療」は、7.6ポイント減少し、2番目(33.4%)から4番目(25.8%)に下がった。
 - ・「防犯・防災」は、4.6ポイント増加し、8番目(19.2%)から5番目(24.7%)に上がった。
 - ・「催し物・講座の情報」は、5.6ポイント減少し、4番目(29.8%)から6番目(24.2%)に下がった。
 - ・「ごみ・リサイクル・環境問題」は、6番目(24.4%)から7番目(23.8%)に下がった。
 - ・「地域のニュース・地域活動の情報」は、7番目(20.2%)から8番目(21.6%)に下がった。
 - ・「区の魅力・おすすめスポット」は、1.9ポイント減少したが、10番目(18.0%)から9番目(16.1%)に上がった。
 - ・「文化・スポーツ」は、3.0ポイント減少し、9番目(18.6%)から10番目(15.6%)に下がった。
 - ・「子育て支援」は、13番目(12.4%)から12番目(12.3%)に上がった。
 - ・「戸籍・住民登録」は、14番目(8.9%)から13番目(9.7%)に上がった。
 - ・「特にない」は、5.0ポイント増加した。
- 「食品や環境に関する衛生情報」と「食地域活動団体・グループの情報」は、前回調査の項目と入替えて今回調査で新たに追加された項目のため、比較出来ない。

図表8-10 行政や地域の知りたい情報(前回調査との比較)

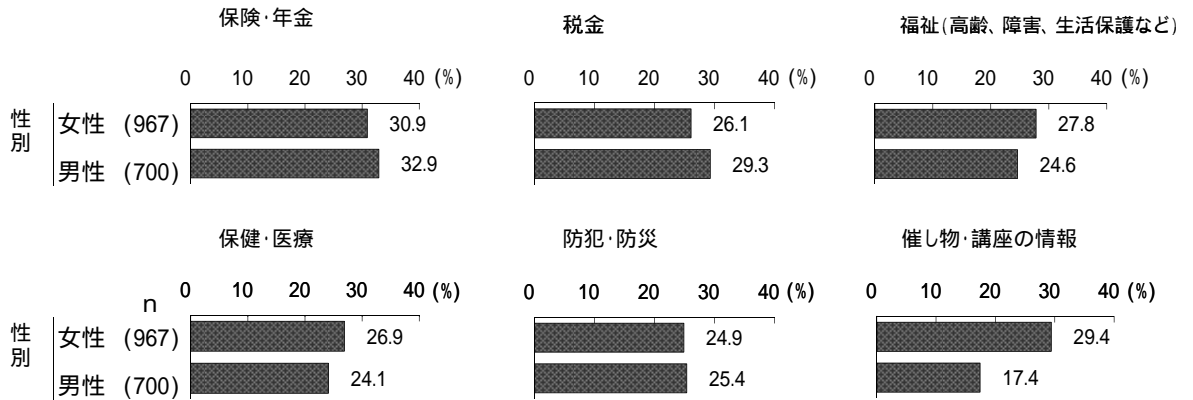


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-11)

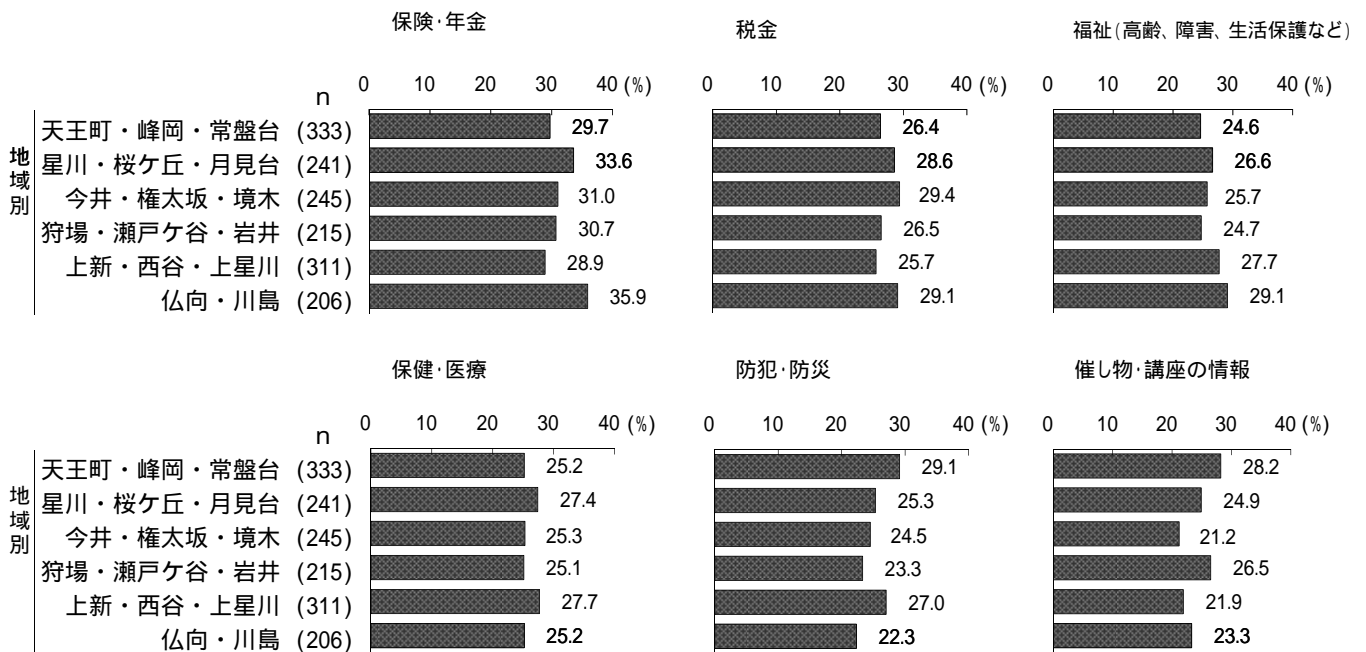
- ・「催し物・講座の情報」は、女性(29.4%)で男性より12.0ポイント高い。

図表8-11 行政や地域の知りたい情報(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、大きな差はみられない。(図表8-12)

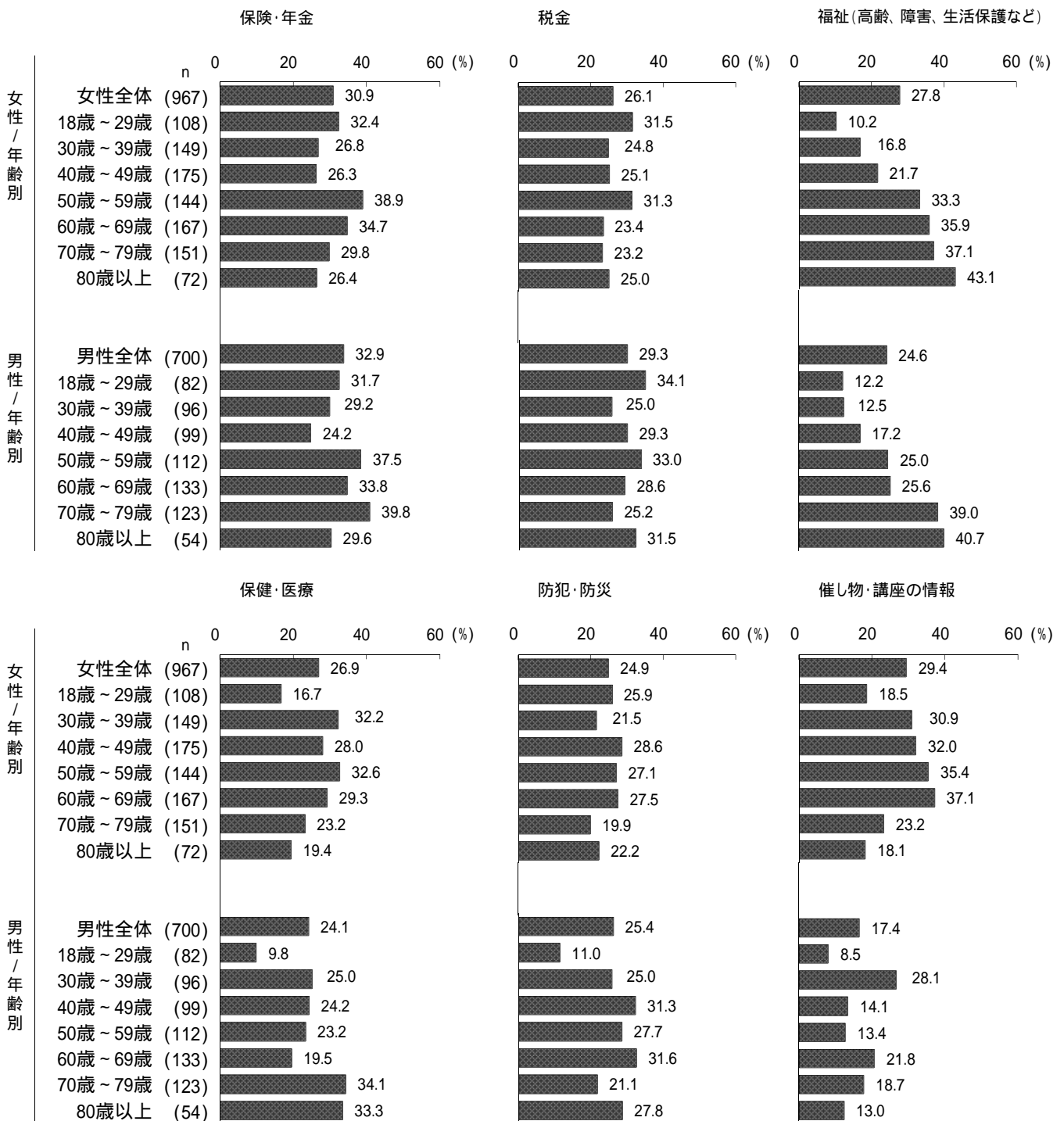
図表8-12 行政や地域の知りたい情報(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表8-13)

- ・「保険・年金」は、女性50歳～59歳(38.9%)と男性70歳～79歳(39.8%)で高く、男性40歳～49歳(24.2%)で低い。
- ・「福祉(高齢、障害、生活保護など)」は、男女とも18歳～29歳が特に低く、年代が上がるにつれ高くなる傾向がある。
- ・「保健・医療」は、男性70歳以上で高く、男女とも18歳～29歳と女性80歳以上(19.4%)で低い。
- ・「防犯・防災」は、男性18歳～29歳(11.0%)で低い。
- ・「催し物・講座の情報」は、女性50歳～69歳と男性30歳～39歳(28.1%)で高く、男女とも18歳～29歳と80歳以上で低い。

図表8-13 行政や地域の知りたい情報(性×年齢別、上位6項目)

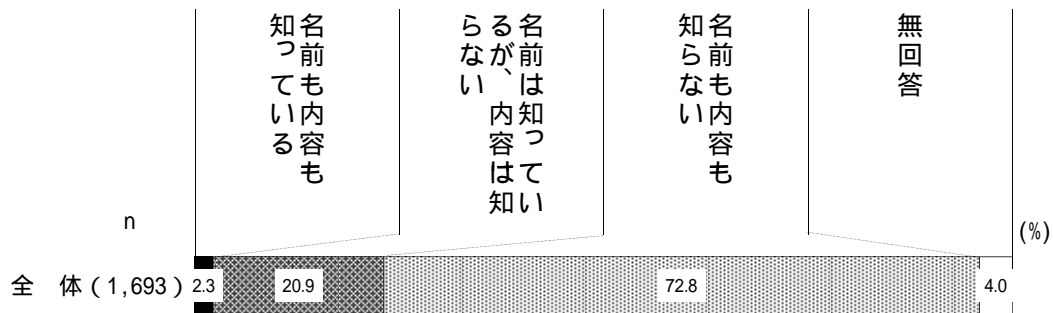


8 - 4 「保土ヶ谷区区政運営方針」の認知度

「名前も内容も知らない」が7割前半

問 36 あなたは、「保土ヶ谷区区政運営方針」*を知っていますか。(は1つ)

図表8-14 「保土ヶ谷区区政運営方針」の認知度



* 横浜市では、区民に身近な総合行政機関として、区役所の総合性や信頼性を一層高め、個性ある区づくりや、区民の皆さまに分かりやすい区政を推進するため、平成15年度から区政運営方針を策定し、公表しています。

区政運営方針は区役所の窓口や区ホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kuseiunei/>

(全体) 3項目を上位から並べると以下となる。(図表8-14)

- ・「名前も内容も知らない」(72.8%)
- ・「名前は知っているが、内容は知らない」(20.3%)
- ・「名前も内容も知っている」(2.9%)

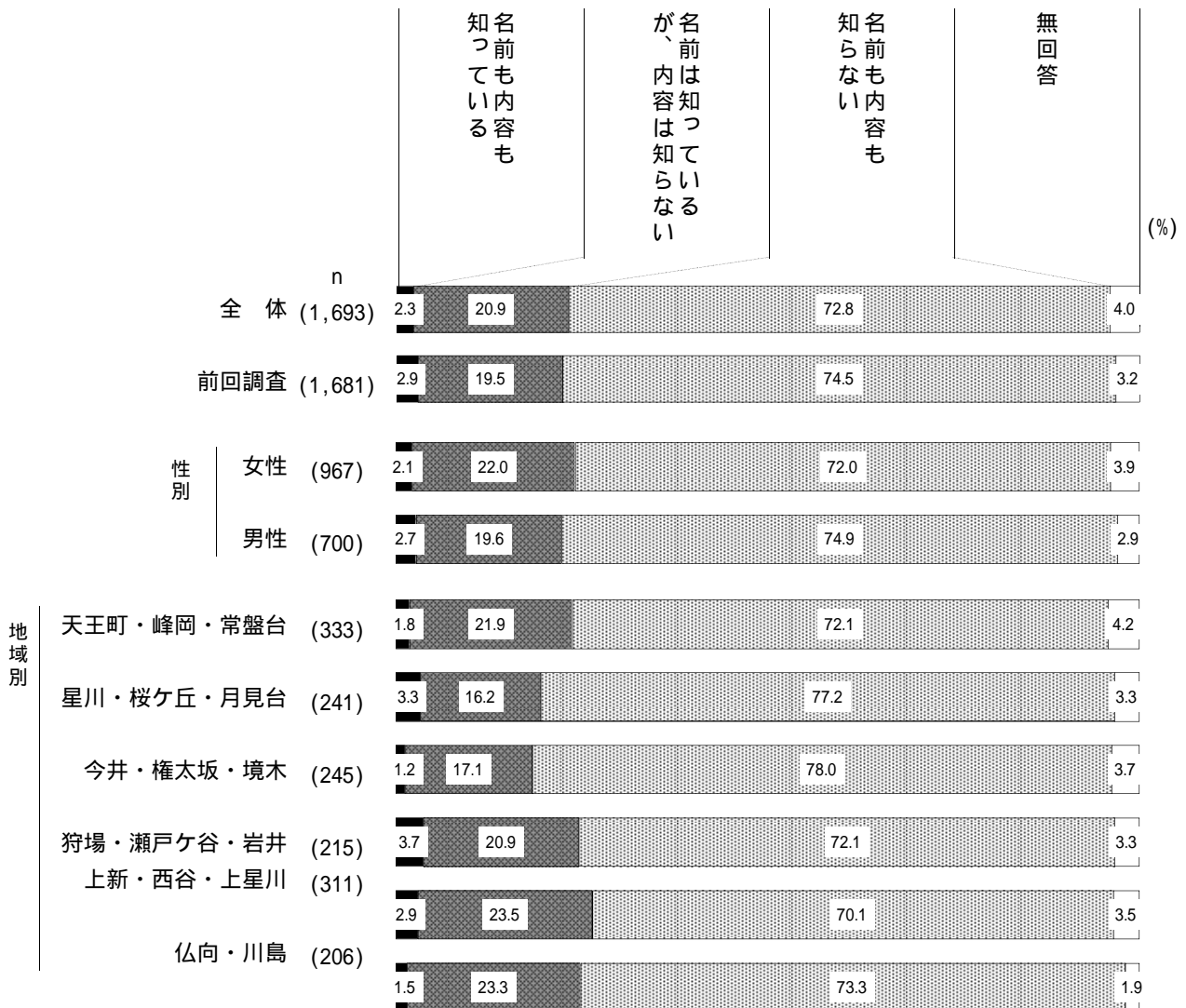
(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられない。(図表8-15)

(性別) 性別にみて、大きな差はみられない。(図表8-15)

(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-15)

- ・「名前は知っているが、内容は知らない」は、星川・桜ヶ丘・月見台(16.2%)と今井・権太坂・境木(17.1%)で低い。
- ・「名前も内容も知らない」は、星川・桜ヶ丘・月見台(77.2%)と今井・権太坂・境木(78.0%)で高い。

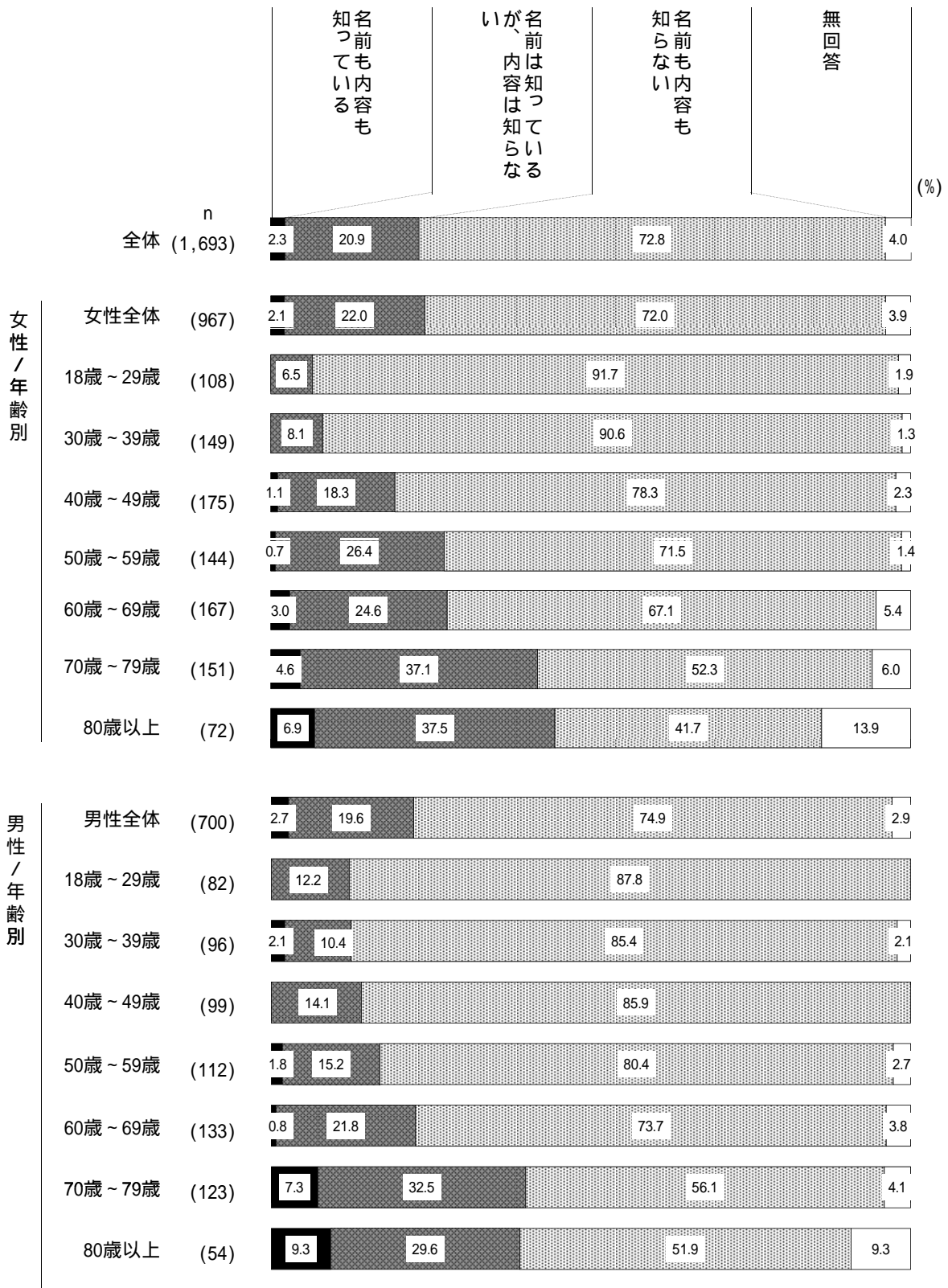
図表8-15 「保土ヶ谷区区政運営方針」の認知度(前回調査・性別・地域別)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表8-16)

- ・「名前も内容も知っている」と「名前は知っているが、内容は知らない」は、年齢が上がるにつれ高くなる傾向がある。
- ・「名前も内容も知らない」は、年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。

図表8-16 「保土ヶ谷区区政運営方針」の認知度(性×年齢別)

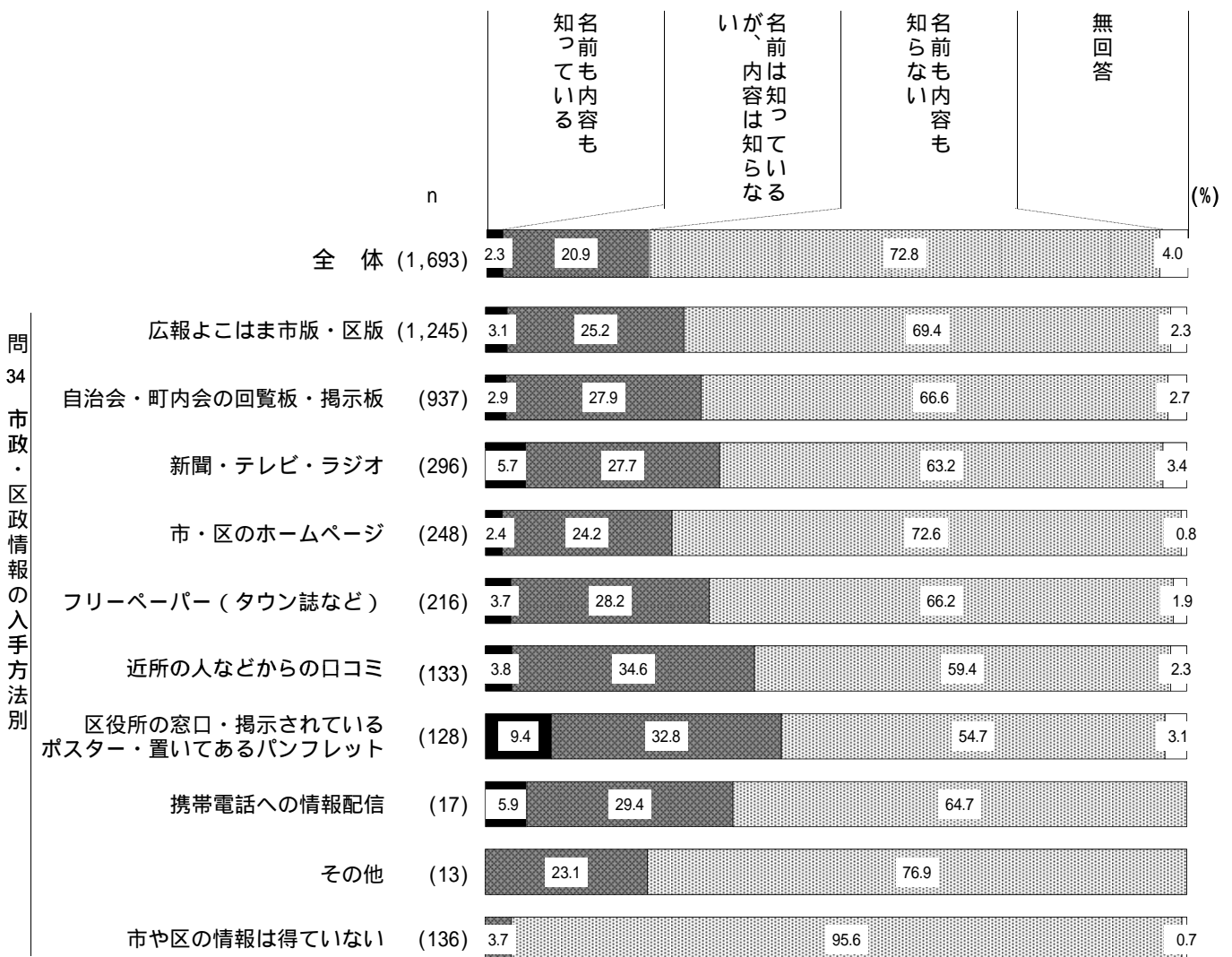


(市政・区政情報の入手方法別) 市政・区政情報の入手方法別にみると、差があるのは以下の箇所となる。

(図表8-17)

- ・「名前も内容も知っている」は、「区役所の窓口・掲示されているポスター・パンフレット」(9.4%)で高い。
- ・「名前は知っているが、内容は知らない」は、「近所の人などからの口コミ」(34.6%)と「区役所の窓口・掲示されているポスター・パンフレット」(32.8%)で高く、「市や区の情報は得ていない」(3.7%)で特に低い。
- ・「名前も内容も知らない」は、「市や区の情報は得ていない」(95.6%)で特に高く、「近所の人などからの口コミ」(59.4%)と「区役所の窓口・掲示されているポスター・パンフレット」(54.7%)で特に低い。

図表8-17 「保土ヶ谷区区政運営方針」の認知度（問34市政・区政情報の入手方法別）

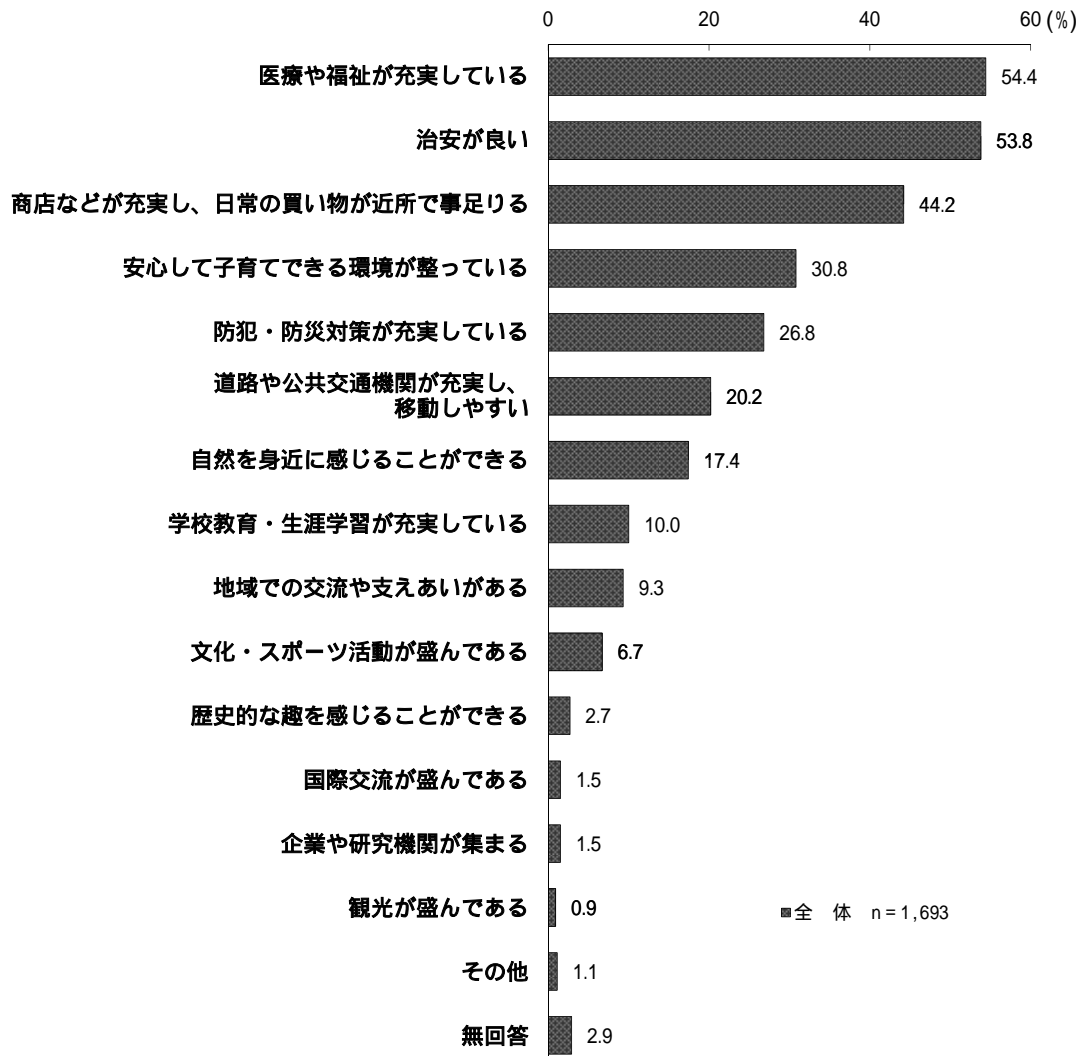


8-5 望ましい区的发展方向

「医療や福祉が充実している」、「治安が良い」が5割半ば

問 37 あなたは、保土ヶ谷区が、将来どのようなまちに発展することが望ましいと思いますか。
(は3つまで)

図表8-18 望ましい区的发展方向(複数回答)



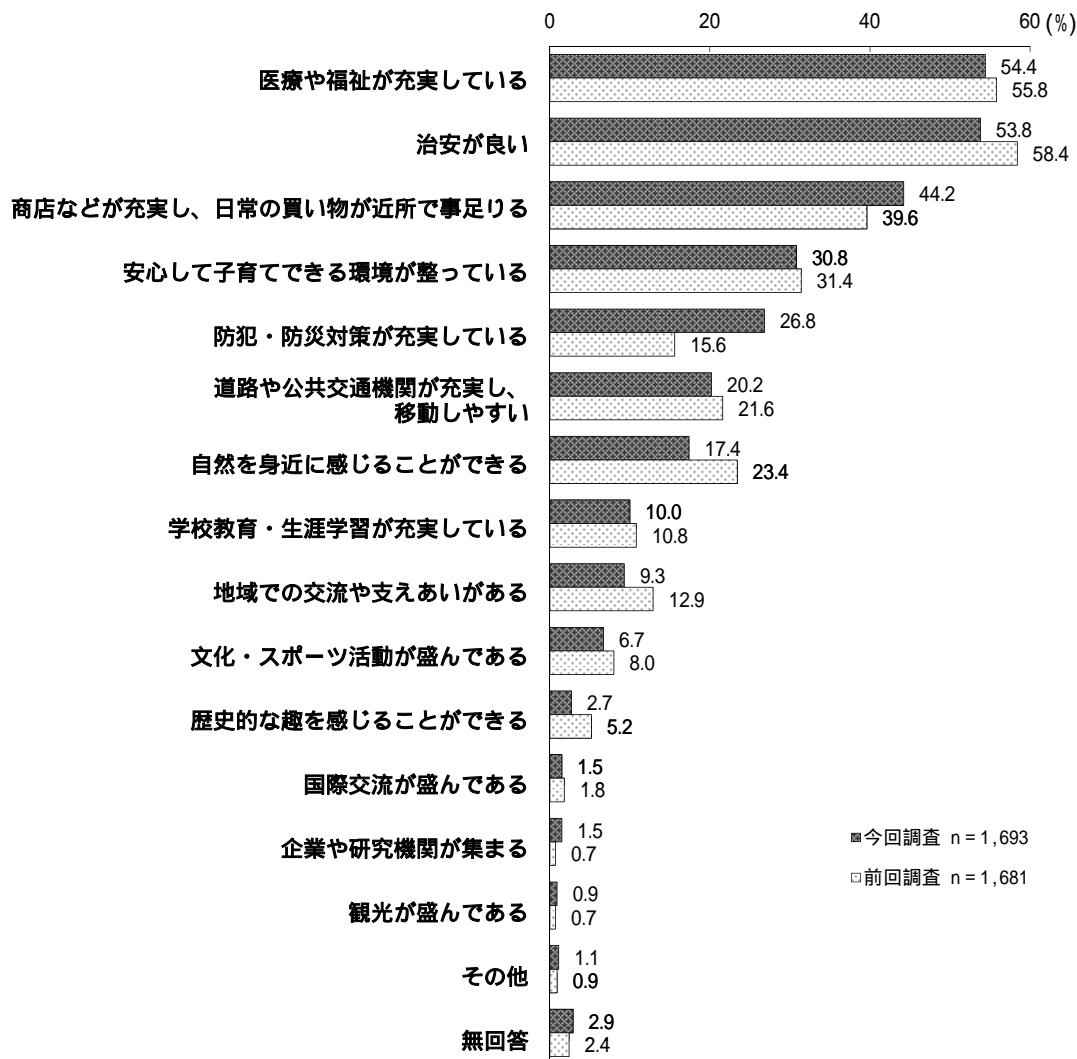
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表8-18)

- ・「医療や福祉が充実している」(54.4%)
- ・「治安が良い」(53.8%)
- ・「商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りる」(44.2%)
- ・「安心して子育てできる環境が整っている」(30.8%)
- ・「防犯・防災対策が充実している」(26.8%)
- ・「道路や公共交通機関が充実し、移動しやすい」(20.2%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表8-19)

- ・「医療や福祉が充実している」は、2番目(55.8%)から1番目(54.4%)に上がった。
 - ・「治安が良い」は、4.6ポイント減少し、1番目(58.4%)から2番目(53.8%)に下がった。
 - ・「商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りる」は、4.6ポイント増加した。
 - ・「防犯・防災対策が充実している」は、11.2ポイント増加し、7番目(15.6%)から5番目(26.8%)に上がった。
 - ・「自然を身近に感じることができる」は、6.0ポイント減少し、5番目(23.4%)から7番目(17.4%)に下がった。
 - ・「学校教育・生涯学習が充実している」は、9番目(10.8%)から8番目(10.0%)に上がった。
 - ・「地域での交流や支えあいがある」は、3.6ポイント減少し、8番目(12.9%)から9番目(9.3%)に下がった。
 - ・「歴史的な趣を感じることができる」は、2.5ポイント減少した。
 - ・「企業や研究機関が集まる」は、14番目(0.7%)から13番目(1.5%)に上がった。
 - ・「観光が盛んである」は、13番目(0.7%)から14番目(0.9%)に下がった。
- 「防犯・防災対策が充実している」は、前回調査の項目だと「防災対策が充実したまち」で、内容が違い厳密には比較出来ないが、近年の傾向で重要な項目のため比較した。

図表8-19 望ましい区の発展方向(前回調査との比較)

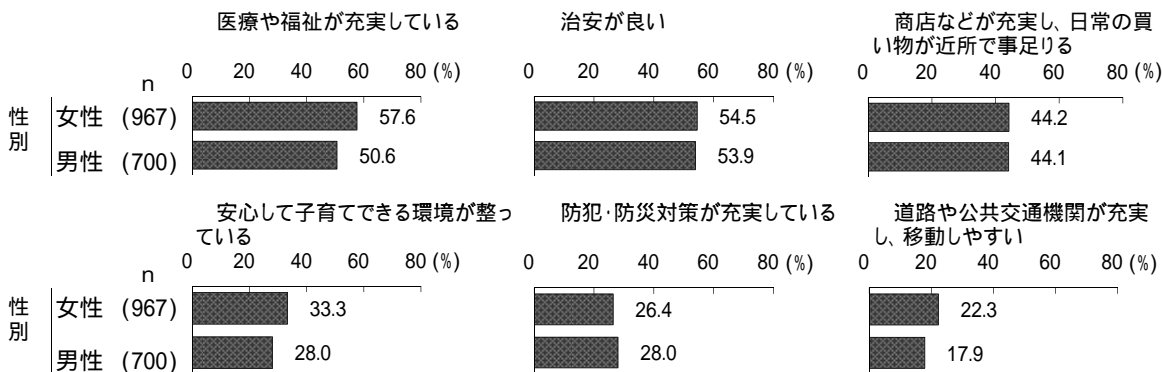


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-20)

- ・「医療や福祉が充実している」は、女性(57.6%)で男性より7.0ポイント高い。
- ・「安心して子育てできる環境が整っている」は、女性(33.3%)で男性より5.3ポイント高い。
- ・「道路や公共交通機関が移動しやすい」は、女性(23.3%)で男性より4.4ポイント高い。

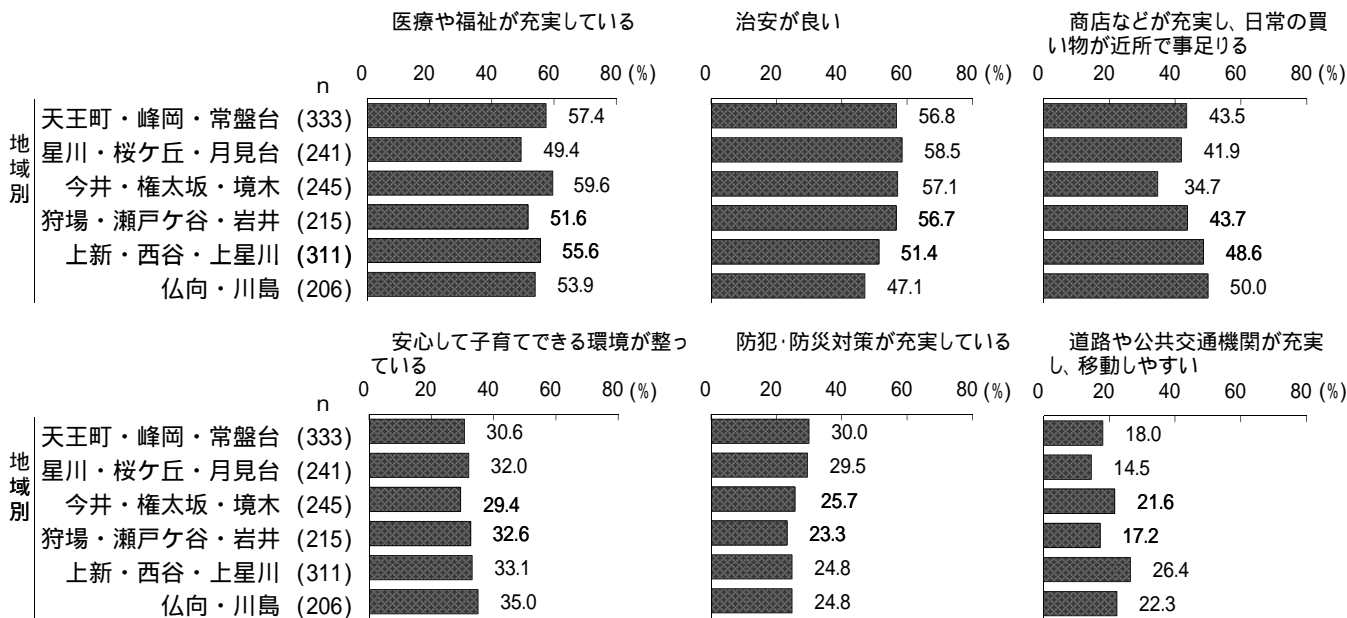
図表8-20 望ましい区的发展方向(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-21)

- ・「治安が良い」は、仏向・川島(47.1%)で低い。
- ・「商店などが充実」は、仏向・川島(50.0%)で高く、今井・権太坂・境木(34.7%)で低い。
- ・「道路や公共交通機関が移動しやすい」は、上新・西谷・上星川(26.4%)で高く、星川・桜ヶ丘・月見台(14.5%)で低い。

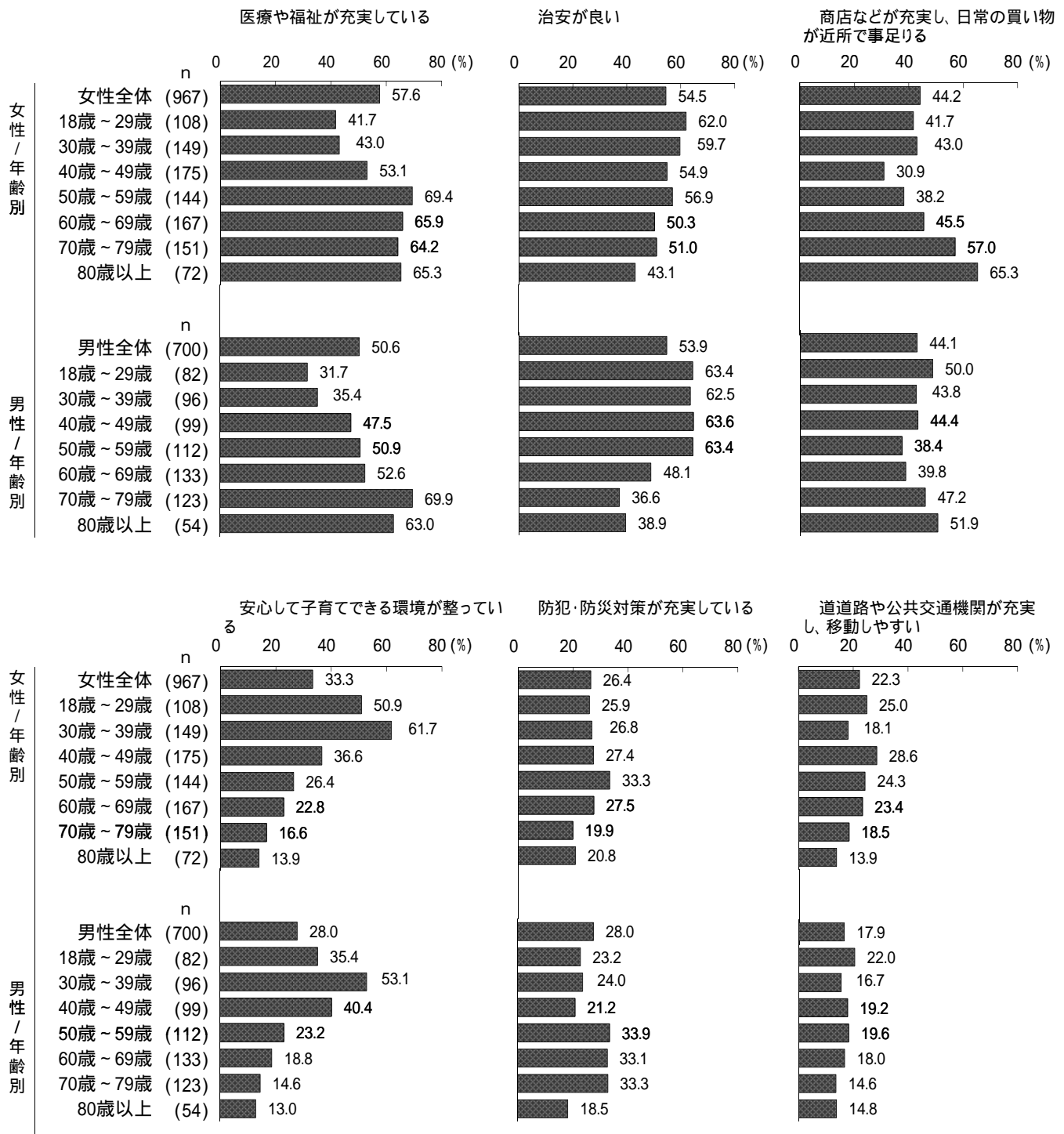
図表8-21 望ましい区的发展方向(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表8-22)

- ・「医療や福祉が充実している」は、女性50歳以上と男性70歳以上で高く、男女とも18歳～39歳で低い。
- ・「治安が良い」は、男女とも18歳～59歳が高く、60歳以上で低い。
- ・「商店などが充実」は、女性80歳以上(65.3%)で特に高く、女性40歳～49歳(30.9%)で特に低い。
- ・「安心して子育てできる環境が整っている」は、男女とも30歳～39歳がピークで高く、年齢が上がるにつれ低くなり、80歳以上で最も低い傾向がある。
- ・「防犯・防災対策が充実している」は、女性70歳以上と男性80歳以上(18.5%)で低い。
- ・「道路や公共交通機関が移動しやすい」は、女性40歳～49歳(28.6%)で高く、女性80歳以上(13.9%)で低い。

図表8-22 望ましい区の発展方向(性×年齢別、上位6項目)

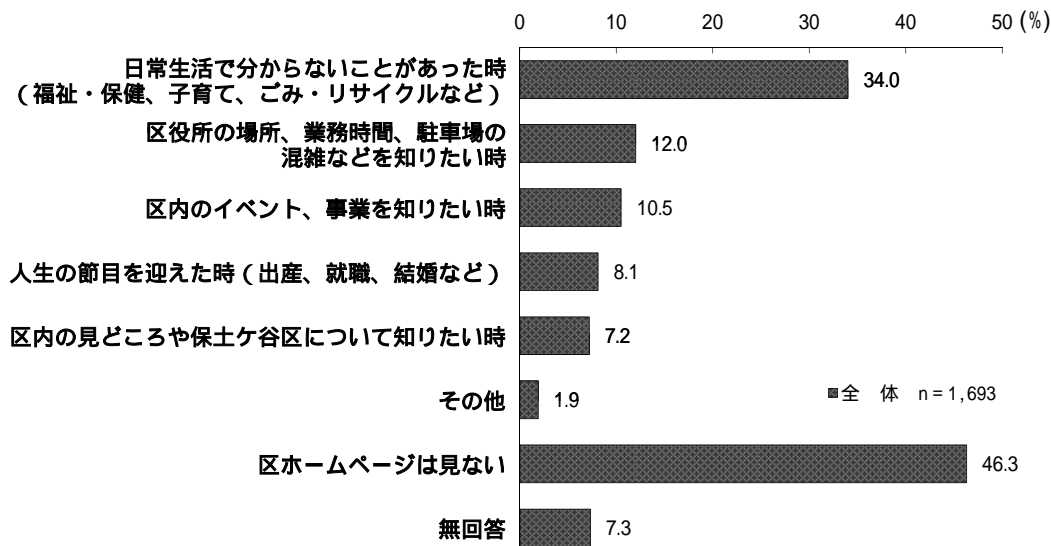


8-6 「保土ケ谷区ホームページ」を見る時

「日常生活で分からないことがあった時(福祉・保健・子育て・ごみ・リサイクルなど)が3割半ば
「区ホームページは見ない」は4割半ば

問 38 あなたは、どんなときに「保土ケ谷区ホームページ」をご覧になりますか。(はいくつでも)

図表8-23 「保土ケ谷区ホームページ」を見る時(複数回答)



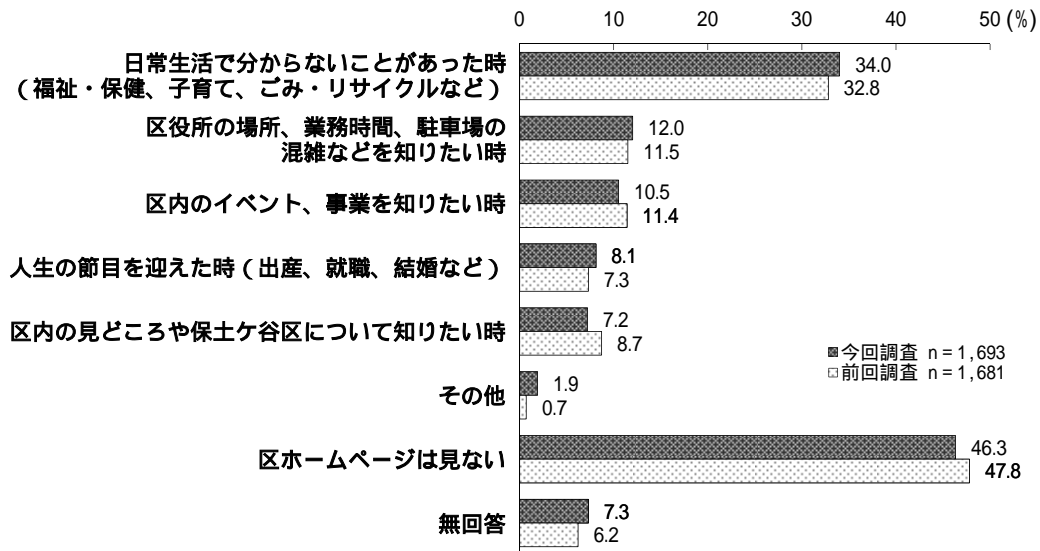
(全体) 上位6項目は以下となる。(図表8-23)

- ・「日常生活で分からないことがあった時(福祉・保健、子育て、ごみ・リサイクルなど)」(34.0%)
- ・「区役所の場所、業務時間、駐車場の混雑などを知りたい時」(12.0%)
- ・「区内のイベント、事業を知りたい時」(10.5%)
- ・「人生の節目を迎えた時(出産、就職、結婚など)」(8.1%)
- ・「区内の見どころや保土ケ谷区について知りたい時」(7.2%)
- ・「区ホームページは見ない」(46.3%)

(前回調査(平成21年度)との比較) 大きな差はみられないが、差があったのは以下となる。(図表8-24)

- ・「人生の節目を迎えた時(出産、就職、結婚など)」は、5番目(7.3%)から4番目(8.1%)に上がった。
- ・「区内の見どころや保土ヶ谷区について知りたい時」は、4番目(8.7%)から5番目(7.2%)に下がった。

図表8-24 「保土ヶ谷区ホームページ」を見る時(前回調査との比較)

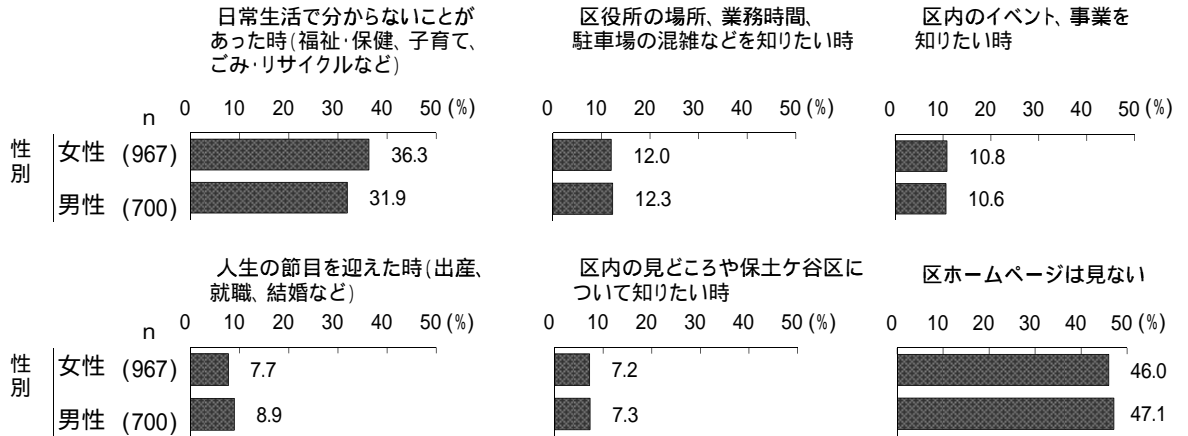


上位6項目について

(性別) 性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-25)

- ・「日常生活で分からないことがあった時(福祉・保健、子育て、ごみ・リサイクルなど)」は、女性(36.3%)で男性より4.4ポイント高い。

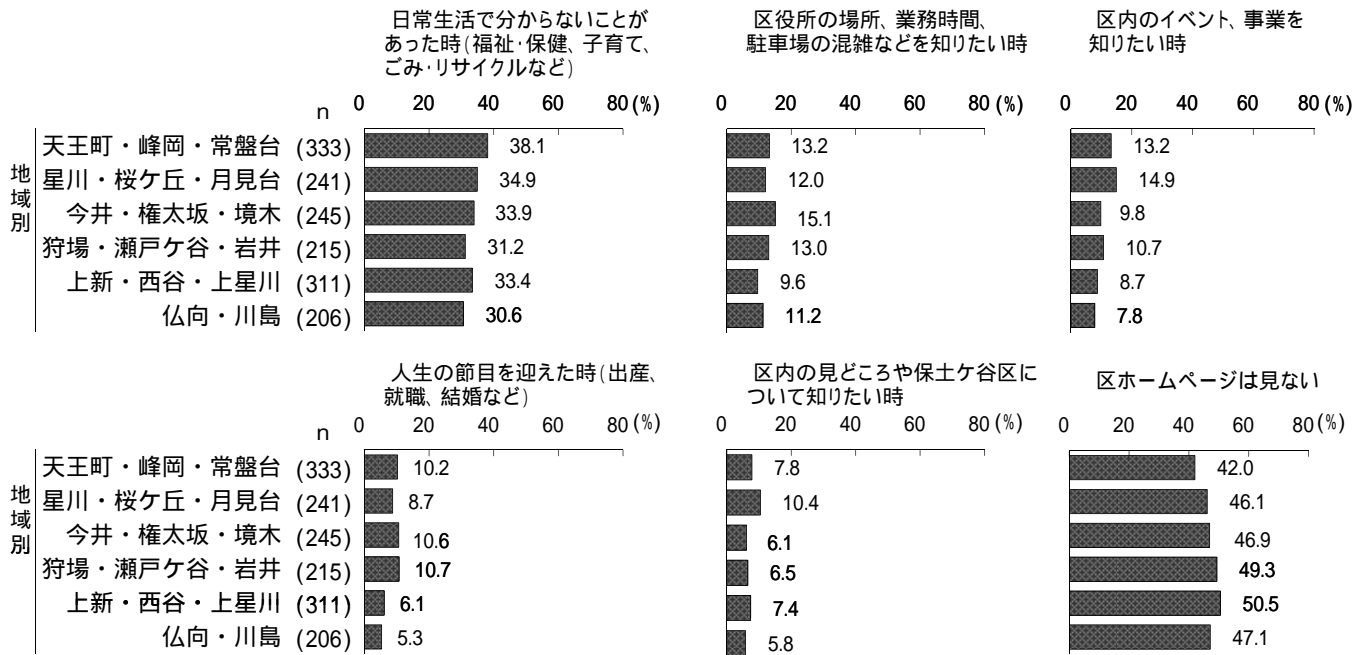
図表8-25 「保土ケ谷区ホームページ」を見る時(性別、上位6項目)



(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-26)

- ・「区内のイベント、事業を知りたい時」は、星川・桜ヶ丘・月見台(14.9%)で高い。

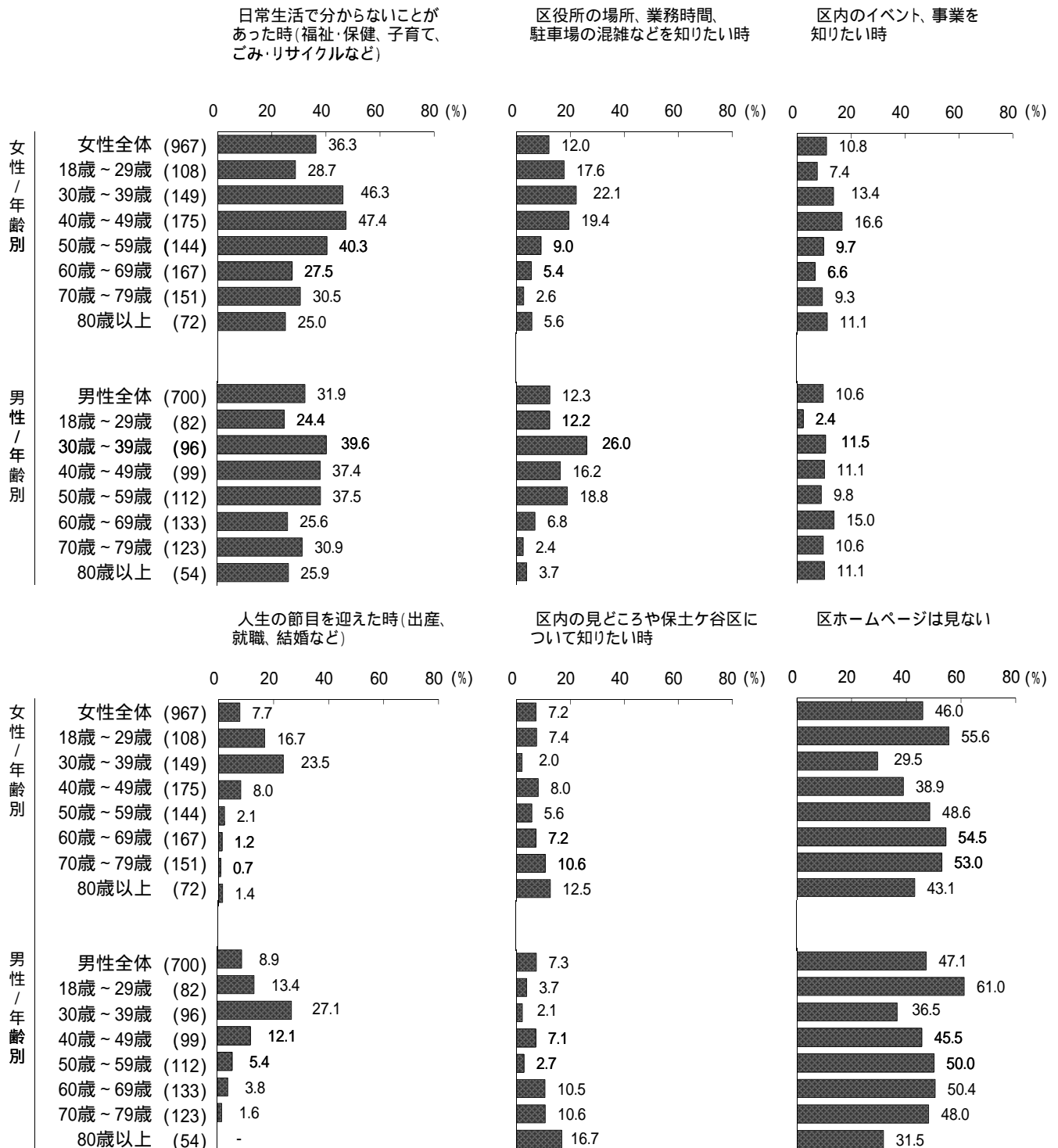
図表8-26 「保土ケ谷区ホームページ」を見る時(地域別、上位6項目)



(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。(図表8-27)

- ・「日常生活で分からないことがあった時」は、男女とも30歳～59歳が高く、それ以外は低い。
- ・「区役所の場所、業務時間、駐車場の混雑などを知りたい時」は、男女とも30歳～39歳が高く、60歳以上で低い。
- ・「区内のイベント、事業を知りたい時」は、男女とも18歳～29歳で低い。
- ・「人生の節目を迎えた時」は、男女とも18歳～49歳の特に30歳～39歳が高く、それ以外は低い。
- ・「区内の見どころや保土ヶ谷区について知りたい時」は、男女とも80歳以上で高い。
- ・「区ホームページは見ない」は、男女とも18歳～29歳が高く、30歳～39歳と80歳以上で低い。

図表8-27 「保土ヶ谷区ホームページ」を見る時(性×年齢別、上位6項目)

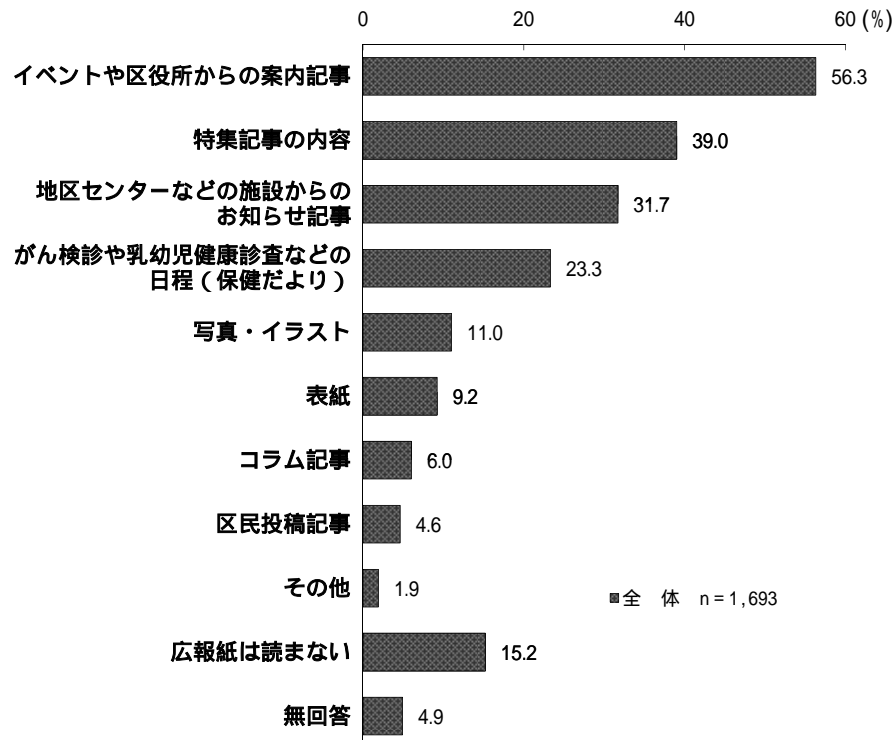


8-7 「広報ほ도가や区版」で注目するもの

「イベントや区役所の案内記事」が5割半ばで特に高い

問 39 あなたが「広報よこはま ほ도가や区版」をご覧になるときに、注目するものはどれですか。
(はいくつでも)

図表8-28 「広報ほ도가や区版」で注目するもの(複数回答)



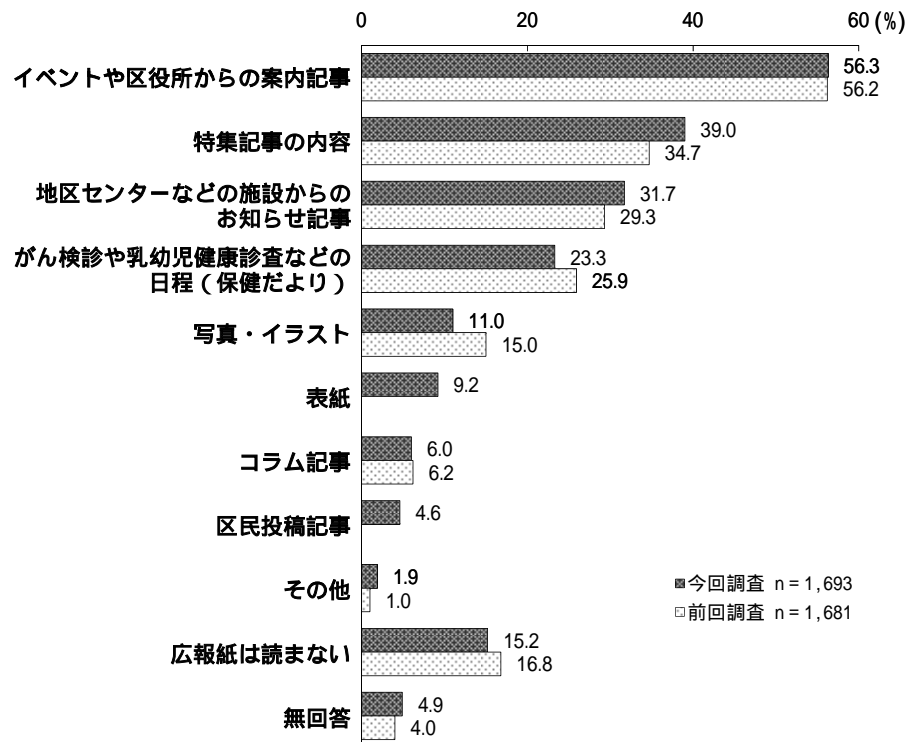
(全体) 上位5項目は以下となる。(図表8-28)

- ・「イベントや区役所からの案内記事」(56.3%)
 - ・「特集記事の内容」(39.0%)
 - ・「地区センターなどの施設からのお知らせ記事」(31.7%)
 - ・「がん検診や乳幼児健康診査などの日程(保健だより)」(23.3%)
 - ・「写真・イラスト」(11.0%)
- 「広報紙は読まない」(15.2%)である。

(前回調査(平成21年度)との比較) 差があるのは以下の箇所となる。(図表8-29)

- ・「特集記事の内容」は、4.3ポイント増加した。
- ・「施設からのお知らせ記事」は、2.4ポイント増加した。
- ・「がん検診や乳幼児健康診査などの日程」は、2.6ポイント減少した。
- ・「写真・イラスト」は、4.0ポイント減少したが、6番目(15.0%)から5番目(11.0%)に上がった。
- ・「表紙」と「区民投稿記事」は、今回調査で新たに追加された項目のため、比較出来ない。

図表8-29 「広報ほどがや区版」で注目するもの(前回調査との比較)

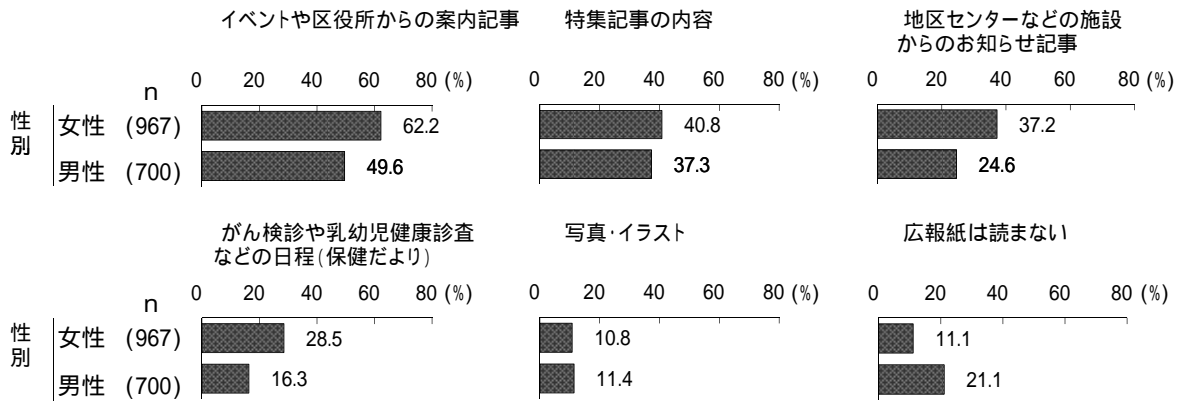


上位5項目と「広報紙は読まない」について

(性別) 上位5項目と「広報紙は読まない」を性別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-30)

- ・「イベントや区役所からの案内記事」は、女性(62.2%)で男性より12.6ポイント高い。
- ・「施設からのお知らせ記事」は、女性(37.2%)で男性より12.6ポイント高い。
- ・「がん検診や乳幼児健康診査などの日程」は、女性(28.5%)で男性より12.2ポイント高い。
- ・「広報紙は読まない」は、男性(21.1%)で女性より10.0ポイント高い。

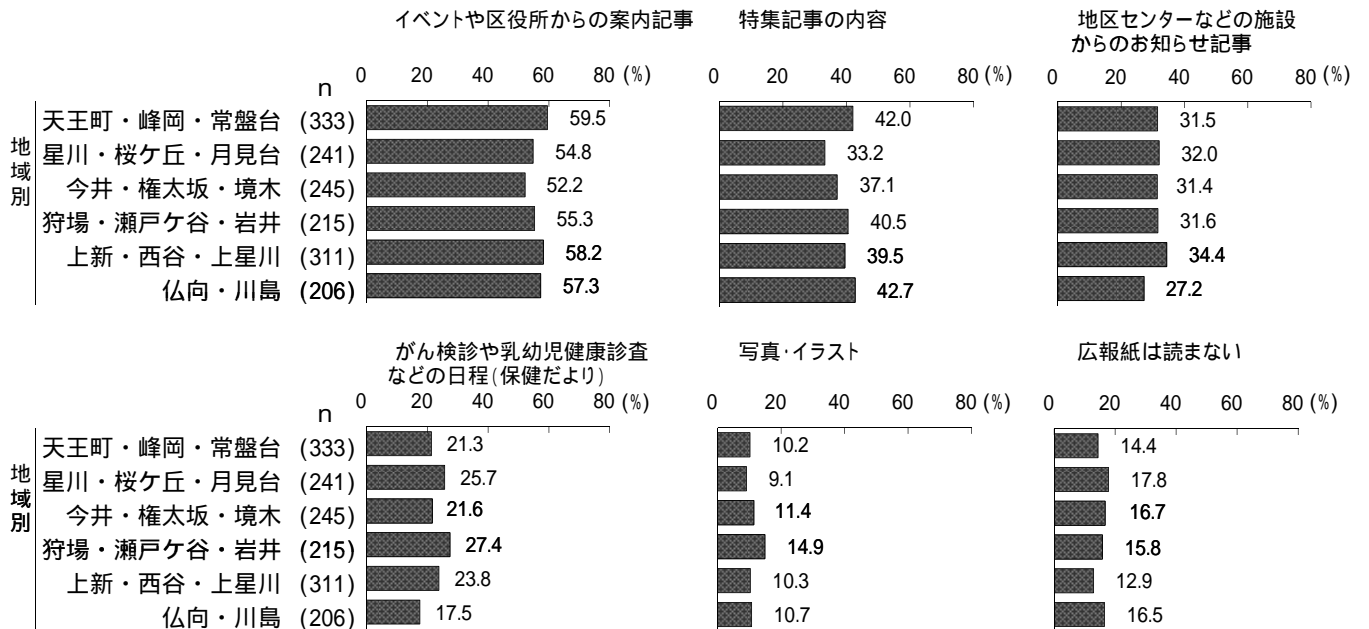
図表8-30 「広報ほどがや区版」で注目するもの(性別、上位5項目、「広報紙は読まない」)



(地域別) 上位5項目と「広報紙は読まない」を地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表8-31)

- ・「特集記事の内容」は、星川・桜ヶ丘・月見台(33.2%)で低い。
- ・「施設からのお知らせ記事」は、仏向・川島(27.2%)で低い。
- ・「がん検診や乳幼児健康診査などの日程」は、仏向・川島(17.5%)で低い。

図表8-31 「広報ほどがや区版」で注目するもの(地域別、上位5項目、「広報紙は読まない」)

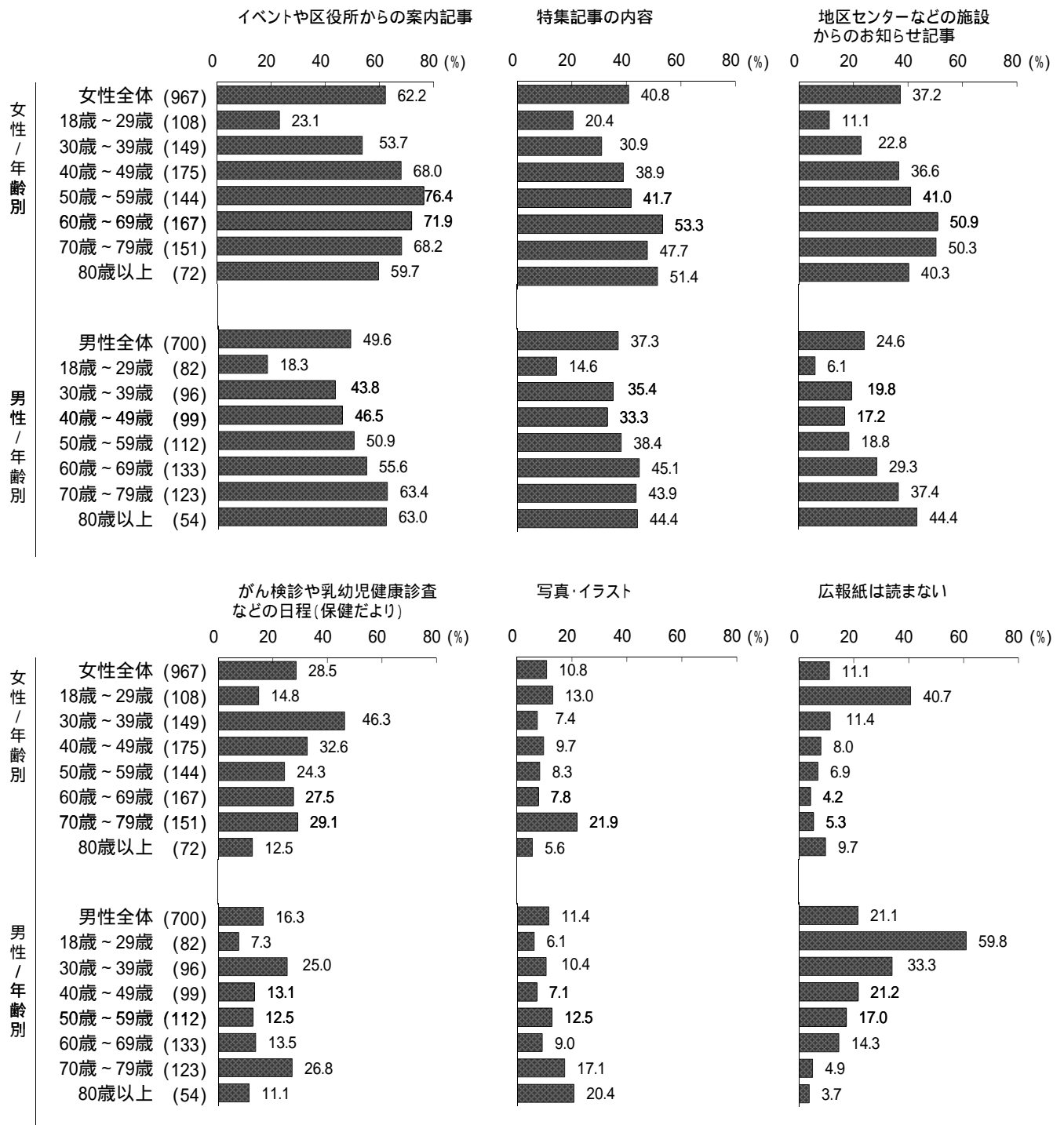


(性×年齢別) 上位5項目と「広報紙は読まない」を性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。

(図表8-32)

- ・「イベントや区役所からの案内記事」は、男女とも18歳～29歳で特に低く、女性は50歳～59歳(76.4%)がピークで高く、男性は年齢が上がるにつれ高くなる傾向がある。
- ・「特集記事の内容」は、男女とも60歳以上で高く、18歳～29歳で特に低い。
- ・「施設からのお知らせ記事」は、女性50歳以上と男性で60歳以上で高く、18歳～29歳で特に低い。
- ・「がん検診や乳幼児健康診査などの日程」は、女性30歳～39歳(46.3%)で特に高く、男女とも18歳～29歳と80歳以上で低い。
- ・「写真・イラスト」は、女性70歳～79歳(21.9%)と男性70歳以上で高く、女性80歳以上(5.6%)で低い。
- ・「広報紙は読まない」は、男女とも18歳～29歳で特に高く、年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。

図表8-32 「広報ほどがや区版」で注目するもの(性×年齢別、上位5項目、「広報紙は読まない」)



9 生活環境全般に対する重要度・満足度

9-1 重要度

『防犯対策』、『バス・電車の便』、『病院や救急医療などの地域医療』、『災害対策』が6割

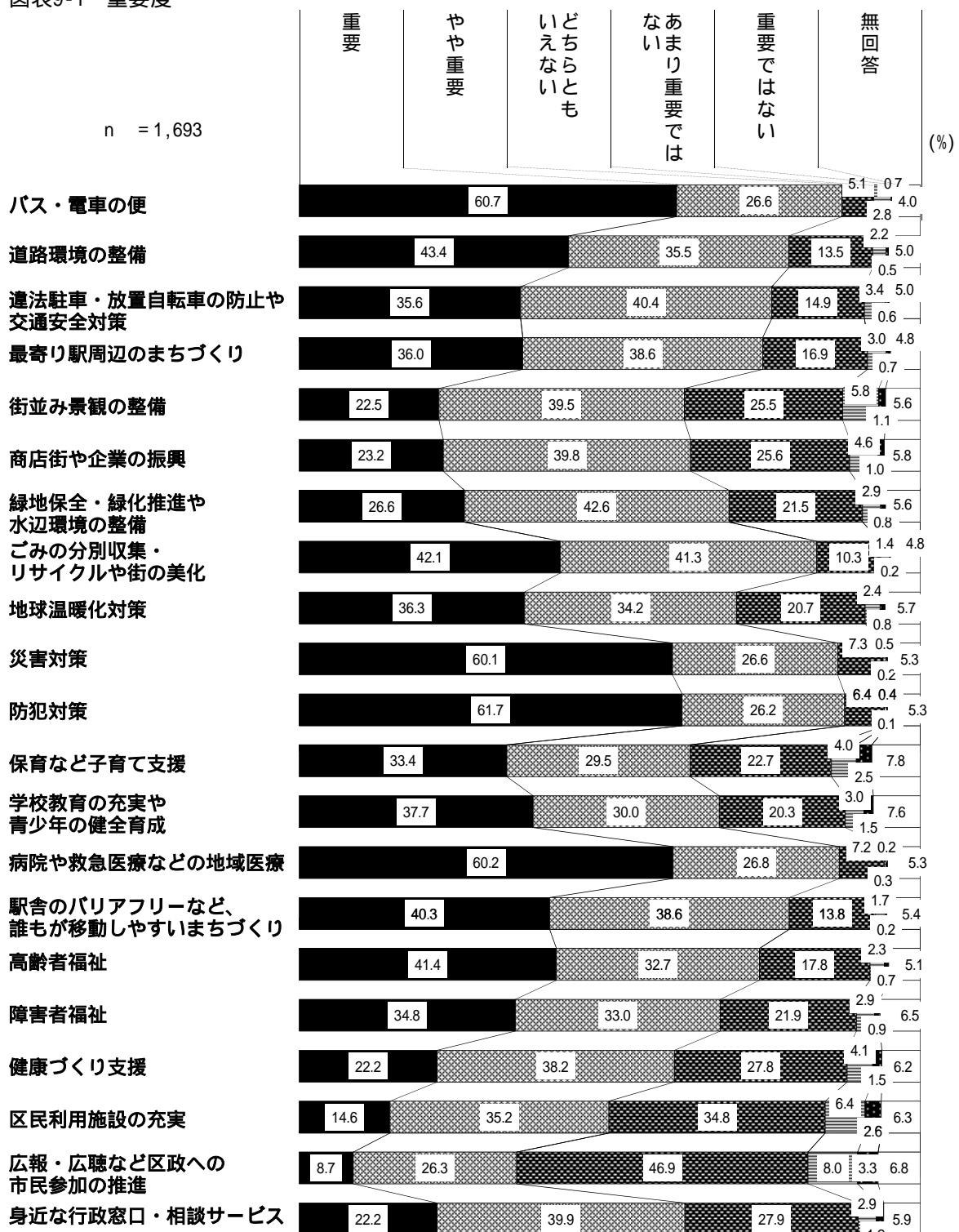
問 40 以下の各項目(1~22)について、おうかがいします

【1】あなたにとって、どの程度重要ですか。

(を1つずつ)

図表9-1 重要度

n = 1,693



【生活環境全般に対する重要度】 6割を超えている4項目を上位から並べると以下となる。(図表9-1)

- ・『防犯対策』(61.7%)
- ・『バス・電車の便』(60.7%)
- ・『病院や救急医療などの地域医療』(60.2%)
- ・『災害対策』(60.1%)

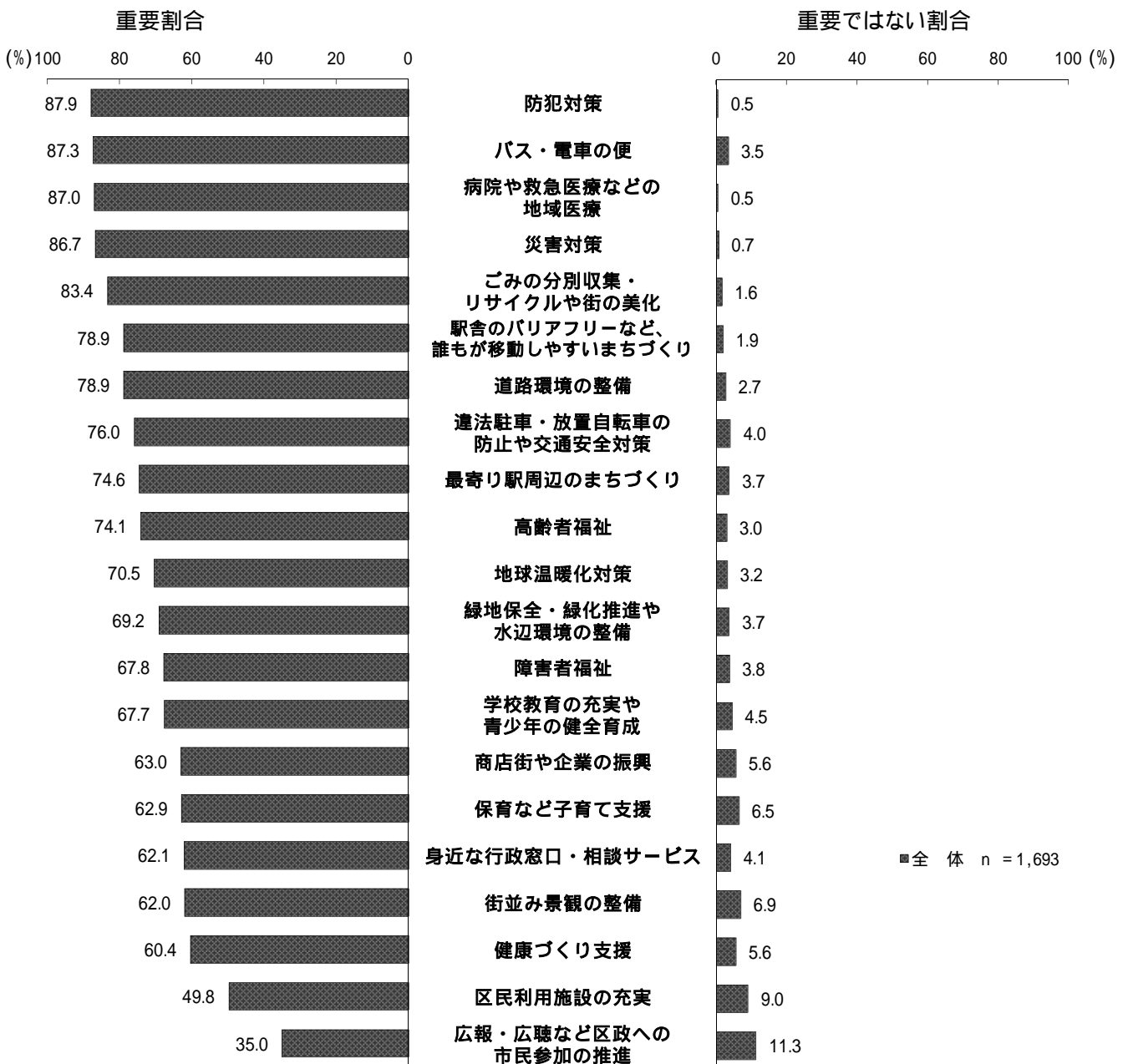
【重要】「重要」と「やや重要」をあわせた 重要 が8割を超えている5項目を上位から並べると以下となる。(図表9-2)

- ・『防犯対策』(87.9%)
- ・『バス・電車の便』(87.3%)
- ・『病院や救急医療などの地域医療』(87.0%)
- ・『災害対策』(86.7%)
- ・『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』(83.4%)

また、下位の2項目である『広報・広聴など区政への市民参加の推進』(35.0%)と『区民利用施設の充実』(49.8%)を除いては、6割を超えている。

【重要ではない】「重要ではない」と「あまり重要ではない」をあわせた 重要ではない の割合は、『広報・広聴など区政への市民参加の推進』(11.3%)で1割を超え、それ以外の項目は1割未満となっている。(図表9-2)

図表9-2 重要割合・重要ではない割合(重要順)



【どちらともいえない】 3割を超える上位2項目及び、下位2項目を並べると以下となる。(図表9-3)

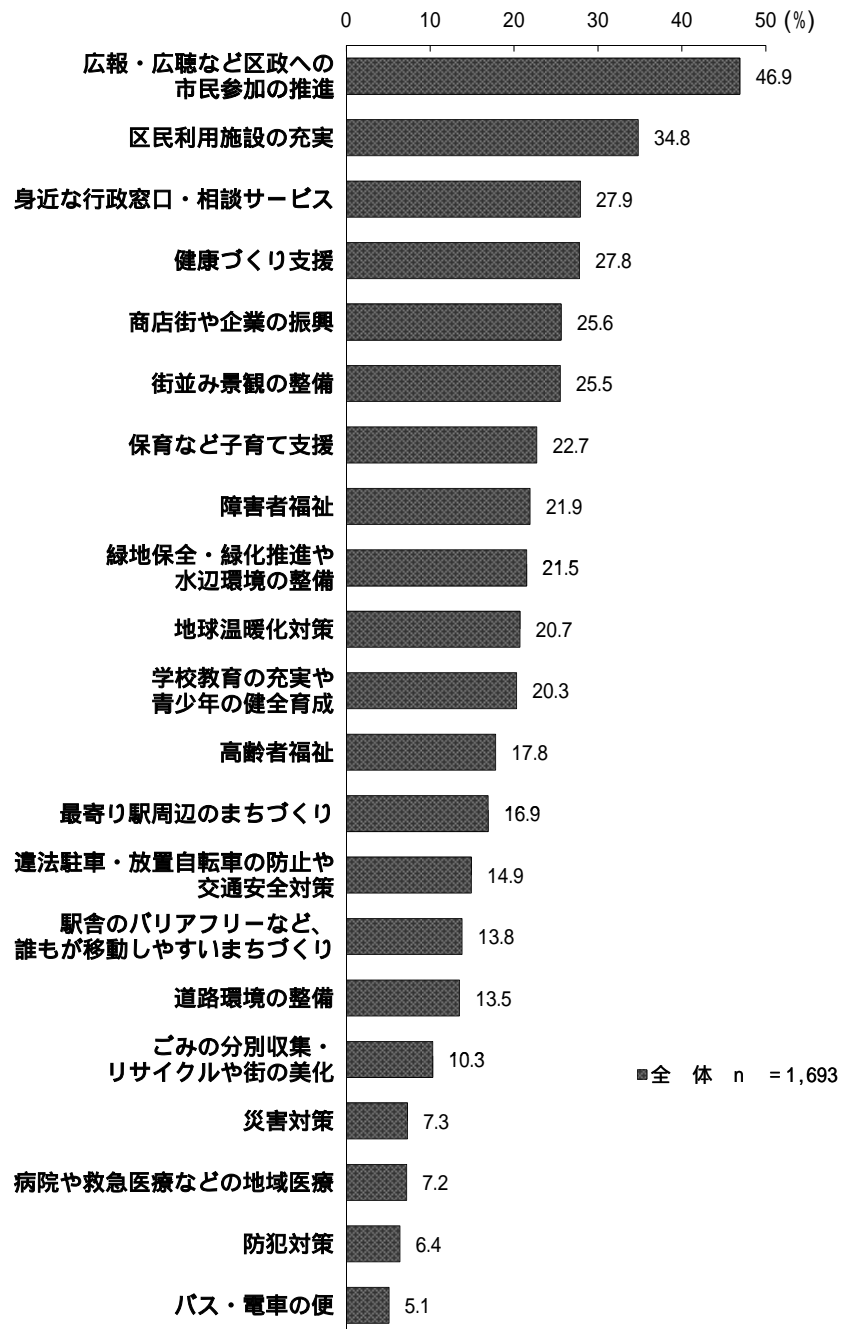
「上位2項目」

- ・ 『広報・広聴など区政への市民参加の推進』 (46.9%)
- ・ 『区民利用施設の充実』 (34.8%)

「下位2項目」

- ・ 『バス・電車の便』 (5.1%)
- ・ 『防犯対策』 (6.4%)

図表9-3 どちらともいえない割合



【重要度】

「重要」から「重要でない」までの5段階の回答を5～1の点数に直し、全回答の平均値を【重要度】とした。(図表9-4)

図表9-4 【重要度】(項目別件数表および重要度)

番号	項目	(件数)					無回答	合計	【重要度】
		5 重要	4 やや重要	3 いどちら ないとも	2 であ はま り重 要	1 重 要 で は な い			
1	バス・電車の便	1,028	451	87	48	12	67	1,693	4.498
2	道路環境の整備	735	601	228	37	8	84	1,693	4.254
3	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	603	684	252	58	11	85	1,693	4.126
4	最寄り駅周辺のまちづくり	610	653	286	50	12	82	1,693	4.117
5	街並み景観の整備	381	668	432	99	18	95	1,693	3.810
6	商店街や企業の振興	392	673	434	78	17	99	1,693	3.844
7	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	451	721	364	49	13	95	1,693	3.969
8	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	712	699	175	23	3	81	1,693	4.299
9	地球温暖化対策	614	579	350	40	13	97	1,693	4.091
10	災害対策	1,018	451	123	8	4	89	1,693	4.541
11	防犯対策	1,045	443	108	7	1	89	1,693	4.574
12	保育など子育て支援	566	500	385	67	43	132	1,693	3.947
13	学校教育の充実や青少年の健全育成	638	508	343	51	25	128	1,693	4.075
14	病院や救急医療などの地域医療	1,020	454	122	5	3	89	1,693	4.548
15	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり	682	653	234	29	4	91	1,693	4.236
16	高齢者福祉	701	554	301	39	12	86	1,693	4.178
17	障害者福祉	589	559	371	49	15	110	1,693	4.047
18	健康づくり支援	375	647	471	70	25	105	1,693	3.804
19	区民利用施設の充実	248	596	590	108	44	107	1,693	3.565
20	広報・広聴など区政への市民参加の推進	147	445	794	136	56	115	1,693	3.311
21	身近な行政窓口・相談サービス	376	676	472	49	20	100	1,693	3.841

【重要度】(点数順) 上位4項目及び、下位3項目を並べると以下となる。(図表9-5)

「上位4項目」

- ・『防犯対策』(4.574)
- ・『病院や救急医療などの地域医療』(4.548)
- ・『災害対策』(4.541)
- ・『バス・電車の便』(4.498)

「下位3項目」

- ・『広報・広聴など区政への市民参加の推進』(3.311)
- ・『区民利用施設の充実』(3.565)
- ・『健康づくり支援』(3.804)

図表9-5 【重要度】(点数順)

順位	番号	項目	【重要度】	順位	番号	項目	【重要度】
1	11	防犯対策	4.574	11	9	地球温暖化対策	4.091
2	14	病院や救急医療などの地域医療	4.548	12	13	学校教育の充実や 青少年の健全育成	4.075
3	10	災害対策	4.541	13	17	障害者福祉	4.047
4	1	バス・電車の便	4.498	14	7	緑地保全・緑化推進や 水辺環境の整備	3.969
5	8	ごみの分別収集・ リサイクルや街の美化	4.299	15	12	保育など子育て支援	3.947
6	2	道路環境の整備	4.254	16	6	商店街や企業の振興	3.844
7	15	駅舎のバリアフリーなど、 誰もが移動しやすいまちづくり	4.236	17	21	身近な行政窓口・相談サービス	3.841
8	16	高齢者福祉	4.178	18	5	街並み景観の整備	3.810
9	3	違法駐車・放置自転車の防止や 交通安全対策	4.126	19	18	健康づくり支援	3.804
10	4	最寄り駅周辺のまちづくり	4.117	20	19	区民利用施設の充実	3.565
				21	20	広報・広聴など区政への 市民参加の推進	3.311

【重要度】(地域別順位) 地域別にみて、特徴的な項目は以下となる。(図表9-6)

星川・桜ヶ丘・月見台：『災害対策』(4.601)と『バス・電車の便』(4.540)が高く、『道路環境の整備』(4.320)が5位に入っている。

今井・権太坂・境木：『災害対策』(4.551)と『バス・電車の便』(4.522)が高い。

狩場・瀬戸ヶ谷・岩井：『バス・電車の便』(4.510)が高い。

上新・西谷・上星川：『病院や救急医療などの地域医療』(4.589)が高い。

仏向・川島：『災害対策』(4.586)が高い。

図表9-6 【重要度】(地域別順位)

地域 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	防犯対策 4.574	病院や救急医療 などの地域医療 4.548	災害対策 4.541	バス・電車の便 4.498	ごみの分別収集や 街の美化 4.299
天王町・峰岡・常盤 台	防犯対策 4.599	災害対策 4.526	病院や救急医療 などの地域医療 4.508	バス・電車の便 4.505	ごみの分別収集や 街の美化 4.239
星川・桜ヶ丘・月見 台	防犯対策 4.638	災害対策 4.601	バス・電車の便 4.540	病院や救急医療 などの地域医療 4.536	道路環境の整備 4.320
今井・権太坂・境木	災害対策 4.551	防犯対策 4.536	バス・電車の便 4.522	病院や救急医療 などの地域医療 4.494	ごみの分別収集や 街の美化 4.290
狩場・瀬戸ヶ谷・岩 井	防犯対策 4.553	病院や救急医療 などの地域医療 4.551	バス・電車の便 4.510	災害対策 4.503	ごみの分別収集や 街の美化 4.305
上新・西谷・上星川	病院や救急医療 などの地域医療 4.589	防犯対策 4.509	バス・電車の便 4.485	災害対策 4.474	ごみの分別収集や 街の美化 4.309
仏向・川島	防犯対策 4.603	災害対策 4.586	病院や救急医療 などの地域医療 4.576	バス・電車の便 4.406	ごみの分別収集や 街の美化 4.372

 : 地域の特徴がみられるもの

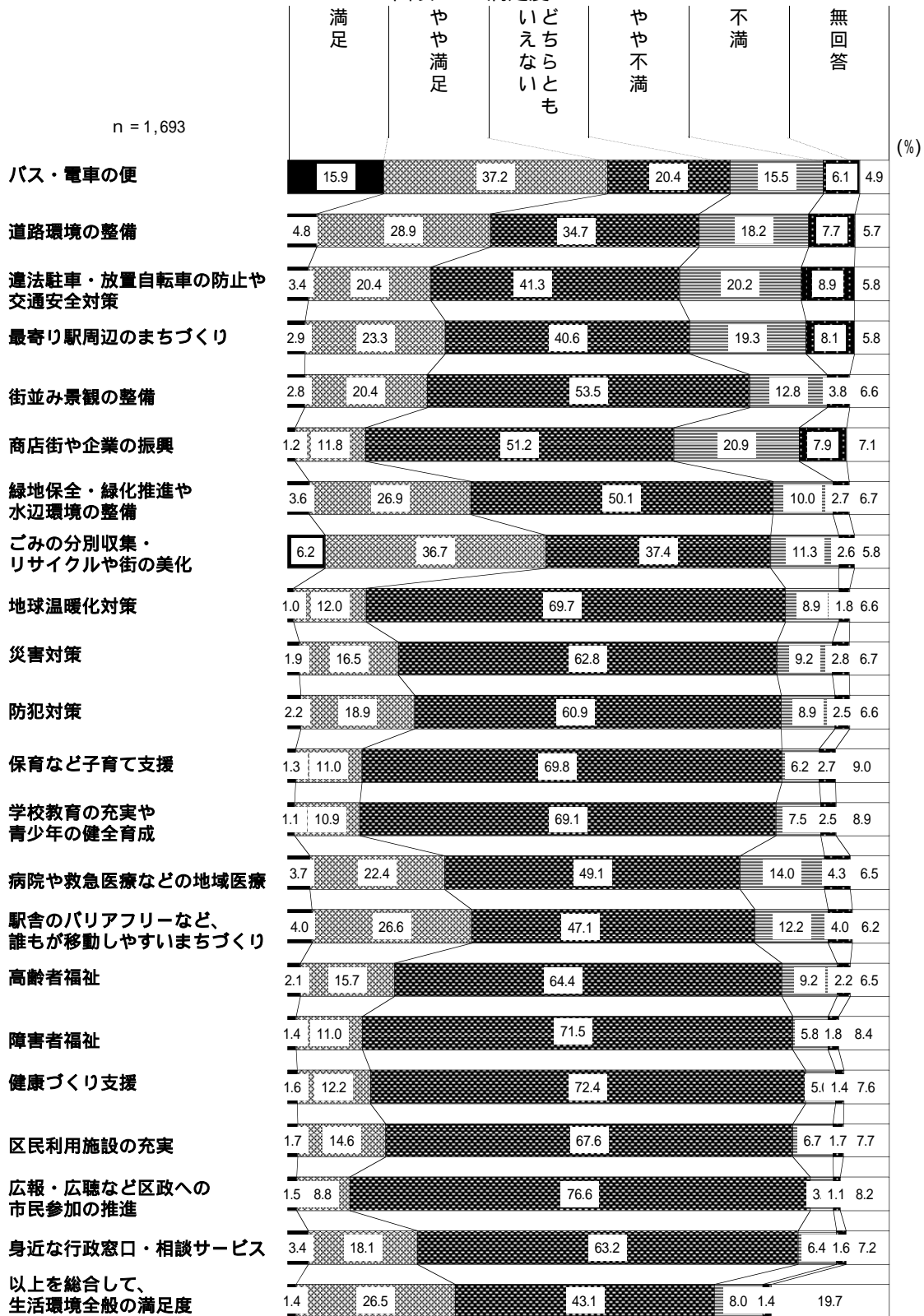
9-2 満足度

総合的な生活環境全般の満足度は 満足（「満足」と「やや満足」を合わせたもの）が 2割後半

問 40 以下の各項目(1~22)について、おうかがいします
 [2] あなたは現在、どの程度満足していますか。

(を1つずつ)

図表9-7 満足度



【生活環境全般に対する満足度】 以下のような傾向がある。(図表9-7)

- ・「満足」は、『バス・電車の便』(15.9%)が最も高い。
- ・「やや満足」は、『バス・電車の便』(37.2%)と『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』(36.7%)で高い。
- ・「不満」は、『違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策』(8.9%)が最も高い。
- ・「やや不満」は、『商店街や企業の振興』(20.9%)が最も高い。
- ・総合的な生活環境全般の満足度は、「満足」は1.4%だが、「やや満足」とあわせると2割後半が満足としている。「どちらともいえない」は4割前半で最も高い。

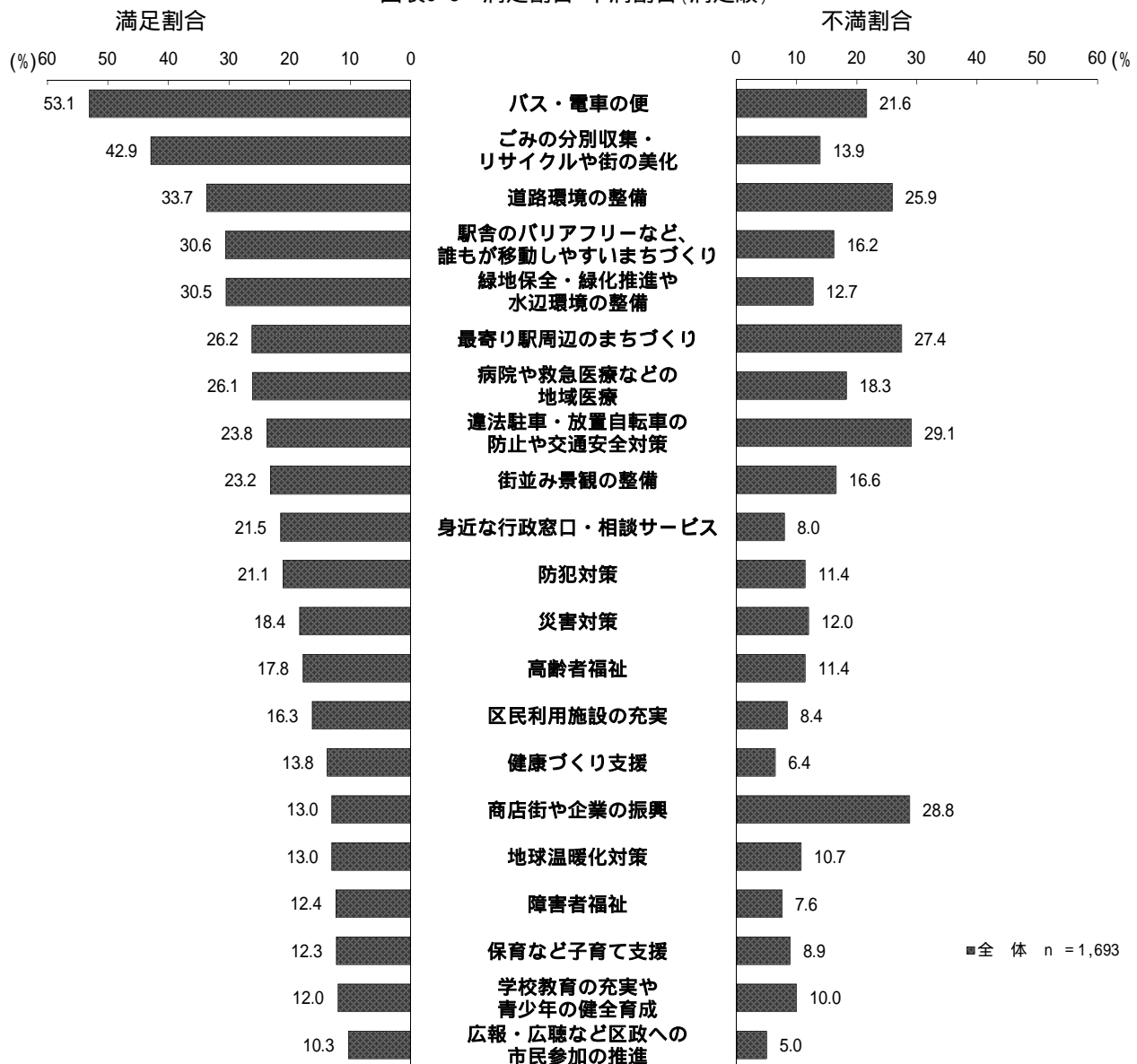
【満足】「満足」と「やや満足」をあわせた 満足 の上位5項目は以下となる。(図表9-8)

- ・『バス・電車の便』(53.1%)
- ・『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』(42.9%)
- ・『道路環境の整備』(33.7%)
- ・『駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり』(30.6%)
- ・『緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備』(30.5%)

【不満】「不満」と「やや不満」をあわせた 不満 の上位5項目は以下となる。(図表9-8)

- ・『違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策』(29.1%)
- ・『商店街や企業の振興』(28.8%)
- ・『最寄り駅周辺のまちづくり』(27.4%)
- ・『道路環境の整備』(25.9%)
- ・『バス・電車の便』(21.6%)

図表9-8 満足割合・不満割合(満足順)



【どちらともいえない】 7割を超える上位3項目及び、4割以下の下位3項目を並べると以下となる。(図表9-9)

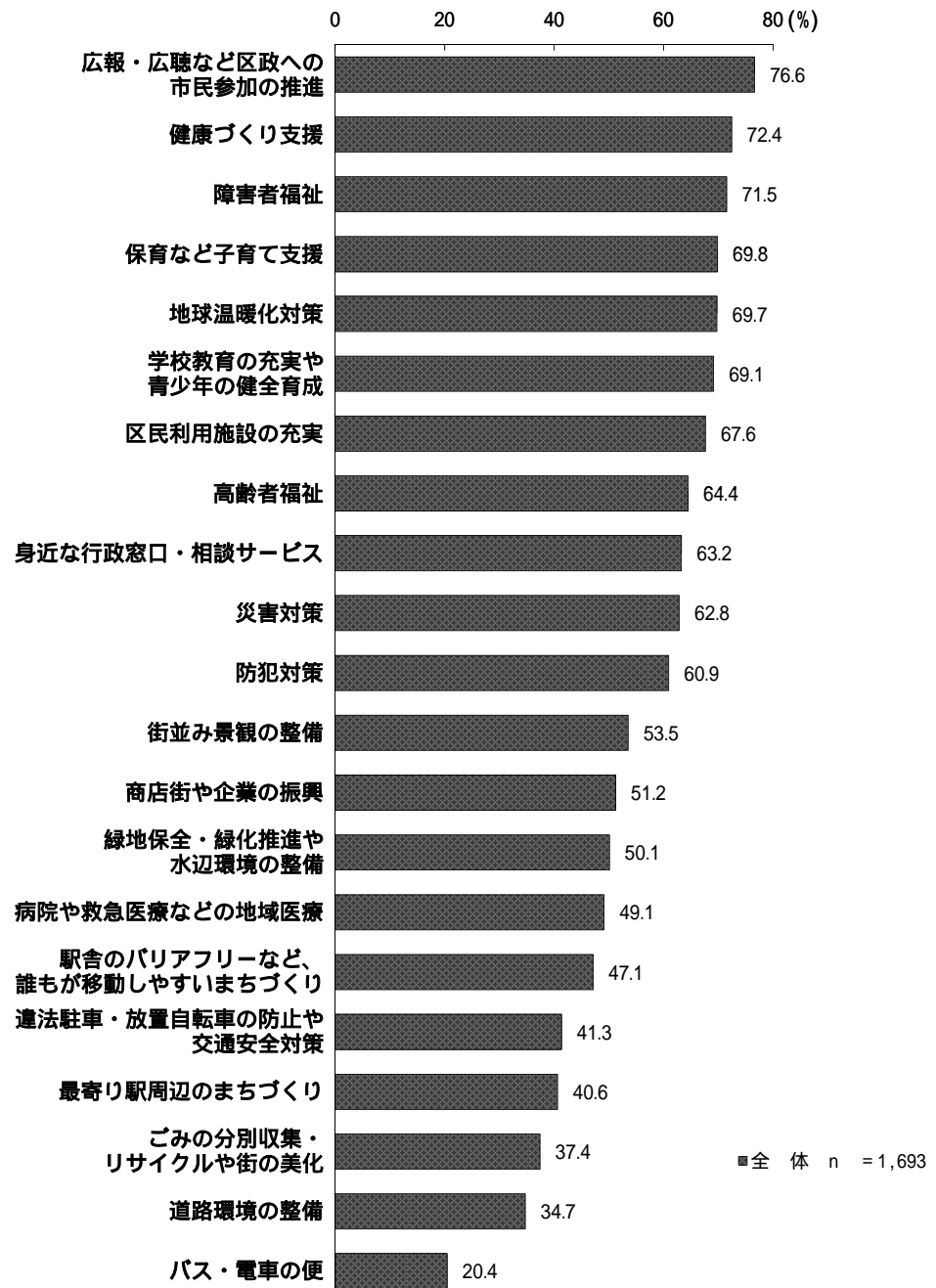
「上位3項目」

- ・ 『広報・広聴など区政への市民参加の推進』(76.6%)
- ・ 『健康づくり支援』(72.4%)
- ・ 『障害者福祉』(71.5%)

「下位3項目」

- ・ 『バス・電車の便』(20.4%)
- ・ 『道路環境の整備』(34.7%)
- ・ 『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』(37.4%)

図表9-9 どちらともいえない割合



【満足度】

「満足」から「不満」までの5段階の回答を5～1の点数に直し、全回答の平均値を【満足度】とした。

(図表9-10)

図表9-10 【満足度】(項目別件数表および満足度)

番号	項目	5	4	3	2	1	無回答	合計	【満足度】
		満足	やや満足	いどちらないとも	やや不満	不満			
1	バス・電車の便	269	630	345	263	103	83	1,693	3.434
2	道路環境の整備	81	490	588	308	130	96	1,693	3.053
3	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	57	345	699	342	151	99	1,693	2.884
4	最寄り駅周辺のまちづくり	49	394	688	327	137	98	1,693	2.932
5	街並み景観の整備	47	346	906	217	65	112	1,693	3.059
6	商店街や企業の振興	20	199	867	354	133	120	1,693	2.758
7	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	61	455	848	170	46	113	1,693	3.199
8	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	105	622	633	191	44	98	1,693	3.347
9	地球温暖化対策	17	203	1,180	150	31	112	1,693	3.016
10	災害対策	33	279	1,064	155	48	114	1,693	3.060
11	防犯対策	38	320	1,031	150	43	111	1,693	3.101
12	保育など子育て支援	22	187	1,181	105	45	153	1,693	3.023
13	学校教育の充実や青少年の健全育成	19	185	1,170	127	42	150	1,693	3.008
14	病院や救急医療などの地域医療	63	380	831	237	72	110	1,693	3.079
15	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり	67	450	797	206	68	105	1,693	3.152
16	高齢者福祉	35	266	1,090	155	37	110	1,693	3.068
17	障害者福祉	24	186	1,211	99	30	143	1,693	3.048
18	健康づくり支援	27	206	1,225	84	23	128	1,693	3.083
19	区民利用施設の充実	29	247	1,144	114	28	131	1,693	3.086
20	広報・広聴など区政への市民参加の推進	25	149	1,297	66	18	138	1,693	3.062
21	身近な行政窓口・相談サービス	58	307	1,070	109	27	122	1,693	3.165
22	以上を総合して、生活環境全般の満足度	24	448	729	135	23	334	1,681	3.232

【満足度】(点数順) 上位4項目及び、下位3項目を並べると以下となる。(図表9-11)

「上位4項目」

- ・『バス・電車の便』(3.434)
- ・『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』(3.347)
- ・『緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備』(3.199)
- ・『身近な行政窓口・相談サービス』(3.165)

「下位3項目」

- ・『商店街や企業の振興』(2.758)
- ・『違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策』(2.884)
- ・『最寄り駅周辺のまちづくり』(2.932)

図表9-11 【満足度】(点数順)

順位	番号	項目	【満足度】	順位	番号	項目	【満足度】
1	1	バス・電車の便	3.434	11	20	広報・広聴など区政への市民参加の推進	3.062
2	8	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	3.347	12	10	災害対策	3.060
3	7	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	3.199	13	5	街並み景観の整備	3.059
4	21	身近な行政窓口・相談サービス	3.165	14	2	道路環境の整備	3.053
5	15	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり	3.152	15	17	障害者福祉	3.048
6	11	防犯対策	3.101	16	12	保育など子育て支援	3.023
7	19	区民利用施設の充実	3.086	17	9	地球温暖化対策	3.016
8	18	健康づくり支援	3.083	18	13	学校教育の充実や青少年の健全育成	3.008
9	14	病院や救急医療などの地域医療	3.079	19	4	最寄り駅周辺のまちづくり	2.932
10	16	高齢者福祉	3.068	20	3	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	2.884
				21	6	商店街や企業の振興	2.758

【満足度】(地域別順位) 地域別にみて、特徴的な項目は以下となる。(図表9-12)

天王町・峰岡・常盤台：『誰もが移動しやすいまちづくり』(3.255)が高い。

星川・桜ヶ丘・月見台：『街並み景観の整備』(3.195)が4位に入っている。

今井・権太坂・境木：『最寄り駅周辺のまちづくり』(3.232)が2位に、『道路環境の整備』(3.131)が5位に入っている。

狩場・瀬戸ヶ谷・岩井：『道路環境の整備』(3.155)が4位に入っている。

上新・西谷・上星川：『防犯対策』(3.117)が5位に入っている。

仏向・川島：『誰もが移動しやすいまちづくり』(3.262)が高い。

図表9-12 【満足度】(地域別順位)

地域	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体		バス・電車の便 3.434	ごみの分別収集や街の美化 3.347	緑地保全や水辺環境の整備 3.199	身近な行政窓口・相談サービス 3.165	誰もが移動しやすいまちづくり 3.152
天王町・峰岡・常盤台		バス・電車の便 3.711	ごみの分別収集や街の美化 3.337	誰もが移動しやすいまちづくり 3.255	身近な行政窓口・相談サービス 3.231	緑地保全や水辺環境の整備 3.227
星川・桜ヶ丘・月見台		バス・電車の便 3.742	ごみの分別収集や街の美化 3.406	緑地保全や水辺環境の整備 3.296	街並み景観の整備 3.195	身近な行政窓口・相談サービス 3.173
今井・権太坂・境木		ごみの分別収集や街の美化 3.315	最寄り駅周辺のまちづくり 3.232	身近な行政窓口・相談サービス 3.178	緑地保全や水辺環境の整備 3.136	道路環境の整備 3.131
狩場・瀬戸ヶ谷・岩井		バス・電車の便 3.560	ごみの分別収集や街の美化 3.324	緑地保全や水辺環境の整備 3.180	道路環境の整備 3.155	誰もが移動しやすいまちづくり 3.136
上新・西谷・上星川		ごみの分別収集や街の美化 3.354	バス・電車の便 3.194	身近な行政窓口・相談サービス 3.135	緑地保全や水辺環境の整備 3.126	防犯対策 3.117
仏向・川島		バス・電車の便 3.395	ごみの分別収集や街の美化 3.327	緑地保全や水辺環境の整備 3.271	誰もが移動しやすいまちづくり 3.262	身近な行政窓口・相談サービス 3.116

 : 地域の特徴がみられるもの

項目の表記について

図表では、次の項目を簡略化して示している。

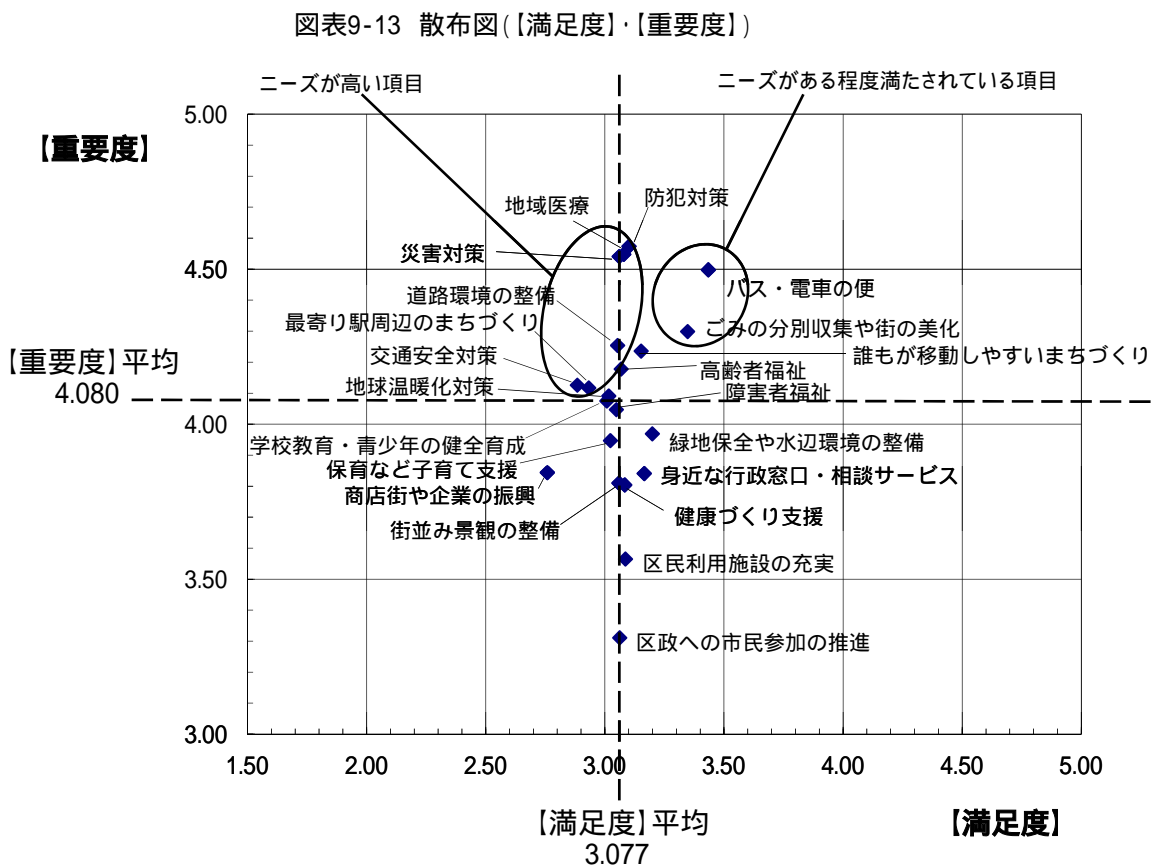
『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』 『ごみの分別収集や街の美化』

『駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり』 『誰もが移動しやすいまちづくり』

『緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備』 『緑地保全や水辺環境の整備』

9-3 ニーズ度

- ・下図の散布図は【満足度】を横軸に、【重要度】を縦軸に21項目の位置を描いたものである。図の左下に位置するほど【重要度】が低く【満足度】も低い項目であることを、逆に、図の右上に位置するものほど【重要度】が高く【満足度】も高い項目であることを意味している。また、左上に位置するものは、【重要度】が高く【満足度】の低い項目であることから、【ニーズ度】の高い項目であるといえる。
 - ・散布図において、左上(【重要度】が高く、【満足度】が低い)に位置するのは『災害対策』、『防犯対策』、『病院や救急医療などの地域医療』、『交通安全対策』、『道路環境の整備』、『最寄り駅周辺のまちづくり』などであり、これらは【ニーズ度】の高い項目である。
 - ・散布図において、右上(【重要度】が高く、【満足度】も高い)に位置するのは、『バス・電車の便』、『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』であり、ニーズがある程度満たされている項目である。
- (図表9-13)



項目の表記について

図表では、次の項目を簡略化して示している。

- 『違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策』 『交通安全対策』
- 『緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備』 『緑地保全や水辺環境の整備』
- 『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』 『ごみの分別収集や街の美化』
- 『学校教育の充実や青少年の健全育成』 『学校教育・青少年の健全育成』
- 『病院や救急医療などの地域医療』 『地域医療』
- 『駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり』 『誰もが移動しやすいまちづくり』
- 『広報・広聴など区政への市民参加の推進』 『区政への市民参加の推進』

【ニーズ度】 各項目の【重要度】と【満足度】の差(【重要度】 - 【満足度】)として【ニーズ度】を求めた。

【ニーズ度】が高い上位5項目を並べると以下となる。(図表9-14)

- ・ 『災害対策』(1.481)
- ・ 『防犯対策』(1.473)
- ・ 『病院や救急医療などの地域医療』(1.469)
- ・ 『違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策』(1.242)
- ・ 『道路環境の整備』(1.201)

図表9-14 項目別【ニーズ度】(【重要度】-【満足度】)

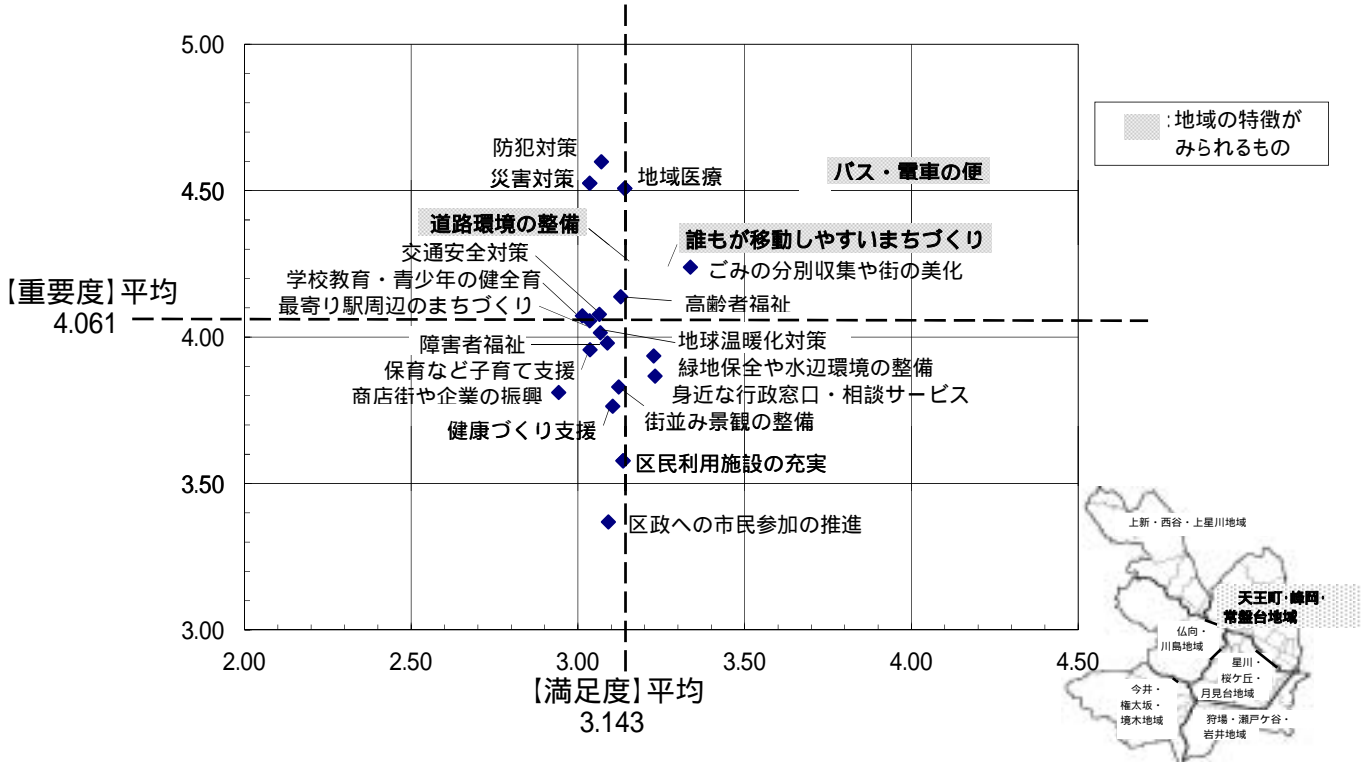
(項目順)				(点数順)			
番号	順位	項目	【ニーズ度】	順位	番号	項目	【ニーズ度】
1	12	バス・電車の便	1.064	1	10	災害対策	1.481
2	5	道路環境の整備	1.201	2	11	防犯対策	1.473
3	4	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	1.242	3	14	病院や救急医療などの地域医療	1.469
4	6	最寄り駅周辺のまちづくり	1.185	4	3	違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	1.242
5	17	街並み景観の整備	0.751	5	2	道路環境の整備	1.201
6	8	商店街や企業の振興	1.086	6	4	最寄り駅周辺のまちづくり	1.185
7	16	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	0.770	7	16	高齢者福祉	1.110
8	14	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	0.952	8	6	商店街や企業の振興	1.086
9	10	地球温暖化対策	1.075	9	15	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり	1.084
10	1	災害対策	1.481	10	9	地球温暖化対策	1.075
11	2	防犯対策	1.473	11	13	学校教育の充実や青少年の健全育成	1.067
12	15	保育など子育て支援	0.924	12	1	バス・電車の便	1.064
13	11	学校教育の充実や青少年の健全育成	1.067	13	17	障害者福祉	0.999
14	3	病院や救急医療などの地域医療	1.469	14	8	ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	0.952
15	9	駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり	1.084	15	12	保育など子育て支援	0.924
16	7	高齢者福祉	1.110	16	7	緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	0.770
17	13	障害者福祉	0.999	17	5	街並み景観の整備	0.751
18	18	健康づくり支援	0.721	18	18	健康づくり支援	0.721
19	20	区民利用施設の充実	0.479	19	21	身近な行政窓口・相談サービス	0.676
20	21	広報・広聴など区政への市民参加の推進	0.249	20	19	区民利用施設の充実	0.479
21	19	身近な行政窓口・相談サービス	0.676	21	20	広報・広聴など区政への市民参加の推進	0.249

9-4 満足度と重要度の分析（地域別）

【満足度】と【重要度】の散布図を地域別に平均点をみると、【満足度】は天王町・峰岡・常盤台(3.143)で高く、上新・西谷・上星川(2.998)で低い。【重要度】は大きな差はみられない。

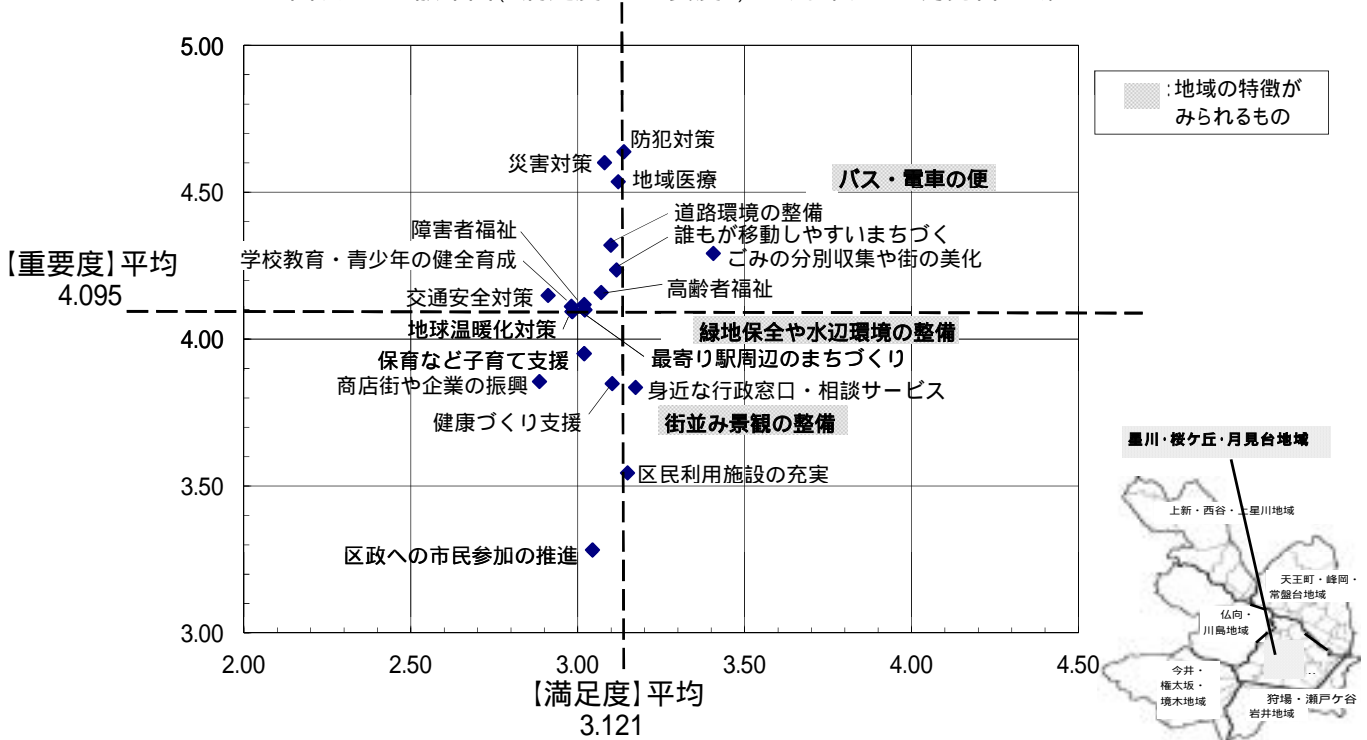
(天王町・峰岡・常盤台地域) 【満足度】は『バス・電車の便』で特に高く、『道路環境の整備』、『誰もが移動しやすいまちづくり』で高い。(図表9-15)

図表9-15 散布図(【重要度】・【満足度】)(天王町・峰岡・常盤台地域)



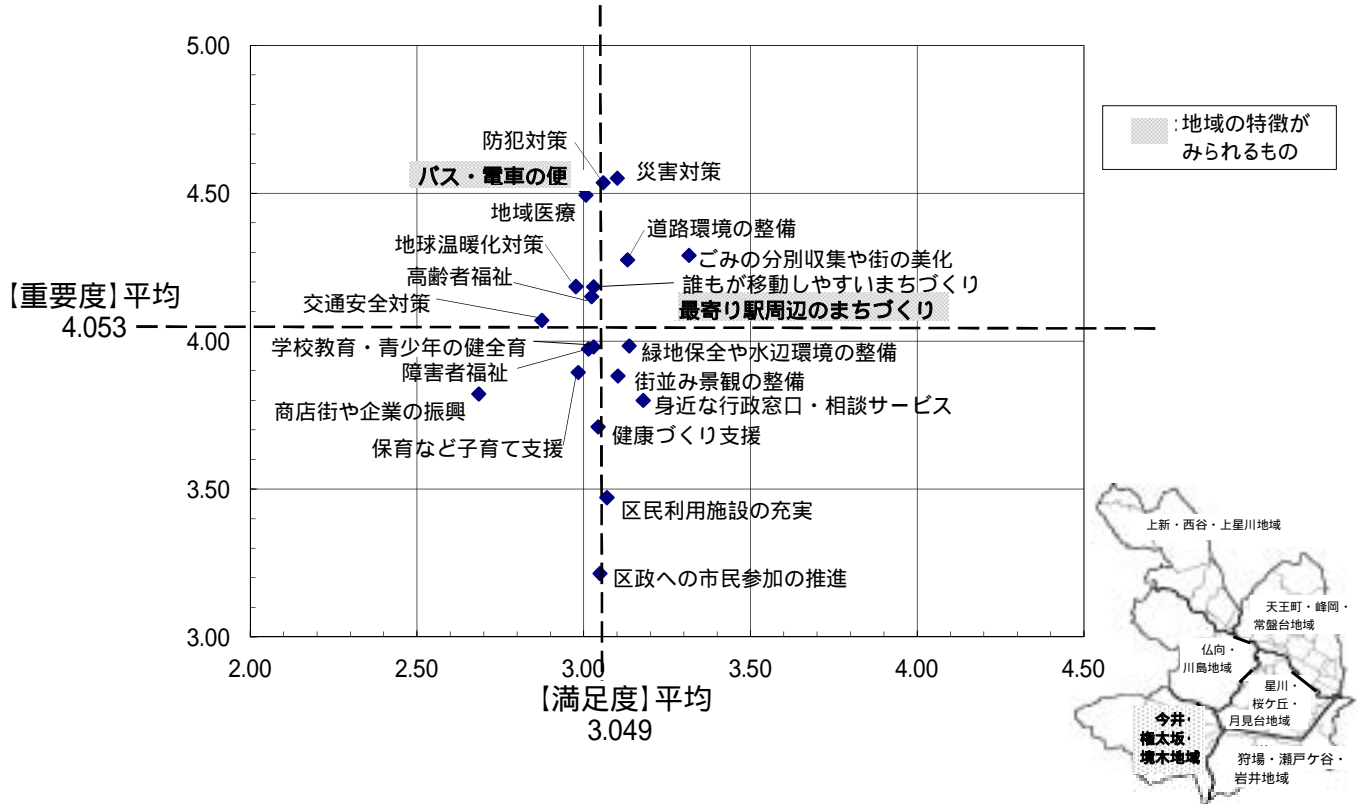
(星川・桜ヶ丘・月見台地域) 【満足度】は『バス・電車の便』で特に高く、『街並み景観の整備』で高い。『緑地保全や水辺環境の整備』では【満足度】は高く、【重要度】は低い。(図表9-16)

図表9-16 散布図(【満足度】・【重要度】)(星川・桜ヶ丘・月見台地域)



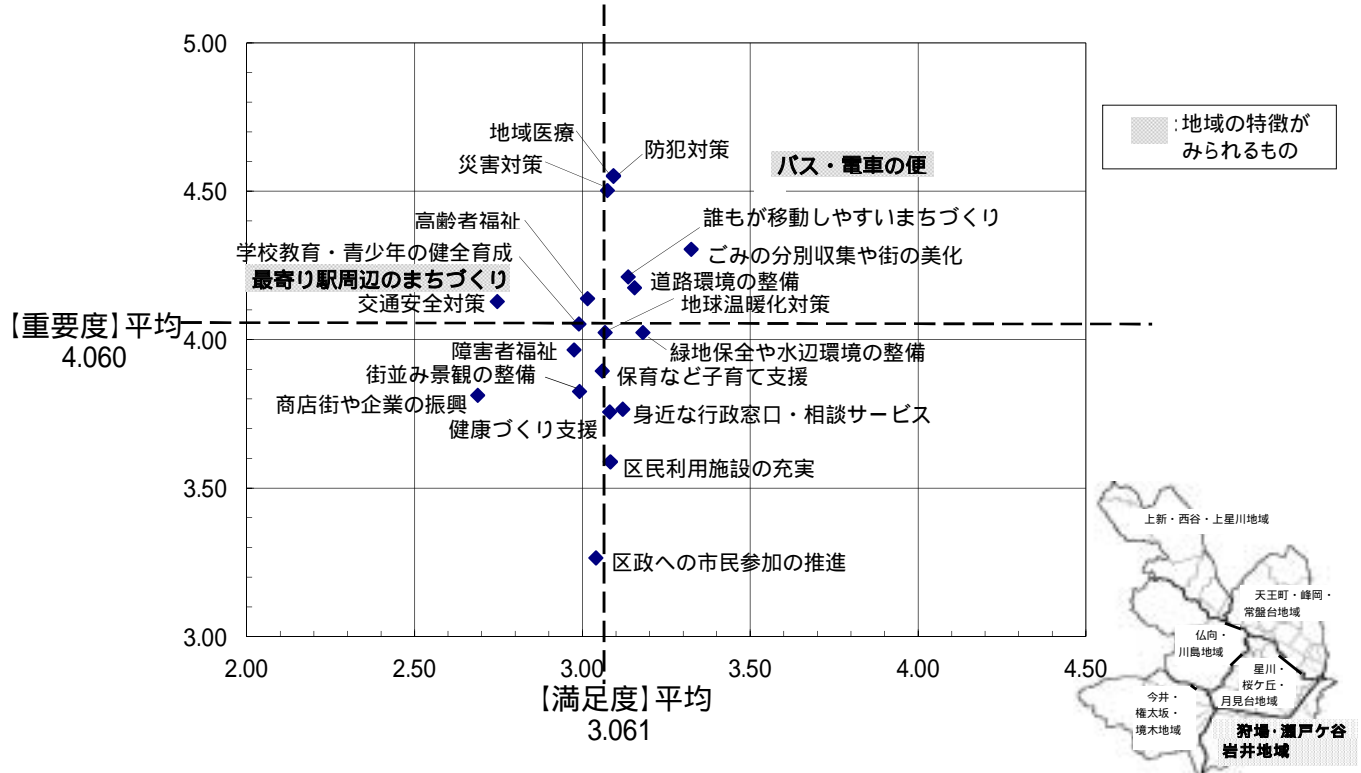
(今井・樫太坂・境木地域) 【重要度】は『最寄り駅周辺のまちづくり』で特に高く、『バス・電車の便』で非常に低い。(図表9-17)

図表9-17 散布図(【満足度】・【重要度】)(今井・樫太坂・境木地域)



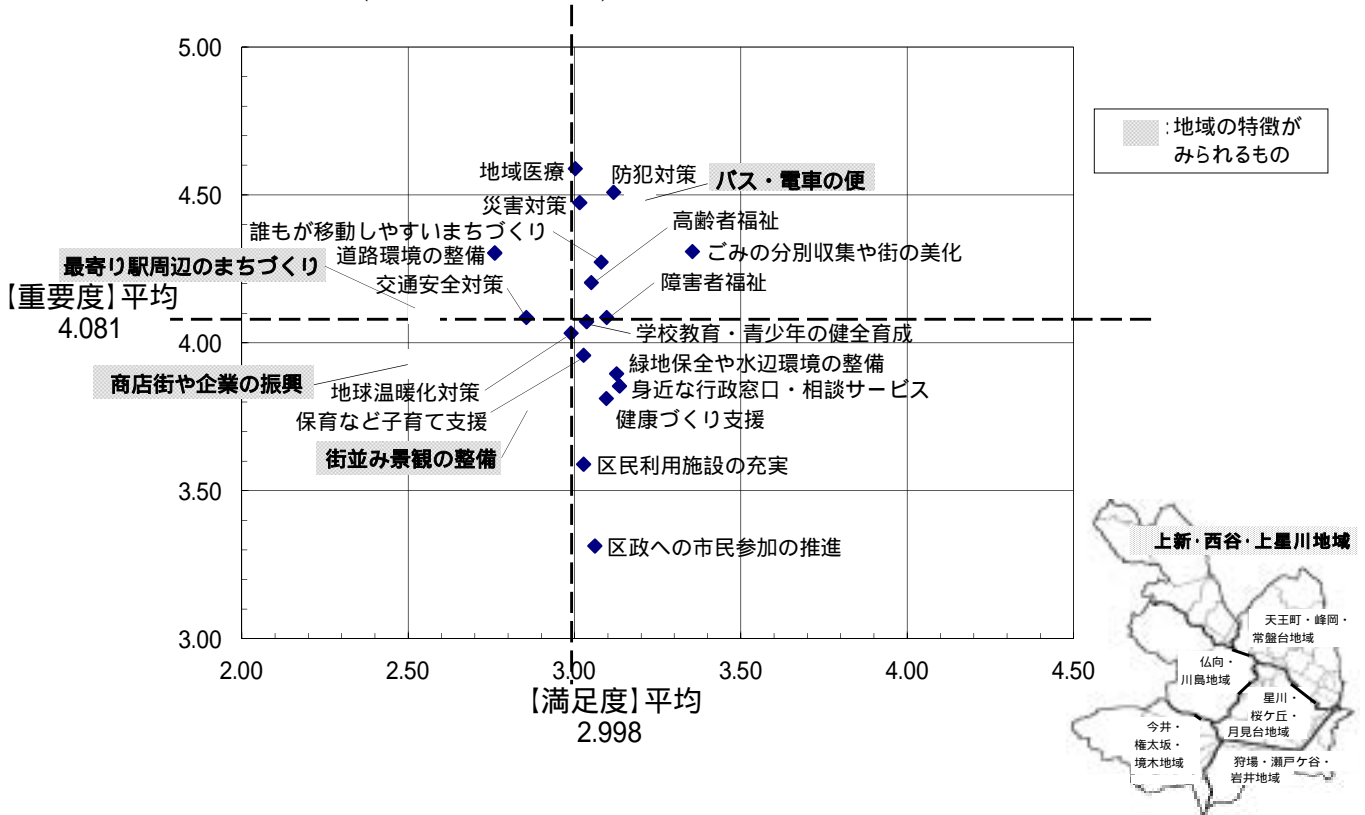
(狩場・瀬戸ヶ谷・岩井地域) 【満足度】は『バス・電車の便』で高い。『最寄り駅周辺のまちづくり』では、【満足度】が低く、【重要度】が高い。(図表9-18)

図表9-18 散布図(【満足度】・【重要度】)(狩場・瀬戸ヶ谷・岩井地域)



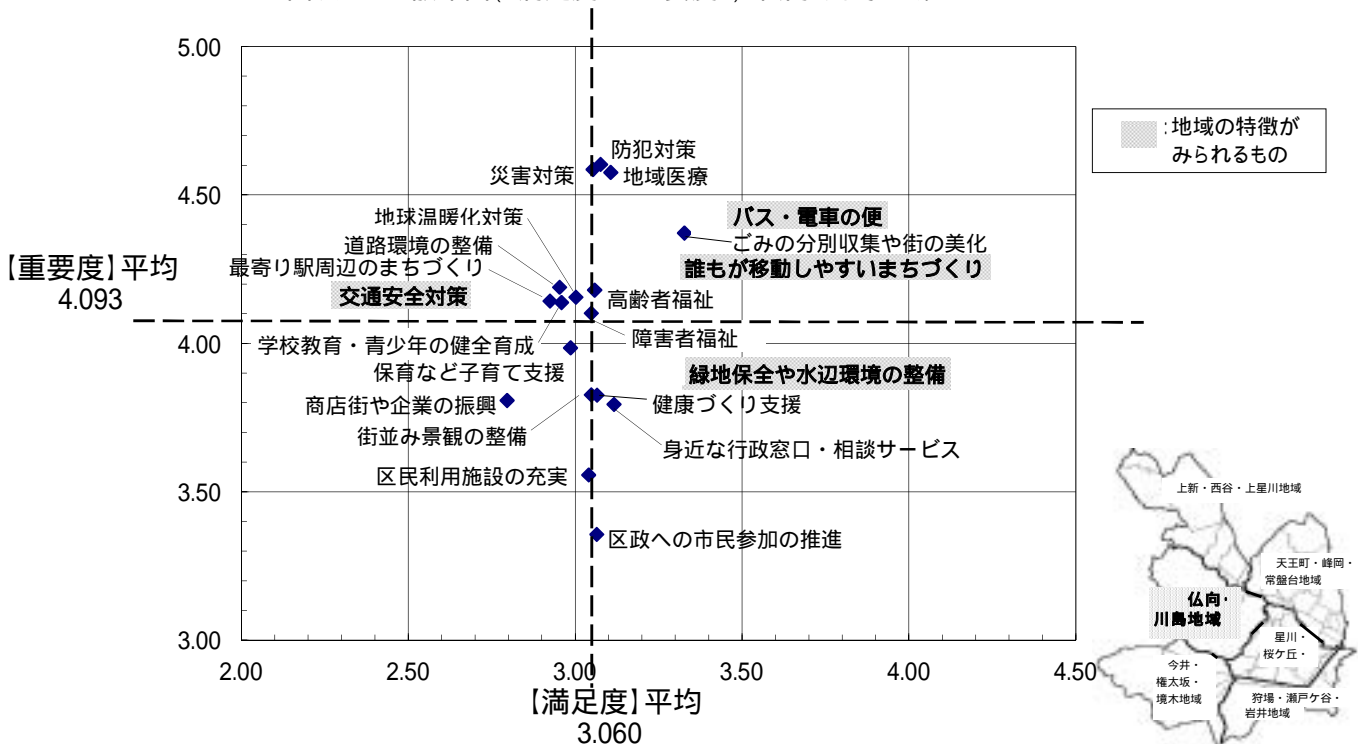
(**上新・西谷・上星川地域**) 【満足度】は『バス・電車の便』で特に低く、『最寄り駅周辺のまちづくり』で非常に低く、『街並み景観の整備』で低い。『商店街や企業の振興』では、【満足度】は特に低く、【重要度】は高い。(図表9-19)

図表9-19 散布図(【満足度】・【重要度】)(**上新・西谷・上星川地域**)



(**仏向・川島地域**) 【満足度】は『誰もが移動しやすいまちづくり』で高く、『交通安全対策』で特に低い。『バス・電車の便』では、【満足度】【重要度】ともに低い。『緑地保全や水辺環境の整備』では、【満足度】は高く、【重要度】は低い。(図表9-20)

図表9-20 散布図(【満足度】・【重要度】)(**仏向・川島地域**)



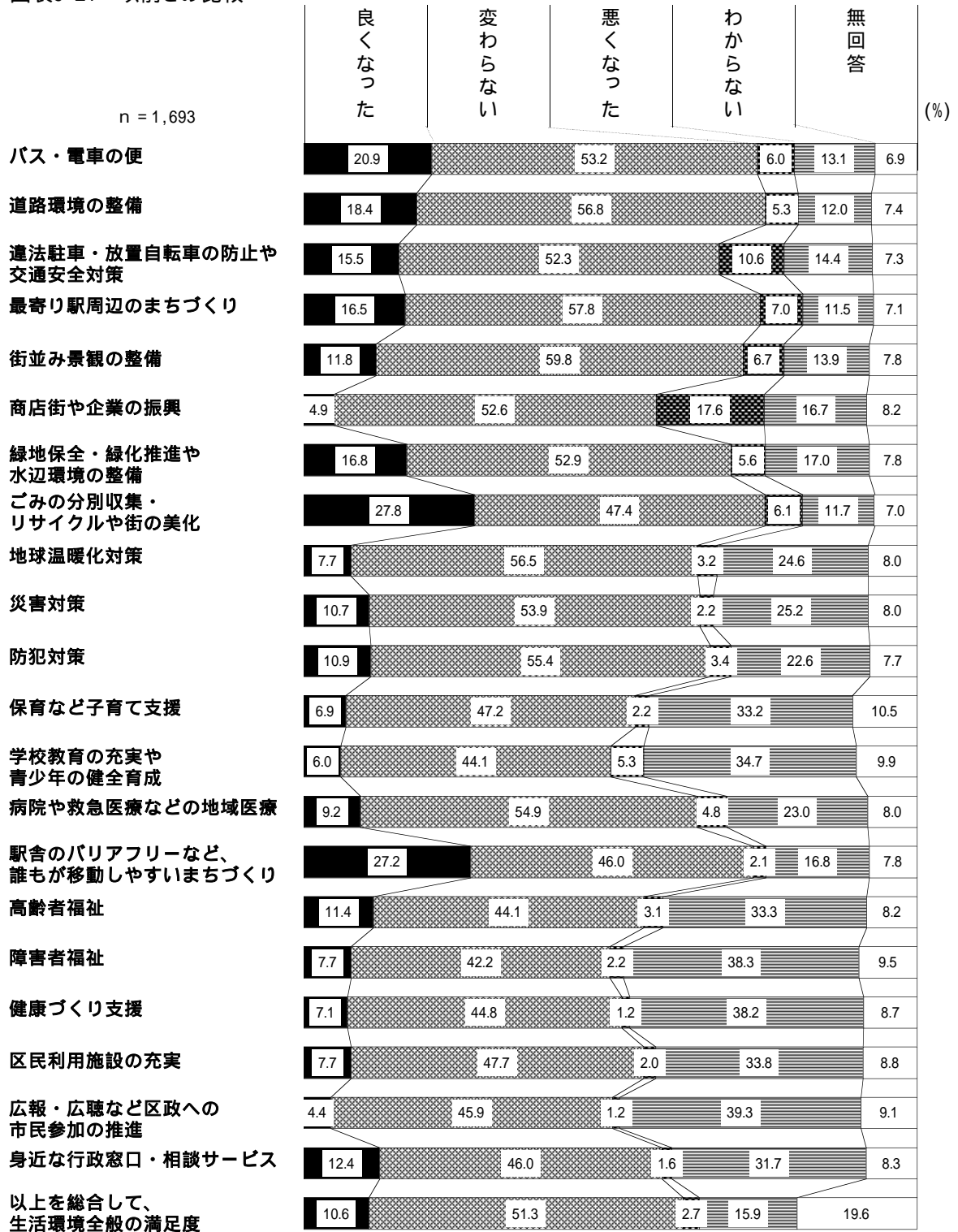
9-5 以前との比較

『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』と『駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり』で改善への評価が高い(良くなったと答えた割合が2割後半)

問 40 以下の各項目(1~22)について、おうかがいします
 [3] 以前と比較して、どのように変化していますか。

(を1つずつ)

図表9-21 以前との比較



【生活環境全般に対する以前との比較】「良くなった」の上位3項目は以下となる。

- ・『ごみの分別収集・リサイクルや街の美化』(27.8%)
- ・『駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり』(27.2%)
- ・『バス・電車の便』(20.9%)

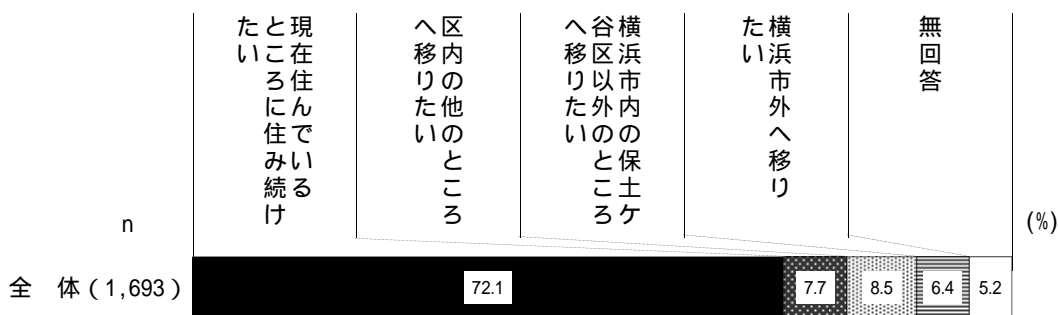
一方、「悪くなった」で最も高いのは、『商店街や企業の振興』(17.6%)である。(図表9-21)

9-6 定住意向

「現在住んでいるところに住み続けたい」と「区内の他のところへ移りたい」をあわせた
区内への定住意向は約8割

問 41 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。(1は1つ)

図表9-22 定住意向



(全体) 4項目を上位から並べると以下となる。(図表9-22)

- ・「現在住んでいるところに住み続けたい」(72.1%)
- ・「横浜市内の保土ヶ谷区以外のところへ移りたい」(8.5%)
- ・「区内の他のところへ移りたい」(7.7%)
- ・「横浜市外へ移りたい」(6.4%)

「現在住んでいるところに住み続けたい」と「区内の他のところへ移りたい」をあわせた区内への定住意向は、約8割である。「横浜市内の保土ヶ谷区以外のところへ移りたい」と「横浜市外へ移りたい」を合わせた区外への転出意向は1割半ばである。

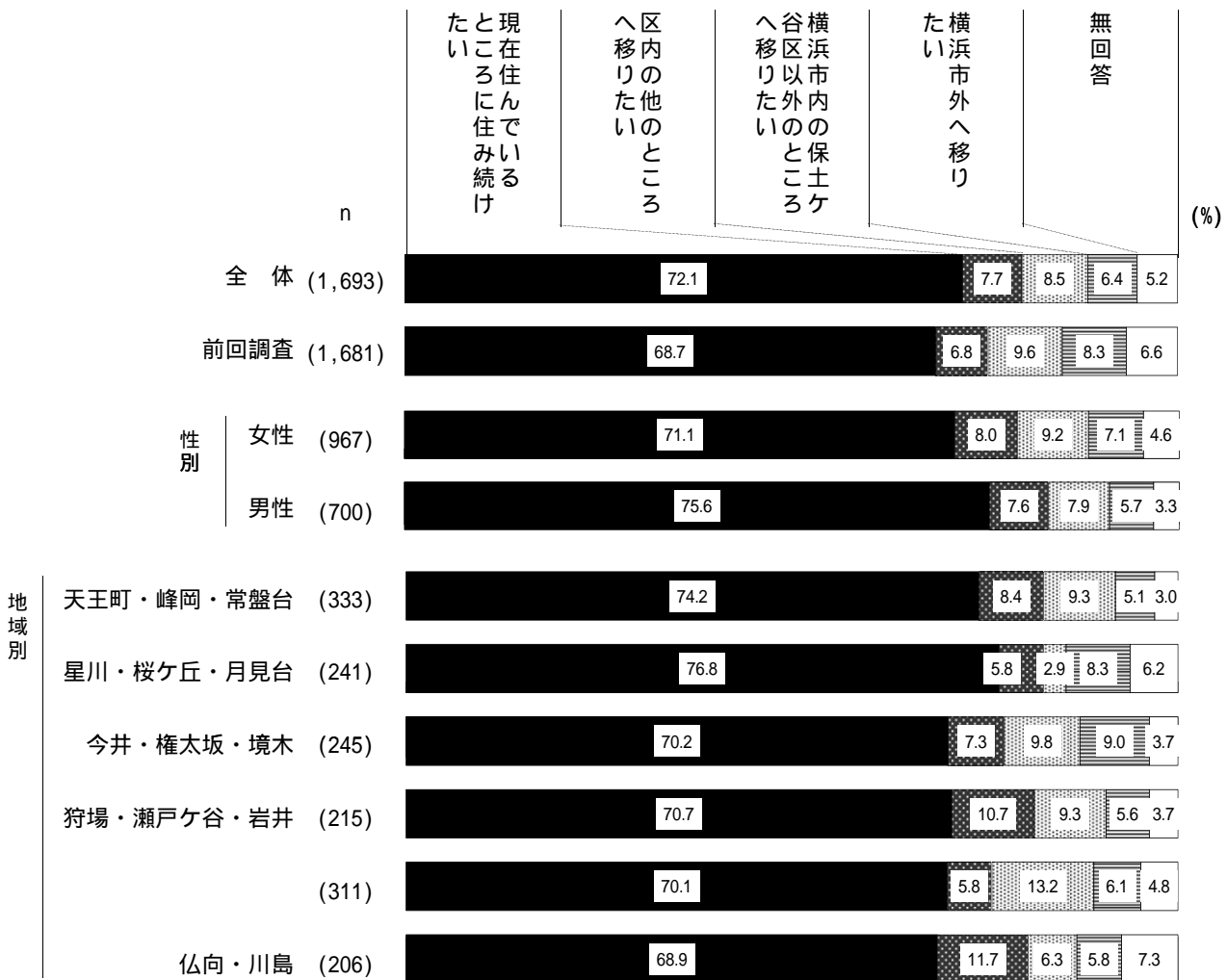
(前回調査(平成21年度)との比較) 「現在住んでいるところに住み続けたい」が3.4ポイント増えた。(図表9-23)

(性別) 性別にみると、「現在住んでいるところに住み続けたい」が、男性(75.6%)で女性より4.5ポイント高い。(図表9-23)

(地域別) 地域別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表9-23)

- ・「現在住んでいるところに住み続けたい」は、星川・桜ヶ丘・月見台(76.8%)で高く、仏向・川島(68.9%)で低い。
- ・「区内の他のところへ移りたい」は、仏向・川島(11.7%)で高い。
- ・「横浜市内の保土ヶ谷区以外のところへ移りたい」は、上新・西谷・上星川(13.2%)で高く、星川・桜ヶ丘・月見台(2.9%)で低い。

図表9-23 定住意向(前回調査・性別・地域別)

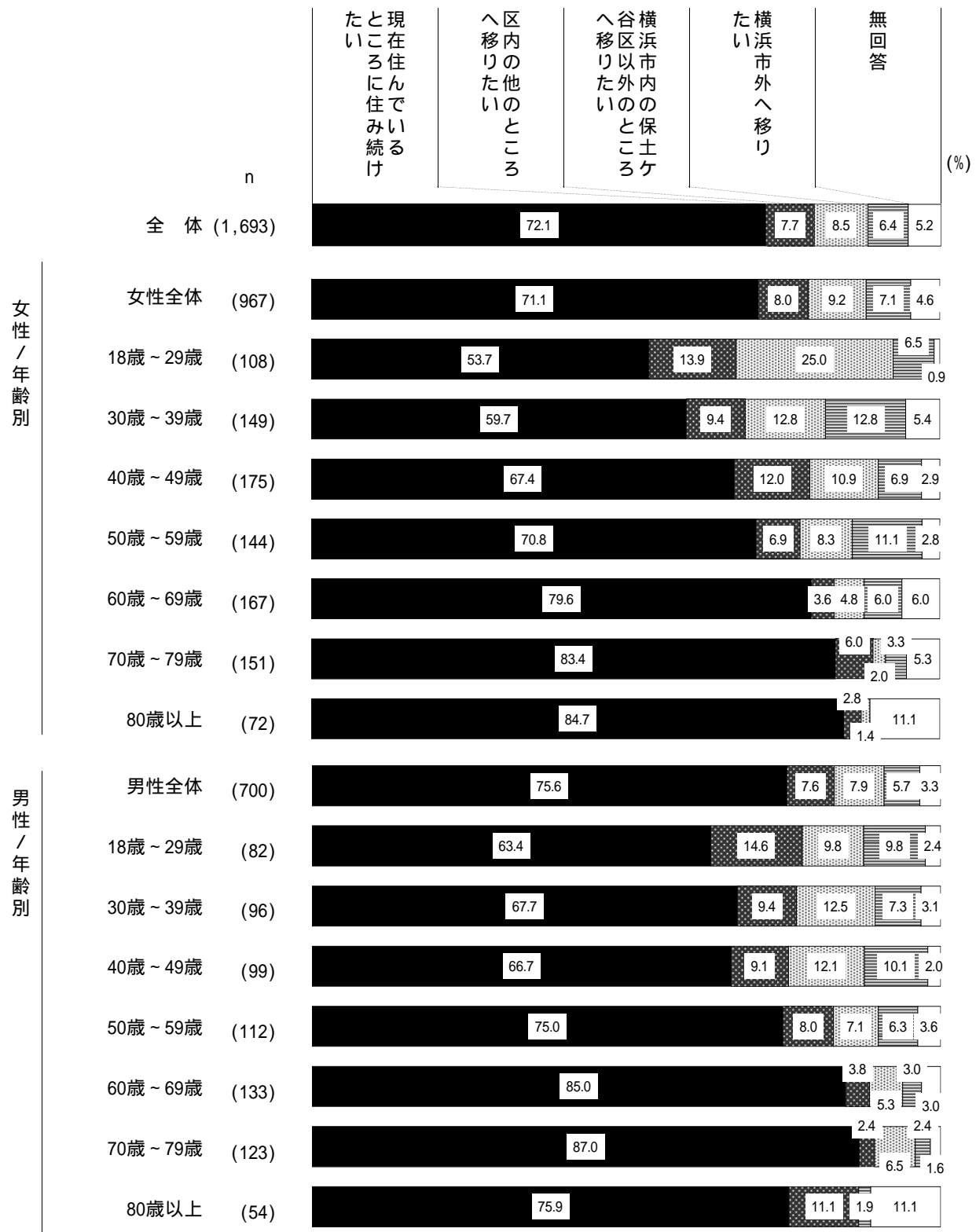


(性×年齢別) 性別及び年齢別にみると、以下のような傾向がある。

- ・「現在住んでいるところに住み続けたい」と「区内の他のところへ移りたい」は、男女ともに年齢が上がるにつれ高くなる。
- ・「横浜市外へ移りたい」は、男女ともに年齢が上がるにつれ低くなる傾向がある。

このことにより、区内への定住意向は男女ともに50歳以上で高く、区外への転出意向は18歳～29歳で高い傾向がある。(図表9-24)

図表9-24 定住意向(性×年齢別)



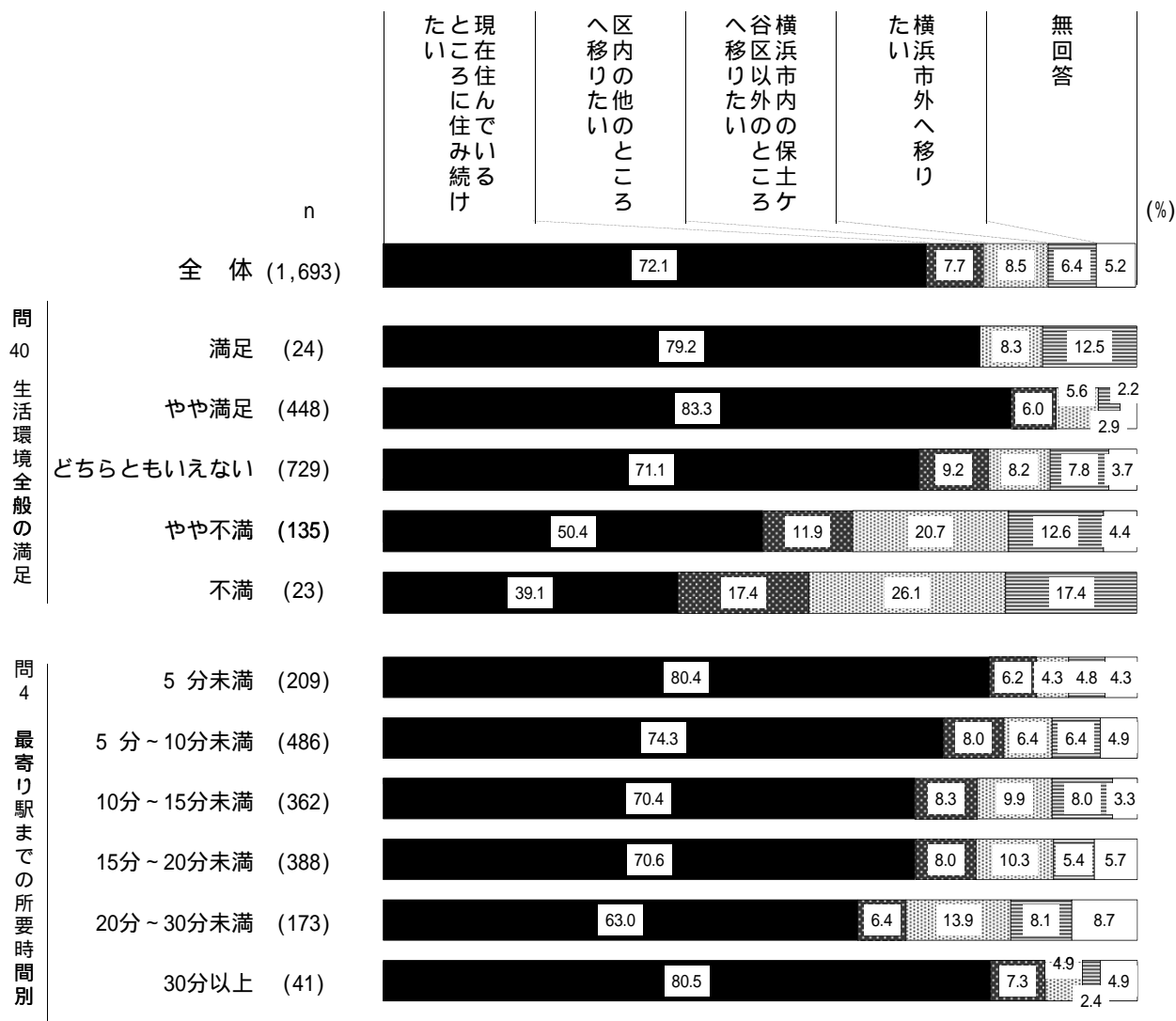
(総合的な生活環境全般の満足度別) 総合的な生活環境全般の満足度別にみると、満足度が低くなるにつれ、定住意向も低くなる傾向である。(図表9-25)

(最寄り駅までの所要時間別) 最寄り駅までの所要時間別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表9-25)

- ・「現在住んでいるところに住み続けたい」は、5分未満(80.4%)と30分以上(80.5%)で高く、20分～30分未満(63.0%)で低い。
- ・「横浜市内の保土ヶ谷区以外のところへ移りたい」は、20分～30分未満(13.9%)で高い。
- ・「横浜市内へ移りたい」は、30分以上(2.4%)で低い。

また、最寄り駅までの所要時間と定住意向には相関関係はみられない。

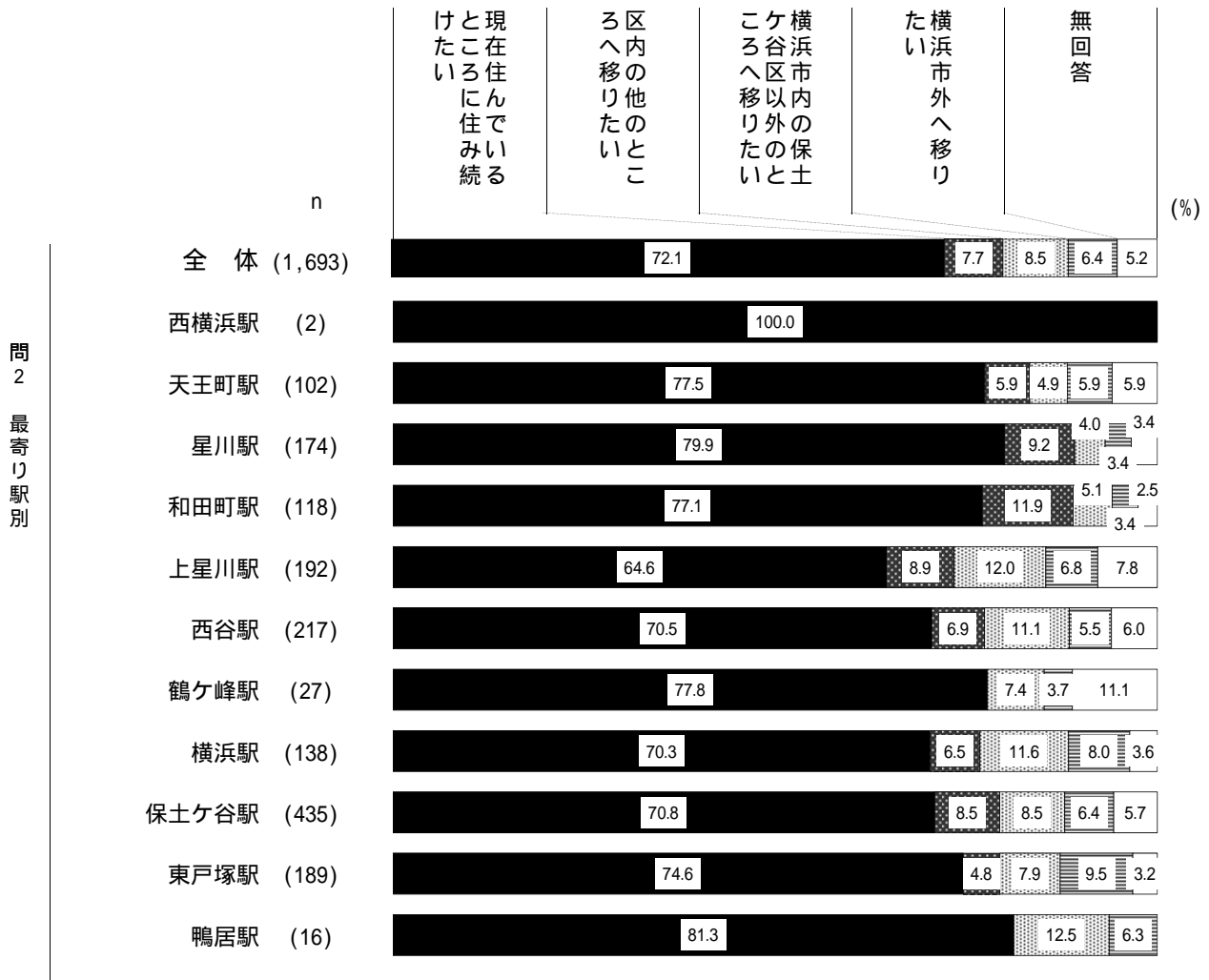
図表9-25 定住意向(問40生活環境全般の満足度・問4最寄り駅までの所要時間別)



(最寄り駅別) 最寄り駅別にみて、差があるのは以下の箇所となる。(図表9-26)

- ・「現在住んでいるところに住み続けたい」は、鴨居駅(81.3%)で高く、上星川駅(64.6%)で低い。
 - ・「区内の他のところへ移りたい」は、和田町駅(11.9%)で高く、鴨居駅(0%)で低い。
 - ・「横浜市内の保土ヶ谷区以外のところへ移りたい」は、鴨居駅(12.5%)と上星川駅(12.0%)で高い。
 - ・「横浜市外へ移りたい」は、東戸塚駅(9.5%)で高く、鶴ヶ峰駅(3.7%)で低い。
- 「鶴ヶ峰駅」と「鴨居駅」は回答基数が少なく、正確性は低い。「西横浜駅」は極端に回答基数が少ないため比較の対象としない。

図表9-26 定住意向(問2最寄り駅別)



資料:保土ヶ谷満足度調査 調査票

保土ヶ谷満足度調査

初夏の候 区民の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

保土ヶ谷区役所では、「いつまでも住み続けたいまち 保土ヶ谷 の実現をめざして」の基本目標の下、さまざまな取組を進めています。その中で、皆様がお住まいの地域のことや身近なことについてお伺いして、今後の区政を進めるうえでの基礎資料とさせていただくために、『保土ヶ谷満足度調査』を3年毎に実施しています。平成24年度は調査実施年度にあたるため、当調査をお送りさせていただきました。

いつまでも住み続けたい保土ヶ谷のまちづくりを、皆様とともに実現させていきますので、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年6月 保土ヶ谷区長 鈴木 和宏

この調査は、18歳以上の区民の皆様から、無作為で3,000名を選ばせていただいています。

この調査には、あなたのお名前やご住所をご記入いただく必要はありません。調査の結果はすべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のご回答内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。また、行政上の基礎資料として活用することを目的としていますので、他の目的に使用することは決してありません。ご返送いただいた調査票は、調査終了後に区が責任をもって処分いたします。

< ご記入にあたって >

- ◆ お送りしたあて名のご本人がご回答ください。
- ◆ 濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でご記入ください。
- ◆ ご回答は、あてはまる答えの番号を で囲んでください。
 - ・設問ごとに()は1つ)()は3つまで)など指定されています。
 - ・「その他」にあてはまる場合は、()内になるべく具体的にご記入ください。
 - ・設問によっては、ご回答いただく方が限られています。ご記入いただいた調査票は、**6月22日(金)まで**に同封の返信用封筒に入れてご返送ください(切手は不要です)。

本調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

保土ヶ谷区役所区政推進課企画調整係

電話：045-334-6228(直通) FAX：045-333-7945

交通について

問1 あなたが通勤・通学しているところはどこですか。 (は1つ)

1. 保土ヶ谷区内	13.5	4. 東京都	15.5
2. 保土ヶ谷区以外の横浜市	22.9	5. その他の地域 ()	1.5
3. 横浜市以外の神奈川県	5.7	6. 通勤・通学はしていない	36.1
(無回答 4.8)			

問2 あなたの最寄り駅(最もよく利用する駅)はどれですか。 (は1つ)

1. 西横浜駅	0.1	5. 上星川駅	11.3	9. 保土ヶ谷駅	25.7
2. 天王町駅	6.0	6. 西谷駅	12.8	10. 東戸塚駅	11.2
3. 星川駅	10.3	7. 鶴ヶ峰駅	1.6	11. 鴨居駅	0.9
4. 和田町駅	7.0	8. 横浜駅	8.2	12. その他 ()	3.2
(無回答 1.7)					

問3 あなたが最寄り駅に行くときの主な交通手段はどれですか。 (は1つ)

1. 徒歩	55.9	5. 自家用車(送迎含む)	4.5
2. 自転車	3.0	6. 路線バス	31.9
3. 原動機付自転車(ミニバイク)	1.6	7. タクシー	0.8
4. オートバイ	0.3	8. その他 ()	0.9
(無回答 1.2)			

問4 あなたが問3で答えた手段で最寄り駅まで行くには、どのくらい時間がかかりますか。

(は1つ)

1. 5分未満	12.3	4. 15分~20分未満	22.9
2. 5分~10分未満	28.7	5. 20分~30分未満	10.2
3. 10分~15分未満	21.4	6. 30分以上	2.4
(無回答 2.0)			

問5 あなたが近場(電車を利用せずに移動できる程度の範囲)に外出するときに、お困りのことはありますか。 (はいくつでも)

1. 道路が狭く、通行しづらい	26.3
2. 歩道が整備されていないため、歩きづらい	20.0
3. 駐車している車や自転車など障害物が多い	13.1
4. 混雑・交通渋滞などで移動に時間がかかる	9.3
5. 河川(線路)を渡る橋(踏切)がなく、迂回しなければならない	2.5
6. 路線バスの運行本数が少ない	19.8
7. 自宅や目的地の近くを路線バスが通っていない	7.8
8. バスが時間通りに来ない、運行時間が正確でない	11.8
9. 家族などの送迎に頼らなければならない	5.4
10. 駐車・駐輪スペースがない	16.6
11. 路線バスやタクシーなどの料金の負担が大きい	9.6
12. その他 ()	11.6
13. 特になし	25.0
(無回答 2.8)	

日常の買い物について

問6 あなたが日常の買い物（食料品、日用雑貨、普段着など）をしている場所は、どこですか。（は3つまで）

1. スーパーマーケット	92.1	5. ディスカウントストア	15.1
2. 商店街・個人商店	21.7	6. 通信販売	14.9
3. デパート	25.2	7. その他（ ）	6.4
4. コンビニエンスストア	40.8		(無回答 1.3)

問7 あなたが日常の買い物をする店を決める際に、重視することはどれですか。（は3つまで）

1. 営業時間	14.8	7. 店内の買い物のしやすさ	19.1
2. 店舗の場所（自宅からの近さや通勤・通学路の途中にあることなど）	57.5	8. ポイント制度が充実していること	8.0
3. 豊富な品揃え（品数、種類、サイズなど）	41.6	9. 駐車場・駐輪場が確保されていること	27.7
4. 商品の品質	30.9	10. 商品の配送サービスがあること	4.5
5. 値段	42.9	11. 接客の丁寧さ	5.3
6. セール・催し物のチラシが入ること	10.6	12. その他（ ）	0.8
			(無回答 1.4)

問8 あなたが近所にある商店街に対して、希望することはどれですか。（はいくつでも）

1. 営業時間の延長	11.5	8. 落ち着いて買い物ができる雰囲気づくり	19.1
2. 店舗の種類の実	34.8	9. ポイント制度などの導入	8.7
3. 豊富な品揃え（品数、種類、サイズなど）	42.7	10. 駐車場・駐輪場の確保	25.9
4. 商品の品質の向上	34.8	11. 商品の配送サービスの実施	6.0
5. 値段の安さ	45.8	12. 接客の丁寧さ	14.4
6. セール・催し物の実施	7.5	13. その他（ ）	7.6
7. セール・催し物の情報（宣伝、チラシなど）の充実	9.6		(無回答 4.1)

防災・減災について

問11 あなたは、災害に備えてどのような準備をしていますか。 (はいくつでも)

1. 3日分以上の飲料水、食料品の備蓄	50.4
2. 携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の備蓄蓄	72.8
3. 地域防災拠点の確認	33.4
4. 避難場所までの経路の確認	32.8
5. 自宅周辺の危険箇所(河川やがけなど)の確認	11.3
6. 家具類の固定や転倒防止などの対策	36.4
7. 建物の耐震診断や耐震補強	7.4
8. 家族との連絡方法の確認	40.5
9. 職場や学校などからの帰宅ルートの確認	15.2
10. 地域の防災訓練などへの参加	14.7
11. 携帯電話への情報配信登録	23.2
12. その他()	1.2
13. 特に何もしていない	7.7 (無回答 1.8)

問12 あなたは、保土ヶ谷区や横浜市などが実施する以下の防災事業を知っていますか。

(はいくつでも)

1. 保土ヶ谷区が提供する水防情報のFAX・Eメール配信	4.4
2. 横浜市危機管理室ホームページでの、市内雨量情報、河川水位情報や地震情報などの防災情報	11.5
3. 保土ヶ谷区や横浜市が実施している防災資機材取扱訓練(横浜防災ライセンス)	5.5
4. 「171」(災害用伝言ダイヤル)など各種電話会社の災害用サービス	40.5
5. 知っているものがない	43.7 (無回答 8.2)

問13 あなたは、以下の震災時の避難場所を知っていますか。

(はいくつでも)

1. 一時(いつとき)避難場所	42.9
2. 地域防災拠点	42.0
3. 広域避難場所	56.2
4. 知っているものがない	15.9 (無回答 2.2)

- * 一時(いつとき)避難場所...自治会・町内会が指定する近くの公園、空き地など。
- * 地域防災拠点...自宅の倒壊、倒壊の危険がある場合にのみ、保土ヶ谷区が26区域に分けて指定している小学校または中学校に避難する。倒壊の危険がない場合は、あえて避難する必要はない。
- * 広域避難場所...自宅などが火災などで危険な場合に、火災の炎や煙、熱風などから身を守るために避難する。地区ブロックごとに指定している。

問14 あなたは、震災時の避難場所についてどのような問題を感じていますか。

(はいくつでも)

1. 自分の地域防災拠点がどこか分から	19.7
2. 地域防災拠点が近くに指定されていないため、遠くまで避難しなければならない	11.2
3. 坂が多いなど、地形的に地域防災拠点まで行くことが困難である	25.2
4. 大きな道路や河川によって避難ルートが分断されており、避難が難しい	4.0
5. その他()	7.3
6. 特に問題を感じていない	39.3 (無回答 5.8)

問15 あなたの家やご近所には、大震災などの災害が起きた際に、以下の災害時要援護者（避難に手助けが必要になりそうな人）はいますか。 (はいいくつでも)

1. 高齢者（歩行困難や認知症などで介護が必要な人、ひとり暮らしの人など）	39.5	5. 妊産婦	2.2
2. 障害児・者	6.8	6. 外国人	1.5
3. 病人、けが人（歩行が困難な人など）	7.1	7. その他（ ）	1.8
4. 乳幼児	12.9	8. 特にいない	42.1
		(無回答 4.8)	

問16 災害時要援護者のうち、あなたの家族以外の人に対して、どんな協力ができそうですか。あなた自身や家族の安全はおおむね確保されていると仮定して、お答えください。 (はいいくつでも)

1. 「大丈夫ですか」などの声かけ	77.2	7. 相談相手や話し相手になる	28.7
2. 避難の手助け	55.3	8. 外国人への通訳、情報提供	3.5
3. 家族、親族や知人への連絡	42.5	9. オムツ、ミルクなどの必需品の確保	2.4
4. 災害状況や避難情報などの伝達	28.2	10. その他（ ）	1.5
5. 一時的な保護・預かり	14.6	11. 協力できそうにない、わからない	8.5
6. 介助や応急手当	15.2	(無回答 4.3)	

問17 あなたは、横浜市が行っている建物の耐震改修や減災（災害による被害をできるだけ小さくすること）のための以下の内容について知っていますか。 (はいいくつでも)

1. 木造住宅の無料耐震診断・耐震改修の補助	33.4
2. 分譲マンションの耐震診断・耐震改修の補助	13.7
3. 防災ベッドや耐震シェルターの設置補助	4.1
4. がけ地防災対策工事の助成	9.6
5. 知っているものがない	52.5 (無回答 6.9)

* 1～3について
 昭和56年5月以前の古い耐震基準で建てられた木造住宅や分譲マンションを対象にした、無料耐震診断や耐震改修費用の補助制度などがあります。
 (問い合わせ先：建築局建築企画課 045-671-2943)
 * 4について
 防災目的でがけ所有者等ががけ地の予防・復旧工事をする場合、資金の一部について助成を受けることができます。(問い合わせ先：建築局宅地企画課 045-671-2948)

問18 あなたの住宅の、住宅用火災警報器の設置状況はどれですか。(平成23年6月から、住宅用火災警報器の設置が義務化されました。) (は1つ)

1. 設置している	63.7
2. 設置する必要がない(マンション等に火災報知器が設置されている)	15.5
3. 設置していない	14.6
4. その他()	2.5 (無回答 3.6)

問18で「3. 設置していない」と答えた方にうかがいます。

問18-1 設置していない理由はどれですか。 (はいいくつでも) 複数回答n=248

1. 設置しなければならないことを知らなかった	26.2
2. どのように警報器を購入すればよいかわからない	27.8
3. 住宅のどこに設置すればよいかわからない	31.0
4. 天井などに自分で設置することができない	27.4
(無回答 13.3)	

福祉・保健について

問19 全員の方へ、あなたの健康についてうかがいます。

問19-1 (食生活) あなたが普段の食生活で気をつけていることは、どれですか。

(はいいくつでも)

1. 主食、主菜、副菜のバランスを考える	62.6	7. 野菜をたくさん食べる	59.5
2. 1日3食(朝、昼、夕(夜))食べる	63.6	8. 寝る前2時間は食事をしない	31.0
3. 塩分を控える	47.3	9. 1日1食は誰かと一緒に食べる	19.8
4. 自分に必要な栄養量を知っており、それにあわせて食事をする	10.8	10. 外食や惣菜を利用するときは、栄養成分表示を見る	8.1
5. 腹8分目にする	30.4	11. その他()	1.2
6. 脂肪の多い食品や油を控える	42.4	12. 特に気をつけていない	7.4
		(無回答 2.2)	

問19-2 (運動) あなたは、日常的に運動する習慣がありますか。

(週2回以上かつ1日30分以上運動する習慣が1年以上続いていますか。)

(はい1つ)

1. はい	38.2	2. いいえ	57.6
		(無回答 4.2)	

問19-2で「2. いいえ」と答えた方にうかがいます。

問19-2-1 運動をしない理由はどれですか。

(はいいくつでも) 複数回答n=976

1. 体を動かすことが面倒、嫌い	17.1	7. どのように運動すればよいか分からない	10.1
2. 仕事や勉強で疲れている	29.3	8. 医師から運動を制限されている	3.8
3. 忙しくて運動をする時間がない	41.8	9. 必要性を感じない	5.1
4. 一緒に運動する仲間がない	11.7	10. その他()	14.5
5. 運動をするきっかけがない	29.4	(無回答 1.4)	
6. 運動する施設、場所がない	12.1		

全員の方へうかがいます。(20歳以上の方にうかがいます。)

問19-3 (たばこ) 喫煙状況についてお答えください。

(はい1つ)

1. 喫煙する	17.0	2. 以前は喫煙していたが、現在はやめている	19.7
3. 喫煙しない	58.4	(無回答 5.0)	

問19-3で「1. 喫煙する」と答えた方にうかがいます。

問19-3-1 今後喫煙をやめたいと思いますか。

(はい1つ) 複数回答n=287

1. やめるつもりはない	42.9
2. やめたいと思うが、6か月以内にやめるつもりはない	46.7
3. 1か月以内にやめたいと思う	7.7
(無回答 2.8)	

全員の方へうかがいます。

問19-4 (歯周病) 歯科医院についてお答えください。(は1つ)

1. かかりつけの歯科医院がある	70.4	2. かかりつけの歯科医院はない	23.9
(無回答 5.7)			

問19-5 (歯科) 歯科について、あてはまることをお答えください。(はいいくつでも)

1. 8020運動を知っている	40.2
2. 歯周病と全身疾患(心筋梗塞や糖尿病など)との関連を知っている	31.5
3. 歯ブラシ以外にデンタルフロス・歯間ブラシなどを使用している	38.9
4. 定期的に歯科医院を受診している(年1回以上)	37.4
5. どれにもあてはまらない	21.3
(無回答 5.7)	

問19-6 (健康診断) 1年以内の健康診断の受診についてお答えください。(は1つ)

1. 受診した	67.9	2. 受診していない	問19-6-1へ 26.3
(無回答 5.8)			

問19-6で「2. 受診していない」と答えた方へうかがいます。

問19-6-1 健康診断を受けていない理由はどれですか。(はいいくつでも)複数回答n=445

1. 受診することが面倒	20.9	6. 受診のしかたが分からない	10.1
2. 多忙で時間がとれない	20.4	7. 健康診断に関心がない	4.9
3. 生活習慣病治療中で定期的に医療機関を受診している	15.7	8. 費用がかかる	19.6
4. 受診する機会がない	24.3	9. その他()	12.6
5. 受診できる医療機関が遠い	4.0	10. 健康に自信があり、受診の必要性を感じない	10.8
(無回答 3.8)			

問20 あなたは、「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画 保土ヶ谷ほっとなまちづくり*」を知っていますか。(は1つ)

1. 名前も内容も知っている	7.1
2. 名前は知っているが、内容は知らない	18.1
3. 名前も内容も知らない	70.1
(無回答 4.7)	

*「保土ヶ谷区地域福祉保健計画 保土ヶ谷ほっとなまちづくり」とは、地域に住む全ての人が、安心していきいきと暮らし続けることができるよう、地域の様々な人や団体がつながり、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所などが連携して、地域のつながり・支えあいのあるまちづくりを目指した計画です。

具体的な内容については、同封の「保土ヶ谷ほっとなまちづくり(概要版)」や区ホームページをご覧ください。[URL](http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/bunyabetu/fukusi/hotnamati/)http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/bunyabetu/fukusi/hotnamati/

問20で「1. 名前も内容も知っている」「2. 名前は知っているが、内容は知らない」と答えた方へうかがいます。

問20-1 どのような方法で「第2期保土ヶ谷区地域福祉保健計画」を知りましたか。

(は1つ)複数回答n=427

1. 広報よこはま ほどがや区版	69.8
2. 区のホームページ	3.3
3. 地域での活動(自治会・町内会や地区社会福祉協議会、その他団体・グループ等)を通じて	8.7
4. 自治会・町内会の回覧板、掲示版	13.6
5. その他()	1.2
(無回答 3.5)	

問21 あなたは、次の施設を知っていますか。また利用したことはありますか。(は1つ)

1. 福祉保健活動拠点*

1. 知っており、利用している(利用したことがある)	5.4
2. 知っているが利用したことはない	24.3
3. 知らない	64.6

(無回答 5.7)

*「福祉保健活動拠点」とは、区内で自主的に福祉・保健の活動を行っている団体などに、交流・打合せ・研修などの場としてご利用いただける施設です。「かるがも」(川辺町)の3階にあります。

2. 地域ケアプラザ(今井、岩崎、上菅田、川島、常盤台、仏向、星川)

1. 知っており、利用している(利用したことがある)	13.9
2. 知っているが利用したことはない	43.2
3. 知らない	33.7

(無回答 9.2)

問21で「1. 知っており、利用している(利用したことがある)」「2. 知っているが利用したことはない」と答えた方にうかがいます。

問21-1 地域ケアプラザで行っている次の業務について知っていますか。

(はいいくつでも) 複数回答n=967

1. 地域活動交流(地域の福祉・保健活動の場の提供、各種イベント・講座等の開催など)	62.9
2. 地域包括支援センター(介護保険や福祉サービスなど福祉・保健に関する相談・支援)	39.5
3. 居宅介護支援(ケアマネジャーによるケアプラン作成など)	32.6

(無回答 19.8)

問22 あなたは、保土ヶ谷区が子どもにとって安心・安全で暮らしやすいまちだと思いますか。

(はいいくつでも)

1. そう思う	14.4
2. どちらかといえばそう思う	56.5
3. どちらかといえばそう思わない	16.8
4. そう思わない	5.4

(無回答 7.8)

問23 あなたは、子育てをしていく中で、特に必要なことは何だと思いますか。

(子育て中でない方は、一般的な考え方としてお答えください。)(は3つまで)

1. 夫婦(子どもの父母)の協力	75.8
2. 子どもの祖父母の協力	23.3
3. 親同士の交流の場や機会が豊富にあり、近くに子育て仲間がいること	42.7
4. 家族以外にも相談相手がいること	28.1
5. 隣近所が子育てに好意的で理解があること	22.1
6. 緊急時などに、子どもを預かってくれる場があること	19.1
7. 家の近くに遊び場があること	27.2
8. 子どもと一緒に参加できる行事や催し物が多いこと	7.7
9. 子育てに関する様々な情報(育児、保健、行政サービスなど)を手に入れやすいこと	19.1
10. その他()	2.0

(無回答 6.2)

地域でのつながり・地域活動について

地域のつながりが希薄となり、地域での孤立による問題が報道等で大きく取り上げられています。保土ヶ谷区では、あいさつから人の輪を広げることを目指し、「あいさつ運動」に取り組んでいます。あいさつを通じ、近隣の「顔の見える関係」をつくり、つながり支え合える地域の実現を目指しています。

問24 あなたは近所の人に対して、あいさつなどで声をかけることはありますか。(は1つ)

1. よくある	63.7	3. あまりない	5.8
2. ときどきある	27.9	4. まったくない	1.3
(無回答 1.2)			

問25 あなたと近所の人との付き合いは、次のうち、どれに最も近いですか。(は1つ)

1. お互いの家を行き来する	6.7	7. 顔は知っているが、ほとんど付き合いがない	11.5
2. 困ったときに相談する	3.0	8. 誰が住んでいるのか知らない	5.1
3. 留守のときは頼み合う	3.7	9. その他()	0.3
4. 冠婚葬祭時などに助け合う	1.4		
5. たまに立ち話をする	21.0		
6. 顔を合わせたらあいさつする	45.8		
(無回答 1.5)			

問25で「1～6」のいずれかに答えた方にうかがいます。

問25-1 あなたが、近所の人との付き合いを始めたきっかけは何ですか。(は1つ)複数回答n=1383

1. 日頃のあいさつ	75.4	6. 防犯	0.2
2. ごみ捨て	3.5	7. 防災	0.1
3. 地域の行事・催し物	4.8	8. 趣味など余暇活動	1.2
4. 子育て	8.0	9. 冠婚葬祭	0.4
5. 介護	0.0	10. その他()	4.8
(無回答 1.5)			

全員の方へうかがいます。

問26 あなたが地域に期待することや役割はどれですか。(は3つまで)

1. 声かけや安否の確認	51.4	7. 趣味など余暇活動の仲間づくり	11.4
2. 話し相手・相談相手になること	13.2	8. 持っている知識や技術、経験を生かせる場を作る	6.9
3. ごみ出し、庭の手入れ、外出時の付き添いなど日常的な手助け	11.7	9. 子育てに対する支援	11.3
4. 家族のような付き合い	2.7	10. 家族の介護に対する支援	6.9
5. 防犯に関する協力・気配り	45.6	11. 冠婚葬祭時などの手伝い	2.8
6. 災害時の援助・助け合い	61.3	12. その他()	1.9
(無回答 3.5)			

問27 あなたが地域に対してできそうなことはどれですか。(は3つまで)

1. 声かけや安否の確認	66.3	7. 趣味など余暇活動の仲間づくり	9.2
2. 話し相手・相談相手になること	20.3	8. 持っている知識や技術、経験を生かせる場を作る	6.0
3. ごみ出し、庭の手入れ、外出時の付き添いなど日常的な手助け	13.5	9. 子育てに対する支援	5.3
4. 家族のような付き合い	2.1	10. 家族の介護に対する支援	2.7
5. 防犯に関する協力・気配り	36.7	11. 冠婚葬祭時などの手伝い	5.1
6. 災害時の援助・助け合い	49.9	12. その他()	1.7
(無回答 5.6)			

問28 あなたが、地域の団体・委員のうちで知っているものは、次のうちどれですか。
(はいいくつでも)

1. 自治会・町内会	92.9	12. こんにちは赤ちゃん訪問員	8.0
2. 地区社会福祉協議会	26.9	13. 青少年指導員	27.8
3. 区民会議	11.2	14. スポーツ推進委員(体育指導委)	24.6
4. 民生委員・児童委員	52.0	15. 消費生活推進員	8.8
5. 主任児童委員	5.4	16. 環境事業推進委員	8.5
6. あんしん訪問員	7.2	17. 家庭防災員	22.2
7. 保健活動推進員	8.6	18. 明るい選挙推進協議会推進委員・推進員	9.0
8. 食生活等改善推進員(ヘルスマイト)	6.7	19. 消防団員	41.6
9. 友愛活動員	3.4	20. 防犯指導員	10.9
10. 子育て支援者	9.0		(無回答 5.1)
11. 母子訪問指導員	11.2		

問29 地域で行われている活動のうち、あなたが参加したことがあるものはどれですか。
(はいいくつでも)

1. お祭りなどの行事や催し	53.5
2. 自治会・町内会活動	53.4
3. こども会・PTA・学校関係団体活動	27.3
4. ボランティア・市民活動・NPO団体活動	6.7
5. 行政関連団体(民生委員、青少年指導員など)活動	3.5
6. 趣味・生涯学習に関わる活動	7.6
7. その他()	1.0
8. 参加したことがない	24.7
	(無回答 2.0)

問29で「8. 参加したことがない」と答えた方にうかがいます。

問29-1 活動に参加したことがない理由はどれですか。(は3つまで) 複数回答n=419

1. 活動の内容がわからない、情報がない	36.0
2. 時間がとれない	37.2
3. 知らない人ばかりの中に入っていくことが不安	19.3
4. 身近に参加したい活動がない	10.3
5. グループ行動やご近所付き合いを好まない、苦手である	9.5
6. 地域以外のところで活動している	4.5
7. 参加する必要性を感じない	12.6
8. その他()	7.6
9. 特に理由はない	27.4
	(無回答 0.5)

全員の方へうかがいます。

問30 地域で行われる活動のうち、あなたが今後、参加したい活動はどれですか。
(すでに参加しているもので、今後も続けたいものも含まれます。) (はいくつでも)

1.すでに自分が持っている技術(職業上身につけたスキルなど)を生かすことができる活動	15.8
2.地域に貢献できる活動	27.2
3.趣味に関わる活動	25.9
4.小額であっても金銭的な利益を得ることができる活動	9.0
5.人の役に立っていることが実感できる活動	21.1
6.地域の人と知り合うことができる活動	25.0
7.その他()	1.0
8.特にない	28.8
(無回答 5.4)	

問31 あなたは、ご自身が参加するとしたら、どのような分野の活動に興味がありますか。
(はいくつでも)

1.交通安全・防犯	17.7	8.自然環境の保全・地球温暖化対策	13.1
2.防災	16.5	9.国際交流・国際支援	8.8
3.保健・医療	10.0	10.文化・芸術・音楽	22.6
4.子育て支援	13.7	11.歴史	8.3
5.高齢者・障害者福祉	13.4	12.スポーツ	20.3
6.青少年の育成	4.5	13.その他()	1.3
7.リサイクル・街の美化	17.0	14.特にない	19.4
(無回答 4.4)			

地球温暖化対策について

問32 あなたは、地球温暖化防止のためになることとして、日常生活の中でどんなことを行っていますか。
(はいくつでも)

1.電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る	80.2
2.暖房は20、冷房は28を目安に設定する	44.1
3.電化製品を買い換えるときは、省エネ効果のあるものを選ぶ	61.0
4.食品を買うときは、産地が近く、旬のものを選ぶ	23.9
5.買い物のときは、包装が少なく、リサイクルを考慮した商品を選ぶ	17.0
6.買い物のときは、マイバックを持参して、レジ袋をもらわない	42.6
7.外出のときは、水筒やマイ箸を持参する	22.7
8.ごみと資源の分別を徹底する	67.8
9.シャワーや蛇口の水をこまめに止める	54.0
10.車の運転では、エコドライブ(急発進や急加速をしない)に努める	23.4
11.外出のときは、バスや電車などの公共交通機関か自転車を利用する	36.5
12.太陽光発電装置や太陽熱利用装置を設置する	2.4
13.緑のカーテン(壁面緑化)や屋上緑化を取り入れる	12.1
14.環境講座を受講し、新たにチャレンジするエコな行動を学ぶ	1.2
15.その他()	0.8
16.特に何もしていない 問32-1へ(次頁) 2.2	(無回答 2.1)

問32で「16.特に何も行っていない」と答えた方にうかがいます。

問 32-1 特に何も行っていない理由はどれですか。(はいくつでも)複数回答 n=38

1. 難しくてよくわからない	15.8	6. 面倒である	26.3
2. 何を行ったらよいかわからない	15.8	7. 便利なことをやめることはできない	7.9
3. 何かを行う必要性を感じない	7.9	8. 地球温暖化が起きていると思わない	13.2
4. 自分ひとりで行っても意味がない	13.2	9. その他 ()	18.4
5. 忙しくて取り組む余裕がない	5.3	(無回答)	10.5

問 32 で「16.特に何も行っていない」と答えた方にうかがいます。

問 32-2 どんな温暖化防止対策ならできそうですか。(はいくつでも)複数回答 n=38

1. 電化製品や照明を使わないときはこまめにスイッチを切る	52.6
2. 暖房は20、冷房は28を目安に設定する	28.9
3. 電化製品を買い換えるときは、省エネ効果のあるものを選ぶ	23.7
4. 買い物ときは、マイバックを持参して、レジ袋をもらわない	26.3
5. ごみと資源の分別を徹底する	34.2
6. シャワーや蛇口の水をこまめに止める	15.8
7. 車の運転では、エコドライブ(急発進や急加速をしない)に努める	10.5
8. 外出のときは、バスや電車などの公共交通機関か自転車を利用する	13.2
9. 緑のカーテン(壁面緑化)や屋上緑化を取り入れる	7.9
10. 衣服の着方などの工夫で冷暖房の使用を控える	26.3
11. エコな調理方法や地産地消を意識した買い物をする	0.0
12. 住まいの手軽な改修(断熱窓に換えるなど)により冷暖房の使用を控える	2.6
13. 環境講座を受講し、新たにチャレンジできるエコな行動を学ぶ	2.6
14. ホームページやEメールなどの情報媒体で発信されるエコな知識や取組を知り、実践する(*)	2.6
15. その他()	7.9
(無回答)	10.5

*「ほどがや地球温暖化対策推進ネットワーク」は、区民・事業者・団体などさまざまな立場の方々と行政とが脱温暖化行動に関する情報を共有し、ともに取り組むことで地球温暖化対策を推進するため、平成20年7月に発足しました。

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/eco/>

行政サービスについて

問33 あなたはどの位の頻度で、区役所へいらっしゃいますか。 (は1つ)

1. 週1回以上	0.2	4. 数年に1回程度	33.1
2. 月1回以上	3.1	5. ほとんど行ったことがない	16.2
3. 年に数回程度	45.1	(無回答 2.3)	

問34 あなたは、保土ヶ谷区や横浜市が発信する行政や地域の情報を何から得ていますか。

(はいくつでも)

1. 広報よこはま市版・区版	73.5
2. 市・区のホームページ	14.6
3. 区役所の窓口に掲示されているポスター・置いてあるパンフレット	7.6
4. 携帯電話への情報配信	1.0
5. 自治会・町内会の回覧板・掲示板	55.3
6. 新聞・テレビ・ラジオ	17.5
7. フリーペーパー(タウン誌など)	12.8
8. 近所の人などからの口コミ <small style="font-size: small;">(くち)</small>	7.9
9. その他()	0.8
10. 市や区の情報は得ていない	8.0
(無回答 2.7)	

問35 あなたが、行政や地域の情報の中で知りたいものはどれですか。 (はいくつでも)

1. 戸籍・住民登録	9.7	10. 食品や環境に関する衛生情報	15.5
2. 保険・年金	31.7	11. 地域のニュース・地域活動の情報	21.6
3. 税金	27.3	12. 地域活動団体・グループの情報	7.8
4. 福祉(高齢、障害、生活保護など)	26.3	13. 催し物・講座の情報	24.2
5. 保健・医療	25.8	14. 区の魅力・おすすめスポット	16.1
6. 子育て支援	12.3	15. 市・区役所の事業	7.5
7. ごみ・リサイクル・環境問題	23.8	16. 区役所窓口や駐車場の混雑状況	2.6
8. 文化・スポーツ	15.6	17. その他()	0.7
9. 防犯・防災	24.7	18. 特にない	12.3
(無回答 5.2)			

問36 あなたは、「保土ヶ谷区区政運営方針」^{*}を知っていますか。 (は1つ)

1. 名前も内容も知っている	2.3
2. 名前は知っているが、内容は知らない	20.9
3. 名前も内容も知らない	72.8
(無回答 4.0)	

^{*} 横浜市では、区民に身近な総合行政機関として、区役所の総合性や信頼性を一層高め、個性ある区づくりや、区民の皆さまに分かりやすい区政を推進するため、平成15年度から区政運営方針を策定し、公表しています。

区政運営方針は区役所の窓口や区ホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/hodogaya/kuseiunei/>

問37 あなたは、保土ケ谷区が、将来どのようなまちに発展することが望ましいと思いますか。 (は3つまで)

1. 商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りる	44.2
2. 安心して子育てできる環境が整っている	30.8
3. 医療や福祉が充実している	54.4
4. 学校教育・生涯学習が充実している	10.0
5. 文化・スポーツ活動が盛んである	6.7
6. 地域での交流や支えあいがある	9.3
7. 治安が良い	53.8
8. 防犯・防災対策が充実している	26.8
9. 自然を身近に感じることができる	17.4
10. 道路や公共交通機関が充実し、移動しやすい	20.2
11. 歴史的な趣を感じることができる	2.7
12. 観光が盛んである	0.9
13. 国際交流が盛んである	1.5
14. 企業や研究機関が集まる	1.5
15. その他 ()	1.1
	(無回答 2.9)

問38 あなたは、どんなときに「保土ケ谷区ホームページ」をご覧になりますか。

(はいいくつでも)

1. 区役所の場所、業務時間、駐車場の混雑などを知りたい時	12.0
2. 人生の節目を迎えた時(出産、就職、結婚など)	8.1
3. 日常生活で分からないことがあった時(福祉・保健、子育て、ごみ・リサイクルなど)	34.0
4. 区内のイベント、事業を知りたい時	10.5
5. 区内の見どころや保土ケ谷区について知りたい時	7.2
6. その他 ()	1.9
7. 区ホームページは見ない	46.3
	(無回答 7.3)

問39 あなたが「広報よこはま ほどがや区版」をご覧になるときに、注目するものはどれですか。 (はいいくつでも)

1. 表紙	9.2
2. 写真・イラスト	11.0
3. 特集記事の内容	39.0
4. イベントや区役所からの案内記事	56.3
5. 地区センターなどの施設からのお知らせ記事	31.7
6. がん検診や乳幼児健康診査などの日程(保健だより)	23.3
7. コラム記事	6.0
8. 区民投稿記事	4.6
9. その他 ()	1.9
10. 広報紙は読まない	15.2
	(無回答 4.9)

生活環境全般に対する重要度・満足度

問40 以下の各項目（1～22）について、おうかがいします。

【1】あなたにとって、どの程度重要ですか。（ヨコに を1つずつ）

【2】あなたは現在、どの程度満足していますか。（ヨコに を1つずつ）

【3】以前と比較して、どのように変化していますか。（ヨコに を1つずつ）

各項目の【1】【2】【3】
全ての該当する番号に
1つずつ 印をつけて下
さい（ヨコに計3つ）

(記入例) 各項目	【1】重要度					
	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 ではない	重要ではない	無回答
	1	2	3	4	5	
1 バス・電車の便	60.7	26.6	5.1	2.8	0.7	4.0
2 道路環境の整備	43.4	35.5	13.5	2.2	0.5	5.0
3 違法駐車・放置自転車の防止や交通安全対策	35.6	40.4	14.9	3.4	0.6	5.0
4 最寄り駅周辺のまちづくり	36.0	38.6	16.9	3.0	0.7	4.8
5 街並み景観の整備	22.5	39.5	25.5	5.8	1.1	5.6
6 商店街や企業の振興	23.2	39.8	25.6	4.6	1.0	5.8
7 緑地保全・緑化推進や水辺環境の整備	26.6	42.6	21.5	2.9	0.8	5.6
8 ごみの分別収集・リサイクルや街の美化	42.1	41.3	10.3	1.4	0.2	4.8
9 地球温暖化対策	36.3	34.2	20.7	2.4	0.8	5.7
10 災害対策	60.1	26.6	7.3	0.5	0.2	5.3
11 防犯対策	61.7	26.2	6.4	0.4	0.1	5.3
12 保育など子育て支援	33.4	29.5	22.7	4.0	2.5	7.8
13 学校教育の充実や青少年の健全育成	37.7	30.0	20.3	3.0	1.5	7.6
14 病院や救急医療などの地域医療	60.2	26.8	7.2	0.3	0.2	5.3
15 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり	40.3	38.6	13.8	1.7	0.2	5.4
16 高齢者福祉	41.4	32.7	17.8	2.3	0.7	5.1
17 障害者福祉	34.8	33.0	21.9	2.9	0.9	6.5
18 健康づくり支援	22.2	38.2	27.8	4.1	1.5	6.2
19 区民利用施設の充実	14.6	35.2	34.8	6.4	2.6	6.3
20 広報・広聴など区政への市民参加の推進	8.7	26.3	46.9	8.0	3.3	6.8
21 身近な行政窓口・相談サービス	22.2	39.9	27.9	2.9	1.2	5.9
22 以上を総合して、生活環境全般の満足度						

【2】現在の満足度					
満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答
1	2	3	4	5	
15.9	37.2	20.4	15.5	6.1	4.9
4.8	28.9	34.7	18.2	7.7	5.7
3.4	20.4	41.3	20.2	8.9	5.8
2.9	23.3	40.6	19.3	8.1	5.8
2.8	20.4	53.5	12.8	3.8	6.6
1.2	11.8	51.2	20.9	7.9	7.1
3.6	26.9	50.1	10.0	2.7	6.7
6.2	36.7	37.4	11.3	2.6	5.8
1.0	12.0	69.7	8.9	1.8	6.6
1.9	16.5	62.8	9.2	2.8	6.7
2.2	18.9	60.9	8.9	2.5	6.6
1.3	11.0	69.8	6.2	2.7	9.0
1.1	10.9	69.1	7.5	2.5	8.9
3.7	22.4	49.1	14.0	4.3	6.5
4.0	26.6	47.1	12.2	4.0	6.2
2.1	15.7	64.4	9.2	2.2	6.5
1.4	11.0	71.5	5.8	1.8	8.4
1.6	12.2	72.4	5.0	1.4	7.6
1.7	14.6	67.6	6.7	1.7	7.7
1.5	8.8	76.6	3.9	1.1	8.2
3.4	18.1	63.2	6.4	1.6	7.2
1.4	26.5	43.1	8.0	1.4	19.7

【3】以前との比較				
良くなった	変わらない	悪くなった	わからない	無回答
1	2	3	4	
20.9	53.2	6.0	13.1	6.9
18.4	56.8	5.3	12.0	7.4
15.5	52.3	10.6	14.4	7.3
16.5	57.8	7.0	11.5	7.1
11.8	59.8	6.7	13.9	7.8
4.9	52.6	17.6	16.7	8.2
16.8	52.9	5.6	17.0	7.8
27.8	47.4	6.1	11.7	7.0
7.7	56.5	3.2	24.6	8.0
10.7	53.9	2.2	25.2	8.0
10.9	55.4	3.4	22.6	7.7
6.9	47.2	2.2	33.2	10.5
6.0	44.1	5.3	34.7	9.9
9.2	54.9	4.8	23.0	8.0
27.2	46.0	2.1	16.8	7.8
11.4	44.1	3.1	33.3	8.2
7.7	42.2	2.2	38.3	9.5
7.1	44.8	1.2	38.2	8.7
7.7	47.7	2.0	33.8	8.8
4.4	45.9	1.2	39.3	9.1
12.4	46.0	1.6	31.7	8.3
10.6	51.3	2.7	15.9	19.6

問41 あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいですか。

(は1つ)

1. 現在住んでいるところに住み続けたい	72.1
2. 区内の他のところへ移りたい	7.7
3. 横浜市内の保土ヶ谷区以外のところへ移りたい	8.5
4. 横浜市内外へ移りたい	6.4
(無回答 5.2)	

問42 保土ヶ谷区政について、ご意見、ご要望、ご提案などございましたら、ご自由にご記入ください。

あなたご自身について

F 1 あなたの性別をおうかがいします。 (は1つ)

1. 女性	57.1	2. 男性	41.3
(無回答 1.5)			

F 2 あなたの年齢をおうかがいします。 (は1つ)

1. 18歳~29歳	11.2	4. 50歳~59歳	15.1	7. 80歳以上	7.6
2. 30歳~39歳	14.5	5. 60歳~69歳	17.8		
3. 40歳~49歳	16.3	6. 70歳~79歳	16.2		
(無回答 1.2)					

F 3 あなたの(同居している)家族構成をおうかがいします。 (は1つ)

1. ひとり暮らし	11.4	4. 親と子と孫(3世代世帯)	5.7
2. 夫婦のみ	24.0	5. 兄弟・姉妹	0.6
3. 親と子(2世代世帯)	50.8	6. その他()	6.1
(無回答 1.4)			

F 4 あなたの保土ヶ谷区内での居住年数をおうかがいします。 (は1つ)

1. 5年未満	10.8	5. 20年~30年未満	18.4
2. 5年~10年未満	9.5	6. 30年~40年未満	13.9
3. 10年~15年未満	13.2	7. 40年以上	23.0
4. 15年~20年未満	9.9		
(無回答 1.3)			

F 5 あなたの居住形態をおうかがいします。 (は1つ)

1. 持家(一戸建て)	49.6	4. 借家(マンション・共同住宅、社宅、寮など)	21.1
2. 持家(マンション・共同住宅)	25.2	5. その他()	1.4
3. 借家(一戸建て)	1.5		
(無回答 1.2)			

F 6 あなたが現在お住まいの町名をおうかがいします。(は1つ)

五十音	町 名
記入例	新井町、 今井町、 岩井町、 岩崎町、 岩間町1～2丁目、 岡沢町
あ行	新井町 4.1、 今井町 2.4、 岩井町 3.8、 岩崎町 0.7、 岩間町1～2丁目 1.0、 岡沢町 1.6
か行	霞台 1.0、 帷子町1～2丁目 1.1、 釜台町 1.2、 鎌谷町 2.3、 上菅田町 6.1、 上星川1～3丁目 3.0、 狩場町 2.4、 川島町 5.0、 川辺町 2.1、 神戸町 0.9、 権太坂1～3丁目 3.5
さ行	境木町 0.2、 境木本町 1.7、 坂本町 1.1、 桜ヶ丘1～2丁目 2.7、 新桜ヶ丘1～2丁目 2.7、 瀬戸ヶ谷町 2.7
た行	月見台 1.0、 天王町1～2丁目 2.1、 常盤台 2.3
な行	西久保町 2.1、 西谷町 2.9
は行	初音ヶ丘 1.7、 花見台 0.4、 東川島町 2.4、 藤塚町 0.8、 仏向町 4.0、 仏向西 2.1、 法泉1～3丁目 3.2、 星川1～3丁目 2.7、 保土ヶ谷町1～3丁目 1.8
ま行	峰岡町1～3丁目 3.0、 峰沢町 1.7、 宮田町1～3丁目 1.4、 明神台 1.1
わ行	和田1～2丁目 2.1 (無回答 8.0)

アンケートは以上です。

ご回答のお時間をいただきまして、ありがとうございました。

ご回答いただきました内容は、今後のまちづくりの貴重な基礎資料とさせていただきます。

ご記入いただいた調査票は、お手数ですが

6月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れて

ご返送ください(切手は不要です)。

**平成 24 年度
保土ヶ谷満足度調査**

平成 24 年（2012 年）11 月

発 行：保土ヶ谷区総務部区政推進課
〒240-0001
保土ヶ谷区川辺町 2 - 9
TEL 045-334-6228
FAX 045-333-7945

調査委託機関：株式会社東栄測量コンサルタント